

史料目録 第91集

信濃国松代真田家文書目録
(その12・完)

平成23年3月

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国文学研究資料館
調査収集事業部

史料目録 第91集

信濃国松代真田家文書目録
(その12・完)

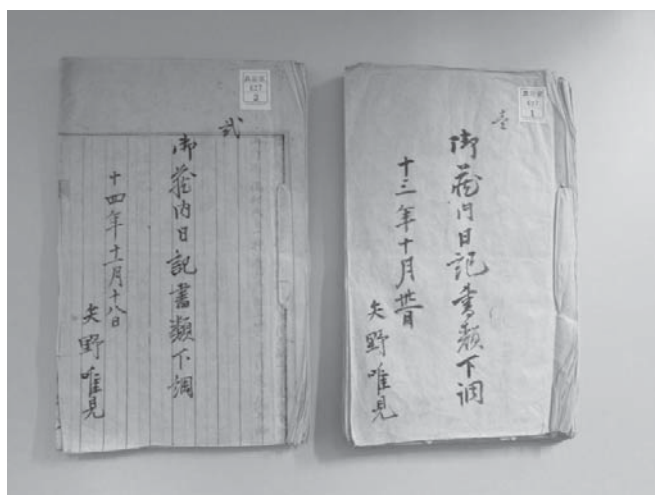


写真1 御蔵内日記書類下調 巻・弐(寄 627-1.2)

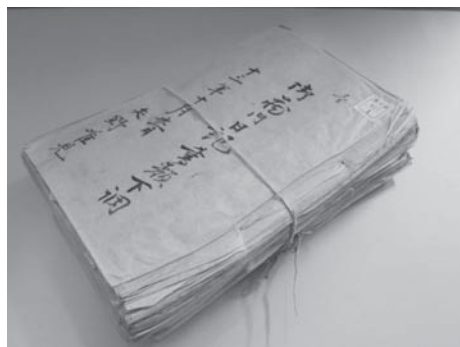


写真2 御蔵内日記書類下調一括(寄 627)

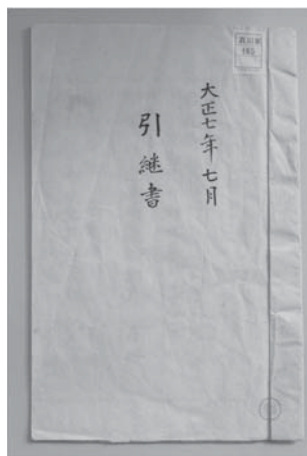
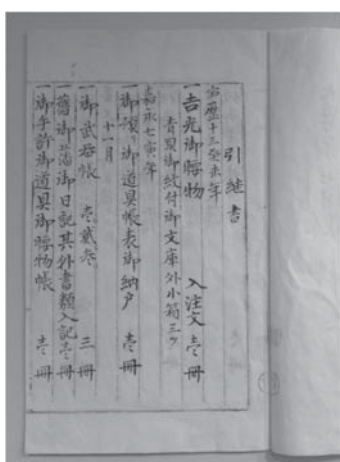


写真3 引継書(寄 465)

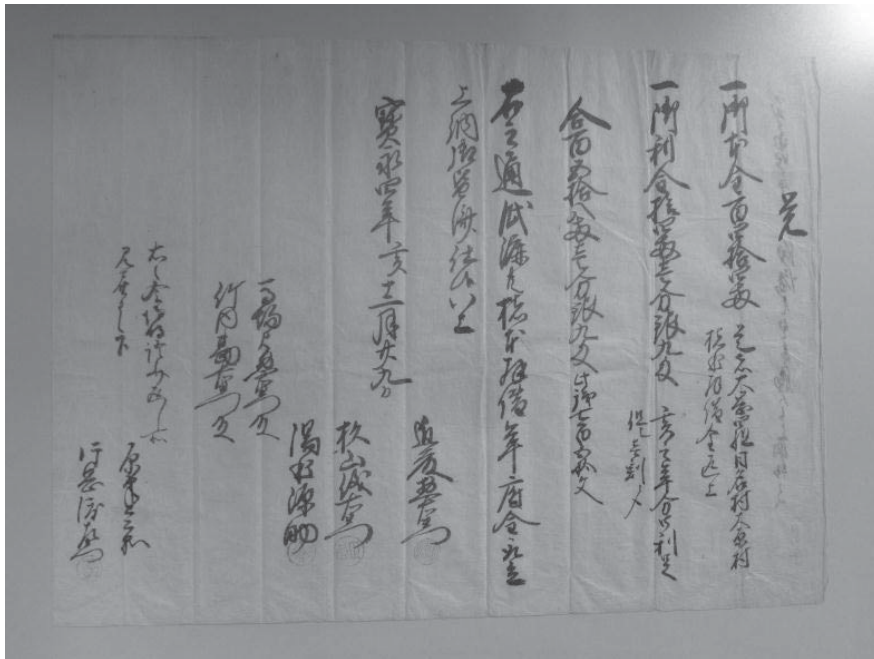


写真4 〔覚〕(紙漉共楮本拝借年賦金金利金共158両余上納皆済に付)(や12)

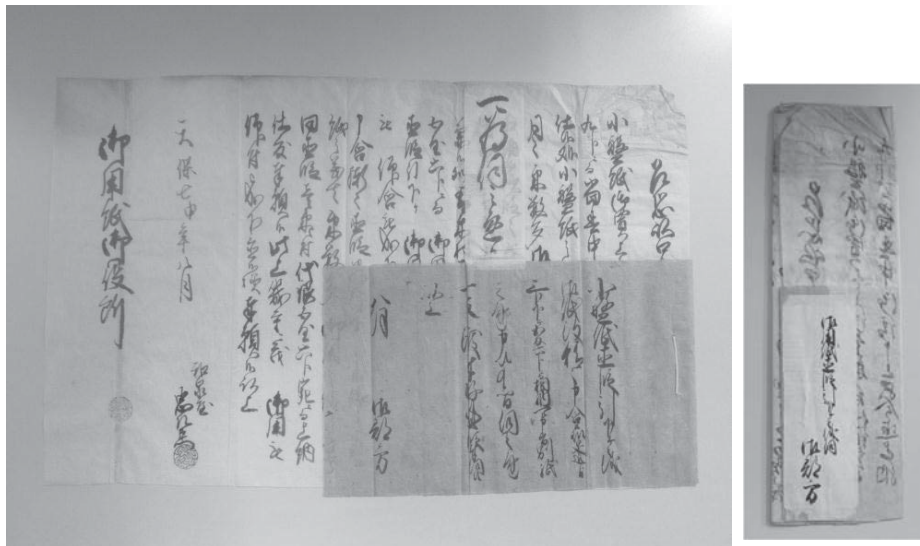


写真5 小盤紙値段引下一件書類綴 天保7年8月(む14)

凡 例

1 本目録は、『史料目録』第91集として「信濃国松代真田家文書（その12・完）」を収めた。

「信濃国真田家文書（その一）」は『史料館所蔵史料目録』第二十八集として、昭和53（1978）年に刊行した。その後、目録（その二）から目録（その11）まで刊行してきた。今年度は目録（その12・完）を刊行する。本目録には、付録として「受託史料 真田家文書」も収載した。これによって当館で収蔵している真田家文書全体の目録編成は終了することとなる。

2 目録の編成にあたっては文書群の管理・保存部局と作成部局に留意し、ISAD（G）（国際標準：記録記述の一般原則）の考え方も参考にしつつ、項目で編成する方式をとった。

3 真田家文書の未整理史料の把握のため現状調査した折りに、解題で述べるように箱番号としてアルファベットを付したが、これまでの刊行目録の番号付与の方法との整合性をはかり、かつデータ処理の統合性を保つために、本目録では、「H・I・T・U・V・W・X」をそれぞれ「ほ・ま・み・む・め・も・や」と置き換えた。加えて、目録（その二）から（その五）で未収載の史料は、当該目録の番号のままとした。付録として、真田家寄託の「真田家文書」を「寄」として収録した。

4 袋・こより紐などによる一括史料は、史料館へ譲渡後の仮整理時に一括されたと推定されるものも含め、すべて現状のまま一括掲載し、枝番号付与で物理的階層を示すこととした。一括内の個々の史料配列順も原則として現状通りとし、並び替えは行わなかった。一括史料に表題がない場合は、仮に全体表題を付与して（ ）内に記した。

5 史料 1 点ごとの記述は、①表題・作成等（表題、作成→宛所、備考）、②年代（作成年月日）、③形態・数量、④整理番号、の順に記載した。

表題は、本目録の大半を占める書付型史料の場合、原則として差出人＋文書名のかたちで付与した。表題の付与に当たり、原文書に柱書がある場合は表題の後に〔 〕で記した。また、柱書がない場合で端裏書など文書管理文言がある場合は、それを採用し、（端裏書）〔 〕と標記した。また、表題や柱書だけで不十分な場合は、さらに（ ）で内容を摘記した。表題などで、□・〔 〕が付されているのは、原史料が虫損などにより解読不能のためである。

作成・宛所で、- →、→ - と - を付しているのは、作成ないし宛所が不明であることを示している。

形態は、本目録の大半を占める書付型史料の場合、堅紙、折紙、堅切紙、横切紙、堅継紙、横切継紙、小切紙などと表記することで、料紙の使用法の違いを示した。冊子型史料の場合、半（半紙堅折判）、美（美濃紙堅折判）、美大（大美濃紙―大直紙―堅折判）横長半（半紙横折判）、横長美（美濃紙横折判）、横半半（半紙半載横折判）、横美半（美濃紙半載横折半）、などの略称によって原書の大略を示した。また絵図など大きいものは寸法をタテ×ヨコのようにcm単位で表記した。

なお、端裏書、印刻、包紙・封筒上書等については、特に必要と思われる場合に、必要な部分に限って記した。

6 本目録では史料が保管されてきた秩序に応じて史料番号を付与したため、目録上では史料が番号順および編年に並んでいない。そのため検索には不便をきたすので、史料の引用に際しては番号のほか掲載

頁も併記することをお願いしたい。

7 本目録は研究部の青木睦が担当し、太田弥保、佐藤有、志田達彦、高橋伸拓（以上 2008 年度）、榎本博、清水邦俊、鈴木直樹、種村威史、長谷川雅也（以上 2008 年度～2009 年度）、小田真裕、北村厚介、萩原拓己（以上 2009 年度）、三浦麻衣子、南隆哲、佐藤愛未（以上 2010 年度）、入口敦志、藤島綾の諸氏の協力を得た。特に、種村威史氏の尽力は大きい。

総目次

口絵

凡例

総目次

本文細目次	1
信濃国松代真田家文書目録（その12・完）解題	9
I 信濃国松代真田家文書目録（当館所蔵）	9
文書群記号	9
文書群名	9
年 代	9
数 量	9
入手の経路	9
真田家文書について	10
1 真田家と松代藩の歴史	10
2 真田家文書の管理と伝来	10
3 松代藩の職制について	16
4 収録文書群の整理と目録編成	16
5 個別文書群内の概要	18
II 真田家寄託 信濃国松代真田家文書目録解題	31
文書群記号	31
文書群名	31
年 代	31
数 量	31
入手の経路	31
真田家寄託 真田家文書について	31
1 真田家寄託文書の管理と伝来	31
2 収録文書群の整理と目録編成	31
3 個別文書群内の概要	32

[真田家文書関連文献一覧]	39
---------------	----

本文細目次〔文書群の構造〕

ほ文書群

1 真田家／家職／諸金銭勘定	45
2 藩政／勤役／供奉	47
3 藩政／家中／賞罰	47
4 藩政／家中／屋敷・地所	48
5 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調	48
6 藩政／諸職／監察方／諸願書・取調	50
7 藩政／諸職／民事掛／申上書・諸願書	51
8 藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・諸願書	52
9 藩政／財政／勘定所／諸用状	53
10 藩政／財政／勘定所／拝借掛	53
11 藩政／財政／勘定所／切米渡	54
12 藩政／財政／払方御金奉行／金銭請払	57
13 藩政／財政／払方御金奉行／諸事差引勘定	59
14 藩政／財政／奥向賄／拝借金	60
15 藩政／財政／御側御納戸／諸向御用	62
16 藩政／財政／甲府・奥羽出兵	66
17 藩政／財政／計政局・会計掛／金札・錢札・官札	67
18 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払	67
19 元松代庁／諸用状	68
20 その他	69

ま文書群

1 真田家／規式	70
2 真田家／江戸屋敷	70
3 真田家／江戸屋敷／屋敷替	71
4 真田家／道具・書目	71
5 真田家／家職／祝賀・献上	71
6 真田家／家職／諸金銭勘定	71
7 藩政／勤役／御手伝	72

8	藩政／役職／御目見	72
9	藩政／勤方／記録	72
10	藩政／家中／賞罰	72
11	藩政／家中／御賞・諸願	72
12	藩政／家中／屋敷・地所	74
13	藩政／諸役方／御留守居役	75
14	藩政／諸役方／水道役	75
15	藩政／郡方／寺社／参詣	75
16	藩政／郡方／村町方／諸願書・取調	75
17	藩政／郡方／災害／地震	76
18	藩政／甲府・奥羽出兵	77
19	藩政／諸職／職事掛／御賞等級調	77
20	藩政／諸職／神社郡政局・民事掛／諸願書・取調	77
21	藩政／諸職／公用人／評議書類	79
22	藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・願書	79
23	藩政／財政／郡奉行・御勝手元／諸用状	80
24	藩政／財政／勘定所／諸用状	81
25	藩政／財政／勘定所／内借掛	85
26	藩政／財政／御吟味役／拝借金	86
27	藩政／財政／奥向勘定	87
28	藩政／財政／御料理所	87
29	藩政／計政局・会計掛／借入・用達	87
30	藩政／財政／計政局・会計掛／給禄・手充	88
31	藩政／財政／計政局・会計掛／出張費	89
32	藩政／財政／計政局・会計掛／諸願書・取調	90
33	藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払	92
34	元松代庁／諸願書	94
35	その他	97

み文書群

1	藩政／諸役方／水道方／寺社参詣	98
2	藩政／諸役方／水道方／屋敷地改	100
3	藩政／諸役方／水道方／水道作事	113
4	藩政／諸職／神社郡政局／伝馬	116

5	藩政／財政／勘定所／諸用状	116
6	藩政／財政／勘定所／金銭請払	116
7	藩政／財政／元方御金奉行／課業上納金請払	117
8	藩政／財政／奥向賄	119
9	元松代庁／諸願書	119

む文書群

1	藩政／郡方／取調	121
2	藩政／財政／御勘定吟味／伺書・申上書	121
3	藩政／財政／御勘定吟味／諸願	121
4	藩政／財政／勘定所／諸用状	122
5	藩政／財政／勘定所／御馬飼料掛	122
6	藩政／財政／勘定所／金銭請払	122
7	藩政／財政／御吟味役／金銭請払	123
8	藩政／財政／払方御金奉行／金銭請払	125
9	藩政／財政／奥向勘定	126
10	藩政／財政／御側御納戸／金銭諸払	170
11	藩政／財政／御茶部屋／金銭諸払	173
12	藩政／財政／給禄・手充	180
13	藩政／財政／計政局・会計掛／藩債	181
14	藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状	182
15	藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払	184

め文書群

1	藩政／江戸屋敷／諸願	195
2	藩政／財政／元方御金奉行／預金	195
3	藩政／財政／払方御金奉行／拝借金	196
4	藩政／財政／勘定所／拝借金	214
5	藩政／財政／勘定所／御馬飼料	222
6	藩政／財政／御預所／借入・用達	222
7	藩政／財政／拝借金／諸役歎願	222
8	藩政／財政／計政局／拝借金	225
9	藩政／財政／計政局／用度方	228

も文書群

1 真田家／病氣・療養／湯治／幸教病氣一件	230
2 真田家／家職／諸金銭勘定	232
3 藩政／諸役方／留守居	232
4 藩政／郡方／郡奉行・御勝手元／	234
5 藩政／郡方／寺社／白鳥宮	235
6 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調	236
7 藩政／郡方／村町方／村々諸手当	240
8 藩政／郡方／山林	241
9 藩政／郡方／山林・虫倉山	245
10 藩政／甲府・奥羽出兵	248
11 藩政／諸職／神社郡政局・民事掛／諸願書・取調	248
12 藩政／諸職／計政局・会計掛／諸願書・取調	248
13 藩政／諸職／市政局／賈金穿鑿	249
14 藩政／財政／郡方代官	252
15 藩政／財政／郡方代官／種借	253
16 藩政／財政／勘定所／御用状	259
17 藩政／財政／勘定所／御馬飼料掛	265
18 藩政／財政／勘定所／穀類相場	267
19 藩政／財政／勘定所／諸願	268
20 藩政／財政／勘定所／諸金銭請払	269
21 藩政／財政／奥向／諸勘定	269
22 藩政／財政／甲府・奥羽出兵	269
23 藩政／財政／神社郡政局・民事掛／申上書・諸用状	270
24 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状	272
25 藩政／財政／計政局・会計掛／金札・錢札・官札	274
26 藩政／財政／計政局・会計掛／商法社札	278
27 藩政／財政／計政局・会計掛／諸向金銭上納	284
28 藩政／財政／計政局・会計掛／借入・用達	285
29 藩政／財政／兵政局・軍事局／諸願・伺書	286
30 元松代庁／諸用状	286
31 元松代庁／諸願書	288
32 元松代庁／新公債取扱	289

や文書群

1 真田家／家職／諸金銭勘定	291
2 藩政／郡方／寺社／拝借米金	291
3 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調	291
4 藩政／財政／元方御金奉行／金銭請取	296
5 藩政／財政／勘定所／拝借掛・内借掛	297
6 藩政／財政／勘定所／御救米掛	313
7 藩政／財政／勘定所／借入・用達	314
8 藩政／財政／奥向賄	315
9 藩政／財政／神社郡政局・民事掛／伺書	315
10 藩政／財政／計政局／借入・用達	315
11 元松代庁／諸用状	316

既刊目録未収載分

1 真田家／相続／慶応二年相続一件	317
2 真田家／参勤・上京／元治元年上京	317
3 真田家／規式／供立・行列	317
4 真田家／病気・療養／湯治／幸教病気一件	317
5 真田家／交際	318
6 真田家／奥向／奥方役人用状	318
7 真田家／文芸	318
8 真田家／道具・書目／御腰物	318
9 藩政／家中／維新褒賞	319
10 藩政／諸役方／郡奉行所	319
11 藩政／諸役方／水道方	319
12 藩政／諸役方／学校懸	320
13 藩政／郡方／災害／居宅焼失届	320
14 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調	320
15 藩政／郡方／宿方	321
16 藩政／諸職／職事掛	321
17 藩政／諸職／神社郡政局・民事掛／諸願書・取調	321
18 藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・諸願	322
19 藩政／諸職／兵政局・軍事局／武器拝借	323
20 藩政／諸職／監察局／申上書	323

21	藩政／財政／郡奉行・御勝手元／諸用状	323
22	藩政／財政／勘定所／御用状	323
23	藩政／財政／拝借金／繰廻金	324
24	藩政／財政／藩債処分／大坂御用場	324
25	藩政／財政／給禄・手充	324
26	藩政／財政／職事掛／諸用状	324
27	藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状	324

真田家寄託

1	真田家／法式	326
2	真田家／御手許	326
3	真田家／御用所	326
4	真田家／触出・御達	327
5	真田家／相続	327
6	真田家／養子	328
7	真田家／官位	328
8	真田家／勤役	328
9	真田家／官位－明治以降	329
10	真田家／職務	330
11	真田家／婚姻	330
12	真田家／誕生・元服	332
13	真田家／病氣・療養	332
14	真田家／忌日・精進日	333
15	真田家／交際	333
16	真田家／書状留	333
17	真田家／書状／直書	333
18	真田家／書状／書状一括	334
19	真田家／書状／献上文書	335
20	真田家／奥向	336
21	真田家／文芸／歌道	337
22	真田家／文芸／香道	337
23	真田家／文芸／諸芸	337
24	真田家／文芸／歌道・諸芸一括	338
25	真田家／文芸／書画一括	346

26	真田家／文芸／写本・書籍一括	346
27	真田家／文芸／写本・書籍	349
28	真田家／文芸／写真	352
29	真田家／藩政／領内取調	352
30	真田家／藩政／諸役	352
31	真田家／藩政／職制	353
32	真田家／藩政／実録	354
33	真田家／藩政／日記-家老	354
34	真田家／藩政／日記-御目付	354
35	真田家／藩政／日記-水道方	354
36	真田家／藩政／日記-書拔・繰出	354
37	真田家／藩政／日記-諸職	355
38	真田家／藩政／郡方	355
39	真田家／藩政／財政	356
40	真田家／藩政／諸職／理事	356
41	真田家／藩政／諸職	357
42	真田家／藩政／家中	357
43	真田家／家政／家範	357
44	真田家／家政／家政会議・評議員会議	357
45	真田家／家職／家職雇用	358
46	真田家／家職／道具・文書管理	358
47	真田家／家職／元松代庁	360
48	真田家／家職／元松代庁-布告	361
49	真田家／家職／旧臣給禄・御賞	361
50	真田家／家職／諸願書	362
51	真田家／家職／諸書状・書類	363
52	真田家／家職／東京本邸	364
53	真田家／家職／貸費生	364
54	真田家／家職／社寺	364
55	真田家／家職／日記-御家	366
56	真田家／家職／日記-家扶	366
57	真田家／家職／日記-東京本邸	368
58	真田家／家職／日記-真田家別邸	369
59	真田家／家職／松代滞在	370

60	真田家／家職／會計総括簿	371
61	真田家／家職／東京本邸惣勘定	372
62	真田家／家職／東京経済誌	373
63	真田家／家職／年中勘定帳類	373
64	真田家／家職／予算・決算書類	375
65	真田家／家職／會計諸帳簿	376
66	真田家／家職／地所・家屋	377
67	真田家／家職／諸金銭請払	378
68	真田家／家職／祝賀・献上	378
69	真田家／家職／葬儀・法事	379
70	真田家／家職／真田家書状類一括	379
71	真田家／家職／真田家寄付・褒賞関係一括	385
72	真田家／家職／真田家會計書類一括	390
73	真田家／家職／藩政文書・図面類一括	395
74	真田家／家職／藩政諸評議書類一括	398
75	真田家／家職／藩政書状類一括	417
76	真田家／家職／藩政褒賞関係書類一括	420
77	真田家／家職／家職諸書類一括	421
78	真田家／他家文書／信濃国更科郡今井村文書	452

Ⅰ 信濃国松代真田家文書目録(当館所蔵)

文書群記号 26A

文書群名 信濃国松代真田家文書 「ほ・ま・み・む・め・も・や」「既刊目録未収載分」の部

年 代 宝永 3（1706）年～明治 23（1890）年

数 量 5,278 点

今年度の目録刊行によって収蔵史料と真田家寄託分を含めた全体の目録化が完成するので、これまでの目録（その 1 ～ 11）の解題を基本とし、それに真田家寄託文書の再整理により得られた知見を加えて本目録の解題をまとめることとする。

なお、既刊分の所蔵史料目録については、順次 PDF で解題と目録本文ともに公開している（現在、『史料館所蔵史料目録』第 1 ～ 90 集を公開中）。史料館旧蔵の資料群を中心とした当館収蔵歴史資料の概要データベース及び史料目録データベースも合わせて利用頂きたい。

- ・史料目録 PDF 版 TOP <http://www.nijl.ac.jp/info/mokuroku.html>
- ・収蔵歴史アーカイブズデータベース TOP <http://base5.nijl.ac.jp/~archicol/>

入手の経路

本目録は、当館所蔵の信濃国松代真田家文書（文書群記号 26 A）のうち、後続の史料目録の収録対象として収蔵庫の壁木製棚やスチール棚に別置されていた文書群の現状を把握するため行った仮整理の段階で、「ほ(H)・ま(I)・み(T)・む(U)・め(V)・も(W)・や(X)・既刊目録未収載分」の記号が付された書付型史料群を収録したものである。

真田家文書の後続の史料目録刊行のための現状調査した際、後述するように箱番号としてアルファベットを付したが、これまでの刊行目録の番号付与の方法との整合性をはかり、かつデータ処理の統合性を保つために、本目録では、「H・I・T・U・V・W・X」を「ほ・ま・み・む・め・も・や」と置き換えた。既刊目録未収載分の場合は、すでに記号・番号ともに付与されていたのでそのままとした。

真田家文書の入手経路については『信濃国松代真田家文書』（その一）～（その六）、とくに（その一）と本目録の解題を参照されたい。

真田家文書について

1 真田家と松代藩の歴史

真田家と松代藩の歴史については、『史料館所蔵史料目録 第二十八集（信濃国松代真田家文書（その一）』から『目録（その 8）』の解題、とくに（その一）（その二）の解題を参照されたい。さらに、解題末に掲載した、『長野市誌』『長野県史』などの地方史誌類も参照願いたい。

2 真田家文書の管理と伝来

真田家文書の文書管理や伝来については、後述するようにこれまで種々論じられてきた。『真田家文書目録』（その一）（その二）の解題で、その段階までに明らかとなっていた事実を整理している。これまで刊行された目録（その 8）までは、この解題に依拠してきた。その後、真田家文書の管理と伝来についての調査・研究が進み、目録（その 11）の段階で、その後の調査・研究成果をも取り入れ、真田家文書の管理と伝来についてまとめられた。以下の解題は、真田家寄託文書の再整理により得られた知見を加えたものである。以下、引用史料の目録表題および引用文献は略称表記とした〔引用史料は（史料 No. ○）、引用文献は（著者名または書名、発行年）〕ので、解題末の関連文献一覧を参照されたい。

松代藩文書の管理・保存

松代藩の役方の日記や文書類はそれぞれの部局で作成され、管理保管されてきている。具体例として、勘定所の在り方をみておきたい。御勘定所元々役は、嘉永 5(1852) 年の上申書において保有の「古書類」を挙げている（古川貞雄、2000）。この中にある「御勘定所元々御役所日記」（宝暦 13 年～嘉永 4 年）は現在当館所蔵史料（史料 No. い 1216 ～ 1302）であり、87 冊である。一定の年限が経過すると「古書類」として長期保存・永年保存することになっていたようである。これらの史料は、御勘定所元々の執務場所に近い「御勘定所御帳蔵」で保管されたと考えられる。「御勘定所御帳蔵」は、「松代御蔵屋鋪絵図」という名称が付された史料に記載されている。この勘定所（御蔵屋敷）は、松代城東側の堀のさらに北東の場所にある「蔵屋敷」にあり（『松代城絵図集成』9、66 頁、目録 90-その 11）、その北は筑摩川（千曲川）の河川敷につながり、東と南は侍屋敷である。さらに、当館蔵の「御勘定所図面」（史料 No. し 10）に、勘定所の敷地内の少し離れた場所に飯米蔵と棟続きで「御日記土蔵」とあり、先の「御帳蔵」または「御日記土蔵」と呼称されていたことが確認される。その敷地内に「御用紙御蔵」などが配置されている。明和元(1764)年、御蔵屋敷内の御白屋・御紙蔵・御真木蔵が焼失している（降幡浩樹、1996）が、日記の現存状況から火災の難を逃れてたことがわかる。

次に、藩の藩財政組織の基幹に御金奉行所が位する御金奉行所には収入を扱う元方御金奉行と支払いを担当する払方御金奉行（払方役所）の二つの部署についてみておきたい。種村威史氏（目録 90-その 11、種村補説）によれば、宝暦 10 年の「御本丸御絵図」（『松代城絵図集成』52 頁）では、「納戸方御金方」は本丸の一階の南東部分にあり、この一階部分には、殿様の寝所や居間、それを取り囲むように「小納戸」「近習方」など側方の諸詰所があり、さらに「御用部屋」などの重要な役職の勤務場所がある。そこ

から大広間を隔てた南東部の角に設けられており、その近くに大きな「御土蔵」や「辰巳櫓」がみえる。明和 4 年に、本丸機能の政務財務部門が「花の丸御殿」に移り、御金方役所は「台所続二階」に配置されることとなった。

弘方御金奉行は、明治 2(1869)年頃の「御役方起原并勤方沿革申上控」において、保管している「御日記其外品々御帳類」を列挙している(目録 90-その 11、種村補説)。「御腰物 一吉光御脇差、一御腰物櫃一棹、一御重代其外御腰物并御小道具 右は御元方一同御預仕候、取扱方万端御元方より書上仕候付不申上候」とあり、弘方の職掌は御金の出納管理以外に、弘方・元方一同で、吉光脇差ほかの真田家重代の腰物とともに古文書も管理していることがわかる。御金奉行は明治 2 年の職制改正により計政局司金となる。嘉永 6 年 5 月 1 日花の丸より出火、「御住居向残らず焼失。御宝蔵・御土蔵七棟・御茶屋四ヵ所・堀重・御門・腰掛・その他、諸番所相残る。九ツ時頃鎮火。出火の節、諸書類は桜の馬場へ取出し、御用部屋日記蔵へ一同差置く。吉光の長持はお城南広場、学校御普請小屋へ御幕囲い、差置く」(「監察方日記」、降幡浩樹、1996)。「吉光の長持」とともに古文書が難を逃れた状況が記されている。なお、ここには、重代の宝物とともに「諸書類」と「御用部屋日記」を記していることに注目したい。ほかの文書はというと、例えば元方御金奉行の管理していた「課業内預金銭請弘御元帳」は、焼失したために、新規に作成したことが記されている(史料 No.い 2530)。また、余慶方の「課業之方御弘切証文留帳」も焼失している(史料 No.い 2428)。

御金奉行は明治 2 年の職制改正により計政局司金となる。その「吉光の長持」等の管理は廃藩置県まで継続し、明治 4 年 12 月に司金より真田家または家職に引き継がれたと考えられる。その引き渡しの目録は、「御腰物御元帳外御品御引渡帳」(史料 No.寄 119)、「御腰物引渡帳 式番」「御腰物引渡帳 三番」「御腰物引渡帳 四番・五番」「御腰物引渡帳 六番」「御腰物引渡帳 七番・八番」(史料 No.寄 120)であり、道具類と古文書の出納の際の台帳となっている。

各役方で個別に管理保管された文書記録は、それを引き継いだ文書記録専管部署は、「御日記御土蔵」などで保存管理していたようである。場所は三の丸で、花之丸御殿へつながる中御門の番所横で、「御武具御土蔵」の西側の 4 間と 2 間の広さの土蔵である(嘉永 7 年「信州海津城絵図面」『松代城絵図集成』96 頁、30 頁略図)。この中御門近くには表御納戸土蔵もある。「御日記御土蔵」の管理台帳の全体は不明であるが、その一つが「日記并諸帳面入注文」であろう(藩の文書管理、2008)。文久 2 年 2 月 22 日、三の丸の中御門近くの「普請屋根細工小屋辺出火。役所向・材木小屋残らず焼失」(降幡浩樹、1996)した。しかし、「御日記御土蔵」については記されていない。

松代藩の御用紙と記録作成

では、松代藩での文書作成の紙はどのようなものであったのだろうか。史料閲覧の参考のため、松代藩の御用紙と紙の使用例に事例の一端を紹介しておきたい。

信濃国水内郡の主要な和紙の産地は裾花川・土尻川・犀川峡谷で、そこで漉かれた和紙は山中紙と呼ばれていた(降旗浩樹、2005 / 信濃の和紙、2000)。降旗浩樹氏によると、元禄 2(1689)年には紙運上として松代藩に納める紙を漉いており、漉かれた紙は松代藩で使う御用紙が中心であったとしている。

本目録の口絵に掲載した紙漉のための資金を貸付た史料では、漉いた紙の現物を納めていたことを示

している(史料 No.や 12)。

松代藩で使用している紙の種類は、天明 4(1784)年における郡奉行からの御用紙方宛の御用紙買上値段をみると、奉書紙／並杉原紙／上粘入紙／並粘入紙／中太田紙／上端不端切紙／下端不切紙／小盤紙／上小杉／新中小杉／新下小杉があげられている(松代藩災害史料 3)。

文化 13(1816)年における御用紙、いわゆる記録紙の種類は、厚漉奉書紙／薄漉奉書紙／並杉原紙／上粘入紙／並粘入紙／並小右衛門紙／上不端切紙／下不端切紙／同切之方／小盤紙／小盤紙切之方／黄小盤紙／並小盤紙／白半紙／黒半紙／廣漉返紙／単漉返紙／中太田紙／上芳野小杉／本中小杉／中小杉／下小杉／上小杉／芳野小杉／並小杉／廣漉返・端吹紙／黒口漉返紙(史料 No.あ 3515、信濃の和紙、2000)とあり、上質の奉書紙とともに漉返紙、いわゆる宿紙が含まれている。

当館所蔵松代藩の文書量の膨大さとその中に占める反古紙や宿紙の多さは特徴的である。

その反古紙の使用の例を勘定所元ヰ日記にみると、天明 3(1783)年、御賄所諸帳面に反古紙を使用することについて詮議した結果、「土蔵玄米月々請払元帳并品々御臨時渡元帳等」厚反古ですますとして、御賄役の御用紙受け取り分を反古紙の分を 3 束 6 帖増しとし白紙 9 帖を減ずるとある。ここでの反古とは、文字面を裏にして紙背を再利用することのようである。引き続き、勘定所への御用当番家老からの寛政 9(1797)年より 3 年間の「厳敷御儉約」の申達が出されている(松代藩災害史料 6)。寛政 11(1799)年には願書の用紙について、丈の長い一紙に文字大きく荒い認め方を改め、小奉書紙位に文字を小振にせよという申達も出される。儉約令を受けて、同年、反古紙の使用に関して、勘定所元ヰから、勘定所諸帳面を「反古御入用」として御用紙方に渡していたが、元帳類が多くあるのが不都合であるため、反古紙の提供の仕方を改めたいと伺いを出している(松代藩災害史料 6)。元帳の廃棄を促しているのである。

反古紙を使用しての儉約にあたり、勘定所元ヰ日記の年頭にその年の郡方の反古紙使用量を示している。文政 13(1830 年)年には、反古 1850 枚、内訳として当用役所日記などに 1005 枚とある(松代藩災害史料 14)。

他の部署でも同様であり、種村威史(目録 90-その 11、種村補説)氏は、御金奉行の安永年間以前の書類は、古い職務書類として「明和年中より安永年中迄伺之上取崩、反古御用ニ相立残置候」として継続的な廃棄・保存の実態を明らかにしている。

三の丸には、普請方、細工所の中に「紙縫」が設けられている(史料 No.し 484、『松代城絵図集成』95 頁)。具体的な実務は不明だが、反古紙のリサイクルに関与していたと推測されよう。

松代藩庁文書に宿紙・反古紙が多いのは、藩の儉約政策を受けてのことであることが窺える。

真田家文書の伝来

信濃国松代藩の文書群は、現在、真田宝物館(長野市松代町)と国文学研究資料館(所蔵分・真田家寄託分)に分割されて収蔵されている。

明治 4 年 7 月に廃藩置県が行われ、松代藩も松代県となった。同年 8 月、兵部省は上田城内に東京鎮台第二分営を置き、城郭・城地の接収手続きを進める。松代城も接収されることになり、これまでの城地内建物から収蔵物を移動しなければならなくなる。政事所の文書記録は、「明治四年辛未廃藩ノ当時、

御城地陸軍省へ御引渡ニ付、御私有御土蔵等御取払ニ付、御政事所御日記御土蔵日記、一時長国寺経蔵へ殊皆御仕舞相成候処、明治五年五月十五日長国寺本堂屋根ヨリ午後二時発火、本堂・庫裏・山門・禅堂・衆寮・経蔵・御霊屋・別当五院トモ全焼ニ付、御政事所御記録殊皆焼失」(史料 No. 寄託 2)の記述から全て焼失したことが明らかである。他の部局の文書記録については不明だが、前述の通り司金管轄の吉光脇差ほかの真田家重代の腰物類は真田家への引継が確認できる。

しかし、その後、明治 4 年 11 月、信濃国内諸県の統廃合があり、松代はじめ飯山・須坂・上田・小諸・岩村田・椎谷(一部)の 7 県は廃止となり、長野県に統合された。松代には長野県松代庁が置かれたが、明治 5 年 2 月に松代庁のすべてを長野県庁に移管し、閉庁となった。松代県村々はこのような統治体制の改編にともなって長野県に引き継がれることとなった(『長野市誌歴史編近代一』)。松代県から長野県への引継書類の記録は、前出の(『藩の文書管理』、2008)に収録されている。

明治 6 年松代城地の払い下げの際、9 代藩主幸教の母貞松院の居宅として元治元年に建築された新御殿(真田別邸、現真田邸)は払い下げの対象から外された。その新御殿には、真田幸民が慶応 2(1866)年 3 月家督相続し、同年 3 月 9 日真田幸教致仕、慶応 2(1866)10 月 15 日に幸教は隠居して大御前様として新御殿に移る。そして明治 2(1869)年 10 月 18 日病没した。貞松院隠居所としての新御殿使用期間は、元治元年 10 月 15 日から慶応 1 年 1 月 26 日の 100 日間、慶応 4(1868)年には花の丸に入り、明治 6 年 10 月 9 日に花の丸御殿が全焼したことで新御殿へ移ることとなる。

新御殿にある蔵に松代城と花の丸御殿で収蔵していた道具類を収納することとなる(浅倉有子、2008)。新御殿には 6 棟の土蔵が存在し、その後に「七番」土蔵が増設される。藩侯の文書記録と、松代藩庁管理の文書記録のうち松代県・長野県に引き継がれない文書記録は、元知事真田家のもとにおかれ、新御殿(通称、真田家別邸)内の蔵に収蔵されたものと推測される。

明治 13・14 年、これらの蔵の調査が実施されており、(原田和彦、2008)に詳しい。明治 13 年に中央政府の歴史書編纂事業が開始され、埴科郡役所は旧記録類の所在を真田家に依頼した。その対応として、家扶が蔵内を調査している。また、同年の 9 月 1 日から 10 月 31 日まで「民事方書類取調」が行われている。これは「旧民事方諸帳簿類」と「民事方日記」を抜き出す作業であり、この調査を旧松代藩少参事である矢野唯見らが担当した。

この作業時の記録である「御蔵内日記書類下調」は、「御蔵内日記書類下調 巻」を始めとして堅帳 2 冊、横切継紙 1 通、横帳 1 冊、2 綴で 12 点が紙綴で一括されたものであり、真田家寄託史料に現存する(寄 627)。ここに記載された冊子型史料名と当館所蔵史料との照合を行うと大半が一致する(南隆哲、2011)。明治 14 年段階の「御蔵内日記書類下調」収載史料群が当館へ譲渡されたことが明らかとなった。

その「御蔵内日記書類下調」(12 点分)に記載された見出項目の概略を以下に示しておく。

- ・イ印 川中嶋拾万石御勘定相極御目録一紙 63 筆 享保 6 年～明治 3 年
- ・ロ印 ノ部五箱アリ 御高帳 121 筆 寛延 3 年～明治 4 年
- ・ハ印 村々検地有地改冲附野帳類 105 筆 元禄 5 年～弘化 4 年
- ・ニ印 巻式 式箱ニ入ル 枋方日記書類并産物方同断 54 筆 文化 10 年～明治 2 年
- ・ホ印 是ハ郡奉行御勝手元締等往古ヨリ之諸書類多分ニ而、殊ニ筆筭引出シ多ク有之、一々名目見調書記不行届

其儘ニ致し候事

・ヘ印 郡方日記 但一二三ノ印三箱アリ 但三印ノ下段ニ職方公事方并町奉行日記アリ 149 筆 宝暦 4 年～明治 2 年、(郡方日記) 68 筆 宝暦 4 年～元治 2 年、「公事方」 8 筆 寛政 3 年～弘化元年、職方公事方 73 筆 明和 7 年～明治 2 年

・ト印 御勘定所元ヅ日記并書類 一二 式箱アリ 124 筆 宝暦 11 年～明治 4 年

・チ印 村々絵図面 216 筆

・リ印 御金掛り書類諸帳面等 △印リ印ノ部ニかへ候事別帳 58 筆 明和 9 年～明治 4 年

・ヌ印 堂宮書上帳 (朱筆)「何連も大虫食ニ付引合セズ」 10 筆

・ル印 掛り向々取纏り無之老式帳宛有之候ニ付取交ノロ (朱書)「後ノニ印印ノ部此内へ加ヘル」 126 筆 元禄 5 年～明治 13 年

・ヲ印 御代官書類并下段(抹消)「雑書アリ」向入交書類アリ 19 筆 天明元年～明治 3 年

・ワ印 御一新前ヨリ助郷并御一新後駅通会議等之書類 29 筆 嘉永 2 年～明治 4 年

・カ印 明治五壬申年長野県へ御引継書類 (朱書)「ロ印書帳箱之内ニ入」 34 筆

・ヨ印 信濃大絵図 老枚

・タ印 惣改高帳と有之处はハ一統相唱フル寛文年中高書上水帳ナリ、其外往古ヨリ之水帳并水帳未此印之内ニアリ 207 筆 寛文 6 年～天保 11 年

・レ印 御武具方日記類

・ソ印 御納戸方日記書類 一ヨリ七マテ

・表御納戸 91 筆 天明元年～明治 3 年 p.1 ～ 8

・御金方

・御余慶方 20 筆 文政 8 年～明治 2 年、16 筆 安政 7 年～明治 2 年、47 筆 安政 4 年～明治 3 年 61 筆 享保 2 年～明治 2 年

・司金 38 筆 明治 2 年～明治 5 年

・払方 19 筆 嘉永 7 年～ 明治元年

・御金掛り書類 リ印ノ末ニ入 40 筆 慶応 2 年～明治 5 年

・御用部屋書類 表御用人書類 69 筆 文化 4 年～明治 4 年

大正期の文書管理について、大正 7 年(1918)7月28日付で作成された「引継書」(史料 No.寄 465)によってみておきたい。この引継書は、従来新御殿所蔵の道具類の管理を担当していた前家令・河原理助から新家扶成澤九十九に宛に出された文書である。同年 8 月から「御在庫品整理委員会」によって、真田家伝来の大名道具の全面的な整理事業が開始される。先の「引継書」は、5 名の整理委員会のメンバーの一人である家扶・成澤九十九に提出したものである。

この引継書には、「旧御藩御日記其外書類入記」として藩庁文書の見録名が記載されている。現在この「旧御藩御日記其外書類入記」は確認されていない。なお、前述した「御蔵内日記書類下調」は、文書紙背を用いた簡易な綴の冊子であり、引継目録としての体裁を整えていない。この「御蔵内日記書類下調」を元として浄書したのが、「旧御藩御日記其外書類入記」と推定される。

大正 7(1918)年の再整理時記録には、筆筒など容器の中に収納されていた多数の書類と、二番倉の階下全部に置かれていた図書と民政上累年の書留帳簿類があったことが記されている。

この他の目録として、大正 9 年の家扶による「日記目録」(史料 No.寄 184)・「諸記録目録」(史料 No.寄 185)がある。「日記目録」の収録史料は江戸日記や御国日記等であり、「諸記録目録」は藩侯の御手許文書などである。その記載の史料名と「御蔵内日記書類下調」の史料名は重複していない。「日記目録」・「諸記録目録」記載の史料名は当館所蔵史料に含まれるものが多く確認できる。

このことから、明治 14 年段階の「御蔵内日記書類下調」収載史料群と大正 9 年の「日記目録」・「諸記録目録」記載の史料が文部省史料館へ譲渡されたことが明らかとなった。

昭和期の管理状況について、降幡浩樹氏(降幡浩樹、1997)は、次のように整理している。

「自昭和十一年十月至同年十二月本邸御荷物蔵置書松代別邸」(史料 No.寄 465)の史料は、昭和 11 年 10 月 15 日を最初に同年の 12 月までに東京赤坂六本木の本邸(明治中期に芝罘平町の自宅から六本木に転居、その後昭和 30 年代に世田谷区宮坂に移転)から 7 回に分けて、道具類と文書・書籍を松代に送った記録である。この移動は、東京六本木にあった本宅の改修のために土蔵内部の整理が求められ、松代に送る必要にせまられたと考えられる。この記録により、江戸藩邸および東京における真田家文書と、松代で作成された真田家文書とが一緒になったことが確認できる。記録と照合すると当時二番土蔵に運ばれた「和宮下向御警衛一件(文久元年御留守居方)一冊」は、現在国文学研究資料館の所蔵であり、五番土蔵に運ばれた「戊辰戦役関係記録一箱・書箱表蓋に要書とあり」は、現在真田宝物館に保管されている。このことから、江戸藩邸および明治以降東京で作成された文書の一部が、松代別邸の蔵間で混交され、当館と真田宝物館に別れたことになる。なお、昭和 11 年の東京からの搬入された物を合わせると二番蔵は相当量の収納量になったと想像される。真田家文書の文部省史料館への譲渡は昭和 26 年初めである。当時、点数は 3 万点を越えるといわれ、移動には鉄道貨車一輛を用いた相当量の史料群である。真田家の家扶をしていた永井久子氏の聞き取り調査によると、昭和 26 年に運び出された史料群は七番土蔵の史料であるという。その当時の七番は、真田家が私有していた蔵であり、現在は松代商工会議所に貸し出されている。また、五番土蔵は、昭和 41 年の長野市への寄贈以降、昭和 61 年までは真田家が私用として使っていた。昭和 60 年 10 月より国庫補助事業として一番、四番、五番土蔵の解体修理が行われる際、長持等の史料を搬出し、東京の世田谷区宮坂の自宅および松代の自宅に移動した。その真田家所有の史料が、昭和 63 年度に史料館(国文学研究資料館)に寄託された史料群と言うことになる。

元は、当館分も真田家寄託分も真田邸の土蔵に収められていたということである。

以上のような経緯で、戦後、真田家文書の一部が文部省史料館の所蔵史料となった。目録を刊行するための整理では、まず簿冊型史料と一紙型の書付・絵図とに形態分けをしている。この方法は、史料館の整理方針とも相異し、利用にも不便であることは認識しつつも、多量の史料を少しでも早く目録化して一般の利用に供するための例外的な措置として採用したものだとして断っている(目録 28-その 1)。とはいっても、「御蔵内日記書類下調」調査時から、冊子型史料が多くを占め、書付など諸書類が何かに詰められている状態であったと想像される。ならば、受入当時、大きく仕分けすることなく、形態分けが行いやすかったともいえよう。

なお、旧真田家別邸に残された史料は、その後、長野市に寄贈となった。現在、真田宝物館で管理・保存されている真田家文書については、原田和彦氏の諸論考を参照されたい。

3 松代藩の職制

松代藩の明治以前における職制及び部局の機能については、(目録 90-その 11)においてまとめた「松代藩職制図」を参考にしていきたい。

慶応 4(1868)年閏 4 月に府県制が制定され、執政、参政、公儀人を設けた。松代藩は明治 2 年 6 月 24 日に版籍奉還し、明治 2(1869)年 12 月、松代藩での府県藩制度の新しい職制を制定した。構成は、政事所・神社郡政局・主計局・市政局・学政局・兵政局・監察局の 6 局である。次いで明治 3(1870)年 9 月、政府はまた藩制を改めた。松代藩は、藩庁に職事掛・民事掛・会計掛・監督方・議事局・学校・軍事局・兵隊の職をおいた。職制制定から明治 4 年 7 月 14 日の廃藩置県までの 2 年余の短期間ではあるが、史料に頻出する職名である。

この職制改正により、御蔵屋敷が勤務部署である御蔵方所管の郡奉行・御勝手元、代官・勘定元、勘定役などの民政・財政部局は神社郡政局と計政局に移行し、花の丸御殿が勤務部署の納戸三役(元方御金奉行・払方御金奉行・納戸役)は計政局へと引き継がれる(目録 90-その 11、種村補説)。なお、「勘定所図面」(史料 No.し 10)の「司金仮局」「用度属仮寮」の貼紙があり、勘定所の場所が計政局へと移行したことを知ることができる。また、町奉行は市政局へ、御吟味役や目付が監察局に移行したようである。

本目録での個別文書群内の編成の大区分けでは、廃藩置県までを「藩政」としてくくり、それ以降を「元松代庁」とした。

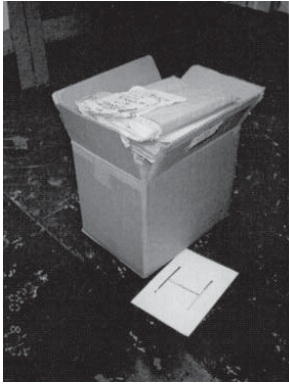
4 収録文書群の整理と目録編成

真田家文書全体の構造と整理経過ならびに目録編成の方針については、(目録 28-その 1)～(目録 87-その 8)、(目録 89-その 10)の解題を参照されたい。以下では、本目録に収録した「ほ(H)・ま(I)・み(T)・む(U)・め(V)・も(W)・や(X)・既刊目録未収載分」の部に限定して記すことにする(以下、仮番号の(H)・(I)・(T)・(U)・(V)・(W)・(X)を省略する)。

史料館では、印刷目録を 6 冊刊行した段階で、なお膨大な未整理史料があったため、平成 12 年度に、残存史料状況を把握し、目録編成の方向性を探るため、概要調査を実施した(真田家未整理史料調査、2001)。この段階で、未整理史料は、品川区にあった旧北館収蔵庫の 2 階前室(棚 3・箱 2)、2 階奥室側壁に棚(箱 11・籠)に置かれており、全部で 34 箱(文書箱 25・衣装箱 7・ダンボール箱 2)に収納されていた。

このとき、棚や衣装箱など保存単位ごとに番号・記号を付け、史料配架現状のスケッチや概要調査が行われている。この概要調査のとき便宜的に付されたのが A～N の記号である。未整理史料といっても、一部仮整理済みで内容的にまとまっているものがあり、一紙書付型史料のみでなく、簿冊型史料も未整理史料の中に混在している。

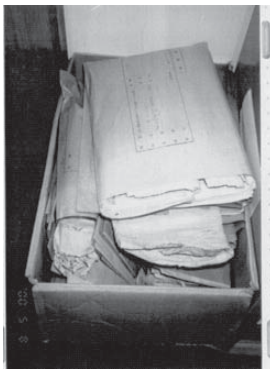
本目録に収録した「ほ・ま・み・む・め・も・や」は、以下の状態にあった。



「ほ」の元の状態



「ま」の元の状態



「も」の元の状態



「み・む・め」の元の状態



「や」の元の状態

- ・2 階奥室北壁面木製棚上の柳行李((目録 90-その 11 の「へ」)の上の段ボール箱が「ほ」である。
- ・2 階奥室北壁面木製棚上の柳行李((目録 90-その 11 のへ)の下「そ」の右横の段ボール箱が「ま」である。
- ・2 階前室西壁面スチール棚(6 棚)の上から 3・4 段目が「み」、5 段目「む」、最下 6 段目「め」がクラフト整理封筒に入れられておかれていた。1・2 段目に(目録 89-その 10)に収録した「と・な・に・ぬ」があった。
- ・2 階前室西壁面スチール棚の左横の段ボール箱が「も」である。
- ・2 階前室西壁面スチール棚の上の赤黒金唐革紙張木箱が「や」である。

真田家文書は、文部省史料館に収蔵されたのち、冊子型文書と書付型文書に大別され、冊子型文書のほとんどが(目録 28-その 1)に収録され、書付型文書は作成部局や文書内容を勘案しながら大まかな仮整理を行いつつ、目録刊行に向けて本整理を進め、平成 5(1993)年に(目録 59-その 6)を刊行するに至っ

た。この刊行の過程で、内容からみて別編成にするのが望ましいと判断された文書を旧収蔵庫北館 2 階の前室と奥室北壁面の棚や段ボール箱に仮置きしたものの一部が「ほ～や」である。目録刊行の整理時に別編成にするために別置きするにあたり、クラフト整理封筒に作成部局や文書内容に関する注記を書き入れたものがほとんどで、ある程度の内容上のまとまりで袋に入れられていた。但し、藩庁での作成部局あるいは保管部局を特定できる文書は多くはない。

目録編成は本来、アーカイブズ学の原則に従い、各文書の保管部局を確定した上で、組織構造に対応した文書群体系を示す編成にする必要がある。「ほ～や」の部の文書群の場合、保管部局を明確に確認できず、内容でのまとまりで収納されている場合が多く、かえって文書保管部局を判りにくくしてしまっている面があった。さらに、内容的に類似した文書を紙綴で括ったり綴じたりしている事例がかなりある。(目録 88-その 9) 解題の「整理の歴史」で述べられているように、史料館で新たに作ったまとまりであるが、そのまとまりをそのままに番号を付与して整理をすることとした。

もともと関連文書を一括保存していた、いわゆる保存の原形もある程度は残っていることから、最終保存部局を推定できる場合もある。保管部局を特定するため、作成者と宛先に関して(真田家家中明細書)で検索し、役職を推定した。その結果、ある程度原保管部局をつかむことができた。加えて、「収蔵歴史アーカイブズデータベース」にアップ準備段階にある(目録 28-その 1)～(目録 87-その 8)のデータを用いての表題や人名検索を行って精度を高めた。

本目録の編成は、収録した文書の差出人(作成役局)・宛名(受理役局)、さらに文書伝達経路や取扱われている事案を基準に行った。

まず、前述したように各「ほ・ま・み・む・め・も・や・既刊目録未収載分」と記号を付された箱単位に区分けし、第一編成を「真田家」「藩政」「元松代庁」とした。これは(目録 28-その 1)以降、続刊の目録も概ねこの編成に準拠していることとの整合性をとったためである。なお、保管部局を重視し、各文書が取り扱う事案の内容と関係組織の両方を勘案したため、第一編成の下位層の一部を変えて編成を行うこととした。

5 個別文書群内の概要

以下、「ほ・ま・み・む・め・も・や・既刊目録未収載分」の各まとまり単位に区分けし配列した。ここでは、「真田家」「藩政」「元松代庁」の三つの編成項目を立て、その編成の中での概要を記述する。

なお、少量の場合については目録本文を参照されたい。各項目に収録している点数と年の幅を示した。

ほ文書群

年 代 宝永 5 年(1708)8 月～明治 23 年(1890)4 月

数 量 518 点

1 真田家／家職／諸金銭勘定 64 点 明治 2 年(1869)9 月～明治 3 年(1870)8 月

真田家東京邸における金銭支払に関する証書類。

2 藩政／勤役／供奉 1 点 未詳

供奉に関する家中名面書。

- 3 藩政／家中／賞罰 17 点 天明元年(1781)4 月～明治 3 年(1870)2 月
家中の賞罰に関する評議の内、天明元(1781)年の宰領用状紛失に関わる評議書類、明治 3(1870)年の家中咎人の取計についての「御咎之記」。賞与に関する履歴綴も含む。
- 4 藩政／家中／屋敷・地所 2 点 天保 6 年(1835)3 月
家中の屋敷拝領など。
- 5 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調 31 点 天保 7 年(1836)2 月～慶応 2 年(1866)7 月
郡奉行所・代官管轄の領内の村と役所との間の願書ならびに役所内で取り交わした文書で村町方の事案を扱っているものを配列した。弘化 2(1845)年矢代村・下横田村の句合会の差止に関する取調がまとまっている。
- 6 藩政／諸局／監察方／諸願書・取調 23 点 明治 3 年(1870)6 月～明治 3 年(1870)11 月
明治 3(1870)年、監察局大監察祢津神平(元御目付)が審議した市村渡船場一件など
- 7 藩政／諸局／民事掛／申上書・諸願書 13 点 明治 4 年(1871)1 月～明治 4 年(1871)9 月
明治 4(1871)年、民事掛管轄の領内の村との間の願書、林境界取調に関する歎願書類など。
- 8 藩政／諸局／兵政局・軍事局／申上書・諸願書 35 点
明治 3 年(1870)2 月～明治 4 年(1871)10 月
甲府・奥羽出兵の従軍者に関する功績調書とその御賞願など明治 3.4 年分。
- 9 藩政／財政／勘定所／諸用状 4 点 慶応 4 年(1868)3 月～慶応 4 年(1868)8 月
勘定所内における慶応 4(1868)年大坂御用場に関係するもので、京都在住役人との用状。
- 10 藩政／財政／勘定所／拝借掛 14 点未 詳
勘定役拝借掛の書付類。
- 11 藩政／財政／勘定所／切米渡 50 点 文久 3 年(1863)1 月～元治元年(1864)4 月
切米・扶持米・被下米の受取渡証文を紙縫綴で一括体にした史料である。
- 12 藩政／財政／払方御金奉行／金銭請払 33 点 文久 3 年(1863)4 月～元治元年(1864)4 月
文久 3(1863)分を元治元(1864 年)年に払方御金奉行が管轄した留守居方物書の上京道中入料勘定証文一括。
- 13 藩政／財政／払方御金奉行／諸事差引勘定 25 点 未詳
藩士への諸経費支給にあたっての諸事差引勘定書。
- 14 藩政／財政／奥向賄／拝借金 57 点 宝永 5 年(1708)8 月～宝永 5 年(1708)9 月
宝永 5(1708)年、木内清八・馬場与惣右衛門宛の拝借金証文。両名の名が宝永期の史料にみられる。藩主湯治への随行に際しての拝借金が多い。「拝借金申子之事」とあるが、中借という立換払の場合も含む。各人が役務として当座、必要な経費が発生した場合、必要者や必要部局の申請に基づき、当座の費用を立て替えるのが中借である。
- 15 藩政／財政／御側御納戸／諸向御用 92 点 文久 2(1862)年 7 月～元治元(1864)年 3 月
御側御納戸の用向きに関わる文久 2 年から元治元年の御領分御境見分一件書類、重姫御祝儀御在府御

用書類、道具買上勘定書など。

16 藩政／財政／甲府・奥羽出兵 25 点 慶応 4 年(1868)9 月

維新争乱期に真田家、松代藩は、慶応 4(1868)年 2 月 30 日に甲府へ出兵し、8 ヶ月後の 11 月 8 日に引上げた。また同年 4 月 19 日には飯山へ援兵を出し、続いて同 27 日に越後へ出兵・閏 4 月 26 日の小千谷戦などを経て福島まで転戦し、同年 10 月 6 日に帰休令を出し同月 29 日に帰藩させた。史料の多くは、帰藩後に戦功や入費を処理・精算したものである。なお、本項に関しては、一件日記が(目録 28-その 1)にあり、(目録 59-その 6、目録 86-その 7、目録 88-その 9 ～目録 90-その 11)にも関連項目のほか、給禄、手充や財政などの項目にも関係書類がある

17 藩政／財政／計政局・会計掛／金札・銭札・官札 1 点 未詳

18 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払 10 点 明治 2 年(1869)1 月～明治 3 年(1870)7 月

計政局の職掌は、「金穀、出納、給禄、饗食、用度、営繕、物産、商法等」とあり、藩内の勘定関係などに関わる多くの願書が寄せられる。計政局・会計掛が所管した貸出金などの金銭請払勘定書。

19 元松代庁／諸用状 18 点 明治 4 年(1871)3 月～明治 23 年(1890)4 月

明治 4(1871)年 7 月 14 日廃藩置県により松代藩は廃止され松代県が成立、同年 11 月 20 日松代県は長野県に併合された。松代には長野県松代庁が置かれたが、明治 5 年 2 月に松代庁のすべてを長野県庁に移管して閉庁となった。この時期の史料を本項目にまとめた。真田氏が知藩事を免官された後、新御殿(真田別邸、現真田邸)において家職である家扶が諸事務を扱うこととなる。そのため、旧藩に関わる藩債・家禄、旧領内村々の願書、松代県松代庁・長野県からの諸用状などが集積されることとなる。

20 その他 2 点 慶応 2 年(1866)

ま文書群

年 代 享和元年(1801)12 月～明治 10 年(1877)10 月

数 量 579 点

1 真田家／規式 6 点 文政 10 年(1827)6 月

藩主の江戸における作法規定を巡るもので、幕府諸有司との応答文書と真田家内部での評議文書が含まれる。塗笠に関する問い合わせ、諸大名御挨拶の手控である。

2 真田家／江戸屋敷 18 点 未詳

江戸南部坂下屋敷における諸行事に関わる文書。

3 真田家／江戸屋敷／屋敷替 3 点 文政 12 年(1829)12 月

「屋敷替」は真田家が下屋敷を構えるべく取り交わされた相対屋敷替に関する史料である。文政 3(1820)年 5 月 16 日付で幕府の許可を得た相対替では、石場主膳の深川小松町拝領屋敷 200 坪を真田へ、真田三崎屋敷の内 200 坪を松波幸右衛門へ、松波の赤坂築地拝領屋敷 252 坪を石場へと、三方屋敷替となっている。本項目は文政 12(1829)年、谷中三崎下屋敷と深川小松町屋敷との相対屋敷替の願書である。

4 真田家／道具・書目 1 点 未詳

5 真田家／家職／祝賀・献上 2点 未詳

真田家家扶3名にあてた藩侯への献上・暑中見舞いに関する書類。

6 真田家／家職／諸金銭勘定 5点 未詳

真田家家扶が取り扱う諸経費に関する証文・用状など。

7 藩政／勤役／御手伝 2点 慶応2年(1866)

慶応2(1866)年濃州・勢州御普請御手伝関係史料。

8 藩政／役職／御目見 2点 未詳

家臣家督相続の御目見の名面書。

9 藩政／勤方／記録 1点 安政6年(1859)

御預所郡奉行松木束(宗薫)が退役する安政6(1859)年1月から4月までの記録「日新録」。なお、宗薫が松木束であることは、寛政元年の真田幸弘公五十之賀に和歌を寄せていることで判明した(真田宝物館所蔵)。

10 藩政／家中／賞罰 3点 未詳

家中の賞罰としての岡嶋莊蔵、町田源左衛門に関する評議書類。

11 藩政／家中／御賞・諸願 48点 慶応3年(1867)6月～明治4年(1871)9月

主として慶応3(1867)年分の御賞関係書類。

12 藩政／家中／屋敷・地所 4点 享和元年(1801)12月～明治2年(1869)10月

家臣屋敷地所に関する文書。

13 藩政／諸役方／御留守居役 1点 未詳

御留守居役宛の書状。

14 藩政／諸役方／水道役 2点 未詳

水道役用状と水道方御仲間取調書。

15 藩政／郡方／寺社／参詣 1点 未詳

16 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調 24点 天保4年(1833)5月～慶応3年(1867)9月

郡奉行所・代官管轄の領内の村と役所との間の願書ならびに役所内で取り交わした文書で村町方の事を扱った取調書。

17 藩政／郡方／災害／地震 1点 未詳

18 藩政／甲府・奥羽出兵 6点 未詳

ほ-16 解説参照。

19 藩政／諸職／職事掛／御賞等級調 10点 明治4年(1871)6月

職事掛取扱の申渡書。他に職録関係と藩士の御賞等級の調査と調査用紙。

20 藩政／諸職／神社郡政局・民事掛／諸願書・取調 31点 文化14年(1817)

神社郡政局・民事掛管轄の領内の村と役所との間の願書ならびに役所内で取り交わした文書で村町方の事を扱った取調書。

21 藩政／諸職／公用人／評議書類 10点 明治3年(1870)6月

明治 3 年(1870)、弾正台からの問合せに対する監察局監察の人事に関する政事所大参事真田桜山・権大参事の評議書類。

22 藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・諸願書 4 点 明治 3 年(1870)4 月

兵政局武庫方所管の大御門御太鼓張替などについての申上書・伺書である。

23 藩政／財政／郡奉行・御勝手元／諸用状 36 点 弘化 2 年(1845)1 月

郡奉行と御勝手元を兼職している岡嶋莊蔵・竹村金五郎宛の高田幾太の当用金・江戸御用金に関する用状類。

24 藩政／財政／勘定所／諸用状 69 点 天保 8 年(1837)12 月～明治 2 年(1869)6 月

勘定所内の用状で、勘定役相互あるいは勘定所元役を含めた諸勘定などの用状類である。勘定所元役の職掌である近領・領内村方の粃・米相場を提出に関する用状を含む。

25 藩政／財政／勘定役／内借掛 16 点

勘定所元役のもと勘定役内借掛の金銭請払に関する証書類。

26 藩政／財政／御吟味役／拝借金 20 点

慶応 2 から 4 年にかけて御吟味役を務める片岡弘人宛の藩主上京御供に関わる拝借金証文である。御吟味役に関する文書が(目録 51-その 5、財政／諸役方／吟味役)にまとまって 22 綴あるので参照されたい。

27 藩政／財政／奥向勘定 1 点 安政 4 年(1857)

28 藩政／財政／御料理所 1 点 未詳

29 藩政／財政／計政局・会計掛／借入・用達 22 点 慶応 4 年(1868)5 月

勘定所・計政局の関わる伊勢町菊屋伝兵衛からの借入金等に関する関係書類など。

30 藩政／財政／計政局・会計掛／給禄・手充 15 点 慶応元年(1865)10 月

年不詳であるが、給禄や手充に関する願書など。

31 藩政／財政／計政局・会計掛／出張費 13 点 明治 2 年(1869)6 月～明治 2 年(1869)11 月

明治 2 年の出張経費の受取等の書類。

32 藩政／財政／計政局・会計掛／諸願書・取調 65 点 明治 2 年(1869)8 月～明治 3 年(1870)4 月

藩内の勘定関係などに関わる多くの願書及び金銭勘定に関する取調などに関する書類も多い。年欠文書がほとんどである。

33 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払 嘉永(年未詳)12 月～明治 5 年(1872)

計政局・会計掛が所管した貸出金などの金銭請払勘定書。

34 元松代庁／諸願書 52 点 明治 4 年(1871)3 月～明治 10 年(1877)10 月

明治 4 年 7 月 14 日の廃藩置県以後の諸願書類である。扶持米支給の歎願書が多く、未払い代金の請求など様々な願が提出されている。

35 その他 3 点 文化 9 年 3 月(1812)

「御印」(文化 9 年申 3 月 6 日)とある包紙、神武天皇御陵案内札 41 通がある。

み文書群

年 代 明和 7 年(1770)10 月～明治 7 年(1874)9 月

数 量 508 点

- 1 藩政／諸役方／水道方／寺社参詣 55 点 天保 4 年(1833)2 月～天保 10 年(1839)2 月
天保 4～9 年の水道役の寺社参詣の御供に関する文書で、紙縫綴で 55 点まとめられている。本史料は、水道役が御供揃としての役に関わつてのものと考えられる。松代の上水道の管理あたる水道役の前職は、番方が多いという(坂詰智美、2004)。
- 2 藩政／諸役方／水道方／屋敷地改 331 点 明和 7 年(1770)10 月～明治 5 年(1872)4 月
明和 6 年から明治 5 年にわたる松代城下武家屋敷地坪改図面と地改に関する用状類で、20 綴 331 点である。図面製作は、水道役と大工または大工のみの記名がある。屋敷地の境堰や溝などが図面に書き込まれており、上水道管理のための図面である。
- 3 藩政／諸役方／水道方／水道作事 63 点 文化 2 年(1805)9 月～天保 9 年(1838)8 月
文化 2 年から天保 9 年の松代城下の上水道の引水や堀溝の作事、水質管理に関わる用状類である。
- 4 藩政／諸職／神社郡政局／伝馬 1 点 明治 3 年(1870)4 月
- 5 藩政／財政／勘定所／諸用状 9 点 慶応 4 年(1868)閏 4 月～明治 2 年(1869)2 月
勘定役の酒井市治様・水野清右衛門宛の御用金不足に関する用状、大坂御用場との送金についての用状がある。
- 6 藩政／財政／勘定役／金銭請払 1 点 慶応 4 年(1868)3 月
勘定役に関わる借用証文・金銭受取証文である。
- 7 藩政／財政／元方御金奉行／課業上納金請払 39 点 嘉永 6 年(1853)4 月～慶応 3 年(1867)2 月
領内村々の居宅焼失・病災・居宅雪潰・吹潰等の際の拝借金にあたる課業上納金で、代官より元方御金奉行宛に差出した証文の紙縫綴 33 点がある。元方御金奉行所管の「課業上納内預金請払書上帳」「課業銭之内村方拝借金上納請取元帳」などに記載される証文にあたる。
- 8 藩政／財政／奥向賄 2 点 未詳
- 9 元松代庁／諸願書 7 点 明治 4 年(1871)3 月～明治 7 年(1874)9 月
甲府・奥羽出兵に関わつての賄代金などに関する長野県知事檜崎寛直申上書がある。

む文書群

年 代 享保 2 年(1717)6 月～明治 7 年(1874)5 月

数 量 1,393 点

- 1 藩政／郡方／取調 3 点 天保 7 年(1836)8 月
郡方取扱の御用紙上納値段について提出された天保 7 年小盤紙値段引下願である。4 月に勘定元が御用紙値段立替伺を行う。口絵参照。
- 2 藩政／財政／御勘定吟味／伺書・申上書 10 点 未詳
年欠ではあるが、月番家老恩田木工・月番家老望月主水が勘定吟味より伺いの量入料増支出の件につ

いての評議書類、御勝手元へから御馬奉行への馬料・馬飼料の支払方の詮議書類である。

3 藩政／財政／御勘定吟味／諸願 9点 未詳

払切とは、返還のない支払いであり、ここでは御徒目付から焚炭払切の伺いが御勘定吟味に出されている。他に、御買物役の諸品代の内借についての勘定吟味役取扱の文書である。

4 藩政／財政／勘定所／諸用状 2点 寛政9年(1797)6月～天保9年(1838)12月

勘定所内の用状で、内借などに関する文書。

5 藩政／財政／勘定所／御馬飼料掛 1点 天保7年(1836)12月

6 藩政／財政／勘定所／金銭請払 8点 天保5年(1834)10月～慶応3年(1867)3月

勘定所扱いの金銭請払に関わる証文である。

7 藩政／財政／御吟味役／金銭請払 47点 慶応2年(1866)4月～慶応3年(1867)12月

慶応2年の御吟味役を務める片岡弘人宛の御買物所金銭請払、慶応3年の足輕割番からの諸品代金請払に関わる証文である。

8 藩政／財政／払方御金奉行／金銭請払 10点 慶応2年(1866)3月～同11月

慶応2年の御買物役所よりの上京買物料に関する証文である。

9 藩政／財政／奥向勘定 747点 享保2年(1717)6月～文久3年(1863)3月

享保2年2月29日日本丸・二の丸・三の丸の全焼後、表御納戸等での諸品購入、大工作料に関する証書類である。享保2年7月から同6年11月の売上証文がまとまっている。

10 藩政／財政／御側御納戸／金銭諸払 77点 万延元年(1860)正月～文久元年(1861)7月

万延元年8月から文久元年3月の御側御納戸久保極人がとりまとめた呉服代金勘定とオランダ製時計・アメリカ筆等の諸品代金支払いに関する年欠の証書類である。

11 藩政／財政／御茶部屋／金銭諸払 172点 未詳

御茶部屋が扱う御用物の勘定証文の紙縫綴一括で、「定」常用品と「臨」臨時用と記されている。年欠であるが酉・亥・子の干支の分である。

12 藩政／財政／御内用金・手充 7点 享保20年(1735)5月

享保20年の御内用金3千両に関する御小納戸への伺案、他に手充に関する文書。

13 藩政／財政／計政局・会計掛／藩債 37点 明治4年(1871)11月～明治5年(1872)8月

司金扱いの明治4年11月～同5年8月分の藩債証書類である。

14 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状 27点

慶応4年(1868)7月～明治2年(1869)12月

諸賄い金・蠟燭代・御用紙代などの払切・中借証文、御用紙御減略方の計監申上書等が含まれる紙縫綴一括文書である。

15 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払 235点 明治2年(1869)5月～明治7年(1874)5月

計政局・会計掛が所管した貸付金などの金銭請払勘定書。

め文書群

年 代 元禄 16 年(1703)正月～明治 14 年(1881)5 月

数 量 597 点

- 1 藩政／江戸屋敷／諸願 1 点 文政 11 年(1828)9 月
- 2 藩政／財政／元方御金奉行／預金 28 点 安政 3 年(1856)2 月～明治元年(1868)12 月
元方御金奉行の取り扱う御納戸の預金貸出に関する安政 3 年 12 月～明治元年 12 月の紙綴綴一括証文である。
- 3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金 322 点 元禄 16 年(1703)正月～明治 2 年(1869)3 月
御金奉行の元方・払方の区別は、享保 19 年(1734)より寛保 3 年(1743)の 9 年間、分化され、その後一端は再統合された後、宝暦 2 年(1752)に分化して明治に至る(目録 90-その 11 補説)。ここに収録した拝借証文は、元禄 16 年正月～明治 2 年分である。払方御金奉行は、諸部局の用向費用および家中への拝借金と称した中借・内借を行っている。これらの証文類の厳密な中借・内借区別が困難であるので、拝借金とした。元禄 16 年正月～宝暦 10 年 5 月分の証文綴は、初期の宛先の役職は不明だが、宝暦 10 年に払方御金奉行金子甚左衛門の名がある。宝永 5 年 3 月分の家中御情拝借金証文は、紙綴綴一括 2 綴で 98 点である。享保 18 年 8 月～宝暦元年 8 月分は、44 点である。切米前借のため拝借金証文一綴は、天保 10 年 12 月付で 110 点ある。他の拝借の理由に、文政 5 年日光御供、京都守護詰め等がある。
- 4 藩政／財政／勘定役／拝借金 111 点 文政 9 年(1826)12 月～明治 14 年(1881)5 月
勘定所内における勘定役伊東栄治他の拝借金、文政 9 年 12 月～13 年 12 月分紙綴綴一括 54 点、入安兵衛他の拝借金、文政 10 年 12 月～万延元年 12 月分紙綴綴一括 19 点等がある。
- 5 藩政／財政／勘定役／御馬飼料 1 点 天保 7 年(1836)12 月
- 6 藩政／財政／御預所／借入・用達 2 点 明治元年(1868)11 月～同 12 月
- 7 藩政／財政／拝借金／諸役歎願 45 点 慶応元年(1865)12 月～明治 2 年(1869)2 月
御物書・在京右筆・御徒士・足軽からの拝借金歎願で、年欠が多い。明治 2 年の医師薬種料拝借願も含む。
- 8 藩政／財政／計政局／拝借金 69 点 万延元年(1860)12 月～明治 4 年(1871)正月
拝借金・内借証文である。
- 9 藩政／財政／計政局／用度 18 点 明治 3 年(1870)2 月～明治 4 年(1871)正月
明治 3 年分の用度方役所における用紙購入関係書類綴である。

も文書群

年 代 享保 18 年(1733)11 月～明治 29(1896)年 3 月

数 量 1,159 点

- 1 真田家／病氣・療養／湯治／幸教病氣一件 52 点 嘉永 7 年(1854)11 月～安政 2 年(1855)3 月
9 代藩主幸教の治療に関わる服部敬順の逗留中における御賄御入料書類一括であり、嘉永 7 年 11 月～

安政2年正月の分である。(目録37-その2)に関係史料があるので参照されたい。

- 2 真田家／家職／諸金銭勘定 2点 明治14年(1881)12月
- 3 藩政／諸役方／留守居 20点 文化8年(1811)10月～嘉永7年(1854)10月
文化8年10月～文政3年10月の留守居鈴木弥左衛門扱いの宗門御改御年番からの宗門御届に関する受取書等である。
- 4 藩政／郡方／郡奉行・御勝手元 32点 寛政2年(1790)10月～嘉永4年(1851)正月
郡奉行所取扱の評議書類や願書である。
- 5 藩政／郡方／寺社／白鳥宮 9点 文政6年(1823)
白鳥御遠忌付御施行での長寿者調査に関する封筒入一括文書である。
- 6 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調 70点 文政元年(1818)6月～文久2年(1862)2月
領内村町方からの代官所への願書類と取調に関する返答書などである。
- 7 藩政／郡方／村町方／村々諸手当 14点 文政元年(1818)12月～文政2年(1862)11月
領内村町方から代官所へ願い出のあった難渋者手当や長寿者手当などの証文である。
- 8 藩政／郡方／山林 82点 安永2年(1773)5月～天保9年(1838)正月
領内山林の見回り、地境、植樹、漆木に関する文書で、漆木植樹に関する郡奉行所での評議書類が含まれる。
- 9 藩政／郡方／山林・虫倉山 43点 文化4年(1807)8月～慶応3年(1867)11月
松代より北西にある西山とも呼ばれる虫倉山が御鷹山となり、立入や伐採に関しての文化4年と嘉永2年の願書、慶応3年の虫倉御林焚炭願である。
- 10 藩政／甲府・奥羽出兵 5点 明治元年(1868)7月～同10月
北陸道先鋒会計方取扱の通行切手である。
- 11 藩政／諸職／神社郡政局・民事掛／諸願書・取調 6点 明治4年(1871)正月
神社郡政局の職掌は、「藩内、社祠、郡中、戸籍、租税、賦役、駅逓、橋・道・水利、開墾、教養」等であり、戸籍・送籍の願書などである。
- 12 藩政／諸職／計政局・会計掛／諸願書・取調 13点 明治4年(1871)2月～同5月
計政局司金の藩札紛失に関しての歎願書類が、明治4年2月～5月分16点がある。
- 13 藩政／諸職／市政局／賈金穿鑿 40点 明治2年(1869)7月～同12月
明治2年7月からの町奉行所扱いの賈金穿鑿で、同年11月に市政御役所で取りまとめている文書である。
- 14 藩政／財政／郡方代官 19点 明治元年(1868)12月
領内難渋村々についての御勘定役の御払に関する詮議申上書類が封筒一括でまとめられた年欠文書で、御代官見込書面が記されている。
- 15 藩政／財政／郡方代官／種借 126点 享保18年(1733)11月～享保19年(1734)8月
享保18年11月から享保19年8月の間における代官宛の御種借利廻代上納手形である。
- 16 藩政／財政／郡方／御用状 121点 天保13年(1842)9月～慶応4年(1868)閏4月

郡方役所内の用状で、天保 13 年 9 月の文字金銀引替詮議、年欠であるが甲州表での銭買上等一件書類、御収納郡方拝借金関連書類等がある。

- 17 藩政／財政／勘定所／御馬飼料掛 48 点 宝暦 10 年(1760)10 月～明治 2 年(1869)4 月

勘定役御馬飼料掛における御馬飼料勘定証文で、宝暦 10 年から明治 2 年である。

- 18 藩政／財政／勘定所／穀類相場 25 点 明治元(1868)年 11 月

勘定所での立相場伺で、城下町平均真粳・覆粳・大豆相場を取調ており、明治元年分がまとまっている。

- 19 藩政／財政／勘定所／諸願 5 点 天保 6(1835)年 2 月～慶応 3(1867)年 6 月

勘定所取扱の大豆買上について願書等。

- 20 藩政／財政／勘定所／諸金銭請払 3 点 天保 8(1837)年 12 月

- 21 藩政／財政／奥向／諸勘定 1 点 未詳

- 22 藩政／財政／甲府・奥羽出兵 11 点 明治 3(1870)年 12 月

甲府・奥羽出兵の負担に拝借金、借入の負担についての窮状をまとめたものがある。

- 23 藩政／財政／神社郡政局・民事掛／申上書・諸用状 42 点

明治 3(1870)年 4 月～明治 4(1871)年 12 月

神社郡政局・民事掛管轄の領内の村と役所との間の願書ならびに役所内で取り交わした文書である。

- 24 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状 33 点

明治 3(1870)年 12 月～明治 4(1871)年 8 月

計政局・会計掛が所管する諸経費の伺書、学校御修復御中借伺書等がある。

- 25 藩政／財政／計政局・会計掛／金札・銭札・官札 83 点

明治 2(1869)年 7 月～明治 4(1871)年 12 月

金札・銭札・官札の引換、金札見本、藩札発行に関わる用状である。

- 26 藩政／財政／計政局・会計掛／商法社札 141 点 慶応 4(1868)年 7 月～明治 4(1871)年 2 月

慶応 4 年 7 月から明治 4 年 2 月における商社手形引替金関係、御済急手形ならびに商社手形の取まとめに関する評議関係書類綴等がある。

- 27 藩政／財政／計政局・会計掛／諸向金銭上納 36 点 明治 3(1870)年 6 月～同 11 月

明治 3 年分の上納金高取調に関する紙綴綴一括文書。

- 28 藩政／財政／計政局・会計掛／借入・用達 7 点 明治 3(1870)年 9 月

明治 3 年分の才覚金差出証文など紙綴綴一括文書。

- 29 藩政／財政／兵政局・軍事局／諸願・伺書 6 点 明治 4(1871)年 12 月～明治 5(1872)年 2 月

東京鎮台より上田表への兵器輸送経費に関する書類など。

- 30 元松代庁／諸用状 33 点 明治 4(1871)年 9 月～明治 7(1874)年 1 月

大蔵省より問い合わせの旧藩債帳に関する委細取調、元松代県権大属小野忠政の四位様引請負債等取片付についての大蔵省へ出願等が含まれる。

- 31 元松代庁／諸願書 26 点 安政 6(1859)年 5 月～明治 7(1874)年 3 月

明治4年7月14日の廃藩置県以後の諸願書類である。明治5年、松代県の「旧松代藩債金高取調」「旧松代藩用払銭品々御下金之儀再懇願」等がある。

32 元松代庁／新公債取扱 5点 明治10(1877)年1月～明治29(1896)年3月

新公債証書取扱方伺書関係書類で紙綴綴一括文書である。

や文書群

年 代 宝永3(1706)年12月29日～明治9(1876)年10月

数 量 378点

- 1 真田家／家職／諸金銭勘定 1点 明治9(1876)年10月
- 2 藩政／郡方／寺社／拝借米金 12点 文政2(1819)年閏4月～文政3(1820)年12月
江戸表の芝罘運院の宿坊料拝借米の半減支給に関する評議書類で包紙一括文書である。
- 3 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調 79点 安永9(1780)年4月～慶応3(1867)年6月
- 4 藩政／財政／元方御金奉行／金銭請取 14点 万延元(1860)年11月～文久3(1863)年10月
元方御金奉行扱いの御借入利足金・御用金受取証文である。
- 5 藩政／財政／勘定所／拝借掛・内借掛 229点 天明元(1781)年10月～弘化2(1845)年9月
御勘定所拝借御掛御役所・御勘定所内借御掛御役所扱いの領内村々からの証文である。
- 6 藩政／財政／勘定役／御救米掛 19点 天保5(1834)年12月
勘定所御救米掛における天保5年12月分の拝借米上納日延願書綴である。
- 7 藩政／財政／勘定所／借入・用達 6点 安永6(1777)年12月～天明2(1782)年12月
江戸麻布新町大和屋伊兵衛からの借入金に関する安永8年から天明2年の包紙一括文書である。
- 8 真田家／奥向／奥向賄 2点 宝永3(1706)年12月29日～宝永4(1707)年12月29日
宝永3年の岡嶋弥平治・馬場与惣右衛門・木内清内宛の山中紙漉楮上納の年賦金証文である。この3名は、(目録37-その2)に宝永期の奥向賄に掲載されている。紙漉のための金貸付を行い、現物で納付させる方法である。宝永4年分もある。
- 9 藩政／財政／神社郡政局・民事掛／伺書 3点 未詳
神社郡政副主事扱いの明治2年福島村拝借金に関する伺書である。
- 10 藩政／財政／計政局／借入・用達 5点 明治3(1870)年
幡場潤蔵扱いの町方からの用達金に関する史料が含まれる。
- 11 元松代庁／諸用状 4点 明治4(1871)年4月～明治5(1872)年4月

既刊目録未収載分

年 代 享和3(1803)年12月～明治13(1880)年

数 量 146点

この部は、既刊目録に未収載及び整理中に既刊各集に追加すべきとしてまとめられた史料である。

- 1 真田家／相続／慶応二年相続一件 1点 慶応2(1866)年

(目録 37-その 2) の未収録分。

- 2 真田家／参勤・上京／元治元年上京 2 点 元治元(1864)年 6 月～慶応元(1865)年 6 月
(目録 37-その 2) の未収録分。
- 3 真田家／規式／供立・行列 1 点 7 月 5 日
(目録 37-その 2) の未収録分。
- 4 真田家／病氣・療養／湯治／幸教病氣一件 12 点 未詳
(目録 37-その 2) の未収録分。
- 5 真田家／交際 1 点 元治 2(1865)年 2 月 16 日
(目録 37-その 2) 真田家／交際／.為御知事／○慶応三年の未収録分。
- 6 真田家／奥向／奥方役人用状 2 点 未詳
(目録 37-その 2) の未収録分。
- 7 真田家／文芸 2 点
(目録 37-その 2) の未収録分。
- 8 真田家／道具・書目 11 点 文政 11(1828)年 11 月～明治 13(1880)年
(目録 37-その 2) の未収録分。
- 9 藩政／家中／維新褒賞 11 点 明治 2(1869)年 3 月 13 日～7 月 9 日
(目録 37-その 2) の未収録分。
- 10 藩政／諸役方／郡奉行所 3 点 嘉永元(1848)年
(目録 28-その 1)日記／郡奉行日記／郡方日記の未収録分。
- 11 藩政／諸役方／水道方 9 点 天保 9(1838)年 5 月～9 月 14 日
(目録 28-その 1)藩政／普請／水道の未収録分。
- 12 藩政／諸役方／学校懸 2 点 未詳
(目録 40-その 3)藩政／学芸・学校／学校の未収録分。
- 13 藩政／郡方／災害／居宅焼失届 1 点 慶応 3(1867)年 4 月
(目録 28-その 1)藩政／災害／火災／居宅焼失届の未収録分。
- 14 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調 14 点 文政 7(1824)年 2 月～明治元(1868)年 11 月
- 15 藩政／郡方／宿方 3 点 慶応 3(1867)年 4 月
- 16 藩政／諸局／官給調 2 点 明治 4(1871)年 12 月
- 17 藩政／諸局／神社郡政局・民事掛／諸願書・取調 11 点 明治 5(1872)年 5 月～同 11 月
- 18 藩政／諸局／兵政局・軍事局／申上書・諸願 13 点 明治 4(1871)年 7 月～同 9 月
- 19 藩政／諸局／兵政局・軍事局／武器拝借 1 点 明治 3(1870)年正月
- 20 藩政／諸局／監察局／申上書 1 点 明治 4(1871)年 8 月
- 21 藩政／財政／郡奉行・御勝手元々／諸用状 10 点
文政 10(1827)年 3 月～安政 4(1857)年 11 月
- 22 藩政／財政／勘定所／御用状 5 点 未詳

- 23 藩政／財政／拝借金／繰廻金 1点 享和3(1803)年12月
- 24 藩政／財政／藩債処分／大坂御用場 1点 未詳
- 25 藩政／財政／給禄・手充 1点 未詳
- 26 藩政／財政／政事所・職事掛／諸用状 1点 未詳
- 27 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状 21点
明治3(1870)年6月～明治4(1871)年2月

II 真田家寄託 信濃国松代真田家文書目録解題

文書群記号 真田家寄託 信濃国松代真田家文書
文書群名 真田家寄託 信濃国松代真田家文書
年 代 万治 3 (1660) 年～昭和 25 (1950) 年
数 量 3,849 点

入手の経路

真田幸俊氏より寄託を受けたのは、昭和 63(1988)年のことである。寄託の以前、文部省史料館が発足した当初の昭和 26 年度に信濃国松代城主真田家文書を大量の譲渡を受けて所蔵していた。その後、真田宝物館の真田家文書や東京の真田家が所蔵する家臣系譜類などを調査し、マイクロ写真での収集を実施し、真田家文書の全貌を把握するよう努めてきた。真田家よりの寄託照会の契機は、東京の同家邸内に所蔵していたものと、松代の私邸内で私的に保管されてきたものをまとめて一括の保存を計ろうとの真田恵美子夫人のお考えによるものであった。そこで、東京の真田家(世田谷区宮坂)から 890 件の寄託を受けた(史料館報 50、1989)。史料の閲覧は 1989(昭和 64)年より行っている。

松代の真田邸での管理と移送の経緯は、前述の「真田家文書の伝来」を参照されたい。

真田家寄託 真田家文書について

1 真田家寄託文書の管理と伝来

前述の当館所蔵信濃国松代真田家文書解題の「2 真田家文書の管理と伝来」を参照されたい。

2 収録文書群の整理と目録編成

昭和 63(1988)年、寄託受入の史料としてお預かりし、寄託史料目録の作成が開始された(担当:国文学研究資料館史料館教授原島陽一)。寄託史料目録の作成後、寄託契約を行った。この時、寄託番号 1032－1048 については、1 つ番号の 1 袋が 100 点を超える量であったため、一括番号での目録記述とした。

原島陽一氏は、受入搬入のそのままの状態番号付けを行った。真田家での移送の際の史料の搬送順位を尊重している。よって、明らかにまとまりとは違う順番であっても改変していないという。これは、所蔵真田家文書を受入の際、史料そのものの形態分類や内容分類による整理を行ったことで、史料情報を失わせてしまったという反省に立ってのことであった。配列秩序ともに、書状など一括して残存している場合にはその伝来形状を尊重して一括のままとし、その伝存形状を尊重した配列となっている。

史料の閲覧は、昭和 64(1989)年より開始したが、閲覧に供したのは寄託番号 1－1031 までで、1032－1048 は仮整理のため閲覧ができない状態であった。

松代にある真田宝物館では、前から宝物館所蔵の真田家文書全体の概要調査と整理が進められている。現存する真田家藩侯文書および松代藩庁文書の全貌をつかむためには、寄託史料の把握が必要である。そこで、再整理を行い、寄託真田家文書を最終刊にあたる本目録に付録として収録することとした。当館目録において、寄託史料の刊行目録化は初めてである。寄託者である真田幸俊氏の承諾をいただいて刊行に至った次第である。

本目録では、譲渡・受託あわせ当館で収蔵している真田家文書全体の目録編成は完了することとなる。

寄託真田家文書は、寄託受入時に付与された番号を基本とし、仮整理の 1032 - 1048 の整理を行った。なお、寄託番号 1 - 1031 は、寄託時の番号付与の方法や目録記述の内容をあまり変更していない。これはすでに公開して様々文献に引用に付されていることを考慮して整合性をとったためである。そのため、藩主の御直書および親属、他家へ入籍した弟妹らの多くの書状などは、封を糊付した状態の場合もあり、1 つの番号についての内容を集合的に記述している。なお、目録記述が集合的であっても閲覧では支障のない措置を行って配慮した。

3 個別文書群内の概要

ここでは、「真田家」という全体の編成を立て、真田家の藩主・当主としてのまとまりと「藩政」「家職」「他家文書」に分けた。

真田家の藩主・当主としての機能は、真田家／法式から真田家／文芸にまとめた。その内容は、御手許書類を典型とする藩主に深くかかわるものであり、諸規式次第書、叙位・叙爵書類、信之以下藩主および親属、他家へ入籍した弟妹らの書状などがあり、養子書類、婚姻関係書類や短冊・色紙・詠草または典籍などの文芸史料と武術や香道の伝書類である。真田家／家政には、家範と家政会議・評議員会議の項目を設け、「家範草案」（年不詳、史料№寄 3）、大正～昭和期の予算決算を主とする家政会議書類を配した。

「真田家／藩政」は、松代藩庁から移動した、家老・御目付・水道役などの日記と日記繰出・御触留や奥向勘定書類等である。寄託真田家に藩庁文書が含まれる意図は未だ判明しないが、前述したように真田邸における蔵と蔵の間での混在がおりやすい状態であったことも判明した。

「家職」は、真田家の家政組織である家令・家扶の関係を収めた。家職は、家政を執行する家令と、家令を助けて代理を務めることもある家扶、家令・家扶の指揮の下で庶務に従事する家従の総称である。

「家範草案」の第六章「家職」には、「家ニ家令、家扶及家従ヲ置ク」とある。この家職は、明治元年以前に家扶として師岡重脩・石倉籐左衛門、家従前島好謙・小山田久米・宮下秀丈とあり、明治前よりその職が設けられていた（史料№寄 879）。

「家職」の編成には、家職雇用関係書類、家職が担当した道具や文書管理に関する書類、量的に多い松代と東京における日記と、会計総括簿、東京御勘定帳をおいた。勘定帳簿の記載を裏づける領収証などをまとめた「年中勘定書類」が年号別に袋入りで残っている。当主らが松代へ帰来の際の経費や献上物に関係する帳簿、各種祝儀事や葬礼の書類、長国寺以下所縁の寺院や白鳥神社の由緒・予決算・寄附・修繕・祭礼に関する書類がある。また、家職の役務上管理したとらえて、松代庁時代の布令・布告

留、進達・願届留、藩債処分書類などをおいた。

松代藩庁から移動した藩政文書は、所蔵真田家文書の編成と同じく第一編成「藩政」とする考え方も成り立つ。しかし、ある段階から真田家の管理にあって保存されたという経緯を重視し、最終保管場所として真田家／藩政とし、全体の体系を示す編成とした。

「他家文書／信濃国更科郡今井村文書」は、真田家に所蔵となった経緯は明らかではない。

今井村は、松代藩領下の村ではない。(日本歴史地名大系)では、北は今里村、西は岡田村、東は戸部村、南は原村に接する北国脇往還に沿った村で、原村を南原村、今井村を北原村ともいったという。

(更級埴科地方誌 近世編下)の解説によれば、元和 2(1316)年、岩城貞隆領、同 8 年仙石氏上田領、宝永 3 (1706) 年松平氏上田領、享保 2 (1717) 年幕府領、同 15 年塩崎旗本知行所支配となり明治に至る。明治 8 (1875) 年、原村飛領地在北原を合併し、同 22 年原村と合併後に中津村となった。享保 16 年の今井村農民構成は戸数 150、人数 771 人、うち男 411 人、女 360 人で、五人組は本百姓 87 軒が 16 組に編成されていた。村高は、「慶長打立帳」「正保書上」「元禄郷帳」とともに 1,112 石余、「天保郷帳」「旧高旧領」とともに 1,141 石余。宝永 3 年の四ヶ村差出帳写(上田藩村明細帳)によれば、当村分の家数 121・人数 519 (男 282・女 236・出家 1)、作物は稲(品種永楽・こぼれ)・大麦・小麦・煙草、馬 33、郷蔵 1、酒屋 1、鉄炮獵師 9、馬喰 1 である。年貢は享保 3 年には 513 石余、小物成駒運上金 1 両・永 104 文、胡麻運上永 110 文、江戸詰夫給 1 両 2 分・永 99 文、御会所詰夫給永 110 文、獵師鉄砲 8 である。

史料群の作成者及び宛名には、嶋田姓が頻出する。宝暦 13 年「差出明細帳」(史料 No.寄 1048-23)の裏表紙に「此明細帳は役引渡後、古役小林吉右衛門え無心申入、受取候ニ付役元送りニ致置候 割番今井村庄屋兼帯 嶋田忠之輔」とあり、嶋田家旧蔵とも推定できる。しかし、家文書が存在せず、特定まで至らない。

真田家寄託 真田家文書

1. 真田家／法式 3 点 安政 5 年(1858)4 月 12 月～大正 14 年(1925)

ここの「法式」2 冊は、ほぼ同内容である。但し、条目数が(寄 1)は 48 条、(寄 2)には 49 条と 1 条が加えられている。(寄 2)は河原正誼(理助)が、「幸貫公御代御制定ニシテ幸教公御代ヨリ幸民公御代藩籍御返上当時迄施行セラレタルモノ政事所備付ナルモノヲ正誼写置く」と書写の目的を記している。松代藩藩侯及び家中の儀式・礼儀をまとめたものである。安政 5 年の遺典は、9 代藩主真田幸教が書いたものと推定されるので、ここに収めた。

2. 真田家／御手許 19 点 慶応 4 年(1868)4 月

藩主の身近に備えた文書としての重用度が窺える史料である。(目録 28-その 1)では、真田家／.規式・次第、真田家／吉凶／参詣、日記／御奥御手本日記等と別編成に配されているが、真田家で揃って保管されていたこともあり、御手許文書としてまとめた。

3. 真田家／御用所 5 点 慶応 2(1866)年 9 月

規式・次第を司る御用所の文書は、御手許文書と同様の理由でまとめた。

4. 真田家／触出・御達 12 点 延享 2 年(1745)～明治 2 年(1869)10 月

幕府の触留、藩内の達・張紙貼などを配した。

5. 真田家／相続 31点 万治2年(1659)正月～大正2年(1913)1月

藩主ならびに家族の家督相続に関するものである。

6. 真田家／養子 28点 宝暦11年(1761)～寛政12年(1800)8月

真田家は、養子による家督相続が相次いであり、その養子縁組などの経緯に関する史料である。

7. 真田家／官位 6点 天明3年(1783)12月～文化13年(1816)12月

官位に関する口宣案・宣旨・位記及び四位(四品)以上に昇叙するにあたっての一件をおいた。

8. 真田家／勤役 57点 元文5年(1740)～明治2年(1869)

幕府に対する大名としての勤めとしての供奉、老中勤方例書、御手伝、海防に関するものをまとめた。

9. 真田家／官位—明治以降 50点 明治4年(1871)7月～大正3年(1914)7月

明治以降の官位に関する史料である。

10. 真田家／職務 11点 明治15年(1882)7月～昭和8年(1933)10月

明治以降の職務に関わるものである。

11. 真田家／婚姻 77点 安永6年(1777)～明治42年(1909)12月

藩主婚姻及び姫方の婚姻儀式に関する史料である。寛政期の婚礼儀式史料、貞姫の婚礼史料が一件としてまとまっている。

12. 真田家／誕生・元服 18点 明和9年(1772)～明治17年(1884)7月

真田家における誕生・元服に関する史料である。

13. 真田家／病氣・療養 24点 天明9年(1789)正月～文久3年(1863)

真田家での家人の病氣・療養に関する史料で、湯治の療養を含めた。

14. 真田家／忌日・精進日 2点 文政11年(1828)～慶応4年(1868)9月

歴代当主の御精進事の記録を収めた。

15. 真田家／交際 3点 寛政2年(1790)～安政2年(1855)7月

寛政2年の本多家との交際史料である。

16. 真田家／書状留 2点 未詳

権現様台徳院様御書写など書状留である。

17. 真田家／書状／直書 41点 宝暦6年(1756)6月～慶応2年(1866)9月

藩主の直書の写をまとめた。藩主直書は、真田家／書状／書状一括や真田家／家職／真田家書状類一括にも含まれるので、参照されたい。

18. 真田家／書状／書状一括 190点 享保18年(1733)6月～昭和25年(1950)3月

真田藩主及び親族縁者との書状がまとめて保管されていたので、敢えて分割せずにまとめた。

19. 真田家／書状／献上文書 3点 明治9年(1876)10月

明治9年に藩士堤清十郎が家康御内書を真田家に献上した文書である。「長野県宝『真田家文書』の基礎的考察—流入文書について」(原田和彦、1997)を参照されたい。

20. 真田家／奥向 48点 寛政5年(1793)～明治15年(1882)1月

藩主の夫人や子女に関する史料で、奥向き賄いに関する史料も含めた。

21. 真田家／文芸／歌道 12点 文化元年(1818)正月～明治22年(1889)

藩主やその夫人、子女の歌道に関する史料である。井上敏幸研究代表の『近世中・後期松代藩真田家
代々の和歌・俳諧・漢詩文及び諸芸に関する研究』が詳しいので参照されたい。

22. 真田家／文芸／香道 20点 宝暦12年(1762)～安永6年(1777)7月

香道書及び香木袋である。

23. 真田家／文芸／諸芸 30点 文化9年(1812)9月21日～明治22年(1889)

藩主やその夫人、子女の様々な芸道に関する史料である。

24. 真田家／文芸／歌道・諸芸一括 719点 安永8年(1779)春吉辰～明治20年(1887)11月

藩主やその夫人、子女の主に歌道に関する短冊や歌稿がまとめられていたので、一括のままに配した。
箏譜や書画など様々なものが含まれる。

25. 真田家／文芸／書画一括 20点 承応3年(1654)～明治42年(1909)12月

藩主やその夫人、子女の書画のまとまりで、拓本が含まれている。

26. 真田家／文芸／写本・書籍一括 97点 享保20年(1735)3月～昭和26年(1951)12月

歌道その他の写本・書籍である。

27. 真田家／文芸／写本・書籍 265点 承応4年(1655)～大正13年(1924)10月

「近世説美少年録」が桐製慳貪本箱とともに含まれる。

28. 真田家／文芸／写真 5点 未詳

29. 真田家／藩政／領内取締 6点 寛文7年(1667)～文化8年(1811)

寛政元年～文化8年の松代藩領内山方・里方・山里総人数・増減人数の書留「御領分人数」帳がある。

30. 真田家／藩政／諸役 62点 天明6年(1786)～明治4年7月(1871)

藩内の諸役所の史料を収めた。

31. 真田家／藩政／職制 2点 未詳

明治2年の「松代藩職制」写、藩士中等以上履行の慣例をまとめた「松代旧藩慣例概略」である。

32. 真田家／藩政／実録 2点 享保6年(1721)

「真常院様御昇進記」(真田幸道)、「感応実記 完」(真田貫道)の2冊。

33. 真田家／藩政／日記一家老 6点 安永4年(1775)～天明8年(1788)

真田家において、家老望月治部左衛門行広の私用日記「自覚」5冊、「真常院様御代 御役方留書写」
が揃えて保管されていたものである。加えて、望月監物重教の私用日記も配した。

34. 真田家／藩政／日記一御目付 7点 宝暦7年(1757)～文化7年(1810)

35. 真田家／藩政／日記一御水道方 2点 文政2年(1819)～文政3年(1820)

36. 真田家／藩政／日記一書拔・繰出 18点 万治3年(1660)～明治4年(1871)8月

表紙が虫損による欠損がひどく判読が難しい「日記繰出」である。日記繰出については、(松代藩庁と
記録、1998)を参照されたい。

37. 真田家／藩政／日記一諸職 14点 明治2年(1869)10月～明治4年(1871)8月

御膳番・計政局・藩庁・軍事局の日記である。

38. 真田家／藩政／郡方 7点 宝暦10年(1760)6月～天保年間 (1830~1844)

藩政における郡方の史料である。

39. 真田家／藩政／財政 28点 享保17年(1732)10月～明治2年(1869)

嘉永5年「御収納御取箇を以江戸御在所御入料請払御積」「御収納之外向々御余慶上納金御積」や

安政3.4年「御殿向御普請ニ付 建具類御入用御勘定帳」「御殿向御普請ニ付 壺之割軸方御入料御勘定帳」等を収めた。

40. 真田家／藩政／諸職／理事 7点 明治2年(1869)12月～明治3年(1870)正月

政事所理事による「御布令留」「日記」類である。

41. 真田家／藩政／諸職 25点 明治2年(1869)～明治4年(1871)11月

明治2年以降の政事所、民事方、学政局、軍事局などの史料である。

42. 真田家／藩政／家中 2点 寛政10年(1798)～弘化5年(1848)

褒賞に関する「出精御褒被下物帳」をおいた。

43. 真田家／家政／家範 1点 未詳

真田家の「家範草案」1冊であり、その条目には1.家訓 2.家主 3.家督相続(継承)及身分 4.住所及墓地 5.家産 6.家職 7.会計 8.家政会議の項が立てられている。

44. 真田家／家政／家政会議・評議員会議 12点 大正6年(1917)～昭和12年(1937)

大正6～8年の「評議員会決議録」「親族会決議録」「松代御別邸 御相談役会議日誌」を収めた。

45. 真田家／家職／家職雇用 7点 明治5年(1872)～大正7年(1874)

家職である家令家扶等雇人の雇用に関する書類である。「月給并満年資金交代并御用立帰御手充御賞御雇任命表定則」には、歴任の家令・家扶等の雇人の氏名・就任期間の記載がある。

46. 真田家／家職／道具・文書管理 119点 元和2年(1616)～昭和11年(1936)12月

本目録の「真田家文書の伝来」で示した明治・大正・昭和期の諸道具類と書籍、藩庁文書の管理に関する目録と記録をまとめた。

47. 真田家／家職／元松代庁 47点 明治4年(1871)～明治18年(1885)

廃藩置県後、家職が役務上管理したととらえて、松代庁時代の布令・布告留、進達・願届留、藩債処分書類などをおいた。

48. 真田家／家職／元松代庁－布告 12点 明治4年(1871)正月～明治12年(1879)

主として明治4年の家扶・監察・学校・軍事所管の「布告留」である。

49. 真田家／家職／旧臣給禄・御賞 22点 明治6年(1873)～明治22年(1889)12月

明治8年の「御賞調」5冊、計政局庶務掛の「中借金元帳」4冊がまとまっている。

50. 真田家／家職／諸願書 45点 明治4年(1871)～昭和6年(1931)

真田家への願書の中で、家令・家扶を宛先とする様々な歎願書などを収めた。

51. 真田家／家職／諸書状・書類 87点 明治7年(1874)～昭和6年(1931)

真田家に対する書状や書類である。宛所が真田家当主であっても、その実見の後に家職が保管したもの

のとしてここに配列した。

52. 真田家／家職／東京本邸 9点 未詳

「華族人員録」など東京本邸で使用した記録類である。

53. 真田家／家職／貸費生 13点 明治32年(1899)～大正8年(1919)

真田家による育英組織の貸費生関係書類である。

54. 真田家／家職／社寺 148点 天保3年(1832)～昭和13年(1938)

菩提寺である長国寺への寄付等に関する書類や真田神社、白鳥神社の祭礼に関する記録である。

55. 真田家／家職／日記－御家 5点 明治4年(1871)5月～明治20年(1887)

「御家日記」壱番から五番で、内容は内々に金品を御賞として下賜した記録である。

56. 真田家／家職／日記－家扶 90点 明治4年(1871)～大正13年(1924)1月

家扶が日々の記録をまとめた日記は、表紙に作成者がいないものがある。内容から、東京本邸に関する記述に限定している記録がある。これらを家扶日記と東京本邸日記とした。遅れて大正14年1月には真田家別邸分の日記が作成されている。家扶日記は、茶罫紙を用いていることが多い。

57. 真田家／家職／日記－東京本邸 66点 明治7年(1874)1月～大正12年(1923)12月

東京本邸の日記は、青罫紙に真田家とあるものが多く使用されている。日毎に来客の記録を克明に記録している。

58. 真田家／家職／日記－真田家別邸 37点 大正14年(1925)1月～昭和16年(1941)12月

真田家別邸日記は、大正14年からの作成が「真田家別邸」で、昭和3年から「松代別邸」と変わる。茶罫紙を主として用いている。日記記述は、日付と天候、当番として記録者の姓が記されている。

59. 真田家／家職／松代滞在 63点 明治24年(1891)11月～昭和15年(1940)1月

真田家当主及び家族が松代に滞在している期間の記録書類などをまとめた。

60. 真田家／家職／会計統括簿 28点 明治8年(1875)12月～明治45年(1912)3月

家令・家扶による、家禄・賞典その他の入金を総計し、東京と松代での支払いを総括して残金を記した帳簿である。

61. 真田家／家職／東京本邸惣勘定 26点 明治6年(1873)～明治31年(1898)1月

東京本邸の家令・家扶による、3月段階の勘定帳と出納帳を引き合わせて総括した帳簿である。

62. 真田家／家職／東京経済誌 8点 明治32年(1899)1月～明治45年(1912)3月

東京本邸惣勘定に代わり、明治32年1月から作成されるのが、東京経済誌である。

63. 真田家／家職／年中勘定書類 417点 明治6年(1873)～大正7年(1918)

会計統括簿・東京本邸惣勘定帳・東京経済誌の計上のための計算控、領収書などである。

64. 真田家／家職／予算・決算書類 62点 明治14年(1881)～昭和15年(1940)

各経費項目について、表形式に予算・決算書を整理した帳簿である。

65. 真田家／家職／会計諸帳簿 99点 明治6年(1873)～昭和8年(1933)

各種の会計計算のための諸記録・書類をまとめて配した。

66. 真田家／家職／地所・家屋 58点 明治17年(1884)～昭和22年(1947)

不動産に関する関係書類をまとめた。

67. 真田家／家職／諸金銭請払 21点 明治12年(1879)～昭和16年(1841)
真田家の様々な諸費用に関する書類である。宛所が真田家当主であるが、金銭請払を家職が取り扱い保管したものとしてここに配列した。
68. 真田家／家職／祝賀・献上 28点 明治10(1877)年1月～大正元年(1912)8月
真田家への年賀の挨拶や祝儀などに関わる帳簿類である。
69. 真田家／家職／葬儀・法事 13点 明治7年(1974)5月～昭和13年(1938)12月
真田家当主及び家族の葬儀や法事に関わる書類である。
70. 真田家／家職／真田家書状類一括 180点 明治7年(1874)8月～昭和2年(1927)1月
紐で一括された書状類の束である。年欠が多いため、まとまりごとに配列した。
71. 真田家／家職／真田家寄付・褒賞関係一括 113点 明治7年(1874)9月～昭和28年(1953)6月
紐で一括された真田家による各団体等への寄付活動に関する書類である。
72. 真田家／家職／真田家会計書類一括 177点 明治20年(1887)8月～昭和18年(1943)8月
真田家家職である家令・家扶が相互に取り交わした会計事務に関する書類である。
73. 真田家／家職／藩政文書・図面類一括 172点 文政10年(1827)9月～大正9年1(1920)1月
絵図や図面など大判の文書を一括にまとめたものである。藩主の江戸における上使接遇に関する史料が含まれる。
74. 真田家／家職／藩政諸評議書類一括 447点 天保10年(1839)12月～明治31年(1898)11月
紐で一括された藩政期の史料である。年欠文書が多いが、明治2(1869)年12月の職制制定から明治4(1871)年7月までの松代藩政に関する諸願書・書状がまとまって含まれている。
75. 真田家／家職／藩政書状類一括 94点 慶応2年(1866)4月～慶応3年(1867)4月
紙綴で一括された慶応期の松代藩家臣の書状類である。
76. 真田家／家職／藩政褒賞関係書類一括 26点 未詳
紐で一括された松代藩家臣への褒賞関係書類である。
77. 真田家／家職／家職諸書類一括 1299点 天明6年(1786)6月～昭和25年(1950)10月
紐で一括された真田家家職が取り扱ったさまざまな書類である。
78. 真田家／他家文書／信濃国更科郡今井村文書 148点
享保2年(1717)12月～明治12年(1879)5月
信濃国更科郡今井村の概況については、個別文書群の内における概要を参照されたい。このまとまりの中には、26点の原本史料と共に筆写原稿が含まれている。今井村に関わる入会山争論、堰水路一件、明治3(1870)年中野騒動及び松代藩に関わる騒動の始末記等がある。

[真田家文書関連文献一覧]

引用史料

(文書群記号・請求番号)／出典史料目録号数／編成項目：史料表題

(史料 No 寄 2.)／本目録、真田家寄託 真田家／法式：「御法式」、大正 14 年

(史料 No.寄 3)／本目録、真田家寄託 真田家／家政／家範

(史料 No.寄 119)／本目録、真田家寄託 真田家／家職／道具・文書管理

(史料 No.寄 184)／本目録、「日記目録」、大正 9 年、真田家寄託 真田家／家職／道具・文書管理

(史料 No.寄 185)／本目録、「諸記録目録」、大正 9 年、真田家寄託 真田家／家職／道具・文書管理

(史料 No.寄 120)／本目録、真田家寄託 真田家／家職／道具・文書管理

(史料 No.寄 130)／本目録、「本邸御荷物蔵置書」、昭和 11 年、真田家寄託 真田家／家職／道具・文書管理

(史料 No 寄 465)／本目録、「引継書」、大正 7 年、真田家寄託 真田家／家職／道具・文書管理

(史料 No.寄 879)／本目録、「定則」、明治 10 年、真田家寄託 真田家／家職／家職雇用

(史料 No.寄 1048-23)／本目録、真田家寄託 真田家／他家文書／信濃国更科郡今井村文書

(史料 No あ 791.)／(目録 28-その 1)「松代藩職制」藩政／松代庁／職制

(史料 No.あ 3515)／(目録 28-その 1)財政／御蔵奉行：「御用紙御役所品々控」文政 3 年 2 月 半 1 冊

(史料 No.い 1216 ～ 1302)／(目録 28-その 1)「御用日記」日記／御勘定所元々日記

(史料 No.い 2428)／(目録 28-その 1)「御払切留帳」財政／御余慶方／御払切留帳

(史料 No.い 2530)／(目録 28-その 1)「課業内預金銭請払御元帳」財政／元方御金奉行／内預金銭請払日記

(史料 No.う 230)／(目録 28-その 1)真田家／規式・次第／臨時規式：

(史料 No.う 238)／(目録 28-その 1)真田家／吉凶／葬送：

(史料 No.し 10)／(目録 87-その 8)「御勘定所図面」藩政／絵図／藩邸／御役所／家中拝領屋敷ほか／御勘定所

(史料 No.し 484)／(目録 87-その 8)「(御普請方作付場指図)」藩政／絵図／普請

当館出版関連

(引用参考文献略称)／書名・掲載誌

・(目録 28-その 1)／『史料館所蔵史料目録第二十八集 (信濃国松代真田家文書その一)』国立史料館、1978 年

・(目録 37-その 2)／『史料館所蔵史料目録第三十七集 (信濃国松代真田家文書その二)』国立史料館、1983 年

・(目録 40-その 3)／『史料館所蔵史料目録第四十集 (信濃国松代真田家文書その三)』国立史料館、1985 年

・(目録 43-その 4)／『史料館所蔵史料目録第四十三集 (信濃国松代真田家文書その四)』国立史料館、1986 年

・(目録 51-その 5)／『史料館所蔵史料目録第五十一集 (信濃国松代真田家文書その五)』国文学研究資料館史料館、1990 年

・(目録 59-その 6)／『史料館所蔵史料目録 第五十九集 (信濃国松代真田家文書〈その六〉)』国文学研究資料館史料館、1993 年

・(目録 86-その 7)／『史料館所蔵史料目録 第 86 集 (信濃国松代真田家文書〈その 7〉)』人間文化研究機構国文学研究資料館、2008 年

・(目録 87-その 8)／『史料館所蔵史料目録 第 87 集 (信濃国松代真田家文書〈その 8〉)』人間文化研究機構国文学研究資料館、2008 年

- ・(目録 88-その 9) / 『史料館所蔵史料目録 第 88 集 (信濃国松代真田家文書〈その 9〉)』人間文化研究機構国文学研究資料館、2009 年
- ・(目録 89-その 10) / 『史料館所蔵史料目録 第 89 集 (信濃国松代真田家文書〈その 10〉)』人間文化研究機構国文学研究資料館、2009 年
- ・(目録 90-その 11) / 『史料館所蔵史料目録 第 90 集 (信濃国松代真田家文書〈その 11〉)』人間文化研究機構国文学研究資料館、2010 年
- ・(目録 90-その 11、種村補説) / 『史料館所蔵史料目録 第 90 集 (信濃国松代真田家文書〈その 11〉)』人間文化研究機構国文学研究資料館、2010 年
- ・(真田家家中明細書、1986) / 国立史料館編『史料館叢書 真田家家中明細書』東京大学出版会、1986 年。
- ・(松代藩庁と記録、1998) / 国文学研究資料館史料館編『松代藩庁と記録—松代藩「日記繰出」』名著出版、1998 年
- ・(藩の文書管理、2008) / 国文学研究資料館アーカイブズ研究系編『藩の文書管理』(名著出版、2008 年)。
- ・(藩政アーカイブズ、2008) / 国文学研究資料館アーカイブズ研究系編『藩政アーカイブズの研究—近世における文書管理と保存—』(岩田書院、2008 年)
- ・(史料館報 50、1989) / 「昭和 63 年度(1988 年)新収史料紹介 受託史料 信濃国松代真田家文書」(『史料館報』第 50 号、1989 年)

参考文献(書名・著者名 50 音順)

- ・(浅倉有子、2008) / 浅倉有子「松代城地の払下と真田家の道具類(宝物)の管理」(『松代—真田の歴史と文化—』第 22 号、2008 年)
- ・(井上敏幸、2008) / 『近世中・後期松代藩真田家代々の和歌・俳諧・漢詩文及び諸芸に関する研究』井上敏幸研究代表者、科学研究費補助金(基盤研究(B))研究成果報告書(基盤研究(B)17320040)、2008 年
- ・井上勝生「藩財政史料の構造と分類法について」(『史料館研究紀要』第 10 号、1978 年)
- ・『角川日本地名大辞典』(角川書店、1978 年-1990 年)
- ・笠谷和比古「大名文書の史的特質と目録編成」(国文学研究資料館史料館編『史料の整理と管理』岩波書店、1988 年)
- ・笠谷和比古『近世武家文書の研究』法政大学出版局、1998 年
- ・北村保「真田宝物館所蔵真田家文書について」(『信濃』第 44 巻第 12 号、1992 年)
- ・北村典子「史料紹介『御腰物帳』」(『松代—真田の歴史と文化—』第 16 号、2003 年)
- ・北村典子「資料紹介『御腰物元帳』と真田家伝来の御腰物」(『松代—真田の歴史と文化—』第 18 号、2005 年)
- ・(更級埴科地方誌 近世編下) / 『更級埴科地方誌 近世編下』更級埴科地方誌刊行会、1981 年
- ・(更級埴科地方誌 近世編上) / 『更級埴科地方誌 第三巻 近世編上』更級埴科地方誌刊行会、1980 年
- ・『真田宝物館収蔵品目録 長野県宝・真田家文書 (1)』松代藩文化施設管理事務所、2004 年
- ・『真田宝物館収蔵品目録 長野県宝・真田家文書 (2)』松代藩文化施設管理事務所、2005 年
- ・『真田宝物館収蔵品目録 長野県宝・真田家文書 (3)』松代藩文化施設管理事務所、2006 年
- ・『真田宝物館収蔵品目録 長野県宝・真田家文書 (4)』松代藩文化施設管理事務所、2007 年
- ・(真田家未整理史料調査、2001) / 史料館リサーチアシスタント倉持隆『史料館所蔵真田家文書未整理史料調査報告書』2001 年本報告書は非刊、内部報告書
- ・(坂詰智美、2004) / 坂詰智美「松代藩の水道行政—職制機構に見える支配と実態—」(『比較法政研究』第 27 号、2004 年)
- ・(信濃の和紙、2000) / 『風土がはぐくんだ信濃の和紙』(長野市立博物館、2000 年)

- ・鈴木景二「松代藩の家臣由緒調査とその記録ー『文政七年真田家家中出仕由緒書』ー」（『松代ー真田の歴史と文化ー』第 23 号、2010 年）
- ・種村威史「天保期日光社参における宿城儀礼と奏者番」（『国史学』第 190 号、2006 年）
- ・『中野市誌 歴史編（後編）』中野市、1981 年
- ・『長野市誌 第三巻・歴史編・近世一』長野市、2001 年
- ・『長野市誌 第四巻・歴史編・近世二』長野市、2004 年
- ・『長野市誌 第五巻・歴史編・近代一』長野市、1997 年
- ・『長野市誌 第十三巻・資料編・近世』長野市、1997 年
- ・『長野県史 通史編・第四巻・近世一』長野県、1987 年
- ・『長野県史 通史編・第五巻・近世二』長野県、1988 年
- ・『長野県史 通史編・第六巻・近世三』長野県、1989 年
- ・『長野県史 通史編・第七巻・近代一』長野県、1988 年
- ・『長野県史 近世史料編・第七巻・一』長野県、1981 年
- ・『長野県史 近世史料編・第七巻・二』長野県、1981 年
- ・『長野県史 近世史料編・第七巻・三』長野県、1982 年
- ・『長野県史 近世史料編・第八巻・一』長野県、1975 年
- ・『長野県史 近世史料編・第八巻・二』長野県、1976 年
- ・『長野県史 近代史料編・第一巻・維新』長野県、1980 年
- ・（日本歴史地名大系）／日本歴史地名大系、ジャパンナレッジ（オンラインデータベース）
- ・（原田和彦、1998-1）／原田和彦『『真田家文書』について』（『信濃』第 50 巻第 4 号、1998 年）
- ・（原田和彦、1998-2）／原田和彦『『真田家文書』拾遺』（『信濃』第 50 巻第 11 号、1998 年）
- ・原田和彦『『木地蠟金御紋御附文庫』の文書類について』（『真田宝物館収蔵品目録 長野県宝・真田家文書（2）』松代文化施設等管理事務所、2005 年）
- ・（原田和彦、1997）／原田和彦「長野県宝『真田家文書』の基礎的考察ー流入文書について」（真田宝物館『松代ー真田の歴史と文化ー』第 10 号、1997 年）
- ・原田和彦「真田家の印章についてー『真田家文書』における位置ー」（『松代ー真田の歴史と文化ー』第 11 号、1998 年）
- ・原田和彦「江戸時代における真田昌幸像」（小林計一郎編『真田昌幸のすべて』、新人物往来社、1999 年）
- ・（原田和彦、1999）／原田和彦「松代城の『城付諸道具』ー真田家大名道具論（一）ー」（『松代ー真田の歴史と文化ー』第 12 号、1999 年）
- ・（原田和彦、2000）／原田和彦「真田家伝来の大名道具と道具帳ー真田家大名道具論（二）ー」（『松代ー真田の歴史と文化ー』第 13 号、2000 年）
- ・（原田和彦、2008）／原田和彦「松代藩における文書の管理と伝来」（国文学研究資料館アーカイブズ研究系編『藩政アーカイブズの研究』岩田書院、2008 年）
- ・原田和彦「信濃国松代藩の江戸藩邸変遷史 稿」（『松代ー真田の歴史と文化ー』第 22 号、2008 年）
- ・原田和彦「真田家における典籍の集積と流出」（『松代ー真田の歴史と文化ー』第 23 号、2010 年）
- ・原田和彦「真田家伝来の典籍整理の一方ー松代真田家別邸とのかかわりからー出」（『松代ー真田の歴史と文化ー』第 23 号、2010 年）
- ・原島陽一「真田家文書と松代藩家臣団の職制機構」（『史料館研究紀要』第 10 号、1978 年）

- ・原島陽一「宝物館所蔵真田家文書の特色と意義」(『松代—真田の歴史と文化—』第4号、1991年)
- ・原島陽一「明治三年の『職員録』」(『松代—真田の歴史と文化—』第7号、1994年)
- ・(降幡浩樹、1996)／降幡浩樹「松代災害関係年表」(『松代—真田の歴史と文化—』第9号、1996年)
- ・(降幡浩樹、1997)／降幡浩樹「史料目録による真田家史料群再構成への試論」(1994年度資料管理学研修会終了レポート、1995年)(本人許諾を得て、引用)
- ・(降旗浩樹、2005)／降旗浩樹「信州和紙の生産流通と御用紙(記録紙)」(国文学研究資料館アーカイブズ研究系「経営と文化に関するアーカイブズ研究」プロジェクト発表資料、2005年)
- ・(古川貞雄、2000)／古川貞雄「松代藩御勘定所元々役・御勘定役史料」(『市誌ながの』第7号、2000年)
- ・藤尾隆志・藪田貫「津田秀夫文庫文書目録4松代藩真田家大坂御用場関係文書について」(関西大学『博物館紀要』第12号、2008年)
- ・福田千鶴氏「近世領主文書の伝来と構造」(国文学研究資料館史料館編『アーカイブズの科学・下』柏書房、2003年)
- ・藤沢直枝『上田市史 下』信濃毎日新聞社、1940年
- ・『松代町史 上巻』松代町、1929年
- ・(松代藩災害史料1)／『松代藩災害史料 1』松代真田家文書勘定所元々日記抄 明和元年(1764)-安永4年(1775)／長野市誌編さん室編
- ・(松代藩災害史料2)／『松代藩災害史料 2』松代真田家文書勘定所元々日記抄 安永5年(1776)-安永9年(1780)／長野市誌編さん室編
- ・(松代藩災害史料3)／『松代藩災害史料 3』松代真田家文書勘定所元々日記抄 安永10年(天明元年1781)-天明4年(1784)／長野市誌編さん室編
- ・(松代藩災害史料4)／『松代藩災害史料 4』松代真田家文書勘定所元々日記抄 天明5年(1785)-寛政2年(1790)／長野市誌編さん室編、1998年
- ・(松代藩災害史料5)／『松代藩災害史料 5』松代真田家文書勘定所元々日記抄 寛政3年(1791)-寛政7年(1795)／長野市誌編さん室編、1998年
- ・(松代藩災害史料6)／『松代藩災害史料 6』松代真田家文書勘定所元々日記抄 寛政8年(1796)-寛政11年(1799) 古川貞雄、長野市誌編さん室、1998年
- ・(松代藩災害史料7)／『松代藩災害史料 7』松代真田家文書勘定所元々日記抄 寛政12年(1800)-享和3年(1803) 古川貞雄、長野市誌編さん室、1998年
- ・(松代藩災害史料8)／『松代藩災害史料 8』松代真田家文書勘定所元々日記抄 享和4年(文化元年、1804)-文化4年(1807)／長野市誌編さん室
- ・(松代藩災害史料9)／『松代藩災害史料 9』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文化5年(1808)-文化8年(1811)／長野市誌編さん室編、1999年
- ・(松代藩災害史料10)／『松代藩災害史料 10』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文化9年(1812)-文化11年(1814)、補遺 宝暦13年(1763)／長野市誌編さん室編、1999年
- ・(松代藩災害史料11)／『松代藩災害史料 11』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文化13年(1816)-文政2年(1819)／長野市誌編さん室編、2000年
- ・(松代藩災害史料12)／『松代藩災害史料 12』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文政3年(1820)-文政5年(1822) 長野市誌編さん室編、2001年
- ・(松代藩災害史料13)／『松代藩災害史料 13』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文政6年(1823)-文政9年(1826)

長野市誌編さん室編、2002 年

- ・ (松代藩災害史料 14)／『松代藩災害史料 14』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文政 10 年(1827)-文政 13 年(天保元年,1830)8 月/長野市誌編さん室編、2002 年
- ・ (松代藩災害史料 15)／『松代藩災害史料 15』松代真田家文書勘定所元々日記抄 文政 13 年(天保元年,1830)9 月-天保 3 年(1833)/長野市誌編さん室編、2003 年
- ・ (南隆哲、2011)／南隆哲「真田家文書」における文書管理と伝来―「御蔵内日記書類下調」を素材として―(2010 年度アーカイブズ・カレッジ長期修了論文、2011 年)
- ・ 山中さゆり「近代における真田家資料の展示と整理―長岡助次郎資料から―」(『松代―真田の歴史と文化―』第 11 号、1998 年)
- ・ 山中さゆり「真田家文書目録編成試論―研究の現状と展望―」(『松代―真田の歴史と文化―』第 21 号、2007 年)
- ・ 山中さゆり「史料紹介「職掌階級調」について」(『松代―真田の歴史と文化―』第 23 号、2010 年)
- ・ 吉永昭「藩財政についての基礎的研究 (上)・(下)」(『史学研究』第 55.56 号、1954 年)
- ・ 渡辺尚志「大名家文書の中の『村方文書』」(高木俊輔・渡辺浩一 編著『日本近世史料学研究―史料空間論への旅立ち―』北海道大学図書刊行会、2000 年、のち渡辺尚志編『藩地域の構造と変容―信濃国松代藩地域の研究―』岩田書院、2005 年に再録)
- ・ 渡辺尚志編『藩地域の構造と変容―信濃国松代藩地域の研究―』(岩田書院、2005 年)
- ・ 渡辺尚志・小関悠一郎編『藩地域の政策主体と藩政 信濃国松代藩地域の研究Ⅱ』(岩田書院、2008 年)

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
ほ			
1 真田家／家職／諸金銭勘定			
[御扶持受取通](明治2年9月～3年8月) 海沼辰男 ほ40～49まで巻込一括	明治2年巳	横半半・1冊	ほ40
[上東京旅日記](明治2年9月14日出宅～20日東京着までの日記・出金書上) 松代藩海沼姓 ほ40～49まで巻込一括	明治2年巳	横半半・1冊	ほ41
[在東京日識](明治2年9月14日～10月18日) 海沼賀前 ほ40～49まで巻込一括、巻末に「書籍出入」という項目あり	明治2年巳9月	横半半・1冊	ほ42
[在東京御賄雑用代受取扣](明治2年9月～明治3年8月) 海沼辰男 ほ40～49まで巻込一括	明治2年巳9月	横半半・1冊	ほ43
[在東京御飯米渡り方覚](明治2年9月着～明治3年8月8日出立) 海沼辰男 ほ40～49まで巻込一括	明治2年巳9月	横半半・1冊	ほ44
[在東必用](御執政等家中御手充金渡方帳) 海沼賀前 ほ40～49まで巻込一括、1丁は明治元年辰十二月付「御手充金渡方帳」の表紙	明治2年巳	横半半・1冊	ほ45
[帰邑雑誌](道中日記および金銭出入書上) 海沼賀前 ほ40～49まで巻込一括	明治3年午8月	横半半・1冊	ほ46
[帰邑旅日記](8月11日～18日) 海沼賀前 ほ40～49まで巻込一括	明治3年午8月	横半半・1冊	ほ47
[従武州板橋宿信州松代迄宿々駄賃帳](8月13日～18日) 松代藩海沼辰男内塚田與助 ほ40～49まで巻込一括	明治3年午8月	横長半・1冊	ほ48
[金銭請取覚帳](安中川越へ人足代等金銭受取、8月11日～16日) 廣田村與助→海沼辰男様 ほ40～49まで巻込一括	明治3年午8月	横半半・1冊	ほ49
(上京御用関係証文綴)		紙経綴・10点	ほ38
信濃屋三之助金銭受取証文[覚](板橋持出人足持ち出し人足4人分金3分受取に付) 信濃屋三之助→上	8月12日	堅紙・1通	ほ38-1
蔵屋善助売上証文[覚](染あみ他代147匁5分受取) 蔵屋善助→海沼(辰男)様	午8月8日	横切継紙・1通	ほ38-2
おき丁緑三郎金銭受取証文[覚](裏蕨代他残金1朱152匁受取に付) おき丁(沖町)緑三郎→上	8月7日	横切継紙・1通	ほ38-3
信濃屋三之助金銭受取証文[覚](松代までの道人足7両のうち5両受取に付) 信濃屋三之助→真田様御屋敷海沼(辰男)様	8月9日	堅紙・1通	ほ38-4
安中駅川境役人金銭受取証文[覚](川越人足10人分弁当代銭1貫文受取に付) 安中駅川境役人→	(明治3年)午8月15日	小切紙・1通	ほ38-5
[覚](蔵より矢代までの道中出金額3両3分3朱ト470文内訳書上)		横切継紙・1通	ほ38-6
丸竹屋代仲治郎売上証文[覚](白麻切直し代他代5両2朱165匁受取に付) (江戸芝赤羽根飯倉五丁目)丸竹屋代仲治郎→海沼(辰男)様	6月3日	横切紙・1通	ほ38-7
(追分から下戸倉までの両替相場書上)		横切紙・1通	ほ38-8
(本庄から沓掛までの両替相場書上)		横切紙・1通	ほ38-9
[覚](板橋から深谷までの両替相場書上)		横切紙・1通	ほ38-10
(諸品代金受取証文綴)		紙経綴・44点	ほ39
(米代金ノ16両2朱書上)		切紙・1通	ほ39-1
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](清水袖仕立代他6両3分2朱1	極月15日	横切継紙・1通	ほ39-2

ほ 1 真田家／家職／諸金銭勘定

欠9分に付) 松や吉兵衛→海沼辰男様			
松屋吉兵衛金銭受取証文反古紙[覚](本玉袖代他3両3分2朱ト3欠2分に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様 「反古」	正月10日	横切紙・1通	ほ39-3
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](御馬乗袴代他4両2分に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様	11月15日	横切紙・1通	ほ39-4
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](袴仕立代他2朱580文に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様	3月2日	横切継紙・1通	ほ39-5
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](羽織地仕立代5両ト2匁に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様	4月25日	横切紙・1通	ほ39-6
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](黒八丈代他3分2朱余に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様 綴外れ	極月18日	横切紙・1通	ほ39-7
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](嘉平次御袴代他10両2朱余に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様 綴外れ	4月11日	横切継紙・1通	ほ39-8
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](単物仕立代20匁に付) 松屋吉兵衛→海沼(辰男)様	6月9日	横切紙・1通	ほ39-9
升屋常七金銭受取証文[覚](絹代4両に付) 升屋常七→上	正月13日	小切紙・1通	ほ39-10
青梅屋徳兵衛金銭受取証文[覚](袴地代他2両3歩ト1匁に付) (宇田川町)青梅屋徳兵衛→海沼辰男様	已11月9日	横切継紙・1通	ほ39-11
丸竹屋代安藏金銭受取証文[覚](単物代2両余に付) (江戸芝赤羽根飯倉五丁目)丸竹屋代安藏→上様	4月13日	横切紙・1通	ほ39-12
丸竹屋代藤三郎金銭受取証文[覚](小袖直し代他両2分2朱248文に付) (江戸芝赤羽根飯倉五丁目)丸竹屋代藤三郎→上様	正月20日	横切紙・1通	ほ39-13
丸竹屋代唯藏金銭受取証文[覚](鼠格子男胴着3両1分2朱に付) (江戸芝赤羽根飯倉五丁目)丸竹屋代唯藏→上様	11月6日	横切紙・1通	ほ39-14
近江屋金銭受取証文[覚](紙入他代金残り2両1分に付) (山下町西側中程)近江屋→海沼辰男様	10月10日	横切紙・1通	ほ39-15
ゑひすや文七他一名金銭受取証文[覚](単物代他3両1分2朱と416文に付) ゑひすや文七・元三郎→海野(辰男)様	5月3日	横切紙・1通	ほ39-16
河内屋吉兵衛金銭受取証文[覚](京織平袴仕立代他4両1分に付) (松村町)河内屋吉兵衛→上	4月13日	横切継紙・1通	ほ39-17
河内屋吉兵衛金銭受取証文[覚](越後縮仕立直し代に付) (松村町)河内屋吉兵衛→上	4月15日	横切紙・1通	ほ39-18
山鳥会所金銭受取証文[覚](レーフル1本代55匁に付) (東京日本橋釘店島善会處)山鳥会所→上	6月12日	横切紙・1通	ほ39-19
万屋七兵衛代愛之助金銭受取証文[覚](金1両1分に付) 萬屋七兵衛代愛之助→海沼辰男様	午3月2日	横切継紙・1通	ほ39-20
万屋七兵衛代愛之助金銭受取証文[覚](金5両に付) 萬屋七兵衛代愛之助→海沼辰男様	午2月4日	横切紙・1通	ほ39-21
大和屋民次郎金銭受取証文[覚](黒羅紗とんひ6両3分2朱に付) 大和屋民次郎→海沼(辰男)様	極月	横切継紙・1通	ほ39-22
山本源助金銭受取証文[覚](十露盤他代金1分3朱613文に付) (神明前御門角)山本源助→上	11月5日	横切継紙・1通	ほ39-23
内のや弥平次金銭受取証文[覚](康熙字典小本代7両に付) 内のや弥平次→海沼(辰男)様	11月6日	横切紙・1通	ほ39-24
道具屋藤七金銭受取証文[覚](惣桐厚板箆筥1棹代2両2朱に付) 道具屋藤七→上	已12月4日	横切継紙・1通	ほ39-25
島屋善六金銭受取証文[覚](レーフル1本代3分2朱2匁5分に付) (東京日本橋釘店)島や善六→上	5月11日	横切紙・1通	ほ39-26
大黒屋喜兵衛金銭受取証文[覚](紺博多帯代他16両余に付)	10月8日	横切継紙・1通	ほ39-27

(両国通若松町)大黒屋喜兵衛→上			
大和屋民次郎金銭受取証文[覚](唐木綿代3両1分1朱に付) 大和や民次郎→海沼(辰男)様	極月大晦日	横切紙・1通	ほ39-28
こしま屋安兵衛金銭受取証文[覚](金2分2朱に付) (数寄屋 町三丁目)こしまや安兵衛→上	5月13日	横切紙・1通	ほ39-29
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](大織嶋衿仕立代他金2分3朱 124文に付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様	3月28日	横切紙・1通	ほ39-30
松屋吉兵衛金銭受取証文[覚](小袖仕立代他4両1分3朱余に 付) 松や吉兵衛→海沼(辰男)様	正月	横切紙・1通	ほ39-31
大和屋民次郎金銭受取証文[覚](極上の生金巾1疋代3両1分 2匁に付) (東京芝神明前宇田川町)大和屋民次郎→海沼(辰男)様	8月6日	横切紙・1通	ほ39-32
大和屋民次郎金銭受取証文[覚](萌黄ケツト1枚代1両3分2 朱に付) (東京芝神明前宇田川町)大和屋民次郎→海沼(辰男)様	8月6日	横切紙・1通	ほ39-33
某金銭受取証文(7枚分代4両3歩3朱442匁に付)		横切紙・1通	ほ39-34
中村屋栄助金銭受取証文[覚](鯉節代1両1分2朱余に付) 中 村屋栄助→上	8月7日	横切紙・1通	ほ39-35
かけや金銭受取証文[覚](品代6匁3分に付) かけや→上	8月7日	横切紙・1通	ほ39-36
伊勢屋吉右衛門金銭受取証文[覚](品代3朱に付) (江戸芝神 明前)いせや吉右衛門→上	8月6日	横切紙・1通	ほ39-37
武蔵屋長五郎金銭受取証文[覚](下駄代29匁8分に付) 武さ しや長五郎→上	8月6日	横切紙・1通	ほ39-38
八百勝金銭受取証文[覚](昆布他代金3分に付) (日本橋室町 二)八百勝→上	8月7日	横切紙・1通	ほ39-39
伊勢屋平助金銭受取証文[覚](砂糖代1両2朱に付) (江戸日 本橋室町一丁目)伊勢屋平助→上	8月6日	小切紙・1通	ほ39-40
□□屋金銭受取証文[覚](金花香代他3分2朱余に付) (江戸 芝神明前)□□や→上	8月6日	横切紙・1通	ほ39-41
榎本純達目録金受取証文[覚](目録金1両受取に付) 榎本純 達→海沼(辰男)君御使中 一部木版、朱印「榎本」	8月8日	横切紙・1通	ほ39-42
(金465両内訳勘定書)		横切紙・1通	ほ39-43
某売上証文[覚](短刀代他9両1分2朱224文受取に付)		横切紙・1通	ほ39-44

2 藩政／勤役／供奉

(供奉に関する家中の名面書)		縦折紙・1通	ほ15
----------------	--	--------	-----

3 藩政／家中／賞罰

(定才領小兵衛、御用状江戸にて取落不調法一件関係書類綴 天明元年4月～閏5月)		紙縫綴・10点	ほ79
[御用状江戸取落不調法一件](包紙) 定才領小兵衛→上	天明元年丑ノ4月	包紙・1点	ほ79-1
片岡唱他一名用状(定宰領小越町小兵衛紛失物不承知の旨 届出に付) 片岡唱・望月九郎右衛門→祿津要左衛門様・小川多次 様	(天明元年)4月29日	横切紙・1通	ほ79-2
板橋宿御出入岡右衛門他二名願書[以書付奉願上候](御荷 物穿鑿日延願に付) 板橋宿年寄茂右衛門・上赤塚村年寄伊三 郎・板橋宿御出入岡右衛門→真田伊豆守様御荷物御宰領古谷小兵衛	天明元年丑4月29日	縦紙・1通	ほ79-3

ほ3 藩政／家中／賞罰 4 藩政／家中／屋敷・地所 5 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

様			
宰領小兵衛申上書[口上覚](紛失荷物内訳に付) 宰領小兵衛→御賄所	(天明元年)丑4月29日	縦継紙・1通	ほ79-4
宰領小兵衛願書[口上覚](御用状紛失のため在所へ帰国願に付) 宰領小兵衛→御賄所	(天明元年)4月	縦紙・1通	ほ79-5
片岡唱伺書[口上覚](定宰領小兵衛在所郡方にて詮議願に付) 片岡唱→ -	(天明元年)4月29日	横切継紙・1通	ほ79-6
片岡唱用状(小兵衛在所へ帰国願願書等添付に付) 片岡唱→ 祢津要左衛門様・小川多次様	(天明元年)4月29日	横切継紙・1通	ほ79-7
小越町定才領小兵衛申上書[乍恐以上書申上候御事](御用送り証文入御状紛失御用捨願に付) 小越町定才領小兵衛→御蔵御番御衆中	天明元年丑5月	縦継紙・1通	ほ79-8
定才領小兵衛申上書[覚](御尋のため紛失才領荷物内訳届に付) 定才領小兵衛→御蔵番御衆中	(天明元年)閏5月5日	横切継紙・1通	ほ79-9
某申渡(定宰領小兵衛赦免申付の件各伺の通り申渡さるべき旨に付) - →郡奉行中	(天明元年)閏5月15日	横切継紙・1通	ほ79-10
三人用状(役方支配の者配物などの儀に付) 三人→ -	7月	横切継紙・1通	ほ11
某用状(御役方物書御賞筋の儀に付)		横切継紙・1通	ほ12
(手附世話役賞与の儀に付飯島和平太他7名履歴綴並びに関係書類8点貼付) 付箋多数貼付、朱書あり、右肩1点仮綴、飯島和平太・立岩長兵衛・久保文左衛門・宮川丈左衛門・井口政吉・市川義市・渡辺喜久蔵・草川房吉・清水栄作・河崎千之助・今井清四郎の履歴	(明治2年)	縦半・1冊	ほ21
(賞与の儀に付三井孝右衛門他6名履歴綴並びに関係書類6点貼付) 付箋多数貼付、朱書あり、右肩1点仮綴、三井孝右衛門・浅井佐一郎・池田儀左衛門・太田直平・桜井欣之丞・岸田要右衛門・永原新之助	(明治2年巳)	縦半・1冊	ほ22
[御答之記](家中の咎人に対する申し渡し次第並びに席次図) 図面朱書入、内題「御答取計之記」	明治3年庚午2月	縦半・1冊	ほ17
[御答之記](家中の咎人に対する申し渡し次第並びに席次図) 監察 図面朱書入、内題「御答取計之記」、表紙貼紙「監察」	明治3年庚午2月	縦半・1冊	ほ19
(家中の咎人に対する申し渡し席次図) 図面朱書入	(明治)	縦半・1冊	ほ18

4 藩政／家中／屋敷・地所

佐川又左衛門他一名届書(佐川又左衛門小作地の一部を中島渡浪拝領の件伺済に付) 佐川又左衛門・中島渡浪→ - 裏打済、図面朱書入、裏書「天保六未年」	(天保6年)未3月	縦折紙・1通	ほ14
[評定所脇御小作地絵図面扣](評定所脇高橋権之丞居宅絵図) 朱書あり		31.4×49.5・1舗	ほ50

5 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

[田野口村外四拾三村手馬附越ニ付村々口留引合印鑑職方より相廻候付口留之者江相渡請取印判帳出置](袋) 寺内多宮	天保7年申2月	袋・1点	ほ8-1
[御印鑑御渡ニ付請印帳] 有旅村御口留案右衛門・田野口村御口留莊吉他11名・吉田村御口留肝煎十太夫→御郡御奉行所	天保7年申2月	横長半・1冊	ほ8-2
矢代村名主恒左衛門他七名申上書(問合のため矢代村久左衛門宅俳諧句合参会者取調に付) 矢代村名主恒左衛門・同断	弘化2年巳4月	横長半・1冊	ほ25

弥吉・組頭富左衛門他5名→御代官所 付札1ヶ所あり、以下は34まで句会一件書類			
(矢代村下横田村俳諧会差留の旨申渡案) 山寺源太夫等による付箋および朱書多数	(弘化2年)	横長半・1冊	ほか26
(山王宮献額のための俳諧会茶物等代金書上) 矢代村下横田村俳諧句合関係	(弘化2年)	横切継紙・1通	ほか27
御付人文太内々申上書[申上](矢代村久左衛門宅における句合差留後の様子に付) 御付人文太→	(弘化2年)3月25日	横切継紙・1通	ほか28
多柑書状[申上](円福寺にて山王宮額面発句会定日御成賀延引願に付) 多柑→四方衆中 雨柳はほか34-4の定重の俳名	(弘化2年)4月	横切紙・1通	ほか29
[千曲園点式按披露句合](矢代村俳諧連摺物) (跋文:生坂屋安左衛門)→ 村名等加筆	(弘化2年)	横切紙・1通	ほか30
[山王宮廣前遍額](下横田村山王社への献額句合についての摺物) (寒岳園宗匠・更級菴宗匠撰)→	(弘化2年)	横切紙・1通	ほか31
(矢代村・下横田村句合吟味の件に付岡嶋莊蔵用状一括 弘化2年3月～4月)		紙綴束・5点	ほか32
(紙綴)	(弘化2年)	紙綴・1点	ほか32-1
岡嶋莊蔵用状(下横田村産神社建替発句額奉納の儀に付) (岡嶋)莊蔵→(菅沼)弥惣右衛門様・(竹村)金吾様・(山寺)源太夫様 朱書あり、端裏書「一」「廻状」「下横田村一件」、虫損甚大	(弘化2年)3月□日	横切継紙・1通	ほか32-2
岡嶋莊蔵用状(矢代村・下横田村句合差止の件相談に付) (岡嶋)莊蔵→(菅沼)弥惣右衛門様・(竹村)金吾様・(山寺)源太夫様 端裏書「二」「廻状」「矢代村一件」	(弘化2年)3月24日	横切継紙・1通	ほか32-3
岡嶋莊蔵用状(下横田村句合催主呼出し方相談に付) (岡嶋)莊蔵→(菅沼)弥惣右衛門様・(竹村)金吾様・(山寺)源太夫様 端裏書「三」「廻状」	(弘化2年)3月26日	横切継紙・1通	ほか32-4
岡嶋莊蔵用状(矢代村・下横田村句合別紙名面人別並びに催主呼出し方相談に付) (岡嶋)莊蔵→(菅沼)弥惣右衛門様・(竹村)金吾様・(山寺)源太夫様 端裏書「四」「廻状」	(弘化2年)4月3日	横切継紙・1通	ほか32-5
(付箋)[先例](下真嶋村常右衛門等催会摺物差出一件申付書および北平林村源左衛門等御答伺) 付箋朱書「先例」、朱書丸印あり	(弘化2年)	豎半・1冊	ほか33
(矢代村・下横田村句合一件村方申上書類綴 弘化2年3月～4月)		紙綴綴・5点	ほか34
矢代村名主弥吉他八名申上書[御尋ニ付乍恐以書付奉申上候(句合一件最初三役人宿久左衛門答書) 矢代村名主弥吉・同孝三郎・宿久左衛門他6名→郡御奉行所 端書書「矢代村」、「式印」の上の貼紙に「句合一件」加筆	弘化2年已3月24日	豎半・1冊	ほか34-1
矢代村名主弥吉他七名願書[乍恐以書付御聴置奉願上候](久左衛門宅における句合開催願) 矢代村名主弥吉・同孝三郎・組頭忠右衛門他5名→郡御奉行所 端書書「一印」	弘化2年已3月24日	豎折紙・1通	ほか34-2
下横田村名主金右衛門他二名申上書[御尋ニ付乍恐以書付奉申上候](上横田村山王宮への献額催主お尋ねに付) 下横田村名主金右衛門・組頭源弥・長百姓大治郎→御代官所	弘化2年已3月	豎折紙・1通	ほか34-3
定重他五名請書[乍恐以書付御請奉申上候](定重他2名句合の儀吟味中、農業の外他行差留に付) 定重・文右衛門子本吉・藤蔵他3名→郡御奉行所 端書書「他行留請書」	弘化2年已4月11日	豎折紙・1通	ほか34-4
矢代村峯之助他二十一名請書[乍恐以書付御請奉申上候](峯之助他13名句合の儀吟味中、農業の外他行差留に付) 矢代村峯之助・栄吉・桂治他19名→郡御奉行所 丁間に印あり、端書「他行留請書」	弘化2年已4月11日	豎半・1冊	ほか34-5
(山中筋村々押込盗賊穿鑿御締筋申渡請証文添絵図面袋一括)		袋一括・8点	ほか77

ほ5 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調 6 藩政／諸職／監察方／諸願書・取調

[山中筋村々押込盗賊有之為穿鑿同心共出役村々江御締筋申渡請証文ニ添差出候絵図面](袋)	慶応2年寅7月	袋・1点	ほ77-1
[新町村・里穂苅村・上條村・山上条村・下市場村・牧之嶋村・竹房村メ七ヶ村組合](絵図) 彩色、合図番小屋・高札場等記載		55.2×76.8・1舗	ほ77-2
(埤根村・倉並村・五十平村・橋詰村両組・古間村・岩草村6か村組合小屋等絵図)		54×74・1舗	ほ77-3
(有旅村・中山新田周辺合図場絵図)		62×50・1舗	ほ77-4
(瀬沼村・笹平村・大安寺村・五十里村・岩草村・平出村・古間村・五十平村・宮野尾村絵図)		28×36・1枚	ほ77-5
(軽井沢村・高野村周辺合図場絵図) 彩色		28×38・1枚	ほ77-6
(赤田村・田野口村・境新田村・氷熊村・入有旅村・三水今泉村・灰原村周辺合図番小屋絵図) 彩色		38×57・1舗	ほ77-7
(五ヶ村組合村山布施村・山村山村・青地村・山平林村・安庭村絵図) 五ヶ村組合村山布施村・山村山村・青地村・山平林村・安庭村→ - 彩色	慶応2年寅7月	56×74・1舗	ほ77-8
恩田頼負用状(作成・請取部分のみの断簡) 恩田頼負→岡嶋莊藏殿		横切紙・1通	ほ13
宇敷元之丞他一名用状(当藩城用材薪近々早流のため戸隠社領川辺村々取締依頼に付) 宇敷元之丞・草間一路→(戸隠社領役人)栗田要人様 紙綴共	9月13日	横切継紙・1通	ほ57
某用状(御鷹方御焼印拝借取計りに付) 前欠	正月3日	横切紙・1通	ほ75

6 藩政／諸職／監察方／諸願書・取調

(市村渡船場乱妨一件関係書類綴 明治3年8月～12月)		紙綴綴・20点	ほ51
下目付申上書[申上](市村舟会所近辺乱妨者の趣穿鑿指令に付) 下目付→ - 「右村近辺并善光寺等江罷越風説取り繕此段申上候」、裏打済	(明治3年)9月	横切継紙・1通	ほ51-1
議事申上書(小林常男等処置風聞に付) 議事→ - 端裏書「御内密申上」	(明治3年)6月	横切継紙・1通	ほ51-2
調役申上書(小林常男他領住居の趣、穿鑿仰渡に付) 調役→ - 「右之趣右村小森沢村辺江罷越風説取繕此段申上候以上」、虫損あり	(明治3年)9月	横切継紙・1通	ほ51-3
御目付申上書(小林常男他3名処置方下案の当否に付) 御目付→ - 端裏書「小林常男等御処置方之義ニ付御尋申上」、下ヶ札あり	(明治3年)10月	横切継紙・1通	ほ51-4
御勘定吟味申上書(小林常男他3名処置方に付) 御勘定吟味→ - 端裏書「小林常男等御答筋之義ニ付申上」	(明治3年)10月	横切継紙・1通	ほ51-5
玉川調布願書(順次郎御内察に付) (玉川)調布→ -	(明治3年)10月	横切継紙・1通	ほ51-6
玉川調布願書(次男順次郎処分の件慎置きに付) (玉川)調布→ -	(明治3年)10月	横切継紙・1通	ほ51-7
御目付申上書(調布殿次男順次郎士官学校取立の件懸念に付) 御目付→ - 端裏書「別紙申上」	(明治3年)10月	横切継紙・1通	ほ51-8
神平申上書(市村舟会所近辺乱妨者処置方評議に付) (柵津)神平→ -	(明治3年)10月22日	横切継紙・1通	ほ51-9
議事申上書(小林常男他2名の件明白の御処置願に付) 議事→ - 端裏書「小林常男等御答筋之義ニ付申上」	(明治3年)12月	横切継紙・1通	ほ51-10
久保三郎他一名申上書(小林常男等答筋当否伺に付) (久保)三郎・(白川)税→ - 端裏書「小林常男等御処置之義御尋申上」	(明治3年)8月	横切継紙・1通	ほ51-11

神社郡政局他役方二局申上書(小林常男等御答筋関係書類 御下の件御尋のため回答に付) 神社郡政局・計政局・市政局 → - 端裏書「小林幸男等御答筋之儀ニ付申上」	(明治3年)10月	横切紙・1通	ほ51-12
議事申上書(船場暴行一条捕込申立并権少参事再評等御下 ヶ問合に付) 議事→ - 端裏書「小林常男等御処置方之義再議 申上」	(明治3年)8月	横切継紙・1通	ほ51-13
真田桜山用状(小林常男等処置方議長等向々相尋ね打出に 付) (真田)桜山→(大熊)薫様	(明治3年)8月18日	横切継紙・1通	ほ51-14
少参事申上書(小林常男他4名処置方に付) 少参事→ - ほ 51-19の下案	(明治3年)8月	横切継紙・1通	ほ51-15
小林常男他四名宛申付書案(市村渡頭一件処置に付) 端裏 書「案」付箋多数	(明治3年)	横切継紙・1通	ほ51-16
大熊薫用状(小林常男処置方議長見込別紙の通りに付) (大 熊)薫→(真田)桜山様	(明治3年)10月12日	横切紙・1通	ほ51-17
桜山廻状(小林常男等処置方少参事の取調案文に付) (真 田)桜山→(鎌原)溶水様・(赤沢)蘭溪様・(河原)均様他1名 端裏書「 回牒 小常等御處置」	(明治3年)10月13日	横切継紙・1通	ほ51-18
小林常男他四名宛申付書(市村渡頭一件処置に付) 裏打済	(明治3年)	横切継紙・1通	ほ51-19
調役申上書(市村舟会所における狼藉者の件穿鑿指令に付) 調役→ - 裏打済	(明治3年)9月	横切継紙・1通	ほ51-20
玉川順二郎申上書[覚](市村渡船場乱妨一件次第に付) 玉 川順二郎	(明治3年)	堅半・1冊	ほ52
郡政捕亡宮川伊兵衛他三名申上書[申上](市村渡船場暴行 者取計始末お尋ねに付) 郡政捕亡宮川伊兵衛他1名・御預所捕 亡田中与総右衛門・元郡政捕亡岸田鎮治→郡政捕亡宮 下ヶ札「鎮治 申上書」	(明治3年)午6月	堅半・1冊	ほ53
(掛合村々借財高増減取調に付代官并勘定役口上書) 紙背 包紙、上書「上」「次坂村」	(明治3年)午7月	横折紙・1通	ほ54

7 藩政／諸職／民事掛／申上書・諸願書

民事懸伺書并端裏朱印(去々巳年出来の招魂場登り口道造 引粉願に付) 民事懸→ - 封筒上書「明治四年カ」、端裏書「招魂 場登り口道筋御引粉之義伺」	(明治4年)(未)9月4日	横切継紙・1通	ほ36
(福島村仙左衛門手寄借入金返済関係書類一括)		紙縫一束・2点	ほ58
野中喜左衛門内々申上書并民事懸添伺貼紙(福島村仙左衛 門手寄借入金返済のため御繰替願に付) 野中喜左衛門→ (民事懸) 端裏書「須坂藩下綿内村等御借入御返済之義申上」	(明治4年)5月	横切継紙・1通	ほ58-1
福嶋村仙左衛門願書(辰年夏中借入金返金に付) 福嶋村仙左 衛門→野中喜左衛門様	(明治4年)正月29日	横切継紙・1通	ほ58-2
(沓野村奥御林境界定掛入料金御下金願一件関係書類一括)		国立資料館封 筒一括・10点	ほ78
(館三郎下金歎願関係書類綴)		紙縫綴・4点	ほ78-1
三沢清美申上書(館三郎へ下金願に付) 三沢清美→ - 端裏書 「館三郎御下金歎願之義ニ付尚又申上」、下ヶ札あり	西9月	横切継紙・1通	ほ78-1-1
三沢清美申上書(三郎取替金元金・下金願に付) (三沢清美) → - 端裏書「去年申立写」		横切紙・1通	ほ78-1-2
館三郎願書(地続土地払下場所入札相成り、沓野奥御林境界 定掛入料金下渡願に付) 館三郎→ - 端裏書「沓野奥御林境立 入料御下金願」	西9月26日	横切紙・1通	ほ78-1-3
館三郎願書(昨9月申し上げの金高下渡願に付) 館三郎→ -	戌1月16日	横切継紙・1通	ほ78-1-4

ほ 7 藩政／諸職／民事掛／申上書・諸願書 8 藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・諸願書

端裏書「杵野奥御林境立御入料御下金願」			
監督申上書(館三郎へ金高尋ねるべきに付) 監督→ - ほ78-1に78-2・3巻込、端裏書「館三郎儀御尋付申上」	11月27日	横切継紙・1通	ほ78-2
(館三郎下金歎願関係書類紙綴一括) ほ78-1に78-2・3巻込		紙綴束・5点	ほ78-3
(紙綴)		紙綴・1点	ほ78-3-1
三沢清美内々申上書(館三郎歎願申立の件余儀なき事情の旨に付) (三沢)清美→ - 端裏朱書「十」端裏書「館三郎歎願之義ニ付御内々申上」	10月	横切継紙・1通	ほ78-3-2
三沢清美申上書(館三郎下金願の件別紙申立に付) 三沢清美→ - 端裏書「館三郎御下金之儀尚又歎願ニ付申上」	戌1月	横切紙・1通	ほ78-3-3
三沢清美申上書(館三郎下金歎願の件考慮願に付) 三沢清美→ - 端裏書「館三郎御下金歎願之義申上」	1月	横切紙・1通	ほ78-3-4
館三郎恩賞書上書(館三郎杵野村山林図面取調尽力のため給野羽織賞与に付) 端裏書「御書付写」	(明治4年)辛未9月12日	横切紙・1通	ほ78-3-5

8 藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・諸願書

(出動兵士功罪帰発等証文綴 明治4年)		紙綴綴・32点	ほ24
某伺書并付札(小荷駄方附属安岡甚八他18名被下口の儀に付並びに酒井弥太郎他1名分名面脱落の旨付札) 端裏書「被下方相違人別伺」		横切継紙・1通	ほ24-1
某用状(小員の事軍事掛り持に付)		小切紙・1通	ほ24-2
某用状(隊入卒頭判の者人数取調の旨取扱に付)		横切継紙・1通	ほ24-3
(金児隊隊員名面書)		横切紙・1通	ほ24-4
(半田吉五郎他52名名面書) 朱書あり		横切継紙・1通	ほ24-5
(6月より凱陣まで、平塚三郎治他1名名面書)		小切紙・1通	ほ24-6
(一等二番隊から二等六番隊名面書)		横切継紙・1通	ほ24-7
(一等二番隊から二等六番隊隊員名面書) ほ-24-9と同文異筆		横長半・1冊	ほ24-8
(一等二番隊から二等六番隊隊員名面書) ほ-24-9と同文異筆		横長半・1冊	ほ24-9
(組員・小頭名面書) 小頭中村喜市他17名名面書		横切継紙・1通	ほ24-10
(組員・小頭名面書) 同形態、異筆3通が巻込一括、片岡茂作組宮下文之助他15名・小頭山川千二郎他15名・宮尾半之助組坂口寿吉他7人名面書の3通		横折紙・3通	ほ24-11
(牧野隊一件に付証蓮寺にて集会等にて周旋尽力の事)		横切継紙・1通	ほ24-12
(清水家初代量右衛門より四代弥兵衛勤方履歴)		横切継紙・1通	ほ24-13
(清水莊左衛門勤方履歴)	(明治)	横切継紙・1通	ほ24-14
[別紙申上](包紙) 松本忠右衛門・市川義市	(明治4年辛未10月)	包紙・1点	ほ24-15-1
松本忠右衛門他一名申上書(別紙申立に付) 松本忠右衛門・市川義市→ -	(明治4年)辛未10月	切紙・1通	ほ24-15-2
[除隊御願](包紙) 山口良之助	(明治4年辛未10月)	包紙・1点	ほ24-16-1
山口良之助願書(疝積のため一等二番隊除隊願) 卒勇之助倅一等二番隊山口良之助→伍長御中 「医師吉原一庵」を「吉原一庵」に貼紙訂正	(明治4年)辛未10月	横切継紙・1通	ほ24-16-2
小平次用状(山口良之助病気のため銃隊除隊申渡に付) 小平次→(北沢)冠岳様	(明治4年)辛未10月4日	横切紙・1通	ほ24-17

ほ 8 藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・諸願書	9 藩政／財政／勘定所／諸用状	10 藩政／財政／勘定所／拝借掛
河口中尉用状(副隊長廃止後の取扱に付) 河口中尉→軍事掛 少参事御中	9月29日	横切継紙・1通 ほ24-18
大属用状(使部北村喜三郎立帰の儀取計等に付) 大属→銃兵 副隊長補御中 端裏書「九月廿七日」	9月21日	横切継紙・1通 ほ24-19
戊辰戦争御賞書付文面書上(上等・中等・討死之分等毎の文 案) 朱書あり		横切継紙・1通 ほ24-20
三井孝右衛門内々申上書(御答条の内2人の名面不弁のため 問合せ御流し願に付) 三井孝右衛門→-	5月	横切継紙・1通 ほ24-21
矢野倉謙兵衛用状(足軽名面並びに組名等相違の分問合に 付) (矢野倉)謙兵衛→(根井)小右衛門様	10月24日	横切継紙・1通 ほ24-22
某用状(教練の者兵隊用立て兼ねる節の取計方等に付)		小切紙・1通 ほ24-23
某申渡(番組仕長名公撰に付)		横切継紙・1通 ほ24-24
某用状(給禄渡方来申年も当年の通り頼に付)	(未)	横切継紙・1通 ほ24-25
某申渡(戊辰の夏越州出張等大儀のため御賞2石3ヶ年下付 に付) -→樋口旗之助御借人国三郎組池田栄十郎 裏書「池田栄 十郎」「統兵小隊長」	12月29日	横切継紙・1通 ほ24-26
宮本直左衛門控書(皆勤等に付御賞下付45人名面書) 宮本 直左衛門→-		横折紙・1通 ほ24-27
大沢佐左衛門組倉田源太郎他四名願書[口上覚](去辰上京 御奉公のため御賞下付に付) 大沢佐左衛門組倉田源太郎・倉 嶋鶴右衛門組保谷豫一郎・中條賀助組坂口栄太郎他2名→池田儀左衛 門殿・山崎榮作殿	明治3年午2月	縦継紙・1通 ほ24-28
中澤平兵衛親類岸田繁左衛門組藤次郎他一名歎願書[乍恐 口上書を以御継り奉歎願候](親類中澤平兵衛不審の件処 分に付) 中澤平兵衛親類岸田繁左衛門組藤次郎・新小銃組三郎→ 御割番所	明治3年午6月12日	縦継紙・1通 ほ24-29
市川義市親類太田直一郎組峯太郎他一名歎願書[乍恐以書 付御継り奉歎願候](親類市川義市先般五小队願立の件処 分に付) 市川義市親類太田直一郎組峯太郎・右同断立岩才治→御 割番所	明治3年午6月	縦継紙・1通 ほ24-30
連名申上書写(兵制改正の件評議に付) 連名 天右仮綴	(明治)11月	豎半・1冊 ほ20

9 藩政／財政／勘定所／諸用状

関田莊助返書(勘定所付弁治郎帰京のため先触の件伺等に 付) (関田)莊助→(水野)清右衛門様 端裏書「辰三月十八日附返 書」,ほ59～69巻込一括	(慶応4年)辰3月5日	横切継紙・1通 ほ63
関田莊助用状(上祖山村久米太悻仲之助上京のため駒村氏 と諸事連絡に付) (関田)莊助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門 様 ほ59～69巻込一括	(慶応4年)8月21日	横切継紙・1通 ほ64
関田莊助用状(去卯年中京都出入の者等へ扶持方代金渡方 に付) (関田)莊助→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「 辰十月十日達」,ほ59～69巻込一括	(慶応4年)辰8月15日	横切継紙・1通 ほ65
関田莊助用状(扶持代金69兩1分2朱3匁1分9厘、大黒屋幸蔵 への為替并正金送金願に付) (関田)莊助→(酒井)市治様・(水 野)清右衛門様 ほ59～69巻込一括	(慶応4年)8月15日	横切継紙・1通 ほ66

10 藩政／財政／勘定所／拝借掛

(石代金書上綴) 「拝借方掛り」「初方掛り」など		紙綴綴・5点 ほ3
--------------------------	--	-----------

(小林友之丞分取金関係書類綴)		紙縫・2点	ほ4
(石代金書上綴) 内5点は白紙		紙縫綴・6点	ほ7
[丑年](細田久七等47名分名面書)	(丑)	横切継紙・1通	ほ9

11 藩政／財政／勘定所／切米渡

(切米・扶持米・被下米受取渡証文綴 文久3年1月～元治元年4月)		紙縫綴・50点	ほ23
[御印鑑証文入](表紙) 粉方掛→	文久3年亥1月	堅切紙・1通	ほ23-1
大内源之助他一名切米受取渡証文[覚](大代本詰足輕切米 粉56俵受取の上支給に付) 大内源之助・立岩孝左衛門／(奥 印)宇敷元之丞／(奥印)吉野芳馬／(奥印)草間一路→磯田音門殿・長 谷川三郎兵衛殿・草間一路殿 貼紙訂正2ヶ所	文久3年亥6月	堅継紙・1通	ほ23-2
立岩孝左衛門他一名切米受取渡証文[覚](本割番詰小頭切 米粉28俵受取の上支給に付) 立岩孝左衛門・中沢忠吾／(奥 印)宇敷元之丞／(奥印)吉野芳馬／(奥印)草間一路→磯田音門殿・長 谷川三郎兵衛殿・草間一路殿 奥印が長谷川三郎兵衛から草間一路 に貼紙で訂正	文久3年亥6月	堅継紙・1通	ほ23-3
中沢忠吾他一名切米受取渡証文[覚](真田志摩出府借人詰2 人分切米粉16俵受取の上支給に付) 中沢忠吾・御切米懸小頭 高橋龍左衛門／(奥印)鹿野伴治／(奥印)柿崎良作／(奥印)斎藤友衛 →磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・斎藤友衛殿	文久3年亥10月	堅継紙・1通	ほ23-4
中沢忠吾他一名切米受取渡証文[覚](小山田壱岐借人詰2人 分切米粉16俵受取の上支給に付) 中沢忠吾・御切米懸小頭高 橋龍左衛門／(奥印)鹿野伴治／(奥印)窪田半弥／(奥印)斎藤友衛→ 磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・斎藤友衛殿	文久3年亥10月	堅継紙・1通	ほ23-5
大野健左衛門他一名切米受取渡証文[覚](増本詰足輕6人分 切米粉48俵受取の上支給に付) 大野健左衛門・中沢忠吾／ (奥印)竹田小左衛門／(奥印)柿崎良作／(奥印)斎藤友衛→磯田音門 殿・成澤勘左衛門殿・斎藤友衛殿 請取が長谷川三郎兵衛から斎藤友 衛に貼紙で訂正	文久3年亥9月	堅継紙・1通	ほ23-6
割番小頭成本栄左衛門他二名切米受取渡証文[覚](飛脚才 領組16人上納分切米粉80俵受取の上支給に付) 割番小頭 成本栄左衛門・中沢忠吾・荒井弥平／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)田 澤廉助／(奥印)草間一路→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎 兵衛殿他1名 奥印が長谷川三郎兵衛から草間一路に貼紙で訂正	文久3年亥12月	堅継紙・1通	ほ23-7
割番小頭成本栄左衛門他二名切米受取渡証文[覚](飛脚才 領組16人上納分11月12月渡扶持方粉32俵受取の上支給に 付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾・荒井弥平／(奥印)竹内小左 衛門／(奥印)田澤廉助／(奥印)草間一路→磯田音門殿・成澤勘左衛 門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 奥印が長谷川三郎兵衛から草間一路 に貼紙で訂正	文久3年亥12月	堅継紙・1通	ほ23-8
割番小頭小山繁八他一名切米受取渡証文[覚](元メ小頭酒 井渡七臨時急出府詰料粉14俵受取の上支給に付) 割番小 頭小山繁八・大内源之助／(奥印)一場茂右衛門／(奥印)斎藤友衛→ 磯田音門殿・斎藤友衛殿 請取が長谷川三郎兵衛から斎藤友衛に貼 紙で訂正	文久3年亥9月	堅継紙・1通	ほ23-9
春日安治他一名粉切受取渡証文[覚](上山田村他4か村御林 へ道橋付等伐出御用出役手当粉15俵4斗4升受取の上支給 に付) 春日安治・吉池與市／(奥印)祢津繁人・三澤刑部丞／(奥 印)倉田三之助／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門 殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥3月	堅継紙・1通	ほ23-10
立岩孝左衛門他一名被下米上納証文[覚](真田志摩出府借 人詰2人分被下粉5俵1斗6升6合7夕上納に付) 立岩孝左衛 門・大野健左衛門／(奥印)矢野茂／(奥印)倉田三之助／(奥印)斎藤	元治元年子4月	堅継紙・1通	ほ23-11

友衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門・長谷川三郎兵衛殿他2名			
鈴木市之丞切米受取渡証文[覚](御駕籠嶋田弥左衛門他11名分切米粉77俵2斗5升受取の上支給に付) 鈴木市之丞／(奥印)岩下半兵衛／(奥印)中島波之助／(奥印)長谷川三郎兵衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-12
鈴木市之丞切米受取渡証文[覚](御挟箱伝左衛門他3名・御道具吉蔵他3名分切米粉40俵受取の上支給に付) 鈴木市之丞／(奥印)岩下半兵衛／(奥印)中島波之助／(奥印)長谷川三郎兵衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 〆の俵数を付箋で訂正	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-13
鈴木市之丞切米受取渡証文[覚](御挟箱竹三郎他1名分切米粉10俵受取の上支給に付) 鈴木市之丞／(奥印)岩下半兵衛／(奥印)中島波之助／(奥印)長谷川三郎兵衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-14
鈴木市之丞切米受取渡証文[覚](御駕籠高橋岩蔵他4名分切米粉20俵受取の上支給に付) 鈴木市之丞／(奥印)岩下半兵衛／(奥印)中島波之助／(奥印)長谷川三郎兵衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-15
鈴木市之丞切米受取証文[覚](御道具宮下吉左衛門他3名御挟箱竹三郎他1名・御駕籠高橋岩蔵他8名分切米粉126俵7升7夕受取に付) 鈴木市之丞／(奥印)岩下半兵衛／(奥印)中島波之助／(奥印)長谷川三郎兵衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-16
松寄栄三郎切米受取証文[覚](切米粉2俵受取に付) 松寄栄三郎／(奥印)安藤右膳・上原弘衛・金井弥惣左衛門他1名／(奥印)長谷川三郎兵衛→宮本慎助殿・春山喜平治殿 白紙付箋、奥印は3名に貼紙で吉村左織を加えた訂正	文久3年亥12月	縦継紙・1通	ほ23-17
伊木億右衛門切米受取証文[覚](切米粉2俵受取に付) 伊木億右衛門／(奥印)安藤右膳・上原弘衛・金井弥惣左衛門他1名／(奥印)長谷川三郎兵衛→宮本慎助殿・春山喜平治殿	文久3年亥12月	縦継紙・1通	ほ23-18
御厩小頭稲葉恒作他二名切米受取渡証文[覚](御口之者源兵衛分詰番出府切米粉29俵3斗1升1合5夕受取の上支給に付) 御厩小頭稲葉恒作・小池六左衛門・金児富之丞／(奥印)竹村熊三郎／(奥印)中村鉄蔵／(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所 裏打済	文久3年亥5月	横切継紙・1通	ほ23-19
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者吉作他1名分詰番出府帰り切米粉17俵8升5合受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作／(奥印)竹村慶治郎／(奥印)鈴木富治／(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所 裏打済	文久3年亥3月	横切継紙・1通	ほ23-20
御厩小頭小池六左衛門他一名切米受取渡証文[覚](御厩小頭金児富之丞他御口之者11名分切米粉60俵受取の上支給に付) 御厩小頭小池六左衛門・稲葉恒作／(奥印)竹村半蔵・竹村慶治郎／(奥印)吉野芳馬／(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-21
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者万助他1名分京都詰番切米粉29俵3斗1升1合5夕受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作／(奥印)竹村熊三郎→郡御奉行所 後欠	文久3年亥6月	横切継紙・1通	ほ23-22
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者由之助分詰番帰り切米粉8俵2斗9升2合5夕受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作／(奥印)竹村熊三郎／(奥印)中村鉄蔵／(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所	(文久3年)亥5月	横切継紙・1通	ほ23-23
小納戸森太他一名被下米受取証文[覚](小納戸森太他1名詰番出府被下粉40俵受取に付) 小納戸森太・同与助／(奥印)水井市治・佐川又左衛門／(奥印)高坂守之助／(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所	文久3年亥2月	横切継紙・1通	ほ23-24
小納戸与助下付米受取渡証文[覚](小納戸北沢林左衛門詰番出府下付粉10俵受取の上支給に付) 小納戸与助／(奥印)	文久3年亥2月	横切継紙・1通	ほ23-25

ほ 11 藩政／財政／勘定所／切米渡

水井市治・佐川又左衛門／(奥印)長谷川三郎兵衛→郡御奉行所			
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者善平他1名分太田陣屋詰切米粉38俵1斗4合受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作／(奥印)竹村半蔵／(奥印)吉野芳馬→郡御奉行所	文久3年亥9月	横切継紙・1通	ほ23-26
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御口之者幸蔵他1名分太田陣屋詰帰り切米粉17俵8升5合受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作／(奥印)竹村半蔵／(奥印)吉野芳馬／(奥印)斎藤友衛→郡御奉行所	文久3年亥9月	横切継紙・1通	ほ23-27
御厩小頭金児富之丞他二名切米受取渡証文[覚](御厩小頭金児富之丞・御口之者嘉作分参府御供切米粉46俵2斗4升5合8勺受取の上支給に付) 御厩小頭金児富之丞・小池六左衛門・稲葉恒作／(奥印)竹村半蔵／(奥印)吉野芳馬／(奥印)斎藤友衛→郡御奉行所	文久3年亥10月	横切継紙・1通	ほ23-28
長泉寺供養初代金受取証文[覚](格段御省略のため供養初減引残り代金1両3分9匁2分8厘受取に付) 長泉寺→宮本慎助殿・春山喜平治殿	文久3年亥12月	横切継紙・1通	ほ23-29
蓮花定院金子受取証文[覚](寄附米物成金14両11匁3分5厘受取に付) 蓮花定院→真田信濃守様御役人佐藤安喜様	文久3年癸亥正月	縦紙・1通	ほ23-30
京都御用達海老屋定八金子受取証文[御請書](戊辰扶持方2人分玄米3石5斗4升代金3両2朱2匁1分4厘) 京都御用達海老屋定八→宮本慎助殿・春山磯治殿・春山喜平治様	文久3年亥正月29日	横折紙・1通	ほ23-31
打沢村惣右衛門被下初受取証文[覚](当亥被下初2俵2斗5升受取に付) 打沢村惣右衛門→郡御奉行所	文久3年亥12月	縦紙・1通	ほ23-32
長谷寺供養初代金受取証文[覚](格別御省略のため供養初減引残り代金2両3分6匁4分4厘受取に付) 長谷寺→宮本慎助殿・春山磯治殿・春山喜平治殿	文久3年癸亥12月	縦紙・1通	ほ23-33
岡本松兵衛金子受取証文[覚](戊辰玄米17人扶持代金26両3分6匁9分6厘受取に付) 岡本松兵衛→松代御役所	文久2年戌12月	縦紙・1通	ほ23-34
伊東嘉左衛門他一名扶持米受取証文[覚](奥番組敬治・恒五郎分御前様付女中江戸出府付添立帰手当初4俵受取の上支給に付) 伊東嘉左衛門・御切米懸小頭深沢喜三郎／(奥印)一場茂右衛門／(奥印)吉野芳馬／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 御切米小頭を貼紙で深沢に訂正	文久3年亥3月	縦継紙・1通	ほ23-35
伊東嘉左衛門他一名切米受取証文[覚](定府源蔵分当亥切米粉5俵受取の上支給に付) 伊東嘉左衛門・中沢忠吾／(奥印)一場茂右衛門／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥3月	縦継紙・1通	ほ23-36
割番小頭洪沢平作他一名被下初上納証文[覚](鎌原石見出府借人2名分被下物残粉8俵上納に付) 割番小頭洪沢平作・中沢忠吾／(奥印)春原織右衛門／(奥印)柿崎良作／(奥印)長谷川三郎兵衛→成沢勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿 宛所磯田音門を貼紙で抹消	文久3年亥8月	縦継紙・1通	ほ23-37
割番小頭成本栄左衛門他一名切米受取渡証文[覚](長谷川三郎兵衛立帰出府道中借人手当金2分2厘粉1俵5升受取の上支給に付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)田澤廉助／(奥印)草間一路→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 奥印の長谷川三郎兵衛を草間一路に貼紙訂正	文久3年亥12月	縦継紙・1通	ほ23-38
割番小頭成本栄左衛門他一名切米受取渡証文[覚](大内源之助・斎藤房吉分御供小頭・足軽御供被下銀60匁受取の上支給に付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)田澤廉助／(奥印)草間一路→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 奥印の長谷川三郎兵衛を草間一路に貼紙訂正	文久3年亥12月	縦継紙・1通	ほ23-39
割番小頭成本栄左衛門他二名切米受取渡証文[覚](足軽切	文久3年亥12月	縦継紙・1通	ほ23-40

米1614俵受取の上支給に付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾・御切米小頭高橋龍左衛門／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)草間一路→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 奥印の長谷川三郎兵衛を草間一路に貼紙訂正			
割番小頭成本栄左衛門他二名切米受取渡証文[覚](足軽増人数分手当粉54俵受取の上支給に付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾・御切米小頭高橋龍左衛門／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)草間一路→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名 奥印の長谷川三郎兵衛を草間一路に貼紙訂正	文久3年亥12月	縦継紙・1通	ほ23-41
割番小頭成本栄左衛門他一名切米受取渡証文[覚](新右衛門組喜市他1名分玉川左門借人詰切米粉16俵受取の上支給に付) 割番小頭成本栄左衛門・中沢忠吾／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)柿崎良作／(奥印)草間一路→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥2月	縦継紙・1通	ほ23-42
割番小頭深沢喜三郎他一名切米受取渡証文[覚](金蔵組逸作他1名分鎌原石見借人詰切米粉16俵受取の上支給に付) 割番小頭深沢喜三郎・中沢忠吾／(奥印)竹内小左衛門／(奥印)入弥左衛門／(奥印)草間一路→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥3月	縦継紙・1通	ほ23-43
松原掛小頭深沢喜三郎他一名切米受取渡証文[覚](松原者100名分切米粉800俵受取の上支給に付) 松原掛小頭深沢喜三郎・同小山繁八／(奥印)鹿野伴治／(奥印)柿崎良作／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥正月	縦継紙・1通	ほ23-44
大野健左衛門他一名切米受取渡証文[覚](御用詰足軽25名分切米粉200俵受取の上支給に付) 大野健左衛門・御切米掛小頭小山繁八／(奥印)鹿野伴治／(奥印)柿崎良作／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥正月	縦継紙・1通	ほ23-45
大野健左衛門他一名切米受取渡証文[覚](本詰辻の内先立4名分切米粉32俵受取の上支給に付) 大野健左衛門・御切米掛小頭小山繁八／(奥印)鹿野伴治／(奥印)柿崎良作／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥正月	縦継紙・1通	ほ23-46
大野健左衛門他一名切米受取渡証文[覚](元ノ詰小頭竹内泰助分切米粉14俵受取の上支給に付) 大野健左衛門・御切米掛小頭小山繁八／(奥印)鹿野伴治／(奥印)柿崎良作／(奥印)長谷川三郎兵衛→山寺源太夫殿・磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿他1名	文久3年亥正月	縦継紙・1通	ほ23-47
長谷川藤左衛門切米受取渡証文[覚](御挟箱春原増右衛門他3名・御道具吉蔵他3名分出府切米粉68俵3斗4升受取の上支給に付) 長谷川藤左衛門／(奥印)岩下半兵衛／(奥印)中島波之助／(奥印)斎藤友衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他2名 「合粉」を「小以」に貼紙訂正	文久3年亥10月	縦継紙・1通	ほ23-48
長谷川藤左衛門切米受取渡証文[覚](御駕籠嶋田弥左衛門他11名詰番出府切米粉84俵2斗8升7合6勺受取の上支給に付) 長谷川藤左衛門／(奥印)岩下半兵衛／(奥印)中島波之助／(奥印)斎藤友衛→磯田音門殿・成澤勘左衛門殿・長谷川三郎兵衛殿他2名 「合粉」を「小以」に貼紙訂正	文久3年亥10月	縦継紙・1通	ほ23-49
立岩孝左衛門他一名切米受取渡証文[覚](本割番詰小頭依田莊吉他1名半詰分切米粉28俵受取の上支給に付) 立岩孝左衛門・中沢忠吾／(奥印)宇敷元之丞／(奥印)吉野芳馬／(奥印)草間一路→磯田音門殿・長谷川三郎兵衛殿・草間一路殿 「当亥」および奥印長谷川三郎兵衛を草間一路に貼紙訂正	文久3年亥6月	縦継紙・1通	ほ23-50

12 藩政／財政／払方御金奉行／金銭請払

(上京入料勘定関係書類綴 文久3年4月～元治元年4月)		紙綴綴・33点	ほ56
御留守居方物書岸田忠左衛門金銭受取証文(道中往来人馬賃銭賄代并京都逗留中旅籠代等品々入料に付) 御留守居方物書岸田忠左衛門／(奥印)玉川一学／(奥印)玉井繁之助／(奥印)柘	元治元年子4月	縦継紙・1通	ほ56-1

ほ 12 藩政／財政／払方御金奉行／金銭請払

植嘉兵衛→御金御奉行所／(奥印)使役／(奥印)勘定役／勘定吟味			
御留守居方物書岸田忠左衛門金銭受取差出証文[覚](三条中納言様御家来御守衛方懸り丹羽出雲守等宛金銭7両下賜のため目録差出に付) 御留守居方物書岸田忠兵衛→ -	(文久3年)	縦継紙・1通	ほ56-2
御留守居方物書岸田忠左衛門申上書[覚](正六日銀庄内様衆へ差出に付) 御留守居方物書岸田忠左衛門→ -	(文久3年)亥5月14日	縦継紙・1通	ほ56-3
御留守居方物書岸田忠左衛門申上書[覚](登り道中品々入料銭12貫272文差し遣わしに付) 御留守居方物書岸田忠左衛門→ -	(文久3年)	縦継紙・1通	ほ56-4
御留守居方物書岸田忠左衛門申上書[覚](登り道中14泊其外宿々茶代金1両銭7貫772文支給に付) 御留守居方物書岸田忠左衛門→ -	(文久3年)	縦継紙・1通	ほ56-5
御留守居方物書岸田忠左衛門申上書[覚](京都より御在所迄下り道中品々入料金1分2朱銭13貫772文支給に付) 御留守居方物書岸田忠左衛門→ -	(文久3年)	縦継紙・1通	ほ56-6
御留守居方物書岸田忠左衛門申上書[覚](御在所より帰府道中品々入料金1分2朱銭6貫348文支給に付) 御留守居方物書岸田忠左衛門→ -	(文久3年)	縦継紙・1通	ほ56-7
飛脚問屋京屋儀兵衛金銭受取証文[覚](京都六角海老屋定八行賃銭132文に付) 飛脚問や京屋儀兵衛→岸田忠左衛門様	(文久3年)亥4月24日	縦切紙・1通	ほ56-8
定飛脚問屋京屋儀兵衛金銭受取証文[覚](京都六角辺海老屋定八行賃銭132文に付) 飛脚問や京屋儀兵衛→岸田忠左衛門様	(文久3年)亥4月18日	縦切紙・1通	ほ56-9
谷町三之助金銭受取証文[覚](品川宿迄持出人足銭3貫148文に付) 谷町三之助→上 下ヶ札あり	(文久3年)亥4月27日	縦切紙・1通	ほ56-10
川役林蔵金銭受取証文(川越賃銭263文に付) 川役林蔵→ -	(文久3年)亥4月29日	切紙・1通	ほ56-11
興津川洞村名主兵蔵金銭受取証文(川越賃銭1貫236文に付) 興津川洞村名主兵蔵→ -	(文久3年)亥5月3日	切紙・1通	ほ56-12
間嘉右衛門金銭受取証文[覚](川越賃銭1貫545文に付) (安倍川登り方問屋)間嘉右衛門→ -	(文久3年)5月3日	切紙・1通	ほ56-13
藤枝宿瀬戸川庄屋小左衛門金銭受取渡証文[覚](賃銭960文受取相渡しに付) 藤枝宿瀬戸川庄屋小左衛門→ -	(文久3年)亥5月4日	切紙・1通	ほ56-14
舞坂宿御用達掛塚屋市左衛門金銭受取相渡証文[覚](船賃1貫448文受取り水主へ相渡しに付) 舞坂宿御用達掛塚屋市左衛門→松代様御役人中様	(文久3年)亥5月5日	縦切紙・1通	ほ56-15
舞坂宿掛塚屋市左衛門金銭受取証文[覚](昼旅籠代900文に付) 舞坂宿御用達掛塚屋市左衛門→松代様御役人中様 下ヶ札あり	(文久3年)亥5月5日	縦切紙・1通	ほ56-16
箱根宿御本陣又原源五右衛門[覚](昼賄代1貫文に付) 箱根宿御本陣又原源五右衛門→上 下ヶ札あり	(文久3年)5月朔日	横切縦紙・1通	ほ56-17
宮宿美濃屋治助金銭受取証文[船賃銭請取](宮駅より桑名迄の船賃銭5貫864文に付) 宮宿みのや治助→上	(文久3年)5月9日	縦紙・1通	ほ56-18
宮宿美濃屋治助金銭受取証文[船賃銭請取](昼旅籠代900文に付) 宮宿みのや治助→上 下ヶ札あり	(文久3年)5月9日	縦切紙・1通	ほ56-19
島田川分川庄屋定吉金銭受取証文(川越賃銭4貫692文に付) 島田川分川庄屋定吉→ -	(文久3年)い5月4日	切紙・1通	ほ56-20
升屋十吉金銭受取証文(水引代他2貫323文に付) 升屋十吉→上 下ヶ札あり	(文久3年)亥8月	横切紙・1通	ほ56-21
台師市兵衛金銭受取証文[覚](並木地台他代780文に付) 台師市兵衛→上 下ヶ札あり	(文久3年)8月7日	横切紙・1通	ほ56-22
御用達岩田定八金銭受取証文[覚](江戸表へ八日銀差出駄賃他7貫224文に付) (京都)御用達岩田定八→岸田(忠左衛門)	(文久3年)亥8月19日	横切縦紙・1通	ほ56-23

様			
海老屋定八金銭受取証文[おほへ](蠟燭代332文に付) (京都)海老や定八→岸田(忠左衛門)様	(文久3年)亥8月	横切紙・1通	ほ56-24
海老屋定八金銭受取証文[覚](旅籠料335貫文に付) (京都)海老屋定八→岸田忠左衛門様	(文久3年)亥8月23日	横切継紙・1通	ほ56-25
佐渡屋八兵衛金銭受取証文[覚](大津先触人足賃他4貫850文に付) 佐渡や八兵衛→上 下ヶ札あり、破損甚大	(文久3年)8月23日	横切紙・1通	ほ56-26
会津屋喜作金銭受取証文[覚](蠟燭20挺代500文に付) 会津や喜作→上 下ヶ札あり	(文久3年)11月7日	切紙・1通	ほ56-27
[宿々旅籠帳](亥4月27日出立～5月12日) 真田信濃守内岸田忠左衛門 品川宿馬持孫四郎金銭受取証文[覚](品川より保土ヶ谷迄馬1疋代4貫516文200文受取につき、4月27付)貼付	(文久3年)4月27日)	横長半・1冊	ほ56-28
[宿々旅籠帳](亥4月27日出立～5月11日) 真田信濃守内岸田忠左衛門 宮宿美濃屋治助金銭受取証文[覚](昼旅籠代1貫200文受取につき、亥5月9日付)貼付	(文久3年)4月27日)	横長半・1冊	ほ56-29
[京都御守衛御用宿々駄賃帳](亥8月23日出立～9月4日) 真田信濃守内岸田忠左衛門 馬借井筒屋宗五郎金銭受取証文[覚](大津へ馬2疋3貫600文受取につき、8月23日付、松代様御役人中様宛)貼付	(文久3年)8月23日)	横長半・1冊	ほ56-30
[宿々旅籠帳](亥8月23日京都出立～9月2日) 真田信濃守内岸田忠左衛門	(文久3年)8月23日)	横長半・1冊	ほ56-31
[宿々駄賃帳](亥11月10日出立～11月17日) 真田信濃守内玉川一学家来福沢伊右衛門	(文久3年)11月10日)	横長半・1冊	ほ56-32
[宿々旅籠帳](亥11月10日出立～11月17日) 真田信濃守内岸田忠左衛門	(文久3年)11月10日)	横長半・1冊	ほ56-33
[品々定法覚](家中勤向道中賄代定法書上) 裏打済		横長半・1冊	ほ55

13 藩政／財政／払方御金奉行／諸事差引勘定

(家中取金諸事差引勘定書類綴)	紙綴綴・11点	ほ1
(詰高より諸事差引勘定書 玉川淀分)	横切紙・1通	ほ1-1
(詰高より諸事差引勘定書 小山田菅右衛門分)	横切紙・1通	ほ1-2
(詰高より諸事差引勘定書 矢野唯美分)	横切紙・1通	ほ1-3
(詰高より諸事差引勘定書 栗山五郎作分)	横切紙・1通	ほ1-4
(詰高より諸事差引勘定書 野村善五右衛門分)	横切紙・1通	ほ1-5
(詰高より諸事差引勘定書 仙道完人分)	横切紙・1通	ほ1-6
(詰高より諸事差引勘定書 三井清美分)	横切紙・1通	ほ1-7
(詰高より諸事差引勘定書 伊東友作分)	横切紙・1通	ほ1-8
(詰高より諸事差引勘定書 加藤了作分) 表裏逆綴	横切紙・1通	ほ1-9
(詰高より諸事差引勘定書 小幡又八郎分)	横切紙・1通	ほ1-10
(詰高より諸事差引勘定書 北沢叔蔵分)	横切紙・1通	ほ1-11
(詰高より諸事差引勘定書 小林友之丞分1分217文)	切紙・1通	ほ4-1
(詰高より諸事差引勘定書 小林友之丞分1分2朱)	切紙・1通	ほ4-2
(家中取金諸事差引勘定書類綴)	紙綴綴・3点	ほ5
(詰高より諸事差引勘定書 間庭一郎左衛門分)	横切紙・1通	ほ5-1

ほ 13 藩政／財政／払方御金奉行／諸事差引勘定 14 藩政／財政／奥向賄／拝借金

(詰高より諸事差引勘定書 河原頼助分)		横切紙・1通	ほ5-2
(詰高より諸事差引勘定書 樋口與兵衛分)		横切紙・1通	ほ5-3
(家中取金諸事差引勘定書類綴)		紙縫綴・9点	ほ6
(詰高より諸事差引勘定書 小野喜平太他7名分) - →大島義左衛門殿		横切紙・1通	ほ6-1
(詰高より諸事差引勘定書 小野喜平太分)		横切紙・1通	ほ6-2
(詰高より諸事差引勘定書 奥山伴助分)		横切紙・1通	ほ6-3
(詰高より諸事差引勘定書 草間一路分)		横切紙・1通	ほ6-4
(詰高より諸事差引勘定書 磯田音門分)		横切紙・1通	ほ6-5
(詰高より諸事差引勘定書 飯島平助分) 朱書「大」		横切紙・1通	ほ6-6
(詰高より諸事差引勘定書 中村元尾分) 朱書「大」		横切紙・1通	ほ6-7
(詰高より諸事差引勘定書 鹿野伴治分) 朱書「大」		横切紙・1通	ほ6-8
(詰高より諸事差引勘定書 飯島楠左衛門分) 朱書上に貼紙朱書「大」		横切紙・1通	ほ6-9

14 藩政／財政／奥向賄／拝借金

(拝借証文綴 宝永5年8月～9月)		紙縫綴・57点	ほ2
宮嶋友之進拝借金証文[覚](熱海湯治供奉金3両に付) 宮嶋友之進→木内清八殿	宝永5年戊子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-1
荒川造酒拝借金証文[拝借申金子之事](熱海湯治供奉金3両に付) 荒川造酒→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-2
一場権左衛門拝借金証文(熱海湯治供奉金3両に付) 一場権左衛門→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-3
十河半蔵拝借金証文[御拝借金之事](熱海湯治のため3両に付) 十河半蔵→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-4
中俣三左衛門拝借金証文[証文御事](熱海湯治供奉金3両に付) 中俣三左衛門→木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ8月10日	堅紙・1通	ほ2-5
樋口伝八拝借金証文[証文之事](熱海供奉金3両つき) 樋口伝八→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅紙・1通	ほ2-6
徳田吉十郎拝借金証文(3両に付) 徳田吉十郎→木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-7
平林次郎八拝借金証文[証文之事](3両に付) 平林次郎八→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅紙・1通	ほ2-8
中村周庵拝借金証文[証文之事](3両に付) 中村周庵→木内清八殿 裏打済	宝永5年子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-9
渋谷養説拝借金証文[証文事](3両に付) 渋谷養説→木内清八殿	宝永5年戊子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-10
前嶋介之進拝借金証文(熱海湯治供奉金3両に付) 前嶋介之進→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-11
池村佐左衛門拝借金証文(熱海湯治供奉金3両に付) 池村佐左衛門→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-12
小川武右衛門拝借金証文[拝借金之事](2両に付) 小川武右衛門→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-13
樋口専右衛門拝借金証文(熱海湯治供奉金2両に付) 樋口専右衛門→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-14

依田善蔵拝借金証文〔証文之事〕(熱海湯治供奉金2両に付) 依田善蔵→木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-15
緑川惣太夫拝借金証文〔証文之事〕(1両2分に付) 緑川惣太夫 →木内清八殿	宝永5年8月10日	堅切紙・1通	ほ2-16
久保林右衛門拝借金証文〔証文之事〕(1両2分に付) 久保林右 衛門→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅紙・1通	ほ2-17
宮下平右衛門拝借金証文〔証文之事〕(1両2分に付) 宮下平右 衛門→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅紙・1通	ほ2-18
原孫八郎拝借金証文〔証文〕(1両に付) 原孫八郎→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-19
榎田小三郎拝借金証文(1両拝借に付) (印文)「忠」榎田小三郎 →木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-20
浦野多門拝借金証文〔証文之事〕(1両に付) 浦野多門→木内清 八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-21
北沢庄蔵拝借金証文〔証文〕(1両に付) 北沢庄蔵→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-22
河原長右衛門拝借金証文(熱海湯治供奉金1両に付) 河原長 右衛門→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-23
長谷川金左衛門拝借金証文〔証文之事〕(1両に付) 長谷川金 左衛門→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-24
佐久間一学拝借金証文(熱海湯治供奉金1両に付) 佐久間一 学→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-25
内山政右衛門拝借金証文〔証文之事〕(1両に付) 内山政右衛 門→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-26
保科奎之丞拝借金証文〔指上申証文之事〕(供奉金1両に付) 保科奎之丞→木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ8月10日	堅紙・1通	ほ2-27
仙道彦八拝借金証文〔指上申証文之事〕(供奉金1両に付) 仙 道彦八→木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ8月10日	堅紙・1通	ほ2-28
上松休清〔証文之事〕(熱海湯治のため金1両に付) 上松休清 →木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅紙・1通	ほ2-29
西村九右衛門拝借金証文(供奉金1両に付) 西村九右衛門→木 内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-30
野村善五右衛門拝借金証文〔証文之事〕(3分に付) 野村善五 右衛門→木内清八殿	宝永5年戊子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-31
小熊利介拝借金証文〔証文之事〕(熱海湯治供奉金3分に付) 小熊利介→木内清八殿 裏打済	宝永5年子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-32
細田弥次右衛門拝借金証文(熱海湯治御用のため1分に付) 細田弥次右衛門→木内清八殿	宝永5年戊子8月10日	堅紙・1通	ほ2-33
八代市拝借金証文〔証文之事〕(熱海湯治供奉金1分に付) 八 代市→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅紙・1通	ほ2-34
中村善六拝借金証文(熱海湯治供奉金2朱に付) 中村善六→ 木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-35
御膳立大木甚兵衛他二名拝借金証文〔覚〕(熱海湯治供奉金 15匁に付) 御膳立大木甚兵衛・同横田清兵衛・御菓子方市川市右 衛門→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅紙・1通	ほ2-36
小泉佐五左衛門他1名拝借金証文〔証文之事〕(熱海湯治供奉 金15匁に付) 小泉佐五左衛門・大沢市郎右衛門→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-37
市太夫他八名拝借金証文〔覚〕(熱海湯治供奉金36匁に付) 市太夫・安右衛門・佐五兵衛他6名→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅紙・1通	ほ2-38
御中間市左衛門他六名拝借金証文〔覚〕(熱海湯治供奉金28 匁に付) 御中間市左衛門・同重右衛門・同五太郎他4名→木内清八 殿	宝永5年子ノ8月10日	堅紙・1通	ほ2-39
御駕籠者長太夫他12名拝借金証文〔覚〕(13人分52匁に付)	宝永5年子ノ8月10日	堅紙・1通	ほ2-40

ほ 14 藩政／財政／奥向賄／拝借金 15 藩政／財政／御側御納戸／諸向御用

御駕籠者長太夫・伝三郎他10名・小頭野沢角左衛門→木内清八郎(ママ)殿 裏打済			
御道具市太夫他五名拝借金証文[覚](6人分24匁に付) 御道具市太夫・同役源兵衛・同役平七他3名→木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-41
御?箱八右衛門他五名拝借金証文[覚](6人分24匁に付) 御?箱八右衛門・同役久兵衛・同役角之丞他3名→木内清八殿 裏打済	(宝永5年)子ノ8月10日	堅紙・1通	ほ2-42
御馬屋佐次右衛門他四名拝借金証文[証文之事](5人分20匁に付) 御馬屋佐次右衛門・徳兵衛・九郎右衛門他2名→木内清八殿	宝永5年子8月10日	堅紙・1通	ほ2-43
奥津空之助拝借金受取証文(熱海湯治供奉金1両受取に付) 奥津空之助→木内清八殿	宝永5年子8月15日	堅紙・1通	ほ2-44
両角五兵衛他一名拝借金受取証文[覚](熱海湯治御用のため1両受取に付) 両角五兵衛・柳澤与兵衛→馬場与惣右衛門殿・木内清八殿	宝永5年子ノ9月6日	堅切紙・1通	ほ2-45
矢野武右衛門拝借金証文[拝借申金子之事](熱海湯治御用のため3両に付) 矢野武右衛門→馬場与惣右衛門殿・木内清八殿 裏打済	宝永5年子9月7日	堅紙・1通	ほ2-46
友野十右衛門拝借金証文[御拝借申金子之事](熱海湯治御迎のため2両に付) 友野十右衛門→馬場与惣右衛門殿・木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ9月18日	堅切紙・1通	ほ2-47
小泉左平太拝借金証文[御拝借申金子之事](熱海湯治御迎のため2両に付) 小泉左平太→馬場与惣右衛門殿・木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ9月18日	堅切紙・1通	ほ2-48
山中孫太郎拝借金証文[拝借申金子之事](熱海湯治御迎のため2両に付) 山中孫太郎→木内清八殿・馬場与惣右衛門殿	宝永5年子ノ9月18日	堅切紙・1通	ほ2-49
佐野弥兵衛拝借金証文[拝借申金子之事](熱海湯治御迎のため2両に付) 佐野弥兵衛→馬場与惣右衛門殿・木内清八殿	宝永5年子ノ9月18日	堅紙・1通	ほ2-50
関口角左衛門拝借金証文[拝借申金子之事](熱海湯治御迎のため1両2分に付) 関口角左衛門→馬場与惣右衛門殿・木内清八殿	宝永5年子ノ9月18日	堅紙・1通	ほ2-51
関山沢之丞拝借金証文[拝借申金子之事](熱海湯治御迎のため1両2分に付) 関山沢之丞→馬場与惣右衛門殿・木内清八殿 裏打済	宝永5年子9月18日	堅紙・1通	ほ2-52
池原源内金子拝借金証文[御拝借申金子之事](熱海湯治御迎のため1両に付) 池原源内→馬場与惣右衛門殿・木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ9月18日	堅切紙・1通	ほ2-53
小野里三左衛門他四名拝借金受取証文[覚](熱海湯治御迎のため2両2分受取に付) 小野里三左衛門・倉嶋利介・遠藤一郎右衛門他2名→馬場与惣右衛門殿・木内清八殿 裏打済	宝永5年子ノ9月18日	堅紙・1通	ほ2-54
御道具九右衛門他一名拝借金受取証文[覚](拝借銀8匁受取に付) 御道具九右衛門・同徳右衛門→馬場与惣右衛門殿・木内清八殿	宝永5年子9月18日	堅紙・1通	ほ2-55
赤塚喜右衛門他一名拝借金受取証文[覚](熱海湯治供奉金1両受取に付) 小出新平・赤塚喜右衛門→木内清八殿	宝永5年子ノ8月10日	堅切紙・1通	ほ2-56
堀井治郎兵衛拝借金証文[証文之事](3分に付) 堀井治郎兵衛→木内清八殿	宝永5年戊子8月10日	堅切紙・1通	ほ2-57

15 藩政／財政／御側御納戸／諸向御用

(御領分御境目御見分一件・道具拝借書類一括)		袋一括・25点	ほ81
[御領分御境目御見分御一件入](袋) 御側御納戸 「七月ヨリ」、焼損痕・破損	文久2年壬戌7月	袋・1点	ほ81-1

(御境目見分御用人馬・道具拝借関係書類一括)		紙縫束・19点	ほか81-2
(紙縫)		紙縫・1点	ほか81-2-1
[人馬拝借御先例之儀申上](包紙) 月岡万里		包紙・1点	ほか81-2-2-1
御坊主組頭申上書[覚](寛政十一未年御時計役月岡万里御振合御内尋に付) 御坊主組頭→ -	7月	横切継紙・1通	ほか81-2-2-2
月岡万里申上書[覚](寛政十一未年丸茂宗弥人馬拝借の御振合に付) 月岡万里→ -	7月	横切紙・1通	ほか81-2-2-3
祢津刑左衛門用状(御支配向き継人馬員数早速回送に付)(祢津)刑左衛門→ -	8月14日	横切紙・1通	ほか81-2-3
御坊主組頭申上書[口上覚](佐藤清甫儀、境目見分御供代任命願に付) 御坊主組頭→ -		包紙・横切継紙・1点・1通	ほか81-2-4
御側御納戸用状(御供の坊主拝借人下役3人・本馬2疋の他は見合に付) 御側御納戸→ -		横切継紙・1通	ほか81-2-5
御坊主組頭申上書[覚](御供名面に付) 御坊主組頭→ - 包書「御供名面申上」	7月	包紙・横切紙・1点・1通	ほか81-2-6
(紙縫)		紙縫・1点	ほか81-2-7-1
赤沢助之進用状(別紙伺の通り承済み吟味役へ申渡に付) 赤沢助之進→御側御納戸中	8月19日	横切継紙・1通	ほか81-2-7-2
御側御納戸申上書(白木御手洗盥2つ・白木御湯当2つ新規御出来願に付) 御側御納戸→ - 端裏書「御境廻之節御手洗御道具御出来之義申上」	8月3日	横切継紙・1通	ほか81-2-7-3
御側御納戸用状(領分境目見分並びに来29日御発籠に付) 御側御納戸→ -		横切紙・1通	ほか81-2-8
某内々申上書下案(附人2人・本馬2疋・物持1人拝借願に付) 端裏書「申立草稿」	8月	横切継紙・1通	ほか81-2-9
宮下謙大夫用状(奥坊主拝借人の儀に付) (宮下)謙大夫→(河原)敬之進様・(磯田)小藤太様 端裏書「廻章」	8月10日	横切継紙・1通	ほか81-2-10
某用状(御境廻御供時拝借人・頭書の人数召し連れたきに付)		横切継紙・1通	ほか81-2-11
某用状(御領分境目見分の節人足并才領仰せ渡しに付) 朱書あり		横切継紙・1通	ほか81-2-12
月岡万里申上書[覚](附人1人・長刀持1人・物持1人・駕籠人1人拝借願に付) 月岡万里→ - 包書「拝借人馬員数之儀申上」、焼損痕、包紙破損甚	8月	包紙・横切継紙・1点・1通	ほか81-2-13
御坊主組頭申上書[覚](荷物才領2人・下役3人・本馬2疋・物持1人拝借願に付) 御坊主組頭→ - 包書「拝借人馬員数之儀申上」、焼損痕	8月	包紙・横切継紙・1点・1通	ほか81-2-14
御坊主組頭申上書[覚](境目見分の節拝借人馬減方差支に付物才領2人・下役3人・本馬2疋・物持1人拝借願に付) 御坊主組頭→ - 包紙「覚」、虫損	8月	包紙・横切継紙・1点・1通	ほか81-2-15
(湯当・手水盥出来関係書類綴)		紙縫綴・5点	ほか81-3
御買物役申上書[覚](御手水盥御湯当出来の件積立掛合に付) 御買物役→ - 下ヶ札4ヶ所	酉8月	横切継紙・1通	ほか81-3-1
桶屋和吉勘定書[覚](御手水盥2つ代17匁5分) 桶屋和吉→上	8月	横切紙・1通	ほか81-3-2
のま屋庄兵衛勘定書并買物役申上書[覚](のり代に付) のま屋庄兵衛→上	8月6日	横切紙・1通	ほか81-3-3
伊勢屋治助勘定書并貼添[覚](黒塗湯当2本代17匁) いせ(伊勢)屋治助→上	戌8月	横切紙・1通	ほか81-3-4
竹山町政吉勘定書[覚](白木湯当2つ代21匁7分5厘) 竹山丁	8月	横切紙・1通	ほか81-3-5

ほ 15 藩政／財政／御側御納戸／諸向御用

(町)政吉→上			
御供懸り赤沢助之進宛申上書写[御境目御見分ニ付御用意之品内伺]		横長半・1冊	ほ81-4
[御境目御見分ニ付諸事心覚] 御側御納戸	文久2年壬戌7月	横半半・1冊	ほ81-5
[御領分御境目御見分ノ節諸事申立被仰渡扣] 御側御納戸	文久2年壬戌7月	横長半・1冊	ほ81-6
(御在府中勘定用状書類綴)		紙縫綴・32点	ほ83
河原敬之進書状(かね姫様御祝儀の儀に付) (河原)敬之進→(宮下)謙大夫様 貼紙「文久三亥子年御在府中御用書類」	正月16日	横切継紙・1通	ほ83-1
山岸助蔵他一名書状(御姫様御初節句雛節御祝の儀に付) (山岸)助蔵・(河原)敬之進→御側役様・御側御納戸様	正月26日	横切継紙・1通	ほ83-2
雛節句道具書上 端裏書「御雛之事」		横切継紙・1通	ほ83-3
河原敬之進用状(御雛御買上に付) (河原)敬之進→(宮下)謙大夫様 端裏書「御雛被一進件」	3月11日	横切継紙・1通	ほ83-4
河原敬之進用状(かね姫様御初節句祝儀として雛献上に付) (河原)敬之進→(宮下)謙大夫様 端裏書「御雛献上一件」	2月22日	横切継紙・1通	ほ83-5
河原敬之進用状(覚治郎御扶持并御手当金歎願に付) (河原)敬之進→(宮下)謙大夫様 端裏書「村上一件」	11月18日	横切継紙・1通	ほ83-6
(重姫初節句の際の道具書上) 綴外れ	正月23日	横切紙・1通	ほ83-7
[御用 村上頂戴物一件](封筒) 大熊謙太郎→宮下謙大夫様		封筒・1点	ほ83-8
大熊謙太郎願書(寿泰・覚二郎へ被下金の儀に付) (大熊)謙太郎→(宮下)謙大夫様	2月22日	横切継紙・1通	ほ83-9
[御用 村上頂戴物之事](封筒) 大熊儉之丞(謙太郎)→宮下謙大夫様	(元治元年)	封筒・1点	ほ83-10
大熊儉之丞用状(印書廻達に付) 儉之丞(大熊謙太郎)→宮下謙大夫様	(元治元年)3月7日	横切継紙・1通	ほ83-11
[御用 村上頂き物一件](封筒) 大熊謙太郎→宮下謙大夫様		封筒・1点	ほ83-12
大熊謙太郎用状(角二郎よりの印書、貴所様へ廻すべきに付) (大熊)謙太郎→(宮下)謙大夫様 端裏書「村上頂き物一件」	2月29日	横切継紙・1通	ほ83-13
大熊謙太郎用状(太一郎問い合わせ後今以て挨拶なしに付) (大熊)謙太郎→(宮下)謙大夫様 端裏書「村上頂戴物一件」	2月13日	横切継紙・1通	ほ83-14
太一郎用状(御床机廻御入料金10両并当金御仕切金の儀に付) 太一郎→(宮下)謙大夫様 端裏書「御床机廻御入料金之事」	11月27日	横切紙・1通	ほ83-15
大熊謙太郎用状 (大熊)謙太郎→(宮下)謙大夫様 端裏書「御側医三人拝借金之事」	12月	横切継紙・1通	ほ83-16
大熊謙太郎用状(米野茂尾、年賦上納金受取に付) (大熊)謙太郎→(宮下)謙大夫様 端裏書「歳茂尾年賦上納事」	正月13日	横切継紙・1通	ほ83-17
[御用答 ひさ親御扶持代之事](封筒) 大熊謙太郎→宮下謙大夫様		封筒・1点	ほ83-18
大熊謙太郎用状(御取替金2両3分3朱183文受取の儀に付) (大熊)謙太郎→(宮下)謙大夫様	2月16日	横切継紙・1通	ほ83-19
大熊謙太郎用状(金25両受取の儀に付) (大熊)謙太郎→(宮下)謙大夫様 端裏書「御留守中御用金之事」	正月22日	横切継紙・1通	ほ83-20
[御用 御医師娘三人拝借之事](封筒) 大熊謙太郎→宮下謙大夫様		封筒・1点	ほ83-21
大熊謙太郎書状(三人娘への貸下金証文下案廻達に付) (大熊)謙太郎→(宮下)謙大夫様	11月14日	横切継紙・1通	ほ83-22
大熊謙太郎返書(繰廻金御礼金一同送金に付) (大熊)謙太郎→(宮下)謙大夫様 端裏書「御繰廻金之事」	正月25日	横切継紙・1通	ほ83-23

[茶部屋より同役へ御用申遣候節御内密申上 充名一件] (包紙)	3月	包紙・1点	ほか83-24
某内々歎願書[口上覚](増使一件の儀、安政5年中取決めの 通りとの願つき)	3月	横切継紙・1通	ほか83-25
堀内太一郎返書(両条御金受取別紙の通り送金に付) (堀 内)太一郎→(宮下)謙大夫様 端裏書「御床机廻御入料并表御納戸よ り請取御金一件」	2月13日	横切紙・1通	ほか83-26
金銭受取証文写[覚](御床机廻炮術入料被下金等25両受取 に付) 御名御印→草間一路殿／斎藤善蔵殿・水井市治殿・片岡弘 人殿他2名 ほか83-26に巻込	文久4年子2月	横切継紙・1通	ほか83-27
赤沢助之進用状(貞松院様御帰前御入料表払の件伺の通り 承済に付) 赤沢助之進→御側御納戸中	8月10日	横切紙・1通	ほか83-28
赤沢助之進指図書(去戌御薬礼金等の儀、申立の通り承済の 旨御勝手元へ心得申渡に付) 赤沢助之進→御側御納戸役 中	8月16日	横切紙・1通	ほか83-29
長谷川三郎兵衛用状(殿様来月割金20両を御勘定吟味へ掛 け合い受取願に付) 長谷川三郎兵衛→興津権右衛門様	11月14日	横切紙・1通	ほか83-30
[子年御帰城前被下覚](御在府中御世話に付他下賜金書上)	(元治元年)	横切継紙・1通	ほか83-31
(亥年江府御入料の内、一平殿へ渡金書上)	(元治元年)子3月20日	横切紙・1通	ほか83-32
(領分境目見分一件書類一括)		袋一括・27点	ほか82
[御境廻り一件書類入](袋)		袋・1点	ほか82-1
[善光寺龕絵図] 彩色		24.4×44.8・1舖	ほか82-2
(奥院・中院・宝光院周辺絵図) 彩色、付箋「寶光院より中院迄道 法拾式丁」「御下乗之御場所」他		25.6×31.6・1舖	ほか82-3
(善光寺周辺絵図) 彩色、付箋「御下乗之御場所」「御道具此所」他		27.5×51・1舖	ほか82-4
(大雲寺・清浄院周辺絵図) 彩色、付箋「清浄院江御往來者御道筋」 「御下乗之御場所」他		27.3×37.3・1舖	ほか82-5
(領分境目見分御供関係書類綴)		紙綴綴・22点	ほか82-6
長谷川藤左衛門口上書[口上覚](領分境目見分御供手当と して御手廻36人・御駕籠12人支給願に付) 長谷川藤左衛門 →御頭中様	戌8月	横切継紙・1通	ほか82-6-1
(乗船之節他御供人数書上)		横長半・1冊	ほか82-6-2
(乗船之節他御供人数書上)		横長半・1冊	ほか82-6-3
(御泊手・御昼之手、供奉人等書上) 下ヶ札あり		横切紙・1通	ほか82-6-4
御料理人頭取申上書(江戸往來の儀に付) 御料理人頭取→	7月	横切継紙・1通	ほか82-6-5
(畑権兵衛・藤井浅右衛門・師岡源兵衛・岩下半兵衛供奉人数 等書上)		横切継紙・1通	ほか82-6-6
[御道中御持筒頭迄申合可被相勤候](断簡)		横切継紙・1通	ほか82-6-7
祢津刑左衛門用状(継人馬員数等取調の上配置願に付) (祢 津)刑左衛門→御膳番様・御刀番様	8月14日	横切継紙・1通	ほか82-6-8
[覚](御手廻17人分手当他53両2分1匁7分5厘)		横切継紙・1通	ほか82-6-9
[御休泊](御野立・御小休・御泊場書上、8月29日～閏8月15 日)		横長半・1冊	ほか82-6-10
(御発駕・御帰陣并三ヶ所御参詣の節他心得書上)		横切紙・1通	ほか82-6-11
某伺書(御添之者人数・看板の儀に付)		横折紙・1通	ほか82-6-12
(御徒目付・御徒士他拝借人書上)		横切継紙・1通	ほか82-6-13

ほ 15 藩政／財政／御側御納戸／諸向御用 16 藩政／財政／甲府・奥羽出兵

赤沢助之進用状(別紙御行列帳差し越し申すに付) 赤沢助之進→御刀番中	7月25日	横切紙・1通	ほ82-6-14
某用状写(境目見分明朝御発駕に付)	4月6日	横切継紙・1通	ほ82-6-15
某願書[覚](今般御供の節、金3兩2朱1分8厘頂戴仕りたきに付)	戌8月	横切紙・1通	ほ82-6-16
某指図書(道中渡場非常の節御供、江戸道中の通り心得に付)		横切紙・1通	ほ82-6-17
[御膳所日記書抜](境目見分関係、4月6日～12日)		横切継紙・1通	ほ82-6-18
某指図書(御徒目付・御徒士拝借人伺の通り承済に付) 御徒士頭→ -		横切紙・1通	ほ82-6-19
(御着御道筋江罷出候人馬割書上)		横切紙・1通	ほ82-6-20
長谷川藤左衛門申上書[口上書](御添之者看板代金4人分1両支給願に付) 長谷川藤左衛門→御頭中様	戌8月	横切紙・1通	ほ82-6-21
[口上覚](包紙) 長谷川藤左衛門		包紙・1点	ほ82-6-22

16 藩政／財政／甲府・奥羽出兵

(御飛脚才領組友作奥州表へ早追御飛脚にて罷り越し諸入料下され方評議書類綴 慶応4年9月～明治2年9月)		紙縫綴・25点	ほ80
割番伺書(友作、駕籠人足雇賃銭并人足へ酒代・蠟燭代・提灯張替代・賄代下付願に付) 割番→ - 端裏書「御飛脚才領組友作去辰九月中奥州表江早追御飛脚二而罷越候節被下方伺」	9月	横切継紙・1通	ほ80-1
御足輕奉行伺書(旧冬御上京御供引き続旅役延引の件考慮に付) 御足輕奉行→ - 伺書日付は「九月」、端裏書「九月十三日」「才領組友作早追入料別紙袋入相添覧」	9月13日	横切継紙・1通	ほ80-2
[御在所表より奥州天屋迄早追賃銭并小掛共御勘定帳](袋) 御飛脚才領組鳥羽友作	慶応4年辰9月	袋・1点	ほ80-3
御飛脚宰領組鳥羽友作願書(奥州天屋村出張の節駕籠1挺人足205貫808文下されたきに付) 御飛脚宰領組鳥羽友作→御割番所	明治2年巳9月	堅継紙・1通	ほ80-4
[従信州神代越州津川迄宿々駄賃帳](御在所長沼村より11日越後石間村まで人足6人賃銭取調に付) 早追鳥羽友作松代藩四角朱印	(明治元年)辰9月9日	横長半・1冊	ほ80-5
御飛脚宰領組鳥羽友作申上書(越後河口村雇人足6人賃銭84貫600文勘定に付) 御飛脚宰領組鳥羽友作→ -	(慶応4年)辰9月	堅切紙・1通	ほ80-6
河口村名主久兵衛金銭受取書[覚](河口より津川まで雇人足6人分賃銭18貫文受取に付) 河口村名主久兵衛→上	(明治元年)9月12日	堅切紙・1通	ほ80-7
津川宿人夫方莊助金銭受取書[覚](津川より焼山まで雇人足6人分賃銭15貫文受取に付) 津川宿人夫方莊助→上	(明治元年)辰9月11日	横切紙・1通	ほ80-8
焼山村名主徳右衛門金銭受取書[覚](焼山より白坂まで雇人足6人分賃銭18貫文受取に付) 焼山村名主徳右衛門→上	(明治元年)9月12日	横切紙・1通	ほ80-9
白坂村六兵衛金銭受取書[覚](白坂村より野澤まで雇人足6人分賃銭15貫文受取に付) 白坂村六兵衛→上	(明治元年)辰9月12日	堅切紙・1通	ほ80-10
野澤村名主佐兵衛金銭受取書[覚](野澤より天屋村まで雇人足6人分賃銭18貫600文受取に付) 野澤村名主佐兵衛→上	(明治元年)辰9月12日	堅切紙・1通	ほ80-11
[早追駕籠人足酒代御勘定帳](駕籠1挺人足酒代勘定に付) 宰領組鳥羽友作	(明治元年)辰9月	横長半・1冊	ほ80-12
御飛脚宰領組鳥羽友作申上書(早追人足食事賄代切手10枚	(明治元年)辰9月	堅切紙・1通	ほ80-13

分銭6貫108文勘定に付) 御飛脚宰領組鳥羽友作→ -			
神代七右衛門金銭受取証文[覚](夕飯料648文に付) 神代七右衛門→上	(明治元年)9月9日	横切紙・1通	ほ80-14
桑名川村組頭徳治郎金銭受取証文[覚](朝賄料548文に付) 桑名川村組頭徳治郎→上	(明治元年)9月10日	横切紙・1通	ほ80-15
森村与右衛門金銭受取証文[覚](昼弁当代600文に付) 森村与右衛門→上様	(明治元年)9月10日	横切紙・1通	ほ80-16
十日町常磐屋勝蔵金銭受取証文[覚](夕飯料650文に付) 十日町常磐屋勝蔵→上	(明治元年)9月10日	横切紙・1通	ほ80-17
小千谷町葛屋善左衛門金銭受取証文[覚](御せん料1人分600文受取) 小千谷町葛屋善左衛門→上	(明治元年)9月11日	横切紙・1通	ほ80-18
見附宿立花屋喜助金銭受取証文[覚](昼弁当代550文に付) 見附宿立花屋喜助→上	(明治元年)9月11日	堅切紙・1通	ほ80-19
加茂町問屋佐吉代三九郎金銭受取証文[覚](夕飯代700文に付) 加茂町問屋佐吉代三九郎→御上様	(明治元年)辰9月11日	堅紙・1通	ほ80-20
河口村名主久兵衛金銭受取証文[覚](朝賄料650文に付) 河口村名主久兵衛→上様	(明治元年)9月12日	堅切紙・1通	ほ80-21
焼山村名主徳右衛門金銭受取証文[覚](弁当代550文に付) 焼山村名主徳右衛門→上	(明治元年)9月12日	横切紙・1通	ほ80-22
野澤村山本惣兵衛金銭受取証文[覚](夕飯料600文に付) 野澤山本惣兵衛→上	(明治元年)9月12日	堅切紙・1通	ほ80-23
会津屋喜作金銭受取証文[覚](蠟燭代1貫500文に付) 会津や喜作→上	(明治元年)9月9日	横切紙・1通	ほ80-24
加茂町長野屋栄治金銭受取証文[覚](蠟燭・提灯袋代3貫300文に付) 加茂町長野屋栄治→上	9月11日	横切継紙・1通	ほ80-25

17 藩政／財政／計政局・会計掛／金札・銭札・官札

某奏達(札・金交換値段違反者処罰の旨江戸より指図に付)	5月2日	横切継紙・1通	ほ10
-----------------------------	------	---------	-----

18 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払

(用度司 御使者松平八十一へ御料理御入料伺関係書類綴明治2年正月～4年9月)		紙綴綴・5点	ほ35
近藤権内伺書(料理入料払代金28両2分7匁頂戴願に付) 近藤権内→ -	(明治3年)午7月	横切紙・1通	ほ35-1
[御献立](巳正月11日夜から13日朝までの献立書上)	(明治2年)正月11日	横切継紙・1通	ほ35-2
白木屋吉郎売上証文[覚](菓子代2分ト2匁5分計上に付)(松代中町)白木屋吉郎→御台所御役所	(明治2年)巳正月	横切紙・1通	ほ35-3
伊勢屋満吉売上証文[覚](酒代390匁計上に付)(信州松代木町伊勢屋)い勢や(伊勢屋)満吉→御台所御役所	(明治2年)巳正月	横切紙・1通	ほ35-4
現金屋租吉売上証文[覚](正月11,12日分料理代1貫324匁5分計上に付)(印文)「信州松代西木町現金屋」現金屋租吉→御台所御役所 裏面付箋「御使者松平八十一江御料理被下御入料之儀伺用度司」	(明治2年)巳正月	横切継紙・1通	ほ35-5
某申上書[御見合申上](土木方庶務等分現米代金書上)		横切紙・1通	ほ70
(給金書上巻込一括)		巻込一括・2点	ほ71

ほ 18 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払 19 元松代庁／諸用状

(正月より3月迄の月給・知事付の向月給等2万6千83両1分3朱銭1千122貫212文書上)		横切継紙・1通	ほ71-1
(已から未年分渡金2万51両1分7分2厘書上)		横切継紙・1通	ほ71-2
(士卒禄高調関係書類巻込一括)		巻込一括・2点	ほ72
[渡元帳御調](士卒給禄代・献初代等書上)		横切紙・1通	ほ72-1
某用状(藩債調書差出催促に付)		横切継紙・1通	ほ72-2

19 元松代庁／諸用状

青柳丈左衛門用状(丹波島宿旅宿へ出頭の旨申渡に付) 青柳丈左衛門→氷鉦村三役人 (端裏書、鉛筆)「差紙」、ほ59～69巻込一括	(明治4年)3月17日	横切紙・1通	ほ59
宮沢善治用状(明23日、勘定所へ出頭の旨相尋に付) 宮沢善治・青柳丈左衛門→西寺尾村岡神明組安右衛門 ほ59～69巻込一括	(明治4年)12月22日	横切紙・1通	ほ60
(草間一路用状貼付一括) 包紙に書状2点を貼付、ほ59～69巻込一括		包紙貼付・3点	ほ61
草間一路用状(包紙) 草(間)一路→次坂村		包紙・1点	ほ61-1
草間一路用状(此一封村継滞りなく相達すべきに付) 草(間)一路→清野村・岩野村・雨宮村他5か村三役人	6月22日	横切継紙・1通	ほ61-2
草間一路用状(次坂村周平御用のため酒井市治方へ出頭の旨申し渡すべきに付) 草(間)一路→次坂村三役人	6月22日	横切継紙・1通	ほ61-3
(志垣村岡本藤太召還状包紙一括) ほ59～69巻込一括		包紙一括・2点	ほ62
(包紙) 松代県庁→水内郡志垣村岡本廣太 (墨書)「九月十三日」「清野村より順村継」	(明治4年)9月13日	包紙・1点	ほ62-1
松代県廳用状(来16日会計掛出納方へ出頭に付) 松代県庁→水内郡志垣村岡本廣太	(明治4年)辛未9月13日	横切紙・1通	ほ62-2
(水原県出張関係手充金書上) ほ59～69巻込一括		横切継紙・1通	ほ67
(金銭書上) ほ59～69巻込一括		切紙・1通	ほ68
某金銭渡証文(5月から7月分手充金并8月分前借金481両2朱に付) ほ59～69巻込一括	7月	横切紙・1通	ほ69
長野県参事檜寄寛直達書(大蔵省庶務局より招魂場設置場所取調の旨通達に付) 長野県参事檜寄寛直→ - 長野県署紙	明治6年11月22日	堅折紙・1通	ほ37
(笠原平六郎所持古文書返却関係書類一括)		包紙一括・3点	ほ74
[埴科郡松代町笠原平六郎一通](包紙)		包紙・1点	ほ74-1
松代町役場召喚状(借用の古文書返却のため来18日出頭すべきに付) 松代町役場→笠原平六郎殿 松代町役場署紙	(明治)23年4月16日	堅切紙・1通	ほ74-2
(消息) 裏打済		堅切紙・1通	ほ74-3
柏崎県廳用状(聴詔掛庶務掛兼2人・租税掛1名、柏崎県出仕申達に付) 柏崎県庁→松代藩庁御中	(明治)5月9日	横切継紙・1通	ほ76
公用人申上書(大津権判官を以て別紙御書付送付に付) 公御用人→ - 端裏書「集議院より御達之儀ニ付申上」	4月17日	横切継紙・1通	ほ84
弁官達書(米人フロウン并クハーカ新潟港へ来訪に付) 弁官→ - 包紙入、包書「御書付」	3月8日	横切継紙・1通	ほ85
公用人申上書 公用人→ - 端裏書「米人兩人新潟港江信州路を経罷越候ニ付弁官より御達之儀ニ付兩人飛脚を以申上」	3月8日	横切継紙・1通	ほ86

20 その他

[法朗西文典] (袋) 江戸柳河氏蔵板→ -	慶応2年	袋・1点	ほ73
(母山他による七言絶句の写本) 東山眞如堂圓融講の「通」紙背 を使用	(明治)	横半半折・1冊	ほ16

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

ま

1 真田家／規式

(塗笠問合せ関連書類綴 文政10年6月)		紙綴綴・2点	ま237
[御目付様江塗笠御問合せ御附札](包紙) 「い印」あり	文政10年亥6月3日	包紙・1点	ま237-1
真田伊豆守家来座間百人申上書并附札(塗笠の塗装に付並びに黒塗裏金は許可に付) 真田伊豆守家来座間百人→ - 一部破損	(文政10年)6月朔日	横切紙・1通	ま237-2
[御手扣](包紙)		包紙・1点	ま201-1
某名面書(榊原式部大輔殿他26名) 朱書「御出印」		折本・1冊	ま201-2
某名面書(紀伊大納言殿他46の人名地名書上) 朱書「印御出之御挨拶」		折本・1冊	ま201-3
某名面書(惣御霊屋他28の人名地名書上) 訂正等書込		折本・1冊	ま201-4

2 真田家／江戸屋敷

(包紙) (南部坂)関の→山岸助蔵様・内林平蔵様・久保極人様		包紙・1点	ま56-1
南部坂関の書状(染物反物購入御礼等に付) (南部坂)関の→(山岸)助蔵様・(内林)平蔵様・(久保)極人様	4月5日	横切綴紙・1通	ま56-2
某用状(仏具購入方法に付江戸・国元間の交渉書付に付) 虫損甚大		縦半・1冊	ま64
某用状(御番二之筒幹色水上歌舞伎演者書上に付)		横切綴紙・1通	ま67
某用状[記](御賞請取の年月日・拝領の有無・米穀金銀銭の御渡の有無等取調項目書上に付) 冊子断簡		縦紙・1通	ま68
某用状(小西伊兵衛分1町2反6畝21歩を永代地に致すに付)		切紙・1通	ま69
某用状(酒役銭等勘定に付) 冊子断簡		横折紙・1通	ま70
いの口屋村伝六金銭受取証文[覚](雑用のため通札27貫文に付) いの口屋村伝六→本福多村宇吉殿	辰2月13日	縦切紙・1通	ま71
五郎右衛門金銭受取証文[記](炭代金×70貫350文の内3円に付) 五郎右衛門→中居町岡田伝重郎様	13年7月12日	横切紙・1通	ま73
明蔵相場書上[相場](米等各種相場書上に付) 明蔵→ -	9月29日	切紙・1通	ま74
某用状[鯨沢掛り田方](惣高904石5斗6升4合書上に付) 貼紙		横折紙・1通	ま75
観世左吉他八十九名用状(芝居興行の際の画師並びに役者等の申合) 観世左吉外ニ89人→ -		切紙・1通	ま76
(南部坂御広式上番御目録拝領関連書類綴)		紙綴綴・4点	ま80
御徒士頭伺書(別紙南部坂御広式上番へ御目録頂戴する件考慮願に付) 御徒士頭→ - 端裏書「伺」	4月	切紙・1通	ま80-1
御徒目付申上書(南部坂御広式上番3人勤務で苦労のため御目録百疋宛支給に付) 御徒目付→ -	10月	横切綴紙・1通	ま80-2
小山田采女用状(南部坂御広式上番御徒士青銅下賜の件草間一路見込書作成に付) (小山田)采女→(矢沢)監物様	5月3日	横切綴紙・1通	ま80-3
高五用状(御目録下賜の件に付) 高五→(小山田)采女様	4月23日	横切綴紙・1通	ま80-4

(包紙) 真田弾正忠家来鈴木弥左衛門→ - 鈴木弥左衛門伺書并附札[覚](掃除之儀目立候儀は取捨候様可仕候哉等他四カ条伺いに付並びに伺の通の旨) 真田弾正忠家来鈴木弥左衛門→ -	3月6日	包紙・1点 横切紙・1通	ま210 ま209
--	------	-----------------	--------------

3 真田家／江戸屋敷／屋敷替

[谷中三崎御下屋敷与深川小松町小堀織部殿御屋敷切坪ニ而御相对替御願之通被仰出候御書付](包紙)	文政12年丑12月29日	包紙・1点	ま242-1
江戸幕府老中御書付(真田伊豆守と寄合小堀織部の拝領屋敷相对替仰付に付) - →真田伊豆守(幸貫) 「御書付」包紙1点共		包紙・横切紙・1点・1通	ま242-2

4 真田家／道具・書目

御刀番伺書并前島友之進申上書[覚](御駕籠桐油御手入の儀等に付) 御刀番→ - 端裏書「御駕籠桐油御手入之義ニ付奉伺」	3月	横切継紙・1通	ま203
---	----	---------	------

5 真田家／家職／祝賀・献上

(大殿様御直書進上・御見舞に関する綴)		紙綴綴・2点	ま160
井上五郎左衛門満貞他四名書状(殿様え大殿様よりの御直書進上に付) 井上五郎左衛門満貞・大熊俊之丞正泰・磯田小藤太綱敬他1名→久保極人様・師岡源兵衛様・榎田弥惣兵衛様	7月24日	横切継紙・1通	ま160-1
四人書状(暑中見舞いの干物献上の御礼延引お詫びに付) 四人(井上五郎左衛門満貞・大熊俊之丞正泰・磯田小藤太綱敬他1名)→御三人様(久保極人・師岡源兵衛・榎田弥惣兵衛)	7月	横切継紙・1通	ま160-2

6 真田家／家職／諸金銭勘定

三沢清美申上書(拝借本金返上の節の仮受取書返上猶予願いに付) (三沢)清美→(佐藤)則善様 端裏書「則善様 御受 清美」封印「メ」	3月18日	横切紙・1通	ま12
中島誠雄願書[為換券御下ヶ願](中島禎次郎へ金10円送金証書焼失に付) 中島誠雄→真田様御家扶御中	4月4日	縦紙・1通	ま14
(伊東八兵衛金融関係綴)		紙綴綴・3点	ま25
某書状下書(端裏書)[大満寺江三月七日遣候手紙草稿](伊東八兵衛へ頼金融一条に付)	3月7日	横切継紙・1通	ま25-1
某書状下書(伊東八兵衛へ頼金融一条に付)		横切継紙・1通	ま25-2
順一郎用状(伊東方の例の金融一条について面談願ことに付) 順一郎→(高山)純一郎様	3月12日	横切継紙・1通	ま25-3

7 藩政／勤役／御手伝

[大御目付様御廻状写](包紙)	慶応2年寅	包紙・1点	ま133-1
北沢職之助廻状写[大御目付様御廻状写](大御目付神保佐渡守様より濃州・勢州川々御普請の触松平甲斐守より西尾隠岐守へ順達に付) 北沢職之助→ -	4月16日	横切継紙・1通	ま133-2

8 藩政／役職／御目見

真田櫻山名面書(家督の御礼小野四郎兵衛他7名御目見人名書上に付) 真田櫻山→ -	3月28日	横切継紙・1通	ま229
望月帰一郎名面書(家督の御礼根村熊五郎他7名御目見人名書上に付) 望月帰一郎→ -	7月28日	横切継紙・1通	ま230

9 藩政／勤方／記録

松木宗董用番控[日新録](1月1日～4月24日) 松木宗董→ - 虫損・破損大・汚損大、木版の暦が表紙の裏貼付	安政6年己未	横長半・1冊	ま1
--	--------	--------	----

10 藩政／家中／賞罰

岡嶋莊蔵書状(大酩酊の件お詫びに付) (岡嶋)莊蔵→(矢沢)監物様	2月8日	横切継紙・1通	ま172
(町田源左衛門出奔関連書類一括)		巻込一括・2点	ま227
御勘定所最上流算術門弟之者共歎願書[御内々乍恐奉歎願候](町田源左衛門出奔致し江戸にて捕縛後の処分に付) 御勘定所最上流算術門弟之者共→ - 宿紙を使用、下書、訂正のための貼り紙等あり	8月	横切継紙・1通	ま227-1
某歎願書(町田源左衛門の御赦免歎願に付)		横切紙・1通	ま227-2

11 藩政／家中／御賞・諸願

(御賞・褒美関係等書類一括 慶応3年6月～8月)		袋一括・40点	ま228
[御答入](封筒) 訂正貼紙	(慶応3年)卯	封筒・1点	ま228-1
(御賞関係等書類綴 慶応3年6月)		紙綴綴・16点	ま228-2
某申上書(17人の人足の賃銭に付) 端裏書「江戸長坂辺出火駆付人足賃渡に付申上、留済」	(慶応3年)卯6月29日	横切継紙・1通	ま228-2-1
某申上書(格別の御由緒も無之に付修復のみにするべきであらうとのことに付) 端裏書「勝願寺申立之義ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯6月29日	横切継紙・1通	ま228-2-2
某申上書(勤中年々初拾俵支給残金の内で取計に付) 端裏書「後町村慈居市村於番所取締御義付申上、留済」	(慶応3年)卯6月26日	横切継紙・1通	ま228-2-3
某申上書(去寅10月中御遠乗の節上平村へ宿泊に付) 端裏書「上平村三役人泊被下候義付申上、留済」	(慶応3年)卯6月26日	横切紙・1通	ま228-2-4

某申上書(願人共出精に付) 端裏書「鬼無里村より越後御切通銭之儀付申上、留済」	(慶応3年)卯6月24日	横切継紙・1通	ま 228-2-5
某申上書(池田三七御薬園方御用途に付内々金子15両上金) 端裏書「池田三七内願上金之儀ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯6月18日	横切継紙・1通	ま 228-2-6
某申上書(別紙の通り諸道具入用出方に付) 端裏書「御薬園懸り御賞之儀ニ付申上、留済」、一部虫損	(慶応3年)卯6月18日	横切紙・1通	ま 228-2-7
某申上書(物価沸騰に付米価高直相成に付) 端裏書「北沢幟之助拝借金御取延之儀付申上、留済」	(慶応3年)卯6月18日	横切継紙・1通	ま 228-2-8
某申上書(大殿様・若殿様御乗出以来出精に付) 端裏書「定押両組等御賞之儀ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯6月15日	横切継紙・1通	ま 228-2-9
某申上書(藤治郎並びに山下木之助兩人共百疋ずつ支給に付) 端裏書「御台所元メ石川藤治郎御賞之儀付申上、留済」	(慶応3年)卯6月15日	横切継紙・1通	ま 228-2-10
某申上書(砲術修行人手当待遇にて継続して雇い度に付) 端裏書「関口勇馬御願申上、留済」	(慶応3年)卯6月10日	横切継紙・1通	ま 228-2-11
長谷川三郎兵衛申上書(表御番医番料支給に付) 長谷川三郎兵衛→ 端裏書「雨宮通得・春原玄三歎願之儀ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯6月10日	横切継紙・1通	ま 228-2-12
某用状(同意に付) 端裏書「東條清見御添御給仕御賞之事、留済」	(慶応3年)卯6月10日	切紙・1通	ま 228-2-13
某用状(拝見返上の旨に付) 端裏書「御酒代料ニ而被下候分御増候事、留済」	(慶応3年)卯6月10日	横切継紙・1通	ま 228-2-14
某申上書(申立の通り仰せ渡すようにとのこと) 端裏書「市村船渡擧越舟之儀ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯6月10日	横切継紙・1通	ま 228-2-15
某申上書(御武具方手附船役免等の分申立に付) 端裏書「御武具方手附増等之儀ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯6月10日	横切紙・1通	ま 228-2-16
(御賞褒美関係書類綴 慶応3年7月)		紙綴綴・12点	ま 228-3
某申上書(柘植彦四郎御勝手御逼迫に付御役料抛出に付) 端裏書「柘植彦四郎御役料差上之儀ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯7月8日	横切継紙・1通	ま 228-3-1
某申上書(御賞滞りのため給付に付) 端裏書「三村大之助御賞之儀ニ付申上、留済」、一部虫損	(慶応3年)卯7月10日	横切継紙・1通	ま 228-3-2
某申上書(太田より北山安在へ貸付金差し纏れ一条に付) 端裏書「太田藤五郎内歎願承申上、留済」、一部虫損	(慶応3年)卯7月10日	横切継紙・1通	ま 228-3-3
某申上書(町方奇特者へ初願に付) 端裏書「町方奇特者御賞美之義ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯7月13日	横切継紙・1通	ま 228-3-4
某申上書(返上に付) 端裏書「孝女東福寺村市郎左衛門女房ふう御賞取済 御書類返上之事、留済」	(慶応3年)卯7月13日	横切紙・1通	ま 228-3-5
某申上書(御答筋考慮に付) 端裏書「松原者御答筋之義ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯7月13日	横切紙・1通	ま 228-3-6
某申上書(用部屋書役見習勤中のところ御勘定吟味へ転役に付) 端裏書「中条精一郎等[]見習之義付書上、留済」、虫損	(慶応3年)卯7月21日	横切紙・1通	ま 228-3-7
某申上書(勘定吟味の上同意) 端裏書「梅木村磯五郎鹿狗灰内猷上御武具御用立之事、留済」、虫損	(慶応3年)卯7月21日	横切紙・1通	ま 228-3-8
某申上書(小松原村操抜穴一条、冥加等赦免に付) 端裏書「操穴御賞之義ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯7月21日	横切継紙・1通	ま 228-3-9
某申上書(御用紙位下げに付勘定吟味へ尋ねに付) 端裏書「御用紙遣方位下之義ニ付申上、留済」、虫損	(慶応3年)卯7月8日	横切継紙・1通	ま 228-3-10
某申上書(丸山源五右衛門御賞筋の趣勘定吟味申立に付) 端裏書「丸山源五右衛門等御賞之義ニ付、留済」、虫損	(慶応3年)卯7月21日	横切継紙・1通	ま 228-3-11
某申上書(小山東弥太・富岡文蔵御重賞に付) 端裏書「小山東弥太等御賞之義ニ付書上、留済」、虫損	(慶応3年)卯7月21日	横切継紙・1通	ま 228-3-12
(御賞褒美関係書類綴 慶応3年8月)		紙綴綴・12点	ま 228-4

ま 11 藩政／家中／御賞・諸願 12 藩政／家中／屋敷・地所

某申上書(金150両献上に付御賞筋お伺い) 端裏書「重太郎組三蔵等献金御賞之義ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯8月14日	横切継紙・1通	ま228-4-1
某申上書(安政2年不正の取り計らいにより永押込の処罰を受けた吉澤氏に付) 端裏書「元小頭吉澤今作跡目取立之義ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯8月14日	横切継紙・1通	ま228-4-2
某申上書(神主小出相模父子奇特に付) 端裏書「永熊村神主御褒美之義ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯8月14日	横切継紙・1通	ま228-4-3
某申上書(苗字上下御免に付) 端裏書「重太郎組三蔵等之義ニ付尚又申上、留済」	(慶応3年)卯8月15日	横切継紙・1通	ま228-4-4
某申上書(浦野献金御賞として永給人格申渡しの場合に付) 端裏書「浦野勇右衛門献金并御賞之義ニ付申上、留済」、一部虫損	(慶応3年)卯8月16日	横切継紙・1通	ま228-4-5
某申上書(品渡しあるいは代金渡しに付) 端裏書「盛徳寺御施餼鬼料米品渡候義ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯8月20日	横切継紙・1通	ま228-4-6
某申上書(宝樹院献金御賞として法会の節紋付提灯・年頭札独礼許容に付) 端裏書「北平村宝樹院献金并ニ御賞之義申上、留済」、端裏月日「8月21日」奥付「7月」	(慶応3年)卯8月21日	横切継紙・1通	ま228-4-7
某申上書(水論一件ニ付道橋方支配御賞の件目付へ照会に付) 端裏書「佐野村水論一件ニ付道橋方支配御賞之義再申上、留済」	(慶応3年)卯8月24日	横切継紙・1通	ま228-4-8
某申上書(佐野村水論一件に付小頭足軽出役御賞書上) 端裏書「佐野村水論一件ニ付小頭足軽等御賞ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯8月24日	横切継紙・1通	ま228-4-9
某申上書(舞鶴山両宮祭礼にお供えする御神酒等に付神主堀内大隅より伺いに付) 端裏書「御両宮御祭礼之節御神酒等之義ニ付申上、留済」	(慶応3年)卯8月24日	横切継紙・1通	ま228-4-10
某申上書(砲術世話役の者役中苗字上下御免の義足軽奉行申立に付) 端裏書「砲術世話役御取立之義ニ付申上、留済」、後欠、挟込1通共	(慶応3年)卯8月27日	横切継紙・2通	ま228-4-11
某用状(功労者褒賞のため、1千681石に付)		横切継紙・1通	ま137
某用状[覚](、300両に付) 虫損		横切継紙・1通	ま138
(中村仲多御賞関連書類一綴 明治3年2月～4年9月)		紙綴綴・5点	ま226
学監申上書并長谷川深美他六名朱印(御手元より御賞支給願に付) 学監→・ 端裏書「中村仲多御賞之儀ニ付御尋申上」	9月19日	横切継紙・1通	ま226-1
寺内多宮他五名歎願書(別紙昨午歎願の節御採用願に付) 寺内多宮・吉村左織・菅沼柳三他3名→・ 端裏書「御内々歎願申上」	(明治4年)辛未9月	横切継紙・1通	ま226-2
寺内多宮他五名歎願書(水練師匠として式拾五ヶ年藩士教育の補助の功績として御賞典支給願に付) 寺内多宮・吉村左織・菅沼柳三他3名→・ 端裏書「御内々歎願申上」、訂正貼紙り	(明治3年)庚午2月	横切継紙・1通	ま226-3
某奏達(積年水練出精に付帷子一・金7000疋下賜に付) (松代県)→小林清右衛門	(明治3年7月13)日	横切紙・1通	ま226-4
松代県奏達(積年水練出精に付帷子一ツ・金7000疋下賜に付) 松代県→中村仲多 青色野紙「松代縣」	(明治3年)	豎折紙・1通	ま226-5

12 藩政／家中／屋敷・地所

(抱屋敷売払関連書類綴 享和元年12月)		紙綴綴・2点	ま231
伊東伝吾金銭請取書[覚](高輪抱屋敷藤植校売払代金400両請取並びに納戸収納に付) 伊東伝吾→菅沼九左衛門／(裏書)小山田主膳	享和1年辛酉12月	豎紙・1通	ま231-1
(包紙) 「に印」	享和1年辛酉12月	包紙・1点	ま231-2

ま 12 藩政／家中／屋敷・地所 13 藩政／諸役方／御留守居役			
14 藩政／諸役方／水道役 15 藩政／郡方／寺社／参詣 16 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調			
某申上書(矢沢と鎌原両家は此度御用にて代わり土蔵を2戸貸出に付) 端裏書「御貸土蔵之儀ニ付申上」	(明治2年)巳10月	横切継紙・1通	ま107
某用状(表間口7間3尺・奥行17間3尺屋敷間取書上に付)	2月	横切継紙・1通	ま124

13 藩政／諸役方／御留守居役

木原半兵衛書状(奉札一通等の取計いに付) 木原半兵衛→真田信濃守様・伊達遠江守様御内御留守居中様	6月9日	横切紙・1通	ま145
--	------	--------	------

14 藩政／諸役方／水道役

水道役申渡書(大蓮院様大英寺へ御立寄に付) 水道役→虫損		横切継紙・1通	ま127
某用状[覚](御水道方御仲間3人等メ10人に付仲間取調書) 端裏書「御仲間調」	午3月	切紙・1通	ま141

15 藩政／郡方／寺社／参詣

(諏訪宮長国寺等参詣供奉人書上)		横切継紙・1通	ま144
------------------	--	---------	------

16 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

紙屋町長町人甚左衛門他一名申上書[乍恐以書付御答申上候](紙屋町と紺屋町の境に付御尋並びに川筋中央の所境との返答) 紙屋町長町人甚左衛門・紺屋町名主長左衛門→御奉行所 端裏書「写 紙屋町紺屋町横道川普請尋之答」	天保4年巳5月	堅紙・1通	ま233
南牧村頭取長百姓三郎右衛門他六名願書[差上申一札之事](一同極難渋に付き拝借金願) 南牧村頭取長百姓三郎右衛門・同断奥之助・同断伊右衛門他四名→白田助□殿 裏打済、一部虫損	弘化4年未正月13日	堅紙・1通	ま245
[御内借金証文之御事](金50兩拝借並びに返済方法に付) 福島村三役人頭取→御勘定所元メ御役所	弘化4年未7月	堅紙・1通	ま246
[福岡新田出入書物写](坂原啓十郎年貢納方等に付、2月～3月)	弘化5年申	堅半・1冊	ま3
[上](包紙) 東条村徳左衛門→ - ま198、199～200は巻込一括、朱書きで「ハ」との貼り紙あり、「東条村徳左衛門歎願」		包紙・1点	ま198-1
東条村徳左衛門願書[口上覚](瀧元村申立のため私召出し御尋願に付) 東条村徳左衛門→磯田音門様御内御役人中様	正月24日	横切継紙・1通	ま198-2
(東条村徳左衛門と瀧元新田村間の割地訴訟関連書類一括)		紙縫綴・2点	ま199
東条村南組七左衛門親徳左衛門申上書[御尋付乍恐以奉申上候](文政7年の瀧元新田村山地割合の節の割合方に付) 東条村南組七左衛門親徳左衛門(爪印)／(奥印)右村(東条村)名主利兵衛・組頭幸助・長百姓清三郎→郡御奉行所 ま198、199～200は巻込一括、端裏書「東条村瀧本新田割地一条同村徳左衛門申立」、巻上裏に朱書「六」	万延年申6月	堅半・1冊	ま199-1
某用状(東条村徳左衛門の瀧元新田割地引渡に付)		横折紙・1通	ま199-2
(東条村徳左衛門と瀧元新田村間の割地訴訟関連書類綴文久元年7月) ま198、199～200は巻込一括、		紙縫綴・2点	ま200

ま 16 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調 17 藩政／郡方／災害／地震

東条村南組瀧元新田元世話人徳左衛門願書〔乍恐以口上書御内々奉願上候〕(先年頂戴した山地を割地願に付) 東条村南組瀧元新田元世話人徳左衛門→ -	文久1年丑7月	豎半・1冊	ま200-1
東条村南組瀧元新田元世話人徳左衛門小作人差引帳(文政5午年～同6未年の山地小作人仕等差引に付) 東条村南組瀧元新田元世話人徳左衛門→ -	文久1年丑7月	横長半・1冊	ま200-2
(村方・町方願書一括)		巻込一括・2点	ま66
大岡根越組名主助左衛門他二名願書〔乍恐以書付奉願候〕(大岡根越組藤助他4名居宅焼失難済のため先年上納の課業錢御下ヶ願に付並びに代官添伺) 大岡根越組名主助左衛門・組頭弥五左衛門・長百姓清左衛門→御代官所 下ヶ札あり	文久3年亥7月	豎紙・1通	ま66-1
新町宿借り主太助他2名願書〔御日延書差上申一札之事〕(御拝借金100両だけ返納日延願に付) 新町宿借り主太助・取締役八木吉右衛門・同原喜兵衛→水野清右衛門様・酒井市治様	慶応4年辰6月	豎紙・1通	ま66-2
力石村塚田五左衛門申上書〔御尋ニ付以書取申上候〕(越後より鬼無里村御林への道筋の様子に付) 力石村塚田五左衛門→御城用才薪御掛り御役所	慶応3年卯6月	豎半・1冊	ま239
鐘居堰組合惣代三輪村長百姓三右衛門他四名繕り書〔乍恐以書付御絶奉歎願候〕(御城用才薪御林より御切出の節裾花川御留切に付御訴訟申上に付) 鐘居堰組合惣代三輪村長百姓三右衛門・北平林村名主半左衛門・桐原村頭立太兵衛他2名→郡御奉行所	慶応3年卯9月	豎半・1冊	ま240
(下戸倉宿半三郎抱女こと一件関連書類綴)		貼綴・2点	ま90
某申上書(鍛冶町清十郎儀下戸倉宿半三郎抱女こと連出取調に付)	9月6日	横切継紙・1通	ま90-1
某申上書(端裏書)〔別紙申上〕(下戸倉宿半三郎抱女こと引渡に付)	9月	横切継紙・1通	ま90-2
[申上]〔包紙〕 御手附→ -		包紙・1点	ま105-1
御手附小林亀吉申上書〔以書取申上候〕(妻科村左兵衛病氣見分の上駕籠にて連行のことに付) 御手附小林亀吉→ -	12月22日	横切紙・1通	ま105-2
牧野良平他一名書状(御城下初右衛門女房たつと坂木宿利右衛門との娘なか取戻一件内済に付) 牧野良平・松野茂一郎→草間一路様・前嶋友之進様	12月26日	横切継紙・1通	ま147
某伺書(乞食体の者取締まりに付)	8月8日	横切紙・1通	ま162
(矢越村出入関連書類綴)		紙綴綴・3点	ま174
岩下草書状并岡嶋莊蔵勘返状(御調帳を閲覧並びに拝見願に付) (岩下)草→(岡嶋)莊蔵様	2月19日	横切継紙・1通	ま174-1
岩下草書状并岡嶋莊蔵勘返状(矢代村一件証人等を召喚の旨並びに御用状送付に付) (岩下)草→(岡嶋)莊蔵様		横切継紙・1通	ま174-2
岩下草伺書并岡嶋莊蔵勘返状(御状を返上の件に付) (岩下)草→(岡嶋)莊蔵様		横切継紙・1通	ま174-3
御郡方伺〔口上覚〕(山上条村岸組4月中より疫病流行に付今以病後肥立かねる者52人へ米5俵支給等に付並びに伺いの通りの旨) 御郡方→ - 付札あり	9月	横切継紙・1通	ま95

17 藩政／郡方／災害／地震

某用状(加州飛脚が持参した当月25日発生の地震-弘化4年の越後の様子に付) 後欠、朱色紙		切紙・1通	ま131
--	--	-------	------

18 藩政／甲府・奥羽出兵

(大給縫殿頭南牧関門守衛関連綴)		紙縫綴・4点	ま146
(包紙) 大給縫殿頭田原直助・梅村周治・川村恒右衛門→真田信濃守様御用人中様		包紙・1点	ま146-1
田原直助他二名書状(大御総督府下御参謀より別紙写しの通り仰せつけられたことに付) 大給縫殿頭田原直助・梅村周治・川村恒右衛門→真田信濃守様御用人中様	6月11日	横切継紙・1通	ま146-2
[写](包紙)		包紙・1点	ま146-3
大総督府下参謀書状(南牧関門守衛仰付に付) 大総督府下参謀→大給縫殿頭	6月4日	横切紙・1通	ま146-4
小笠原左衛門左内松井志津馬書状(御陣羽織地一卷拝領珍重との旨申達に付) 小笠原左衛門佐内松井志津馬・黒柳大六→真田信濃守様御内字敷元之丞様・春原織右衛門様 虫損補修	2月26日	横切継紙・1通	ま149
棟茂書状(夏中大銃送付に付) 棟茂→(磯田)音門様	10月11日	横切継紙・1通	ま166

19 藩政／諸職／職事掛／御賞等級調

弁官伝達所申渡書(移住寄留届差出催促に付) 弁官伝達所→長谷川権太夫殿	(明治4年)辛未6月13日	横切継紙・1通	ま48
行政官申渡書(藩重役人選来る10月迄に取調並びに大参事より権少参事に至るまで取調早々伺ことに付) 行政官→	7月	横切継紙・1通	ま49
(職録受取関連書類一括)		封筒一括・3点	ま154
(封筒) 渡辺大属→横田権太郎様		封筒・1点	ま154-1
旧西隣書状(窮迫に付職録滞納の件謝罪に付) 旧西隣→旧御東隣様	7日	横切継紙・1通	ま154-2
和田耕造書状(職録請取方に付) (和田)耕造→玉川様	極月27日	横切継紙・1通	ま154-3
(包紙) 宮尾久吉→小林唯蔵様		包紙・1点	ま155-1
宮尾久吉書状(御扶持方受取通帳内談の通り解決に付) 宮尾久吉→小林唯蔵様	12月8日	横切継紙・1通	ま155-2
(藩士御賞筋等級調) 朱書・貼紙・継紙あり		83×167・1舗	ま58
(藩士役職毎等級調) 朱書・貼紙・継紙あり		141.5×165・1舗	ま59
(藩士等級調用紙) 未記入		54×38・1舗	ま60

20 藩政／諸職／神社郡政局・民事掛／諸願書・取調

(御立相場関連書類綴)		紙縫綴・4点	ま216
鎌原溶水申上書(別紙伺い承知に付) 鎌原溶水→草間一路殿	11月14日	横切継紙・1通	ま216-1
郡政庶務方申上書(端裏書)[御立相場之儀ニ付申上](作毛遠作のため年貢引方に付並びに相場の下ケ札) 郡政庶務方→ 加筆貼紙・下ケ札あり	11月	横切継紙・1通	ま216-2
郡政庶務方伺書(端裏書)[御立相場取調之儀ニ付伺](今年	11月	横切継紙・1通	ま216-3

御立相場の儀簡易取調の有無に付) 郡政庶務方→ -			
神社郡政方伺書(端裏書)[御立相場調方之儀ニ付伺](当年の御立相場調庶務方別紙の通り取計の件に付) 神社郡政方→ -	11月	横切紙・1通	ま216-4
竹内新七書状(島原藩知事様へ伝言願に付) 竹内新七→藤井浅右衛門様・師岡源兵衛様	4月27日	横切継紙・1通	ま148
(租税取調関連書類綴)		紙綴綴・8点	ま103
某伺書(行政官より別紙雛形の通り租税等取調の旨に付) 端裏書「御収納内取調之儀付伺」	3月8日	横切継紙・1通	ま103-1
行政官達書[二月十七日於京都御達](領地歳令分御取調ニ付元治元子より明治元辰迄5ヶ年平均致し別紙案書の通り相認め当4月限弁事へ差出べき事) 行政官→ -	2月	横切継紙・1通	ま103-2
某用状(拝領高外の新田高租税書上雛形) 端裏朱書「雛形朱□□」、一部虫損、裏打済、朱書、貼紙付		横切継紙・1通	ま103-3
某用状(租税録高1万8千679石8斗5升2合9勺等書上に付) 端裏書「御高調之事」		切紙・1通	ま103-4
某用状(戸隠山並びに善光寺の儀は旧幕府より新に寄付があった旨等取調書) 端裏書「堤氏調末」	10月	横切継紙・1通	ま103-5
某用状(水内郡新田高・更級郡高等メ2千233石7斗2升2合4勺書上に付) 端裏書「郷村帳扣へ」	文化14年丑	横切継紙・1通	ま103-6
某用状(御領知並びに寺領租税録2帳郡引訳取調に付) 端裏書「租税録新田高之儀御差上申上」	8月16日	切紙・1通	ま103-7
御勘定書元メ役伺書(非常の年を除き5ヶ年平均の免相を取調べるところ満水違作の年の分取扱等に付) 御勘定所元メ役→ - 端裏書「御高調之儀ニ付伺」	8月16日	横切紙・1通	ま103-8
(民事方関連書類綴)		紙綴綴・3点	ま109
監督申上書(会計懸りより別紙御尋に関して申上げるところは無く皆済村々へ下ケ金支給に付) 監督→ -	12月22日	切紙・1通	ま109-1
民事方申上書(兵食並びに人馬賃銭の儀数年になり多分の金高に付組合村々難渋の旨) 民事方→ - 端裏書「別段申上」、裏打済	正月	横切継紙・1通	ま109-2
民事懸伺書并端裏朱印(騒動に付村々兵隊出張御賄の件他村の村からも賄願を取調等に付) 民事懸→ - 端裏書「村々出張御賄之儀ニ付伺」、裏打済	12月20日	横切継紙・1通	ま109-3
民事掛伺書(端裏書)[水内郡上今井村再御普請ニ付硝代御中備之儀伺](水内郡上今井村治水再御普請平助逼に付硝代35両の出金方付) 民事掛→ - 裏打済、付紙あり	7月	横切継紙・1通	ま83
郡政副主事伺(端裏書)[村々居家焼失之者御金下ケ之儀ニ付伺](居家焼失の者下金支給の指図無しに付) 郡政副主事→ - 付札あり	9月5日	横切継紙・1通	ま101
某奏達(端裏書)[中島村才吉御賞](午年騒擾の砌献金に付目録の通下賜の旨)		横切紙・1通	ま112
某用状(銀1つ等書上に付)		切紙・1通	ま113
某奏達(恵明寺永々土蔵借入都合筋1段の事等に付) 端裏書「調済」		横切紙・1通	ま114
某奏達(西楽寺去る辰年囲穀御用途の内献上等精勤のため麻御幕2張下すことに付)		切紙・1通	ま115
某奏達(松橋岩吉戊辰の年北征の役に付御賞として上下下賜の旨) 訂正貼紙		切紙・1通	ま116
某奏達(松本惣左衛門文久元酉年より栃原村にて操貫新路一件精勤のため目録品下賜等に付)		横切継紙・1通	ま117

竹雄伺書(飯島和平太以下10名の者世話役御賞筋として銃隊に取立に付) 竹雄→ -	11月朔日	横切継紙・1通	ま118
監督申上(昨冬騒擾の節紙屋町大伝寺仮教諭所に申渡、費用有合の品の内にて下すべきに付) 監督→ - 端裏書「紙屋町大伝寺江御下ヶ金等之儀付申上」、下ヶ紙あり	7月4日	横切継紙・1通	ま120
某用状(御用繰合西洋砲術修行に付)		横切継紙・1通	ま140
柘植彦六願書(御出入商人へ栗下されたいとのことに付) (柘植)彦六→(岡野)敬一郎様・(岸)善八様	12月21日	横切継紙・1通	ま122
(人名双六) 包紙入、貼紙付		48.3×33.3・ 切紙・2枚・1括	ま121

21 藩政／諸職／公用人／評議書類

(監察局名前取調並びに彈正台へ御届関連書類綴)		紙縫綴・10点	ま207
[監察局名面彈正台へ御届一件書類](表紙切紙)		横切紙・1通	ま207-1
公用人申上書(端裏書)[彈正台ヨリ監察名前差出候様御達ニ付申上](監察名前取調に付) 公用人→ -	6月9日	横切紙・1通	ま207-2
彈正台御用廻章写(各藩監察掛の名前取調提出に付) 彈正台→ -	(明治3年)庚午6月9日	豎半・1冊	ま207-3
(封筒) 真田桜山→大熊董様	6月19日	封筒・1点	ま207-4
真田桜山書状(監察名面御書上の儀承知並びに2名欠員の儀追て御書上差上べきに付) 真田桜山→大熊董様	6月15日	横切継紙・1通	ま207-5
大熊董申上書(監察名面別紙の通相認彈正台へ提出付) 大熊董→真田桜山様	6月28日	横切紙・1通	ま207-6
大熊董申上書(別紙写の通彈正台より御達監察名前取調に付) 大熊董→真田桜山様	6月9日	横切継紙・1通	ま207-7
松代藩公用人長谷川平次郎申上書(松代藩大監察祢津神平他10名名前書上) 松代藩公用人長谷川平次郎→彈正御台	(明治3年)庚午6月25日	横切継紙・1通	ま207-8
某用状(大監察祢津神平他10名名前書上)		横切継紙・1通	ま207-9
公用人申上書(端裏書)[監察名前御届彈正台江差出候儀申上](監察名前御届書今日彈正台へ平次郎持参提出に付) 公用人→ -	6月25日	横切継紙・1通	ま207-10

22 藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・願書

(大御門時の御太鼓張替関連書類綴 明治3年4月)		紙縫綴・3点	ま244
武庫司事伺書(端裏書)[大御門御太鼓張替之儀ニ付伺](別紙庶務申立の趣了承願に付) 武庫司事→ -	(明治3年)4月10日	横切継紙・1通	ま244-1
武庫庶務申上書(端裏書)[大御門御太鼓張替之儀申上](大御門時の御太鼓年来も立たず打破に付革細工腰村名左衛門代金無料にて張り替え) 武庫庶務→ -	(明治3年)午4月	横切継紙・1通	ま244-2
越村革細工名左衛門願書[乍恐以書付奉願上候](破れた太鼓御下渡され今度張替に付御見分下されたいとの旨) 越村革細工名左衛門/(奥印)東寺尾村御底掃除孫六→御武庫方御役所様 端裏書「穢多越村革細工名左衛門差出書面」「写」	明治3年午4月	豎半・1冊	ま244-3
元武庫司事伺書并赤沢他一名端裏朱印(端裏書)[恵明寺土蔵御返シニ付被下之儀伺](恵明寺土蔵売払願のため返却に付) 元武庫司事→ - 下ヶ札あり	西正月12日	横切継紙・1通	ま94

23 藩政／財政／郡奉行・御勝手元／諸用状

(岡嶋莊蔵・竹村金五郎宛高田幾太金銭出入関連書類一括)		紙綴綴・14点	ま84
高田幾太申上書(9月13日～同17日までの日光飛脚代金1分御手当や若殿様合羽仕入等金銭使用書留に付) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	9月22日	横切継紙・1通	ま84-1
高田幾太申上書(7月27日～8月3日までの下目付近藤良吉在所派遣手当金2分や道具番儀作日光への道中死去に付御入料等金銭使用書留に付) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	8月3日	横切継紙・1通	ま84-2
高田幾太申上書(8月10日～8月12日までの南部坂並びに御抱屋敷通勤等の者へ御手当1人に付1ヶ月に20疋ずつ等金銭使用書留に付) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	8月16日	横切継紙・1通	ま84-3
高田幾太申上書(8月18日～8月21日までの玉川晟次郎若殿様御伽出精に付御手当金1両等金銭使用書留に付) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	8月28日	横切継紙・1通	ま84-4
某用状(端裏書)[玉川左仲御金事](天保九年御下金五分利で五ヶ年賦貸出等に付)		切紙・1通	ま84-5
高田幾太願書(玉川左仲借入金致したいとの申請の件に付) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	閏月2日	横切継紙・1通	ま84-6
高田幾太申上書(7月7日～7月26日までの田中権之助金3分拝領や深川新御屋敷砲術角場整備費用等金銭使用書留に付) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	7月26日	横切継紙・1通	ま84-7
竹村金五郎申上書[申上](別紙の通り上田宿船は相対雇に付) 竹村金吾→ -		横切継紙・1通	ま84-8
高田幾太申上書(上田宿より鼠宿は宿継雇賃等に付) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	正月8日	横切継紙・1通	ま84-9
某申上書(銅御買上の儀高田幾太の内状御一見下さるようお願いに付)	正月14日	切紙・1通	ま84-10
高田幾太申上書(銅御買上の儀先ず御買上取計を申上に付) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	2月15日	横切継紙・1通	ま84-11
中嶋屋金八金銭受取証文[覚](吹銅千目代銀26貫93匁7分5厘に付) 中嶋屋金八→新町宿藤屋孫右衛門	已11月14日	横切継紙・1通	ま84-12
高田幾太申上書(金870両3分5厘吹銅御買上に付金銭受渡) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(竹村)金吾様	2月5日	横切継紙・1通	ま84-13
中嶋屋源次郎金銭受取証文[覚](吹銅千目代金435両3分2朱銀3匁7分5厘に付) 中嶋屋源次郎→高田幾太様	弘化2年乙巳正月8日	縦紙・1通	ま84-14
(高田幾太金銭借用関係一括) 綴紐脱		巻込一括・4点	ま19
高田幾太書状(元金返済並びに利分取調べに付) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(長谷川)深美様 端裏書「丑正月廿一日到来」、虫損	正月15日	横切継紙・1通	ま19-1
高田幾太書状(2～3年前の引当金並びに切手金済ましに付) (高田)幾太→(岡嶋)莊蔵様・(長谷川)深美様 端裏書「丑正月廿一日到来」、虫損	丑正月13日	横切継紙・1通	ま19-2
高田幾太書状(50両借入内願切手印書返却に付) (高田)幾太→御両所様(岡嶋莊蔵・長谷川深美) 端裏書「丑正月廿一日到来」、虫損	正月15日	横切紙・1通	ま19-3
長谷川深美返書下案(旧冬借入の2千両の件原一条等に付) (長谷川深美)→ - 端裏書「丑正月廿三日源美様返事 下案」、虫損	丑正月22日	横切継紙・1通	ま19-4

御勝手元／申上書(端裏書)[原権右衛門御内借之儀付申上] (考慮願に付) 御勝手元／→ - 貼紙付	6月	横切継紙・1通	ま79
御勝手元／内々申上書(端裏書)[御内々申上](当用金950両 の明細は来春取調に付) 御勝手元／→ -	12月29日	切紙・1通	ま97
恩田頼母用状(別紙伺の当年の有金に付) 恩田頼母→竹村金 吾殿	12月14日	横切継紙・1通	ま139
(岡崎莊藏・金井左源太年始往還書状綴)		紙綴綴・2点	ま163
岡崎莊藏書状并金井左源太勘返状(年始御礼に付並びに返 礼の旨) 岡崎莊藏→金井左源太様	正月2日	横切紙・1通	ま163-1
岡崎莊藏他三名書状并金井左源太勘返状(御仕置規定の件 に付伴弥右衛門殿へ伝言依頼に付並びに伝言済みとの 旨)(堀内)権之進・(岡崎)莊藏・(鹿野)外守・(長井)主計→(金井) 左源太様	正月17日	横切継紙・1通	ま163-2
永野権三郎書状(国役金為替猶予並びに金銭取調報告等に 付)(永野)権三郎→御兩人様	12月2日	横切継紙・1通	ま164
山寺常山書状(病状に付)(山寺)常山→(富山)新平殿 裏打済 (宮下兵馬より御兩人宛書状綴)	8月9日	横切紙・1通	ま167
宮下兵馬書状(又右衛門婦村に付)(宮下)兵馬→御兩所様(山 寺源大夫・長谷川深美)	12月16日	紙綴綴・4点	ま173
宮下兵馬書状(御内借先役より被讓候分取調に付)(宮下)兵 馬→御兩所様(山寺源大夫・長谷川深美)	12月16日	横切紙・1通	ま173-1
宮下兵馬書状(御抱屋敷林殿へ御讓に付)(宮下)兵馬→(山 寺)源大夫様・(長谷川)深美様	12月15日	横切継紙・1通	ま173-2
宮下兵馬書状(今年は余日なきにより月延に付)(宮下)兵馬 →山寺(源大夫)様・長谷川(深美)様 裏打済	12月16日	横切継紙・1通	ま173-3
宮下兵馬書状(今夜五時秀姫様死去に付)(宮下)兵馬→(竹 村)金五様・(磯田)音門様	12月15日	横切継紙・1通	ま173-4
竹村吾願書(御規札不案内に付取計い願)(竹村)金吾→(岡 崎)莊藏様	8月朔日	横切継紙・1通	ま159
岡崎莊藏書状并源八勘返状(喜作儀別紙の通り申し立てに 付並びに江戸表よりも連絡があった旨)(岡崎)莊藏→源八 様	9月5日	横切継紙・1通	ま175
真田信濃守内樋口旗之助他六名書状(絵図の御状箱上書不 分明に付) 真田信濃守樋口旗之助・横田甚五左衛門・宮下主鈴他 4名→中之條御陣屋水野内蔵様・松本省庵様 状箱絵図と伊野右衛門 様御用の切紙(2枚・宿紙)巻込一括	2月20日	横切紙・1通	ま179
寺内多宮申上書(夫食買上の件等に付)(寺内)多宮→(竹村)金 吾様	4月9日	横切継紙・3通	ま236
	4月5日	横切紙・1通	ま180

24 藩政／財政／勘定所／諸用状

嘉十郎他一名申上書(端裏書)[増田藤兵衛善光寺江着申儀 付申上](増田藤兵衛等戸隠山並び善光寺へ参詣手間取に 付) 嘉十郎・伝助→ -	8月24日	横切継紙・1通	ま232
志川村作左衛門金銭受取証文[覚](初26俵1斗4升9合稻荷山 村田中友之丞へ御下金請取に付) 志川村作左衛門→入安兵 衛様 ま44～46は巻込一括	天保8年酉12月23日	縦紙・1通	ま46
広田組儀平金銭受取証文[覚](金200両飯山町出野熊治より 御用立金の内下ヶ渡に付) 広田組儀平→御金掛 ま44～46は 巻込一括	元治2年巳	横切継紙・1通	ま44

ま 24 藩政／財政／勘定所／諸用状

若月専吉金銭受取証文[覚](金12両御用金200両4ヶ月の利分請取に付) 若月専吉→代官 ま44～46は巻込一括	明治2年巳6月5日	切紙・1通	ま45
(米等の相場取調関連書類綴)		紙綴綴・4点	ま222
穀問屋孫兵衛申上書[相場覚](戌4月～亥5月の米仕入相場値段に付) 穀問屋孫兵衛→銀銅山御役所 端裏書[松井相場書]	亥11月	横切継紙・1通	ま222-1
松井由松申上書[覚](白米2斗代金等書上に付) 松井由松→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	丑正月20日	横切継紙・1通	ま222-2
某用状(大豆拾壺石五斗代金9両2分5匁等代金書上に付)		横折紙・1通	ま222-3
穀問屋孫兵衛申上書[覚](玄米購入代金並びに運賃其外諸懸り差引直段に付) 穀問屋孫兵衛→ -	嘉永3年戌11月	堅折紙・1通	ま222-4
松代町仮問屋□池伊兵衛申上書[覚](粃・大麦・大豆等各種町相場書上に付) 松代町仮問屋□池伊兵衛→ - 裏打済、一部虫損	文久1年酉6月	堅継紙・1通	ま217
(粃・大豆等の相場取調関連書類一括 元治元年10月)		袋一括・3点	ま215
[相場問合申上](封筒) 草間一路→ -	(元治年)子10月	袋・1点	ま215-1
磯田音門他二名伺書并付札(端裏書)[御未進相場伺](金10両に付粃15俵等去亥納粃大豆御未進相場11月6日より立替に付並びに伺の通り旨) 磯田音門・斎藤友衛・草間一路→ - 訂正貼札	(元治年)子10月	横切継紙・1通	ま215-2
高坂民左衛門他二名取調書[亥金納善光寺領同所町・須坂御領・飯山御領・川東御料所・上田御領并同所町直段・松本御領并御料所麻績宿・御料所中之条直段相場問合覚](各町粃・大豆・荳等の相場取調に付) 高坂民左衛門・堀内莊治・萩原八左衛門→ - 訂正貼紙	元治年子10月	横長半・1冊	ま215-3
佐藤為之進金銭請取書[覚](御軍用御囲の内金998両拝借に付) 佐藤為之進→水井市治殿・西村源兵衛殿・上村何右衛門殿他1名 訂正貼紙付	慶応3年卯正月	堅紙・1通	ま134
(佐藤)為之進他一名伺書(端裏書)[京都御文通案](太政官よりの両替比率と横浜での両替比率使用仕法に付) 郡奉行→(長谷川)深美様 下ヶ札あり	(慶応4年)辰6月5日	横切継紙・1通	ま36
某申上書[口上覚](糸会所品物改めに付)		横切継紙・1通	ま2
草間一路用状(村々惣代等へ御賞に付) (草間)一路→御三人様	9月3日	横切継紙・1通	ま15
(戸塚左太夫等用状綴)		紙綴綴・3点	ま21
戸塚左太夫書状(麦作作況・相場に付) 戸塚(左太夫)→水野(清右衛門)様		横切継紙・1通	ま21-1
(包紙) 高山純一郎→水野清右衛門様 虫損		包紙・1点	ま21-2-1
高山純一郎書状(留守中拙宅の義厚情を受けるに付礼書) (高山)純一郎→(水野)清右衛門様	5月9日	横切継紙・1通	ま21-2-2
竹村権左衛門用状(端裏書)[入用](役料請取・利分年賦割合上納等の件に付) 竹(村)権(左衛門)→岡(嶋)庄(蔵)様	11月12日	横切継紙・1通	ま26
柘植嘉兵衛申上書(御軍用御買上物ノ金2千両承知に付) (柘植)嘉兵衛→(草間)一路様・(佐藤)為之進・(岡野)弥右衛門	12月8日	横切継紙・1通	ま28
竹村権左衛門用状(端裏書)[入用](無利足10年賦元金10両・御役料25両之利分8両等各種借金払方に付) 竹(村)権(左衛門)→岡(嶋)庄(蔵)様	12月4日	横切継紙・1通	ま29
某書状(御繰合の上来宅依頼のことに付)	8月20日	横切継紙・1通	ま55
田中他一名用状(端裏書)[一割三分御借入金上納方村方与払合兼候分御問合調](雨宮村・倉科村2ヶ村上納金書上に付) 田中・堀内→ - 一部虫損	7月7日	横切紙・1通	ま81
矢野助右衛門書状(騒擾発生に付鎮圧・取調に付大心痛であ	9月8日	横切継紙・1通	ま87

る旨等に付) (矢野)助右衛門→(岸)太五之丞様・(竹内)金左衛門様 端裏貼紙付 (上阪土産物関連伺書類一括)		クリップ一括・4点	ま92
草間一路伺書(端裏書)[酒井市治関田莊助土産物之儀ニ付伺](兩人此度出府・上阪仰付らるに付白山産五郎らへ土産持参に付) 草間一路→ -	7月	切紙・1通	ま92-1
草間一路伺書(端裏書)[酒井市治関田莊助上坂御手充等之儀ニ付伺](兩人此度出府・上阪指令のため先例の通御手当金支給願に付) 草間一路→ -	7月	横切継紙・1通	ま92-2
草間一路申上書(端裏書)[白山産五郎江御贈物等之儀ニ付申上](斜子一反宛白山産五郎へ御贈に付) 草間一路→ -	7月	横切継紙・1通	ま92-3
酒井市治内々申上書(端裏書)[御勘定所附弁治郎上坂土産物之儀御内々申上](弁治郎酒井市治附人にて上阪致し産五郎らに真銭100疋づつ送金願に付) 酒井市治→ - 端裏貼紙(7月13日付草間一路別紙の伺に付)	7月	切紙・1通	ま92-4
産物会所懸申上書(端裏書)[御代金払両替間銭之儀申上](去辰6月中より当巳12月迄紬代金払両替間銭並両替より100文安分メ金22両3分200文に付並びに代金払方に付) 産物会所懸→ - 下ヶ札、端裏貼紙付	12月	横切継紙・1通	ま93
某申上書(端裏書)[御藩下難渋之者御救筋之儀ニ付申上](去秋中不例之違作のため山中方は別て極難の者多分に付)	3月	横切継紙・1通	ま98
竹中用状(端裏書)[南祖山江御扱筋之儀ニ付申上](作毛不熟に付御救金取調並びに1人3両支給) 竹中→ - 下ヶ札、訂正貼紙	12月6日	横切継紙・1通	ま100
御勘定役申上書(端裏書)[御役方附人御足輕之儀ニ付申上](御雇御足輕とのことに付) 御勘定役→ - 綴紐付	8月9日	横切継紙・1通	ま110
某用状(御吟味役申立勘弁に付)	8月5日	切紙・1通	ま129
某用状(上田県御支配所稲荷山風間新蔵金100両等メ300両に付)		横切継紙・1通	ま142
産物方差引勘定書付(産物方御貸出・御借入等に付)		横切継紙・1通	ま143
出井民部書状(今日中に返答に付) 出井民部→酒井一次様・関田莊助様	正月26日	横切継紙・1通	ま165
惣之進書状(御扶持之内12俵の米の扱いに関し明日伺に付) 惣之進→(小林)内蔵太様	6月25日	横切継紙・1通	ま168
清水吉太郎書状(田方旱害のため不作並びに御上納金・夫銭受取に付) 清水吉太郎→小林三左衛門様	7月2日	横切継紙・1通	ま169
某書状下書き(分水の件承知に付) - →(三沢)清美様		横切紙・1通	ま170
月岡善平書状(御扶持支給の相談願いに付) 月岡善平→水野清右衛門様 虫損	12月19日	横切継紙・1通	ま171
(封筒) 伊藤盛太郎→水野清右衛門様		封筒・1点	ま176-1
伊藤盛太郎願書(金子・元利共今日御下げ願に付) (伊藤)盛太郎→御両公様	9月30日	横切継紙・1通	ま176-2
(義四郎より市治様宛申上書綴)		紙綴綴・3点	ま177
義四郎申上書(御用達金証書写差出ので取調に付) 義四郎→(酒井)市治様	5月5日	横切継紙・1通	ま177-1
義四郎申上書(拝借金返納残金等利足調べの儀に付) 義四郎→(酒井)市治様	5月25日	横切継紙・1通	ま177-2
義四郎申上書(裏柴送付の件返書なきため延引に付) 義四郎→(酒井)市治様 端裏書「壬申五月晦」	5月25日	横切継紙・1通	ま177-3

ま 24 藩政／財政／勘定所／諸用状

永野権三郎申上書(安政の江戸地震後の様子等の伝達) (永野)権三郎→(片桐)重之助様・(高野)寛之進様	10月9日	横切継紙・1通	ま181
(善光寺・須坂町米相場取調関連書類一括)		紙綴束・4点	ま221
(紙綴)		紙綴・1点	ま221-1
御預所郡方申上書(端裏書)[当丑立冬石代直段善光寺町穀問屋江御尋之儀申上](善光寺町・須坂町の子・丑兩年の米相場書上並びに須坂町相場より下直の米なしの旨下ケ札) 御預所郡方→ -	丑10月	横切継紙・1通	ま221-2
某用状(須坂町・飯山町・善光寺町・小布施村の米相場取調並びに平均直段の下札)		横切紙・1通	ま221-3
(水内郡善光寺町・高井郡須坂・飯山・千曲川周辺図)		横切紙・1通	ま221-4
善光寺町穀問屋□之助申上書[覚](粃・大麦・大豆等各種町相場御買上に付) 善光寺町穀問屋□之助→ - 裏打済、一部虫損	6月	横切継紙・1通	ま223
土屋直吉申上書(端裏書)[御升初之儀申上](今日御升初めに付東寺尾村へ出張に付) 土屋直吉→ -	10月5日	横切継紙・1通	ま224
(商売鑑札御下ケ関連書類綴)		紙綴綴・3点	ま225
郡方伺書(端裏書)[古着商売之者江鑑札御下ケ之儀ニ付伺](御郡中山里村で心得不分明に付難渋もあるため鑑札交付に付) 郡方→ -	4月	横切継紙・1通	ま225-1
草間一路申上書(端裏書)[廻章](鑑札不所持者の取扱いに付) (草間)一路→(磯田)音門様・勘左衛門様・(斉藤)友衛様	6月9日	横切継紙・1通	ま225-2
某用状[御触示案](商売の者鑑札受給に付)		横切紙・1通	ま225-3
(御城用才薪買上関連書類綴)		紙綴綴・3点	ま238
某申上書(端裏書)[久保寺村佐源太才薪土場買上ニ付申上](当年の儀は一統難渋のため才薪買上についても差支なく取り計らう旨に付)	9月17日	横切継紙・1通	ま238-1
某申上書(端裏書)[久保寺村左源太才薪取締方之儀ニ付申上](鬼無里村奥御林より仮会所迄の往来筋・川辺の見廻り取締まりに付)	9月	横切継紙・1通	ま238-2
五一郎治願書(才薪間尺御改の節当村見分願に付) 五一郎治→酒(井)市治様	8月24日	横切継紙・1通	ま238-3
(樹芸方使丁冥加勤御手当関連書類綴)		紙綴綴・4点	ま243
使丁権田左左衛門他三名願書[口上覚](表堀の松御台所入真木御用の件承知等に付) 使丁権田左左衛門・大日方大作・山本品吉→樹芸方御役所	未11月23日	横切紙・1通	ま243-1
元メ伺書(別紙願の通りに付御手当筋の儀更に願に付) 元メ→ -		横切紙・1通	ま243-2
(包紙) 元メ→上		包紙・1点	ま243-3
飯島與作伺書(端裏書)[松真木五拾駄出来之儀仕丁共冥加勤之儀伺](樹芸方使丁冥加勤致すに付御手下したく存ずる旨に付) 飯島與作→ -	11月23日	横切紙・1通	ま243-4
草間一路金銭受取証文[覚](細田久作・柳遊亀屋月割上納不足に付御内借金85両2分2朱に付) 草間一路→岡野敬一郎殿 端裏書「御代官より御文受取事」	明治2年巳10月25日	縦紙・1通	ま192
伊東賢治金銭受取証文[覚](北郷村難渋に付月割上納過上金御内借金100両に付) 伊東賢治→酒井市治殿・水野清右衛門殿	明治2年巳11月	縦紙・1通	ま193
矢野助右衛門金銭受取証文[覚](今般御用に付伊奈縣へ出張拜命に付御内借金300両に付) 矢野助右衛門→岡野弥右衛門	明治2年巳3月	縦紙・1通	ま197

門殿 端裏書「矢野助右衛門」			
常之丞書状(伝兵衛からの返事が無きため伝言依頼つき) 常之丞→御兩人様	子12月8日	横切継紙・1通	ま152
(封筒) 古川仁兵衛・赤池善三郎→高野覚之進様・宮本慎助様	8月18日	封筒・1点	ま161-1
古川仁兵衛他一名書状(孝兵衛殿見舞い送付願取計に付) 古川仁兵衛・赤池善三郎→高野覚之進様・宮本慎助様	8月18日	横切継紙・1通	ま161-2

25 藩政／財政／勘定所／内借掛

伊藤源左衛門金銭受取証文[覚](当丑の御利足金24両に付) 伊藤源左衛門→大嶋磯右衛門殿・池田良右衛門殿 ま62・63は巻込一括	天保12年12月16日	堅紙・1通	ま62
柴村慶宝院金銭受取証文[覚](御用立金当酉御利足金25両に付) 柴村慶宝院→御勘定所御内借御掛御役所 ま62・63は巻込一括	天保8年酉12月	堅紙・1通	ま63
(原村金銭請取関連書類一括)		包紙一括・3点	ま211
[上](包紙) 原村→		包紙・1点	ま211-1
永野善十郎金銭請取書[覚](御荷物会所にて御用金紛失に付金2両2分御内借に付) 永野善十郎→片桐重之助殿・高野覚之進殿	安政5年午10月	堅紙・1通	ま211-2
原村御借主西澤勝太郎他三名金銭請取書[差上申御内借金証文之事](要用に付金100両拝借に付) 原村御借主西澤勝太郎・庄之助・久八他1名／(奥印)御蔵元文市→御勘定所御内借懸り御役所	元治1年甲子12月	堅紙・1通	ま211-3
(金銭請取関連書類綴 慶応3年～明治2年5月)		紙綴綴・11点	ま212
某金銭差引書(差引3両1分過) 2月1日～3月6日分	慶応3年卯	横切継紙・1通	ま212-1
某金銭差引書[覚](金360両上納に付) 端裏書「扣」、慶応3年2月1日～慶応4年3月17日分		横切継紙・1通	ま212-2
上村何右衛門金銭請取書[覚](金25両受取に付) 上村何右衛門→佐藤為之進殿 端裏書「新町宿より上納」	慶応4年辰3月17日	堅紙・1通	ま212-3
新町宿産物方金銭上納書[覚](庄左衛門金20両等ノ金68両上納に付) 新町宿産物方→	慶応4年辰3月晦日	堅紙・1通	ま212-4
徳嵩廣馬金銭請取書[覚](金66両銭18貫400文受取に付) 徳嵩廣馬→岡野弥右衛門殿	慶応4年辰4月2日	堅紙・1通	ま212-5
水井市治金銭請取書[覚](金20両受取に付) 水井市治→岡野弥右衛門殿 端裏貼紙「新町宿取締伺上納御印」	慶応4年辰4月15日	堅紙・1通	ま212-6
徳嵩廣馬金銭請取書[覚](金25両受取に付) 徳嵩廣馬→佐藤為之進殿 端裏貼紙「新町宿御内借上納」	慶応4年辰7月11日	堅紙・1通	ま212-7
斎藤善九郎金銭請取書[覚](金12両受取に付) 斎藤善九郎→草間一路殿 端裏書「新町宿御内借之内上納」	慶応4年辰8月朔日	堅紙・1通	ま212-8
谷口左仲金銭請取書[覚](金100両受取に付) 谷口左仲→草間一路殿 端裏書「新町宿産物取締役御内借上納太助分」	慶応4年辰8月朔日	堅紙・1通	ま212-9
上村何右衛門金銭請取書[覚](金15両受取に付) 上村何右衛門→岡野弥右衛門殿 端裏書「新町宿新太郎上納分御預ケ」	明治2年巳正月10日	堅紙・1通	ま212-10
徳嵩廣馬金銭請取書[覚](金175両受取に付) 徳嵩廣馬→岡野弥右衛門殿 端裏書「新町宿上納辰六月廿八日上納分」	明治2年巳5月28日	堅紙・1通	ま212-11

26 藩政／財政／御吟味役／拝借金

(藩主上京御供関係拝借証文綴 慶応3年12月～慶応4年1月) - →片岡弘人殿		紙縫綴・6点	ま4
宮嶋嘉織金銭拝借証文[覚](藩主上京御供のため金8両に付) 宮嶋嘉織／(奥印)中村鏡蔵→片岡弘人殿 汚損	慶応3年卯12月	縦紙・1通	ま4-1
長谷川太郎金銭拝借証文[覚](藩主上京御供のため金9両に付) 長谷川太郎→片岡弘人殿 汚損	慶応3年卯12月	縦継紙・1通	ま4-2
渋谷玄岱金銭拝借証文[覚](藩主上京御供のため金5両に付) 渋谷玄岱→片岡弘人殿 汚損	慶応3年卯12月	縦切紙・1通	ま4-3
横山玄庵金銭拝借証文[覚](藩主上京御供のため金5両に付) 横山玄庵→片岡弘人殿 汚損	慶応3年卯12月	縦切紙・1通	ま4-4
横山玄庵金銭拝借証文[覚](藩主上京御供のため金5両に付) 横山玄庵→片岡弘人殿 汚損	慶応3年卯12月	縦切紙・1通	ま4-5
師岡源兵衛金銭拝借証文[覚](藩主上京御供のため金20両に付) 師岡源兵衛／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 汚損	慶応4年辰正月	縦継紙・1通	ま4-6
(西丸大手番所勤番等のための金銭拝借証文綴 慶応3年7月～12月) 綴紐に付札「八百廿一両貳分 拾三通」		紙縫綴・13点	ま5
東條清見他一九名金銭拝借証文[覚](藩主上京御供のための金400両に付) 東條清見・倉田多久・牧野功一郎他17名→片岡弘人殿	慶応3年卯11月	縦継紙・1通	ま5-1
柘植嘉兵衛金銭拝借証文[覚](内用のための金138両に付) 柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯11月	横切継紙・1通	ま5-2
宮下三郎治金銭拝借証文[覚](藩主上京御供のための金7両に付) 宮下三郎治／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	縦紙・1通	ま5-3
桑名弥一郎他一名金銭拝借証文[覚](西丸大手番所勤番のための金10両に付) 桑名弥一郎・鳥海文作／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 端裏書「卯九月分」	慶応3年卯8月	縦紙・1通	ま5-4
小宮山仲次郎他二名金銭拝借証文[覚](西丸大手番所勤番のための金4両2分に付) 小宮山仲次郎・岡本八男人・関口勇馬／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 端裏書「卯七月分」	慶応3年卯7月	縦紙・1通	ま5-5
高久慶次郎他六名金銭拝借証文[覚](西丸大手番所勤番のための金14両に付) 高久慶次郎・藤井芳郎・塚田亀太郎他4名／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯7月	縦継紙・1通	ま5-6
矢野倉小助他七名金銭拝借証文[覚](西丸大手家作御用のための金5両に付) 矢野倉小助・山内唯七・坂西正之進他5名／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 端裏書「七月」	慶応3年卯7月	縦継紙・1通	ま5-7
岡本精一郎他三名金銭拝借証文[覚](西丸大手番所勤番のための金40両に付) 岡本精一郎・津田源五郎・伊藤録太郎他1名→片岡弘人殿	慶応3年卯8月	縦継紙・1通	ま5-8
西澤甚七郎他二名金銭拝借証文[覚](西丸大手家作出役のための金9両に付) 西澤甚七郎・鳥海藤五郎・都築善平／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 端裏書「三」	慶応3年卯8月	縦継紙・1通	ま5-9
倉田多久他一名金銭拝借証文[覚](西丸大手番所交代等のための金140両に付) 倉田多久・牧野功一郎・三輪六十郎他11名→片岡弘人殿	慶応3年卯8月	縦継紙・1通	ま5-10
柳澤甚三郎金銭拝借証文[覚](大手勤番のための金2両に付) 柳澤甚三郎→片岡弘人殿	慶応3年卯8月	縦紙・1通	ま5-11
富岡啓蔵金銭拝借証文[覚](大手勤番のための金2両2分に付) 富岡啓蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯8月	縦紙・1通	ま5-12

竹花勘介他九名金銭拝借証文[覚](西丸大手番所交代等のための金50両に付) 竹花勘介・片岡捨蔵・奥村小文吾他7名／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 端裏書「卯八月分」	慶応3年卯8月	縦継紙・1通	ま5-13
--	---------	--------	-------

27 藩政／財政／奥向勘定

[安政四巳年 越後十日町越後屋宇吉より御買上外候五々差引書入](封筒裏書) (信州松代本町丁子屋喜三郎)→ -	安政4年	封筒・1点	ま123
---	------	-------	------

28 藩政／財政／御料理所

現金屋祖吉願書[覚](味噌値段金1両に付き5×200目購入に付) 現金屋祖吉→御料理所御役所	辰6月	横切紙・1通	ま22
--	-----	--------	-----

29 藩政／計政局・会計掛／借入・用達

(小銭買上関連書類綴)		紙綴綴・7点	ま38
[用筋](包紙) 春原織右衛門→前島友之進様 「金六拾両」貼紙付		包紙・1点	ま38-1
春原織右衛門書状(錢御買上願に付) 春原織右衛門→前島友之進様	6月7日	切紙・1通	ま38-2
伊東千右衛門取調書[覚](小銭御買揚に付取調ノ金1千5両3分2朱) 伊東千右衛門→ - 訂正貼紙	(慶応4年)辰5月	横切継紙・1通	ま38-3
伊東千右衛門取調書[覚](小銭再御買上のため取調ノ金100両3朱1匁4分に付) 伊東千右衛門→ - 貼札あり	(慶応4年)辰6月	横切継紙・1通	ま38-4
平野屋元兵衛金銭請取書[覚](金60両小銭買上のため御下金拝領に付) 平野屋元兵衛→松代様御内伊東千右衛門様	(慶応4年)辰6月	堅切紙・1通	ま38-5
[上 松代御役所](包紙) 平野屋元兵衛→ -		包紙・1点	ま38-6
平野屋元兵衛金銭請取書[覚](金580両小銭買上に付御下金拝領) 平野屋元兵衛→松代様御内伊東千右衛門様		堅切紙・1通	ま38-7
桐原村中村兵左衛門申上書[記](ノ金1千515両御藩札引替のため領内村々より預かり金書上に付) 桐原村中村兵左衛門→ -		横切継紙・1通	ま42
(菅鉞太郎御用達金関連書類綴)		紙綴綴・5点	ま41
菅鉞太郎伺書(御用達金御繰合に付) (菅)鉞太郎→(馬場)弥三郎様 宛所脇に朱筆「壹番」	2月28日	横切紙・1通	ま41-1
菅鉞太郎伺書(昨朝の一件一兩日延納に付) 菅(鉞太郎)→馬場(弥三郎)様 宛所脇に朱筆「貳番」	3月朔日	横切紙・1通	ま41-2
菅鉞太郎伺書(昨月未上納の件に付) 菅(鉞太郎)→馬場老先生 宛所脇に朱筆「三番」	3月9日	横切継紙・1通	ま41-3
菅鉞太郎伺書(度々願の御配替御用達官札の儀公納方引替に付) (菅)鉞太郎→(馬場)弥三郎様 裏打済、虫損		横切紙・1通	ま41-4
菅鉞太郎申上書(上納方延引皆済に付) 菅(鉞太郎)→馬場老先生 差出脇に朱筆「五番」	3月17日	横切継紙・1通	ま41-5
(伊勢町菊屋伝兵衛御借入金返済関連書類綴)		紙綴綴・9点	ま108
計政副主事用状(御逼迫至極の御中に付厚く申合に付) 計政副主事→ -		横切継紙・1通	ま108-1

岸善八用状(伊勢町菊屋伝兵衛へ御下ケ金の儀取計いに付) 岸善八→ -		横切継紙・1通	ま108-2
出納掛申上并計政副主事答書貼紙(端裏書)[伊勢町伝兵衛 江御返済金の儀申上](金1千100両返済方の指図無く難渋 に付返済考慮の旨返答) 出納掛→ - 虫損、端裏に計政副主事 貼紙付	5月15日	横切継紙・1通	ま108-3
出納掛申上并計政副主事答書貼紙(端裏書)[伊勢町伝兵衛 より御借入金御返済の儀申上](御逼迫至極の御中のため 利分取立猶予に付同意の旨) 出納掛→ - 計政副主事貼紙付	5月	横切継紙・1通	ま108-4
計政副主事申上書(端裏書)[菊屋伝兵衛御下ケ金の儀申上] (前嶋有年申立異存なきに付) 計政副主事→ -	5月	横切継紙・1通	ま108-5
出納掛伺書(端裏書)[伊勢町児島孝之助江商社為替手形御 下ケ之儀伺](金3千500両の代わり商社為替手形支給に 付) 出納掛→ -	5月24日	横切継紙・1通	ま108-6
前嶋有年申上書(端裏書)[申上](伊勢町伝兵衛より御借入 金御返済の儀に付計政方申立の趣元金の返済分は融通金 より出金に付) 前嶋有年→ -	5月	横切継紙・1通	ま108-7
岸善八申上書(端裏書)[申上](手寄商人共金子御貸のため 返済等に付) (岸)善八→ -	5月24日	横切継紙・1通	ま108-8
岡野敬一郎申上書(端裏書)[申上](八田慎蔵手寄本覚御借 入金4月限り御返済の儀慎蔵商人等の金子取集返済取計 に付) (岡野)敬一郎→ -	5月22日	横切継紙・1通	ま108-9

30 藩政／財政／計政局・会計掛／給禄・手充

十河彦治郎金銭受取証文[覚](屋敷地拝領之節家作料並び 坪数不足分御手当金475両に付) 十河彦治郎→長谷川三郎兵 衛殿・草間一路殿・祢津繁人殿他1名 端裏書「十河殿御手充」	慶応1年丑10月	縦紙・1通	ま190
(家中米金銭等書上関連史料一括)		巻込一括・4点	ま6
(米金書上帳綴)		紙綴綴・3点	ま6-1
(寅年から辰年まで家中上下役料勘定書上)		横長半・1冊	ま6-1-1
(午5月分より7月分までの金銭書上)		切紙・1通	ま6-1-2
(8月分より12月分までの金1千668両3分余金銭書上に付)		切紙・1通	ま6-1-3
(家中平士扶持内訳勘定書上)		横長半・1冊	ま6-2
(扶持・拝借金返済・朱印地高内訳等勘定書上)		横長半・1冊	ま7
割番伺書(端裏書)[石合周左衛門諸御藩より之御飛脚御賄 料被下之儀去七月奉伺候写](ノ出65泊・31賄の代銀817匁 7分5厘に付) 割番→ -	閏10月5日	横切継紙・1通	ま88
(御上京中御茶頭奥坊主組頭御時計役伊藤良三御手当等関 連書類綴)		紙綴綴・5点	ま91
御側御納戸申上書(端裏書)[伊藤良三助役并御手充筋之儀 申上](御上京中御茶頭奥坊主組頭御時計役伊藤良三へ助 役任命願に付) 御側御納戸→ -	4月12日	切紙・1通	ま91-1
衛門返答書(端裏書)[御答申上](願書出来に付明後日御用 番伊野右衛門殿へ提出) 勝衛門→ -	3月7日	切紙・1通	ま91-2
某申上書(伊藤良三助役相勤めるに付御手当支給願に付)		横切継紙・1通	ま91-3
某内々申上書(端裏書)[添廻草稿](伊藤良三御用途のため 献上願に付)	正月	横切継紙・1通	ま91-4

某伺書(当節不容易の御時世に付必要品献上仕願)		横切継紙・1通	ま91-5
出役御普請掛伺書(端裏書)[御本陣等拝借米之儀付伺](御役人賄米難渋に付) 出役御普請掛→ - 「御留済」	3月	横切紙・1通	ま102
鹿野茂手木申上并御勘定吟味返答貼紙(端裏書)[山越右馬允江府居延之儀付御内々申上](大御前様御守役・御供として江府に居延に付並びに御手当支給の件御収納郡方へ問合に付) 鹿野茂手木(慶応2～明治2年大御前様(豊龍院・豊松)守役)→ -	6月	横切継紙・1通	ま111
宮本慎助書状并矢野唯見勘返状(孫六手充の粉・銭受取の方法に付尋ねに付並びに受取方法に対する返答の旨) (宮本)慎助→(矢野)唯見様 朱書あり	11月2日	横切継紙・1通	ま153

31 藩政／財政／計政局・会計掛／出張費

御勘定吟味申上書(端裏書)[御番頭申立之義二付申上](下筋出張の御番士下賜品に付) 御勘定吟味→ -	正月5日	横切紙・1通	ま53
(甲府・下筋出張手当関連書類一括 戊辰役)		紙綴綴・3点	ま54
某伺書(下筋出張下目付御手当甲府出張同格に付月々100疋宛等に付並びにその許可) 下ヶ札あり		横切紙・1通	ま54-1
某伺書(甲府出張御手当増額並びにその反論に付) 下ヶ札あり		切紙・1通	ま54-2
御勘定吟味申上書(端裏書)[申上](甲府出張御手当100疋増しの件不許可に付) 御勘定吟味→ -	12月	横切紙・1通	ま54-3
某申上書[覚](下筋へ多人数御出張に付御入料書上)	7月21日	横切継紙・1通	ま51
大熊薫用状(富岡良右衛門へ下筋出張のため金3千両支給に付) 大熊薫→ -	正月11日	横切紙・1通	ま52
(加州金沢表出張費用関連一括 明治2年6月)		紙綴束・4点	ま187
(紙綴)		紙綴・1点	ま187-1
玉井繁之助金銭受取証文[覚](御内用仰せ渡され加州金沢表へ出張のため御内借金75両に付) 玉井繁之助→酒井市治殿・水野清右衛門殿	(明治2年)巳6月21日	横切紙・1通	ま187-2
玉井繁之助金銭受取証文[覚](加州金沢表へ御内用に付御用金600両に付) 玉井繁之助→酒井市治殿・水野清右衛門殿	明治2年巳6月	縦紙・1通	ま187-3
玉井繁之助金銭受取証文[覚](加州金沢表へ御内用に付御用金600両に付) 玉井繁之助→酒井市治殿・水野清右衛門殿 ま187-3とほぼ同文言、端裏書「玉井繁之助加州」	明治2年巳6月	縦紙・1通	ま187-4
鈴木復一郎金銭受取証文[覚](今般越後国水原県へ出仕仰せ付けられるに付御用金30両に付) 鈴木復一郎→岸善八殿 端裏書「明治2巳年11年25日水原縣へ出仕二付鈴木復一郎へ相渡」	明治2年巳11月25日	縦紙・1通	ま188
北沢一二馬金銭受取証文[覚](今般越後国水原縣へ出仕仰せ付けられるに付御内借金15両に付) 北沢一二馬→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「明治2巳年11年25日水原縣へ出仕二付鈴木復一郎へ相渡」	明治2年巳11月24日	縦継紙・1通	ま189
某用状(3月朔日宇敷元之丞ほか13日までの、32名帰還人書上に付)		横切継紙・1通	ま241

32 藩政／財政／計政局・会計掛／諸願書・取調

前島友之進金子拝借推願願書(臨時費用嵩み・彦根藩住み荒しの屯所補理等のため藩庫から残り1万両拝借推挽依頼に付) (前島)友之進→(草間)一路様・(佐藤)為之進様・(岡野)弥右衛門様	正月10日	横切継紙・1通	ま8
洋蔵書状(紺屋町人蘭買入の時節困窮のため御下金願いに付) 洋蔵→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様 端裏書「市治様 清右衛門様 洋蔵」破損	5月18日	横切継紙・1通	ま9
荒井助三郎拝借証文[覚](引当として金札2両時借に付) 荒井助三郎→師岡源兵衛様・矢野六蔵様・小山田久米様	5月18日	横切紙・1通	ま10
某願書(金策の良案ある哉・金策不都合のための藩札・官札引替見合わせに付)		横切継紙・1通	ま11
浅右衛門用状(昨年中藤左衛門借金当年の返済に付) 浅右衛門→(宮下)謙太夫様	11月23日	横切継紙・1通	ま27
莊作願書(岡野様より15円未払に付) 莊作→御金掛様	11月	横切継紙・1通	ま30
熊五郎書状(大黒屋への借金1万両の返済の件後日伺に付) 熊五郎→(柘植)嘉兵衛様	7月14日	横切継紙・1通	ま31
唯見申上書(徴兵出張入費・地券取調等の諸経費御下ヶ金に付) 矢野唯見→長谷川昭道様	3月朔日	横切継紙・1通	ま32
善八申上書(急の御用に付正金差出指示等に付) 善八→岡野敬一郎様	11月14日	横切継紙・1通	ま33
三沢清美申上書(御預所石高に懸り御仁恤拝借金の内御借入相成分御割合御上納分村々より御借入金返済方等に付) 三沢清美→岡野敬一郎様 一部裏打、破損あり	11月4日	横切継紙・1通	ま34
某用状(大久保弥三郎ノ12俵・元兵衛ノ12俵等書上に付)		横切継紙・1通	ま35
海沼書状并原田勘返状(借金先方名前・返済日限のため問合並びに名前は伊勢屋莊八・日限は当月29日に付) 海沼→原田様	9日	横切継紙・1通	ま37
某申上書(端裏書)[申上](金10両御手当の内2分金を以て支払に付) - →大嶋直之進殿・宮下鉄次郎殿	10月	横切紙・1通	ま50
(明細帳引訳関連書類一括)		紙綴綴・3点	ま96
某用状(端裏朱書)[明細帳ノ内引訳](収納年貢粉13万271俵3斗1升6合8勺等差引勘定に付)		横切継紙・1通	ま96-1
某用状(端裏朱書)[明細帳一紙](税手四手金9万5千300両3分12匁9分6厘等差引勘定に付)		横切継紙・1通	ま96-2
某用状(端裏朱書)[明細帳ノ内引訳](郡役永4千343貫283文8分等差引勘定に付) 訂正貼紙		横切継紙・1通	ま96-3
(包紙・帳面表紙) 帳面表紙「午三月 御仕立物相渡帳」		包紙・2点	ま130
某用状(御手当手形引替の2歩金に付) 後欠		横切継紙・1通	ま132
某用状(功勞階級別人員取調に付)		横切継紙・1通	ま135
某用状(上ノ上等小頭池田茂左衛門他35名人名書上に付)		横切継紙・1通	ま136
(高山純一郎等宛書状綴)		紙綴綴・7点	ま178
(包紙) 横田数馬→高山純一郎様	3月7日	包紙・1点	ま178-1
友太郎申上書(旧冬借金返済有難く存ずる旨並びに残りの借金の返済請求に付) 友太郎→(高山)純一郎様	2月9日	横切継紙・1通	ま178-2

某申上書〔御内様之御請〕(急御用筋にて一昨日逗留し帰国後面会等に付)	2月9日	横切継紙・1通	ま178-3
ちと書状(百人集2冊送り下され感謝に付並びに来月中は帰宅なし等の旨) ちと→(高山)純一郎殿	2月15日	横切継紙・1通	ま178-4
寺内多宮書状(火事にて稲も類焼し兵隊とも焼失したこと等に付) (寺内)多宮→(高山)純一郎様	2月17日	横切継紙・1通	ま178-5
新斎書状(長防御一件等に付) 新斎→(高山)純一郎様	2月28日	横切継紙・1通	ま178-6
大右衛門書状(御飯米の義、金札通用の状況等に付) 大右衛門→松斎尊人	正月29日	横切継紙・1通	ま178-7
某用状(卯10月より12月23日迄の藩士借金メ金263両1分2朱書上) 端裏書「卯引替」、訂正貼紙付		横切継紙・1通	ま204
某用状(寅7月21日より卯9月迄の御中借込・御預ケ金等金銭書上) 端裏書「寅引替」		横切継紙・1通	ま205
御勝手元メ申上書(端裏書)[蚕糸代前金拝借返納方等之儀付申上](会計官より拝借返納の件更に拝借し返納すべき旨に付) 御勝手元メ→ -	(明治2年)巳8月28日	横切継紙・1通	ま104
計政局附庫之助他一名金銭受取書[覚](御手当金並び道中逗留中仕切代金メ金17両に付) 計政局附庫之助・弁治郎→酒井市治様・水野清右衛門様 端裏書「十二月十三日弁治郎庫之助相渡」	明治2年巳12月12日	縦継紙・1通	ま182
(伊那県へ貸付金関連書類一括 明治2年5月～7月)		紙縫束・4点	ま183
惣代源次郎願書[以書付奉歎願候](喇叭修行拝命のため手当支給願に付) 惣代源次郎→長谷川藤左衛門殿	明治3年午4月	縦紙・1通	ま202
大陽方順号[覚](金札600両の利銭30両受取に付) 大陽方(大日方)順号→高山純一郎殿	明治3年午3月2日	横切継紙・1通	ま16
水野清右衛門伺書并山口孝助勘返状(酒造株冥加金上納済かの儀並びに明日返答予定に付) 水野清右衛門→山口孝助様 虫損	10月8日	横切紙・1通	ま17
中島波之助願書(帳面紛失に伴い宮本氏宅石代取調べ願に付) (中島)波之助→(春山)喜平次様	3月20日	横切継紙・1通	ま18
大陽方唯朝書状(書面一件御藩備米御引当にて貫徹との評議等に付) 大陽方(大日方)唯朝→高山純一郎様 封印「臈」	11月29日	横切継紙・1通	ま20
為之助書状(居宅抵当不足の件) 為之助→長井様	9月11日	横切継紙・1通	ま24
某用状(文化12年亥年より去巳年迄御借入金メ金1万7千250両・御側金メ1万6千37両3分余等金銭・米籾書上) 前欠、訂正貼紙、下ケ札あり		横切継紙・1通	ま43
用度司伺書(端裏書)[中之条支配村々騒立等臨時御入料物伺](弓張提灯4張・大銃3挺等御買上の件に付) 用度司→ - 下ケ札	午10月	横切継紙・1通	ま82
(相場関連書類一括)		紙縫束・6点	ま86
(紙縫)		紙縫・1点	ま86-1
商法方申上書(油・木綿相場平均2両2・3分であるので未購入に付) 商法方→富永大属(新平)様	9月17日	横切継紙・1通	ま86-2
五助代金書上書[覚](干草58駄代金1両3分40文等メ2両3分ト486文書上に付) 五助→会所	8月17日	横折紙・1通	ま86-3
某申上書(大奉書代金11両3分11匁1分1厘等買上値段並びに相場に付)	5月	横切継紙・1通	ま86-4
野沢村役人代金書上書[覚](鉛1両に付1貫800目等相場書上に付) 野沢村役人→ - 裏打済	辰3月21日	横切紙・1通	ま86-5
某相場調査[正月調](炭1俵代金3匁等米・味噌・油・小豆他相		横長半・1冊	ま86-6

場書上に付) 貼紙付			
白川税伺書(端裏書)[関崎関門御入料取調伺](4月中騒擾の節関崎出張の上同所へ関門設置の入料取計いに付) 白川税→ - 虫損あり	12月	横切紙・1通	ま89
用度司再々伺書(端裏書)[御中備之儀再々伺](金19両2朱906文御大事件の節諸藩より御使者御賄料提出に付) 用度司→ -	12月28日	横切継紙・1通	ま99
五明元作申上(端裏書)[小出村黒柳利兵衛銭札取違受取候分御引替願之儀申上](御下ヶ金下賜の節600文札と100文札誤認支給に付) 五明元作→ -	2月	横切継紙・1通	ま106
計政副主事申上(端裏書)[西京御用金出之儀申上](西京御入料金500両に付) 計政副主事→ -	12月20日	横切継紙・1通	ま125
学校使丁六人成本治左衛門用状(藤田新太郎京都表での諸費用・佐藤元吉大阪表御入料800匁等払の件に付) 学校使丁六人成本治左衛門→ -		横切継紙・1通	ま128
良平書状(御手充一件周旋のため東京表へ早飛脚派遣に付) 良平→弥右衛門様	2日	横切継紙・1通	ま151
甚五右衛門書状(私勝手困窮のため56年の間御手充頂戴願に付) 甚五右衛門→左源太様	4月2日	横切紙・1通	ま156
辰之助書状(今日帰宅したので御渡金送金に付) 辰之助→新平様	2月23日	横切継紙・1通	ま157
大野左平治書状(御手充金御改に付) 大野左平治→入弥左衛門様	5月4日	横切継紙・1通	ま158
(御立相場切替関連書類綴)		紙綴綴・3点	ま213
会計掛伺書(端裏書)[御立直段之儀ニ付伺](御立相場5俵直段ニ御切替可被成下とのことに付) 会計掛→ -	8月5日	横切紙・1通	ま213-1
会計懸申上書(端裏書)[御立直段之儀ニ付再申上](御立相場5俵直段ニ御切替願に付) 会計懸→ -	9月24日	横切継紙・1通	ま213-2
会計掛伺書(端裏書)[御立相場之義伺](元来金にて御下分は前年相場にて決定に付) 会計掛→ -	9月27日	横切紙・1通	ま213-3
坂屋加之助申上書[覚](上真綿値段書上) 坂屋加之助→商法方御役所	未9月17日	横切継紙・1通	ま218
小西彦七申上書(杏仁等の値段書上) 小西彦七→松代御産物掛り御衆中様	8月	横折紙・1通	ま219
菊屋伝兵衛他一名申上書[覚](白紬上敷拾正代金48両等各種取引相場書上並びに1疋分代金の下ヶ札) 菊屋伝兵衛・菊屋九蔵→商法方御役所 下ヶ札あり	未9月17日	横切継紙・1通	ま220

33 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払

(金銭受取証文綴 嘉永元年12月～明治4年8月)		紙綴綴・16点	ま40
馬場弥三郎金銭受取証文[覚](貞松院様御一件御入料並びに諸色格別高直のため臨時御拝借金150両に付) 馬場弥三郎→草間一路殿	元治年甲子3月	堅紙・1通	ま40-1
磯田音門他一名金銭受取証文[覚](非常御困穀御見合に付代金600両) 磯田音門・竹村金吾→高田幾太殿	嘉永年申12月	堅紙・1通	ま40-2
長岡三郎兵衛金銭受取証文[覚](金25両に付) 長岡三郎兵衛→佐藤安喜殿・栢植嘉兵衛殿	文久3年亥4月29日	堅継紙・1通	ま40-3
竹内金左衛門金銭受取証文[覚](御上京御入料金1千両に付) 竹内金左衛門→岡野弥右衛門殿	慶応4年辰4月	堅紙・1通	ま40-4

玉川一学金銭受取証文[覚](東京御屋敷非常為御囲金1千両に付) 玉川一学→草間一路殿・佐藤為之進殿	明治年辰10月	縦紙・1通	ま 40-5
飯島楠蔵金銭受取証文[覚](御内用諸御入料御払切金19両1分5匁2分5厘に付) 飯島楠蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→斎田虎尾殿	亥5月25日	縦紙・1通	ま 40-6
松本嘉十郎他一名金銭受取証文[覚](上坂炭屋彦五郎御立入一件のため御出方金御貸出の内御中借金100両に付) 松本嘉十郎・水井忠蔵→片桐重之助殿・高野覚之進殿 端裏貼紙付	安政4年巳2月24日	縦紙・1通	ま 40-7
水野清右衛門金銭受取証文[覚](産物方代金2千両に付) 水野清右衛門→海沼龍助殿・太田藤右衛門殿	慶応3年卯12月	縦継紙・1通	ま 40-8
宮下孫兵衛金銭受取証文[覚](引当金35両に付) 宮下孫兵衛→草間一路殿	慶応2年寅12月	縦継紙・1通	ま 40-9
池田富之進金銭受取証文[覚](鉄砲御買上代金280両に付) 池田富之進→岡野敬一郎殿	明治3年午4月12日	縦継紙・1通	ま 40-10
長谷川深美金銭受取証文[覚](東京御留守居方夫給に付金25両) 長谷川深美→富永新平殿 端裏書あり	(明治4年)辛未3月3日	縦紙・1通	ま 40-11
水井市治金銭受取証文[覚](御賞典代金の内上納金1万両に付) 水井市治→岸善八殿	明治3年午8月5日	縦紙・1通	ま 40-12
上村何右衛門金銭受取証文[覚](御当用御入科に付御製造掛より金963両3分1朱に付) 上村何右衛門→富永新平殿	明治4年未8月	縦切紙・1通	ま 40-13
小野唯之助金銭受取証文[覚](金700両児島孝之助金子御返に付受取同人産物方拝借金返上相立に付) 小野唯之助→酒井市治殿・水野清右衛門殿	慶応4年辰3月	縦紙・1通	ま 40-14
鹿島屋正兵衛借用証文[借用申金子之事](金30両来る12月20日限り借用に付) 鹿島屋正兵衛→郷原様	明治2年巳10月28日	縦切紙・1通	ま 40-15
飯沼村文之助金銭受取証文[覚](金1千両の内300両御渡に付) 飯沼村文之助→真田從四位様御内水野清右衛門殿・酒井市治殿	明治2年巳10月朔日	縦切紙・1通	ま 40-16
(紙縫)		紙縫・1点	ま 183-1
倉田三之丞金銭受取証文[覚](松本願により金20両貸付に付) 倉田三之丞→酒井市治殿	明治2年巳7月3日	横切継紙・1通	ま 183-2
石阪市郎右衛門金銭受取証文[覚](倉田三之丞へ金4両送金に付) 石阪市郎右衛門→酒井市治殿	(明治2年)巳7月17日	横切紙・1通	ま 183-3
春山喜平次金銭受取証文[覚](伊那県へ御内用に付御内借金20両に付) 春山喜平次→酒井市治殿・水野清右衛門殿	明治2年巳5月	縦紙・1通	ま 183-4
北沢一二馬金銭受取証文[覚](水原県へ出仕のため御内借金10両に付) 北沢一二馬→酒井市治殿・水野清右衛門殿	明治2年巳11月26日	縦継紙・1通	ま 184
大里忠之進金銭受取証文[覚](越州表御借入金之儀に付出張のため御内借金50両に付) 大里忠之進→酒井市治殿・水野清右衛門殿	明治2年巳4月3日	縦紙・1通	ま 185
春山喜平次金銭受取証文[覚](御内用伊那県到来に付御内借金30両に付) 春山喜平次→酒井市治殿・水野清右衛門殿 訂正貼紙付	明治2年巳4月	縦紙・1通	ま 186
(金銭受取証文一括)		巻込一括・2点	ま 57
加藤直衛金銭受取証文[覚](元込銃御買上代金1千266両に付) 加藤直衛→岡野敬一郎殿・岸善八殿	明治3年午3月	縦紙・1通	ま 57-1
竹内新七金銭受取証文[覚](馬具御買上代の内金100両に付) 竹内新七→岸善八殿 端裏書「大銃為引候馬具御買上代竹内新七殿印書」	明治3年午	縦切紙・1通	ま 57-2
矢野唯見金銭請取書[覚](去々辰年戦争の節精一郎殿配下のもの御手当のため藩札20両請取に付) 矢野唯見→岡野敬一郎殿	(明治3年)庚午12月	横切紙・1通	ま 126

ま 33 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払 34 元松代庁／諸願書

徳嵩廣馬金銭受取証文[覚](荒井伴之助上京の入料100両御内借の内返金50両に付) 徳嵩廣馬→岡野敬一郎殿 端裏書「午十二月廿九日荒井伴之助上東京御内借之内返上」	明治3年午12月29日	縦紙・1通	ま191
(金書類内借一括 明治3年5月～3年6月)		巻込一括・2点	ま195
飯嶋與作金銭受取証文[覚](東京への道中品々入用金35両に付) 飯嶋與作→岸善八殿 端裏書「午六月十八日 飯嶋與作殿」	明治3年午6月18日	縦継紙・1通	ま195-1
寺沢大之輔金銭受取証文[覚](買物米運送のため用金15両内借に付) 寺沢大之輔→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「午五月七日 寺沢大之輔」	明治3年午5月	縦紙・1通	ま195-2
中村鉄蔵金銭受取証文(柏崎縣へ出仕拝命のため用意金30両御内借に付) 中村鉄蔵→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「柏崎縣 中村鉄蔵」	明治3年午5月	縦紙・1通	ま196
紺屋町弥左衛門他三名申上書[覚](金10両に付上初2俵半等町相場申上に付) 紺屋町弥左衛門・鐘屋町長左衛門・中町嘉忠治他1名→計政給録懸り御役所	明治3年午9月朔日	横切継紙・1通	ま214
(金銭借用関係書類一括)		巻込一括・2点	ま77
借主炭屋大五郎金銭借用証文[覚](金49両借用に付) 借主炭屋大五郎・請人本間舟方→吉崎九一郎殿	明治4年未2月15日	横切紙・1通	ま77-1
炭屋大五郎用状(別紙の通り金子借用に付) 炭屋大五郎→御前重吉との	2月15日	横切継紙・1通	ま77-2
池田富之進金銭受取証文[覚](商社設立費用200両返上に付) 池田富之進→富永新平殿 端裏書「牧野大右衛門飯山江御内用ニ付御内借之内返上」	明治4年未3月25日	縦紙・1通	ま194
池田富之進金銭受取証文[覚](志垣村岡本広太へ1千両御下ヶ金の内へ上納分請取に付) 池田富之進→岡野敬一郎殿 端裏書「午十一月晦日 志垣村岡本廣太上納本預ヶ」	明治3年午11月晦日	縦紙・1通	ま47
水内郡南長池村宮津弥曾八歎願書[乍恐以書付奉歎願候](大雨にて出水の節木材一部流失に付入用存外相嵩に付御下金歎願) 水内郡南長池村宮津弥曾八→会計方御役所	明治5年壬申	縦半・1冊	ま234
(酒造代返済関係書類)		紙縫束・4点	ま13
(紙縫) 綴紐札にペン書「久保田新兵衛 椎谷御支配 間御所村 酒造渡世人 借入用達金ヲ差出シ有り」		紙縫・1点	ま13-1
(包紙) 久保田新兵衛→酒井市治様・水野清右衛門様		包紙・1点	ま13-2-1
久保田新兵衛書状(酒造代金正金にて支給願いに付) 久保田新兵衛→酒井市治様・水野清右衛門様	12月朔日	横切継紙・1通	ま13-2-2
某書状(御返済方の儀清右衛門・市治相談に付) - →久保田新兵衛 端裏書「久保新」	11月27日	横切継紙・1通	ま13-3
佐藤伊與之進金銭請取書[覚](御用立金の内金10両借用に付) 佐藤伊與之進→水野清右衛門殿・月岡善平殿	午12月28日	横切紙・1通	ま23

34 元松代庁／諸願書

(北山藤三郎救助関連書類綴 明治4年9月～明治5年正月)		紙縫綴・11点	ま206
[北山家御救助之儀伺](包紙) 松代庁→ -		包紙・1点	ま206-1
松代庁伺書[埴科郡松代御安口住居北山藤三郎御救筋之儀伺](北山藤三郎暮らし難渋に付御情を以って生産のため資金として100両支給願に付) 松代庁→本県御中 黒色罫紙「松代縣」	(明治5年)壬申正月	縦半・1冊	ま206-2
[北山藤三郎儀ニ付歎願](包紙) 和田数雄・荒井伴之助→ -		包紙・1点	ま206-3

北山藤三郎親類士族荒井伴之助他六名願書(北山藤三郎家名断絶扶持召上られ至極難渋に付親類一同救いを歎願する旨) 北山藤三郎親類士族荒井伴之助・荒井弥平・依田忠之進他4名→松代御庁	(明治4年)辛未12月28日	横切継紙・1通	ま206-4
(包紙) 渋谷玄岱→ -		包紙・1点	ま206-5
渋谷玄岱申上書[北山安世容鉢書](北山安世昨24日死去に付) 渋谷玄岱→ -	9月25日	横切継紙・1通	ま206-6
渋谷玄岱申上書[北山安世容鉢書](北山安世昨24日死去に付) 渋谷玄岱→ -	9月25日	横切継紙・1通	ま206-7
[北山安世死去之儀御届](包紙) 和田数雄・荒井弥平→ -		包紙・1点	ま206-8
荒井弥平他二名申上書(北山安世儀自分御預かりのところ終に死去に付) 荒井弥平・依田忠之進・和田数雄→松代県御庁	(明治4年)辛未9月25日	横切継紙・1通	ま206-9
荒井弥平他二名申上書(北山安世儀自分御預かりのところ終に死去に付) 荒井弥平・依田忠之進・和田数雄→松代県御庁	(明治4年)辛未9月25日	縦紙・1通	ま206-10
監察掛笠原権大属申上書[申上](北山安世死去相違なく見届済に付) 監察掛笠原権大属→ -	(明治4年)辛未9月25日	横切紙・1通	ま206-11
御飯米懸り申上[御内密申上](石上納金取立は江戸表高直に付村々難渋申立の心配に付取扱い願に付) 御飯米懸り→ - 訂正貼紙、加筆修正	(明治4年)辛8月	横切継紙・1通	ま235
元御徒目付申上書[元知事様御道中御供御徒士之儀付申上](柿崎甚蔵・嶋田収蔵・宮本義治・大久保甲子太郎ら明治2年3月中伊勢道中御供に付御手当願に付) 元御徒目付→ - 虫損甚大	(明治5年)壬申3月	横切紙・1通	ま65
(扶持米支給歎願関係書類一括)		紙縫束・9点	ま85
(紙縫)		紙縫・1点	ま85-1
会計懸申渡書(石黒八郎姉御救方の儀親類歎願に付米3俵下賜に付) 会計懸→ -	(明治5年)壬申2月	横切継紙・1通	ま85-2
会計懸申渡書(御両社神主堀内寿美雄扶持米頂戴方歎願に付当未年分の内1俵前借に付) 会計懸→ -		横切継紙・1通	ま85-3
某用状(炭差並びに手代共その他京・大坂等にて扶持支給に付)		切紙・1通	ま85-4
某申上書(上田町きも入丸山平八他7名御扶持方代金支払方の儀に付)	6月	横切継紙・1通	ま85-5
(松代藩大参事用状綴)		紙縫綴・4点	ま85-6
某申上書(端裏書)[白山彦五郎・廣田筑後義二付申上]	正月	横切継紙・1通	ま85-6-1
松代藩大参事用状(端裏書)[白山彦五郎へ御達案](版籍奉還による藩政改革に付) 松代藩大参事→白山彦五郎殿		横切継紙・1通	ま85-6-2
松代藩大参事用状(端裏書)[廣田筑後江御達草案](版籍奉還による藩政改革に付) 松代藩大参事→廣田筑後殿 差出「計政副主事」に貼紙「大参事」		横切継紙・1通	ま85-6-3
松代藩大参事用状(端裏書)[廣田筑後江御賞典御達案](越奥の戦功により格別の御賞典に付) 松代藩大参事→廣田筑後殿 差出「計政副主事」に貼紙「大参事」、貼紙「戊辰ノ年カ」、虫損		横切継紙・1通	ま85-6-4
(小布施土佐五郎関係書類綴)		紙縫綴・2点	ま85-7
某伺書(端裏書)[須坂町小布施土佐五郎江被下候御扶持御渡之儀二付伺](借金等にて難渋のため支給願に付)	正月	横切継紙・1通	ま85-7-1
小布施土佐五郎書状(表事の件問合に付) 小布施土佐五郎→野中喜左衛門様	正月21日	横切継紙・1通	ま85-7-2
真田志摩伺書(新御用達も御扶持上納依頼に付) 真田志摩→宮下孫兵衛殿	6月26日	横切紙・1通	ま85-8

ま 34 元松代庁／諸願書

(上松吉右衛門初扶持支給書類綴)		紙縫綴・2点	ま85-9
計政副主事申上書(端裏書)[飯山町上松吉右衛門被下候初申上](金子御用達見返りの初扶持下されずに付) 計政副主事→-	2月20日	横切継紙・1通	ま85-9-1
某申上書(上松吉右衛門初10人扶持支給に付)	已8月15日	切紙・1通	ま85-9-2
佐藤三次他二名申上(端裏書)[御内密申上](山本坦平・桜井與吉去寅年御隠居御家督御大札等精勤のため御賞支給に付) (佐藤)三次・清十郎・(南沢)喜久人→-	(明治5年)壬申正月	横切継紙・1通	ま119
(紙縫)		紙縫・1点	ま78-1
[上](包紙) 小林慶治・佐藤亀蔵→-		包紙・1点	ま78-2
玉井甚市親類小林慶治願書[以書付奉願上候](上様より資本金支給の件親類一同願に付) 玉井甚市親類小林慶治・同佐藤亀蔵→元会計御掛り中 青色罫紙	明治7年10月	堅紙・1通	ま78-3
(人足負担の支払請求各村よりの書類一括)		袋一括・20点	ま150
[旧水師歎願書類](袋)		袋・1点	ま150-1
小市村ニツ柳吉三郎他一人人足人数届書[一札之事](辰3月北陸道御総督様御通行に付市村舟渡え罷出候人足16人等≠455人に付) 小市村ニツ柳吉三郎・小林新八→(松代御役所) 青色罫紙		堅半・1冊	ま150-2
市村頭立松橋文左衛門他三人人足人数届書(御勅使様越後筋より東京へ御登の増人足60人等≠2千568人並びに市村頭立松橋文左衛門ら4人々人足勤務に付) 市村頭立松橋文左衛門・惣代竹内久右衛門・同断大嶋林左衛門他1名／(追加報告)市村惣代竹内久右衛門・大嶋林左衛門代込山大作→(松代御役所)		堅半・1冊	ま150-3
(人足負担金支払い請求書類綴 明治8年9月～10月)		紙縫綴・7点	ま150-4
屋代村願人石黒喜左衛門他一名願書[乍恐以書付奉願上候](御勅使様越後筋より東京へ御通行の際の人足50人等暇願とのこと) 屋代村願人石黒喜左衛門・同断中沢金作→松代御役所	明治8年亥9月	堅半・1冊	ま150-4-1
東福寺村赤坂組内田民八他二名届書[一札之事](御総督様御通行に付矢代船渡え出勤人足24人等≠685人他) 東福寺村赤坂組内田民八・山越富士太・大沢善平→(松代御役所) 訂正貼札	明治8年亥10月	堅半・1冊	ま150-4-2
更級郡西寺尾村願人柳澤新七他一名願書[乍恐以書付奉願上候](御総督様御通行に付矢代舟渡え出張の御用人足18人等≠408人の件沙汰なし) 更級郡西寺尾村願人柳澤新七・同丸山喜四郎→松代御役所 訂正貼札	明治8年9月	堅半・1冊	ま150-4-3
小市村ニツ柳吉三郎他一人人足人数届書[一札之事](戊辰の三月中北陸道御総督様御通行に付市村舟渡え出勤人足16人等≠432人) 小市村ニツ柳吉三郎・小林新八→- 青色罫紙	明治8年亥10月	堅半・1冊	ま150-4-4
小市村ニツ柳吉三郎他一人人足人数届書[一札之事](尾州様御通行の人足25人等≠455人) 小市村ニツ柳吉三郎・小林新八→- 訂正貼札、青色罫紙	明治8年亥10月	堅半・1冊	ま150-4-5
関崎丸山磯五郎人足人数届書[一札之事](辰年三月中御総督様御通行に付市村舟渡え出勤御用人足8人等≠80人) 関崎丸山磯五郎→-		横長半・1冊	ま150-4-6
旧頭立松橋文左衛門他三人人足人数届書(御勅使様越後筋より東京へ御登の増人足60人等≠2千568人並びに旧頭立松橋文左衛門ら4人も人足勤務に付) 旧頭立松橋文左衛門・旧惣代竹内久右衛門・同大嶋林左衛門他1名／(追加報告)市村名主茂右衛門・同常平・惣代久右衛門他1名→-		横長半・1冊	ま150-4-7
内田民八他一人人足人数取調書上[一札之事](御総督様明治元辰年3月中御通行に付矢代舟渡え罷出候人足24人等≠1千85人に付) 内田民八・山越富士太→- 赤色罫紙	明治10年5月	堅半・1冊	ま150-5

矢野唯見人足給金取調書(戊辰戦争に付7ヶ所水主大儀仕候に付御下金取調)(矢野)唯見→ - 赤色罫紙	5月21日	縦半・1冊	ま150-6
関崎船頭丸山磯五郎人足人数届書[一札之事](戊辰の3月中北陸道御総督様御通行に付市村舟渡で御用勤務人足8人等×80人) 関崎船頭丸山磯五郎→ -	丁丑8月	縦半・1冊	ま150-7
東福寺村舟役惣代内田民八他三名申上書[以書付奉申上候](去る戊辰年戦争にて勤務の件問合に付) 東福寺村舟役惣代内田民八・川合村同断丸山磯五郎・西寺尾村同断柳沢新七他1名→ - 赤色罫紙	明治10年10月	縦折紙・1通	ま150-8
屋代村石黒喜左衛門申上書[以書付奉願上候](御用取調書類先般類焼にて焼失仕候に付) 屋代村石黒喜左衛門→ -	明治10年丑10月	縦紙・1通	ま150-9
某取調書上(各村人足給金勘定取調に付) 端裏書「石坂市郎右衛門取調」		縦半・1冊	ま150-10
更級郡西寺尾村久船頭柳澤新七申上書[差上申一札之事](人足×402人勤務の件無沙汰に付) 更級郡西寺尾村久船頭柳澤新七→松代御役所 赤色罫紙	明治10年5月	縦折紙・1通	ま150-11
小市村ニツ柳吉三郎他一名申上書[以書付奉申上候](明治3年の洪水の節取調書類不残流失に付) 小市村ニツ柳吉三郎・小林新八→ - 青色罫紙	明治10年5月19日	縦折紙・1通	ま150-12
某金銭差引書[記](矢野唯見取調金額と石坂市郎右衛門取調金額の差額に付)		横長半・1冊	ま150-13
某伺書[記](矢野唯見取調金額と石坂市郎右衛門取調金額の評決に付)		横長半・1冊	ま150-14
小林喜四郎金銭書上[記](船賃等×318円63銭に付) 小林喜四郎→岡田伝十郎様	14年11月2日	横切継紙・1通	ま72

35 その他

[御印](包紙)	文化9年申3月6日	包紙・1点	ま208
大和国高市郡土佐村西岩吉案内札(神武天皇御陵図並びに解説) 大和国高市郡土佐村西岩吉→ - 木版、「明治十三年九月九日内務省御届済」、「明治十五年二月二日群馬縣御届済」		紐一括・41通	ま39
(白紙) 白紙2枚畳込一括		縦紙・2枚	ま61

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
み			
1 藩政／諸役方／水道方／寺社参詣			
(長国寺・大鋒寺・大英寺・舞鶴山両宮等参詣関係達綴)		紙綴綴・55点	み11
某達(6日御供揃にて長国寺大暁院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-1
某達(19日若殿様御供揃御清にて御城内御鎮守等御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保4年12月	横切紙・1通	み11-2
某達(6日御供揃にて長国寺大暁院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	戊12月	横切紙・1通	み11-3
某達(6日御供揃にて長国寺大暁院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-4
某達(3日御供揃にて長国寺天真院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-5
某達(17日御供揃にて長国寺大鋒院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保5年7月	横切紙・1通	み11-6
某達(19日御供揃にて長国寺真珠院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-7
某達(14日若殿様御供揃にて長国寺本堂等御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-8
某達(5日御供揃にて長国寺円陽院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保10年2月3日	横切紙・1通	み11-9
某達(6日御供揃にて長国寺惣御霊屋等御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保5年9月	横切紙・1通	み11-10
某達(7日若殿様御供揃にて御城内御鎮守等御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保5年午5月4日	横切紙・1通	み11-11
某達(24日大英寺大蓮院様御霊屋御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-12
某達(5日御供揃にて長国寺円陽院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保4年巳2月3日	横切紙・1通	み11-13
某達(17日御供揃にて長国寺大鋒院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-14
某達(23日御供揃にて長国寺覚性院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-15
某達(7日御供揃にて長国寺真松院様御霊屋御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保5年午9月	横切紙・1通	み11-16
某達(19日御供揃にて長国寺真珠院様御霊屋御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-17
某達(17日若殿様御供揃にて大鋒寺大鋒院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保4年巳10月15日	横切紙・1通	み11-18
某達(7日若殿様御供揃にて長国寺本堂御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-19
某達(17日御供揃にて大鋒寺大鋒院様御霊屋御廟所御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保9年戌10月	横切綴紙・1通	み11-20
某達(24日御供揃にて大英寺大蓮院様御霊屋御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保5年午2月	横切紙・1通	み11-21
某達(19日御供揃にて長国寺真珠院様御霊屋御参詣に付)		横切紙・1通	み11-22

- →(水道役) 端裏書「水道役」			
某達(6日若殿様御供揃御清にて城内鎮守等御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-23
某達(6日御供揃にて長国寺大暁院様御霊屋御廟所等御参詣 に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-24
某達(7日御供揃にて長国寺真松院様御霊屋御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-25
某達(17日御供揃御清にて舞鶴山御両宮等御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-26
某達(6日若殿様御供揃御清にて城内鎮守等御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-27
某達(10日御供揃にて大鋒寺大鋒院様御霊屋御廟所御参詣 に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-28
某達(19日御供揃にて長国寺本堂等御参詣に付) - →(水道 役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-29
某達(17日御供揃にて長国寺大鋒院様御霊屋御廟所御参詣 に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-30
某達(17日御供揃にて大鋒寺大鋒院様御霊屋御廟所御参詣 に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-31
某達(17日御供揃御清にて舞鶴山武靖大明神御祭礼御社参 に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-32
某達(19日御供揃にて長国寺真珠院様御霊屋御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-33
某達(6日若殿様御供揃御清にて城内鎮守等御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-34
某達(19日御供揃にて長国寺真珠院様御霊屋御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-35
某達(6日若殿様御供揃御清にて城内鎮守等御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-36
某達(3日御供揃にて大英寺大蓮院様御霊屋御廟所等御参詣 に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-37
某達(6日御供揃にて長国寺大暁院様御霊屋御廟所御参詣に 付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	午12月4日	横切紙・1通	み11-38
某達(17日御供揃御清にて舞鶴山御両宮等御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-39
某達(17日御供揃御清にて舞鶴山御両宮等御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-40
某達(祭礼のため伊勢町棧敷に御出に付) - →(水道役) 端 裏書「水道役」	天保9年戊	横切紙・1通	み11-41
某達(祭礼のため若殿様伊勢町棧敷に御出に付) - →(水道 役) 端裏書「水道役」	天保4年巳8月19日	横切紙・1通	み11-42
某達(17日若殿様御供揃にて舞鶴山御参詣に付) - →(水道 役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-43
某達(19日若殿様御供揃御清にて四宮大明神御祭礼御社参 に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-44
某達(6日御供揃御清にて城内鎮守等御参詣に付) - →(水道 役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-45
某達(17日御供揃御清にて舞鶴山御両宮御社参に付) - → (水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-46
某達(17日御供揃にて城内鎮守等御参詣に付) - →(水道役)		横切紙・1通	み11-47

み 1 藩政／諸役方／水道方／寺社参詣 2 藩政／諸役方／水道方／屋敷地改

端裏書「水道役」			
某達(17日御供揃御清にて舞鶴山武靖大明神御祭礼御社参に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保9年戌9月15日	横切紙・1通	み11-48
某達(祭礼のため伊勢町棧敷に御出に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保5年午8月19日	横切紙・1通	み11-49
某達(朔日若殿様御供揃御清にて舞鶴山御両宮御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保5年午4月28日	横切紙・1通	み11-50
某達(11日御供揃御清にて四宮大明神祭礼のため舞鶴山御宮御社参に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保5年午9月	横切紙・1通	み11-51
某達(11日御供揃御清にて四宮大明神祭礼のため舞鶴山御宮御社参に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-52
某達(17日若殿様御供揃御清にて舞鶴山御両宮御参詣に付) - →(水道役)	天保8年酉	横切紙・1通	み11-53
某達(明日御供揃御清にて白鳥御両宮御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」		横切紙・1通	み11-54
某達(若殿様17日御供揃御清にて舞鶴山御両宮御参詣に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」、み1～53に挟込		横切紙・1通	み11-55

2 藩政／諸役方／水道方／屋敷地改

(松代城下武家屋敷地坪改図面綴 明和9年6月～嘉永元年4月) (水道方控)		紙綴綴・17点	み14
(佐川又左衛門差上大谷津栄治拝領屋敷地等坪改図面) 宮本重三郎・柳甚左衛門・元ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆、端裏「堤右兵衛」	嘉永元年申4月	53.0×38.5・1舗	み14-1
(佐川又左衛門拝領屋敷地等坪改図面) 田中万作・倉沢四郎右衛門・元ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	弘化2年巳8月	37.8×79.2・1舗	み14-2
(河原舎人拝領屋敷地坪改図面) 増沢慶治・田中増治・元ノ小頭荒井弥平 彩色	天保15年辰7月	27.0×57.8・1枚	み14-3
(佐川彦之丞屋敷他間数坪改図面扣) 「差出扣」	文政9年戌10月	24.6×31.4・1枚	み14-4
(此度河原舎人拝領地坪改図面) 竹内小左衛門・田中用八・宮本常吉・小沼民弥 江溝は朱筆	文政2年卯10月22日	27.4×49.2・1枚	み14-5
(中嶋渡浪拝領地坪改図面) 宮本清之助・田野喜兵衛・小頭宮沢左伝治・改出役水野房五郎 下ヶ札あり	天保5年午10月	27.3×38.2・1枚	み14-6
(片岡戸六御引替地坪改図面) 小池藤左衛門・中沢源五兵衛・改瀧沢音門 江溝は朱筆	文化12年亥2月	25.0×31.8・1枚	み14-7
(中嶋三右衛門御小作地坪改図面) 小池藤左衛門・中沢源五兵衛・改瀧沢音門 江溝は朱筆	文化12年亥2月	25.0×31.8・1枚	み14-8
(森木唱この度拝領地坪改図面) 小池藤左衛門・中沢源五兵衛・改瀧沢音門 江溝は朱筆	文化12年亥2月	25.0×31.8・1枚	み14-9
(大谷津市之進拝借屋敷続御年貢地の分この度拝借屋敷地坪改図面) 中条常之丞・馬場平作・改瀧沢音門 江溝は朱筆	文化12年亥4月	24.7×31.7・1枚	み14-10
(大谷津市之進拝借屋敷続御年貢地の分この度拝借屋敷地坪改図面) 中条常之丞・馬場平作・改瀧沢音門 江溝は朱筆	文化12年亥4月	24.7×31.7・1枚	み14-11
(富岡弥三郎屋敷地坪改図面) 小池藤左衛門・本ノ毛利重助・改落合量蔵・竹内小左衛門 江溝は朱筆	文化3年寅12月26日	28.0×38.5・1枚	み14-12
(郡方より御用番へ差出の大英寺屋敷地坪改図面写) 立合落合量蔵・竹内小左衛門		25.1×32.0・1枚	み14-13
(片岡十郎右衛門御引上地坪改図面)		24.1×31.5・1枚	み14-14

(片岡孝左衛門屋敷地等坪改図面)	安永8年亥6月	23.8×31.8・1枚	み14-15
(中嶋右八屋敷地等坪改図面) 塩野完爾	寛政4年子閏2月	25.0×30.8・1枚	み14-16
(三村万助屋敷地等坪改図面) 境堰彩色の貼紙	明和9年辰6月26日	31.3×47.3・1舗	み14-17
(松代城下武家屋敷地坪改図面綴 明和7年10月～明治2年5月) (水道方扣)		紙経綴・121点	み13
(佐久間修理御引上地坪改図面) (水道役)山本権平・(御大工)倉沢四郎右衛門・柳幾次郎・元ノ小頭前沢柳左衛門 「足輕竹五郎自普請の囲い取払いの件」付箋	元治元年子7月	27.7×35.5・1枚	み13-1
(竹山同心町御用地のうち中沢源蔵拝借地坪改図面) (水道役)山本権平・宮本清之助・倉沢四郎右衛門・元ノ小頭小山伝治 江溝は朱筆	元治元年子10月	27.8×37.0・1枚	み13-2
(伊藤良三羽田三蔵差上酒井泉三郎組龍吉拝借屋敷地坪改図面) 団野円平・(御大工)高橋市兵衛・元ノ荒井弥平 江溝は朱筆	明治2年巳5月	27.9×38.0・1枚	み13-3
(羽田三蔵差上伊藤良三郎屋敷添拝領地坪改図面) 団野円平・(御大工)高橋市兵衛・元ノ荒井弥平 江溝は朱筆	明治2年巳5月	27.9×37.7・1枚	み13-4
(竹内小左衛門添屋敷差上す藤田岡之進拝領添屋敷地坪改図面) 宮本清之助・(御大工)鈴木左源太・元ノ荒井弥平	慶応2年寅3月	27.8×38.0・1枚	み13-5
(竹山同心町御用地のうち大川才右衛門拝領添屋敷地坪改図面) 宮本清之助・(御大工)小出茂助・元ノ荒井弥平 江溝は朱筆	慶応2年寅2月	27.5×38.1・1枚	み13-6
(森五十三差上柳八十喜拝領屋敷地坪改図面) 宮本清之助・(御大工)小出茂助・元ノ荒井弥平 江溝は朱筆	慶応2年寅2月	27.5×37.7・1枚	み13-7
(手代玉井一郎左衛門屋敷地のうち差上河原新田御高地移替跡酒井渡七拝領屋敷地坪改図面) (御大工)小泉浅右衛門・宮本清之助・元ノ荒井弥平 江溝は朱筆	慶応2年寅9月	27.7×39.2・1枚	み13-8
(手代玉井一郎左衛門屋敷地のうち上納之場所へ河原新田御高地引移地坪改図面) (御大工)小泉浅右衛門・宮本清之助・元ノ荒井弥平	慶応元年丑9月	27.6×39.0・1枚	み13-9
(大草瑞泉屋敷地のうち差上河原新田屋敷御小作地移替跡地齊藤房吉拝領屋敷地坪改図面) 宮本清之助・(御大工)金児与助・元ノ荒井弥平	慶応元年丑6月	27.7×39.1・1枚	み13-10
(大草瑞泉屋敷地のうち差上河原新田御高地移替跡宮入伝治拝借地坪改図面) 宮本清之助・(御大工)金児与助・元ノ荒井弥平 江溝は朱筆	慶応元年丑6月	28.0×39.0・1枚	み13-11
(大草瑞泉屋敷地のうち上納之場所へ河原新田御高地引移地坪改図面) 宮本清之助・(御大工)金児与助・元ノ荒井弥平	慶応元年丑6月	28.0×39.1・1枚	み13-12
(大草瑞泉屋敷地のうち差上佐々木玄又拝領添屋敷地坪改図面) 宮本清之助・(御大工)金児与助・元ノ荒井弥平	慶応元年丑6月	28.1×39.0・1枚	み13-13
(前田角次郎差上藤田岡之進拝領屋敷地坪改図面) 倉津四郎右衛門・(御大工)鈴木左源太・元ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	安政3年辰10月	27.8×37.2・1枚	み13-14
(瀬津綾之介拝領屋敷地他坪改図面) 御大工小泉弥五郎・鈴木伝治・元ノ宮沢左源治・御勘定役高橋権左衛門・高場元之助・立合竹宮勘兵衛 「改出役佐藤三九郎」	文政8年酉12月	27.9×36.2・1枚	み13-15
(嶋田長庵拝領屋敷地坪改図面) 近藤最角・中条三郎治・倉沢邦治・小頭小沼民弥 江溝は朱筆	文政3年辰12月	28.9×37.7・1枚	み13-16
(西条村御高地移替跡近藤忠之進拝領屋敷地坪改図面) (御大工見習)高橋市兵衛・(御大工)金児与助・元ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	安政2年卯4月	27.8×39.0・1枚	み13-17
(小林岩次郎上納地他坪改図面) (御大工)鈴木左源太・元ノ荒井弥平	文久3年亥8月	28.3×77.0・1枚	み13-18
(十河彦次郎拝領屋敷地坪改図面) 鈴木左源太・元ノ荒井弥平	文久3年亥4月	1舗	み13-19

み2 藩政／諸役方／水道方／屋敷地改

綴じられ不開			
(原縫殿三郎屋敷地上納の場所へ清野村御高地引移地坪改図面) 宮本清之助・(御大工)小出茂助・元ノ荒井弥平 彩色	文久3年亥2月	27.8×39.0・1枚	み13-20
(井上与惣左衛門差上水井忠蔵拝領屋敷地坪改図面) 柳八十八・倉沢邦治・小頭長沢左伝治 綴紐外れ、江溝は朱筆	天保10年亥8月	28.1×39.8・1枚	み13-21
(金井美濃輔拝領添御増屋敷地坪改図面) (水道役)山本権平・(大工)団野円平・(御大工見習)高橋市兵衛・元ノ荒井弥平 彩色、「改野本喜左衛門、竹内多吉、立合片岡千吉、江溝は朱筆	嘉永7年寅8月	27.7×38.0・1枚	み13-22
(金井美濃輔拝領添御増屋敷地坪改図面) (水道役)山本権平・団野円平・(御大工見習)高橋市兵衛・元ノ荒井弥平 彩色、江溝は朱筆	嘉永7年寅8月	28.0×39.0・1枚	み13-23
(金井美濃輔拝領下屋敷地坪改図面) 宮本重三郎・元ノ小頭荒井弥平 彩色、江溝は朱筆	嘉永5年子10月	27.4×39.3・1枚	み13-24
(欄津繁人拝領下屋敷地坪改図面) (水道役)山本権平・(御大工見習)増沢義平・(御大工見習)高橋市兵衛・元ノ荒井弥平 江溝は朱筆	安政2年卯3月	28.0×39.1・1枚	み13-25
(西条村御高地移替跡堀内権左衛門拝領屋敷地坪改図面) (水道役)三井栄助・(水道役)村田亀幾久・田中万作・元ノ小頭時助小林新作 江溝は朱筆	安政6年未5月	27.7×38.5・1枚	み13-26
(清野村御高地移替跡近藤権内拝領地坪改図面) 宮本清之助・(御大工)小出茂助・元ノ荒井弥平	文久3年亥2月	27.7×39.1・1枚	み13-27
(佐藤安喜拝領下屋敷地坪改図面) 倉沢四郎左衛門・鈴木左源太・元ノ小頭荒井弥平 彩色	安政2年卯2月	27.5×38.8・1枚	み13-28
(恩田靱負拝領添屋敷地坪改図面) 倉沢四郎左衛門・(御大工)金児与助・元ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	安政2年卯4月	27.7×38.0・1枚	み13-29
(坂西正右衛門差上山崎卓馬拝領屋敷地坪改図面) 団野円平・(御大工)小出茂助・元ノ荒井弥平	文久2年戌3月	27.7×39.5・1枚	み13-30
(小熊栄治差上田中権之助拝領屋敷地坪改図面) 柳幾次郎・(御大工)金児与助・元ノ小頭清水莊左衛門 江溝は朱筆	文久4年子2月	28.1×38.5・1枚	み13-31
(原次郎左衛門差上田中理右衛門拝領屋敷地坪改図面) (御大工)神戸美之助・団野円平・元ノ小頭荒井弥平他3名 江溝は朱筆		27.8×38.1・1枚	み13-32
(原次郎左衛門差上田中理右衛門拝領屋敷地坪改図面) (御大工)神戸美之助・団野円平・元ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	嘉永3年戌2月	27.8×38.1・1枚	み13-33
(小林岩次郎上納地他坪改図面) 鈴木左源太・元ノ荒井弥平	文久3年亥8月	27.8×76.0・1枚	み13-34
水野清右衛門他二名申上書「塩野房次郎差上菅鉞太郎拝領屋敷地坪改図面」水野清右衛門・入弥左衛門・立合鳥海文作「団野円平、高橋市兵衛、元ノ荒井弥平」	文久3年亥8月	27.7×39.0・1鋪	み13-35
(奥村権之丞添屋敷差上地之分町分御高地移替菊池市五郎拝領屋敷地坪改図面) (水道役)山本権平・鈴木左源太・小出茂助・元ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	安政5年午4月	27.2×37.8・1枚	み13-36
(北澤源次兵衛拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・神戸治助・小頭宮沢左伝治・水井忠蔵・長岡藤吉・立合坂西喜平太・改佐藤三九郎・水野房五郎 江溝は朱筆	文政10年亥4月	27.8×38.7・1枚	み13-37
(長岡富五郎拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・団野喜兵衛・小頭坂本啓治 江溝は朱筆	文政11年子10月	28.0×39.0・1枚	み13-38
(西條村御番地移替跡飯嶋与作拝領屋敷地坪改図面) (水道役)山本権平・三井栄助・宮本清之助・(御大工見習)高橋市兵衛・元ノ荒井弥平 江溝は朱筆	文久元年酉3月	27.7×36.3・1枚	み13-39
(片桐十之助御引上地坪改図面) 団野円平・(御大工見習)高橋市兵衛・朱筆あり	文久3年亥7月	27.7×58.4・1枚	み13-40
(宮沢徳太郎差上宮本彦之進拝領屋敷地坪改図面) 三井栄助・田中万作・(御大工)倉沢四郎右衛門・元ノ荒井弥平 江溝は朱筆	文久3年亥12月	27.5×38.5・1枚	み13-41

(西條村御高地惣八分屋敷のうち青野丈左衛門拝領屋敷移替地坪改図面) (御勘定役)野中喜左衛門・(御勘定役)堀内莊治・立合山本頼介 江溝は朱筆	嘉永4年亥5月	27.5×38.5・1枚	み13-42
(木村帯刀拝領屋敷地坪改図面) 江溝は朱筆	安政7年申3月	27.5×38.3・1枚	み13-43
(西条村御高地惣八分のうち坂西正右衛門拝領屋敷移替地坪改図面) 団野円平・(御大工見習)小泉九左衛門・本メ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	嘉永3年戌11月	28.2×38.5・1枚	み13-44
(小林岩次郎拝領屋敷地坪改図面) 鈴木左源太・元メ荒井弥平 江溝は朱筆	文久3年亥8月	27.8×38.5・1枚	み13-45
(河原新田御高地移替跡酒井栄助拝領屋敷地坪改図面) (御大工)倉沢四郎右衛門・(御大工見習)高橋市兵衛・元メ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	安政3年辰10月	27.7×33.4・1枚	み13-46
(遠藤小右衛門屋敷地のうち上納之場所へ西條村御高地移替地坪改図面) (水道役)山本権平・三井栄助・宮本清之助・(御大工見習)高橋市兵衛・元メ荒井弥平	文久元年酉3月	28.0×32.9・1枚	み13-47
(橋本孫太郎揚地正村勇之進拝領屋敷地坪改図面) (水道役)山本権平・(御大工見習)小泉浅右衛門・団野円平・元メ荒井弥平 江溝は朱筆	安政6年未2月	27.7×38.0・1枚	み13-48
(木村帯刀屋敷のうち揚地坂西正右衛門拝領屋敷坪改図面) 高橋喜左衛門・(御大工見習)小泉九左衛門・元メ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	嘉永3年戌正月	27.6×38.0・1枚	み13-49
(高橋権之丞屋敷周辺引替地坪改図面) (水道役)山本権平・宮本清之助・団野円平・元メ荒井弥平 江溝は朱筆、綴じられ不開	嘉永2年酉10月	37.0×54.0・1舗	み13-50
(沖右衛門但安之助他差上小野左金太拝領移替屋敷地坪改図面) 鈴木伝治・(御大工)倉沢四郎右衛門・元メ小頭宮沢善吉 江溝は朱筆、綴紐外れ	嘉永元年申9月	27.7×38.1・1枚	み13-51
(大嶋磯右衛門拝領屋敷地坪改図面) 団野喜兵衛・増沢慶治・小頭柳沢安右衛門 江溝は朱筆、付箋「町田権之助、青柳忠太、立合堀内権左衛門」	天保11年子7月	27.7×37.5・1枚	み13-52
(木村帯刀御引上地坪改図面) 神戸治助・宮本重三郎・元メ小頭荒井弥平 綴じられ不開	天保15年辰7月	54.6×39.4・1枚	み13-53
(林覚之進拝領屋敷治坪改図面) 鈴木伝治・柳甚左衛門・元メ小頭荒井弥平 江溝は朱筆、綴じられ不開	弘化2年巳正月	111.4×76.0・1枚	み13-54
(牧野右馬允屋敷引上地坪改図面) 郡方竹村金吾・郡方竹村金吾・水道方堤右兵衛・御勘定役関田慶左衛門・(御勘定)長岡又作・御大工鈴木伝治・(御大工)高橋喜左衛門・御徒目付宮下三郎治	天保15年辰11月11日	66.6×50.4・1舗	み13-55
(東条清美差上青木五郎兵衛拝領添屋敷地坪改図面) 神戸治助・柳甚左衛門・元メ小頭荒井弥平 江溝は朱筆、端裏「伊藤佐右衛門」	弘化3年12月	37.4×52.6・1枚	み13-56
(瀬津数馬殿屋敷揚地惣坪付図面) 貼紙の痕跡、貼紙は欠失		63.4×25.6・1枚	み13-57
(木村帯刀拝領屋敷地坪改図面) 神戸治助・宮本重三郎・元メ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	天保15年7月	27.8×49.2・1舗	み13-58
(石黒八郎添屋敷地坪改図面) 郡方山寺源大夫・御目付兒玉茂兵衛・水道方堤右兵衛・御勘定役飯田権之助・(御勘定役)草川吉右衛門・御大工宮本重太郎・(御大工)高橋喜左衛門・御徒目付中村仲多・小頭荒井弥平	天保14年卯12月6日	31.5×85.0・1舗	み13-59
(藤田専蔵差上竹内六郎兵衛拝領屋敷地坪改図面) (御大工)小泉浅右衛門・宮本清之助・元メ荒井弥平 江溝は朱筆	文久2年戌5月	28.2×38.3・1枚	み13-60
(河原新田御高地移替跡真勝寺拝借地坪改図面) (御大工)小泉浅右衛門・(御大工)倉沢四郎右衛門・元メ荒井弥平 江溝は朱筆	万延元年申5月	28.0×38.8・1枚	み13-61
(橋詰藤五郎拝領屋敷地坪改図面) 高橋喜左衛門・団野円平・元メ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	嘉永元年申5月	28.0×37.6・1枚	み13-62
(久保喜伝治差上小野宗順拝領屋敷地坪改図面) 団野円平・小泉九左衛門・元メ荒井弥平 江溝は朱筆	嘉永3年戌3月	27.8×37.8・1枚	み13-63

み2 藩政／諸役方／水道方／屋敷地改

(石倉富治拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・神戸治助・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆、異筆「改佐藤三九郎、水野房五郎」	文政10年亥4月	28.1×33.0・1枚	み13-64
(三輪正之輔拝領屋敷地坪改図面) 宮本重三郎・西村大八郎・元ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆、端裏「堤右兵衛」	弘化3年午2月	27.3×33.0・1舗	み13-65
(竹花勘兵衛拝領屋敷地坪改図面) 神戸治助・宮本重三郎・小頭柳沢安右衛門 江溝は朱筆	天保14年卯3月	27.8×39.5・1枚	み13-66
(坂本喜代馬拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥兵衛・高橋喜左衛門・小頭柳沢安右衛門 江溝は朱筆	天保13年寅3月	27.5×38.7・1枚	み13-67
(青松祐宣御引上屋敷地坪改図面) 増沢広治・倉沢邦治・小頭宮本左伝治 御郡方岡嶋莊藏他4名の下ヶ札つき	天保4年巳4月	27.7×39.7・1枚	み13-68
(厚木伯武差上三輪徳左衛門拝領屋敷地坪改図面) 江溝は朱筆		28.0×37.2・1枚	み13-69
(宮沢左一郎拝領屋敷地坪改図面) 西村奎右衛門・小泉弥兵衛・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆	天保9年戌5月	28.0×37.2・1枚	み13-70
(矢嶋左殿助屋敷内御用地等坪改図面) 宮本弥三郎・団野喜兵衛・小頭宮沢左伝治 御勘定吉沢十助他6名の下ヶ札つき	文政7年申5月	28.0×36.2・1枚	み13-71
(矢野倉惣之進拝領屋敷地坪改図面) 宮本清之助・小泉弥兵衛・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆、異筆「御勘定役中村孝大夫、関田慶左衛門、立合伊藤新右衛門」	天保6年未6月	27.8×38.7・1枚	み13-72
(西村源治差上地坪改図面) 小泉弥五郎・団野喜兵衛・小頭坂本啓治	文政12年丑3月	25.0×31.8・1枚	み13-73
(矢野倉惣之進拝領屋敷地坪改図面) 西村源治・増沢慶治・小沼民弥 江溝は朱筆	文政2年卯6月	25.0×32.8・1枚	み13-74
(菅沼弥右衛門拝領屋敷地坪改図面) 宮本清之助・増沢慶治・小沼民弥 江溝は朱筆、異筆「改沢元馬」	文政元年寅7月	25.5×32.5・1枚	み13-75
(南沢甚介拝領屋敷地坪改図面) 鈴木伝治・田中万作・宮沢左伝治 江溝は朱筆	天保4年巳12月	27.7×38.0・1枚	み13-76
(佐野喜見屋敷隣接の屋敷地坪改図面) 改宮本清之助・田中万作・小頭宮沢左伝治	天保4年巳2月	28.0×57.6・1舗	み13-77
(南沢甚之助拝領屋敷地坪改図面) 団野喜兵衛・倉沢邦治・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆	天保4年巳10月	27.5×39.5・1枚	み13-78
(宮入久三郎拝領屋敷地坪改図面) 竹内小左衛門・神戸治助・増沢慶治 江溝は朱筆	文政2年卯8月	27.5×38.7・1枚	み13-79
(沢元馬屋敷地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・本ノ毛利重助 異筆「改役落合量蔵、竹内小左衛門」	文化4年卯12月	27.5×36.1・1枚	み13-80
(野本金八屋敷地坪改図面) 明屋敷御大工田中用八・本ノ毛利重助 江溝は朱筆、異筆「落合量蔵、竹内小左衛門」	文化2年丑10月23日	25.0×31.6・1枚	み13-81
(春原玄悦屋敷地坪改図面) 御大工神戸治助・本ノ毛利重助	文化2年丑5月20日	24.3×30.8・1枚	み13-82
(月岡久栄屋敷地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・本ノ毛利重助 異筆「落合量蔵、竹内小左衛門」	文化4年卯12月	27.4×36.3・1枚	み13-83
(深尾立朴拝領屋敷地坪改図面) 神戸治助・増沢慶治・小沼民弥 江溝は朱筆	文化14年丑9月	24.8×32.0・1枚	み13-84
(間庭一郎左衛門拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・宮本常吉・小沼民弥 江溝は朱筆	文化14年丑9月	28.2×38.6・1枚	み13-85
(桜井伴五郎拝借地坪改図面) 団野喜兵衛・元ノ石坂市郎右衛門 江溝は朱筆	文化9年申7月	25.5×32.5・1枚	み13-86
(佐藤新助拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・関口勘右衛門 江溝は朱筆	文化10年酉2月	27.6×38.2・1枚	み13-87
(高橋伝左衛門拝領屋敷地坪改図面) 神戸治助・関口勘右衛門 江溝は朱筆、異筆「竹内小左衛門」	文化10年酉2月	27.9×29.2・1枚	み13-88
(間庭留治等拝領屋敷地坪改図面) み13-89と関連、紙背宗門人別帳	(安永9年子2月)	15.7×28.5・1枚	み13-89

(間庭留治等拝領屋敷地坪改図面) み13-88と関連	安永9年子2月	23.0×30.6・1枚	み13-90
(佐藤甚八拝領屋敷地坪改図面)	明和8年卯12月	25.6×31.5・1枚	み13-91
(前田喜右衛門屋敷地坪改図面) み13-92と関連、裏面貼紙あり		23.4×31.5・1枚	み13-92
(前田喜右衛門屋敷地坪改図面) み13-91と関連、裏面貼紙「古絵図写」		23.7×31.2・1枚	み13-93
(小野屋敷地坪改図面)	文政7年卯5月	24.8×32.3・1枚	み13-94
(関田庄助等拝領屋敷地坪改図面) 裏面貼紙あり	安永4年末10月	23.7×31.5・1枚	み13-95
(久保正平等屋敷地坪改図面)	安永7年戌4月9日	24.3×31.0・1枚	み13-96
(佐藤九十郎等屋敷地坪改図面)		24.0×31.0・1枚	み13-97
(浦野弥八郎等屋敷地坪改図面)	天明4年辰3月	25.0×31.3・1枚	み13-98
(岡部治右衛門等屋敷地坪改図面)		28.2×37.6・1枚	み13-99
(斉藤三五郎屋敷地坪改図面) 相改落含量蔵・竹内小左衛門・御大工神戸治助・本メ毛利重助・附人多仲治・出人弥五右衛門・御普請方棹持壱人		28.5×37.0・1枚	み13-100
(松林清甫拝領屋敷地坪改図面) 改近藤最角・高野数右衛門・高橋権左衛門・中条三郎治・倉沢邦治・小沼民弥	文政3年辰10月	31.0×38.7・1枚	み13-101
(河原新田御小作地並びに御小作地共移替跡恩田靱負拝領屋敷地坪改図面) 倉沢四郎右衛門・金児与助・元メ小頭助荒井松三郎 彩色	安政2年卯4月	27.5×39.1・1枚	み13-102
(池田大内蔵差上恩田靱負拝領屋敷地坪改図面) 山本権平・村田亀幾久・小泉浅右衛門・金児与助・元メ荒井弥平 江溝は朱筆	安政6年末9月	27.9×38.2・1枚	み13-103
(池田大内蔵差上恩田靱負拝領屋敷地坪改図面) 鈴木九源太・高橋市兵衛・元メ小頭荒井弥平 彩色	安政4年巳12月	27.1×37.7・1枚	み13-104
(十河彦次郎屋敷差上地坪改図面)		54.2×38.8・1舗	み13-105
(御用地引替地中村元尾拝領地坪改図面) 田中泰右衛門・小泉弥兵衛・小頭宮沢左伝治	天保7年申正月	25.0×32.7・1枚	み13-106
(御厩周辺引替地等坪改図面) 江溝は朱筆		52.3×38.5・1舗	み13-107
(望月主水殿拝領屋敷地坪改図面) 宮本重三郎・神戸美之助・元メ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	弘化2年巳4月	27.8×37.8・1枚	み13-108
(真田内蔵先年拝領の節絵図免写) み13-109と関連	(天保8年酉11月)	1枚	み13-109
(真田和三郎拝領屋敷地坪改図面) 西村奎右衛門・小泉弥兵衛・小頭宮沢左伝治 み13-108と関連	天保8年酉11月	28.1×39.1・1枚	み13-110
(恩田右膳この度拝領屋敷地坪改図面) 改佐藤三九郎・御大工小泉弥五郎・団野喜兵衛・小頭宮沢左伝治	文政9年戌正月	27.9×34.9・1枚	み13-111
(宮川道左衛門この度拝領屋敷地坪改図面) 改佐藤三九郎・御大工小泉弥五郎・団野喜兵衛・小頭宮沢左伝治	文政9年戌正月	28.0×32.6・1枚	み13-112
(北沢源次兵衛差上地坪改図面) 改佐藤三九郎・小泉弥五郎・神戸治助・小頭宮沢左伝治	文政10年亥5月	27.8×39.2・1枚	み13-113
(北沢三右衛門屋敷地坪改図面)		17.0×23.5・1枚	み13-114
(中村元尾屋敷内御用地坪改図面) 御大工団野喜兵衛・御勘定役関田房助・同断宮下三郎治・小頭宮沢左伝治他5名 貼紙あり、江溝は朱筆	文政7年申4月12日	25.3×31.7・1枚	み13-115
(評定所脇御小作地の内御用地引替地場所坪改図面) 団野喜兵衛・小頭宮沢左伝治・御勘定役関田庄助他6名 江溝は朱筆	文政7年申4月12日	25.1×32.7・1枚	み13-116
(御用地坪改図面) 田中泰右衛門・小泉弥兵衛・小頭宮沢左伝治	文政7年申閏8月	24.7×31.7・1枚	み13-117
(矢沢将監屋敷地間数改図面)		24.1×30.5・1枚	み13-118-1
(寛政12年4月17日類焼の小越町御番所形図面) み13-116とみ		1枚	み13-118-2

み2 藩政／諸役方／水道方／屋敷地改

13-117-1に扶込			
(三沢音馬屋敷地坪改図面)	安永8年亥6月	23.7×31.1・1枚	み13-119
(恩田内蔵丞より屋敷授のため御年貢拝借地間数改地所引渡図面) 改佐藤伝五郎・立合富岡忠次郎	明和7年寅10月5日	24.5×31.7・1枚	み13-120
(根津甚平屋敷地坪改図面) 江溝は朱筆		24.4×62.4・1舗	み13-121
(松代城下武家屋敷地坪改図面綴 明和7年7月～弘化4年3月) (水道方扣)		紙縫綴・22点	み16
(小松八三郎差上丈右衛門組源左衛門拝借屋敷地坪改図面) 山本権平・倉沢四郎右衛門・団野円平他1名 「改宮本慎助、竹内多吉、立合伊藤新右衛門」		27.5×37.2・1枚	み16-1
(中村孝大夫拝領御引上地坪改図面) 小泉弥兵衛・倉沢邦治・小頭宮沢左源治 端裏書「扣」、「御勘定役高野覚之進、宮沢才治、立合中村義一郎」	天保8年酉3月	24.5×31.7・1枚	み16-2
(坂口條左衛門拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・団野喜兵衛・小頭宮沢左伝二	文政9年戌3月	25.0×32.0・1枚	み16-3
(大野弥市拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・団野喜兵衛・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆	文政9年戌12月	25.0×34.6・1枚	み16-4
(篠原玄忠拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・団野喜兵衛・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆	文政9年戌12月	25.0×31.9・1枚	み16-5
(坂巻専助明屋敷地坪改図面) 小泉弥兵衛・倉沢邦治 下ヶ札あり、紐外れ	(文政9年戌12月12日)	25.6×32.4・1枚	み16-6
(小松藤馬御引上地同人跡目へ下賜屋敷地坪改図面) 高橋喜左衛門・神戸美之助・元ノ小頭荒井弥平 端裏書「堤右兵衛」	弘化4年未3月	48.8×31.5・1枚	み16-7
(屋敷地図面改諸役人名面)		12.0×14.6・1枚	み16-8
(恩田伝之助拝領屋敷地間数改図面) 御大工小泉弥五郎・倉沢邦治・小頭宮沢左伝治 「改出役佐藤三九郎」	文政8年酉8月	27.7×38.8・1枚	み16-9
(御用地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・倉沢邦治・小頭宮沢左伝治 「改出役佐藤三九郎」	文政8年酉8月	27.7×38.5・1枚	み16-10
(恩田伝之助御引替拝領地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・倉沢邦治・小頭宮沢左伝治 「改出役佐藤三九郎」	文政8年酉8月	27.7×38.5・1枚	み16-11
(片井宗造拝領屋敷地坪改図面) 西村源治・倉沢邦治・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆、「当番宮沢丹下」ほか立合役人署名あり	文政6年未7月	27.7×37.6・1枚	み16-12
(上村九左衛門屋敷地坪改図面) 柳八十八・宮本常吉・小沼民弥 江溝は朱筆	文政元年寅7月	25.0×32.3・1枚	み16-13
(沢元馬屋敷地坪改図面) 落合量蔵・竹内小左衛門 江溝は朱筆	文化2年丑10月21日	25.2×32.3・1枚	み16-14
(寺内東市屋敷地改図面) 御大工柳八十八・本ノ毛利重助	文化2年丑10月	24.9×40.49・1枚	み16-15
(桑名千左衛門屋敷地改図面) 落合量蔵・竹内小左衛門・御大工小泉弥五郎他1名	文化2年丑6月14日	24.6×31.5・1枚	み16-16
(桑名千左衛門屋敷地改図面) 改小野唯右衛門・同高野数右衛門・立合丸山岩右衛門	文化2年丑4月	24.5×47.0・1枚	み16-17
(桑名清五郎屋敷地改図面) 付箋、下ヶ札あり	安永9年子6月22日	24.0×30.8・1枚	み16-18
(樋口団右衛門屋敷地改図面) 付箋あり	明和9年辰6月25日	24.6×31.5・1枚	み16-19
(和田惣摩屋敷地改図面) 御大工神戸治助・本ノ毛利重助・相改落合量蔵	文化3年寅2月22日	24.3×45.3・1枚	み16-20
(和田十郎左衛門屋敷地間数改図面) 和田惣摩方扣の写、破損甚大	明和7年寅7月3日	24.4×30.5・1枚	み16-21
(和田十郎左衛門屋敷地坪改図面)	(明和7年)	23.8×30.4・1枚	み16-22
(松代城下武家屋敷地坪改図面綴) (水道方扣)		紙縫綴・26点	み17

(小松八三郎拝領屋敷地坪改図面) 宮本重三郎・柳甚左衛門・本 ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	嘉永3年戌2月	28.0×38.6・1枚	み17-1
(東條清見拝領屋敷地坪改図面) 柳甚左衛門・団野円平・小頭荒 井弥平 江溝は朱筆	嘉永元年申12月	27.7×39.1・1枚	み17-2
(長谷川徳右衛門隣屋敷地坪改図面) 田中増治・宮本重三郎・水 道方元ノ荒井弥平	嘉永2年酉12月	28.0×59.5・1鋪	み17-3
(鹿野牧人拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・田中万作・小頭宮 沢左伝治 江溝は朱筆、貼継紙あり	文政7年申11月	25.0×31.9・1枚	み17-4
(立田拳白拝領屋敷地坪改図面) 柳八十八・団野喜兵衛・小頭宮 沢左伝治 江溝は朱筆	天保5年午12月	27.5×37.5・1枚	み17-5
(立田玄迪拝領屋敷地坪改図面) 中条三郎治・倉沢邦治・小頭宮 沢左伝治 貼継紙あり	文政6年未2月	27.7×38.8・1枚	み17-6
(原織人跡屋敷地坪改図面) 中条三郎治・田中万作・小頭宮下左 伝治	文政6年未2月	24.7×40.3・1枚	み17-7
(星野清之助屋敷地等坪改図面)		16.0×24.5・1枚	み17-8
(西村源治拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・団野喜兵衛・小頭 坂本啓治 江溝は朱筆、下ヶ札あり、下ヶ札破損	文政12年丑3月	27.7×38.0・1枚	み17-9
(伊東栄治拝領屋敷地坪改図面) 出役佐藤三九郎・御大工小泉弥 五郎・倉沢邦治他1名 江溝は朱筆、「御勘定役宮沢彦左衛門、馬場元 之助、立合水野七郎兵衛」	文政8年酉10月	27.9×35.2・1枚	み17-10
(小頭伊東重平拝借地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・倉沢邦治・ 小頭宮沢左伝治 下ヶ札あり	文政8年酉10月	24.8×31.6・1枚	み17-11
(上原喜左衛門御引上残地坪改図面) 出役佐藤三九郎	文政8年酉10月	24.8×32.0・1枚	み17-12
(平林縫殿進此度拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・倉沢邦治・ 小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆	文政8年酉12月	28.0×40.8・1枚	み17-13
(山口助左衛門此度拝領屋敷地坪改図面) 改出役佐藤三九郎・ 御大工小泉弥五郎・倉沢邦治他1名	文政8年酉12月	27.9×34.6・1枚	み17-14
(松村喜兵衛屋敷地坪改図面) 改出役佐藤三九郎・御大工小泉弥 五郎・倉沢邦治他1名	文政8年酉12月	34.7×28.0・1枚	み17-15
(松村喜兵衛屋敷地等坪改図面) 改出役佐藤三九郎 御大工ほ か諸役人の署名	文政8年酉12月4日	40.5×28.0・1枚	み17-16
(立田玄迪拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥五郎・田中万作・小頭宮 沢左源治 江溝は朱筆、貼継紙あり	文政7年申11月	25.1×32.4・1枚	み17-17
(三井清右衛門屋敷地等坪改図面)		27.8×36.4・1枚	み17-18
(山越六郎右衛門屋敷地坪改図面)	明和9年辰10月8日	24.0×32.4・1枚	み17-19
(山越六郎右衛門屋敷地坪改図面)	明和9年辰10月8日	23.8×31.1・1枚	み17-20
(佐藤軍治屋敷地坪改図面)		18.9×27.7・1枚	み17-21
(堀井彦右衛門屋敷地坪改図面) 端裏書「扣御絵図」		27.6×36.5・1枚	み17-22
(中川九平治屋敷地坪改図面)	安永12年戌5月18日	23.6×30.8・1枚	み17-23
(平林政右衛門屋敷地坪改図面)		27.5×38.0・1枚	み17-24
(宮下兵馬屋敷地坪改図面)	明和8年卯9月8日	24.4×32.0・1枚	み17-25
(藤田為五郎屋敷地坪改図面) 落合量蔵・竹内小左衛門・御大工 神戸治助他1名	文化3年寅正月	24.4×44.6・1鋪	み17-26
(家中屋敷地改関係書類綴 明和9年3月～天保7年5月)		32点	み10
(拝領屋敷坪数関係用状貼継一括 明和9年3月～6月)		6点	み10-1
伊藤意悦屋敷受取書〔覚〕(延享4年5月27日拝領屋敷に付) 伊藤意悦	明和9年辰3月	1通	み10-1-1

み2 藩政／諸役方／水道方／屋敷地改

羽田太郎右衛門用状〔口上覚〕(居屋敷絵図面の通りに付) 羽田太郎右衛門	3月20日	1通	み10-1-2
斉藤渡作申上書〔口上覚〕(御郡方・道橋方立合のうえ屋敷拝領に付) 斉藤渡作宮下嘉平太様 端裏貼紙「斉藤渡作」	6月14日	1通	み10-1-3
樋口三八願書〔口上覚〕(千曲川満水にて変地のため屋敷地改めの上坪数前の通り拝領に付) 樋口三八宮下嘉平太様・石野伝蔵様 端裏貼紙「樋口三八」、奥裏書「明和九辰年」	明和9年辰6月10日	1通	み10-1-4
樋口三八用状〔口上覚〕(絵図面の坪数拝領の義取計願に付) 樋口三八宮下嘉平太様・石野伝蔵様	6月28日	1通	み10-1-5
桑名□五郎用状〔口上覚〕(拝領屋敷満水にて欠込のため見分取計願に付) 桑名□五郎宮下嘉平太様・石野伝蔵様 奥裏書「明和九辰年」	明和9年辰	1通	み10-1-6
某用状(村田覚兵衛屋敷替地のため御用地478坪余外囲の件に付) 奥裏書「天保四巳年二月十八日」	天保4年巳2月18日	1通	み10-2
某用状(関口勝馬・宮下民馬・宮島守人屋敷替地に付)		1通	み10-3
某用状(東條清見屋敷上地青木五郎兵衛へ添地として下賜に付)		1通	み10-4
某用状(八田慶助差上の屋敷地150坪小泉栄左衛門へ下賜取計に付) 奥裏書「天保四巳年四月二日」	天保4年巳4月2日	1通	み10-5
某用状(大日方善大夫屋敷上地191坪阿藤通碩等へ下賜に付)		1通	み10-6
某用状(山本権平屋敷上地100坪三輪正之助へ下賜に付)		1通	み10-7
町田権之助他一名用状(南沢甚之介殿拝領屋敷改の日時通知に付) 町田権之助・中村藤大夫水野房五郎様	10月13日	1通	み10-8
某用状(南沢甚之介下田町御用地130坪余外囲の件取計に付) 奥裏書「天保四巳年十月十三日」	天保4年巳10月13日	1通	み10-9
某用状(林覚之進小越町木戸内御用地 1 130坪余外囲の件取計に付)		1通	み10-10
某用状(小山田壱岐下屋敷地3千坪河原新田より下賜取計に付)		1通	み10-11
某用状(河原舎人屋敷御用地130坪下賜取計に付)		1通	み10-12
某用状(小林友之丞へ殿町御用地30坪下賜取計に付)		1通	み10-13
某用状(木村帯刀へ屋敷地449坪下賜申渡のところ416坪不用に付)		1通	み10-14
御郡方用状(16日上田町御用地を宮沢左一郎拝領地改申渡に付) 御郡方→水道方様	5月14日	1通	み10-15
小野左金太他一名用状(岩下渡大夫屋敷地田中作右衛門へ下賜改日時通知に付) 小野左金太・堀内大二郎→水野房五郎様・山本権平様	5月15日	1通	み10-16
中村孝大夫他一名用状(矢野倉惣之進拝領屋敷改日時通知に付) 中村孝大夫・岡田慶左衛門→水野房五郎様	6月15日	1通	み10-17
御郡方用状(沢富五郎屋敷間数惣坪数問合に付) 御郡方→水道方様	10月18日	1通	み10-18
御郡方用状(高野権右衛門殿屋敷間数惣坪数問合に付) 御郡方→水道方様	11月27日	1通	み10-19
小野左金太他一名用状(高野権右衛門拝領屋敷並びに御引上屋敷改日時通知に付) 小野左金太・堀内大二郎→水野房五郎様・山本権平様	12月11日	1通	み10-20
池田良右衛門用状(矢沢監物殿拝領下屋敷引渡改日時に付)	2月20日	1通	み10-21

池田良右衛門→佐藤三九郎様・水野房五郎様			
青柳忠太他一名用状(藤田源助差上地改出役の名面問合に付) 青柳忠太・渡辺承之助→水野房五郎様	12月13日	1通	み10-22
小野左金太他一名用状(宮沢殿屋敷絵図面拝領屋敷と認直し依頼に付) 小野左金太・岡田慶左衛門→水野房五郎様	5月17日	1通	み10-23
此面用状(足輕住居御家中拝領屋敷の取扱伺に付) 此面→徳左衛門様・(山本)権平様	7月21日	1通	み10-24
某絵図(長谷川溶屋敷間坪絵図)		15.0×35.5・1枚	み10-25
某絵図(小泉栄左衛門屋敷内水水路絵図) 端裏書「天保七年五月」	天保7年申5月	24.8×30.8・1枚	み10-26
(松代城下武家屋敷地坪改図面綴 明和9年6月～嘉永元年10月) (水道方扣)		22点	み19
(三村養益拝領屋敷地坪改図面) 改小林三左衛門・池田良右衛門・立合山内唯七他3名 江溝は朱筆	文化12年亥正月	24.7×31.5・1枚	み19-1
(高野権右衛門拝領屋敷地坪改図面) 小泉弥兵衛・宮本重三郎・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆	天保9年戌12月	27.7×42.6・1枚	み19-2
(岩下重司拝領屋敷地坪改図面) 青柳丈左衛門・酒井市治・立合岡田隆吉 下ヶ札あり	嘉永元年申10月	28.0×38.4・1枚	み19-3
(岩下渡大夫拝領地の内菅沼九兵衛替地囲込坪改図面) 宮本清之助・鈴木伝治・小頭宮沢左伝治	天保6年未4月	28.0×39.0・1枚	み19-4
(菅沼九兵衛拝領地の内岩下渡大夫替地囲込坪改図面) 宮本清之助・鈴木伝治・小頭宮沢左伝治	天保6年未4月	28.0×37.8・1枚	み19-5
(田中佐右衛門拝領屋敷地坪改図面) 柳八十八・団野喜兵衛・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆	天保8年酉5月	28.0×35.5・1枚	み19-6
(片岡源左衛門この度拝領屋敷地坪改図面) 宮本清之助・小泉弥兵衛・小頭宮沢左伝治他4名 江溝は朱筆	天保6年未4月	27.3×36.6・1枚	み19-7
(菅沼九兵衛屋敷地坪改図面) 江溝は朱筆		28.2×37.8・1枚	み19-8
(坂本常左衛門拝領屋敷地坪改図面) 改佐藤三九郎・小泉弥五郎・倉沢邦治他4名	文政10年亥5月	27.8×39.1・1枚	み19-9
(竹内八十五郎拝領屋敷地坪改図面) 宮本清之助・増沢慶治・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆	文政13年寅2月	27.4×39.3・1枚	み19-10
(山寺友吉拝領屋敷地坪改図面) 宮本清之助・西村源治・坂本啓治 江溝は朱筆、貼紙あり	文政11年子12月	28.0×38.6・1枚	み19-11
(喜代之助組姿太右衛門拝借地坪改図面) 改佐藤三九郎・改渡辺与三・相原織之助他4名 江溝は朱筆	天保5年午11月	27.9×39.0・1枚	み19-12
(斉田甚八屋敷地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・元ノ毛利重助・改役落合量蔵他1名	文化4年卯12月	25.4×32.4・1枚	み19-13
(菅沼九左衛門屋敷地改図面)		14.8×23.2・1枚	み19-14
(池村氏屋敷地坪改図面) 坂口利左衛門・平林縫殿進 貼紙あり	寛政12年申閏4月	25.3×31.5・1枚	み19-15
(畑新左衛門屋敷地坪改図面)		15.0×12.4・1枚	み19-16
(畑新左衛門屋敷地坪改図面)	寛政11年辛未7月8日	15.3×21.5・1枚	み19-17
(座元岩一頂戴屋敷地坪改図面) 沢元馬・神戸治助 江溝は朱筆	文化14年丑12月	25.5×32.5・1枚	み19-18
(大木伊左衛門拝借地坪改図面) 団野喜兵衛・鈴木伝治・小沼民弥 江溝は朱筆	文政元年寅10月	25.2×32.6・1枚	み19-19
(竹内金左衛門拝領地坪改図面) 団野喜兵衛・鈴木伝治・小沼民弥 江溝は朱筆	文政元年寅10月	25.4×32.5・1枚	み19-20
(竹内三郎兵衛拝領屋敷地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・本ノ関口勘右衛門・相改落合量蔵他1名	文化6年巳4月	24.7×47.0・1枚	み19-21

み2 藩政／諸役方／水道方／屋敷地改

(羽田太郎右衛門屋敷地坪改図面) 貼紙あり	明和9年辰6月28日	31.0×46.0・1枚	み19-22
(屋敷地坪数改図面綴 安永5年6月～天保14年閏9月)		紙縫綴・9点	み21
(小山田壱岐殿拝領下屋敷地坪改図面) 神戸治助・鈴木伝治・小頭柳沢安右衛門 江溝は朱筆	天保14年卯閏9月	57.7×54.5・1舗	み21-1
(片岡源左衛門拝借地坪改図面) 宮本清之助・小泉弥兵衛・小頭宮沢左伝治他1名 江溝は朱筆	天保6年未4月	54.0×57.4・1舗	み21-2
(前田喜右衛門屋敷地坪改図面)	安永5年申6月23日	23.5×31.7・1枚	み21-3
(小山弥一拝領屋敷地坪改図面) 宮本清之助・鈴木伝治・小頭宮沢左伝治他3名 江溝は朱筆	文政5年午10月12日	27.7×39.0・1枚	み21-4
(野中忠左衛門拝領屋敷地坪改図面) 団野喜兵衛・倉沢国治・宮沢喜左衛門 江溝は朱筆	文政3年辰8月2日	25.0×31.5・1枚	み21-5
(東条村の内新河原竹内平七屋敷地坪改図面) 端裏書「東条村之内新河原」		27.4×38.0・1枚	み21-6
(海沼龍左衛門拝領屋敷地坪改図面) 改竹内小左衛門・田中用八・石坂市郎右衛門 江溝は朱筆	文化11年戌3月	27.7×31.6・1枚	み21-7
(原孫八拝領屋敷地坪改図面) 団野喜兵衛・小沼民弥・沢元馬 江溝は朱筆	文化14年丑4月	27.8×38.0・1枚	み21-8
(片岡十郎右衛門拝領屋敷地坪改図面) 神戸治助・中沢源五兵衛・相改瀧沢音門 江溝は朱筆	文化11年戌12月	49.0×49.0・1舗	み21-9
(松代城下武家屋敷地坪改図面綴 安永7年5月～天保12年3月) (水道方扣)		紙縫綴・26点	み15
(恩田杢殿拝領屋敷地坪改図面) 団野喜兵衛・宮本重三郎・小頭助柳沢安右衛門他3名 端裏「扣」	天保12年丑3月	26.7×36.0・1枚	み15-1
(恩田杢・望月主水下屋敷地坪改図面) (水道方) 端裏「水道方」		24.5×31.6・1枚	み15-2
(矢沢監物殿拝領下屋敷地坪改図面) 柳八十八・団野喜兵衛・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆	天保6年未2月	27.8×38.5・1枚	み15-3
(長岡富五郎拝領屋敷地坪改図面) 柳八十八・倉沢邦治・小頭宮沢佐伝治 江溝は朱筆	文政13年寅正月	27.7×29.4・1枚	み15-4
(安藤十郎左衛門拝領屋敷地坪改図面) 近藤最角・団野喜兵衛・宮本常吉他1名 江溝は朱筆	文政4年巳2月	38.4×56.0・1舗	み15-5
(御勝手方御尋のため天明元年恩田杢・望月主水下屋敷地坪改図面写差出控) (水道方) 端裏書あり	天保10年亥	24.8×31.9・1枚	み15-6
(寺内助右衛門屋敷地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・本ノ関口勘右衛門	文化5年戌11月19日	27.2×38.2・1枚	み15-7
(北山草三拝領屋敷地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・本ノ関口勘右衛門・相改落合量蔵他1名	文化7年午5月26日	28.0×38.7・1枚	み15-8
(原孫八拝領屋敷地坪改図面) 団野喜兵衛・小沼民弥・改竹内小左衛門他1名 江溝は朱筆	文化14年丑2月	28.0×38.8・1枚	み15-9
(麻場和仲太拝領屋敷地坪改図面) 近藤最角・小野唯右衛門・長岡助右衛門他3名 江溝は朱筆、貼紙あり	文政3年辰10月	36.1×27.2・1枚	み15-10
(宮沢兵大夫屋敷地坪改図面)		27.3×18.5・1枚	み15-11
(井上庄兵衛屋敷地坪改図面) 付箋あり		30.4×23.3・1枚	み15-12
(立田玄道屋敷地坪改図面)		19.0×27.6・1枚	み15-13
(大嶋多吉屋敷地坪改図面) 付箋あり	寛政8年辰2月	29.5×22.6・1枚	み15-14
(柳惣左衛門屋敷地坪改図面)	安永7年戌5月18日	24.0×31.1・1枚	み15-15
(高久伊之介拝領添地坪改図面) 柳八十八・鈴木伝治・水道方元ノ小頭宮沢伝治	天保4年巳3月	38.2×27.9・1枚	み15-16

(阿藤通硯拝領地坪改図面) 柳八十八・鈴木伝治・水道方元ノ小頭宮沢伝治 江溝は朱筆、下ヶ札あり	天保4年巳3月	38.0×27.9・1枚	み15-17
(長岡左平太屋敷地等坪改図面)	天明4年3月	24.0×31.5・1枚	み15-18
(佐藤正左衛門屋敷地坪改図面)		23.2×29.1・1枚	み15-19
(佐藤正左衛門拝領屋敷地坪改図面) 団野喜兵衛・増沢慶治・沢元馬	文化14年丑12月	24.4×32.1・1枚	み15-20
(大日方右仲屋敷地坪改図面)	文化元年子6月15日	24.9×32.1・1枚	み15-21
(延享四年四月五日大日方右仲屋敷地等坪改図面写)	(文化元年)子6月13日	31.9×24.6・1枚	み15-22
(佐藤正左衛門屋敷地坪改図面)		31.8×24.9・1枚	み15-23
(大日方右仲屋敷地等坪改図面)		24.9×31.5・1枚	み15-24
天明四辰年相改置候絵図(長岡助右衛門屋敷地等坪改図面)	天明4年辰	24.8×31.0・1枚	み15-25
(池田良右衛門拝領屋敷地坪改図面) 江溝は朱筆、付箋あり		20.2×27.3・1枚	み15-26
(松代城下武家屋敷地坪改図面綴 安永7年4月～明治5年4月) (水道方控)		紙縫綴・50点	み18
(清須町千組与作拝借地坪改図面) 前嶋龍之進・小出茂助 「北嶋庄之助、竹内藤左衛門」	明治5年壬申4月	28.1×38.6・1舗	み18-1
(西木町木戸外恩田新六門前明地恩田新六拝借地坪改図面) 小出茂助・西村半六・杖突高野平助 「萩原八左衛門、窪田半弥」	明治4年辛未4月	28.4×39.1・1枚	み18-2
(野池留太郎屋敷地内へ西条村御高地引移閔連地坪改図面) 三井栄助・村田亀幾久・田中万作他1名	安政6年未5月	27.5×38.5・1枚	み18-3
(一宮三郎左衛門差上金井新六郎拝領屋敷地坪改図面)		27.5×75.4・1枚	み18-4
(窪田忠治拝領屋敷地坪改図面) 柳八十八・田中万作・小頭坂本啓治	文政11年子12月	27.3×38.8・1枚	み18-5
(山越嘉膳元拝領屋敷地坪改図面) 倉沢四郎右衛門・柳甚左衛門・元ノ小頭荒井弥平 彩色	嘉永3年戌2月	27.5×56.8・1枚	み18-6
(都筑仁十郎拝領屋敷地坪改図面) 三井栄助・倉沢四郎右衛門・柳縫殿助他1名 江溝は朱筆	安政5年午3月	27.2×38.7・1枚	み18-7
(柳沢甚三郎拝領屋敷地坪改図面) 小池藤左衛門・中沢源五兵衛・改竹内小左衛門他1名 江溝は朱筆	文化11年戌11月	24.6×31.5・1枚	み18-8
(鈴木熊次郎御引上屋敷地坪改図面) 三井栄助 江溝は朱筆	安政4年巳7月	27.5×38.4・1枚	み18-9
(山田久賀拝領屋敷地坪改図面) 三井栄助・高橋市兵衛・金児与助他1名 江溝は朱筆、貼紙あり	安政4年巳11月	27.9×39.4・1枚	み18-10
(根津綾之介拝領屋敷地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・鈴木伝治・小頭宮沢左伝治他1名 江溝は朱筆	文政8年酉12月	27.9×28.9・1枚	み18-11
(田中左吉差上地坂本斎助拝領屋敷地坪改図面) 田中万作・鈴木左源太・元ノ荒井弥平 江溝は朱筆	文久2年戌4月	27.6×38.8・1枚	み18-12
(鈴木熊次郎屋敷地坪改図面) 三井栄助・立合今井友之進・高橋市兵衛他2名	安政4年巳7月	27.7×37.3・1枚	み18-13
(正村勇之進差上根津繁人添地拝領屋敷地坪改図面) 草川吉右衛門・吉野勝之進・立合橋本茂左衛門他3名	嘉永6年丑2月	27.8×38.8・1枚	み18-14
(千喜良左衛門差上根津繁人拝領屋敷地坪改図面) 三輪徳左衛門・田中万作・高橋市兵衛・元ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	嘉永7年寅12月	27.5×38.9・1枚	み18-15
(窪田慎六屋敷地のうち揚地柳町立卓拝借地坪改図面) 小泉九左衛門・団野喜兵衛・元ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆	嘉永4年亥6月	27.9×38.3・1枚	み18-16
(徳嵩甚蔵屋敷地坪改図面)	寛政8年辰2月	22.7×30.0・1枚	み18-17
(西沢右門屋敷地坪改図面)	安永7年戌4月14日	24.3×31.2・1枚	み18-18
(野村重四郎拝領屋敷地坪改図面) 田中泰右衛門・馬場平作	文化12年亥5月	25.0×31.3・1枚	み18-19

み2 藩政／諸役方／水道方／屋敷地改

江溝は朱筆			
(吉村兵蔵拝領屋敷地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・本ノ関口勘右衛門・相改落合量蔵他1名	文化6年5月22日	24.9×31.8・1枚	み18-20
(徳左衛門組団之丞拝借屋敷地坪改図面) 小泉弥兵衛・宮本重三郎・小頭助柳沢安右衛門 江溝は朱筆	天保11年子正月	27.9×38.4・1枚	み18-21
(藤田源助差上传兵衛組増治拝借地坪改図面) 倉沢邦治・宮本重三郎・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆	天保9年戌12月	27.8×38.4・1枚	み18-22
(出浦惣右衛門差上佐川又左衛門拝借屋敷地坪改図面) 宮本重三郎・柳甚右衛門・元ノ小頭荒井弥平 江溝は朱筆、端裏書「堤右兵衛」	嘉永元年申4月	53.0×39.2・1枚	み18-23
(山岸助蔵拝領屋敷地坪改図面) 宮本清之助・団野喜兵衛・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆、下ヶ札あり	天保6年未3月	28.1×38.6・1枚	み18-24
(榎田源蔵この度差上地坪改図面) 団野喜兵衛・中条三郎治・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆、貼継紙あり	文政7年申3月	25.4×33.0・1枚	み18-25
(榎田源蔵この度差上地坪改図面) 団野喜兵衛・中条三郎治・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆、貼継紙あり	文政7年申2月	35.4×33.0・1枚	み18-26
(松林清甫拝領屋敷地坪改図面) 宮本喜代之助・中沢源五兵衛・竹内小左衛門改 江溝は朱筆、貼継紙あり、付箋あり	文化12年亥正月	24.5×31.5・1鋪	み18-27
(山岸助蔵拝領屋敷地坪改図面) 小池藤左衛門・石坂市郎右衛門・改瀧沢音門 江溝は朱筆	文化11年戌12月	24.5×42.0・1鋪	み18-28
(松林清甫拝借地等坪改図面) 中条常之丞・石坂市郎右衛門・相改竹内小左衛門 江溝は朱筆	文化11年戌12月	24.2×38.9・1鋪	み18-29
(嶋田長庵拝領屋敷地坪改図面) 近藤最角・中条三郎治・倉沢邦治・小頭小沼民弥 江溝は朱筆、「改高橋権左衛門、宮本友之丞、立合中村茂一郎」	文政3年辰12月20日	28.5×39.3・1枚	み18-30
(相原惣左衛門拝領屋敷坪改図面) 神戸治助・田中万作 江溝は朱筆、端裏書「扣」	天保10年亥12月	27.5×39.2・1枚	み18-31
(相原幾五郎拝領屋敷坪改図面) 西村源治・田中万作・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆、貼継紙あり	文政5年午12月23日	25.1×31.5・1枚	み18-32
(片岡此面拝領屋敷地坪改図面) 西村奎右衛門・鈴木伝治 江溝は朱筆、端裏書「扣」	天保10年亥7月	27.6×38.7・1枚	み18-33
(小泉栄左衛門拝領屋敷地坪改図面) 田中万作・小頭宮沢左伝治 江溝は朱筆、端裏書「扣」	天保4年巳4月	27.7×38.8・1枚	み18-34
(小泉栄左衛門屋敷地等坪改図面) 付箋あり	天保4年巳4月	24.7×32.2・1枚	み18-35
(成沢空之進屋敷地坪改図面) 改出役佐藤三九郎・御大工小泉弥五郎他1名 江溝は朱筆	文政9年戌正月	27.7×39.1・1枚	み18-36
(植木孝蔵拝領屋敷地坪改図面) 改出役佐藤三九郎・御大工小泉弥五郎・団野喜兵衛他1名 江溝は朱筆	文政9年戌正月	27.9×39.1・1枚	み18-37
(屋敷地図面改諸役人名面)	18日	12.3×20.5・1枚	み18-38
(山本嘉十郎屋敷地坪改図面控) 「差出扣」	文政9年戌10月	24.7×31.9・1枚	み18-39
(成本治左衛門拝領屋敷地坪改図面) 近藤最角・神戸治助・小泉弥兵衛・小沼民弥 江溝は朱筆	安政3年辰8月	27.9×38.5・1枚	み18-40
(金児総左衛門拝領屋敷地坪改図面) 御大工団野喜兵衛・本ノ関口勘右衛門・相改竹内小左衛門 江溝は朱筆	文化6年午11月	25.3×33.1・1枚	み18-41
(野本金八屋敷地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・本ノ毛利重助・改役落合量蔵他1名	文化4年卯12月	25.0×32.0・1枚	み18-42
(笠原軍平屋敷添明地間数改図面)		24.8×31.8・1枚	み18-43
(吉村兵蔵屋敷坪改図面扣) 御大工小池藤左衛門・本ノ毛利重助・相改落合量蔵他1名	文化5年辰正月	28.8×27.6・1枚	み18-44
(鈴木源兵衛屋敷地坪改図面) 御大工小泉弥五郎・本ノ毛利重助	文化4年卯12月	24.4×30.9・1枚	み18-45

(佐藤八十八拝借地坪改図面)	沢元馬・宮本清之助・鈴木伝治	文政2年3月	24.4×37.6・1枚	み18-46
(宮沢善治屋敷地坪改図面)			25.2×31.5・1枚	み18-47
(富岡弥三郎屋敷地坪改図面)	御大工小池藤左衛門・元メ石坂市郎右衛門・相改落合量蔵他1名	文化3年丙寅12月	28.3×38.8・1枚	み18-48
(丸山岩右衛門屋敷地坪改図面)		安永9年4月2日	24.0×31.4・1枚	み18-49
(山本孝治郎拝借屋敷地坪改図面)	柳八十八・石坂市郎右衛門 江溝は朱筆	文化11年戌12月	27.9×38.8・1枚	み18-50
(屋敷地境・坪数改図面綴)			紙縫綴・6点	み20
(三五郎・熊治郎屋敷地境改図面)	落合量蔵・竹内小左衛門・御 徒士目付立合丸山岩右衛門他4名	文化8年辛未4月9日	24.6×31.5・1枚	み20-1
(藤田永甫御引上地坪改図面)	小泉弥兵衛・倉沢邦治・小頭宮沢 左伝治	天保6年未閏7月	28.2×38.9・1枚	み20-2
(同心町吉田源五左衛門諸屋敷坪改図面)			24.4×36.0・1枚	み20-3
(吉郎右衛門組左源治拝借屋敷坪改図面)	柳八十八・田中万 作・小頭坂本啓治 江溝は朱筆	文政11年子12月	27.7×38.0・1枚	み20-4
(御馬屋小頭佐五左衛門屋敷地等坪改図面)			27.8×36.0・1枚	み20-5
(御厩御仲間荘吉他屋敷地坪改図面)			31.0×39.9・1枚	み20-6

3 藩政／諸役方／水道方／水道作事

(水道役関係書類綴文化2年9月8日～天保9年6月27日)		17点	み8
(御厩用水引入水道筋引立伺書関係書類綴)		3点	み8-1
恩田頼母用状(水道役申立の水道筋引立の件承り済に付) 恩田頼母→菅沼弥惣右衛門殿	7月19日	1通	み8-1-1
佐藤三九郎他一名伺書(照続水原細くなり御厩用水減水の ため別紙絵図面の通り水引入に付) 佐藤三九郎・水野房五郎 → -	7月	1通	み8-1-2
某絵図(御厩用水引入水道筋引立伺絵図) 付ヶ札あり	7月	22.0×29.2・1枚	み8-1-3
大森源左衛門用状(又左衛門屋敷裏御普請の件同人へ御掛 合に付) 大森源左衛門→竹内小左衛門様・落合量蔵様	10月27日	横切紙・1通	み8-2
利兵衛用状(御役所用水溜の儀鞆履殿差図等諸事申置くと ころ同役出役無きに付) 利兵衛→(佐藤)三九郎様	3月10日	横切紙・1通	み8-3
寺内多宮用状(御預所用水溜泥場の儀此このにて取計ら う旨に付) (寺内)多宮→(佐藤)三九郎様	3月20日	横切紙・1通	み8-4
道橋方用状(長安寺御霊屋裏通悪水堰堀浚御普請中外田町 用水懸かり違に付) 道橋方→御水道方様 奥裏書「天保九戊 年」	天保9年戌6月27日	横切紙・1通	み8-5
道橋方用状(大英寺前通掃除当御役方持ち場ではなき旨に 付) 道橋方→御水道方様 奥裏書「文政十亥年」	文政10年亥7月朔日	横切紙・1通	み8-6
水道役用状(原織部屋敷より真田石見屋敷へ用水引水の旨 に付) 水道役→ - 奥裏書「文政七申年閏八月廿五日」	文政7年申閏8月25日	横切紙・1通	み8-7
恩田頼母用状(大英寺土堀立替のため御霊屋前小堀よりの 流水溝堀際に掘通の旨寺社奉行申聞に付) 恩田頼母→堤右 兵衛殿	4月14日	横切紙・1通	み8-8
宮沢丹下用状(河原理助屋敷表囲堀御普請中往来へ囲出し の旨に付) 宮沢丹下→佐藤三九郎様・水野房五郎様	9月3日	横切紙・1通	み8-9

み3 藩政／諸役方／水道方／水道作事

某用状(勝手方御用のため御用構土手ある屋敷名面に付)	文化2年丑9月8日	横切紙・1通	み8-10
宮下但美用状(明十七日より喰違御長屋外囲致す旨に付) (宮下)但美→水道方様	3月16日	横切紙・1通	み8-11
宮下兵馬他一名用状(城内御泉水懸水なきため代官町用水 筋一同見分致すべき旨御勝手より仰渡に付) (宮下)兵馬・ (岩下)革→(堤)右兵衛様	7月10日	横切紙・1通	み8-12
道橋方用状(御泉水懸り神田川穿鑿のため村役人御尋の ところ別紙の通り申聞の旨に付) 道橋方→御水道方様	7月	横切紙・1通	み8-13
合作用状(御泉水懸り神田川穿鑿のため村役人御尋の ところ別紙の通り申聞の旨に付) 合作→(佐藤)三九郎様	7月13日	横切紙・1通	み8-14
瀧沢音門用状(御泉水懸り減水のため代官町用水掛樋取繕 の旨等に付) (瀧沢)音門→(堤)右兵衛様	7月24日	横切紙・1通	み8-15
関屋村兵藏他二名御手当受取書[差上申一札之事](御林御 伐出御手当1俵3斗7升に付) 関屋村兵藏・藤五郎・源右衛門 →小野唯右衛門様・水井忠藏様・春日儀左衛門様	文政9年戌4月	縦紙・1通	み3
(水道役関係書類綴)		紙綴綴・16点	み9
小野左金太他一名用状(竹山町絵図面土蔵外囲認直に付) 小野左金太・堀内太一郎→水野房五郎様	12月13日	横切紙・1通	み9-1
小野左金太用状(絵図面三千坪余之数書入に付) 小野左金太 →水野房五郎様 奥裏書「天保□□年」	天保3月24日	横切紙・1通	み9-2
水野房五郎用状(絵図面三千坪余書入の旨承知に付) 水野 房五郎→小野左金太様	天保3月25日	横切紙・1通	み9-3
恩田頼母指図書(西木町利兵衛大英寺境内外御用地の内明 地の冥加上納拝借願の件郡奉行申渡に付) 恩田頼母→堤右 兵衛殿	7月29日	横切紙・1通	み9-4
高山平十郎用状(畑新左衛門屋敷年貢初上納坪数通知に付) 高山平十郎→塩野寛爾様・金井彦右衛門様	3月20日	横切紙・1通	み9-5
友野正左衛門指図書(御城内大掃除近々見分の旨御用番仰 渡に付) (御目付役)友野正左衛門→水道役中様	10月20日	横切紙・1通	み9-6
岡野陽之助指図書(御城内大掃除近々見分の旨御用番仰渡 に付) (御目付役)岡野陽之助→佐藤三九郎様・水野房五郎様 奥 裏書「文政十亥年」	文政10年亥11月3日	横切紙・1通	み9-7
菅沼伴作指図書(13日四時前御殿向御城内見分の旨御用番 仰渡に付) 菅沼伴作→佐藤三九郎様・水野房五郎様	7月9日	横切紙・1通	み9-8
メ木新吾指図書(御城内大掃除25日見分の旨御用番仰渡に 付) (メ木)新吾→水道方様 日付虫損あり	24日	横切紙・1通	み9-9
斉藤幸之助用状(御城内大掃除24日見分の旨御用番仰渡に 付) 斉藤幸之助→佐藤三九郎様・水野房五郎様	6月21日	横切紙・1通	み9-10
斉藤幸之助用状(御城内大掃除今日見分の旨御用番恩田空 殿仰渡に付) 斉藤幸之助→水野房五郎様・山本権平様	7月晦日	横切紙・1通	み9-11
宮下但美用状(御城内大掃除20日役人計にて見分の旨御用 番仰渡に付) (御目付役)宮下但美→佐藤三九郎様・水野房五郎 様 奥裏書「文政十一子九月」	文政11年子9月19日	横切紙・1通	み9-12
磯田音門用状(御帰城御通行筋道造の見分日時相談に付) (磯田)音門→水道方様	6月晦日	横切紙・1通	み9-13
磯田音門用状(道造手入・見廻りの場所助言依頼に付) (磯 田)音門→(堤)右兵衛様	8月4日	横切紙・1通	み9-14
某用状(御家中用水・下水欠埋まり等のため通路危うき場所 等穿鑿に付) 奥裏書「文政十二丑年」	文政12年丑	横切紙・1通	み9-15
某用状(善光寺大勧進のため曲輪内通筋掃除の旨申通に付)	天保9年戌8月5日	横切紙・1通	み9-16

- →(水道役) 奥裏書「天保九戌八月五日」、端裏書「水道役」			
(水道方役宛用状綴)		紙縫綴・18点	み12
覚兵衛用状(御懸合樋等到来なきため道橋方へ催促に付) 覚兵衛→(佐藤)三九郎様	11月3日	横切紙・1通	み12-1
恩田頼母用状(御預所役所臥樋伏せ替えの件取計に付) 恩田頼母→堤右兵衛殿	11月10日	横切継紙・1通	み12-2
春原広江他二十三名用状(用水川筋漏水の場所新規普請申付の旨御断に付) 春原広江・石倉重蔵他23名→平林縫殿進様	11月29日	横切継紙・1通	み12-3
恩田頼母用状(別紙の趣見込教示に付) 恩田頼母→堤右兵衛殿	11月晦日	横切紙・1通	み12-4
某用状(当番勤めざる者等名面取調明日中提出に付)	天保3年辰	横切紙・1通	み12-5
恩田頼母用状(御家中絵図面修正次第提出に付) 恩田頼母→堤右兵衛殿		横切紙・1通	み12-6
富永諫用状(水道廻り立合の件御用番より指示取計に付) 富永諫→御水道方様	天保4年巳4月8日	横切継紙・1通	み12-7
兵右衛門用状(大手木戸御長柄引手桶の件問い合わせに付) 兵右衛門→(佐藤)三九郎様	7月12日	横切紙・1通	み12-8
磯田用状(手附銭箱役所迄遣わす件細かに書取回覧に付) 磯田→堤(右兵衛)様	8月2日	横切継紙・1通	み12-9
磯田用状(中町小中屋文蔵所持の品当役所へ引渡のため手附派遣に付) 磯田□→堤右兵衛様	8月5日	横切紙・1通	み12-10
藤井喜内用状(祭礼のため道具持届けるべき旨通達に付) (藤井)喜内→水道方様	8月17日	横切紙・1通	み12-11
某申渡書(御手伝御用済のため祝儀として御目見以下へ御酒下賜に付) - →(水道役) 端裏書「水道役」	天保5年午3月	横切継紙・1通	み12-12
弥吾右衛門用状(勤方等閑の件問合せに付) 弥吾右衛門→(佐藤)三九郎様・(水野)房五郎様	□月29日	横切紙・1通	み12-13
木町助右衛門口上書[口上書](木町両組表通堰筋下水中堰打払願に付) 木町(名主)助右衛門→増田徳右衛門殿		横切継紙・1通	み12-14
片岡十郎兵衛用状(御勝手御用向の儀河原舎人殿へ伺うべき旨仰渡に付) 片岡十郎兵衛→山本権平様	2月21日	横切紙・1通	み12-15
恩田頼母用状(望月主水居屋敷南方御用地100坪同人へ下賜引渡の件郡奉行へ相談に付) 恩田頼母→堤右兵衛殿	12月24日	横切継紙・1通	み12-16
恩田頼母用状(小頭早川伝兵衛河原新田居屋敷続竹山町明地の場所冥加上納拝借困込願いの儀承済に付) 恩田頼母→堤右兵衛殿	8月27日	横切紙・1通	み12-17
十郎左衛門用状(清須町広場掃除人名面別紙の通に付) 十郎左衛門→(佐藤)三九郎様	閏7月5日	横切紙・1通	み12-18
(水道役関係書類綴)		紙縫綴・11点	み7
富永諫用状(水懸少なく分水支障の旨に付) 富永諫→竹内小左衛門様	5月7日	横切紙・1通	み7-1
富永諫用状(千体堂長屋の方へ分水支障の旨に付) 富永諫→竹内小左衛門様	5月16日	横切紙・1通	み7-2
小野喜太右衛門用状(千体堂長屋の方へ分水の件去々年水下へ掛合その後沙汰なき旨に付) 小野喜太右衛門→竹内小左衛門様	5月11日	横切紙・1通	み7-3
某用状[別紙](屋敷前にて犬子出生禁止の旨仰出に付) 端裏書「犬子」	2月	横切紙・1通	み7-4
某用状[別紙](屋敷前にて犬子出生禁止の旨仰出に付)	2月	横切紙・1通	み7-5

み3 藩政／諸役方／水道方／水道作事

4 藩政／諸職／神社郡政局／伝馬 5 藩政／財政／勘定所／諸用状 6 藩政／財政／勘定所／金銭請払

莊蔵用状(違作のため御手伝御用役料借居りのところ取延の旨御勝手方より通達に付) 莊蔵→(水野)房五郎様	11月6日	横切紙・1通	み7-6
与良弥門用状(御相談の義両隣・向々支障なきため今朝願置の下書拝借願に付) (与良)弥門→(佐藤)三九郎様	正月23日	横切紙・1通	み7-7
与良弥門用状(御約束の御案文拝借願に付) (与良)弥門→(佐藤)三九郎様	正月24日	横切紙・1通	み7-8
雄蔵他一名用状(御祈祷の札三枚送付に付) 雄蔵・主計→水道方様	正月27日	横切紙・1通	み7-9
松木東用状(別紙の趣御用番矢沢監物より仰渡に付) 松木東→水野房五郎様	3月28日	横切紙・1通	み7-10
松木東用状(家中子供なぐさめの風物の内、位の紙三四枚に限る旨等に付) (松木東)→ -		横切紙・1通	み7-11

4 藩政／諸職／神社郡政局／伝馬

下諏訪駅御伝馬所役人申上書(兵頭庶務正他一名当駅宿泊・伊那郡方面へ出立に付) 下諏訪駅御伝馬所役人→松代御藩御出張御役人中様	(明治3年)4月8日	横切継紙・1通	み2
--	------------	---------	----

5 藩政／財政／勘定所／諸用状

小松彦治郎金銭借用証文[御時御借用申金銭之事](差掛り要用のため金100両に付) 小松彦治郎→酒井市治様・水野清右衛門様	慶応4年閏4月21日	縦紙・1通	み30
塚屋次兵衛金銭受取証文[覚](金308両余改包賃2朱余受取に付) 塚屋次兵衛→御役人衆中様	寅12月	縦切紙・1通	み33
[御用筋](包紙) 柄澤藤吉・窪田利左衛門→酒井市治様・水野清右衛門様		包紙・1点	み1-1
柄澤藤吉他一名用状(御用金不足のため御囲金500両のほか月々300両の旨に付) (柄澤)藤吉・(窪田)利左衛門→(酒井市治様・水野清右衛門様) 虫損	3月3日	横切継紙・1通	み1-2
某伺書(銀座御米借残金1750両江戸表にて上納に付伺)		横切継紙・1通	み28
(送金関連書類一括)		畳込一括・3点	み31
御勝手元メ用状(端裏書)[御軍用金下筋え御金出之儀ニ付申上](明後22日御金千両差出のため御飛脚出の件足輕奉行へ指示願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「留済」	8月20日	横切紙・1通	み31-1-1
水野弥右衛門用状(金札5千両引替正金廻達に付) (水野)弥右衛門→(草間)一路様・(柘植)嘉兵衛様 端裏書「御金送り 留済」	3月8日	横切紙・1通	み31-1-2
松代水野清右衛門用状(東京酒井市治・大塚善平より佐羽吉右衛門送付金3千両受取べき旨に付) 松代水野清右衛門→須坂町牧新七殿 端裏書「東京え為替下申事」	明治2年巳2月	横切紙・1通	み31-1-3
御勝手元メ用状(端裏書)[京都御金出之儀ニ付申上](御上京品々引当入料金6千両金出の儀其向へ指図願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「留ル」	正月29日	横切紙・1通	み31-2

6 藩政／財政／勘定所／金銭請払

須坂村福嶋正平金銭受取証文[覚](下げ渡金5両受取に付)	(慶応4年)辰3月24日	縦切紙・1通	み34
------------------------------	--------------	--------	-----

須坂村福嶋正平→酒井市治様(勘定役)

7 藩政／財政／元方御金奉行／課業上納金請払

(上納課業銭下渡金受取証文綴 嘉永6年5月～慶応3年2月)		紙綴紙・33点	み22
世話番南沢甚之介金銭受取証文[覚](米中村居宅焼失の者共上納課業銭56両余支給に付) 世話番南沢甚之介／(奥印)伊東千右衛門／(奥印)宮沢善治・青柳丈左衛門／(奥印)草間一路／(裏書)片岡弘人→齊藤善蔵殿・水井市治殿・水井忠治殿・上林何右衛門殿・矢野倉謙三郎殿	慶応3年寅2月	縦綴紙・1通	み22-1
世話番伊東賢治金銭受取証文[覚](病災・居宅雪潰・吹潰・焼失の者共上納課業銭8貫余支給に付) 世話番伊東賢治／(奥印)柿崎良作／(奥印)宮沢善治・青柳丈左衛門／(奥印)草間一路／(裏書)片岡弘人→齊藤善蔵殿・水井市治殿・西村源兵衛殿・水井忠治殿・平林吉之助殿・上林何右衛門殿・矢野倉謙三郎殿	慶応2年丑2月	縦綴紙・1通	み22-2
世話番中嶋渡浪金銭受取証文[覚](居宅焼失・風災の者共上納課業金32両支給に付) 世話番中嶋渡浪／(奥印)倉田三之助／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)長谷川三郎兵衛／(裏書)岡島忠記→齊藤善蔵殿・水井市治殿・片岡弘人殿・西村源兵衛殿・坂口又治殿	文久3年亥3月	縦綴紙・1通	み22-3
世話番長岡富五郎金銭受取証文[覚](居宅焼失の者共上納課業金64両余支給に付) 世話番長岡富五郎／(奥印)小島元之助／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)高田幾太／(裏書)長谷川藤蔵→齊藤善蔵殿・佐川又左衛門殿・谷口左仲殿・関山平治殿「三月廿九日」	安政2年卯3月	縦綴紙・1通	み22-4
山田兵次金銭受取証文[覚](支配村々居宅焼失の者共上納課業銭78貫余支給に付) 山田兵次／(奥印)北嶋元之助→ - 後欠	安政2年卯2月	縦紙・1通	み22-5
西沢軍治金銭受取証文[覚](支配村々居宅焼失の者共上納課業金21両余支給に付) 西沢軍治／(奥印)北嶋元之助→ - 後欠	安政2年卯2月	縦紙・1通	み22-6
南沢甚之介金銭受取証文[覚](支配村々居宅焼失の者共上納課業金13両余支給に付) 南沢甚之介／(奥印)北嶋元之助→ - 後欠	安政2年卯2月	縦紙・1通	み22-7
中嶋渡浪金銭受取証文[覚](支配村々居宅焼失の者共上納課業銭15両余支給に付) 中嶋渡浪／(奥印)北嶋元之助→ - 後欠	安政2年卯2月	縦紙・1通	み22-8
長岡富五郎金銭受取証文[覚](支配上松村瀧組居宅焼失の者共上納課業金2両余支給に付) 長岡富五郎→ - 後欠	安政2年卯2月	縦紙・1通	み22-9
世話番野本力太郎金銭受取証文[覚](居宅焼失・病災・極難の者ども上納課業金33両余支給に付) 世話番野本力太郎／(奥印)鈴木富作／(奥印)上坂無印水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)齊藤伊之／(裏書)宇敷元之丞→齊藤善蔵殿・水井市治殿・佐藤伊与之進殿他2名	文久2年戌5月	縦綴紙・1通	み22-10
幡場潤蔵他一名金銭受取証文[覚](肴町等出火類焼人別課業銭5貫余支給に付) 幡場潤蔵・近藤権右衛門／(奥印)宮下主鈴・成沢勘左衛門／(奥印)高野左助／(奥印)宇敷元之丞→齊藤善蔵殿・水井市治殿・佐藤伊与之進殿他2名	文久2年戌2月	縦綴紙・1通	み22-11
幡場潤蔵他一名金銭受取証文[覚](西條村新安口嘉助雷火焼失のため課業金5貫余支給に付) 幡場潤蔵・近藤権右衛門／(奥印)宮下主鈴・成沢勘左衛門／(奥印)岡野弥右衛門→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊与之進殿他2名	文久元年酉8月	縦綴紙・1通	み22-12
南沢甚之介金銭受取証文[覚](焼失水災・風災・住居障の者ども上納課業金82両余支給に付) 南沢甚之介／(奥印)鈴木富治／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)長谷川三郎兵衛／(裏	文久元年酉3月	縦綴紙・1通	み22-13

み 7 藩政／財政／元方御金奉行／課業上納金請払

書)岡嶋忠記→斉藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊与之進殿他2名			
世話番長岡富五郎金銭受取証文[覚](居宅焼失・水災難洪の者ども上納課業金51両余支給に付) 世話番長岡富五郎／(奥印)中嶋波之助／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)高田幾太／(裏書)長谷川藤蔵→斉藤善蔵殿・水井市治殿・関山平治殿他2名	安政7年申3月	縦継紙・1通	み22-14
世話番細田久作金銭受取証文[覚](居宅焼失・山抜潰・地震潰の者ども上納課業金194両余支給に付) 世話番細田久作／(奥印)中嶋波之助／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)高田幾太／(裏書)長谷川藤蔵→斉藤善蔵殿・水井市治殿・関山平治殿他1名	安政6年未3月	縦継紙・1通	み22-15
幡場潤蔵他一名金銭受取証文[覚](柴町千体堂屋敷病災の者ども上納課業金59貫余支給に付) 幡場潤蔵・近藤権右衛門／(奥印)磯田音門／(奥印)関田莊助／(裏書)長谷川藤蔵→斉藤善蔵殿・水井市治殿・関山平治殿他1名	安政6年未7月	縦継紙・1通	み22-16
世話番中嶋渡浪金銭受取証文[覚](居宅焼失の者ども上納課業金41両余支給に付) 世話番中嶋渡浪／(奥印)高坂専之助／(奥印)水井忠蔵・御用無印春日儀左衛門／(奥印)高田幾太／(裏書)斉藤増之介→斉藤善蔵殿・佐川又左衛門殿・関山平治殿他1名	安政5年午3月	縦継紙・1通	み22-17
幡場潤蔵他一名金銭受取証文[覚](西条村新御安口等出火類焼人別課業金55貫余支給に付) 幡場潤蔵・近藤権右衛門／(奥印)磯田音門・草間一路／(奥印)松本儀之介／(裏書)奥山忠左衛門→斉藤善蔵殿・佐川又左衛門殿・関山平治殿他1名	安政4年巳閏5月	縦継紙・1通	み22-18
世話番野本力太郎金銭受取証文[覚](居宅焼失専一潰・大風吹潰・怪我人の者ども上納課業金34両余支給に付) 世話番野本力太郎／(奥印)鈴木富作／(奥印)上坂無印水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)斉藤友衛／(裏書)宇敷元之丞→斉藤善蔵殿・佐川又左衛門殿・関山平治殿他1名	安政4年巳2月	縦継紙・1通	み22-19
中嶋渡浪金銭受取証文(支配梅木村安左衛門及び高借財潰弁金合地の者上納課業金31貫余支給に付) 中嶋渡浪／(奥印)鈴木藤太／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)高田幾太／(裏書)奥山忠左衛門→ - 後欠	安政4年巳正月	縦継紙・1通	み22-20-1
梅木村名主磯吉他二名願書[差上申一札之事](安左衛門及び高借財潰弁金合地の者上納課業金支給に付) 梅木村上組名主磯吉・組頭栄吉・長百姓佐吉□→御代官所	安政3年辰12月	縦紙・1通	み22-20-2
小林友之丞金銭受取証文[覚](支配村々課業金の内課業雑用金18両支給に付) 小林友之丞／(奥印)菊池孝助・水井忠蔵／(奥印)宮下兵馬／(裏書)金井諫→斉藤善蔵殿・佐川又左衛門殿・谷口左仲殿他1名	嘉永7年寅12月	縦継紙・1通	み22-21
世話番南沢甚之介金銭受取証文[覚](居宅焼失等のため住居障の者ども上納課業金149両余支給に付) 世話番南沢甚之介／(奥印)相原音五郎／(奥印)水井忠蔵・御用無印春日儀左衛門／(奥印)竹村金吾／(裏書)金井諫→斉藤善蔵殿・佐川又左衛門殿・関山平治殿他1名	安政3年辰3月	縦継紙・1通	み22-22
幡場潤蔵金銭受取証文[覚](地震災人別上納課業金130両余支給に付) 幡場潤蔵・館孝三郎・近藤権右衛門／(奥印)磯田音門・草間一路／(裏書)金井諫→斉藤善蔵殿・佐川又左衛門殿・谷口左仲殿他1名	安政2年卯4月	縦紙・1通	み22-23
小林友之丞金銭受取証文[覚](支配吉窪村居宅雪潰難洪の者上納課業金464文支給に付) 小林友之丞／(奥印)長谷川深美→徳高恒吉殿・大嶋富作殿・斉藤善蔵殿他2名 中欠	嘉永6年丑5月	縦紙・1通	み22-24
世話番某金銭受取証文[覚](代官山田兵次ほか支配所上納課業金85両余支給に付) (世話番) 後欠		縦紙・1通	み22-25
世話番某金銭受取証文[覚](代官山田兵次ほか支配所上納課業金71両余支給に付) (世話番) 後欠		縦紙・1通	み22-26
山田兵次金銭受取証文[覚](支配村々居宅焼失の者ども上納課業金13両余支給に付) 山田兵次 後欠	嘉永7年寅2月	縦紙・1通	み22-27
西沢軍治金銭受取証文[覚](支配村々居宅吹潰・焼失の者ど	嘉永7年寅2月	縦紙・1通	み22-28

も上納課業金17両余支給に付) 西沢軍治 後欠			
某金銭受取証文[覚](支配所居宅焼失の者ども上納課業金8両余支給に付) 後欠	(嘉永7年寅2月)	堅紙・1通	み22-29
某金銭受取証文[覚](上納課業金支給に付) 後欠	(嘉永7年寅2月)	堅紙・1通	み22-30
小林友之丞金銭受取証文[覚](支配長井村居宅焼失の者ども上納課業金164文余支給に付) 小林友之丞 後欠	嘉永7年寅2月	堅紙・1通	み22-31
世話番西沢軍治金銭受取証文[覚](岩野村井草上納により御貸下の課業金返上御免に付) 世話番西沢軍治 後欠		堅紙・1通	み22-32
岩野村某請書[差上申一札之御事](井草上納により御貸下金返上御免に付) 後欠		堅紙・1通	み22-33
中嶋渡浪金銭受取証文(支配村々居宅焼失の者ども上納課業金支給に付) 中嶋渡浪→前欠 み23～27は巻込、前欠	嘉永7年寅2月	堅紙・1通	み23
(金銭受取証文断簡) / (奥印)片桐総左衛門 / (奥印)菊池孝助・水井忠蔵 / (奥印)竹村金吾 / (裏書)藤岡伊織→□(齊)藤善蔵殿・佐川又左衛門殿・谷口左仲殿他1名 み23～27は巻込、前欠		堅紙・1通	み24
(証文断簡) (南沢)甚之介 み23～27は巻込、前欠		堅紙・1通	み25
世話番西沢軍治金銭受取証文(居宅焼失・吹潰等の者ども上納課業金支給に付) 世話番西沢軍治 / (奥印)高坂恒作 / (奥印)菊池孝助・水井忠蔵 / (奥印)磯田音門 / (裏書)藤岡伊織→齊藤善蔵殿・佐川又左衛門殿・谷口左仲殿他1名 み23～27は巻込、前欠	嘉永7年寅3月	堅紙・1通	み26
世話番中嶋渡浪金銭受取証文(居宅焼失の者ども上納課業金支給に付) 世話番中嶋渡浪 / (奥印)高橋源右衛門 / (奥印)菊池孝助・水井忠蔵 / (奥印)岡嶋莊蔵 / (裏書)藤岡伊織→徳高恒吉殿・大嶋富作殿・齊藤善蔵殿他2名 み23～27は巻込、前欠	嘉永6年丑4月	堅紙・1通	み27

8 藩政／財政／奥向賄

吉川屋正兵衛金銭受取証文[覚](ラシヤ小切7つ代金2朱余受取に付) 吉川屋正兵衛→鈴木様	西極月16日	堅紙・1通	み32
近江屋善右衛門金銭受取証文[覚](地国綸子等反物代金6両余受取に付) 近江屋善右衛門→松葉印様御用	7月11日	堅紙・1通	み35

9 元松代庁／諸願書

伊勢町小嶋長郎願書[乍恐以書付奉歎願候](焚出仰付のところ拙者丸焼難に付洪のため御情御下ヶ) 伊勢町(名主役) 小嶋長郎→松代県御役所	明治4年未12月	堅紙・1冊	み5
(岩草村堀内平兵衛虫倉御林焚炭焼立入用御下げ願綴)		紙綴綴・2点	み29
岩草村堀内平兵衛願書[乍恐以書付奉願上候](虫倉御林四ヶ年手入なく多分諸入用掛かるため焚炭焼立入用金御下げに付) 水内郡岩草村堀内平兵衛→松代藩御役所	明治4年未3月	堅紙・1冊	み29-1
岩草村堀内平兵衛願書[乍恐以書付奉願候](虫倉御林焚炭焼立のため先前歎願の入用金御下げに付) 水内郡岩草村堀内平兵衛→松代藩御役所 (下ヶ札:隣村との示談難しく歎願の通り、堀内平兵衛)	明治4年未3月	堅紙・1冊	み29-2
御徳店唐沢祖吉願書[乍恐以書付奉願上候](天朝御役人様御召上り物品代御下ヶ金に付) 御徳店唐沢祖吉→用度方御役所	明治5年申4月	堅紙・1通	み4
(戊辰戦争賄代金等関連書類写綴 明治7年4月～9月)		綴・3点	み6

み9 元松代庁／諸願書

長野県知事榑崎寛直申上書(村方歎願の戊辰戦争賄代採用に付) 長野県知事榑崎寛直→大蔵卿大隈重信殿／(奥朱書)大蔵卿大隈重信 朱筆下ヶ札付	明治7年4月15日	豎半・1冊	み6-1
某用状(戊辰戦争兵食等代ほか金銭勘定書) 朱筆あり	明治7年	横切紙・1通	み6-2
某願書(戊辰戦争時旧松代藩品々払滞之分御下ヶ金下賜に付) - →長野県知事榑崎寛直殿 朱筆指示書、下ヶ札付	明治7年	豎半・1冊	み6-3

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

む

1 藩政／郡方／取調

(小盤紙値段引下一件書類綴 天保7年8月)		紙綴綴・3点	む14
御郡方伺書并付札(小盤紙値段3分下げにて納入の件に付並びに伺い通りの旨) 御郡方→・貼紙「御用紙直段引下ヶ之儀伺」御郡方	(天保7年)8月	横切紙・1通	む14-1
堤右兵衛他一名伺書(小盤紙値段引下の件5匁6分にて上納の旨和泉屋忠左衛門願に付) 堤右兵衛・三輪徳左衛門→御用紙御役所	(天保7年)申8月	横切紙・1通	む14-2
和泉屋忠左衛門願書[乍恐以口上書奉願上候御事](小盤紙値段引下の件5匁6分にて上納願に付) 和泉屋忠左衛門→御用紙御役所	天保7年申8月	縦紙・1通	む14-3

2 藩政／財政／御勘定吟味／伺書・申上書

(畳入料勘定関係書類一括)		封筒一括・5点	む36
(封筒) 恩田頼母→望月主水様 「自筆」		封筒・1点	む36-1
小山田采女書状(畳入料増支出勘定吟味より申請の件同意に付) (家老、小山田)采女→(月番家老、恩田)木工様・(月番家老、望月)主水様 端裏書「畳入料」、裏に調書の件の覚書貼付	2月朔日	横切紙・1通	む36-2
御勘定吟味再伺書(表縁高値・御鷹之雁拝領等により畳代増金願に付) 御勘定吟味→・端裏書「御畳方御入用増之儀再伺」	正月	横切継紙・1通	む36-3
御勝手御元メ伺書并御国御勘定吟味添付貼紙(畳刺へ御用任命・差支えなき場所の修繕は春へ延期など入料俟約の旨) 御勝手御元メ→・端裏書「御畳方御入料増之儀伺」	2月	横切継紙・1通	む36-4
望月主水他一名用状并小山田采女勘返状(畳入料増の件役人より別紙到来に付) (望月)主水・(恩田)木工→(小山田)采女様・(恩田)頼母様 端裏書「御畳表事」、「二月廿九日達」	2月23日	横切紙・1通	む36-5
(馬代等払方詮議関係書類綴)		紙綴綴・5点	む10
御馬奉行伺書并御勘定吟味答書貼紙(岩村精一郎馬代等2件表払の件御馬奉行伺並びに仕切金にて残金払の旨勘定吟味申上) 御馬奉行→・端裏書「御馬代等御表払之儀申上」、答書貼紙は7月17日付	7月	横切紙・1通	む10-1
御勝手元メ書状(馬飼料支払方等に付) 御勝手元メ→(竹村)金吾様	5月8日	横切継紙・1通	む10-2
御勝手元メ申上書(馬料支払方等に付) 御勝手元メ→御馬奉行様	6月	横切継紙・1通	む10-3
御馬奉行申上書(手段金の件取計願に付) 御馬奉行→御勝手御元メ中様	6月12日	横切紙・1通	む10-4
某用状(手段金早急取計い願に付)		横切紙・1通	む10-5

3 藩政／財政／御勘定吟味／諸願

(焚炭代払切書類綴 5月)		紙綴綴・3点	む6
御徒目付伺書(別紙の通り徒目付の願い考慮に付) 御徒目付	5月	切紙・1通	む6-1

む 4 藩政／財政／勘定所／諸用状 5 藩政／財政／勘定所／御馬飼料掛 6 藩政／財政／勘定所／金銭請払

→ - 端裏書「焚炭之義ニ付伺」			
御徒目付頭助伺書(端裏書)[御徒目付焚炭御払切儀伺][乍恐以口上書奉願候御事](永荒・川欠の荒地年貢など赦免に付) 御徒目付頭助→ -	5月	豎紙・1通	む6-2
御勘定吟味申上書(支払い願に付) 御勘定吟味→ - 端裏書「焚炭御払切儀御尋ニ付申上」	5月7日	豎紙・1通	む6-3
(品々買上内借書類綴)		紙綴綴・6点	む41
御買物役伺書[覚](品々買上のため390両内借願いに付) 御買物役→ - 端裏書「御買物所御入用金御下ヶ之儀奉伺」	辰12月	横切紙・1通	む41-1
御勘定吟味申上書(御買物所の申立の通りに並びに御勝手元締めのお尋ねをご勘弁下されたくに付) 御勘定吟味→ - 端裏書「御買物所御台所等御内借之義ニ付申上」	12月26日	横切紙・1通	む41-2
御買物役伺書[覚](菜種類品々御道具他買上のため605両内借願いに付) 御買物役→ - 端裏書「大病院蓮乗寺御買物所御入料金奉伺」	辰12月	横切紙・1通	む41-3
御吟味役申上書(御台所御買物所等御内借の儀に付) (御吟味役)→ - 端裏書「御台所等御内借之義ニ付申上」、後欠	正月	横切紙・1通	む41-4
御吟味役申上書(御勝手元締めのお尋ね勘弁願いに付) 御吟味役→ -	12月	横切紙・1通	む41-5
御台所目付伺書[覚](御下ヶ金500両願いに付) 御台所目付→ - 端裏書「御台所御入用金御下ヶ奉伺」、貼紙「正月二日留済」	辰12月	横切紙・1通	む41-6

4 藩政／財政／勘定所／諸用状

堤一郎右衛門用状(長谷川伝左衛門拝借願の元利メ金159両5匁6分7厘受取に付) 堤一郎右衛門/(奥印)宮沢善治/(奥印)御郡奉行兼帯金井甚五左衛門・望月九郎右衛門・高山平十郎→ - 端裏書「長谷川伝左衛門」	寛政9年巳6月	豎継紙・1通	む48
竹内小左衛門他一名伺書控[覚](御勝手向三割以上減引仰せ付けられるにより蠟燭・紙等減方に付伺い) 竹内小左衛門・近藤藤角→ - 下ヶ札・黄紙付、端裏書「文政四巳八月十一日被仰渡同月廿三日差出候」水道方」	文政4年巳8月23日	横切紙・1通	む52
柳沢一郎中借証文[覚](初代金56兩余に付) 柳沢一郎→水井忠藏殿・春日儀左衛門殿・丸山平左衛門殿 虫損大	天保9年戌12月	豎紙・1通	む21

5 藩政／財政／勘定所／御馬飼料掛

殿町源治他一名受証文[御請申証文之御事](沓買上代金1匁7匁余に付) 御受負人殿町源治・御受人金十郎→御馬御飼料御掛り様御役所 端裏書「天保七申年十二月」	天保7年申12月	豎紙・1通	む28
---	----------	-------	-----

6 藩政／財政／勘定所／金銭請払

小河原村南組新右衛門一札[差上申一札之事](大豆買上代金6石余受取に付) 小河原村南組新右衛門→中島宇吉様・丸山平左衛門様 端裏書「小河原村新右衛門」	天保5年午10月	豎紙・1通	む8
東條村北組与惣治他一名受書[差上申御請証文之事](御入料新納めに付) 東條村北組納主与惣治・御受人小平治/(奥印)東條村北組名主民右衛門・組頭才助・長百姓与右衛門→中島宇吉様・丸山平左衛門様 端裏書「申 東條村北組与惣治」	天保7年申12月	豎継紙・1通	む46

平坂村御請主惣左衛門他二名金銭受取証文[差上申御請証文之御事](入用買上代4両3分受取に付) 平林村御請主惣左衛門・同断藤左衛門・同断丈左衛門／(奥印)平林村名主辰之助・組頭利兵衛・長百姓和左衛門→相原恵左衛門様・宮沢喜代治様	天保8年酉12月	縦継紙・1通	む24
[御田地水入御書上帳] 平林村名主辰之助・組頭利兵衛・長百姓和左衛門	天保8年酉12月	横長半・1通	む25
大塚村東組直右衛門他一名一札[差上申一札之御事](大麦代200両3分9匁5分5厘分俵数、蔵入に付) 大塚村東組直右衛門・上小島田村吉右衛門→御勘定所御役所 虫損大	天保9年戌12月	縦紙・1通	む20
上宮野尾村慶左衛門一札[指上申一札之御事](大麦代4両2分余分俵数、蔵入に付) 上宮野尾村慶左衛門→御勘定所御役所 虫損大	天保9年戌12月	縦紙・1通	む22
北林良八中借証文(保金100両諸向用紙代の内出入役所役銀より支出分受取) 北林良八／(裏書)御金方→白土礼助殿・芳賀十内殿・杉山伊八郎殿	慶応3年卯3月	縦紙・1通	む30
北林良八中借証文(保金100両諸向用紙代の内出入役所役銀より支出分受取) 北林良八／(裏書)御金方→白土礼助殿・芳賀十内殿・杉山伊八郎殿	慶応3年卯3月	縦紙・1通	む31

7 藩政／財政／御吟味役／金銭請払

(御買物所金銭請払御吟味役奥印書類綴 慶応2年)		紙縫綴・19点	む50
小林太一郎金銭受取証文(御買物所品々御入料代金受取に付) 小林太一郎／(奥印)玉井繁之助／(奥印)片岡弘人・立合千喜良新之進／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿(御吟味役)	慶応2年寅7月	縦継紙・1通	む50-1
御広間下番政太郎他二名金銭受取証文[覚](袴代金受取に付) 御広間下番政太郎・元之助・角右衛門／(奥印)奥村権之丞→御買物所	慶応2年寅5月	縦紙・1通	む50-2
某売上証文[覚](大盤紙代金等) 後欠	(慶応2年)	横切紙・1通	む50-3
山本嘉兵衛売上証文[覚](挽茶代銀5匁4分受取に付) 山本嘉兵衛→上	(慶応2年)寅4月	横切紙・1通	む50-4
檜物屋助三郎売上証文[覚](旅状箱他箱類代銀141匁余受取に付) 檜物屋助三郎→御買物方御役人中様	(慶応2年)6月	横切紙・1通	む50-5
桶屋彦七売上証文[覚](半とう桶他桶類代銀65匁余受取に付) 桶屋彦七→御買物御役所	(慶応2年)6月	横切継紙・1通	む50-6
古梅園又七売上証文[覚](朱墨他代銀11匁余受取に付) 古梅園又七→上	(慶応2年)5月	横切紙・1通	む50-7
杉原和吉受取証文[覚](漆器塗り直し繕い代金受取に付) 杉原和吉→御買物方御役所	(慶応2年)寅6月	横切継紙・1通	む50-8
某売上証文[覚](弓張提灯等代金受取に付) 後欠	(慶応2年)	横切紙・1通	む50-9
吉嶋屋勘兵衛売上証文[覚](すり鉢他代銀20匁余受取に付) 吉嶋屋勘兵衛→御買物方御役所	(慶応2年)寅6月	横切紙・1通	む50-10
中沢屋惣八郎売上証文[覚](錠前・鎌代銀66匁余受取に付) 中沢屋惣八郎→御買物方御役所	(慶応2年)寅6月	横切紙・1通	む50-11
壺泉伊平治売上証文[覚](羽織袴等衣類代銀7貫36匁余受取に付) 壺泉伊平治→御買物方御役人中様	(慶応2年)寅6月	縦継紙・1通	む50-12
白銀屋鎌次郎売上証文[覚](木刀他代銀222匁受取に付) 白銀屋鎌次郎→上	(慶応2年)5月	横切紙・1通	む50-13
堺屋平三郎売上証文[覚](荏油他代銀315匁余受取に付) 堺屋平三郎→上	(慶応2年)5月	横切継紙・1通	む50-14

む 7 藩政／財政／御吟味役／金銭請払

松本屋弥七受取証文[覚](龍吐水修復代銀247匁受取に付) 松本屋弥七→御役人衆中様	(慶応2年)寅7月	堅紙・1通	む50-15
松屋吉兵衛売上証文[覚](羽織・股引代銀60匁余受取に付) 松屋吉兵衛・代伝吉→御買物所御役人衆中様	(慶応2年)寅6月	横切紙・1通	む50-16
井筒屋源蔵金銭受取証文[覚](鎖錠細工代金受取に付) 井 筒屋源蔵→御買物方御役人衆中様	(慶応2年)寅6月	横切紙・1通	む50-17
伊勢屋清七金銭受取証文[覚](錠入れ箱代金受取に付) 伊 勢屋清七→上	(慶応2年)寅6月	横切紙・1通	む50-18
御鑓師建部与惣右衛門受取証文[覚](稽古鑓・太刀代銀58匁 受取に付) 御鑓師建部与惣右衛門→御買物方御役人衆中様	(慶応2年)寅6月15日	堅紙・1通	む50-19
(諸品代金請払御吟味役奥印書類綴 慶応3年9月～12月)		紙縫綴・28点	む45
山脇軍兵衛他一名金銭受取証文[覚](珠光院様へ進められ 金100両受取に付) 山脇軍兵衛・石井軍介→片岡弘人殿(御吟味 役)	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-1
佐藤九右衛門金銭受取証文[覚](仕立物糸代残金2両2分受 取に付) 佐藤九右衛門／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-2
大塚谷平他二名金銭受取証文[覚](着服代金3両受取に付) 大塚谷平・新津市兵衛・宮原柔兵衛／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-3
松本賢吾金銭受取証文[覚](御前様付女中手当金1両1分受 取に付) 松本賢吾／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-4
松本賢吾金銭受取証文[覚](長局道具代金2分2朱受取、相渡 すに付) 松本賢吾／(奥印)中村鍔蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡 弘人殿	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-5
松本賢吾金銭受取証文[覚](大殿様付女中手当金等2両3分2 朱3匁受取に付) 松本賢吾／(奥印)中村鍔蔵／(奥印)柘植嘉兵 衛→片岡弘人殿 継目印あり	慶応3年卯12月	堅継紙・1通	む45-6
松本賢吾金銭受取証文[覚](夫給金1両2分受取に付) 松本 賢吾／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-7
佐藤小左衛門金銭受取証文[覚](12月渡り切米金1両2分受 取に付) 佐藤小左衛門／(奥印)中村鍔蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→ 片岡弘人殿 継目印あり	慶応3年卯11月	堅継紙・1通	む45-8
御厩小頭金児富之丞金銭受取証文[覚](5人分手当金5貫文 受取に付) 御厩小頭金児富之丞／(奥印)竹村半蔵／(奥印)中村 鍔蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 継目印あり	慶応3年卯11月	堅継紙・1通	む45-9
富岡啓蔵金銭受取証文[覚](御徒士当番定助手当残金1両1 分受取に付) 富岡啓蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-10
多田謙三郎金銭受取証文[覚](夫給金3分受取に付) 多田謙 三郎／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-11
清水新太郎金銭受取証文[覚](夫給金3分受取に付) 清水新 太郎／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-12
根来五郎左衛門金銭受取証文[覚](夫給金3分受取に付) 根 来五郎左衛門(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-13
根来五郎左衛門金銭受取証文[覚](高倉御家へ御扇子料2朱 受取に付) 根来五郎左衛門／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-14
多田謙三郎金銭受取証文[覚](見役勤中手当金2分受取に 付) 多田謙三郎／(奥書)宮島嘉織／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人 殿	慶応3年卯12月	堅紙・1通	む45-15
割番伊東善右衛門金銭受取証文[覚](西丸大手番所当番中 場所雇賃金22貫48文受取、相渡しに付) 割番伊東善右衛門 ／(奥印)宮島嘉織・津田源五郎／(奥印)中村鍔蔵／(奥印)柘植嘉兵 衛→片岡弘人殿 継目印あり、勘定・奥印の一部貼紙訂正、奥印は東 条清見から津田に訂正	慶応3年卯9月	堅継紙・1通	む45-16

割番伊東善右衛門金銭受取証文[覚](西丸大手番所当番中抱足輕仲間給金並びに雇賃銀86両2分2匁受取、相渡しに付) 割番伊東善右衛門／(奥印)宮島嘉織／(奥印)中村鎮蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 継目印あり、裏面に貼紙1枚「千式百兩三月 中俣引替」五兩 長谷川 二月引替有之由	慶応3年卯9月	縦継紙・1通	む45-17
足輕・飛脚等手当書上帳[覚](手当路錢去寅4月より当10月までの分受取、相渡しに付) 割番伊東善右衛門／(奥印)宮島嘉織／(奥印)中村鎮蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯9月	縦半帳・1冊	む45-18
割番伊東善右衛門金銭受取証文[覚](西丸大手番所当番中場所雇賃銀1両2分12匁5分3厘受取、相渡しに付) 割番伊東善右衛門／(奥印)宮島嘉織・津田源五郎／(奥印)中村鎮蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 継目印あり、勘定・奥印の一部貼紙訂正、奥印は東条清見から津田に訂正	慶応3年卯9月	縦継紙・1通	む45-19
割番伊東善右衛門金銭受取証文[覚](西丸大手番所当番中場所雇賃銀3両3分6匁1分9厘受取、相渡しに付) 割番伊東善右衛門／(奥印)宮島嘉織・津田源五郎／(奥印)中村鎮蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 継目印あり、勘定・奥印の一部貼紙訂正、奥印は東条清見から津田に訂正	慶応3年卯9月	縦継紙・1通	む45-20
割番伊東善右衛門金銭受取証文[覚](西丸大手番所当番中場所雇賃銀1両3分7匁5分受取に付) 割番伊東善右衛門／(奥印)宮島嘉織／(奥印)中村鎮蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 継目印あり	慶応3年卯10月	縦継紙・1通	む45-21
割番伊東善右衛門金銭受取証文[覚](中村勝右衛門・関口勇馬御上屋敷より南部坂屋敷へ引移に付人足代1両1匁3分6厘受取に付) 割番伊東善右衛門／(奥印)宮島嘉織／(奥印)中村鎮蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 継目印あり	慶応3年卯10月	縦継紙・1通	む45-22
松本俊太郎金銭受取証文[覚](御徒士当番定助手当残金1両1分受取に付) 松本俊太郎／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	縦紙・1通	む45-23
御側御納戸物書忠太金銭受取証文[覚](上京御供・道中坊役手当金1分受取に付) 御側御納戸物書忠太／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	縦紙・1通	む45-24
清水一郎左衛門金銭受取証文[覚](残夫給金3分受取に付) 清水一郎左衛門／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	縦紙・1通	む45-25
小宮山三吉金銭受取証文[覚](残夫給金3分受取に付) 小宮山三吉／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	縦紙・1通	む45-26
久保喜代馬金銭受取証文[覚](定助前段手当金3両受取に付) 久保喜代馬／(奥印)柘植嘉兵衛→片岡弘人殿 貼紙「十二月十五日御内借之分引替承済」	慶応3年卯12月	縦紙・1通	む45-27
根村熊五郎金銭受取証文[覚](大銃4斤筋入鑄造入料金のうち内借金150両受取に付) 根村熊五郎→片岡弘人殿	慶応3年卯12月	縦紙・1通	む45-28

8 藩政／財政／払方御金奉行／金銭請払

(金銭受取証文綴 慶応2年)		紙綴綴・10点	む9
近藤権内他七名金銭受取書(寅4月中上京の節買物入料116両余受取並びに銘々へ支払いに付) 近藤権内・山崎卓馬・在府無印宮下三郎治他5名／(奥印)中島波之助／(奥印)岡野弥右衛門・金井弥惣左衛門・立合近藤民之助→池田富之進殿・堤常之丞殿・赤沢内蔵助殿(払方御金奉行)他2名	慶応2年寅11月	縦継紙・1通	む9-1
鍵屋伴之助金銭受取証文[覚](銀22匁余に付) 鍵屋伴之助→御買物所御役所	(慶応2年)寅3月	横切継紙・1通	む9-2
三新屋嘉兵衛金銭受取証文[覚](銀443匁に付) 三新屋嘉兵衛→御買物所御役所	(慶応2年)寅4月	切紙・1通	む9-3
岡田屋嘉七金銭受取証文[覚](大成武鑑1部代1分2朱に付)	(慶応2年)寅4月	切紙・1通	む9-4

む 8 藩政／財政／払方御金奉行／金銭請払 9 藩政／財政／奥向勘定

岡田屋嘉七→御買物所御役所			
旭屋惣左衛門金銭受取証文[覚](弓張提灯等1貫956匁に付) 旭屋惣左衛門→御買物所御役所	(慶応2年)寅5月	横切継紙・1通	む9-5
袋屋惣兵衛金銭受取証文[覚](状箱代30匁余に付) 袋屋惣兵衛→御買物所御役所	(慶応2年)寅3月	横切継紙・1通	む9-6
大丸屋惣兵衛金銭受取証文[覚](南京意草等89匁7分に付) 大丸屋惣兵衛→御買物所御役所	(慶応2年)寅4月	横切継紙・1通	む9-7
万屋源八金銭受取証文[覚](大盤洪紙等1貫151匁余に付) 万屋源八→御買物所御役所	(慶応2年)寅4月	横切継紙・1通	む9-8
西井屋恒冶金銭受取証文[覚](赤紙代等1貫916匁余に付) 西井屋恒治→御買物所御役所	(慶応2年)寅5月	横切紙・1通	む9-9
中島屋五左衛門代栄助金銭受取証文[覚](桐油合羽代1貫300匁に付) 中島屋五左衛門代栄助→御買物所御役所	(慶応2年)寅4月	切紙・1通	む9-10

9 藩政／財政／奥向勘定

(売上証文一括 享保2年7月～12月)		一括・160点	む38
(売上証文一括 享保2年7月～8月)		封筒一括・33点	む38-1
[西七月分万売上 同八月分万売上](封筒)	(享保2年)酉	封筒・1点	む38-1-1
[御荷物駄賃払帳](荒町より越後高田まで及び越後高田より松代までの御荷物道中駄賃等受取に付) 下高田村彦左衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門様・森田甚五兵衛様／(奥印)須藤半弥→ - む38-1-3貼付	享保2年酉7月	横長帳・1冊	む38-1-2
(売上証文貼継一括 享保2年7月)		貼継一括・2点	む38-1-3
福地涌泉売上証文[覚](御筆100封墨20挺代2貫885文受取に付) 福地涌泉／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→小野里三左馬殿・水野太兵衛殿 端裏書「引合済」	(享保2年)酉ノ7月9日	堅紙・1通	む38-1-3-1
越後高田野尻屋佐五左衛門売上証文[仕切目録之覚](縄代他代ノ12兩2分3朱余受取に付) (越後高田)野尻屋佐五左衛門／(裏書)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛様・富永治左衛門様／(裏書)須藤半弥→今井彦左衛門殿	(享保2年)酉ノ7月26日	堅継紙・1通	む38-1-3-2
(売上証文貼継一括 享保2年)		貼継一括・29点	む38-1-4
紙屋町彦七売上証文[覚](畳30畳代金3兩3分受取に付) 紙屋町彦七／(裏書)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛様・富永治左衛門様／(裏書)山城六郎右衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	(享保2年)酉8月3日	堅紙・1通	む38-1-4-1
紺屋町祖右衛門売上証文[覚](畳14畳代金3分7朱余受取に付) 紺屋町祖右衛門／(裏書)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門様・森田甚五兵衛様／(裏書)山城六郎右衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	(享保2年)酉8月	堅紙・1通	む38-1-4-2
紺屋町平弥売上証文[覚](鉄20丁他代金ノ2兩2分余受取に付) 紺屋町平弥／(奥印)山越六郎右衛門→富永次左衛門様・森田甚五兵衛様	(享保2年)酉8月5日	堅紙・1通	む38-1-4-3
菊屋庄平売上証文[覚](小右衛門紙3帖代金209文受取に付) きくや庄平→四五右衛門	(享保2年)6月7日	横切紙・1通	む38-1-4-4
伊勢町弥五右衛門売上証文[覚](上小右衛門紙3帖他受取に付) いせ町弥五右衛門→長右衛門殿・次兵衛殿	(享保2年)酉6月8日	横切紙・1通	む38-1-4-5
伊勢屋惣兵衛売上証文[覚](錠3つ代金169文受取に付) いせや(伊勢屋)惣兵衛→七郎右衛門様	(享保2年)6月7日	横切紙・1通	む38-1-4-6
中町万兵衛売上証文[覚](筆1対墨1挺代金48文受取に付)	(享保2年)6月8日	横切紙・1通	む38-1-4-7

中町万兵衛→御使徳兵衛殿			
紙屋町弥七売上証文[覚](黄紙1状赤紙1状他代金ノ123文受取に付) かみや町弥七→雲七殿	(享保2年)6月25日	横切紙・1通	む38-1-4-8
伊勢屋宗兵衛売上証文[覚](桐水入6つ代金124文受取に付) いせや(伊勢屋)宗兵衛→清水孫左衛門様	(享保2年)7月19日	横切紙・1通	む38-1-4-9
中町仁兵衛売上証文[覚](阿加年水入3つ代金150文受取に付) 中町仁兵衛→宮下長左衛門殿	(享保2年)西8月7日	堅切紙・1通	む38-1-4-10
伊勢町善右衛門売上証文[御売上之覚](緑麻3反同2反代金ノ1貫930文受取に付) 伊勢町善右衛門/(奥印)三輪長右衛門/(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮下長左衛門殿	(享保2年)西7月27日	堅継紙・1通	む38-1-4-11
木町菊屋嘉右衛門売上証文[御売上](筆10対硯石3つ他代金ノ84兩余受取に付) 木町(菊屋)嘉右衛門/(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→森田甚五兵衛様・富永次左衛門様	享保2年西8月	堅継紙・1通	む38-1-4-12
木町菊屋嘉右衛門売上証文[御売上](八分釘2千630本小式十釘8千817本他代金ノ214兩2分余受取に付) 木町(菊屋)嘉右衛門/(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門・山越六郎右衛門他1名→森田甚五兵衛様・富永次左衛門様	享保2年西8月	堅継紙・1通	む38-1-4-13
中町藤兵衛売上証文[御売上之覚](徳利1つ五十丁代金受取に付) 中町藤兵衛→徳兵衛殿	(享保2年)西7月17日	横切紙・1通	む38-1-4-14
小越町源太夫売上証文[覚](せうふ1本代金100文受取に付) 小越町源太夫→甚左衛門殿	(享保2年)7月26日	堅切紙・1通	む38-1-4-15
伊勢町惣助売上証文[覚](布切1尺6寸代金28文受取に付) いせ町惣助→ -	(享保2年)7月27日	横切紙・1通	む38-1-4-16
某売上証文[覚](唐ふるい1つ代金28文他受取に付)	(享保2年)	横切紙・1通	む38-1-4-17
伊勢屋惣兵衛売上証文[覚](舶水入3つ代金60文受取に付) いせや惣兵衛→清水孫左衛門様	(享保2年)西ノ8月7日	横切紙・1通	む38-1-4-18
伊勢町河内屋仁兵衛売上証文[覚](式寸錠1代金65文受取に付) 河内屋仁兵衛/(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門殿	(享保2年)西8月8日	堅継紙・1通	む38-1-4-19
伊勢町弥五郎売上証文[覚](木綿5反代金2貫362文受取に付) いせ町弥五郎/(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→富永治左衛門様御使治左衛門殿	(享保2年)西8月11日	横切継紙・1通	む38-1-4-20
孫左衛門売上証文[御売上之覚](御矢立桶5つ代金164文受取に付) 孫左衛門→小左衛門様	(享保2年)西8月13日	堅切紙・1通	む38-1-4-21
現金屋義兵衛売上証文[覚](大平墨20丁代金64文受取に付) 現金屋義兵衛/(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門様	(享保2年)西8月13日	横切継紙・1通	む38-1-4-22
菊屋伝兵衛売上証文[覚](矢立3本他代金110文受取に付) きくや(菊屋)伝兵衛→八郎右衛門様	(享保2年)8月12日	横切紙・1通	む38-1-4-23
中町藤兵衛売上証文[覚](徳利1つ五十丁代金受取に付) 中町藤兵衛/(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→八郎右衛門殿	(享保2年)西8月13日	横切継紙・1通	む38-1-4-24
菊屋権六売上証文[御売上](算盤1間代金6文受取に付) 菊屋権六/(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→森田甚五兵衛様・富永次左衛門様	(享保2年)西8月15日	堅紙・1通	む38-1-4-25
木町菊屋嘉右衛門売上証文[御売上](小倉御袴地ノ10本代金ノ201兩3分受取に付) 木町(菊屋)嘉右衛門/(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→富永弥左衛門様・森田甚五兵衛様	享保2年西8月19日	堅継紙・1通	む38-1-4-26
伊勢町弥五介売上証文[覚](木綿布12反代金5貫649文受取に付) 伊勢町弥五介/(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→富永治左衛門様御使伝左衛門殿	(享保2年)西8月23日	堅紙・1通	む38-1-4-27
菊屋伝兵衛売上証文[覚](三寸錠2つ代金150文受取に付) 菊屋伝兵衛/(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門様	(享保2年)西8月29日	堅継紙・1通	む38-1-4-28
菊屋伝兵衛売上証文[覚](真書筆1対代金48文受取に付) 菊	(享保2年)西8月29日	堅紙・1通	む38-1-4-29

む 9 藩政／財政／奥向勘定

屋伝兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→次右衛門殿 (売上証文一括 享保2年9月) [酉之九月分万売上入](封筒) (売上証文貼継一括)		封筒一括・25点 紐付・1点 貼継巻込一括・21点	む38-2 む38-2-1 む38-2-2
紺屋町六兵衛売上証文[御売上覚](黒さわら水浚桶3本代金300文受取に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→富永治左衛門様・森田甚五兵衛様 端裏書[引合済]	(享保2年)酉9月朔日	堅切紙・1通	む38-2-2-1
亀倉村七兵衛売上証文[覚](鍛冶炭28俵代金1両3分受取に付) 亀倉村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間定右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→かち(鍛冶)町勘右衛門殿	(享保2年)酉ノ9月朔日	堅紙・1通	む38-2-2-2
中町加兵衛売上証文[覚](琉球筵8枚代金1分105文受取に付) 中町加兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	(享保2年)酉9月2日	堅継紙・1通	む38-2-2-3
善光寺三之丞売上証文[覚](いさる6つ代金248文受取に付) 善光寺三之丞／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→次右衛門殿	(享保2年)酉ノ9月3日	堅継紙・1通	む38-2-2-4
菊屋伝兵衛売上証文[御売上](正晴御刀掛松間長1丁代金124分受取に付) きくや伝兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様	(享保2年)酉9月4日	堅継紙・1通	む38-2-2-5
小伐町吉右衛門売上証文[覚](草履10足代金70文受取に付) 小伐町吉右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→治右衛門殿	(享保2年)酉9月5日	堅継紙・1通	む38-2-2-6
鍛冶町清九郎売上証文[覚](立附拾仕主代代金1貫288文受取に付) かち(鍛冶)町清九郎／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御使曾左衛門殿	(享保2年)酉9月5日	堅継紙・1通	む38-2-2-7
信州松城中町嶋屋九兵衛売上証文[覚](無柄3両代金700文受取に付) (信州松代中町)嶋屋九兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→	(享保2年)酉9月5日	横切紙・1通	む38-2-2-8
菊屋伝兵衛売上証文[御売上](大平墨筆代金32文受取に付) 菊屋伝兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様	(享保2年)酉9月6日	堅紙・1通	む38-2-2-9
木町市郎左衛門売上証文[御売上覚](薄緑4枚代金576文受取に付) 木町市郎左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→曾左衛門殿	(享保2年)酉9月7日	横切紙・1通	む38-2-2-10
紺屋町文八売上証文[御売上覚](上間薄緑10枚代金2分受取に付) 紺屋町文八／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→角左衛門殿	(享保2年)酉9月8日	横切継紙・1通	む38-2-2-11
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](鍛冶炭8表(俵)代金2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間定右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→かち(鍛冶)町勘右衛門殿	(享保2年)酉9月8日	堅継紙・1通	む38-2-2-12
伊勢町善右衛門売上証文[売之覚](ほそ引5筋代金80文受取に付) 伊勢町善右衛門／(奥印)山城六郎右衛門・須藤半弥→伝右衛門殿	(享保2年)酉9月13日	堅切紙・1通	む38-2-2-13
美濃屋三郎右衛門売上証文[覚](五分節付濃浅黄見本染二色木綿布5反代金748文他受取に付) 美濃屋三郎右衛門／(奥印)山城六郎右衛門・須藤半弥→富永治左衛門様・森田甚五兵衛様	(享保2年)酉9月19日	堅紙・1通	む38-2-2-14
松葉屋金兵衛売上証文[覚](算盤5丁代金65朱受取に付) 松葉屋金兵衛→興津藤左衛門様	(享保2年)酉6月朔日	横切紙・1通	む38-2-2-15
伊坂屋善兵衛売上証文[売上ヶ之覚](台切2枚代金1両2分受取に付) 伊坂や善兵衛→興津藤左衛門様	(享保2年)酉6月17日	堅切紙・1通	む38-2-2-16
芝車屋長兵衛売上証文[覚](大八車5輛代金15匁受取に付) 芝車屋長兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→興津藤左衛門様	享保2年酉6月22日	堅継紙・1通	む38-2-2-17
松井田中町飯田屋と兵衛売上証文[覚](銅18貫800目代金3	(享保2年)酉ノ7月25日	横切継紙・1通	む38-2-2-18

両受取に付) 松井田中町飯田屋与兵衛→宮入喜右衛門殿			
松本東町七郎兵衛売上証文[覚](吹子1挺代金1両受取に付) 松本東町七郎兵衛/(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門/(奥印)山城六郎右衛門・須藤半弥→畑伝右衛門殿	(享保2年)西8月14日	縦継紙・1通	む38-2-2-19
菊屋庄平売上証文[覚](大形大平墨代金35文受取に付) (印文)[菊屋庄平]/(奥印)山城六郎右衛門・須藤半弥→清大夫様	(享保2年)西9月19日	横切継紙・1通	む38-2-2-20
関田庄介売上証文(小松原より水ノ手御渡場まで大小角木94本払届るための村人足72人代金3貫600文受取に付) 関田庄介/(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永次左衛門殿/(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門/(裏書)望月治郎左衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保2年西9月19日	縦継紙・1通	む38-2-2-21
[御用二付松本被遣候上下御賄駄賃帳] 大塚六藏/(奥印)三輪長右衛門/(奥印)佐久間定右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿/(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間定右衛門殿・白井平左衛門殿	享保2年西9月18日	横長帳・1冊	む38-2-3
[松井田より松城迄駄賃帳] 真田伊豆守内兵藏組才領宮入喜右衛門/(奥印)三輪長右衛門/(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛・富永治左衛門/(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	(享保2年)西7月25日	横半帳・1冊	む38-2-4
[江戸より松城迄車御荷物駄賃払帳] 小野喜平太同心三右衛門・小山田平太夫同心喜左衛門・金井大七同心諸右衛門/(奥印)三輪長右衛門/(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永次左衛門殿/(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→興津藤左衛門様	享保2年西7月	横長帳・1冊	む38-2-5
(売上証文一括 享保2年10月)		封筒一括・45点	む38-3
[西之十月分萬売上入](封筒)	(享保2年)西之10月	封筒・1点	む38-3-1
(10月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・44点	む38-3-2
中町弥五右衛門売上証文[覚](筆1対代6文受取に付) 中町弥五右衛門→平内殿	(享保2年)西10月4日	切紙・1通	む38-3-2-1
河内屋仁兵衛売上証文[覚](墨10挺代250文受取に付) (伊勢町)河内屋仁兵衛/(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→次右衛門殿裏書「引合済」	(享保2年)西10月6日	堅紙・1通	む38-3-2-2
亀藏村七兵衛売上証文[覚](炭36俵代2両1分受取に付) 亀藏村七兵衛/(奥印)佐久間定右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿/(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→勘右衛門殿継目印あり	(享保2年)西10月7日	縦継紙・1通	む38-3-2-3
倉科村人足日用受取証文[覚](倉科御林屋中木伐り人足日用11人分548文受取に付) 倉科村肝煎与五右衛門・組頭吉郎兵衛→御付人覚之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西10月10日	堅紙・1通	む38-3-2-4
森村人足日用受取証文[覚](倉科御林屋中木伐り人足日用18人分1貫400文受取に付) 森村肝煎勘兵衛・組頭利助→御付人覚之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西ノ10月10日	堅紙・1通	む38-3-2-5
岩野村人足日用受取証文[覚](倉科御林屋中木伐り人足日用13人分648文受取に付) 岩野村肝煎三郎右衛門・組頭太兵衛・同浅右衛門→御付人覚之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西之10月10日	堅紙・1通	む38-3-2-6
土口村人足日用受取証文[覚](倉科御林屋中木伐り人足日用12人分600文受取に付) 土口村肝煎利右衛門・組頭彦兵衛→御付人覚之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西ノ10月10日	堅紙・1通	む38-3-2-7
生萱村人足日用受取証文[覚](倉科御林屋中木伐り人足日用11人分548文受取に付) 生かや(生萱)村肝煎善左衛門・同組頭勘左衛門→御付人覚之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西10月10日	堅紙・1通	む38-3-2-8
牧内村人足日用受取証文[覚](関屋御林樽木伐り人足日用4人分200文受取に付) 牧内村肝煎儀右衛門→御付人半之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西之10月9日	堅紙・1通	む38-3-2-9

む 9 藩政／財政／奥向勘定

田中村人足日用受取証文[覚](関屋御林樽木伐り人足日用9人分448文受取に付) 田中村肝煎小右衛門→小奉行半之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西ノ10月9日	縦紙・1通	む38-3-2-10
清野村人足日用受取証文[覚](関屋御林樽木伐り人足日用14人分700文受取に付) 清野村五郎右衛門→御付人半之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西ノ10月9日	縦紙・1通	む38-3-2-11
東条村人足日用受取証文(関屋御林樽木伐り人足日用16人分800文受取に付) 東条村肝煎清右衛門→御付人半之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)10月9日	縦紙・1通	む38-3-2-12
桑根井村人足日用受取証文[覚](関屋御林樽木伐り人足日用4人分200文受取に付) 桑根井村肝煎各右衛門→御小奉行所 紙継目に継目印あり	享保2年10月9日	縦紙・1通	む38-3-2-13
欠村人足日用受取証文[覚](関屋御林樽木伐り人足日用2人分100文受取に付) 欠村肝煎次郎兵衛→御付人半之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西ノ10月9日	縦紙・1通	む38-3-2-14
加賀井村人足日用受取証文[覚](関屋御林樽木伐り人足日用2人分100文受取に付) か、井(加賀井)村肝煎甚兵衛・組頭治太夫→御付人半之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西ノ10月9日	縦紙・1通	む38-3-2-15
関屋村人足日用受取証文[覚](関屋御林樽木伐り人足日用7人分348文受取に付) 関屋村肝煎藤八→御付人半之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西ノ10月9日	縦紙・1通	む38-3-2-16
西条村人足日用受取証文[覚](関屋御林樽木伐り人足日用12人分600文受取に付) 西条村肝煎久右衛門→御付人半之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西ノ10月9日	縦紙・1通	む38-3-2-17
長礼村人足日用受取証文(関屋御林樽木伐り人足日用2人分100文受取に付) 長礼牟礼村瀬兵衛→御付人半之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西10月9日	縦紙・1通	む38-3-2-18
平林村人足日用受取証文(関屋御林樽木伐り人足日用8人分400文受取に付) 平林村肝煎九右衛門→御付人半之丞殿 紙継目に継目印あり	(享保2年)西ノ10月9日	縦紙・1通	む38-3-2-19
山越一之丞用状(関屋御林・倉科御林人足日用惣ノ錢7貫748文受取、切手持ち出しに付) 山越一之丞／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿	享保2年西ノ10月10日	縦紙・1通	む38-3-2-20
関田庄介用状(小松原村より杵渚村・西寺尾村まで角木引届人足賃錢7貫648文、村々肝煎方へ相渡しに付) 関田庄介／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門／(裏書)望月治部左衛門→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿	享保2年西之10月8日	縦紙・1通	む38-3-2-21
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭12俵代金3分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間定右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→勘右衛門殿	(享保2年)西10月11日	縦紙・1通	む38-3-2-22
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](狸の皮2枚代300文受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間定右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→勘右衛門殿	(享保2年)西ノ10月11日	縦紙・1通	む38-3-2-23
伊勢屋善吉売上証文[御売上](小倉袴地2本代金3分受取に付) 伊勢屋善吉／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様	享保2年西10月11日	縦紙・1通	む38-3-2-24
菊屋平兵衛売上証文[御売上](そろばん1間代6匁受取に付) 菊や(屋)平兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門様	享保2年西10月11日	縦紙・1通	む38-3-2-25
菊屋平兵衛売上証文[御売上](小倉袴地2本代3分1匁受取に付) 菊屋平兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様	享保2年西10月11日	縦紙・1通	む38-3-2-26
善光寺徳兵衛売上証文[覚](いざる代370文受取に付) 善光寺徳兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→覚左衛門殿	(享保2年)10月13日	切紙・1通	む38-3-2-27

現金屋儀兵衛売上証文[覚](扇子3本代42文受取に付) 現金 屋儀兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→八郎右衛門殿	(享保2年)西10月15日	横切継紙・1通	む38-3-2-28
紙屋町宇右衛門他一名売上証文[御売上](黒檜鹿料代金25 両3分・1匁2分受取に付) 紙屋町宇右衛門・紺屋町六兵衛／(奥 印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛 殿／(奥印)須藤半弥・山越六右衛門→富永治左衛門様・森田甚五兵衛 様	享保2年酉ノ10月	堅紙・1通	む38-3-2-29
紺屋町六兵衛売上証文[御売上覚](水溜桶3本代金3分300文 受取に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→富 永治左衛門様・森田甚五兵衛様	(享保2年)西10月16日	堅継紙・1通	む38-3-2-30
紺屋町六兵衛売上証文[御売上之覚](天井板50枚代金1分 569文受取に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半 弥→富永治左衛門様・森田甚五兵衛様	(享保2年)酉ノ10月17 日	堅紙・1通	む38-3-2-31
紺屋町六兵衛売上証文[御売上之覚](鉄柄10丁代362文受取 に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→富永治 左衛門様・森田甚五兵衛様 虫損	(享保2年)西10月17日	堅紙・1通	む38-3-2-32
紺屋町六兵衛売上証文[覚](立付4つ仕立代516文受取に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→富永治左衛門様・ 森田甚五兵衛様	(享保2年)酉ノ10月17 日	堅紙・1通	む38-3-2-33
木町善次郎売上証文[覚](菖蒲2升代240文受取に付) 木町 善次郎／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→覚左衛門様	(享保2年)酉ノ10月17 日	堅紙・1通	む38-3-2-34
美濃屋市郎右衛門売上証文[覚](大はけ3枚代42文受取に 付) みのや(美濃屋)いち(市)郎右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六 郎右衛門→覚左衛門様	(享保2年)10月17日	横切継紙・1通	む38-3-2-35
紙屋町宇右衛門売上証文[御売上](大たか竹30筋緒代金1分 100文受取に付) 紙屋町宇右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井 平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛 門・須藤半弥→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿	享保2年酉10月17日	堅継紙・1通	む38-3-2-36
菊屋伝兵衛売上証文[御売上](四寸錠・硯石代錢208文受取 に付) きくや(菊屋)伝兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→ 宮本亦右衛門様	(享保2年)西10月20日	堅継紙・1通	む38-3-2-37
紺屋町六兵衛売上証文[御売上](鉄柄10挺代錢416文受取に 付) 紺屋町六兵衛→森田甚五兵衛様・富永治左衛門様 紙継目に 継目印あり	(享保2年)西10月20日	切紙・1通	む38-3-2-38
紙屋町左兵衛売上証文[覚](大ひさく1本代18文受取に付) 紙や(屋)町佐兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→ -	(享保2年)西10月20日	横切継紙・1通	む38-3-2-39
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭8俵代金2分受取に付) 亀蔵 村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・ 富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛 門殿 虫損	(享保2年)西10月21日	堅紙・1通	む38-3-2-40
紺屋町六兵衛売上証文[御売上覚](唐皮3枚代錢100文受取 に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→森田甚 五兵衛様・富永治左衛門様	(享保2年)酉ノ10月21 日	堅紙・1通	む38-3-2-41
善光寺西門伊左衛門売上証文[覚](いざる10ツ代362文受取 に付) 善光寺西門伊左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→ 清大夫様	(享保2年)10月27日	切紙・1通	む38-3-2-42
紙屋町宇右衛門他一名売上証文[御売上](黒檜鹿料130挺5 分5厘代金34両2分銀1匁受取に付) 紙屋町宇右衛門・紺屋町 六兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富 永治左衛門殿／(奥印)山越六右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・ 白井平左衛門様 継目印あり	享保2年酉10月28日	堅継紙・1通	む38-3-2-43
下高田村久右衛門売上証文[覚](越後高田釘・銚代31両1分3 匁2分9厘受取に付) 下高田村久右衛門／(奥印)佐久間貞右衛 門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)三輪長 右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井 平左衛門様	享保2年酉10月28日	堅継紙・1通	む38-3-2-44

む 9 藩政／財政／奥向勘定

(売上証文一括 享保2年11月)		封筒一括・27点	む38-4
[西之十一月分萬売上入](封筒)	(享保2年)西之11月	封筒・1点	む38-4-1
(11月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・26点	む38-4-2
河内屋金蔵売上証文[覚](大と1丁代75文受取に付) 河内や(屋)金蔵→平内殿 裏書[引合済]	(享保2年)11月14日	切紙・1通	む38-4-2-1
菊屋伝兵衛売上証文[覚](丹3兩代24文受取に付) 菊や(屋)伝兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→次右衛門様	(享保2年)西11月4日	竖紙・1通	む38-4-2-2
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭12俵代金3分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保2年)西11月5日	竖紙・1通	む38-4-2-3
中町儀兵衛売上証文[覚](鍛冶炭14俵代金2分24文受取に付) 中町儀兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保2年西11月6日	竖紙・1通	む38-4-2-4
中町九兵衛売上証文(丹3兩代18文受取に付) 中町九兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→市右衛門殿	(享保2年)西ノ11月5日	横切継紙・1通	む38-4-2-5
小法師兵部売上証文[覚](御筆30対代金1分300文受取に付) 小法師兵部／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→ -	(享保2年)西10月29日	竖継紙・1通	む38-4-2-6
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](太平墨50挺代191文受取に付) いせ(伊勢)屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様 虫損	享保2年西11月6日	竖継紙・1通	む38-4-2-7
紙屋町清右衛門売上証文[覚](御敷石代51貫352文受取に付) 紙屋町清右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保2年西ノ11月7日	竖紙・1通	む38-4-2-8
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭20俵代金1兩1分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保2年)西11月8日	竖紙・1通	む38-4-2-9
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](水引20把代24文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや(伊勢屋)伝右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様 紙継目に継目印あり	享保2年西11月11日	竖切紙・1通	む38-4-2-10
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](丹10兩代70文受取に付) (信州松城住増田氏)伊勢屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様	享保2年西11月11日	竖継紙・1通	む38-4-2-11
菊屋伝兵衛売上証文[覚](屋立1本代72文受取に付) きくや(菊屋)伝兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様	(享保2年)西11月13日	横切継紙・1通	む38-4-2-12
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](硯石2面代150文受取に付) いせ(伊勢)屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	享保2年西11月13日	竖紙・1通	む38-4-2-13
善光寺徳兵衛売上証文[覚](いざる5つ代179文受取に付) 善光寺徳兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→八郎右衛門殿	(享保2年)11月13日	横切継紙・1通	む38-4-2-14
紙屋町清右衛門売上証文[覚](御柱居石代61貫268文受取に付) 紙屋町清右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保2年西ノ11月13日	竖紙・1通	む38-4-2-15
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭16俵代金1兩受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保2年)西11月15日	竖紙・1通	む38-4-2-16
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](錠1つ代銭70文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや(伊勢屋)伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→角左衛門殿 虫損	(享保2年)西ノ11月17日	竖紙・1通	む38-4-2-17

伊勢屋伝右衛門売上証文〔御売上〕(墨・筆代24文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや(伊勢屋)伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様・宮本又右衛門様	(享保2年)酉11月18日	縦紙・1通	む38-4-2-18
亀蔵村七兵衛売上証文〔覚〕(炭20俵代金1両1分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保2年)酉11月21日	縦紙・1通	む38-4-2-19
亀蔵村七兵衛売上証文〔覚〕(炭24俵代金1両2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保2年)酉11月23日	縦紙・1通	む38-4-2-20
紙屋町清右衛門売上証文〔覚〕(御柱居石代33貫288文受取に付) 紙屋町清右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様 継目印あり	享保2年酉ノ11月23日	縦継紙・1通	む38-4-2-21
伊勢屋伝右衛門売上証文〔御売上〕(銭480文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや(伊勢屋)伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門様・塚田茂左衛門様	(享保2年)酉11月23日	縦紙・1通	む38-4-2-22
長崎庄介他六名人足賃支払約定証文〔覚〕(山中村々御用木根伐角取出方人足日用に付) 長崎庄介・内宇田万右衛門・矢野倉藤右衛門他4名／(奥印)大日方勘介・山越市之丞・白井平左衛門他1名→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥／(奥印)上曾山村肝煎貞右衛門・組頭四郎兵衛・五十平村肝煎彦四郎他152名(計46か村)→御普請御奉行所・道橋御奉行所→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿・山越一之丞殿他1名 継目印あり	享保2年酉11月・26日	縦継紙・1通	む38-4-2-23
亀蔵村七兵衛売上証文〔覚〕(鍛冶炭28俵代金1両2分9朱受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保2年)酉11月26日	縦紙・1通	む38-4-2-24
亀蔵村七兵衛売上証文〔覚〕(炭4俵代金1分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保2年)酉11月29日	縦紙・1通	む38-4-2-25
紺屋町材木屋六兵衛売上証文〔御売上〕(ししろ16丁代金4両2分銀14匁3分1厘受取に付) 紺屋町材木屋六兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保2年酉11月晦日	縦紙・1通	む38-4-2-26
(売上証文一括 享保2年12月)		封筒一括・30点	む38-5
[酉之十二月分萬売上入](封筒)	(享保2年)酉之12月	封筒・1点	む38-5-1
(12月分売上証文一括)		貼継巻込一括・29点	む38-5-2
矢代村市助兵衛他二名大工作料支払願書〔覚〕(戸障子工手間賃53人分金1両1分銀4匁5分受取に付) 矢代村市郎兵衛・森村源兵衛・同所儀兵衛／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)白井平左衛門殿・佐久間貞右衛門殿→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門／(奥印)望月治郎左衛門→	(享保2年)酉之12月4日	縦継紙・1通	む38-5-2-1
伊勢屋伝右衛門売上証文〔覚〕(車錠1つ代銭80文受取に付) (信州松代住増田氏)いせや(伊勢屋)伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田彦左衛門様	(享保2年)酉12月6日	縦紙・1通	む38-5-2-2
伊勢町勘之丞売上証文〔覚〕(竹筒1本代36文受取に付) 伊勢町勘之丞／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様	(享保2年)酉12月6日	縦紙・1通	む38-5-2-3
亀蔵村七兵衛売上証文〔覚〕(炭12俵代金3分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保2年)酉12月7日	縦紙・1通	む38-5-2-4

む 9 藩政／財政／奥向勘定

小松原村材木屋市之助売上証文[覚](松丸太19本代金4兩3分受取に付) 小松原村材木屋市之助／(奥印)大日方勘介・山越一之丞→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御奉行所	享保2年酉12月8日	竖紙・1通	む38-5-2-5
御馬屋町角内売上証文[覚](古畳床4畳代金1分受取に付) 御馬屋町角内／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→白井平左衛門様・佐久間貞右衛門様	(享保2年)酉之12月9日	竖紙・1通	む38-5-2-6
紺屋町久兵衛他一名売上証文[御売上](黒檜鹿料代35兩2分12匁2分受取に付) 紺屋町宇右衛門・紙屋町宇右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保2年酉12月8日	竖紙・1通	む38-5-2-7
紺屋町六兵衛売上証文[覚](天井板2枚代金1兩1分銀5匁3分6厘受取に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→森田甚五兵衛様・富永治左衛門様	享保2年酉12月9日	竖紙・1通	む38-5-2-8
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭36俵代金2兩1分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御かちや(鍛冶屋)勘右衛門殿	(享保2年)酉12月11日	竖紙・1通	む38-5-2-9
新町政之丞売上証文[覚](炭168俵代金7兩受取に付) 新町政之丞／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保2年酉12月11日	竖継紙・1通	む38-5-2-10
中町儀兵衛売上証文[覚](舞かき賃140坪代金1兩3分91文受取に付) 中町儀兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保2年酉12月12日	竖紙・1通	む38-5-2-11
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭52俵代金3兩1分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保2年)酉12月13日	竖紙・1通	む38-5-2-12
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭36俵代金2兩1分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保2年)酉12月15日	竖紙・1通	む38-5-2-13
紺屋村七兵衛売上証文[売上](豆腐1合代金12文受取に付) 紺屋村七兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→惣五郎右衛門殿	(享保2年)12月16日	横切継紙・1通	む38-5-2-14
紺屋町御屋根方請負今右衛門他一名売上証文[上御台所東ノ方御庇柿葺売上之事](屋根葺立代金3兩2分銀1分1厘7毛受取に付) 紺屋町御屋祿(根)方請負今右衛門・同所同断善右衛門／(奥印)大野吉之丞・小野六右衛門／(奥印)三輪長右衛門・小泉佐野右衛門→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿→ - む38-3-2-29が巻込、紙継目に継目印あり	享保2年酉12月	竖継紙・1通	む38-5-2-15
御屋根方請負人紙屋町宇右衛門売上証文[上御台所東之方御庇柿葺売上之事](屋根葺立代金3兩3分銀1匁9分5厘2毛受取に付) 御屋根方請負人紙屋町宇右衛門／(奥印)大野吉之丞・小野六右衛門／(奥印)三輪長右衛門・小泉佐野右衛門→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿→ - 紙継目に継目印あり	享保2年酉12月	竖継紙・1通	む38-5-2-16
御屋根方請負紺屋町六兵衛売上証文[上御台所東ノ方御庇柿葺売上之事](屋根葺立代金2兩3分銀1匁1分2厘5毛受取に付) 御屋祿(根)方請負紺屋町六兵衛／(奥印)大野吉之丞・小野六右衛門／(奥印)三輪長右衛門・小泉佐野右衛門→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→ - 継目印あり	享保2年酉ノ12月	竖継紙・1通	む38-5-2-17
沓野村久六他一名売上証文[差上申板四八御売上之事](城	享保2年酉12月17日	竖継紙・1通	む38-5-2-18

普請用材板四八代金4両2分12匁1分1厘2毛受取に付) 沓野村久六・湯田中村源七／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様 継目印あり			
鍛冶町鍛冶久介金銭受取証文[覚](鍛冶御用作料金2分銀9匁受取に付) 鍛冶町鍛冶久介(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	享保2年酉12月	堅紙・1通	む38-5-2-19
下高田村彦左衛門売上証文[御売上之事](秤代416文受取に付) 下高田村彦左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→森田甚五兵衛様・富永次左衛門様	享保2年酉ノ12月19日	堅紙・1通	む38-5-2-20
中町八兵衛売上証文[御売上上申御事](上五分板15枚代金1分受取に付) 中町八兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保2年酉之12月19日	堅紙・1通	む38-5-2-21
紺屋町六兵衛売上証文[覚](檜木鹿料1挺・五分板20枚代金3分銀1匁1分9厘受取に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→富永治左衛門様・森田甚五兵衛様	享保2年酉12月	堅紙・1通	む38-5-2-22
雨宮村神主丹波他四名金銭受取証文[覚](御城御用宮木代金6両受取に付) 雨宮村神主丹波・肝煎五郎右衛門他1名・組頭弥太夫他1名→牧平之丞殿 紙継目に継目印あり	享保2年酉ノ12月23日	堅紙・1通	む38-5-2-23
新町村神主主殿他一名金銭受取証文(御城御用宮木代金2両受取に付) 新町村神主主殿・肝煎与右衛門→内富万右衛門殿 紙継目に継目印あり	享保2年酉12月23日	堅紙・1通	む38-5-2-24
上条村神主若狭他一名金銭受取証文(御城御用宮木代金3両受取に付) 上条村神主若狭・肝煎彦左衛門→内富万右衛門殿 紙継目に継目印あり	享保2年酉12月23日	堅紙・1通	む38-5-2-25
粟佐村豊前他三名金銭受取証文[覚](御城御用宮木代金5両受取に付) 粟佐村豊前・肝煎平之丞・組頭門之丞他1名→牧平之丞殿 紙継目に継目印あり	享保2年酉之12月23日	堅紙・1通	む38-5-2-26
古間村神主筑後他二名金銭受取証文(御城御用宮木代金10両受取に付) 古間村神主筑後・肝煎弥右衛門・組頭伝右衛門→矢野倉藤右衛門殿 紙継目に継目印あり	享保2年酉12月23日	堅紙・1通	む38-5-2-27
桐原村神主対馬他四名金銭受取証文(御城御用宮木代金6両受取に付) 桐原村神主対馬・肝煎吉兵衛・組頭清右衛門他2名／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→長崎市郎右衛門殿 継目印あり	享保2年酉之12月23日	堅継紙・1通	む38-5-2-28
[上平御林御城御用材木根伐・角取・敷板大工木挽作料渡帳](大工木挽作料明細切手取り置きに付) 西村喜平治 挟込	享保2年酉12月	横長半・1冊	む38-5-2-29
(売上証文一括 享保3年8月～12月)		一括・145点	む17
(8月分売上証文一括)		封筒一括・62点	む17-1
[戌八月分売上](封筒)		封筒・1点	む17-1-1
(8月分売上証文貼継一括)		貼継一括・61点	む17-1-2
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](六寸刷毛代金150文受取に付) (信州松代住増田氏)いせ屋(伊勢屋)伝右衛門→清水孫左衛門様 裏書「一」	(享保3年)戌8月2日	堅紙・1通	む17-1-2-1
紺屋文八売上証文丁[覚](大平黒30丁代金100文受取に付) こん屋丁(紺屋町)文八／(奥書)須藤半弥・山越六郎右衛門→市右衛門殿 裏書「二」	(享保3年)戌8月2日	堅切紙・1通	む17-1-2-2
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](上竹柄3両代金100文受取に付) (信州松代住増田氏)いせ屋(伊勢屋)伝右衛門／(奥書)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様 裏書「三」	(享保3年)戌8月3日	堅紙・1通	む17-1-2-3
紺屋町六兵衛売上証文[覚](天井板627枚代金5両628文受取に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(宛所森田甚五兵衛殿・富永新平治左衛門殿／(奥書)須藤半弥・山越六郎	享保3年戌8月3日	堅紙・1通	む17-1-2-4

む 9 藩政／財政／奥向勘定

右衛門→御普請御奉行所 裏書「四」			
紺屋町忠右衛門売上証文[覚](馬草履10足代70文受取に付) 紺屋町忠右衛門→清水孫左衛門様 裏書「五」	(享保3年)戊8月6日	堅切紙・1通	む17-1-2-5
鍛冶町肝煎惣兵衛他九名売上証文[覚](天井板627枚代金5両628文受取に付) 鍛冶町肝煎惣兵衛・肴町肝煎甚兵衛・荒神町肝煎喜右衛門他7名(奥書)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所 裏書「六」	享保3年戊8月	堅紙・1通	む17-1-2-6
信州松代住伊勢屋増田伝右衛門売上証文[御売上](南蛮欠金50口代金2貫文受取に付)(信州松代住増田氏)伊勢屋伝右衛門(奥書)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門・清水孫左衛門 裏書「七」	享保3年戊8月7日	堅紙・1通	む17-1-2-7
信州松代住伊勢屋増田伝右衛門売上証文[御売上](砥白粉30個代184文受取に付)(信州松代住増田氏)いせ屋伝右衛門(奥書)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様 裏書「八」	享保3年戊8月7日	堅紙・1通	む17-1-2-8
信州松代中町嶋屋九兵衛売上証文[覚](口なし代20匁受取に付)(信州松代中町)嶋屋九兵衛(奥書)山越六郎右衛門・須藤半弥→高久長右衛門殿 裏書「九」	(享保3年)戊8月8日	堅継紙・1通	む17-1-2-9
下高田村彦左衛門売上証文[覚](大硯2面代252文受取に付)下高田村彦左衛門(奥書)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田藤左衛門殿 裏書「十」	(享保3年)戊8月8日	堅紙・1通	む17-1-2-10
東条村彦右衛門売上証文[覚](切石九ツ代運送賃銭1貫460匁受取に付) 東条村彦右衛門(奥書)佐倉貞右衛門・須藤半弥→森田甚五兵衛殿・富永次左衛門殿(奥書)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請方御役所様 裏書「十一」	享保3年戊8月8日	堅紙・1通	む17-1-2-11
地才鳥八兵衛他四名売上証文[覚](花の丸普請用切石輸送費1貫22分受取に付) 地才鳥八兵衛・御抱五右衛門・同断岩助他2名(奥書)佐倉貞右衛門・白井平左衛門→富永次左衛門殿・森田甚五兵衛殿(奥書)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請方御役所様 裏書「十二」	享保3年戊8月9日	堅紙・1通	む17-1-2-12
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](ひち坪2口他90文受取に付)(信州松代住増田氏)いせ屋伝右衛門(奥書)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様 裏書「十三」	(享保3年)戊8月10日	堅紙・1通	む17-1-2-13
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](輪掛金10口250文受取に付)(信州松代住増田氏)いせ屋伝右衛門(奥書)須藤半弥・山越六郎右衛門→大島小左衛門様 裏書「十四」	(享保3年)戊8月11日	堅紙・1通	む17-1-2-14
御安口村平右衛門売上証文[御売上](比丘尼錠前1つ代150文受取に付) 御安口村平右衛門(奥書)白井平左衛門(吉敬)・佐倉貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿(奥書)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間定右衛門様・白井平左衛門様 裏書「十五」	(享保3年)戊8月12日	堅切紙・1通	む17-1-2-15
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](2寸5分錠2つ150文受取に付)(信州松代住増田氏)いせ屋伝右衛門(奥書)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様 裏書「十六」	(享保3年)戊8月12日	堅切紙・1通	む17-1-2-16
嶋屋九兵衛売上証文[御売上](梔子3本代3文に付)(信州松代中町)嶋屋九兵衛(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→作兵衛殿 裏書「十七」	(享保3年)戊8月13日	堅紙・1通	む17-1-2-17
諏訪平助他二名売上証文[覚](雪隠火燵大小4つ代2両2朱受取に付) 諏訪平助・同断三郎兵衛(奥印)小泉佐次右衛門・武田権兵衛(盛勝)・田中与右衛門他1名→佐久間定右衛門様・白井平左衛門様吉敬→御棟梁中様 裏書「十八」	(享保3年)戊8月12日	堅紙・1通	む17-1-2-18
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](平坪10口等480文に付)(信州松代住増田氏)伊勢屋伝右衛門(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田藤左衛門殿 裏書「十九」	(享保3年)戊8月15日	堅紙・1通	む17-1-2-19
嶋屋九兵衛売上証文[御売上](丹石代75文に付)(信州松代中町)嶋屋九兵衛(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門殿 裏書「二十」	(享保3年)戊8月18日	堅紙・1通	む17-1-2-20
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](口なし10両代36文受取に付)	(享保3年)戊8月18日	堅紙・1通	む17-1-2-21

(信州松代住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門殿 裏書「二十一」			
小越町藤七売上証文[売上](藁草履4束代28文受取に付) 小越町藤七／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→吉右衛門殿 裏書「二十二」	(享保3年戊)8月18日	堅切紙・1通	む17-1-2-22
塩屋五右衛門売上証文[覚](塩3合代15文受取に付) 塩屋五右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様 裏書「二十三」	(享保3年)戊8月18日	堅切紙・1通	む17-1-2-23
上田鍛冶町戸兵衛売上証文[覚](吹金12貫余代2両受取に付) 上田かち町戸兵衛→松代段七殿 裏書「二十四」	(享保3年)戊5月3日	堅切紙・1通	む17-1-2-24
上田鍛冶町戸兵衛売上証文[覚](吹金24貫余代4両受取に付) 上田かち町戸兵衛→松代段七殿 紙継目に継目印あり	(享保3年)戊ノ5月12日	堅切紙・1通	む17-1-2-25
上田かこ屋太郎兵衛売上証文[覚](引荷1駄代62文受取に付) 上田かこ屋太郎兵衛→ - 紙継目に継目印あり	(享保3年)戊5月13日	切紙・1通	む17-1-2-26
上田鍛冶町戸兵衛売上証文[覚](吹金18貫600目受取に付) 上田かち町戸兵衛→佐藤貞右衛門様・白井平左衛門様／御使小林今右衛門殿 裏書「御使小林今右衛門殿」、紙継目に継目印あり	(享保3年)戊6月15日	堅紙・1通	む17-1-2-27
上田鍛冶町戸兵衛売上証文[覚](吹金18貫600目受取に付) 上田かち町戸兵衛→佐藤貞右衛門様・白井平左衛門様 裏書「御使小林今右衛門殿」、紙継目に継目印あり	(享保3年)戊ノ6月27日	堅紙・1通	む17-1-2-28
上田鍛冶町戸兵衛売上証文[覚](吹金18貫950目受取に付) 上田鍛冶町戸兵衛→佐藤貞右衛門様・白井平左衛門様 裏書「御使斉藤段七殿」、紙継目に継目印あり	(享保3年)戊ノ7月7日	堅紙・1通	む17-1-2-29
上田鍛冶町戸兵衛売上証文[覚](吹金23貫250目受取に付) 上田かち町戸兵衛→佐藤貞右衛門様・白井平左衛門様 奥書「御使斉藤段七殿」、紙継目に継目印あり	享保3年戊7月13日	堅紙・1通	む17-1-2-30
上田鍛冶町戸兵衛売上証文[覚](吹金27貫550目受取に付) 上田かち町戸兵衛→佐藤貞右衛門様・白井平左衛門様 奥書「御使吉池平内殿」、紙継目に継目印あり	享保3年戊8月4日	堅紙・1通	む17-1-2-31
上田鍛冶町戸兵衛売上証文[覚](吹金17貫550目受取に付) 上田鍛冶町戸兵衛→佐藤貞右衛門様・白井平左衛門様 奥書「御使吉池平内殿」、紙継目に継目印あり	享保3年戊ノ8月10日	堅紙・1通	む17-1-2-32
上田鍛冶町戸兵衛売上証文并団七他一名申上書[覚](吹金・運送費3両・銭49匁受取並びに吹金9口分支払済の旨) 上田かち町戸兵衛／(奥印)団七・今右衛門→御普請御奉行所／佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→富永治左衛門殿・森田吉兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐藤貞右衛門様・白井平左衛門様 奥書「御使倉田市右衛門殿」、紙継目に継目印あり	享保3年戊ノ8月16日	堅紙・1通	む17-1-2-33
嶋屋九兵衛売上証文[御売上ケ覚](丹石50両代75文受取に付) (信州松城中町)嶋屋九兵衛→大島小左衛門殿 裏書「二十五」	(享保3年)戊8月19日	堅紙・1通	む17-1-2-34
木町左兵衛売上証文[売上証文之事](しゅうふ1斗代936文受取に付) 木町左兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様 裏書「二十六」	(享保3年)戊ノ8月20日	堅紙・1通	む17-1-2-35
本町大工元右衛門他一名受取証文[覚](土蔵普請仕立てに付代金1両3分余受取に付) 本町大工元右衛門・雨宮村大工庄四郎／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門他1名→佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→富永次左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御棟梁衆中様 裏書「二十七」	(享保3年)戊ノ8月22日	堅継紙・1通	む17-1-2-36
清野村善大夫売上証文[覚](清野表35数代金1両1分余受取に付) 清野村善大夫／(奥印)白井平左衛門(吉敬)・佐久間貞右衛門・／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→富永次左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御奉行所 裏書「二十八」	(享保3年)戊6月23日	堅継紙・1通	む17-1-2-37
元や町七兵衛売上証文[覚](草履15足代金114文受取に付) 元や町七兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→覚左衛門殿 裏	(享保3年)8月23日	切紙・1通	む17-1-2-38

む 9 藩政／財政／奥向勘定

書「二十九」			
嶋屋九兵衛売上証文〔御売上ケ覚〕(煮石50兩代75文受取に付) (信州松城中町)嶋屋九兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大島小左衛門殿 裏書「三十」	(享保3年)戊ノ8月24日	豎紙・1通	む17-1-2-39
伊勢屋伝右衛門売上証文〔御売上〕(ひち坪5口代銀3匁受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大島小左衛門殿 裏書「三十一」	享保3年戊8月24日	豎紙・1通	む17-1-2-40
伊勢屋伝右衛門売上証文〔覚〕(大平墨30代100文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門殿・増田茂左衛門様 裏書「三十二」	(享保3年)戊8月24日	豎紙・1通	む17-1-2-41
伊勢屋伝右衛門売上証文〔覚〕(足掛合等代472匁受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門殿・増田茂左衛門様 裏書「三十三」	(享保3年)戊8月24日	豎継紙・1通	む17-1-2-42
伊勢屋伝右衛門売上証文〔覚〕(ひち坪10口代金50文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門殿 裏書「三十四」	(享保3年)戊8月25日	豎継紙・1通	む17-1-2-43
紙屋町新八売上証文〔御売上〕(草履10足代60文受取に付) 紙屋町新八／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→(清水)孫左衛門殿 裏書「三十五」	(享保3年)戊8月25日	切紙・1通	む17-1-2-44
紺屋町新平売上証文〔覚〕(御木蔵折廻四方下壁等左官落札・代金4貫107文受取に付) 紺屋町新平／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→富永次左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御奉行所 裏書「三十六」	享保3年戊8月24日	豎継紙・1通	む17-1-2-45
亀蔵村七兵衛売上証文〔覚〕(炭6俵代金1分余受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿 裏書「三十七」	享保3年戊8月25日	豎紙・1通	む17-1-2-46
伊勢屋伝右衛門売上証文〔覚〕(風呂敷2束代264文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大島小左衛門様・宮本又右衛門様 裏書「三十八」	享保3年戊8月25日	豎継紙・1通	む17-1-2-47
河内屋仁兵衛売上証文〔覚〕(錠2つ他代264文受取に付) (伊勢町)河内や仁兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門殿 裏書「三十九」	(享保3年)戊8月25日	豎継紙・1通	む17-1-2-48
紙屋町三次郎売上証文〔覚〕(草履20足代144文受取に付) かみや町三次郎／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様 裏書「四十」	(享保3年)8月26日	横切継紙・1通	む17-1-2-49
木町新右衛門売上証文〔御売上〕(上鈴4つ代164文受取に付) 木町新右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様 裏書「四十一」	(享保3年)戊8月26日	豎切紙・1通	む17-1-2-50
東寺屋伝左衛門売上証文〔売上之覚〕(いさる2つ代64文受取に付) 東寺屋伝左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御使五兵衛殿 裏書「四十二」	(享保3年)戊8月26日	横切継紙・1通	む17-1-2-51
伊勢屋伝右衛門売上証文〔御売上〕(式寸五分錠等代242文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様 裏書「四十三」	(享保3年)戊8月26日	豎紙・1通	む17-1-2-52
伊勢屋伝右衛門売上証文〔御売上〕(番納引1筋代金212文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様 裏書「四十四」	(享保3年)戊8月27日	豎紙・1通	む17-1-2-53
伊勢屋伝右衛門売上証文〔御売上〕(大刷毛10枚代250文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様 裏書「四十五」	(享保3年)戊8月27日	豎紙・1通	む17-1-2-54
伊勢屋伝右衛門売上証文〔覚〕(式寸五分錠等代161文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大島小左衛門様 裏書「四十六」	(享保3年)戊8月27日	豎紙・1通	む17-1-2-55
亀蔵村七兵衛売上証文〔覚〕(炭10俵代2分7匁受取に付) 亀	(享保3年)戊8月28日	豎紙・1通	む17-1-2-56

蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛殿・富永次左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿 裏書「四十七」			
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](針金代20文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様 裏書「四十八」	(享保3年)戊8月28日	堅紙・1通	む17-1-2-57
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](式寸錠代6匁受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様 裏書「四十九」	(享保3年)戊8月29日	堅紙・1通	む17-1-2-58
菊屋惣兵衛売上証文[御売上](棕櫚箒代480文受取に付) 菊屋惣兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→(宮木)又右衛門様	(享保3年)戊ノ8月晦日	堅紙・1通	む17-1-2-59
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](六寸刷毛代3匁5分受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大島小左衛門様	(享保3年)戊8月29日	堅紙・1通	む17-1-2-60
下高田村彦右衛門売上証文[覚](南蛮掛金1分110文受取に付) 下高田村彦右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→森田甚五兵衛様・富永次左衛門様	(享保3年)戊ノ8月29日	横切継紙・1通	む17-1-2-61
(9月分売上証文一括)		封筒一括・24点	む17-2
[戊9月分売上](封筒) 括紐付		括紐付封筒・1点	む17-2-1
[御荷物式駄六貫四百目道中駄賃払方帳] 大田勝之助同心重右衛門・河原利助同心伝右衛門／(奥印)佐藤吉右衛門・三輪長右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛門殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿 む17-3-3に疊込一括	享保3年戊8月	横長半・1冊	む17-2-2
(9月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・22点	む17-2-3
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](漆紙1束代16匁受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	(享保3年)戊9月朔日	堅紙・1通	む17-2-3-1
紺屋町安兵衛売上証文[覚](草履15束代109文受取に付) こんや町安兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→角左衛門殿	(享保3年)戊9月2日	横切紙・1通	む17-2-3-2
伊勢町伝右衛門売上証文[覚](式寸五分錠85文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様	(享保3年)戊9月3日	堅紙・1通	む17-2-3-3
武田貞八他一名売上証文[覚](細工3口分賃銭41貫余受取に付) 武田貞八・留河五左衛門(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中弥右衛門他1名→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)白井平左衛門殿(吉敬)・佐久間貞右衛門殿→富永次左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御棟梁衆中様	(享保3年)戊9月3日	堅紙・1通	む17-2-3-4
御屋祢方六兵衛他三名売上証文[御屋祢茸上目録](花ノ丸惣屋根等代金65貫余受取に付) 御屋祢方六兵衛他3名／(奥印)三輪長右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所	(享保3年)戊9月3日	堅紙・1通	む17-2-3-5
紺屋町六兵衛売上証文[覚](桶子代2分200文受取に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)三輪長右衛門／(奥印)白井平左衛門(吉敬)・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門(吉敬)様	享保3年戊9月5日	堅紙・1通	む17-2-3-6
川田重右衛門他一名売上証文[覚](木舞賃銭35貫674文受取に付) 川田重右衛門・代官町請人銀兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所	享保3年戊9月6日	堅紙・1通	む17-2-3-7
紙屋町宇右衛門売上証文[御売上之御事](畳・石炭等代17両2分受取に付) 紙屋町宇右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎	享保3年戊9月	堅紙・1通	む17-2-3-8

む 9 藩政／財政／奥向勘定

右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門(吉敬)様			
中町吉左衛門他一名売上証文[覚](花の丸屋形馬場崎番所 塀中途壁作事賃銭56貫212文受取に付) 中町吉左衛門・いせ 町治兵衛／(奥印)白井平左衛門(吉敬)・佐久間貞右衛門→富永治左 衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請 御奉行所	享保3年戊9月11日	縦継紙・1通	む17-2-3-9
森村善四郎他四名売上証文[覚](味噌部屋作事代1両1分余 受取に付) 森村善四郎・同所久三郎・同所武兵衛他2名／(奥印)小 泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門他1名→白井平左衛門殿・ 佐久間貞右衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→ 富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門 →御棟梁衆中様	享保3年戊8月27日	縦継紙・1通	む17-2-3-10
北市村加右衛門他一名売上証文[請取申候御証文之事](大 書院・小書院唐紙代1両・銀12貫受取に付) 北市村加右衛門・ いせ町左五兵衛／(奥印)田中与右衛門・増沢藤右衛門・武田権兵衛他 1名→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・ 白井平左衛門(吉敬)→・森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須 藤半弥・山越六郎右衛門→御棟梁衆中様	享保3年戊9月6日	縦継紙・1通	む17-2-3-11
新地村九兵衛他一名売上証文[覚](矢切・押返作事料2分7匁 余受取に付) 新地村九兵衛・綱島村安右衛門／(奥印)武田権兵 衛・小泉佐野右衛門・田中与右衛門他1名→佐久間貞右衛門殿・白井平 左衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→・森田甚五 兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御棟梁 衆中様	享保3年戊8月28日	縦継紙・1通	む17-2-3-12
馬喰町左兵衛他一名売上証文[覚](御用部屋2階作事代9匁 受取に付) 馬喰町左兵衛・荒神町源介／(奥印)増沢藤右衛門・田 中与右衛門・小泉佐野右衛門他1名→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛 門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→富永治左衛門 殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御棟梁衆中 様	享保3年戊8月28日	縦紙・1通	む17-2-3-13
追通村肝煎次郎右衛門他三名売上証文[御売上申一札之事] (不端切紙200束代16両2分受10匁受取に付) 追通村肝煎次 郎右衛門・桜村肝煎伊右衛門・入山村肝煎金左衛門他1名／(奥印)杉 山儀右衛門・篠崎円右衛門(精正)→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿 ／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→杉山儀右衛門様・篠崎円右衛門 (精正)様	享保3年戊9月	縦継紙・1通	む17-2-3-14
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](輪懸金2口代50文受取に 付) 伊勢屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫 左衛門様・塚田茂左衛門様	享保3年戊9月17日	縦切紙・1通	む17-2-3-15
嶋屋九兵衛売上証文[御売上ケ之覚](輪懸金2口代50文受取 に付) (信州松代中町)嶋屋九兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右 衛門→清大夫殿	(享保3年)戊9月18日	縦切紙・1通	む17-2-3-16
紺屋町曾右衛門売上証文[御売上之覚](醬麴2斗1升代1貫 966文受取に付) 紺屋町曾右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右 衛門→清水孫左衛門様・大島小左衛門様・塚田茂左衛門様・宮木五右 衛門様	(享保3年)戊9月19日	縦紙・1通	む17-2-3-17
紺屋町祖右衛門売上証文[覚](木舞・中塗・上塗等作事代82 貫523文受取に付) 紺屋町祖右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・ 白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須 藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所	享保3年戊9月18日	縦継紙・1通	む17-2-3-18
森村善四郎他一名売上証文[覚](御抱寄作事費3分・銀1匁6 分余受取に付) 森村善四郎・矢代村市郎兵衛／(奥印)武田権兵 衛・小泉佐野右衛門・田中与右衛門他1名→佐久間貞右衛門殿・白井平 左衛門(吉敬)殿／(奥印)・白井平左衛門(吉敬)・佐久間貞右衛門→富 永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→ 御棟梁衆中様 下ヶ札あり	享保3年戊8月8日	縦継紙・1通	む17-2-3-19
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](ひち坪1口代18文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右 衛門→大島加左衛門様・塚田茂左衛門様	享保3年戊9月23日	縦紙・1通	む17-2-3-20

伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](竿懸け金1口代18文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門殿	(享保3年)戊9月25日	縦紙・1通	む17-2-3-21
紺屋町新八売上証文[覚](火縄拾把代134文受取に付) 紺屋町新八／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様	(享保3年)9月26日	縦紙・1通	む17-2-3-22
(10月分売上証文一括)		封筒一括・20点	む17-3
[戊十月分売上](封筒) 括紐付		紐付封筒・1点	む17-3-1
(10月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・19点	む17-3-2
上田鍛冶町戸兵衛売上証文[覚](吹金並びに輸送代金12両余受取に付) 上田かち町戸兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様・御使小林七郎兵衛殿	享保3年戊9月25日	縦継紙・1通	む17-3-2-1
芝口式丁目と泉屋五郎兵衛売上証文[売上ケ之覚](上備後表等莫産代925匁4分余に付) 芝口式丁目と泉屋五郎兵衛→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保3年戊8月12日	縦紙・1通	む17-3-2-2
芝口式丁目と泉屋五郎兵衛売上証文[売上ケ之覚](備後表雨覆用琉球莫産代17匁5分に付) 芝口式丁目と泉屋五郎兵衛→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保3年戊8月12日	縦紙・1通	む17-3-2-3
尾張町弥兵衛売上証文[覚](白地白粉大牡丹唐紙1千枚代35匁受取に付) 尾張町弥兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様 「戊七月弘成ル」	享保3年戊9月21日	縦継紙・1通	む17-3-2-4
伊勢町善右衛門売上証文[覚](火縄5把代65匁受取に付) いせ町善右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→市右衛門殿	享保3年戊10月朔日	縦継紙・1通	む17-3-2-5
下田町又市売上証文[覚](本丸馬出御櫓塀荒壁塗代2貫余受取に付) 下田町又市／(奥印)白井平左衛門(吉敬)・佐久間貞右衛門→・富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御奉行所	享保3年戊10月朔日	縦継紙・1通	む17-3-2-6
中町松右衛門売上証文[覚](本丸御屋形番所塀壁塗代120貫文受取に付) 中町松右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所	享保3年戊10月2日	縦継紙・1通	む17-3-2-7
紺屋町新平売上証文[覚](本丸馬出御櫓塀荒壁塗代賃銭965文受取に付) 紺屋町新平／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御奉行所	享保3年戊10月2日	縦継紙・1通	む17-3-2-8
紙屋町三郎治売上証文[覚](火縄3把代39文受取に付) 紙屋町三郎治／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→喜平次殿	(享保3年)10月3日	横切継紙・1通	む17-3-2-9
嶋屋九兵衛売上証文[御売上ケ之覚](煮石代受取に付) (信州松代中町)嶋屋九兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→平七殿	(享保3年)戊10月6日	縦紙・1通	む17-3-2-10
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](吉野紙1束代100文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	(享保3年)戊10月9日	縦継紙・1通	む17-3-2-11
みのや甚五衛門売上証文[御売上之覚](塩俵代300文受取に付) みの屋甚五右衛門(吉定)／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	享保3年戊10月9日	縦紙・1通	む17-3-2-12
亀倉村七兵衛売上証文[覚](炭20俵代1両1分受取に付) 亀倉村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊10月15日	縦紙・1通	む17-3-2-13
亀倉村七兵衛売上証文[覚](炭36俵代2両1分に付) 亀倉村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛	(享保3年)戊ノ10月17日	縦紙・1通	む17-3-2-14

む 9 藩政／財政／奥向勘定

殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿			
みの屋甚五右衛門売上証文[御売上之覚](塩俵6つ代1匁3分余に付) みの屋甚五右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門様	(享保3年)戌ノ10月17日	堅切紙・1通	む17-3-2-15
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](錠1つ代1匁7分余に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	(享保3年)戌ノ10月19日	堅切紙・1通	む17-3-2-16
下田町又市売上証文[覚](二ノ丸櫓塀荒壁塗り上げ賃銭受取に付) 下田町又市／(奥印)白井平左衛門(吉敬)佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御奉行所	享保3年戌10月22日	堅切紙・1通	む17-3-2-17
紺屋町新平売上証文[覚](二ノ丸櫓塀荒壁塗り上げ賃銭受取に付) 紺屋町新平／(奥印)白井平左衛門(吉敬)・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所	享保3年戌10月23日	堅継紙・1通	む17-3-2-18
いせ屋伝右衛門売上証文[覚](大輪付け金代280文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様	(享保3年)戌10月28日	堅継紙・1通	む17-3-2-19
(閏10月分売上証文一括)		封筒一括・24点	む17-4
[戌閏10月分売上](封筒) 括紐付		括紐付封筒・1点	む17-4-1
(閏10月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・23点	む17-4-2
下田町又市売上証文[覚](二ノ丸塀櫓壁塗り上げ賃銭4貫172文受取に付) 下田町又市／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所 端書「一」	享保3年戌閏10月7日	堅切紙・1通	む17-4-2-1
紺屋町新平売上証文[覚](二ノ丸門迄塀櫓本廻り仕上坪御検地請賃銭1貫388文受取に付) 紺屋町新平／(奥印)白井平左衛門(吉敬)・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所 端書「二」	享保3年戌閏10月7日	堅継紙・1通	む17-4-2-2
菊屋伝兵衛売上証文[覚](廿五間算盤1間代300文受取に付) 菊屋伝兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門殿・大島五左衛門殿 端書「三」	享保3年戌閏10月7日	堅継紙・1通	む17-4-2-3
新町政之丞売上証文[覚](松本直買材木関係代11貫3文受取に付) 新町政之丞／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所 端書「四」	享保3年戌10月8日	堅継紙・1通	む17-4-2-4
菊屋伝兵衛売上証文[御売上](算盤1間代300文受取に付) きくや伝兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様・大島五左衛門様 端書「五」	(享保3年)戌閏10月8日	堅切紙・1通	む17-4-2-5
八田嘉右衛門他一名売上証文[覚](備後筵等雜貨代190兩2分余受取に付) 八田嘉右衛門・増田徳左衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所	享保3年戌之閏10月10日	堅継紙・1通	む17-4-2-6
紙屋町宇右衛門他一名売上証文[御売上](墨桧粗料等1兩1分受取に付) 紙屋町宇右衛門・紺屋町六兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様 端書「七」	享保3年戌閏10月10日	堅継紙・1通	む17-4-2-7
西条村四郎兵衛他一名売上証文[覚](東条村より花の丸まで切石運送費1貫126文受取に付) 西条村四郎兵衛・□町作右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門→富永治左衛門・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間定右衛門様 端書「八」	享保3年戌閏10月10日	堅継紙・1通	む17-4-2-8
御安口石切岡右衛門売上証文[覚](切石作料1兩と10匁受取に付) 御安口石切岡右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門→森田甚五	享保3年戌閏10月10日	堅継紙・1通	む17-4-2-9

兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所 端書「九」			
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](二寸五分錠2つ代1150文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様 端書「十」	(享保3年)戊閏10月10日	縦継紙・1通	む17-4-2-10
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](口なし半斤等代130文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大島小左衛門様 端書「十一」	(享保3年)戊後(閏)10月10日	縦継紙・1通	む17-4-2-11
中町又兵衛金銭受取証文[覚](吉野紙1束代112文受取に付) 中町又兵衛→作兵衛殿 端書「十二」	(享保3年)戊閏10月11日	縦継紙・1通	む17-4-2-12
鼠宿村喜八他三名売上証文[覚](鴨居等作事料1両3分余受取に付) 鼠宿村喜八・山田村佐次右衛門・河口村左兵衛他1名／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門他1名→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御棟梁中様 端書「十三」	享保3年戊閏10月11日	縦紙・1通	む17-4-2-13
紺屋町善右衛門他二名受取証文[覚](丸馬出し櫓1つ等代4貫512匁余受取に付) 紺屋町善右衛門・同町六兵衛・紙屋町宇右衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様 端書「十四」	享保3年戊閏10月11日	縦紙・1通	む17-4-2-14
田中弥兵衛受取証文[覚](火燵代1両余受取に付) 田中弥兵衛／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・武田権兵衛他1名→白井平左衛門殿・佐久間貞右衛門殿／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御棟梁衆中様 端書「十五」	享保3年戊閏10月13日	縦紙・1通	む17-4-2-15
新町村筏庄屋太兵衛他三名受取証文[覚](御用木筏乗賃25貫200文受取に付) 新町村筏庄屋太兵衛・水内村肝煎市之助・筏乗／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所 端書「十六」	享保3年戊閏10月16日	縦継紙・1通	む17-4-2-16
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](表土佐紙代25文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大島小左衛門様・清水孫左衛門様 端書「十七」	(享保3年)戊閏10月17日	縦紙・1通	む17-4-2-17
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](朱塗・硯石代93文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様 端書「十八」	(享保3年)戊閏10月20日	縦紙・1通	む17-4-2-18
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](算盤2丁代600文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様 端書「十九」	享保3年戊閏10月21日	縦紙・1通	む17-4-2-19
島屋九兵衛受取証文[覚](石15表代22文受取に付) (信州松城中町)島屋九兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→政右衛門殿 端書「廿」	(享保3年)戊閏10月22日	縦紙・1通	む17-4-2-20
和泉屋五郎兵衛受取証文[売上ケ之覚](上備後表等代350目受取に付) 芝口式丁目和泉屋五郎兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様 端書「廿一」、「閏十月廿三日捨引」	享保3年戊8月朔日	縦継紙・1通	む17-4-2-21
川合村七郎兵衛他三名受取証文[覚](材木筏引届賃銭40貫400文受取に付) 川合村七郎兵衛・同村理右衛門・同村佐野右衛門他1名／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所 端書「廿二」	(享保3年)戊8月朔日	縦継紙・1通	む17-4-2-22
[江戸より松代迄御荷物宅駄分駄賃扣帳] 竹内庄左衛門同心才領甚七／(奥印)三輪長右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永新平・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所 む17-5-2-21に貼付	享保3年戊8月7日	横長半・1冊	む17-4-2-23
(11月分売上証文貼継一括)		封筒一括・10点	む17-5

[戌十一月分売上](封筒)		括紐付封筒・1点	む17-5-1
(11月分炭売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・4点	む17-5-2
亀倉村弥左衛門売上証文[覚](炭42俵代3分受取に付) 亀倉村弥左衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戌之11月9日	堅切紙・1通	む17-5-2-1
亀蔵村弥左衛門売上証文[覚](炭18俵代1両と銀7匁5分受取に付) 亀蔵村弥左衛門→御鍛冶勘右衛門殿	享保3年戌之11月11日	堅紙・1通	む17-5-2-2
亀蔵村弥左衛門売上証文[覚](炭18俵代1両と銀7匁5分受取に付) 亀蔵村弥左衛門→御鍛冶勘右衛門殿	享保3年戌之11月13日	堅紙・1通	む17-5-2-3
亀倉弥左衛門売上証文并須藤半弥他一名申上書[覚](鍛冶炭16俵代1両受取に付並びに売上証文4通分支払い見届の旨) 亀倉村弥左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保3年)戌11月15日	堅紙・1通	む17-5-2-4
(11月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・5点	む17-5-3
伊勢町善右衛門売上証文[覚](鉄柄10挺代312文に付) いせ町善右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→角左衛門殿 裏書「一」	(享保3年)戌ノ11月朔日	堅紙・1通	む17-5-3-1
紺屋町六兵衛売上証文[御売上之覚](天井板380枚代2両1分余受取に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五左衛門殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所 裏書「二」	享保3年戌11月朔日	堅紙紙・1通	む17-5-3-2
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](御印書10封代200文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・大嶋小左衛門様 裏書「三」	享保3年戌11月14日	堅紙・1通	む17-5-3-3
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上之覚](四対物書10封代200余受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門様・宮本又右衛門様	享保3年戌ノ11月29日	堅紙紙・1通	む17-5-3-4
紺屋町祖右衛門売上証文[差上申御売上](しやうふ9升代842文受取に付) 紺屋町祖右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様・塚田茂右衛門様	(享保3年)戌11月29日	堅紙・1通	む17-5-3-5
(12月分売上証文一括)		封筒一括・5点	む17-6
[戌十二月分売上](封筒)		括紐付封筒・1点	む17-6-1
(12月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・4点	む17-6-2
下高田村彦左衛門売上証文[御用釘御売上之覚](釘代78両1分余受取に付) 下高田村彦左衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)三輪長右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→(御普請)御奉行所	享保3年戌ノ12月17日	堅紙紙・1通	む17-6-2-1
八田嘉右衛門売上証文[御用釘御売上](釘代6貫460文受取に付) 八田嘉右衛門／(奥印)白井貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚莫左衛門殿・富永治左衛門殿／(奥印)三輪長右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→(御普請)御奉行所	享保3年戌ノ12月	堅紙紙・1通	む17-6-2-2
木町嘉兵衛売上証文[御売上](緑布等代7匁5分に付) 木町(菊屋)嘉兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門(吉敬)→森田甚五左衛門殿・富永治左衛門殿／(奥印)三輪長右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→(御普請)御奉行所	享保3年戌ノ極月7日	堅紙紙・1通	む17-6-2-3
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](三対物書5対に付)(信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様	(享保3年)戌極月24日	堅紙・1通	む17-6-2-4
(売上証文一括 享保3年2月～7月)		紙綴束・262点	む49

(2月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・28点	む49-1
[戌二月分売上](封筒)	(享保3年)戌2月	封筒・1点	む49-1-1
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](錠代72文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門様	享保3年戌正月28日	縦継紙・1通	む49-1-2-1
紺屋町文八売上証文[覚](中間薄縁代1分30文受取に付) 紺屋町文八／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→覚右衛門殿	(享保3年)戌2月朔日	縦紙・1通	む49-1-2-2
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](錠磨き代60文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門殿	(享保3年)戌2月7日	切紙・1通	む49-1-2-3
紙屋町新八売上証文[覚](砥石代32文受取に付) かみや町新八／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→又右衛門殿	(享保3年)戌2月11日	切紙・1通	む49-1-2-4
武田定八他一名売上証文[御金請取申候証文之事](上御台所他作料17兩1分受取に付) 武田定八・入札請負平助／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所	享保3年戌2月16日	縦継紙・1通	む49-1-2-5
美濃屋清八売上証文[覚](麻布代200文受取に付) 美濃屋清八／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→伝左衛門殿	(享保3年)戌2月18日	堅切紙・1通	む49-1-2-6
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](丹石代10文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門様	(享保3年)戌2月18日	縦継紙・1通	む49-1-2-7
増田徳左衛門売上証文[御買上](丹石代30文受取に付) (信州松城住増田氏)増田徳左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御使市右衛門殿	(享保3年)戌2月19日	縦継紙・1通	む49-1-2-8
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](丹石代60文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様	(享保3年)戌2月20日	横切継紙・1通	む49-1-2-9
川田村重右衛門他一名売上証文[覚](御台所他請賃銭5貫442文受取に付) 川田村重右衛門・大官町請人銀兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保3年戌2月21日	縦継紙・1通	む49-1-2-10
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](硯石代90文受取に付) いせや(伊勢屋)伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門殿・大嶋小左衛門殿	(享保3年)戌2月23日	縦継紙・1通	む49-1-2-11
熊野屋太郎右衛門売上証文[覚](丹石代60文受取に付) (松城伊勢町熊野屋)熊野屋太郎右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清太夫殿	(享保3年)戌2月24日	縦紙・1通	む49-1-2-12
増田徳左衛門売上証文[御売上](筆墨代25匁受取に付) (信州松城住増田氏)増田徳左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門殿	(享保3年)戌2月24日	縦継紙・1通	む49-1-2-13
伊勢町徳兵衛売上証文[覚](せうふ代50文受取に付) いせ町徳兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→	(享保3年)戌2月24日	横切継紙・1通	む49-1-2-14
河内屋作右衛門売上証文[覚](青赤紙代35文受取に付) 河内屋作右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→尚右衛門殿	(享保3年)2月25日	横切継紙・1通	む49-1-2-15
菊屋伝兵衛売上証文[御売上](小倉御袴地代1兩1分余受取に付) 菊屋伝兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門殿・塚田茂左衛門殿	享保3年戌2月25日	縦紙・1通	む49-1-2-16
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](砥石代他189文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様・塚田茂左衛門様	(享保3年)戌2月27日	横切継紙・1通	む49-1-2-17
川合村御代乗六之丞他三名売上証文[覚](松本御伐木の乗賃12貫24文受取に付) 川合村御代乗六之丞・同所同断吉右衛門・同所同清兵衛・同所同勘兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右	享保3年戌2月28日	縦継紙・1通	む49-1-2-18

む 9 藩政／財政／奥向勘定

衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所			
紙屋町宇右衛門売上証文[天井板御売上之御事](天井板代15両1分余受取に付) 紙屋町宇右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保3年戊2月28日	縦継紙・1通	む49-1-2-19
中町与七売上証文[覚](徳利代55文受取に付) 中町与七／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→次太夫殿	(享保3年)2月28日	横切継紙・1通	む49-1-2-20
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](錠代166文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御使角左衛門殿	(享保3年)戊2月28日	横切継紙・1通	む49-1-2-21
善光寺権左衛門他一名売上証文[他所穴ほり御作料請取証文之事](穴ほり代金1分余受取に付) 善光寺権左衛門・源八／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿→御奉行所	享保3年戊之2月29日	縦継紙・1通	む49-1-2-22
伊勢町嘉七売上証文[覚](麻布代880文受取に付) 伊勢町嘉七／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門殿	(享保3年)戊2月28日	縦継紙・1通	む49-1-2-23
郡村新九郎売上証文[覚](御長局戸障子作料5両1分余受取に付) 郡村新九郎／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・武田権兵衛・田中与右衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿	(享保3年)戊2月29日	縦継紙・1通	む49-1-2-24
御安口佐右衛門他六名売上証文[御金請取申証文之事](御長局板敷他作料11両余受取に付) 御安口佐右衛門・十人町次郎兵衛・いせ町太郎兵衛他4名／(奥印)田中与右衛門・武田権兵衛・増沢藤右衛門・小泉佐野右衛門／白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥書)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所	享保3年戊ノ2月晦日	縦継紙・1通	む49-1-2-25
紺屋町六兵衛売上証文(立時仕立代116文受取に付) こん屋町六兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→富永治左衛門様・森田甚五兵衛様	享保3年戊3月晦日	堅切紙・1通	む49-1-2-26
河内屋作兵衛売上証文[覚](丹石代124文受取に付) 河内屋作兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→小野里三左衛門殿・社里儀左衛門殿	(享保3年)2月30日	縦継紙・1通	む49-1-2-27
(3月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・35点	む49-2
[戊三月分売上](封筒)		封筒・1点	む49-2-1
御鍛冶勘右衛門売上証文[覚](鍛冶御用作料3分余受取に付) 御鍛冶勘右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所	享保3年戊3月朔日	堅紙・1通	む49-2-2-1
中町松右衛門売上証文[覚](御台所他壁塗上賃銭19貫582文受取に付) 中町松右衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所	享保3年戊3月3日	縦継紙・1通	む49-2-2-2
新町政之丞売上証文[覚](鍛冶炭代11両1分余受取に付) 新町政之丞／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥書)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保3年戊3月8日	縦継紙・1通	む49-2-2-3
川田村重右衛門他一名売上証文[覚](大手御番所他請賃銭3貫144文受取に付) 川田村重右衛門・代官町請人銀兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保3年戊3月9日	縦継紙・1通	む49-2-2-4
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保3年)戊ノ3月10日	堅紙・1通	む49-2-2-5

熊野屋太郎右衛門売上証文[覚](丹石150文受取に付) (松城伊勢町熊野屋)熊野屋太郎右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御使清太夫殿	(享保3年)戊ノ3月10日	縦紙・1通	む49-2-2-6
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保3年)戊ノ3月11日	縦紙・1通	む49-2-2-7
善光寺利左衛門売上証文[覚](いさる代60文受取に付) 善光寺利左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→市右衛門殿	(享保3年)3月11日	縦紙・1通	む49-2-2-8
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保3年)戊ノ3月13日	縦紙・1通	む49-2-2-9
善光寺権右衛門売上証文[覚](いさる代35文受取に付) せんかうじ(善光寺)権右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→次郎右衛門殿	(享保3年)戊3月13日	切紙・1通	む49-2-2-10
紺屋町六兵衛売上証文[御売上之覚](黒さわら代他2両644文受取に付) 紺屋町六兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→森田甚五兵衛様・富永治左衛門様	(享保3年)戊3月13日	縦紙・1通	む49-2-2-11
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保3年)戊3月16日	縦紙・1通	む49-2-2-12
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上覚](針金代134文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門殿	(享保3年)戊3月17日	切紙・1通	む49-2-2-13
伊勢町徳兵衛売上証文[覚](せうふ代100文受取に付) いせ町徳兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→次右衛門殿	(享保3年)3月17日	横切継紙・1通	む49-2-2-14
伊勢町弥五助売上証文[覚](麻布代748文受取に付) 伊勢町弥五助／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門殿	享保3年戊3月17日	横切継紙・1通	む49-2-2-15
中町松右衛門売上証文[覚](御台所他壁塗上賃銭14貫846文受取に付) 中町松右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所	享保3年戊3月	縦紙・1通	む49-2-2-16
熊野屋太郎右衛門売上証文[覚](丹石代300文受取に付) (松城伊勢町熊野屋)熊野屋太郎右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清太夫殿	(享保3年)戊3月18日	縦紙・1通	む49-2-2-17
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊3月19日	縦紙・1通	む49-2-2-18
伊勢町弥五介売上証文[覚](麻布200文受取に付) 伊勢町弥五介／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門殿	享保3年戊3月19日	縦紙・1通	む49-2-2-19
筆屋市兵衛売上証文[覚](筆代288文受取に付) 筆屋市兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門殿	(享保3年)3月19日	縦紙・1通	む49-2-2-20
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保3年)戊3月21日	縦紙・1通	む49-2-2-21
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](金入水引・のし代232文受取に付) (信州松城増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本亦右衛門殿	(享保3年)戊3月21日	縦継紙・1通	む49-2-2-22
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](金入水引代90文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本亦右衛門殿	(享保3年)3月22日	縦継紙・1通	む49-2-2-23
森田甚五兵衛他一名祝儀書上[覚](棟梁・大工他御棟上御祝儀14両3分余下されるに付) 森田甚五兵衛・富永治左衛門／(奥印)三輪長右衛門→ -	享保3年戊3月23日	横切継紙・1通	む49-2-2-24

む 9 藩政／財政／奥向勘定

亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代2両受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保3年)戊3月25日	堅紙・1通	む49-2-2-25
紺屋町新平他一名売上証文[覚](上下御台所土天井裏表荒壁塗上賃銭9貫268文受取に付) 紺屋町新平・同町八郎兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保3年戊3月25日	堅継紙・1通	む49-2-2-26
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代2両1分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶屋勘右衛門殿	(享保3年)戊3月27日	堅紙・1通	む49-2-2-27
紙屋町宇右衛門売上証文[覚](天井板代5両余受取に付) 紙屋町宇右衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所	享保3年戊3月27日	堅継紙・1通	む49-2-2-28
紙屋町宇右衛門売上証文[覚](天井板代6両余受取に付) 紙屋町宇右衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所	享保3年戊之3月27日	堅継紙・1通	む49-2-2-29
御鍛冶屋勘右衛門売上証文[覚](鍛冶御細工御用作料2分余受取に付) 御鍛冶屋勘右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保3年戊3月29日	堅紙・1通	む49-2-2-30
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](鐘金100文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様・清水孫左衛門様	(享保3年)戊3月29日	堅継紙・1通	む49-2-2-31
武田貞八他一名売上証文[御金請取申候証文之事](御膳立・御物置他作料17両1分余受取に付) 武田貞八・入札請負平助／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎兵衛・須藤半弥→小泉佐野右衛門様・増沢藤右衛門様・田中与右衛門様・武田権兵衛様	享保3年戊3月	堅継紙・1通	む49-2-2-32
(松本へ被遣道中上下御賄駄賃帳一括)		巻込一括・1点	む49-2-3
[就御用松本へ被遣候道中上下御賄駄賃帳] 関田庄介・大塚兵蔵／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)三輪長右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿 　む49-2-2に巻込	享保3年戊3月10日	横長半・1冊	む49-2-3-1
[御用ニ付松本へ被遣候道中上下御賄駄賃帳] 大塚兵蔵／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿	享保3年戊3月8日	横長半・1冊	む49-2-3-2
(4月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・43点	む49-3
[戊四月分売上](封筒)		封筒・1点	む49-3-1
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1匁1分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊之4月2日	堅紙・1通	む49-3-2-1
紺屋町庄右衛門他一名売上証文[御金請取申候証文之事](大御門御柱穴作料2両3分余受取に付) 紺屋町庄右衛門・河口村左兵衛／(奥印)武田権兵衛・田中与右衛門・増沢藤右衛門・小泉佐野右衛門→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御棟梁衆中	享保3年戊4月朔日	堅継紙・1通	む49-3-2-2
伊勢町勘左衛門売上証文[御売上申候事](くわから拾丁代312文受取に付) 伊勢町勘左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門殿	享保3年戊4月2日	堅紙・1通	む49-3-2-3

熊野屋太郎右衛門売上証文[覚](丹石代300文受取に付) 熊野屋太郎右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清太夫殿	(享保3年)戊ノ4月3日	縦紙・1通	む49-3-2-4
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊4月4日	縦紙・1通	む49-3-2-5
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](墨代5匁受取に付) (信州松城住増田氏)伊勢屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門殿	(享保3年)戊4月4日	縦継紙・1通	む49-3-2-6
新町惣兵衛売上証文(五葉鹿料36両余受取に付) 新町惣兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所	享保3年戊4月4日	縦継紙・1通	む49-3-2-7
紺屋町新平他一名売上証文[指上申一札之事](御台所土天井上下中途代2両513文受取に付) 紺屋町新平・同所八郎兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請場御奉行所	享保3年戊4月5日	縦継紙・1通	む49-3-2-8
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊4月6日	縦紙・1通	む49-3-2-9
御安口石屋岡右衛門他四名売上証文[覚](作料2両3分余受取に付) 御安口石屋岡右衛門・同平六・同文左衛門・同平介・同平七／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御棟梁衆中様	享保3年戊ノ4月7日	縦継紙・1通	む49-3-2-10
善光寺岩石町市郎兵衛売上証文[覚](銚正味代2両3分受取に付) 善光寺岩石町市郎兵衛→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様・御使弥太夫殿／(奥書)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥書)須藤半弥・山越六郎右衛門	(享保3年)戊4月5日	横切継紙・1通	む49-3-2-11
善光寺六右衛門売上証文[覚](米とうし1つ他代100文受取に付) 善光寺六右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清太夫様	(享保3年)戊4月7日	横切紙・1通	む49-3-2-12
伊勢町弥五介売上証文[覚](麻布代400文受取に付) 伊勢町弥五介／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門殿	(享保3年)戊4月8日	堅切紙・1通	む49-3-2-13
肴町甚介売上証文[覚](塩たわら代64文受取に付) 肴町甚介／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様	(享保3年)卯月8日	横切紙・1通	む49-3-2-14
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊4月9日	縦継紙・1通	む49-3-2-15
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両3分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊4月13日	縦紙・1通	む49-3-2-16
水内村肝煎市之助売上証文[覚](筏乗賃23両3分受取に付) 水内村肝煎市之助・筏乗三拾人／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所	享保3年戊之4月13日	縦継紙・1通	む49-3-2-17
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊4月17日	縦紙・1通	む49-3-2-18
木町嘉右衛門売上証文[御売上](御用釘指上代金56両1分余受取に付) 木町嘉右衛門／(奥書)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥書)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保3年戊ノ4月	縦継紙・1通	む49-3-2-19
中町平七売上証文[覚](くわから代372文受取に付) 中町平七／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→作兵衛殿	(享保3年)4月19日	横切継紙・1通	む49-3-2-20
善光寺岩石町市郎兵衛売上証文[御売上](銚正味代2両3分余受取に付) 善光寺岩石町市郎兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎	享保3年戊4月19日	横切継紙・1通	む49-3-2-21

む 9 藩政／財政／奥向勘定

右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様・御使喜平次殿 下ヶ札あり			
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊4月21日	堅紙・1通	む49-3-2-22
川合村筏乗七郎兵衛他一名売上証文(五葉鹿料1両2分124文受取に付) 川合村筏乗七郎兵衛・同村同断小右衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所	享保3年戊4月22日	堅紙・1通	む49-3-2-23
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊之4月22日	堅紙・1通	む49-3-2-24
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](硯石・丹石代260文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	享保3年戊4月22日	堅継紙・1通	む49-3-2-25
伊勢町治兵衛他一名売上証文(御長屋他中塗壁賃銭16両1分余受取に付) 伊勢町治兵衛・中町吉左衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所	享保3年戊4月	堅継紙・1通	む49-3-2-26
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](古書・朱墨代80文受取に付)(信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様	(享保3年)戊4月23日	堅継紙・1通	む49-3-2-27
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊4月24日	堅紙・1通	む49-3-2-28
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊4月25日	堅紙・1通	む49-3-2-29
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](筆代832文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門様・宮本又右衛門様	享保3年戊4月25日	堅継紙・1通	む49-3-2-30
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](膠・胡粉代154文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門様・大嶋小左衛門様	享保3年戊4月25日	堅切紙・1通	む49-3-2-31
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](膠・胡粉代206文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様・大嶋小左衛門様	享保3年戊4月26日	堅継紙・1通	む49-3-2-32
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](膠・胡粉代68文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様	(享保3年)戊4月26日	堅継紙・1通	む49-3-2-33
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊之4月27日	堅紙・1通	む49-3-2-34
裏町平兵衛他二名売上証文[覚](三ヶ所織簀御作料1両2歩余受取に付) 裏町平兵衛・留竹五左衛門・上田弥七／(奥印)小泉佐野右衛門・武田権兵衛・田中与右衛門・増沢藤右衛門→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御棟梁衆中様	(享保3年)4月27日	堅継紙・1通	む49-3-2-35
下高田村久右衛門売上証文[御売上](御用釘指上代157両1分余受取に付) 下高田村久右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門様・白井平左衛門様	享保3年戊4月28日	堅継紙・1通	む49-3-2-36
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](丹石代154文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様・宮元又右衛門様	(享保3年)戊4月29日	堅継紙・1通	む49-3-2-37

亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭代1両2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊4月晦日	堅紙・1通	む49-3-2-38
鍛冶町清九郎売上証文[覚](はじき仕立代848文受取に付) 鍛冶町清九郎／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門殿・宮本又右衛門殿	(享保3年)戊4月晦日	堅紙・1通	む49-3-2-39
伊勢屋伝右衛門売上証[御売上](すミ代5匁受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様・宮本又右衛門様	(享保3年)戊4月晦日	堅切紙・1通	む49-3-2-40
新町政之丞売上証文[覚](麻布代6貫64文受取に付) 新町政之丞／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門殿・大嶋小左衛門殿	享保3年戊4月晦日	堅紙・1通	む49-3-2-41
政之丞売上証文[覚](中麻布・下麻布代58貫52文受取に付) 政之丞／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門殿・塚田茂左衛門殿	享保3年戊4月晦日	堅紙・1通	む49-3-2-42
(5月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・44点	む49-4
[戊五月分売上](封筒)		封筒・1点	む49-4-1
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](太平墨三把代100文受取に付) (信州松城住増田氏)伊勢屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門殿・太嶋小左衛門殿	(享保3年)戊ノ5月朔日	堅紙・1通	む49-4-2-1
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭42表代2両2分余受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊之5月2日	堅紙・1通	む49-4-2-2
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](胡粉代30文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門様	享保3年戊5月2日	堅切紙・1通	む49-4-2-3
善光寺五郎右衛門売上証文[覚](半とうし5つ代208文受取に付) 善光寺五郎右衛門／(奥書)山越六郎右衛門・須藤半弥→作兵衛様	(享保3年)5月3日	切紙・1通	む49-4-2-4
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上之覚](太はり金壺文代1匁5分3厘余受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様	(享保3年)戊ノ5月20日	堅切紙・1通	む49-4-2-5
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭16表代1両受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊之5月4日	堅紙・1通	む49-4-2-6
熊野屋太郎右衛門売上証文[覚](丹石100両代300文受取に付) くまのや太郎右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様	(享保3年)戊5月4日	堅紙・1通	む49-4-2-7
紺屋町祖右衛門売上証文[覚](大御門両脇より中御門までの堀木舞代5貫129文受取に付) 紺屋町祖右衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所	享保3年戊5月4日	堅紙・1通	む49-4-2-8
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭24表代1両2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊之5月8日	堅紙・1通	む49-4-2-9
伊勢町六兵衛売上証文[覚](くわから20丁代728文受取に付) いせ町六兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門殿	(享保3年)戊ノ5月8日	堅紙・1通	む49-4-2-10
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](大平墨30丁代2匁1分受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門様	(享保3年)戊5月8日	堅切紙・1通	む49-4-2-11
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭18表代1両余受取に付) 亀蔵	(享保3年)戊之5月10日	堅紙・1通	む49-4-2-12

む 9 藩政／財政／奥向勘定

村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿			
現金屋義兵衛売上証文[覚](はけ2枚・同丈3枚代56文受取に付) 現金屋義兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門様	(享保3年)戊5月10日	横切紙・1通	む49-4-2-13
さゝや町弥七売上証文[覚](大平墨20丁代60文受取に付) さゝや町弥七／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門殿	(享保3年)5月11日	横切紙・1通	む49-4-2-14
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭12表代3分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊之5月11日	竖紙・1通	む49-4-2-15
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上之覚](五分形墨・二寸錠代13匁7分受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様・大嶋小左衛門様	(享保3年)戊ノ5月11日	竖紙・1通	む49-4-2-16
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](硯石代72文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様	(享保3年)戊5月12日	竖切紙・1通	む49-4-2-17
紙屋町善左衛門売上証文[覚](正麩3升代372文受取に付) かミヤ町善左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→市郎右衛門殿	(享保3年)戊ノ5月12日	竖紙・1通	む49-4-2-18
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭12表代3分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛・富永治左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊5月12日	竖紙・1通	む49-4-2-19
嶋屋九兵衛売上証文[御売上ケ之覚](丹石50兩代124文受取に付) (信州松城中町)嶋屋九兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→作兵衛殿	(享保3年)戊5月13日	竖継紙・1通	む49-4-2-20
伊勢町善右衛門売上証文(あさ切6代106文受取に付) いせ町善右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門殿	(享保3年)いぬノ5月14日	竖紙・1通	む49-4-2-21
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭10表代2分7匁5分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊之5月15日	竖紙・1通	む49-4-2-22
中町平七売上証文[覚](毛嶋代450文受取に付) 中町平七／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→作兵衛様	(享保3年)5月15日	切紙・1通	む49-4-2-23
中町平七売上証文[覚](色布1反代270文受取に付) 中町平七／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→作兵衛様	(享保3年)5月15日	横切継紙・1通	む49-4-2-24
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](丹石100兩代312文受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様・清水孫左衛門様	(享保3年)戊5月17日	竖継紙・1通	む49-4-2-25
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上之覚](二寸錠1ツ代1匁2分受取に付) (信州松城住増田氏)いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様	(享保3年)戊ノ5月17日	竖継紙・1通	む49-4-2-26
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭10表代2分と7匁5分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊之5月18日	竖紙・1通	む49-4-2-27
嶋屋九兵衛売上証文[覚](丹石100兩代154文受取に付) (信州松城中町)嶋屋九兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門殿	(享保3年)5月20日	切紙・1通	む49-4-2-28
木町善左衛門売上証文[覚](正麩5升代624文受取に付) 木町善左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門殿	(享保3年)戊ノ5月20日	竖紙・1通	む49-4-2-29
伊勢町善右衛門売上証文(あさ布1反代386文受取に付) いせ町善右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門殿	(享保3年)いぬノ5月20日	竖紙・1通	む49-4-2-30
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭35表代2兩余受取に付) 亀蔵	(享保3年)戊之5月21日	竖紙・1通	む49-4-2-31

村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿			
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上之覚](太針金代91文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	(享保3年)戊ノ5月21日	縦継紙・1通	む49-4-2-32
木町善左衛門売上証文[売上申覚](正麩5升代624文受取に付) 木町善左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門殿	(享保3年)戊ノ5月22日	堅切紙・1通	む49-4-2-33
下田町清次郎売上証文[覚](正麩2舁代248文受取に付) 下田町清次郎／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門殿・宮本又右衛門殿	享保3年戊5月22日	堅紙・1通	む49-4-2-34
下田町清治郎売上証文[覚](正麩3舁代372文受取に付) 下田町清治郎／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門様	享保3年戊5月24日	堅切紙・1通	む49-4-2-35
木町善左衛門売上証文[覚](正麩1舁4合代172文受取に付) 木町善左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門殿	(享保3年)戊ノ5月24日	堅切紙・1通	む49-4-2-36
清野村加右衛門他一名売上証文[御売上ヶ](御畳清野表248枚代8両3分余受取に付) 清野村加右衛門・同村三右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所	享保3年戊5月26日	堅紙・1通	む49-4-2-37
菊屋茂平売上証文[覚](二寸五分錠1つ・三寸五分錠1つ代129文受取に付) 菊屋茂平／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本亦右衛門様	(享保3年)5月26日	堅紙・1通	む49-4-2-38
嶋屋九兵衛売上証文[御売上ヶ之覚](丹石50両代75文受取に付) (信州中町)嶋屋九兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門殿	(享保3年)戊5月27日	堅切紙・1通	む49-4-2-39
中町平七売上証文[覚](物こね鉢代200文受取に付) 中町平七／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→作兵衛殿	(享保3年)5月27日	切紙・1通	む49-4-2-40
中町茂兵衛売上証文[覚](かしつけと1丁代115文受取に付) 中町茂兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→作兵衛殿	(享保3年)5月27日	切紙・1通	む49-4-2-41
伊勢町徳兵衛売上証文[覚](わらび20把代643文受取に付) いせ町徳兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→市右衛門殿	(享保3年)5月28日	堅切紙・1通	む49-4-2-42
中町材木屋伊左衛門売上証文(梅四六角18本代10両1分余受取に付) 中町材木屋伊左衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所	(享保3年)戊ノ5月29日	堅紙・1通	む49-4-2-43
(6月分売上証文貼継一括)		貼継巻込一括・68点	む49-5
[戊六月分売上](封筒)		封筒・1点	む49-5-1
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](鍛冶炭18俵代1両7匁5分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→かち町勘右衛門殿 端裏書「一」	(享保3年)戊ノ6月朔日	堅紙・1通	む49-5-2-1
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](四対物筆10対代250文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本亦右衛門様 端裏書「二」	享保3年戊6月2日	堅紙・1通	む49-5-2-2
馬喰町長兵衛売上証文[覚](鉢2つ代65文受取に付) 馬喰町長兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清太夫殿 端裏書「三」	(享保3年)戊6月2日	切紙・1通	む49-5-2-3
紺屋町利兵衛売上証文[覚](茶碗10代228文受取に付) 紺屋町利兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→作兵衛殿 端裏書「四」	(享保3年)戊6月2日	堅切紙・1通	む49-5-2-4
中町平七売上証文[覚](麻布1反代400文受取に付) 中町平七／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→作兵衛様 端裏書「五」	(享保3年)6月2日	切紙・1通	む49-5-2-5
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](2寸5歩錠代65文受取に	享保3年戊6月2日	堅切紙・1通	む49-5-2-6

む 9 藩政／財政／奥向勘定

付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門様 端裏書「六」			
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](墨10丁代235文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門様 端裏書「七」	享保3年戊6月3日	堅切紙・1通	む49-5-2-7
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](大平30代100文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様 端裏書「八」	(享保3年)戊6月3日	堅切紙・1通	む49-5-2-8
伊勢町金兵衛売上証文[覚](徳利1つ代50文受取に付) いせ町金兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門殿 端裏書「九」	(享保3年)6月3日	堅切紙・1通	む49-5-2-9
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](鍛冶炭16俵代1両受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→かち町勘右衛門殿 端裏書「十」	(享保3年)戊ノ6月3日	堅紙・1通	む49-5-2-10
坂木町甚兵衛売上証文[覚](火鉢5つ代800文受取に付) 坂木町甚兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門殿 端裏書「十一」	(享保3年)戊6月3日	堅紙・1通	む49-5-2-11
菊屋惣兵衛売上証文[御売上](吉野紙5束代600文受取に付) 菊屋惣兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清太夫殿 端裏書「十二」	(享保3年)戊6月4日	堅紙・1通	む49-5-2-12
木町菊屋茂平売上証文[御売上](砥ノ粉80代664文受取に付) 木町菊屋茂平／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清太夫様 端裏書「十三」	享保3年戊6月4日	堅紙・1通	む49-5-2-13
嶋屋九兵衛売上証文[御売上之覚](丹石100両代154文受取に付) (信州松城中町)嶋屋九兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清太夫殿 端裏書「十四」	(享保3年)戊6月4日	堅紙・1通	む49-5-2-14
中町甚助売上証文[御売上之覚](大平墨50丁代179文受取に付) (松城中町小松屋)中町甚助／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清太夫殿 端裏書「十五」	(享保3年)戊6月4日	堅紙・1通	む49-5-2-15
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭6表代1分7匁5分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿 端裏書「十六」	(享保3年)戊之6月5日	堅紙・1通	む49-5-2-16
木町菊屋茂平売上証文[御売上](漆摺はけ・硯石代261文受取に付) 木町菊屋茂平／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門様 端裏書「十七」	享保3年戊6月5日	横切継紙・1通	む49-5-2-17
すか屋勘七売上証文覚(木綿中綿1つ代150文受取に付) すかや勘七／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→善次郎様 端裏書「十八」	(享保3年)戊6月5日	切紙・1通	む49-5-2-18
木町七之介売上証文[覚](青戸5丁代85文受取に付) 木町七之介／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→善次郎様 端裏書「十九」	(享保3年)戊ノ6月5日	横切継紙・1通	む49-5-2-19
森村大工源兵衛他一名売上証文[覚](御台所戸注文代4貫36文受取に付) 森村大工源兵衛・同所大工儀兵衛／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森村甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請棟梁中様 端裏書「二十」	享保3年戊之6月4日	堅継紙・1通	む49-5-2-20
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](大針金1丈3尺他代406文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様 端裏書「二十一」	(享保3年)戊6月6日	堅継紙・1通	む49-5-2-21
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](大針金1丈2尺大84文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門様・清水孫左衛門様 端裏書「廿二」	(享保3年)戊6月7日	堅継紙・1通	む49-5-2-22
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭6表代1分7匁5分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘	(享保3年)戊之6月7日	堅紙・1通	む49-5-2-23

右衛門殿 端裏書「廿三」			
地鳶頭届主忠藏他一名売上証文[覚](東条村より花御丸へ 届け賃銭2両1分余受取に付) 地鳶頭届主忠藏・東条村届主三 之丞／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田 甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所様 端裏書「廿四」	享保3年戊6月7日	豎紙・1通	む49-5-2-24
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭16表代1両受取に付) 亀蔵村 七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富 永治左衛門殿／(奥書)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門 殿 端裏書「廿五」	(享保3年)戊6月8日	豎紙・1通	む49-5-2-25
中町平七売上証文[覚](柄杓1本代17文受取に付) 中町平七 ／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→作兵衛殿 端裏書「廿六」	(享保3年)6月8日	豎切紙・1通	む49-5-2-26
中町平七売上証文[覚](帷子1枚代305文受取に付) 中町平七 ／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→角左衛門殿 端裏書「廿七」	(享保3年)6月8日	豎切紙・1通	む49-5-2-27
伊勢町長右衛門売上証文[覚](くりわた100目代282文受取 に付) いせ町長右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→作兵 衛殿 端裏書「廿八」	(享保3年)戊ノ6月8日	豎切紙・1通	む49-5-2-28
中町平七売上証文[覚](大柄杓2本他代178文受取に付) 中 町平七／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様 端裏 書「廿九」	(享保3年)6月9日	豎紙・1通	む49-5-2-29
下中町甚右衛門売上証文[売上之事](1つ代45文受取に付) 下中町甚右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→次右衛門殿 端裏書「三十」	(享保3年)6月9日	切紙・1通	む49-5-2-30
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](掛布のり代919文受取に 付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越 六郎右衛門→塚田茂左衛門様 端裏書「三十一」	(享保3年)戊6月9日	豎切紙・1通	む49-5-2-31
張付屋弥兵衛売上証文[覚](5寸上はけ10枚代1貫500文受取 に付) 張付屋弥兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→高田加 兵衛様 端裏書「三十二」	(享保3年)6月4日	豎継紙・1通	む49-5-2-32
嶋屋九兵衛売上証文[御売上之覚](丹石100両代154文受取 に付) (信州松城中町)嶋屋九兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤 半弥→市右衛門殿 端裏書「三十三」	(享保3年)戊6月11日	豎紙・1通	む49-5-2-33
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](掛布のり代1貫377文受 取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・ 山越六郎右衛門→清水孫左衛門様 端裏書「三十四」	(享保3年)戊6月11日	豎継紙・1通	む49-5-2-34
嶋屋九兵衛売上証文[御売上之覚](丹石100両代154文受取 に付) (信州松城中町)嶋屋九兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤 半弥→作兵衛殿 端裏書「三十五」	(享保3年)戊6月14日	豎切紙・1通	む49-5-2-35
中町又兵衛売上証文[覚](上切ふのり1000枚代1貫文受取に 付) 中町又兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛 門殿	(享保3年)戊6月15日	豎紙・1通	む49-5-2-36
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](中切布苔850枚代559文 受取に付) (信州松城住増田氏)伊勢屋伝右衛門／(奥印)山越六 郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門殿・清水孫左衛門殿	(享保3年)戊ノ6月16日	豎継紙・1通	む49-5-2-37
上田奈良屋吉次郎売上証文[売上之覚](ふのり2貫目代2分 ト748文受取に付) 上田奈良屋吉次郎／(奥印)山越六郎右衛 門・須藤半弥→森田甚五兵衛様富永治左衛門様御使小林今右衛門殿	享保3年戊6月14日	豎紙・1通	む49-5-2-38
福地桶泉売上証文[覚](墨代2貫832文受取に付) 福地桶泉／ (奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿	(享保3年)戊6月7日	豎紙・1通	む49-5-2-39
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭24表代1両2分受取に付) 亀 蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門 殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右 衛門殿	(享保3年)戊之6月17日	豎紙・1通	む49-5-2-40
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上之覚](丹石1斤他代232文 受取に付) (信州松城増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・ 山越六郎右衛門→清水孫左衛門様	(享保3年)戊ノ6月17日	豎継紙・1通	む49-5-2-41

む 9 藩政／財政／奥向勘定

伊勢町勘助売上証文[覚](上野とう6丁代90文受取に付) いせ町勘助／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→治右衛門殿	(享保3年)6月17日	堅切紙・1通	む49-5-2-42
小法師兵部売上証文[覚](三対筆100対他代3貫624文受取に付) 小法師兵部／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→鈴木恒助様御使 酉十一月付、筆墨元仕入物高値につき私方願書を貼付	(享保3年)戌6月13日	堅切紙・1通	む49-5-2-43
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭30表代1両3分余受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶甚右衛門殿	(享保3年)戌之6月18日	堅紙・1通	む49-5-2-44
中町又兵衛売上証文[覚](赤紙15枚代30文受取に付) 中町又兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→作兵衛殿	(享保3年)戌6月18日	堅切紙・1通	む49-5-2-45
下高田村彦左衛門売上証文[御売上之覚](正麩6斗代6貫文受取に付) 下高田村彦左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→富永治左衛門様・森田甚五兵衛様	享保3年戌之6月18日	堅紙・1通	む49-5-2-46
嶋屋九兵衛売上証文[御売上之覚](胡粉・正麩代64文受取に付) (信州松城)嶋屋九兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門殿	(享保3年)6月19日	堅紙・1通	む49-5-2-47
河内屋仁兵衛売上証文[覚](膠・明礬代75文受取に付) (伊勢町)河内屋仁兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→善次郎殿	(享保3年)戌6月19日	横切継紙・1通	む49-5-2-48
諏訪大工三郎兵衛他一名売上証文[覚](大手隅櫓仕立代3両2分受取に付) 諏訪大工三郎兵衛・同所平介／(奥印)武田権兵衛・田中貞右衛門・増沢藤右衛門・小泉佐野右衛門→佐久間定右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御棟梁衆中様	享保3年戌之6月20日	堅継紙・1通	む49-5-2-49
諏訪大工三郎兵衛他一名売上証文[覚](上御台所より膳立之廊下天井仕立代3歩受取に付) 諏訪大工三郎兵衛・同所平介／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中貞右衛門・武田権兵衛→白井平左衛門殿・佐久間定右衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御棟梁衆中様 巻込1通共	享保3年戌之6月20日	堅継紙・1通	む49-5-2-50
小諸請負新六他一名売上証文[覚](大奥御唐紙請負仕立代5貫403文受取に付) 小諸請負新六・武田定八／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛→佐久間貞右衛門・白井平左衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御棟梁中様	享保3年戌6月20日	堅継紙・1通	む49-5-2-51
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](切布苔500枚代7匁受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様	享保3年戌ノ6月20日	堅切紙・1通	む49-5-2-52
紺屋町伊左衛門売上証文[覚](ぬり100枚代100文受取に付) こんや町伊左衛門→市右衛門様	(享保3年)6月22日	切紙・1通	む49-5-2-53
七兵衛売上証文并山越六郎右衛門他一名申上書(ぬり90枚代90文受取に付並びに二口ノ190文渡銭見届けに付) 七兵衛／(奥書)山越六郎右衛門・須藤半弥→市右衛門殿	(享保3年)戌6月21日	切継紙・1通	む49-5-2-54
現金屋儀兵衛売上証文[覚](筆2対代12文受取に付) 現金屋儀兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→孫右衛門様	(享保3年)6月21日	切継紙・1通	む49-5-2-55
茶屋弥五右衛門売上証文[覚](布粘5貫800目代5貫43文受取に付) ちや屋弥五右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様	(享保3年)戌6月21日	堅紙・1通	む49-5-2-56
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](本弁柄5兩代114文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門様	(享保3年)戌6月24日	堅切紙・1通	む49-5-2-57
田中村七兵衛売上証文(うす拵6月8日より21日まで14人作料金1分銀4匁9厘受取に付) うす拵田中村七兵衛／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛→佐久間定右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→	享保3年戌6月21日	堅継紙・1通	む49-5-2-58

森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御棟梁衆中様			
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上之覚](大平墨30丁代100文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	享保3年戌6月25日	縦継紙・1通	む49-5-2-59
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](上弁柄米10両代332文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様	享保3年戌ノ6月26日	縦継紙・1通	む49-5-2-60
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭10表代2分7匁5分受取に付)亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戌之6月27日	縦紙・1通	む49-5-2-61
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭16表代1両受取に付)亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戌之6月28日	縦紙・1通	む49-5-2-62
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭20表代1両1分受取に付)亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戌之6月29日	縦紙・1通	む49-5-2-63
紺屋町三郎次売上証文[御売上之覚](麻布1反代370文受取に付)紺屋町三郎次／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様	(享保3年)6月29日	縦紙・1通	む49-5-2-64
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](吉野紙20束代1ノ880文受取に付)(信州松城住増田氏)伊勢屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様	(享保3年)戌ノ6月29日	縦紙・1通	む49-5-2-65
善光寺大門町駒屋平七売上証文[覚](布粘4貫400目代4貫文受取に付)善光寺大門町駒屋平七／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	(享保3年)戌6月21日	縦紙・1通	む49-5-2-66
善光寺大門町駒屋平七売上証文[覚](鍬13枚他代11貫252文受取に付)善光寺大門町駒屋平七／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	(享保3年)戌6月21日	縦紙・1通	む49-5-2-67
(7月分売上証括)		貼継巻込一括・44点	む49-6
[戌七月分売上](封筒)		封筒・1点	む49-6-1
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭16表代1両受取に付)亀蔵村七兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門・森田甚五兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿 端裏書「一」	(享保3年)戌之7月朔日	縦紙・1通	む49-6-2-1
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](砥の粉30代184文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様 端裏書「二」	(享保3年)戌7月朔日	堅切紙・1通	む49-6-2-2
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭10表代2分7匁5分受取に付)亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿 端裏書「三」	(享保3年)戌之7月2日	縦紙・1通	む49-6-2-3
嶋屋九兵衛売上証文[御売上之覚](丹石100両代154文受取に付)(信州松城中町)嶋屋九兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→作兵衛殿 端裏書「四」	(享保3年)戌ノ7月2日	堅切紙・1通	む49-6-2-4
紺屋町曾右衛門売上証文[御売上覚](醬麴2斗6升8合代2貫677文受取に付)紺屋町曾右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門様・清水孫左衛門様	享保3年戌7月3日	縦紙・1通	む49-6-2-5
中町平七売上証文[覚](帷子1枚代350文受取に付)中町平七／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→作兵衛様	(享保3年)7月4日	堅切紙・1通	む49-6-2-6
小越町九之丞売上証文[御売上](醬麴4升2合代419文受取に付)小越町九之丞／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左	(享保3年)戌7月4日	横切紙・1通	む49-6-2-7

衛門様			
伊勢町徳右衛門売上証文[覚](麻布1端代372文受取に付) いせ町徳右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様	(享保3年)戊7月5日	堅切紙・1通	む49-6-2-8
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](大ひち秤10口他代644文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門様	(享保3年)戊7月5日	堅継紙・1通	む49-6-2-9
紺屋町三郎右衛門売上証文[御染代書上](御羽織地麻卯12反他代2貫280文受取に付) こんや町三郎右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御本ノ所	(享保3年)戊7月	堅継紙・1通	む49-6-2-10
御請負主平介他一名売上証文[覚](御火燧請負代10両受取に付) 御請負主平介・同三郎兵衛／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛→白井平左衛門殿・佐久間貞右衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御棟梁中様	享保3年戊7月3日	堅継紙・1通	む49-6-2-11
伊勢町伝兵衛売上証文[覚](ぬきねわた1つ代150文受取に付) いせ町伝兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→角左衛門殿	(享保3年)戊7月8日	切紙・1通	む49-6-2-12
中町藤之の売上証文[覚](水入1代30文受取に付) 中町藤之／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清太夫殿	(享保3年)戊之7月8日	切紙・1通	む49-6-2-13
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](上弁杵柄10両他代426文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様	(享保3年)戊7月10日	堅紙・1通	む49-6-2-14
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭10表代2分7匁5分) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊之7月10日	堅紙・1通	む49-6-2-15
小泉佐野右衛門他三名売上証文[覚](御戸116本小障子52本折立代32貫文受取に付) 小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・武田権兵衛・田中与右衛門／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿	享保3年戊之7月10日	堅継紙・1通	む49-6-2-16
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭56表代3両2分受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戊之7月11日	堅紙・1通	む49-6-2-17
伊勢町太郎兵衛他六名売上証文[御作料請取申候証文之事] (御唐紙139本代7両1分余受取に付) いせ町太郎兵衛・小市村嘉右衛門・鍛冶町伝次郎・寺尾浅右衛門・栃原村源右衛門・荒神町七兵衛・西条村伊左衛門／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛→佐久間定右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御棟梁衆中様	享保3年戊之7月11日	堅継紙・1通	む49-6-2-18
長池村久左衛門他三名売上証文[指上ヶ申候御金請取証文之事] (御中御門・扉御作料代7両3分余受取に付) 長池村久左衛門・鼠宿村喜八・矢代村市郎兵衛・川田村重右衛門／(奥印)小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛→佐久間定右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御棟梁衆中様	享保3年戊之7月9日	堅継紙・1通	む49-6-2-19
小泉佐野右衛門他三名売上証文[覚](戸45本・半障子56本・ふすま18本52本・塀13間仕立代8両132文受取に付) 小泉佐野右衛門・増沢藤右衛門・武田権兵衛・田中与右衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿	享保3年戊7月11日	堅紙・1通	む49-6-2-20
東条村忠右衛門売上証文[覚](10間細工料5挺3分8厘代1両1分余受取に付) 東条村忠右衛門／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛	享保3年戊7月12日	堅紙・1通	む49-6-2-21

門・須藤半弥→御普請御奉行所			
志川村甚六他三名売上証文[請取申御証文之事](御長局御物干仕立代1両2分余受取に付) 志川村甚六・藤宮村庄次郎・千本柳村嘉右衛門・郡村新次郎／(奥印)武田権兵衛・小泉佐野右衛門・田中与右衛門・増沢藤右衛門→佐久間定右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御棟梁衆中様	享保3年戌之7月12日	縦継紙・1通	む49-6-2-22
万屋八郎兵衛売上証文[売上之覚](極上浮世こさ3枚他代金3分余受取に付) 万屋八郎兵衛／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→高田加兵衛様	(享保3年)戌7月11日	縦継紙・1通	む49-6-2-23
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](金入表具紙17枚他代92文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様・大嶋小左衛門様	享保3年戌7月18日	堅紙・1通	む49-6-2-24
嶋屋九兵衛売上証文[御売上ヶ之覚](角石代75文受取に付) (信州松城中町)嶋屋九兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門殿	(享保3年)戌7月19日	堅切紙・1通	む49-6-2-25
亀蔵村七兵衛売上証文[覚](炭6表代金1分余受取に付) 亀蔵村七兵衛／(奥印)佐久間貞右衛門・白井平左衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿	(享保3年)戌之7月20日	堅紙・1通	む49-6-2-26
美濃屋甚四郎売上証文[覚](草履7足代49文受取に付) みのや甚四郎／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→角左衛門殿	(享保3年)戌7月20日	堅紙・1通	む49-6-2-27
下高田村彦左衛門売上証文[覚](替麩3斗5舂代3貫500文受取に付) 下高田村彦左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門殿	(享保3年)戌7月21日	堅紙・1通	む49-6-2-28
紺屋町源兵衛売上証文[御金請取申候証文之事](御長屋御門扉請負仕立代1両2分余受取に付) 紺屋町源兵衛／(奥印)武田権兵衛・田中与右衛門・増沢藤右衛門・小泉佐野右衛門→佐久間貞右衛門殿・白井平左衛門殿／(奥印)白井平左衛門・佐久間貞右衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御棟梁衆中様	享保3年戌7月20日	縦継紙・1通	む49-6-2-29
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上之覚](棕櫚筥5本代604文受取に付) (信州松城住増田氏)伊勢屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様	(享保3年)戌ノ7月23日	堅切紙・1通	む49-6-2-30
肴町条左衛門売上証文(塩5合代24文受取に付) 肴町条左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→次右衛門様	(享保3年)戌7月23日	堅切紙・1通	む49-6-2-31
木町嘉右衛門手代文助売上証文[覚](みなと紙1束9帖代金2分余受取に付) 木町嘉右衛門手代文助／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様	(享保3年)戌7月24日	堅紙・1通	む49-6-2-32
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上之覚](三田土佐300枚代1分406文余受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門様・清水孫左衛門様	享保3年戌7月24日	堅切紙・1通	む49-6-2-33
紺屋町三郎次売上証文[覚](草履5足代35文受取に付) 紺屋町三郎次／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→角左衛門様	(享保3年)戌7月24日	横切紙・1通	む49-6-2-34
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](吉野紙10束代1貫文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様	(享保3年)戌ノ7月25日	堅切紙・1通	む49-6-2-35
美濃屋甚四郎売上証文[覚](草履5足代34文受取に付) ミのや甚四郎／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様	(享保3年)戌7月25日	切紙・1通	む49-6-2-36
紺屋町三郎次売上証文[覚](徳利1本代12文受取に付) 紺屋町三郎次／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様	(享保3年)7月25日	堅切紙・1通	む49-6-2-37
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](6寸はけ10枚代150文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門様	(享保3年)戌7月26日	堅切紙・1通	む49-6-2-38
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](針金1丈代70文受取に付)	(享保3年)戌7月27日	堅切紙・1通	む49-6-2-39

む 9 藩政／財政／奥向勘定

(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様			
嶋屋九兵衛売上証文[御売上ヶ覚](丹石50兩代75文受取に付)(信州松城中町)嶋屋九兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→作兵衛殿	(享保3年)7月28日	堅切紙・1通	む49-6-2-40
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上之覚](輪かけ金10口他代476文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様	(享保3年)戊7月29日	堅紙・1通	む49-6-2-41
伊勢町長右衛門売上証文[御売上之覚](布1反代370文受取に付)いせ町長右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→市右衛門殿	(享保3年)戊ノ7月29日	堅切紙・1通	む49-6-2-42
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上覚](6寸はけ10枚代110文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→塚田茂左衛門様・清水孫左衛門様	(享保3年)戊7月29日	堅切紙・1通	む49-6-2-43
(売上証文一括 享保4年2月～享保6年6月)		封筒一括・45点	む37
[亥二月より売上入](封筒)	享保4年	封筒・1点	む37-1
[三月の売上](封筒)	(享保4年)	封筒・1点	む37-2
(売上証文貼継一括 享保4年2月～11月)		貼継じゃばら折一括・43点	む37-3
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](四対筆等入料832文受取に付)(信州松城住増田氏)伊せ(勢)屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御用屋敷御本ノ所 裏書「一」	(享保4年)亥2月6日	堅継紙・1通	む37-3-1
善光寺下掘作右衛門売上証文[売上ヶ覚](銅代1兩受取に付)善光寺下ほり作右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→松城作兵衛殿 裏書「二」	(享保4年)亥2月7日	堅切紙・1通	む37-3-2
西後町くわがらや甚兵衛売上証文[売上ヶ覚](鉄柄30丁代1分余受取に付)西後町くわがらや甚兵衛→松城作兵衛殿 裏書「三」	(享保4年)亥2月7日	堅紙・1通	む37-3-3
いせや伝右衛門売上証文[御売上](大平墨代64文受取に付)(信州松城住増田氏)伊せ(勢)屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様 裏書「四」	(享保4年)亥ノ2月24日	堅切紙・1通	む37-3-4
いせ屋伝右衛門売上証文[御売上覚](四対物筆250文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ(伊勢)屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門様・宮本又右衛門様 裏書「五」	(享保4年)亥4月朔日	堅紙・1通	む37-3-5
いせ屋伝右衛門売上証文[御売上](三対物筆164文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ(伊勢)屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様・大嶋小左衛門様 裏書「六」	(享保4年)亥4月9日	堅紙・1通	む37-3-6
いせ屋伝右衛門売上証文[御売上](大平三十丁100文受取に付)(信州松城住増田氏)いせや(伊勢屋)伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門様・宮本又右衛門様 裏書「七」	(享保4年)いノ4月11日	堅紙・1通	む37-3-7
八百屋太兵衛売上証文[御売上申覚](豆腐代86文受取に付)八百屋太兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→角左衛門殿 裏書「八」	(享保4年)亥5月11日	堅紙・1通	む37-3-8
亀倉村弥左衛門売上証文[覚](炭15俵代3分受取に付)亀倉村弥左衛門／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門・森田甚五兵衛殿(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿 裏書「九」	享保4年亥之5月22日	堅紙・1通	む37-3-9
亀倉村弥左衛門売上証文[覚](炭10俵代2分受取に付)亀倉村弥左衛門／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門・森田甚五兵衛殿(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿 裏書「十」	享保4年亥5月25日	堅紙・1通	む37-3-10
善光寺下掘町作右衛門売上証文[覚](長割20貫目代4兩受取に付)善光寺下ほり町作右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→松城次右衛門様 裏書「十一」	(享保4年)亥ノ5月25日	堅紙・1通	む37-3-11
伊勢屋伝右衛門金銭受取証文[御売上之覚](四対物10封代250文受取に付)(信州松城住増田氏)いせ(伊勢)屋伝右衛門／	(享保4年)亥5月26日	堅継紙・1通	む37-3-12

(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様 裏書「十二」			
中町彦五郎金銭受取証文[御売上](筆四対代132文受取に付) 中町彦五郎／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様 裏書「十三」	(享保4年)亥5月29日	堅切紙・1通	む37-3-13
亀倉村弥左衛門売上証文[覚](炭10俵代2分受取に付) 亀倉村弥左衛門／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿 裏書「十四」	享保4年亥6月6日	堅継紙・1通	む37-3-14
亀倉村弥左衛門売上証文[覚](炭10俵代2分受取に付) 亀倉村弥左衛門／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・森田甚五兵衛殿(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿 裏書「十五」	享保4年亥6月7日	堅紙・1通	む37-3-15
伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](紙代147文受取に付) いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮本又右衛門様・大嶋小左衛門様 裏書「十六」	(享保4年)亥6月12日	堅紙・1通	む37-3-16
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](四対物筆5封代124文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ(伊勢)屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門様・宮本又右衛門様 裏書「十七」	(享保4年)いノ6月17日	堅紙・1通	む37-3-17
小越町安之丞売上証文[覚](醬麴5合60文受取に付) 小越町安之丞／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→宮本又右衛門様・大嶋小左衛門様 裏書「十八」	(享保4年)亥6月19日	堅紙・1通	む37-3-18
関田庄介代金支払約定証文[覚](松本材木26本引上入料受取の上支払に付) 関田庄介／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉重郎右衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→白井平左衛門殿 継目「一」	享保4年亥6月	堅継紙・1通	む37-3-19
紙屋町宇右衛門他一名売上証文[覚](二の丸西方門等屋根代金37兩余受取の上支払に付) 紙屋町宇右衛門・紺屋町六兵衛／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)三輪長左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→白井平左衛門殿 継目「二」	享保4年亥7月10日	堅継紙・1通	む37-3-20
紙屋町木挽茂太夫他五名売上証文(黒白桧等木挽料2兩2分余受取に付) 紙屋町木挽茂太夫・御安口同久右衛門・岩野村同伝兵衛他3名／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門／(奥印)三輪長左衛門→御普請御奉行所 継目「三」	(享保4年)亥ノ7月11日	堅継紙・1通	む37-3-21
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](本四対物筆10対代250文受取に付) (信州松城住増田氏)いせ(伊勢)屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門様・宮本亦右衛門様 継目「四」	(享保4年)亥7月20日	堅紙・1通	む37-3-22
紙屋町茂太夫他五名売上証文(黒桧等木挽料3兩4分余受取に付) 紙屋町茂太夫・御安口久右衛門・岩野村伝兵衛他3名／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥／(奥印)三輪長左衛門→(御普請)御奉行所 継目「五」	(享保4年)亥ノ8月	堅継紙・1通	む37-3-23
現金屋義兵衛売上証文[覚](墨代32文受取に付) 現金屋義兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→角左衛門様 継目「六」	(享保4年)亥8月5日	切紙・1通	む37-3-24
中町源七売上証文[覚](筆五対代124文受取に付) 中町源七／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門様 端書「七」	(享保4年)亥8月15日	堅切紙・1通	む37-3-25
紺屋町庄右衛門他七名売上証文[請取中両所御働作料金之事](本丸・二の丸櫓等修繕入札の上作料8兩2分受取に付) 紺屋町庄右衛門・清野村善兵衛・河口村佐兵衛他5名／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所 継目「八」	享保4年亥8月	堅継紙・1通	む37-3-26
小島田村大工浅右衛門売上証文[御作料受取申候証文之事](塀覆積負のため作料金1分銀1匁5分受取に付) 小島田村大工浅右衛門／(奥印)増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛他1名→白井平左衛門殿／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)三輪長左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御棟梁衆中 継目「九」	享保4年亥8月20日	堅継紙・1通	む37-3-27

む 9 藩政／財政／奥向勘定

萱野町大工源助他一名売上証文〔御作料請取申候証文之事〕 (二の曲輪北側塀覆板等請負のため作料銀8匁2分5厘受取に付) 萱野町大工源助・小島田村大工浅右衛門／(奥印)増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛他1名→白井平左衛門殿／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)三輪長左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御棟梁衆中 継目「十」	享保4年亥8月20日	縦継紙・1通	む37-3-28
御安口村大工喜大夫他一名売上証文〔御作料受取証文〕(二の曲輪東方塀覆請負のため作料6匁余受取に付) 御安口村大工喜太夫・馬喰町大工六右衛門／(奥印)増沢藤右衛門・田中与右衛門・武田権兵衛他1名→白井平左衛門殿／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)三輪長左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御棟梁中 継目「十一」	享保4年亥8月	縦継紙・1通	む37-3-29
紙屋町宇右衛門他一名売上証文〔御本丸坤隅御櫓〕(屋根萱立作料金30両1分・銀3匁8分1厘受取に付) 紙屋町宇右衛門・紺屋町六兵衛／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)三輪長左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→白井平左衛門様 継目「十二」	享保4年亥ノ8月24日	縦継紙・1通	む37-3-30
福吉近江売上証文〔覚〕(二番物等代1貫800文受取に付) 福吉近江／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→小熊理助様 継目「十三」	(享保4年)亥ノ8月	横切紙・1通	む37-3-31
肴町甚兵衛売上証文〔御売上申釘之事〕(93朱余受取に付) 肴町甚兵衛／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉重郎右衛門殿／(奥印)三輪長左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→白井平左衛門様 継目「十四」	享保4年亥9月8日	縦継紙・1通	む37-3-32
御安口大工元右衛門他一名売上証文〔御作料金請取証文〕(本丸北側門扉請負のため1両余受取に付) 御安口大工元右衛門・西条村大工七兵衛／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉重郎右衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行様 継目「十五」	享保4年亥ノ9月16日	縦紙・1通	む37-3-33
御安口大工喜大夫他一名売上証文〔御作料請取証文〕(二の曲輪北側塀覆請負のため9匁7分余受取に付) 御安口大工喜太夫・清野村大工文平／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉重郎右衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行様 継目「十六」	享保4年亥9月	縦継紙・1通	む37-3-34
善光寺下堀作右衛門売上証文〔覚〕(長割1貫70目余代536文受取に付) 善光寺下堀作右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→松城(代)作兵衛殿 継目「十七」	(享保4年)9月晦日	縦紙・1通	む37-3-35
武田貞八他八名売上証文〔御作料請取申証文之事〕(本丸櫓作料請負のため12両余受取に付) 武田貞八・小泉浅右衛門・増沢喜三郎他6名／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行様 継目「十八」	享保4年亥ノ10月3日	縦継紙・1通	む37-3-36
紙屋町宇右衛門他一名売上証文〔御本丸坤隅御櫓〕(屋根萱立作料36両余受取に付) 紙屋町宇右衛門・紺屋町六兵衛／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→白井平左衛門様 継目「十九」	享保4年亥ノ10月13日	縦継紙・1通	む37-3-37
御安口大工元右衛門他一名売上証文〔御作料受取証文〕(二の曲輪扉作料代1分受取に付) 御安口大工元右衛門・西条村七兵衛／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉重郎右衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行様 継目「廿」	享保4年亥ノ10月13日	縦継紙・1通	む37-3-38
御安口大工伝左衛門他一名売上証文〔御作料請取証文〕(櫓戸請負のため作料1貫目受取に付) 御安口大工伝左衛門／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉重郎右衛門殿／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行様 継目「廿一」	享保4年亥ノ10月23日	縦紙・1通	む37-3-39
下高田村久右衛門売上証文〔御売上〕(御用釘代13両余受取に付) 下高田村久右衛門／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所 継目「廿一」	享保4年亥ノ10月25日	縦継紙・1通	む37-3-40
木町御用達八田嘉右衛門売上証文〔御売上〕(御用釘代23両	享保4年亥ノ10月26日	縦継紙・1通	む37-3-41

余受取に付) 木町御用達八田嘉右衛門／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所 継目「廿二」			
伊勢屋伝右衛門売上証文[覚](朱墨代50文余受取に付) (印文)[信州松城住増田氏]いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様 継目「廿三」	(享保4年)10月29日	縦紙・1通	む37-3-42
亀倉村弥左衛門売上証文[覚](炭80俵代4両受取に付) 亀倉村弥左衛門／(奥印)白井平左衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿	享保4年亥之11月2日	縦紙・1通	む37-3-43
[御直買御材木川合村より御渡場迄曳届賃銭勘定帳] 白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子3月	横長半・1冊	む37-4
[川合村より御材木引届候御入料帳] 白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ3月	横長半・1冊	む37-5
[巳之六月御本丸矢鉄鉸鉄鉸指立取付大工木挽・御作料帳并御雪隠壺ヶ所戸三本工数共] 白井平左衛門／(奥印)三輪長左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→ -	(享保6年)丑6月	横長半・1冊	む37-6
[小松原村より御材木下シ候御入料帳] 白井平左衛門／(奥印)望月治部左衛門(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→森田甚五兵衛殿・富永治左衛門殿	(享保4年)亥ノ5月2日	横長半・1冊	む37-7
[丑之年売上](封筒) 「丑六月分大工作料帳有 丑之年申売上有り」		封筒・1点	む37-8
(売上証文貼継一括 享保6年3月～11月)		貼継じゃばら折一括・23点	む37-9
小法師兵部売上証文[覚](二対の筆等代金ノ1貫92文受取に付) 小法師兵部／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→中俣小五郎様	(享保6年)丑ノ3月29日	横切継紙・1通	む37-9-1
中町五兵衛売上証文[売上](太平墨代金60文受取に付) 中町五兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門	(享保6年)丑4月10日	横切継紙・1通	む37-9-2
上田常田町善左衛門売上証文[覚](延鉄3貫750匁代金3分受取に付) 上田常田町善左衛門→白井平左衛門様御付人重右衛門殿	享保6年丑4月29日	縦紙・1通	む37-9-3
亀倉村平七売上証文[覚](炭12俵代金2分受取に付) 亀倉村平七→御鍛冶勘右衛門殿	享保6年丑ノ5月24日	縦紙・1通	む37-9-4
小法師兵部売上証文[覚](御筆10対代金372文受取に付) 小法師兵部／(奥印)須藤半弥・病気無印山越六郎右衛門→中俣小五郎様	(享保6年)丑6月10日	横切継紙・1通	む37-9-5
亀倉村平七売上証文[覚](炭12俵代金2分受取に付) 亀倉村平七→御鍛冶勘右衛門殿	享保6年丑6月12日	縦紙・1通	む37-9-6
菊屋伝兵衛売上証文[覚](并桶代金50文受取に付) 菊屋伝兵衛→利兵衛殿	(享保6年)6月18日	横切継紙・1通	む37-9-7
こんや町甚五右衛門売上証文[覚](あさ切代金18文受取に付) こんや町甚五右衛門→利兵衛殿	(享保6年)6月19日	切紙・1通	む37-9-8
春之屋売上証文[覚](荏油代金36文受取に付) 春之屋→弥兵衛殿	(享保6年)丑6月19日	切紙・1通	む37-9-9
信州松代嶋屋九兵衛売上証文[御買上ヶ覚](ほしのや代金6匁受取に付) 信州松代嶋屋九兵衛→八左衛門殿	(享保6年)丑7月5日	切紙・1通	む37-9-10
菊屋伝兵衛売上証文[覚](上竹か、來代金24文受取に付) 菊屋伝兵衛→八左衛門殿	(享保6年)丑7月5日	切紙・1通	む37-9-11
御馬出し七兵衛売上証文[覚](しやうふ代金30文受取に付) 御馬出し七兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→ -	(享保6年)7月20日	横切継紙・1通	む37-9-12
紙屋町源四郎売上証文[覚](種代金32文受取に付) 紙屋町源四郎／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→吉兵衛様	(享保6年)丑7月23日	横切継紙・1通	む37-9-13

む 9 藩政／財政／奥向勘定

いせ町丈市売上証文[覚](いろがみ代金35文受取に付) いせ町丈市→山岸角八様	(享保6年)8月朔日	切紙・1通	む37-9-14
いせ町伝右衛門売上証文[覚](かや布等代金ノ110文受取に付) いせ町伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→六兵衛殿	(享保6年)8月7日	切紙・1通	む37-9-15
かみや町弥七売上証文[覚](表紙代金32文受取に付) かみや町弥七→関田庄助様	(享保6年)丑ノ8月24日	切紙・1通	む37-9-16
伊勢町河内屋仁兵衛売上証文[覚](掛ふのり代金332文受取に付) 伊勢町河内屋仁兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→金兵衛殿	(享保6年)丑8月28日	切紙・1通	む37-9-17
いせ町丈市売上証文[覚](かやきり代金34匁受取に付) いせ町丈市／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→吉兵衛様	(享保6年)8月28日	切紙・1通	む37-9-18
伊勢町河内屋仁兵衛売上証文[覚](掛ふのり代金332文受取に付) 伊勢町河内屋仁兵衛→金兵衛殿	(享保6年)丑8月28日	切紙・1通	む37-9-19
下いせ町善右衛門売上証文[売上申一札之事](くわから代金250文受取に付) 下いせ町善右衛門→平兵衛殿	(享保6年)丑ノ8月晦日	堅紙・1通	む37-9-20
紺屋町与左衛門売上証文[御売上之覚](鍬代金3貫772文受取に付) 紺屋町与左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→宮下長左衛門殿	(享保6年)丑9月朔日	堅紙・1通	む37-9-21
中村大和売上証文[覚](1匁形墨等ノ750文受取に付) 中村大和→中俣金大夫様	(享保6年)9月6日	堅紙・1通	む37-9-22
木町菊屋嘉右衛門売上証文[御買上](四寸釘等代銀ノ141匁2分受取に付) 木町菊屋嘉右衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→白井平左衛門様／石倉十郎右衛門殿・中俣金大夫殿	享保6年丑11月26日	堅継紙・1通	む37-9-23
(売上証文貼継一括 享保7年3月～5月)		貼継じゃばら折一括・15点	む37-10
木町久右衛門売上証文[覚](大平代金34文受取に付) 木町久右衛門→七右衛門様	(享保7年)3月4日	横切継紙・1通	む37-10-1
増沢喜三郎他一名金銭受取書[覚](戸御作料金等ノ金4両13匁5分受取に付) 増沢喜三郎・田中弥兵衛／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→白井平左衛門様／石倉重郎右衛門殿・中俣金大夫殿	享保7年寅3月18日	堅継紙・1通	む37-10-2
河内屋仁兵衛売上証文[覚](掛ふのり代金100文受取に付) 河内屋仁兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→六兵衛殿	(享保7年)4月5日	横切継紙・1通	む37-10-3
伊勢町河内屋仁兵衛売上証文[覚](ふのり代金200文受取に付) 伊勢町河内屋仁兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→源六殿	(享保7年)4月9日	横切継紙・1通	む37-10-4
四つ屋勘右衛門売上証文[覚](酒等代金90文受取に付) 四つ屋勘右衛門→大塚吉蔵殿	(享保7年)寅2月27日	堅紙・1通	む37-10-5
牧嶋村源七売上証文[覚](わらじ代金40文受取に付) 牧嶋村源七→関田庄助殿	(享保7年)寅2月29日	堅紙・1通	む37-10-6
西寺尾村肝煎武左衛門他二名売上証文[覚](下白代金130文等受取に付) 西寺尾村肝煎武左衛門・組頭勇右衛門・同義之丞／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→関田庄助殿・中俣金大夫殿・石倉重郎右衛門殿	享保7年寅4月	堅継紙・1通	む37-10-7
木引茂大夫他三名金銭受取書[通換御作料金請取証文之事](鹿々御作料乾金3両6匁受取に付) 木引茂大夫・同又市・同権七他1名／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所／石倉十郎右衛門殿・中俣金大夫殿	享保7年寅4月16日	堅継紙・1通	む37-10-8
木町小平次売上証文[覚](筆等代金ノ532文受取に付) 木町小平次／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→大嶋小左衛門殿	(享保7年)寅4月19日	堅紙・1通	む37-10-9
信州松代いせや伝右衛門売上証文[御買上](墨代金150文受取に付) 信州松代いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右	(享保7年)寅4月19日	堅紙・1通	む37-10-10

衛門→清水孫左衛門様			
木町菊屋八田嘉右衛門売上証文[御買上](五寸釘等代金ノ4両3分14匁2分5厘受取に付) 木町菊屋八田嘉右衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→白井平左衛門様／石倉重郎右衛門殿・中俣金大夫殿	享保7年寅4月20日	縦継紙・1通	む37-10-11
信州松代いせや伝右衛門売上証文書[御買上](墨代金38文受取に付) 信州松代いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様	(享保7年)寅5月2日	縦紙・1通	む37-10-12
木町小平治売上証文[覚](筆等代金ノ205文受取に付) 木町小平治／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→塚田茂左衛門様	(享保7年)寅5月6日	縦継紙・1通	む37-10-13
伊勢町河内屋仁兵衛売上証文[覚](筆等代金ノ100文受取に付) 伊勢町河内屋仁兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様	(享保7年)寅ノ5月25日	縦継紙・1通	む37-10-14
信州松代いせや伝右衛門売上証文[御売上](筆代金332文受取に付) 信州松代いせや伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御本ノ所	享保7年寅5月27日	縦紙・1通	む37-10-15
[子年売上入](封筒)		封筒・1通	む37-11
(売上証文貼継一括 享保5年3月～12月)		貼継じゃばら折一括・82点	む37-12
善光寺下堀小路作右衛門売上証文[覚](延鉄代金小形金10両受取に付) 善光寺下堀小路作右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→白井平左衛門様御付人北村勇左衛門殿	享保5年子ノ3月8日	縦継紙・1通	む37-12-1
信州松代伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](大平墨代金20文受取に付) 信州松代伊勢屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	(享保5年)子ノ3月24日	縦継紙・1通	む37-12-2
いせ町六兵衛売上証文[覚](□代金58文受取に付) いせ町六兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→次右衛門殿	(享保5年)子3月24日	縦継紙・1通	む37-12-3
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ4月朔日	縦紙・1通	む37-12-4
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ4月3日	縦紙・1通	む37-12-5
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金3分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子4月5日	縦紙・1通	む37-12-6
亀倉村弥左衛門売上証文[覚](炭代金乾金2分受取に付) 亀倉村弥左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永次左衛門殿・石倉重郎右衛門殿	(享保5年)子4月6日	縦紙・1通	む37-12-7
かみや町宗助売上証文[覚](油おり代金24文受取に付) かみや町宗助／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→佐左衛門殿	(享保5年)子4月7日	縦紙・1通	む37-12-8
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／石倉十郎右衛門殿・富永治左衛門殿	享保5年子4月9日	縦紙・1通	む37-12-9
善光寺下堀小路作右衛門売上証文[覚](長刻代金4両受取に付) 善光寺下堀小路作右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→白井平左衛門様御付人堀内清蔵殿	享保5年子ノ4月9日	縦紙・1通	む37-12-10
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子4月11日	縦紙・1通	む37-12-11
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子4月12日	縦紙・1通	む37-12-12
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右	享保5年子4月15日	縦紙・1通	む37-12-13

む 9 藩政／財政／奥向勘定

衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿			
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ4月17日	豎紙・1通	む37-12-14
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿／富永次左衛門殿・石倉重郎右衛門殿	享保5年子ノ4月18日	豎紙・1通	む37-12-15
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／石倉十郎右衛門殿・富永治左衛門殿	享保5年子ノ4月21日	豎紙・1通	む37-12-16
中町藤兵衛売上証文[覚](ふるひ代金116文受取に付) 中町藤兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→次右衛門殿	(享保5年)子4月21日	豎紙・1通	む37-12-17
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ4月26日	豎紙・1通	む37-12-18
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ4月27日	豎紙・1通	む37-12-19
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ5月朔日	豎紙・1通	む37-12-20
請負森村大工伝内他一名金銭受取書[御請負申上候御本丸大御門柱穴并ほぞ之事](入札御吟味の上金1両1分銀10匁5分受取に付) 請負森村大工伝内・同断気宿村大工喜八／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所様／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ5月朔日	豎紙・1通	む37-12-21
万屋清右衛門売上証文[覚](ふのり代金新金1両1分受取に付) 万屋清右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→水野太兵衛殿・柿崎幾右衛門殿	享保5年子ノ4月28日	豎紙・1通	む37-12-22
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ5月9日	豎紙・1通	む37-12-23
かうじん町半之丞売上証文[覚](いざる代金72文受取に付) かうじん町半之丞／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→五兵衛殿	(享保5年)子5月13日	切紙・1通	む37-12-24
信州松代いせや伝右衛門売上証文[御売上](大形大半等ノ50文受取に付) 信州松代いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→五兵衛殿	(享保5年)子5月17日	横切継紙・1通	む37-12-25
菊屋又七売上証文[覚](油のおり代金24文受取に付) 菊屋又七／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→御役所	(享保5年)子ノ5月20日	切紙・1通	む37-12-26
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ5月30日	豎紙・1通	む37-12-27
御安口石切文左衛門他一名金銭受取書[覚](石切作料乾金1分銀10匁受取に付並びに金銭受渡見届に付) 御安口石切文左衛門・同断平六／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→白井平左衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子5月23日	豎紙・1通	む37-12-28
鍛冶七右衛門他一名売上証文[覚](手鎖代金3両1分銀8匁2分9厘受取に付) 鍛冶七右衛門・同徳兵衛→矢野倉弥大夫殿	(享保5年)子4月21日	豎紙・1通	む37-12-29
矢野倉弥大夫金銭受渡書[覚](御用鎖代金3両1分銀8匁2分9厘払に付) 矢野倉弥大夫／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→白井平左衛門殿	(享保5年)子ノ5月24日	横切紙・1通	む37-12-30
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／石倉十郎右衛門殿・富永治左衛	享保5年子ノ5月25日	豎紙・1通	む37-12-31

門殿			
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ5月27日	縦紙・1通	む37-12-32
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／石倉十郎右衛門殿・富永治左衛門殿	享保5年子ノ6月朔日	縦紙・1通	む37-12-33
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ6月2日	縦紙・1通	む37-12-34
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ6月5日	縦紙・1通	む37-12-35
清野村権兵衛売上証文[覚](清野表代金1分受取に付) 清野村権兵衛／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→富永次左衛門殿・石倉重郎右衛門殿	享保5年子ノ6月6日	縦紙・1通	む37-12-36
こん屋町みのや甚五右衛門売上証文[覚](ふるい布切代金40文受取に付) こん屋町みのや甚五右衛門／(奥印)須藤半弥・病氣無印山越六郎右衛門→八右衛門様	(享保5年)子6月12日	切紙・1通	む37-12-37
馬喰町大工伊右衛門他一名金銭受取書[請取申候金子之事](御本丸大御門六葉請負代金乾金2分受取に付) 馬喰町大工伊右衛門・荒神町大工源介／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行様／富永次左衛門殿・石倉重郎右衛門殿	享保5年子6月16日	縦紙・1通	む37-12-38
紙屋町宇右衛門他一名金銭受取書[御本丸御門御屋祢坪](御本丸大御門御屋祢坪代金銀2貫803匁3分3厘6毛受取に付) 紙屋町宇右衛門・紺屋町六兵衛／(奥印)白井平左衛門／(奥印)三輪長右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→白井平左衛門様／富永治左衛門殿・石倉重郎右衛門殿	享保5年子之6月19日	縦継紙・1通	む37-12-39
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1両受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉重郎右衛門殿	享保5年子ノ6月20日	縦紙・1通	む37-12-40
信州松代いせ屋伝右衛門売上証文[覚](墨代金ノ3匁5分4厘受取に付) 信州松代いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→市右衛門殿	(享保5年)子6月24日	縦紙・1通	む37-12-41
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／石倉十郎右衛門殿・富永治左衛門殿	享保5年子ノ6月27日	縦紙・1通	む37-12-42
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金2分受取に付並びに金銭受渡見届に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ7月11日	縦紙・1通	む37-12-43
草屋左又他一名売上証文[覚](油おり40文受取に付) 草屋左又・甚四郎／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御用御屋敷御使はん小右衛門殿	(享保5年)子ノ7月18日	切紙・1通	む37-12-44
善光寺柁佐兵衛金銭受取書[覚](槻木角取代金乾金1分受取に付) 善光寺柁佐兵衛／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→倉沢四郎兵衛殿／石倉十郎右衛門殿・富永治左衛門殿	享保5年子ノ7月24日	縦紙・1通	む37-12-45
笹平村柁勘六金銭受取書[覚](槻木角取代金銀12匁5分受取に付) 笹平村柁勘六／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→倉沢四郎兵衛殿／石倉重郎右衛門殿・富永次左衛門殿	享保5年子7月24日	縦紙・1通	む37-12-46

む 9 藩政／財政／奥向勘定

谷町大坂屋七蔵売上証文[覚](上々板ふのり代金1両2分受取に付) 谷町大坂屋七蔵／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→柿崎幾右衛門殿・水野太兵衛殿	(享保5年)子ノ7月22日	竖紙・1通	む37-12-47
亀倉村弥左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村弥左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ8月4日	竖紙・1通	む37-12-48
後安口石切平六金銭受取書[覚](御本丸中御門石切御細工御作料銀10匁受取に付) 後安口石切平六／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行様／石倉重郎右衛門殿・富永次左衛門殿	享保5年子ノ8月7日	竖紙・1通	む37-12-49
みのや甚五右衛門売上証文[覚](ふるい麻布代金100文受取に付) みのや甚五右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→源六様	(享保5年)子8月12日	切紙・1通	む37-12-50
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉重郎右衛門殿	享保5年子ノ8月13日	竖紙・1通	む37-12-51
亀倉村左平次売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村左平次／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ8月14日	竖紙・1通	む37-12-52
団野定八他十一名金銭受取書[請取申候御作料金之事](両所御門御作料金乾金18両1分受取に付) 団野定八・小泉浅右衛門・田中弥兵衛他9名／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所／石倉重郎右衛門殿・富永治左衛門殿	享保5年子8月	竖継紙・1通	む37-12-53
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1両受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／石倉重郎右衛門殿・富永治左衛門殿	享保5年子ノ8月18日	竖紙・1通	む37-12-54
いせ町六兵衛売上証文[覚](くわから代金387文受取に付) いせ町六兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御丈武右衛門殿	(享保5年)子8月27日	切紙・1通	む37-12-55
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御鍛冶勘右衛門殿／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ9月3日	竖紙・1通	む37-12-56
紙屋町宇右衛門売上証文[御売上](石灰代金乾金6両2分銀11匁7分4厘受取に付) 紙屋町宇右衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→白井平左衛門様／石倉重郎右衛門殿・富永次左衛門殿	享保5年子9月	竖紙・1通	む37-12-57
中町四郎右衛門売上証文[御売上](石灰代金乾金1分受取に付) 中町四郎右衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→白井平左衛門様／石倉重郎右衛門殿・富永次左衛門殿	享保5年子9月	竖紙・1通	む37-12-58
安庭村木挽九兵衛他一名金銭受取書[覚](木挽御作料乾金1両1分受取に付) 安庭村木挽九兵衛・念仏寺村木挽安右衛門／(奥印)倉沢四郎兵衛／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→倉沢四郎兵衛殿／白井平左衛門殿／石倉十郎右衛門殿・富永治左衛門殿	享保5年子9月10日	竖紙・1通	む37-12-59
御安口村大工侍左衛門金銭受取書[御作料受取証文之事](二ノ丸御曲輪南御門上ノ重裏四戸等御作料金乾金3分受取に付) 御安口村大工侍左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ9月17日	竖紙・1通	む37-12-60
紺屋町六兵衛他一名金銭受取書[御本丸中御柿御屋祢](御本丸中御門柿御屋祢代金23両3分銀6匁6厘受取に付) 紺屋町六兵衛・紙屋町宇右衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)三輪長右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→白井平左衛門様／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子9月18日	竖継紙・1通	む37-12-61
紺屋町六兵衛他一名金銭受取書[御本丸東御柿御屋祢](御本丸東御門柿御屋祢・御本丸南冠御門柿御屋祢代金29両銀8分3厘受取に付) 紺屋町六兵衛・紙屋町宇右衛門／(奥印)	享保5年子9月18日	竖継紙・1通	む37-12-62

白井平左衛門／(奥印)三輪長右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→白井平左衛門様／石倉重郎右衛門殿・富永治左衛門殿			
馬喰町大工伊右衛門金銭受取書[御作料金請取申証文之事](御本丸南大御門二階裏戸等御作料金乾金2分銀6匁受取に付) 馬喰町大工伊右衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所／富永治左衛門殿・石倉重郎右衛門殿	享保5年子9月29日	縦紙・1通	む37-12-63
いせ町徳兵衛売上証文[覚](せうふ代金12文受取に付) いせ町徳兵衛／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門殿	(享保5年)子10月5日	切紙・1通	む37-12-64
いせ町長右衛門売上証文[覚](布切代金24文受取に付) いせ町長右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門殿	(享保5年)子ノ10月5日	切紙・1通	む37-12-65
信州松代伊勢屋伝右衛門売上証文[御売上](芳野紙代金32文受取に付) 信州松代伊勢屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様	(享保5年)子10月5日	切紙・1通	む37-12-66
信州松代嶋屋九兵衛売上証文[覚](弁柄代金164文受取に付) 信州松代嶋屋九兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→源六様	(享保5年)10月6日	切紙・1通	む37-12-67
中町半治郎売上証文[覚](油おり代金81文受取に付) 中町半治郎／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→勘七殿	(享保5年)子ノ10月7日	縦紙・1通	む37-12-68
御請負大工清野村文平金銭受取書[御作料金請取証文](御本丸南大御門同断東御門等御作料乾金1分受取に付) 御請負大工清野村文平／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子10月	縦紙・1通	む37-12-69
御請負大工鼠宿村喜八他二名金銭受取書[御作料金請取証文](御本丸御堀等御作料乾金3両1分銀10匁2分受取に付) 御請負大工鼠宿村喜八・同断幸原村勘左衛門・同断森村源兵衛／(奥印)白井平左衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→御普請御奉行所／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子10月11日	縦継紙・1通	む37-12-70
亀倉村三左衛門売上証文[覚](炭代小形金1分受取に付) 亀倉村三左衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御鍛冶勘右衛門殿／石倉重郎右衛門殿・富永治左衛門殿	享保5年子ノ10月15日	縦紙・1通	む37-12-71
信州松代嶋屋九兵衛売上証文[覚](たん代金60文受取に付) 信州松代嶋屋九兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→源六殿	(享保5年)子10月16日	切紙・1通	む37-12-72
信州松代いせ屋伝右衛門売上証文[御売上](松紙30文等代金受取に付) 信州松代いせ屋伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門様	(享保5年)子ノ10月17日	縦紙・1通	む37-12-73
菊屋与兵衛売上証文[覚](たん代金50文受取に付) 菊屋与兵衛／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様	(享保5年)10月20日	切紙・1通	む37-12-74
紙屋町宇右衛門他一名金銭受取書[御本丸大御門御番所柿御屋栋](御本丸大御門御番所御屋栋葺代金6両3分銀1匁4分3厘受取に付) 紙屋町宇右衛門・紺屋町六兵衛／(奥印)白井平左衛門／(奥印)三輪長右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→白井平左衛門様／石倉重郎右衛門殿・富永次左衛門殿	享保5年子10月27日	縦継紙・1通	む37-12-75
請負大工森村儀兵衛他一名金銭受取書[御作料金請取申証文](御本丸南大御門扉等御作料乾金3両銀9匁受取に付) 請負大工森村儀兵衛・同断同所善四郎／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子10月26日	縦紙・1通	む37-12-76
御請負大工田町次郎兵衛他七名金銭受取書[御作料金請取申証文](御本丸南大御門御番所造作等御作料乾金2両銀12匁受取に付) 御請負大工田町次郎兵衛・同断馬喰町六右衛門・同断森村源兵衛他5名／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子10月26日	縦継紙・1通	む37-12-77
信州松代いせ屋伝右衛門売上証文[覚](四対物筆代金250文受取に付) 信州松代いせ屋伝右衛門／(奥印)山越六郎右衛門・須藤半弥→清水孫左衛門様・塚田茂左衛門様	(享保5年)子10月28日	縦紙・1通	む37-12-78

む 9 藩政／財政／奥向勘定 10 藩政／財政／御側御納戸／金銭諸払

信州松代いせや伝右衛門売上証文〔御売上〕(四対物筆代金124文受取に付) 信州松代いせや伝右衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→清水孫左衛門様	(享保5年)子11月4日	竖紙・1通	む37-12-79
御安口石切平六金銭受取書〔覚〕(御本丸冠御門切石御作料金銀5匁受取に付) 御安口石切平六／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→御普請御奉行所／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ11月15日	竖紙・1通	む37-12-80
信州松代中町彦五郎売上証文〔覚〕(筆代金164文受取に付) 信州松代中町彦五郎／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→大嶋小左衛門様	(享保5年)11月21日	切紙・1通	む37-12-81
八田加嘉衛門売上証文〔御用釘御売上〕(五寸釘等代金ノ銀2貫263匁5厘受取に付) 八田嘉右衛門／(奥印)白井平左衛門／(奥印)須藤半弥・山越六郎右衛門→白井平左衛門様／富永治左衛門殿・石倉十郎右衛門殿	享保5年子ノ12月6日	竖継紙・1通	む37-12-82
(刀剣代金受取証文一括)		包紙一括・3点	む15
[定メ書式通](包紙) 国次→ -		包紙・1点	む15-1
国次刀剣売渡書〔定〕(飾鳩丸拵筋金鉄具刀1腰2両3歩に付) (大和国追分三条小鍛冶宗近末孫)国次→ - 奥裏「千六百ばん」、割印あり	文久3年癸亥3月吉日	横折紙・1通	む15-2
国次刀剣売渡書〔定〕(鯨柄拵小脇差1腰2歩2朱に付) (大和国追分三条小鍛冶宗近末孫)国次→ - 奥裏「千六百番」、割印あり	文久3年癸亥3月吉日	横折紙・1通	む15-3
(金銭受取証文綴)		紙縫かぶせ綴一括・6点	む39
斎田虎尾金銭受取証文(呉服他代金として支払うための439両余受取に付) 御納戸役仕政取扱斎田虎尾／(奥印)相原音五／(奥印)片岡弘人・立合千喜良新之進／(奥印)植植嘉兵衛→ -		竖継紙・1通	む39-1
万屋七兵衛代定吉金銭受取証文〔覚〕(白袖1つ他代金2貫193匁余受取に付) 万屋七兵衛代定七→表御納戸御役所	寅正月	竖継紙・1通	む39-2
ゑひす屋嘉七金銭受取証文〔覚〕(縮緬御長1反他代金4貫443匁受取に付) ゑひすや(屋)嘉七→表御納戸御役人衆中様		竖継紙・1通	む39-3
某金銭受取証文〔覚〕(黒羽二重他代金受取に付) 後欠		横切継紙・1通	む39-4
松屋伝蔵金銭受取証文〔覚〕(御祿地1反代金657匁受取に付) 松屋伝蔵→表御納戸方御役人衆中様	寅3月	横切紙・1通	む39-5
増屋定兵衛金銭受取証文〔覚〕(丈表布48反他代金4貫11匁余受取に付) 増屋定兵衛→表御納戸御役人中様	寅7月	竖継紙・1通	む39-6

10 藩政／財政／御側御納戸／金銭諸払

(呉服代金受取書一括 万延元年8月～文久元年3月)		封筒一括・29点	む16
[呉服代金請払売上式綴 御勘定帳](封筒) 久保極人→ -	万延元年申8月	封筒・1点	む16-1
(呉服代金受取書一括 万延元年分)		かぶせ綴・13点	む16-2
(紙縫)		紙縫・1点	む16-2-1
升屋忠四郎呉服代金受取証文〔覚〕(千掛地10枚代金75匁に付) 升屋忠四郎→上 貼紙「万延元年申年八月より十二月迄売上」	(万延元年)6月25日	横切継紙・1通	む16-2-2
升屋忠四郎代正助呉服代金受取証文〔覚〕(横麻上下地他代金3両3分2朱受取に付) 升屋忠四郎代正助→上	(万延元年)9月朔日	横切紙・1通	む16-2-3
万屋七兵衛代弁吉呉服代金受取証文〔覚〕(白近江物等代金5両受取に付) 万屋七兵衛→中俣一平様御取次中様	(万延元年)9月朔日	横切紙・1通	む16-2-4
ゑひす屋半三郎他一名呉服代金受取証文〔覚〕(羽織紐他3両	(万延元年)9月4日	横切紙・1通	む16-2-5

2分余に付) ゑひす屋半三郎・吉介→御側御納戸御役人衆中様			
白木屋重右衛門他一名呉服代金受取証文[覚](呉服柄代金2分2朱に付) 白木屋重右衛門→中俣一平様 下ヶ札あり	(万延元年)申9月25日	横切紙・1通	む16-2-6
升屋忠四郎宇兵衛代正助呉服代金受取証文[覚](晒木綿等7両に付) 升屋忠四郎宇兵衛代正助→真田様中俣一平様	(万延元年)申12月30日	横切継紙・1通	む16-2-7
万屋七兵衛代弁吉呉服代金受取証文[覚](白羽二重他36両1分余に付) 万屋七兵衛代弁吉→中俣一平様御取次衆中様 朱書あり	(万延元年)申12月29日	横切紙・1通	む16-2-8
ゑひす屋半三郎他一名呉服代金受取証文[覚](黒八丈他31両3分余に付) ゑひす屋半三郎・吉介→御側御納戸御役人衆中様	(万延元年)申12月	縦継紙・1通	む16-2-9
坂屋賀助代善吉呉服代金受取証文[覚](晒木綿他23両受取に付) 坂屋賀助代善吉→御茶部屋役所	万延元年申12月	縦継紙・1通	む16-2-10
沼田屋大蔵呉服代金受取証文[覚](晒木綿等3両2分余受取に付) 沼田屋大蔵→御茶部屋御役所	万延元年酉12月	縦継紙・1通	む16-2-11
佐藤作兵衛呉服代金受取証文[覚](御上下他2匁に付) 佐藤作兵衛→	(万延元年)酉正月	横切紙・1通	む16-2-12
肴町市郎兵衛呉服代金受取証文[覚](足袋19匁5分に付) 肴町市郎兵衛→御茶部屋御役所	万延元年申12月	横切紙・1通	む16-2-13
(呉服代金受取書一括 文久元年分)		かぶせ綴・15点	む16-3
(紙繕)		紙繕・1点	む16-3-1
ゑひす屋半三郎他一名呉服受取証文[覚](羽織紐・干草緒・相藤緒等6品代金受取に付) ゑひす屋半三郎・彦介→御側納戸御役人衆中様 端貼紙「文久元酉年正月より五月中迄売上」	(文久元年)酉3月	縦紙・1通	む16-3-2
升屋忠四郎代惣四郎呉服受取証文[覚](氷根真岡代金120匁受取に付) 「岩井屋」(抹消)升屋忠四郎代惣四郎→御側納戸御役人衆中様	(文久元年)酉3月22日	縦紙・1通	む16-3-3
万屋七兵衛代弁吉呉服受取証文[覚](白香ねり絹代金3両2分余受取に付) 万屋七兵衛代弁吉→中俣一平様御取次衆中様	(文久元年)酉3月13日	横切紙・1通	む16-3-4
万屋七兵衛代弁吉呉服受取証文[覚](白近江晒代銀1分170匁余受取に付) 万屋七兵衛代弁吉→中俣一平様御取次衆中様	(文久元年)酉5月	横切紙・1通	む16-3-5
ゑひす屋半三郎・彦介呉服受取証文[覚](干草緒3両2分余受取に付) ゑひす屋半三郎・彦介→御側納戸御役人衆中様	(文久元年)酉5月	縦紙・1通	む16-3-6
播磨屋半二郎他一名呉服受取証文[覚](絹15疋受取に付) はりま屋半二郎→御側納戸御役人衆中様	(万延元年)申ノ5月	縦紙・1通	む16-3-7
越後十日町後藤卯吉呉服受取証文[覚](御召縮5両余受取に付) 越後十日町後藤卯吉→上	文久元年酉5月19日	縦紙・1通	む16-3-8
越後十日町後藤卯吉呉服受取証文[覚](縮御袴代金3分受取に付) 越後十日町後藤卯吉→上	文久元年酉5月19日	縦紙・1通	む16-3-9
越後十日町後藤卯吉呉服受取証文[覚](紺縮代金2両3分受取に付) 越後十日町後藤卯吉→上	文久元年酉5月19日	縦紙・1通	む16-3-10
坂屋賀助呉服受取証文[覚](黒田丸等代金30両余受取に付) 坂屋賀助→御茶部屋御役所	文久元年酉5月	縦継紙・1通	む16-3-11
沼田屋大蔵呉服受取証文[覚](白袖等代金5両2分余受取に付) 沼田屋大蔵→御茶部屋御役所	文久元年酉5月	縦継紙・1通	む16-3-12
美濃屋市郎兵衛呉服受取証文[覚](足袋代金161匁受取に付) 美濃屋市郎兵衛→御茶部屋御役所	文久元年酉5月20日	縦切紙・1通	む16-3-13
佐藤慎平漬物代金受取証文[覚](瓜代金15匁余受取に付) 佐藤慎平→五藤七郎殿	(文久元年)酉5月	切紙・1通	む16-3-14
佐藤慎平呉服代金受取証文[覚](肩衣上下代銀金161匁余受	(文久元年)酉7月	切紙・1通	む16-3-15

む 10 藩政／財政／御側御納戸／金銭諸払

取に付) 佐藤作兵衛→ -			
(舶来品購入関係用状綴)		紙綴綴・48点	む11
三人用状(端裏書)[巾着御用状](極上品購入依頼に付) 三人→(宮下)孫兵衛様	12月12日	横切継紙・1通	む11-1
三人用状(銀針10本購入依頼に付) 三人→御三人様	正月20日	横切継紙・1通	む11-2
[御注文内事](封筒) 興津権右衛門・大熊俊之丞→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-3
興津権右衛門他一名用状(端裏書)[御買上物注文書](晋唐小階筆50本等購入依頼に付) (興津権右衛門・大熊俊之丞)→(宮下孫兵衛様)		切紙・1通	む11-4
三人書状(御用品購入依頼に付) 三人→(宮下)孫兵衛様	正月21日	横切継紙・1通	む11-5
三人書状(鹿野茂手木より御用の品購入依頼に付) 三人→(宮下)孫兵衛様	正月22日	横切継紙・1通	む11-6
[御用筋 義大夫三味線糸之事](封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-7
四人用状(御用のため義大夫三味線糸購入依頼に付) 四人→宮下孫兵衛様	2月3日	横切紙・1通	む11-8
四人用状(端裏書)[御打釘御注文](御用のため鍼10本購入依頼に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	2月7日	横切紙・1通	む11-9
[御用 半切御注文](封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-10
四人用状(紙50枚越前屋林之助より購入依頼に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	2月12日	横切継紙・1通	む11-11
[御用 御剃刀御注文之事](封筒)		封筒・1点	む11-12
(剃刀注文の事に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	2月13日	横切継紙・1通	む11-13
[御用答 返事のみ](封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-14
四人用状(銀針購入依頼に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	2月21日	横切継紙・1通	む11-15
[御用答 阿蘭陀鎖り之事](封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-16
四人書状(オランダ製銀鎖り時計購入依頼に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	2月21日	横切継紙・1通	む11-17
(封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-18
四人用状(絵の具購入依頼に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	6月23日	横切継紙・1通	む11-19
(封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様	3月13日	封筒・1点	む11-20
四人書状(剃刀等注文の品購入に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	2月29日	横切継紙・1通	む11-21
[御注文物之事](封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様	3月7日	封筒・1通	む11-22
四人書状(綿裏針内等購入に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	3月7日	横切継紙・1通	む11-23
文魁屋弥兵衛金銭受取証文[覚](綿裏針等45匁に付) 文魁屋弥兵衛→宮入(半之丞)様	4月27日	横切継紙・1通	む11-24
[御針御注文之事](封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-25
四人用状(釘之通り20本購入に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	3月19日	横切継紙・1通	む11-26
(封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-27
四人用状(釘之通り20本購入に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	3月27日	横切継紙・1通	む11-28
(封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-29

四人用状(銀針10本到着にて藩主喜びに付) 四人→(宮下)孫兵衛様	3月28日	横切継紙・1通	む11-30
[銀鎖り之事](封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-31
四人用状(鎖銀時計到着にて藩主喜びに付) 四人→(宮下)孫兵衛様	3月28日	横切継紙・1通	む11-32
三人用状并付札(端裏書)[銀鎖り之方](オランダ銀鎖時計に付並びに代料はその内送付のため立替願の旨付札) 三人→御三人様	正月20日	横切紙・1通	む11-33
[玄岱アメリカ筆之事](封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-34
四人用状(アメリカ筆購入依頼に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	4月7日	横切継紙・1通	む11-35
[御用答 算法御本之事](封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-36
四人用状(打針・「算学必用」等購入依頼に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	4月26日	横切継紙・1通	む11-37
[御用答](封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-38
三人用状(算法書物残りの分返却の儀等に付) 三人→(宮下)孫兵衛様	5月26日	横切継紙・1通	む11-39
[御用](封筒) 興津権右衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-40
磯田小藤太他一名用状(買物御用引受以来並びに是迄の代金取調べ願に付) (磯田)小藤太・(興津)権右衛門→(宮下)孫兵衛様	5月25日	横切継紙・1通	む11-41
[御用答](封筒) 興津権右衛門・井上五郎左衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-42
四人書状(アメリカ筆先直道具購入の件藩主喜びに付) 四人→(宮下)孫兵衛様	5月27日	横切継紙・1通	む11-43
四人書状(端裏書)御絵具御書上事(オランダ郡青・録青絵の具購入依頼に付) 四人→(宮下)孫兵衛様	6月7日	横切継紙・1通	む11-44
[御用答 返事耳](封筒) 興津権右衛門→宮下孫兵衛様		封筒・1点	む11-45
興津権右衛門用状(買物代金8兩余慎七郎より受取り願に付) (興津)権右衛門→(宮下)孫兵衛様	9月朔日	横切継紙・1通	む11-46
某用状(書籍5品注文書)		切紙・1通	む11-47
某用状[覚](梳櫛・梳油等注文書)		切紙・1通	む11-48

11 藩政／財政／御茶部屋／金銭諸払

(御用物関係金銭受取証文類綴)		紙綴綴・171点	む18
山田久賀代金支払証文[覚](絹細紐代48文道中小諸宿にて買上代金支払に付) 山田久賀→「臨」	10月23日	切紙・1通	む18-1
新町宿なべ屋惣助金銭受取証文[覚](燭台膳348文に付) 新町宿なべ屋惣助→上「臨」	10月25日	横切継紙・1通	む18-2
籠原御野立御本陣笹屋源蔵金銭受取証文[覚](曲物入食べ物類代20疋に付) 籠原御野立御本陣笹屋源蔵→上「臨」	10月26日	縦紙・1通	む18-3
羽根屋源蔵金銭受取証文并紙背貼紙[覚](策等代122文に付並びに代金常田氏へ回送願の旨) 羽根屋源蔵→上「臨」	(10月)	切紙・1通	む18-4
丸屋善蔵金銭受取証文[覚](大森海苔代1匁2朱に付) 丸屋善蔵→上「臨」	亥霜月11日	切紙・1通	む18-5

む 11 藩政／財政／御茶部屋／金銭諸払

播磨屋長二郎金銭受取証文[覚](火はし代128匁に付) はり まや(播磨屋)長二郎→上 「臨」	11月13日	切紙・1通	む18-6
東六屋庄藏金銭受取証文[覚](三つ持吸口代13匁に付) 東 六屋庄藏→上 「臨」	11月16日	切紙・1通	む18-7
魚屋豊七金銭受取証文[覚](御□さ 1折代2両1分余に付) (桜田)魚屋豊七→松代様御茶部屋御役人衆中様	12月29日	堅紙・1通	む18-8
本屋定次郎金銭受取証文[覚](星月夜初六郎代446文余に 付) 本屋定次郎→上 「臨有」	11月	切紙・1通	む18-9
いづミ屋市兵衛金銭受取証文[覚](晨メ入れ笊代2貫に付) いづミ屋市兵衛→上 「臨有」	11月4日	切紙・1通	む18-10
山下木之助金銭受取証文[覚](酒・塩代744文に付) 山下木之 助→ - 「定」	亥11月	切紙・1通	む18-11
山田久賀金銭受取証文[覚](今坂餅等代2分2朱に付) 山田 久賀→ - 「定」	11月17日	横切継紙・1通	む18-12
田村半助金銭受取証文[覚](私内雇代等代1匁に付) 田村半 助→上 「定」	亥11月3日	横切紙・1通	む18-13
能州屋久七金銭受取証文[覚](極上和シ等代に付) 能州屋久 七→上 「定」	亥11月5日	切紙・1通	む18-14
くらた屋久次郎金銭受取証文[覚](極上剃刀代12匁8分に 付) くらた屋久次郎→上(貼紙)「小幡保之助殿料可相廻事」 「定」	亥11月5日	切紙・1通	む18-15
伊藤良三金銭受取証文[覚](中貫御草履3足等代720文受取 並びに支払約定に付) 伊藤良三→ - 「定」	12月	切紙・1通	む18-16
鹿島屋嘉助金銭受取証文[覚](上下奉書1束代720文に付) (数寄屋橋)鹿島屋嘉助→上 「定」	11月23日	切紙・1通	む18-17
井池慶治郎代定吉金銭受取証文[覚](蠟燭代金84匁余に付) 井池慶治郎代定吉→上 「定」	11月晦日	切紙・1通	む18-18
小納戸与助金銭受取証文[覚](奉書紙代24匁6分6厘に付) 小納戸与助→上	亥10月	堅紙・1通	む18-19
能州屋久七金銭受取証文[覚](平折等1貫に付) 能州屋久七 →上 「定」	亥2月4日	堅紙・1通	む18-20
鹿島屋嘉助金銭受取証文[覚](小奉書紙1束代3分余に付) 鹿島屋嘉助→上 「定」	亥12月11日	横切継紙・1通	む18-21
鹿島屋平三郎[覚](大奉書紙20枚代1両2朱余に付) 鹿島屋平 三郎→上 「定」	12月11日	横切紙・1通	む18-22
物書初太郎金銭受取証文[覚](8月から12月まで筆墨代472 文に付) 物書初太郎→ - 「定」	亥12月	横切紙・1通	む18-23
いせや久助金銭受取証文[覚](□□代7匁5分に付) いせや久 助→上 「定」	12月18日	横切紙・1通	む18-24
鈴木栄慎金銭受取証文[覚](千足草履70足代728文に付) 鈴 木栄慎→ - 「定」、綴外れ	亥12月	横切紙・1通	む18-25
井池慶次郎金銭受取証文[覚](蠟燭代29匁に付) 井池慶次郎 使大藏→御茶部屋御役所 「定」	亥12月	横切継紙・1通	む18-26
金花堂佐助代竹藏金銭受取証文[覚](奉書文留200枚代に 付) 金花堂佐助代竹藏→山田(久賀)様 「定」	12月	堅切紙・1通	む18-27
金花堂佐助代竹藏金銭受取証文[覚](奉書・千代紙等代97匁 5分に付) 金花堂佐助代竹藏→山田(久賀)様 「定」	12月	堅紙・1通	む18-28
小納戸与助金銭受取証文[覚](上・並・下端切奉書紙代17匁 余に付) 小納戸与助→上 「定」	亥12月	堅紙・1通	む18-29
和泉屋真兵衛金銭受取証文(多宝塔等代1両2朱余に付) 和 泉屋真兵衛→山田(久賀)様上 「臨」	12月28日	堅紙・1通	む18-30

和泉屋真兵衛金銭受取証文[覚](名山拝会代6分余に付) 和泉や真兵衛→山田(久賀)様上 「臨」	12月28日	切紙・1通	む18-31
岡田屋嘉七金銭受取証文[覚](顔公帖4本代3両に付) 岡田屋嘉七→山田(久賀)様上 「臨」	12月27日	切紙・1通	む18-32
出雲寺金銭受取証文(呉子官板代1匁7分に付) 出雲寺→上 「臨」	12月29日	切紙・1通	む18-33
金花堂佐助代竹藏金銭受取証文[覚](四書白文等漢籍6点代11匁余に付) 金花堂佐助代竹藏→山田(久賀)様 「臨」	12月	縦継紙・1通	む18-34
金花堂佐助代竹藏金銭受取証文[覚](俳学節用等漢籍13点代55匁余に付) 金花堂佐助代竹藏→山田(久賀)様 「臨」	12月	縦継紙・1通	む18-35
山田久賀金銭受取証文[覚](三盆砂糖代200文能州屋へ支払に付) 山田久賀→ -	12月9日	切紙・1通	む18-36
能州屋久七金銭受取証文[覚](刺身代14文に付) 能州屋久七→上様(山田久賀) 「臨」	12月10日	切紙・1通	む18-37
山下木之助金銭受取証文[覚](酒等代8匁余に付) 山下木之助→ - 「臨」	12月	切紙・1通	む18-38
紙屋五郎金銭受取証文[覚](豆腐等代7分余に付) 紙屋五郎→山田久賀殿 「臨」	12月25日	切紙・1通	む18-39
駿河屋新兵衛金銭受取証文[覚](扇子代36匁に付) 駿河屋新兵衛→上 「臨」	亥12月18日	切紙・1通	む18-40
宮田屋長治郎金銭受取証文[覚](密柑代664文に付) (日本橋四日市)宮田屋長治郎→ -	12月15日	切紙・1通	む18-41
山田久賀金子支払証文[覚](神田橋外松万へ密柑3千100分代23貫240文等支配に付) 山田久賀→ - 「臨」	12月4日	切紙・1通	む18-42
御茶所山本加兵衛金銭受取証文[覚](切箱入山路代10匁に付) (江戸日本橋[])御茶所山本加兵衛→上 「臨」	亥12月5日	切紙・1通	む18-43
東六や庄藏金銭受取証文[覚](桶代10匁に付) 東六や庄藏→上 「臨」	12月4日	切紙・1通	む18-44
丸屋善藏金銭受取証文[覚](極上海苔等代1両分余に付) (銀座一丁目鯉節所)丸屋善藏→上 「臨」	亥12月11日	切紙・1通	む18-45
魚屋豊七金銭受取証文[覚](御交肴1折に付) 魚屋豊七→上	子正月29日	切紙・1通	む18-46
金花堂佐助金銭受取証文[覚](白紙一束代金1分余に付) 金花堂佐助→上 「臨」	12月12日	横切継紙・1通	む18-47
筑後屋市郎兵衛金銭受取証文(真鴨5羽代1両3分余に付) 筑後屋市郎兵衛→上 「臨」	亥12月13日	切紙・1通	む18-48
横田嘉一郎金銭受取証文[覚](紫檀御箸2膳等代732文に付) 横田嘉一郎→ - 「臨」	12月	横切継紙・1通	む18-49
万や茂兵衛金銭受取証文[覚](盆10代7匁5分に付) 万や茂兵衛→上 「臨」		切紙・1通	む18-50
福しま彦太郎金銭受取証文[覚](深金口中平盆等代7匁5分に付) (江戸神明前)福しま彦太郎→上 「臨」	12月12日	横切紙・1通	む18-51
大嶋屋武助金銭受取証文[覚](本箱代2朱と3匁に付) 大嶋屋武助→上 「臨」		切紙・1通	む18-52
山下木之助金銭受取証文[覚](御側御用代1貫400文に付) 山下木之助→上 「臨」	亥12月	切紙・1通	む18-53
金花堂佐助代竹藏金銭受取証文[覚](毛引掛摺代4匁に付) 金花堂佐助代竹藏→山田(久賀)様 「臨」	12月	切紙・1通	む18-54
東屋定次郎金銭受取証文[覚](太平記等書籍代1分2朱等に付) 東や定次郎→上 「臨」	亥12月	横切紙・1通	む18-55
林や登吉金銭受取証文[覚](本箱等代1両2分余に付) 林や	12月29日	横切継紙・1通	む18-56

む 11 藩政／財政／御茶部屋／金銭諸払

登吉金子→山田(久賀)様 「臨」			
いせや栄助金銭受取証文[覚](手遊犬1つ等代64匁3分に付) いせや栄助→御用御役人衆中様 「臨」	12月22日	横切紙・1通	む18-57
能州屋久七金銭受取証文[覚](三盆砂糖代2朱余に付) 能州 屋久七→上様 「臨」	12月9日	切紙・1通	む18-58
御茶所山本加兵衛[覚](上むめ1斤代12匁に付) (江戸日本橋 [])御茶所山本加兵衛→上 「臨」	12月21日	切紙・1通	む18-59
金花堂佐助代竹蔵金銭受取証文[覚](美濃判鴈皮10帖代15 匁に付) 金花堂佐助代竹蔵→山田(久賀)様 「臨」	12月	堅切紙・1通	む18-60
長崎屋兵助金銭受取証文[覚](樟脳代50匁に付) [本石町老 丁目]長崎屋兵助→上 「臨」	子正月4日	切紙・1通	む18-61
播磨屋幸七金銭受取証文[覚](染付土瓶代3匁に付) はりま 屋幸七→上 「臨」	12月大晦日	切紙・1通	む18-62
若松屋喜衛金銭受取証文[覚](御飾羽子板等代2分に付) 若 松屋喜衛→上 「臨」	12月23日	切紙・1通	む18-63
能州屋久七金銭受取証文[覚](三盆糖等代880文に付) 能州 屋久七→上 「臨」	正月18日	切紙・1通	む18-64
浜田安兵衛金銭受取証文[覚](氷室代1分余に付) (氷室中橋 大鋸町)浜田安兵衛→上 「臨」	正月19日	堅切紙・1通	む18-65
大嶋屋武助金銭受取証文[覚](本箱1本代2朱余に付) (桜田 久保町)大嶋屋武助→上 「臨」	正月22日	切紙・1通	む18-66
森屋十兵衛金銭受取証文[覚](相口小刀1丁等代4匁余に付) 森屋十兵衛→上 「臨」	正月29日	横切紙・1通	む18-67
釘屋伝兵衛金銭受取証文[覚](千枚通し代88文に付) (芝明 神宇田川横町)釘屋伝兵衛→上 「臨」	正月晦日	堅切紙・1通	む18-68
本屋定次郎金銭受取証文[覚](鎮西軍記等本代1歩2朱に付) 本屋定次郎→上 「臨」	正月	横切継紙・1通	む18-69
能州屋久七金銭受取証文[覚](和三盆代3貫24文に付) 能州 屋久七→上 「臨」	正月10日	切紙・1通	む18-70
田村半助金銭受取証文[覚](相田□□等代2朱余に付) 田村 半助→上 「定」	子正月5日	横切紙・1通	む18-71
金花堂佐助代竹蔵金銭受取証文[覚](半切紙等紙代13匁5分 に付) (日本橋)金花堂佐助代竹蔵→上 「定」	正月16日	横切紙・1通	む18-72
竹中屋伝蔵金銭受取証文[覚](小杉4百分代に付) (山下町) 竹中屋伝蔵→上 「定」	正月17日	横切紙・1通	む18-73
井池慶二郎代大藏金銭受取証文[覚](蠟燭代76匁に付) 井 池慶二郎代大藏→御茶部屋御役所 「定」	正月	横切継紙・1通	む18-74
月岡桂斎金銭受取証文[覚](草履代652文に付) 月岡桂斎→ - 「定」	子正月	横切継紙・1通	む18-75
林屋金吉金銭受取証文[覚](上々鯉節代1兩余に付) 林屋金 吉→山田(久賀)様 「定」	子2月晦日	横切継紙・1通	む18-76
山下木之助金銭受取証文[覚](稻荷大明神備物代3匁6分と 246文に付) 山下木之助→ - 「臨」	子正月	切紙・1通	む18-77
山下木之助金銭受取証文[覚](日待の節の御供用神酒代1貫 344文に付) 山下木之助→ - 「臨」	子正月	切紙・1通	む18-78
三河屋平六金銭受取証文[覚](蜜柑100代2朱と60文に付) 三河屋平六→上 「臨」	正月4日	切紙・1通	む18-79
山田久賀金子支払証文[覚](海苔の上箱看板紙不足分購入 代金支払に付) 山田久賀→ - 「臨」	正月	切紙・1通	む18-80
山形屋惣八金銭受取証文[覚](新海苔代1匁と140文に付)	正月18日	横切継紙・1通	む18-81

(江戸日本橋釘店)山形屋惣八→御上 「臨」			
山形屋惣八金銭受取証文[覚](新海苔代2両2分余に付) (江戸日本橋釘店)山形屋惣八→御上 「臨」	正月17日	横切継紙・1通	む18-82
森屋十兵衛金銭受取証文[覚](はさみ代3匁4分に付) 森屋十兵衛→上 「臨」	2月2日	切紙・1通	む18-83
横田嘉一郎支払証文[覚](冬至祝誕の節板の間の者への品々荒代として真木代300文受取) 横田嘉一郎→ - 「臨」	子正月	横切紙・1通	む18-84
松葉屋吉兵衛金銭受取証文[覚](極上三つ印毛氈代2両3分に付) (日本橋通三丁目)松葉屋吉兵衛→上	2月5日	横切紙・1通	む18-85
近江屋作兵衛金銭受取証文[覚](別誂織備中筵10枚代52匁に付) (日本橋南三丁目豊表縁かや品々近江屋作兵衛)→上	2月5日	横切継紙・1通	む18-86
松坂屋弥七金銭受取証文[覚](美人画9枚代372文に付) 松坂屋弥七→上	2月5日	切紙・1通	む18-87
浜田屋金銭受取証文[覚](にしきえ9枚代332文に付) はまたや→上	2月6日	切紙・1通	む18-88
某用状(河原敬之進・山岸助蔵おかね様出生御用勤務のため金300疋つつ内々支給願に付)		切紙・1通	む18-89
扇屋万助用状(紐代料支払願に付) 扇面事万助→興津(権右衛門)様	(正月)7日	横切紙・1通	む18-90
扇屋万助用状(ちりめん等代224文勘定書) (江都芝明神前御影堂)扇屋万助→興津(権右衛門)様 む18-91-1・2貼継一括	正月7日	横切継紙・1通	む18-91-1
扇屋万助用状(10本箱代200文に付) (江都芝明神御影堂)扇面事万助→上 む18-91-1・2貼継一括	3月14日	横切紙・1通	む18-91-2
能州屋久七金銭受取証文[覚](三盆糖代103匁余に付) 能州屋久七→上	2月9日	切紙・1通	む18-92
山屋源介金銭受取証文[覚](肴籠代3分2朱と36文に付) 山屋源介→上	2月3日	横切継紙・1通	む18-93
山田久賀支払証文[覚](菊ひし羽代750文に付) 山田久賀→ - 貼紙付	2月15日	切紙・1通	む18-94
坪金金銭受取証文[覚](四寸引切400文に付) (江戸京橋新肴町)坪金→上	2月17日	切紙・1通	む18-95
伊勢屋善之助金銭受取証文[覚](春慶大無頭紙平状箱2つ代17匁に付) (飯倉町六丁目)いせや(伊勢屋)善之助→上	2月18日	横切紙・1通	む18-96
みすや利吉金銭受取証文[覚](黒柄香箱代16匁に付) (江戸京橋南詰)みすや利吉→上	2月18日	切紙・1通	む18-97
みすや庄兵衛金銭受取証文[覚](紫檀器物代9匁に付) (京橋)みすや庄兵衛→上	2月19日	切紙・1通	む18-98
山田久賀支払証文[覚](懷中曆20文に付) 山田久賀→ -	2月18日	切紙・1通	む18-99
名古屋久二郎金銭受取証文[覚](小刀代に付) (てりふり町)名古屋久二郎→上	2月18日	切紙・1通	む18-100
加賀屋栄治郎金銭受取証文[覚](御時大代1朱と100文に付) (江戸橋四日市ギヤマン目鏡所加賀屋栄治郎)→上	2月18日	切紙・1通	む18-101
嶋崎常七金銭受取証文[覚](中古綿代1分2朱に付) (幸橋外丸屋町)嶋崎常七→上		切紙・1通	む18-102
蟹屋和兵衛金銭受取証文[覚](杉折れ修理代2分余に付) (芝口二丁目)かにや和兵衛→山田(久賀)様	2月24日	横切紙・1通	む18-103
松代屋藤吉金銭受取証文[覚](絹たみ代2匁に付) 松代屋藤吉→山田(久賀)様	2月25日	切紙・1通	む18-104
大黒屋治兵衛金銭受取証文(木人形2本代2両1分に付) (東京都堀町北側御人形細工所)大黒屋治兵衛→興津権右衛門様	2月27日	切紙・1通	む18-105

む 11 藩政／財政／御茶部屋／金銭諸払

大嶋屋武助金銭受取証文[覚](本箱代2朱余に付) (桜田久保町)大嶋屋武助→上	2月28日	切紙・1通	む18-106
仲秀英金銭受取証文[覚](極上々親王1封代4兩に付) 仲秀英(朱印)→上	2月23日	横切継紙・1通	む18-107
仲秀英金銭受取証文[覚](極上々楽人五人揃1組代4兩2歩に付) 仲秀英(朱印)→上	2月23日	横切継紙・1通	む18-108
笹屋政治郎金銭受取証文[覚](鞘代・装束代8匁余に付) 笹屋政治郎→上	2月22日	縦紙・1通	む18-109
本屋定四郎金銭受取証文[覚](盛衰記他本代3貫400文に付) 本屋定四郎→上	子3月節句前日	横切継紙・1通	む18-110
松代屋藤吉金銭受取証文[覚](平砂等代4匁余に付) 松代屋藤吉→山田(久賀)様		横切紙・1通	む18-111
浜田安兵衛金銭受取証文[覚](紅白月餅代12分に付) (氷室中橋大鋸町)浜田安兵衛→上	3月朔日	横切継紙・1通	む18-112
林屋豊吉金銭受取証文[覚](御つくい友出し代3匁と5分に付) 林屋豊吉→山田(久賀)様	2月晦日	切紙・1通	む18-113
林屋豊吉金銭受取証文[覚](橋箱代9匁余に付) 林屋豊吉→山田(久賀)様	2月晦日	切紙・1通	む18-114
林屋豊吉金銭受取証文[覚](本箱代3朱に付) 林屋豊吉→山田(久賀)様	3月2日	切紙・1通	む18-115
金花堂佐助金銭受取証文(紙長打ち摺り代3匁5分に付) 金花堂佐助→山田(久賀)様	3月	縦紙・1通	む18-116
能州屋久七金銭受取証文[覚](和三盆代3貫124文に付) 能州屋久七→上	2月9日	切紙・1通	む18-117
御道具番茂里助金銭受取証文(紙等初午まつり備品代572文に付) 御道具ばん(番)茂里助→ -	子2月	切紙・1通	む18-118
文掛堂政二郎金銭受取証文[覚](青唐小紙50本代50匁に付) 文掛堂政二郎→上	2月16日	切紙・1通	む18-119
荒木屋松五郎金銭受取証文[覚](櫛代3分と64文に付) (御櫛所)荒木や(屋)松五郎→上	2月16日	横切継紙・1通	む18-120
山田久賀用状[覚](刺刀2挺代812文に付) 山田久賀→ -	2月	切紙・1通	む18-121
駿河屋新兵衛金銭受取証文[覚](御定式持扇子等代66匁に付) 駿河屋新兵衛→御茶部屋御役人衆中様	2月25日	縦紙・1通	む18-122
井池慶治郎代大蔵金銭受取証文[覚](蠟燭代1兩1分に付) 井池慶治郎代大蔵→御茶部屋御役所	2月29日	横切継紙・1通	む18-123
伊藤良三支払証文[覚](千足草履60足代624文支払に付) 伊藤良三→ -	子2月	横切継紙・1通	む18-124
山下木之助金銭受取証文[覚](豆腐代等御用代に付) 山下木之助→ -	子2月	横切継紙・1通	む18-125
小納戸与助金銭受取証文[覚](上納の内3枚等19匁余に付) 小納戸与助→上	子2月	縦紙・1通	む18-126
出雲寺金銭受取証文[覚](蘇文右公1面56匁余に付) 出雲寺→上	2月9日	横切継紙・1通	む18-127
出雲寺金銭受取証文[覚](「爾雅正文」代1匁に付) 出雲寺→上「臨」	正月26日	切紙・1通	む18-128
出雲寺金銭受取証文[覚](柳文等代78匁に付) 出雲寺→上	2月20日	切紙・1通	む18-129
須原屋茂兵衛金銭受取証文[覚](唐土名山図会代6匁に付) (日本橋南老町目)須原屋茂兵衛→ - 「臨」	2月18日	切紙・1通	む18-130
岡田屋嘉七金銭受取証文[覚](菓子代124文に付) 岡田屋嘉七→山田(久賀)様 「臨」	子3月2日	横切継紙・1通	む18-131

金花堂佐助金銭受取証文[覚](「戦国策」等書籍19品代300匁4分に付) 金花堂佐助→山田(久賀)様 「臨」	子3月4日	縦継紙・1通	む18-132
山代屋佐兵衛金銭受取証文[覚](「易正文」代1朱余に付) 山代屋佐兵衛→上 「臨」	子3月17日	切紙・1通	む18-133
能州屋久七金銭受取証文[覚](和三盆代2分余に付) 幸はし外本郷外地能州屋久七→山田(久賀)様 「定」	3月2日	切紙・1通	む18-134
静丹屋勘兵衛金銭受取証文[覚](代3貫余に付) 静丹屋勘兵衛→御茶部屋御役人衆中様	3月4日	切紙・1通	む18-135
備中屋伝蔵金銭受取証文[覚](半紙代834文に付) (山下御門外下町)備中屋伝蔵→上	3月5日	切紙・1通	む18-136
花菱堂太郎助金銭受取証文[覚](盆・絵画代299匁に付) (江戸芝神明前三島町)花菱堂太郎助→上	3月10日	横切継紙・1通	む18-137
某用状[盆之事](箱13箱に付) 貼紙付		横切継紙・1通	む18-138
能州屋久七金銭受取証文[覚](和三盆代に付) 能州屋久七→上様 「覚」2通貼継	3月10日	横切継紙・1通	む18-139
山田久賀支払証文(澁油等購入代700文木口弘喜へ支払に付) 山田久賀→ -	3月17日	切紙・1通	む18-140
能州屋久七金銭受取証文[覚](砂糖漬代30匁に付) 能州屋久七→山田(久賀)様	3月16日	横切継紙・1通	む18-141
伊勢屋久助金銭受取証文[覚](奉書紙代2両2朱余に付) (土橋八官町)伊勢屋久助→上	3月16日	横切継紙・1通	む18-142
能州屋久七金銭受取証文[覚](和三盆等菓子代17分余に付) 能州屋久七→御茶部屋頭山田(久賀)様	3月6日	横切継紙・1通	む18-143
山本嘉兵衛他一名金銭受取証文[覚](上喜せん茶代1両余に付) 山本嘉兵衛・武助→上	3月19日	横切継紙・1通	む18-144
城州屋利兵衛金銭受取証文[覚](喜せん等茶代36匁に付) (数寄屋橋御門外□町御茶所)城州屋利兵衛→上	3月19日	横切紙・1通	む18-145
鑑屋長兵衛金銭受取証文[覚](小菊出来等代2分3朱余に付) 鑑屋長兵衛→上	3月18日	切紙・1通	む18-146
田村半助金銭受取証文[覚](紅白永尺水引等代41匁に付) (田村)田むら半助→上	子3月19日	横切継紙・1通	む18-147
山田久賀金銭受取証文[覚](小盤紙買上代136文伊勢屋久助支払に付) 山田久賀→ -	3月19日	切紙・1通	む18-148
林屋豊吉金銭受取証文[覚](熊野飾等代1分2朱に付) 林屋豊吉→山田(久賀)様	子3月12日	切紙・1通	む18-149
いづみ屋与兵衛金銭受取証文[覚](樟脳55匁代3分2朱余に付) いづみ屋与兵衛→上	子3月21日	切紙・1通	む18-150
備中屋伝蔵金銭受取証文[覚](半紙代10匁に付) (山下御門外下町)備中屋伝蔵→上	3月24日	切紙・1通	む18-151
古梅園利助金銭受取証文[覚](上和金等代56匁に付) (日本橋南一丁目)古梅園利助→上	3月19日	横切継紙・1通	む18-152
山田久賀支払証文[覚](蠟燭代69匁井池慶二郎へ支払いに付) 山田久賀→ -	3月20日	横切紙・1通	む18-153
鈴木栄漠金子支払証文[覚](中貫草履7足等代1貫404文に付) 鈴木栄漠→ -	子3月	横切継紙・1通	む18-154
金花堂佐助金子支払証文[覚](紙等代420匁8分余に付) 金花堂佐助→山田久賀様 付箋訂正	3月21日	縦継紙・1通	む18-155
小納戸与助代金勘定書[覚](下端切等紙代金勘定書) 小納戸与助→上 下部付箋あり	子3月	縦紙・1通	む18-156
小納戸左伝二金銭受取証文[覚](代銀8匁2分に付) 小納戸左	3月21日	縦切紙・1通	む18-157

む 11 藩政／財政／御茶部屋／金銭諸払 12 藩政／財政／給禄・手充

伝二→上			
八百屋権蔵金銭受取証文[覚](筈6本代3朱余に付) 八百屋権蔵→上様 「済」	3月5日	豎切紙・1通	む18-158
三河屋利兵衛金銭受取証文[覚](土佐小奉書紙代7匁に付) 三河屋利兵衛→上	3月9日	切紙・1通	む18-159
古梅園又七金銭受取証文[覚](石京御頭3本代112匁に付) (麴鐵町六丁目)古梅園又七→上	西3月10日	横切継紙・1通	む18-160
武蔵屋兼吉金銭受取証文[覚](紐等代11匁余に付) (土橋八官町)武蔵屋兼吉→上	西3月15日	切紙・1通	む18-161
古梅園又七金銭受取証文[覚](墨代1朱余に付) (麴鐵町六丁目)古梅園又七→上	西3月19日	横切継紙・1通	む18-162
中村屋金四郎金銭受取証文[覚](上毛毯等代1両3分2朱1分に付) 中村屋金四郎→上	3月19日	横切継紙・1通	む18-163
本屋定次郎金銭受取証文[覚](「漢楚軍記」等代2朱余に付) 本屋定次郎→上	3月21日	横切継紙・1通	む18-164
林屋豊吉金銭受取証文[覚](さん木3匁に付) 林屋豊吉→山田(久賀)様	子3月18日	横切紙・1通	む18-165
山下木之助金銭受取証文[覚](提木之郷供6人分用代10貫800文に付) 山下木之助→ -	子3月	横切紙・1通	む18-166
羽根石茶屋小池小左衛門金銭受取証文[覚](御重1組等115匁余に付) 羽根石茶屋御本陣小池小左衛門→ - 下部付箋あり	子3月25日	横切紙・1通	む18-167
木工屋助太郎金銭受取証文[覚](目録台6匁に付) 木工屋助太郎→上 下部付箋あり	3月25日	横切継紙・1通	む18-168
横田嘉一郎金銭受取証文[覚](御次物流のため真木代支給願に付) 横田嘉一郎→ -	子6月	切紙・1通	む18-169
ゑひ屋秀蔵金銭受取証文[覚](和三盆13匁に付) 上田ゑひ屋秀蔵→上	3月26日	切紙・1通	む18-170
吉井屋友七金銭受取証文[覚](おり1つに付) (高崎赤坂北側京御菓子)吉井屋友七→上様 端裏書「御用物御取替分」		切紙・1通	む18-171

12 藩政／財政／給禄・手充

関山浅右衛門他三名金銭受取証文[覚](御内用金差上の3千両受取に付) 関山浅右衛門・藤井彦九郎・竹内勘右衛門/(奥書)坂野左助・小野弥兵衛・松村十右衛門他2名→小野四郎兵衛殿・倉田又右衛門殿・荒川造酒殿他1名 端裏書「御小納戸へ差出候証文案伺」	享保20年卯5月	豎継紙・1通	む40
(徒士宛下され物関係書類綴)		紙経綴・6点	む51
(御供火事羽織代・合羽代ノ金8両余書上) 継目剥離		横切継紙・1通	む51-1
[覚](初懸へ遣分の御供給羽織代他書上) 下ヶ札あり		横切継紙・1通	む51-2
源蔵書状(御徒士頭より申し上げの件別紙提出に付) 源蔵→御三人様	12月12日	横切紙・1通	む51-3
金左衛門他二名書状(御徒士羽織代は別紙の通り懸りより伝達に付) 金左衛門・大之助・十学→源蔵様	12月3日	横切継紙・1通	む51-4
初方懸書状(御徒士江戸詰給改正のところ羽織代・合羽代引上方取計に付) 初方懸→御方様	11月晦日	横切継紙・1通	む51-5
某申上書(端裏書)[中村象五郎火事羽織代之義付申上] 端裏書「聞済」	卯4月27日	横切紙・1通	む51-6

13 藩政／財政／計政局・会計掛／藩債

(藩債証書綴 明治4年11月～明治5年8月)		紙綴綴・36点	む1
富永新平用状(藩債証書新古別口出納共合帳作成の上8425両余を金出に付) 富永新平→	(明治5年)壬申8月8日	縦紙・1通	む1-1
樋口旗之助中借証文[証](筆工料5両に付) 樋口旗之助→佐藤伊与之進殿	明治5年壬申5月22日	切紙・1通	む1-2
元職事方伺書(端裏書)[筆工料之義伺](5両中借願に付) 元職事方→佐藤伊与之進殿	(明治5年)壬申5月	切紙・1通	む1-3
近藤民之助中借証文(筆工料17両中借に付) 近藤民之助→佐藤伊与之進殿	(明治5年)壬申5月12日	切紙・1通	む1-4-1
近藤民之助中借証文[覚](5両受取につき) 近藤民之助→佐藤伊与之進殿	(明治5年)壬申5月12日	切紙・1通	む1-4-1
竹内源左衛門中借証文[覚](元須坂庁へ至急御用状人足添賃1貫80文に付) 竹内源左衛門→佐藤伊与之進殿	明治5年壬申4月	縦紙・1通	む1-5
近藤民之助中借証文[記](松本より借入金返済にて来訪の者への料理代2両に付) 近藤民之助→佐藤伊与之進殿	(明治5年)壬申5月26日	縦紙・1通	む1-6
割番岸田義右衛門他一名中借証文[覚](旧小頭足輕献上金の内より1千両に付) 割番岸田義右衛門・西条七治郎→駒村佐十郎殿・相原音五郎殿・永野申太郎殿	明治4年辛未12月	縦紙・1通	む1-7
宮入半之丞他一名内借証文[覚](長野県権令滞留中入料50両に付) 宮入半之丞・阪西広見→駒村佐十郎殿・相原音五郎殿・永野申太郎殿	明治5年壬申正月19日	横切紙・1通	む1-8
佐藤伊与之進内借証文[覚](角取袖賃金32両余に付) 佐藤伊与之進→富永新平殿	明治5年申3月	縦紙・1通	む1-9
宮入半之丞他一名中借証文[覚](用度方入料200両に付) 宮入半之丞・阪西広見→駒村佐十郎殿・相原音五郎殿・永野申太郎殿	明治5年壬申3月	縦紙・1通	む1-10
中嶋渡浪他二名中借証文[証](元藩中献上金の内より395両余に付) 中嶋渡浪・徳嵩広馬・野本力太郎→	明治5年壬申3月	縦紙・1通	む1-11
佐藤伊与之進中借証文[覚](手木使丁手当銭7貫余に付) 佐藤伊与之進→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	(明治5年)壬申3月13日	横切紙・1通	む1-12
前島有年中借証文[覚](伊勢屋山田出張費12両余に付) 前島有年→佐藤伊与之進殿	(明治5年)4月	横切紙・1通	む1-13
窪田半弥中借証文[覚](除地見分廻村の賄代11両余に付) 窪田半弥→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治5年申2月3日	縦紙・1通	む1-14
小山市作組窪田勝蔵請書[差上申御請一札之御事](東京への飛脚御用のため用状・道中路銭受取に付) 小山市作組窪田勝蔵→富永新平様	明治5年申7月	縦紙・1通	む1-15
富永新平中借証文[覚](小野善四郎来訪入費500両に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 朱書「司金口」「時」	明治5年壬正月28日	横切紙・1通	む1-16
富永新平中借証文[覚](真晴院様上東京入料20両に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	(明治5年)申2月4日	横切紙・1通	む1-17
富永新平中借証文[覚](堀内荘作来訪入料7両に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	(明治5年)壬申2月11日	横切紙・1通	む1-18
富永新平中借証文[覚](横田数馬上田分営出張旅費等の内10両に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	(明治5年)壬申2月11日	横切紙・1通	む1-19
富永新平中借証文[覚](明治4年家禄渡しの内品々人足代初90両余に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	(明治5年)壬申3月朔日	横切紙・1通	む1-20
富永新平中借証文[覚](小野善四郎帰京のため手当金30両	(明治5年)壬申3月16日	横切紙・1通	む1-21

む 13 藩政／財政／計政局・会計掛／藩債 14 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状

に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿			
富永新平中借証文[覚](蚕種代2貫余に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	(明治5年)壬申3月16日	横切継紙・1通	む1-22
富永新平中借証文[覚](急用のため35両に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	(明治5年)壬申3月	横切継紙・1通	む1-23
富永新平中借証文[覚](東京への送金360両に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	(明治5年)壬申3月16日	横切継紙・1通	む1-24
富永新平中借証文[覚](要用のため722両に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 綴外れ	(明治5年)2月28日	横切紙・1通	む1-25
富永新平中借証文[覚](馬場大属長野県へ出張費5両に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年末11月24日	横切紙・1通	む1-26
富永新平中借証文[記](馬場大属長野県へ出張費5両に付) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年末11月24日	横切紙・1通	む1-27
中沢平左衛門中借証文[記](炎災の者手当9両に付) 中沢平左衛門→佐藤伊与之進殿	(明治5年壬申)5月26日	縦紙・1通	む1-28
富永新平中借証文[覚](野中喜左衛門へ支給分300両に付) 富永新平→佐藤伊与之進殿	(明治5年)壬申4月9日	縦紙・1通	む1-29
永野申太郎他一名中借証文[覚](長野県引渡し調査出張旅費182両余に付) 永野申太郎・相原音五郎→佐藤伊与之進殿 貼紙あり	(明治5年)壬申4月4日	縦紙・1通	む1-30
長国寺副寺御払代金受取証文[記](御霊屋五院御払代金30両に付) 長国寺副寺→富永新平殿	(明治5年)壬申7月22日	縦紙・1通	む1-31
樋口旗之助中借証文[記](明治3年正月中入料不足金4両に付) 樋口旗之助→出納方御中	(明治5年)3月4日	横切紙・1通	む1-32
前島勇喜手当金受取証文[記](手当金3両に付) 前島勇喜→富永新平殿	(明治5年)壬申2月25日	横切紙・1通	む1-33
高野右金吾旅費等受取証文[記](長野県へ来訪者の旅費・日当等5両に付) 高野右金吾→富永新平殿	(明治5年)壬申2月21日	横切紙・1通	む1-34
永野申太郎他一名旅費等受取証文[記](長野県引渡し出張旅費等168両余に付) 永野申太郎・駒井佐十郎→佐藤伊与之進殿	明治5年申	縦紙・1通	む1-35
玉井浅之進他一名旅費等受取証文[記](給禄・賞典等2両2分に付) 玉井浅之進・長岡茂一→佐藤則通殿	明治5年壬申8月2日	縦紙・1通	む1-36

14 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状

(諸入用に関係伺書・申上書綴)		紙縫綴・26点	む42
近藤権内伺書并用度使添伺貼紙[覚](蠟燭御内借願いに付) 近藤権内→ - 端裏書「諸御取締所蠟燭御内借奉伺候」、宿紙	12月26日	横切紙・1通	む42-1
用度司伺書(諸藩御使者へ御賄いとして金19両2朱906文願いに付) 用度司→ - 端裏書「御大事件之節諸藩御使者江御賄差出候ニ付御中借之義伺」	12月	横切継紙・1通	む42-2
用度属伺書(御用紙代として181両1分余願いに付) 用度属→ - 端裏書「御用紙代志垣村広太(岡本広太)江御下金伺」「用度司」	7月	横切継紙・1通	む42-3
用度方報告書[覚](御賞典のため1千9両余支払いに付) 用度方→ -		横切紙・1通	む42-4
用度司伺書(宮下三郎治申立の通りご勘弁願いに付) 用度司→ - 端裏書「宮下三郎治申立之義伺」、貼紙「六月二十四日」	6月22日	横切紙・1通	む42-5
宮下三郎治伺書(御帰藩御道中諸向蠟燭御入用御払の1月7日伺置く分に付) 宮下三郎治→ - 端裏書「御供御道中諸向蠟	(巳)6月	横切紙・1通	む42-6

燭御入料御払切之義再伺]			
用度司用状[別紙の趣承済候事] 用度司→ -	5月4日	横切紙・1通	む42-7
用度属伺書(黒半紙200枚他用度方御入料支出願いに付) 用度属→ - 端裏書[五月中品々御入料請取之儀奉伺]	5月	横切継紙・1通	む42-8
用度司伺書(御下ヶ金願いに付) 用度司→ - 端裏書[御下金御中借之義伺]	5月22日	横切紙・1通	む42-9
小納戸伺書[覚](計政方御中借願いに付) 小納戸→ - 端裏書[御下金御中借替之義伺]	(未)5月	横切継紙・1通	む42-10
某用状下書(有金の件で当人の伺いに対する返答を左に書き入れるに付) 下書		堅切紙・1通	む42-11
小納戸伺書并用度司添伺貼紙[覚](上大奉書紙1束他代金御内借願いに付) 用度司→ - 端裏書[御買上代御下ヶ金之儀伺]	12月13日	横切継紙・1通	む42-12
書記願書(上中奉書御用継方御尋のため減らし方申上に付) 書記→ - 端裏書[御用紙御減略方之義申上]	12月	横切紙・1通	む42-13
計監申上書(別紙御存念仰せ渡しの件回達に付) 計監→計政副主事様	12月14日	横切紙・1通	む42-14
計監申上書(御用紙御減略方に付) 計監→ - 端裏書[奉書紙御遣方減省之儀付申上]	12月14日	横切継紙・1通	む42-15
計監申上書(奉書紙御買上に付) 計監→ - 端裏書[奉書紙御買上之儀ニ付申上]	12月13日	横切継紙・1通	む42-16
中御所村願書(増水のため丹波島村まで小柴見初めにて品々回送願いに付) 中御所村→小柴見村 8月4日品々お届けの連印に貼継	8月6日	横切継紙・1通	む42-17
(備品取調並びに諸品請求書他綴) → む42-19～む42-22をかぶせ綴一括、柱書[御用筋 牟礼宿関門出張]表書[酒井市治様八田五十司]		かぶせ綴・4点	む42-18
五十司申上書(関門にて買上候備品の取調に付) (八田)五十司→(酒井)市治様	8月3日	横切紙・1通	む42-18-1
辰田屋清右衛門請求書[覚](大徳利他代金2朱余請求に付) 辰田屋清右衛門→官門御役人衆中様	(慶応4年)辰7月14日	横切紙・1通	む42-18-2
菊屋源右衛門請求書[覚](道具代金1両1分余請求に付) 菊屋源右衛門→上	(慶応4年)辰7月	横長半・1冊	む42-18-3
[御用油書上帳] 又市→関門御役人衆中様	慶応4年辰8月	横長半・1冊	む42-18-4
用度属伺書(能登屋富作から御困味噌仕入のため金札御下願いに付) 用度属→ - 貼紙[当二月御入料積仕候節拾駄八拾両直段ニ付八拾石四斗代拾六両貳分九朱九分九厘右江掛合本文之方拾六両貳朱七匁四分七厘下直]	5月8日	横切継紙・1通	む42-19
能登屋富作代金請求書[覚](塩10駄代金65両請求に付) 能登屋富作→御買物御役所 貼紙[二番札小嶋屋幸助へ掛合拾両下直]	5月7日	横切継紙・1通	む42-20
小嶋屋幸助代金請求書[覚](塩1駄代金7両2分請求に付) (信州松代東本町)小嶋屋幸助→上	午5月7日	横切紙・1通	む42-21
司九十郎代金請求書[覚](塩10駄代金80両請求に付) 司九十郎→上 用度司貼添伺[御困味噌御仕入塩御買上之儀伺]とも	午5月7日	横切紙・1通	む42-22
(坂屋賀助へ御用代金下渡し関係書類綴 明治2年12月)		紙縫綴・2点	む3
用度属伺書(坂屋賀助仕入金逼迫のため明治元年分並びに智光院卒去御用金140両余下渡し願に付) 用度属→ -	(明治2年)12月18日	横切継紙・1通	む3-1
坂屋賀助願書并用度属他添伺貼紙[乍恐以書付奉願上候](仕入金逼迫のため明治元年分並びに智光院卒去御用金140両余下渡し願に付) 坂屋賀助→御用度方御役所	明治2年巳12月	堅紙・1通	む3-2

15 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払

伊勢町袋屋惣兵衛歎願書〔乍恐以書付奉歎願候〕〔諸色高値にて手当支障のため細工代金支払いに付〕 伊勢町袋屋惣兵衛→御買物所御役所 裏打済	明治2年巳10月	堅紙・1通	む4
(金銭受取証文綴 明治2年6月～明治3年3月)		紙綴綴・8点	む7
柘植嘉兵衛金銭受取証文〔覚〕(スイス銃購入引当代金1千両に付) 柘植嘉兵衛→草間一路殿・佐藤為之進殿・岡野弥右衛門殿	明治2年巳6月	堅紙・1通	む7-1
小野善四郎金銭受取証文〔覚〕(会津降伏人入料の内へ支出代金150両に付) 小野善四郎→酒井市治殿・水野清右衛門殿	明治2年巳10月	堅紙・1通	む7-2
小市村塚田源吾金銭受取証文〔差上申一札之事〕(東京・横浜関係引替札100両に付) 小市村塚田源吾・頂戴人清蔵(爪印)→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「塚田源吾東京横浜金引替下受取」	明治2年巳11月12日	堅切紙・1通	む7-3
柘植彦六内預金証文〔覚〕(村上藩士預り入料200両受取並びに納戸へ収納に付) 柘植彦六→岡野敬一郎殿・岸善八殿 端裏書「午二月御預所」	明治3年午10月10日	堅紙・1通	む7-4
水井市治金銭受取証文〔覚〕(高割金札拝借金500両に付) 水井市治→岸善八殿 端裏書「午六月御預所」	明治3年午正月10日	堅紙・1点	む7-5
加藤直衛金銭受取証文〔覚〕(水原県入料送金500両に付) 加藤直衛→岡野敬一郎殿・岸善八殿 端裏貼紙「加藤直衛殿印書 水原県御用金出請取」	明治3年午2月	堅紙・1通	む7-6
佐川又八郎内預金証文〔覚〕(小判・小粒等3筆に付) 佐川又八郎→岡野敬一郎殿 端裏貼紙「明治三年三月十八日 古金千両 五十五匁三分東京より送り分内預取計」	明治3年午3月18日	堅紙・1通	む7-7
加藤直衛金銭受取証文〔覚〕(水原県入料送金300両に付) 加藤直衛→岡野敬一郎殿・岸善八殿 端裏貼紙「加藤直衛殿印書 水原県御用金出請取」	明治3年午3月	堅紙・1通	む7-8
(公用方物書筆・墨料支給願関係書類綴 明治2年5月～6月)		紙綴綴・7点	む12
〔公用方物書筆・墨料金之事〕(封筒) 宮沢助之進→鎌原伊野右衛門様 「自筆」	(明治2年)6月11日	封筒・1点	む12-1
長谷川平次郎願書(相場値段にて筆墨料支給願に付) 長谷川平次郎→ - 端裏書「御役方物書筆墨料之義願」	(明治2年)5月10日	横切紙・1通	む12-2
御物書富田茂助他一名願書(布告など認めのため高値にて墨筆購入のためその相場にて代料支給願に付) 御物書富田茂助・清水林之助→ -	(明治2年)巳5月	横切紙綴・1通	む12-3
〔御役方筆墨料御払下之儀申上〕(卯12月～3月分) 御物書→ -	(明治2年)	横長半・1冊	む12-4
赤沢助之進用状(公用方物書筆墨料の件承知願に付) (赤沢)助之進→(鎌原)伊野右衛門様	(明治2年)6月2日	横切紙・1通	む12-5
前島友之進申上書(公用方物書筆墨料評議の上取計願に付) 前島友之進→ - 端裏書「公用方物書筆墨料之儀付申上」	(明治2年)6月	横切紙・1通	む12-6
御勘定吟味用状(願の通の支給は不可能に付) 御勘定吟味→ - 端裏書「六月廿日」「公用方物書筆墨料之儀御尋申上」	(明治2年)6月20日	横切紙・1通	む12-7
南長池村御城用才薪山方元ノ宮沢弥惣八金子拝借証文〔差上申一札之事〕(才薪伐出し入用200両内借に付) 南長池村御城用才薪山方元ノ宮沢弥惣八→御城用才薪御掛り御役所	明治2年巳11月	堅紙・1通	む23
(真田藩邸古畳売却関係書類綴 明治3年9月～10月)		紙綴綴・7点	む2
宮繕庶務方伺書(入札の結果1両にて払下げに付) 宮繕庶務方→ - 端裏書「宮繕方」「御当邸古畳之義伺書」端裏朱書「三」	(明治3年)10月	横切紙綴・1通	む2-1

佐のや品吉入札[覚](真田藩邸古畳600枚、35両と3匁5分) 佐のや品吉→御普請方御役所	(明治3年)9月13日	堅切紙・1通	む2-2
武蔵屋又兵衛入札[御入札](真田藩邸古畳543畳、33両と2匁5分) 市良左衛門新(ママ)類むさしや(武蔵屋)又兵衛→(御普請方)御役所御役人衆中様	(明治3年)10月朔日	堅紙・1通	む2-3
畳刺市左衛門入札[覚](真田藩邸古畳534畳、32両と2匁) 畳刺市左衛門→(御普請方)御役所御役人衆中様	(明治3年)9月	横切紙・1通	む2-4
二本橋惣治郎入札[覚](真田藩邸古畳543畳、30両と2匁) 二本橋惣治郎→御屋敷様(御普請方)御役所御役人衆中様	(明治3年)9月	横切紙・1通	む2-5
信州屋金三郎入札[覚](真田藩邸古畳、26両と1匁2朱) 信州屋金三郎→営繕方御役所	(明治3年)午9月	堅紙・1通	む2-6
桶屋三左衛門入札[覚](真田藩邸古畳、25両) 桶屋三左衛門→御営繕方御役所	(明治3年)午9月	堅紙・1通	む2-7
(用度方関係用状綴 明治3～7年)		紙縫綴・19点	む13
[用度方より請取物通] 矢野六蔵→飯島与作殿	明治4年辛未8月	横半半・1冊	む13-1
[口上覚](包紙) 宮沢彦治→ -		包紙・1点	む13-2
某用状[覚](白米代金等4筆書上)		切紙・1通	む13-3
宮沢彦治用状[口上覚](北越戦争にて大小銃弾薬製造勤務の時分の賄品不足分支給願に付) 宮沢彦治→ -	(明治7年)戊5月	横切紙・1通	む13-4
宮沢彦治用状(借入金 of 件始末願に付) 宮沢彦治→飯島勝休様 端裏書「至急要用」	17日	横切紙・1通	む13-5
宮沢彦治用状(舶来合薬代等支給願に付) 宮沢彦治→飯島勝休様	12日	横切紙・1通	む13-6
宮沢彦治用状(調書再作成・出願の件に付) (宮沢彦治)→(飯島勝休)		横切紙・1通	む13-7
宮沢彦治用状(町方払支給取計い願に付) (宮沢彦治)→飯島(勝休)様 端裏書「別紙調書添」	22日	横切紙・1通	む13-8
某取調書(灯油過渡取調書)		横切紙・1通	む13-9
旧用度方伺書并前島他(元御金方・表御納戸方古類等払下決定に付) 旧用度方→ - 端裏書「古物御払之儀伺」	4月	横切紙・1通	む13-10
某用状(瀧見観音等3品書上)		切紙・1通	む13-11
某用状(合薬50斤代金書上)		切紙・1通	む13-12
源兵衛用状(常信・栄川・為信の懸軸受領に付) 源兵衛→(飯島)与作様	9月8日	横切紙・1通	む13-13
浦町政次郎長持代金請求書[覚](長持代金割なし請求に付) 浦町政次郎→上		切紙・1通	む13-14
有楽町政二郎紙代金請求書(屑紙代金割なしにて請求に付) 有楽町政二郎→御用度方様 下ヶ札あり		横切紙・1通	む13-15
有楽町政二郎紙代金請求書[覚](屑紙上反古紙等代金割なしにて請求に付) 有楽町政二郎→御用度方様	明治(3年)丑3月	横切紙・1通	む13-16
有楽町千左衛門紙代金請求書(上紙等代金請求に付) 有楽町千左衛門→御用度方様	明治6年3月25日	横切紙・1通	む13-17
柏屋慶助紙代金請求書(屑紙代金藩札にて請求に付) 柏屋慶助→(御用度方)	明治6年酉3月25日	切紙・1通	む13-18
赤沢助之進達書(武田斐三郎このたび上東京のため金札25両支給に付) (赤沢権大参事助之進)→飯島与作	5月晦日	横切紙・1通	む13-19
(困味噌製造関係書類綴 明治3年)		封筒一括・19点	む19
[御困味噌御仕入品々取調書類一卷](封筒)	明治3年午5月	封筒・1通	む19-1

む 15 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払

(囲味噌関係書類綴 明治3年3月～8月)		紙縫綴・14点	む19-2
(囲味噌書出)	(明治3年5月)	切紙・1通	む19-2-1
(囲味噌勘定書)		横折紙・1通	む19-2-2
現金屋祖吉味噌代請求書[覚](味噌仕入料69両2朱に付) 現 金屋祖吉→用度方御役所	(明治3年)午12月	横切紙・1通	む19-2-3
(味噌仕入料・仕入人足書上)		切紙・1通	む19-2-4
(味噌仕入人賃金差引勘定書) 巻込一通あり		横切継紙・1通	む19-2-5
近藤用状(味噌仕入人足賃差引勘定書) 近藤→宮下様	(明治3年)8月11日	横切紙・1通	む19-2-6
(巳年仕入目方差引勘定書)		切紙・1通	む19-2-7
(巳年4月中仕入高勘定書)		切紙・1通	む19-2-8
御買物役伺書[覚](端裏書)[御囲味噌御仕入之儀ニ付奉伺 候](囲味噌臨時焚出入料伺に付) 御買物役→ - 「臨」、下ヶ 札あり	巳3月	横切継紙・1通	む19-2-9
鎌原伊野右衛門指示書(別紙伺の件半減仕入に付) 鎌原伊野 右衛門→綿貫泰藏殿	(明治3年)4月21日	切紙・1通	む19-2-10
(囲味噌代金勘定書) 下ヶ札あり		横切紙・1通	む19-2-11
[覚](囲味噌代上納代金書上)		横切紙・1通	む19-2-12
[覚](巳年～午年味噌仕入金) む19-2-14に巻込		横切継紙・1通	む19-2-13
(味噌原材料等勘定書) 端裏書「辰巳年掛合」		横切継紙・1通	む19-2-14
(囲味噌仕入関係帳簿綴 明治3年5月～6月)		紙縫綴・4点	む19-3
[御囲味噌大豆石数帳](石数・雇人数改書留) 用度方→ -	明治3年5月19日	横長半・1冊	む19-3-1
[御囲味噌御仕入込元帳] 宮下三郎治・助近藤権内・宮入半之丞他 5名→ -	(明治3年)6月4日	横長半・1冊	む19-3-2
[明治三午年五月中御囲味噌御仕入ニ付人足遣并御入料物 覚] 下ヶ札あり		横長半・1冊	む19-3-3
[覚](巳年味噌仕入御味噌仕入金入料勘定書) 現金屋祖吉→御 買物御役所	(明治3年)巳6月	横長半・1冊	む19-3-4
(金銭繰回関係書類綴)		紙縫綴・15点	む27
某覚書(当12月まで西条村鶴吉元利率書上)		切紙・1通	む27-1
御金掛用状(出馬のためハン御出来御入料82貫余支給願に 付) 御金掛→御払方様	7月12日	切紙・1通	む27-2
近藤権内他一名用状(出馬のためハン御出来御入料7両2分 等用意願に付) (近藤)権内・(海沼)辰之丞→(酒井)市治様・(水 野)清右衛門様	7月12日	切紙・1通	む27-3
近藤権内書状(正月～6月まで買物所入料払廻の件執成願に 付) (近藤)権内→酒井(市治)様	7月12日	横切継紙・1通	む27-4
御買物所書状(焚炭・燈油買上代金内借の件執成願に付) 御 買物所→御金掛様	7月12日	横切継紙・1通	む27-5
谷口左仲覚書(才覚金9月中迄利率書上) 谷口左仲→ -	7月12日	切紙・1通	む27-6
某用状(金銭書上、3両3朱2厘余分)		切紙・1通	む27-7
御払方用状(錢不足のため支給不能の件承知願に付) 御払 方→御金懸り様	7月12日	横切紙・1通	む27-8
松本賢吾書状(内借金200両の内100両を鳥目にて支給の件 見合わせ願に付) (松本)賢吾→酒井(市治)様 端裏「願用」	7月12日	横切継紙・1通	む27-9
某用状(茂手木請求金25両の旨書付)		切紙・1通	む27-10

某用状(前嶋友之進他6人別金銭書上)		切紙・1通	む27-11
矢野倉鎌兵衛申上書(45両支給の件宮沢善治へ伝達願に付) 矢野倉(謙兵衛)→岸(善八)様 端裏書「内用申上」	7月11日	切紙・1通	む27-12
御金掛申上書(布施高田村役人手当金証文取調願に付) 御 金掛→ - 端裏書「申上」	7月12日	切紙・1通	む27-13
酒井市治用状(貞松院様入料後刻支給等に付) (酒井)市治→ (佐藤)小左衛門様	7月12日	横切紙・1通	む27-14
小左衛門書状(端裏書)[御用筋](貞松院様借金半分でも今 日借用願に付) (佐藤)小左衛門→(酒井)市治様	7月12日	横切継紙・1通	む27-15
(紙・筆墨値段書上)		横切継紙・1通	む29
(御用紙購入関係書類綴)		紙綴綴・7点	む33
計政副主事申上書(用度司注文の上中奉書紙高価のため産 物会所有合せ品質上の件考慮願に付) 計政副主事→ - 端 裏書「奉書紙御買上之儀ニ付申上」「五月八日出」	5月	横切紙・1通	む33-1
司蔵伺書并計政副主事添伺貼紙書(小盤紙等6筆入料支給願 に付) 司蔵→ - 添伺貼書の日付は7月13日、端裏書「七月中御入 料請取之義伺」	7月10日	横切継紙・1通	む33-2
監督方伺書并富永新平朱印(小盤紙等3筆入料支給願に付) 監督方→ - 端裏書「御用紙等請取之義ニ付伺」	11月	横切紙・1通	む33-3
某受取書控(5月中御用紙受取書)		横切継紙・1通	む33-4
御徒士頭申渡書(小盤紙2帖臨時入料で支給に付) 御徒士頭 → -		切紙・1通	む33-5
御庭見回廻役願書[口上覚](入料繁多にて御用紙調達困難 のため小盤紙等支給願に付) 御庭見回廻役→ -	10月	横切継紙・1通	む33-6
計政副主事申上書(楮払底にて御用紙高価のため購入費支 給願に付) 計政副主事→ - 端裏書「用度司御中借之義ニ付申上」 「二月十八日出」	2月	横切紙・1通	む33-7
(御用紙方関係書類綴)		紙綴綴・4点	む34
御用紙方用状(御用紙方徳居生蠟上納方に付) 御用紙方→御 金掛様	11月5日	横切紙・1通	む34-1
出納方申上書并計政方貼添(納戸へ上納の件伺に付) 出納 方→ - 端裏書「倉科村宮下七郎左衛門御私生蠟代金内預之儀申上」	11月5日	横切紙・1通	む34-2
御金掛用状(燈油代見積違のため再調査等に付) 御金掛→ -		切紙・1通	む34-3
佐藤伊与之進用状(買物所の幕紋を町役所より提出の旨指 示願に付) (佐藤)伊与之進→河野曾十郎様	9月22日	切紙・1通	む34-4
(用度方伺書並びに申上書類綴)		紙綴綴・25点	む43
用度属伺書并用度司添伺貼紙(学校御開のため御酒他代金 御中借願に付) 用度属→ - 端裏書「御中借之儀伺」	8月	横切継紙・1通	む43-1
管繕司申上書(諸職人冥加増の件他伺のため御出来方差支 えに付) 管繕司→ - 端裏書「御出来物等伺之義付申上」、貼紙「 四月廿五日分」	4月25日	横切継紙・1通	む43-2
用度属伺書并用度司添伺貼紙(御当用品々他買上の御入料 御中借願に付) 用度属→ - 端裏書「当午正月二月中用度方 御入料御中借之儀奉伺」	(明治3年)5月	横切継紙・1通	む43-3
用度属伺書并用度司添伺貼紙[覚](御湯殿並びに御仲間等 への御入用支出願に付) 用度属→ - 端裏「御台所御仲間 江被下物之儀伺」	4月	横切継紙・1通	む43-4
小納戸伺書[覚](呉服他品々御買上物代残金支払いに付) 小納戸→ - 端裏「御買上物代御中借之義伺」、貼紙「七月十日御下ヶ」	7月9日	横切継紙・1通	む43-5
用度属伺書并用度司添伺貼紙(中野県山下従七位他へのお	10月	横切継紙・1通	む43-6

む 15 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払

酒等の御入料支出願いに付) 用度属→ - 端裏書「於長崎屋新三郎方山下従七位江御酒被下御入料申上」、貼紙「十月二五日御下ケ」			
近藤権内伺書并用度司添伺貼紙[覚](別紙証文の通り御中借願いに付) 近藤権内→ - 端裏書「大病院御入料銃瘡人江被下御手宛之儀伺」、貼紙「八月二日御下ケ」	(明治3年)午7月	横切紙・1通	む43-7
近藤権内他三名伺書并用度司添伺貼紙[覚](品々御買上物代金支出願いに付) 近藤権内・山崎卓馬・小林太一郎他1名→ - 端裏書「去々辰年より品々御買上物代御下ケ金伺」、貼紙「正月廿四日御下ケ」	正月	横切継紙・1通	む43-8
用度属伺書并用度司添伺貼紙(志垣村広太へ御用代金支出願いに付) 用度属→ - 端裏書「志垣村広太江御下ケ金之儀ニ付御内々奉伺候」、貼紙「留済」	3月25日	横切継紙・1通	む43-9
近藤権内他三名伺書[覚](御買物所並びに大病院他臨時御入料支出願いに付) 近藤権内・山崎卓馬・小林太一郎他1名→ - 端裏書「去已年中御買物所御入料御下ケ金之儀伺」、貼紙「八月十九日御下ケ」	8月	横切紙・1通	む43-10
用度属申上書并用度司添伺貼紙(学校御開のため御酒他代金取調に付) 用度属→ - 端裏書「学校御開ニ付御赤飯御酒被下御入料取調書上」、貼紙「八月四日御下ケ」	午8月	横切継紙・1通	む43-11
用度属伺書(御用紙方並びに御納戸向引き受けのため多忙に付) 用度属→ - 端裏書「使番之義再伺」	12月	横切紙・1通	む43-12
用度属伺書(中米6石9斗他用度方御入料受取願いに付) 用度属→ - 端裏書「品々請取物之儀伺」「用度司」、貼紙「七月五日御下ケ」	7月	横切継紙・1通	む43-13
用度属伺書(仕官学校御入用として■(「むじな偏」+「古」)毫筆夏毛200本他代金7両2分支出願いに付) 用度属→ - 端裏書「東京より御買上物代金御下ケ之儀伺」「用度司」、貼紙「五月八日御下ケ」	5月	横切継紙・1通	む43-14
用度属伺書(御本陣にて監督司への蒸菓子吸物他代金支出願いに付) 用度属→ - 端裏書「監督司江御酒御料理御入料御下ケ之儀伺」、貼紙「八月十二日御下ケ」	8月	横切継紙・1通	む43-15
用度属伺書并用度司添伺貼紙(用度方品々の御入料中借願いに付) 用度属→ - 端裏書「御買上物代金御下ケ之儀伺」、貼紙「五月十二日御下ケ」	5月	横切継紙・1通	む43-16
用度属伺書(御台所御入料残金支出願いに付) 用度属→ - 端裏書「御台所御入料御下ケ金之儀伺」「用度司」	午9月	横切紙・1通	む43-17
用度属伺書(黒半紙200枚他代金支出願いに付) 用度属→ - 端裏書「九月中御台所品々御入料受取物之義伺」「用度司」	午9月	横切継紙・1通	む43-18
用度属伺書(蠟燭他代金として70両御中借願いに付) 用度属→ - 端裏書「用度局品々御入料御中借之儀伺」「用度司」、貼紙「九月廿八日御下ケ」	9月	横切継紙・1通	む43-19
用度属申上書并用度司添伺貼紙(上酒1斗八升他代金2貫347匁余に付) 用度属→ - 端裏書「於丹波島宿大木司御酒被下御入料取調申上」、貼紙「八月二日御下ケ」	午7月	横切継紙・1通	む43-20
某伺書(用度属申し立ての件御出来に付) → - 端裏書「用度属申立之義伺」「用度司」	6月24日	横切紙・1通	む43-21
用度属申上書(戎御出来此表並びに東京表穿鑿直段掛合いに付) 用度属→ - 端裏書「河原慎太郎殿江被下候戎服御出来之儀再三伺」	6月	横切継紙・1通	む43-22
用度属伺書并用度司添伺貼紙[覚](■(「むじな偏」+「古」)毫筆300本他代金中借不可のため官札差送り願いに付) 用度属→ - 端裏書「於東京表御買上物代金至急御下之儀伺」、貼紙「七月晦御下ケ」	7月22日	横切継紙・1通	む43-23
用度属伺書(草間一路東京表での乗駕籠1挺代金支出願いに付) 用度属→ -	6月	横切継紙・1通	む43-24-1

甚場屋新五郎代金請求書[覚](乗駕籠1挺他代金1両請求に付) 甚場屋新五郎→上 貼紙「草間一路江御貨物駕籠御買上之儀伺」「用度司」	6月15日	堅切紙・1通	む43-24-2
某勘定書[覚](御国美濃紙購入に付)		横切継紙・1通	む47
(受取証文類綴)		紙縫綴・15点	む44
某受取証文(小納戸より借入の掛物6幅・貞松院より借入の黒塗本椀1箱、25日に本陣へ廻すに付)		切紙・1通	む44-1
[覚](風呂火鉢2つ・火燵掛蒲団2枚等品々書上)		横切紙・1通	む44-2
(床置・三方のし1通等、宮入慎七郎借入品書上)		横切紙・1通	む44-3
宮入半之丞他一名拝借証文[覚](煙草盆2つ・丸行燈2張等、民部省役人乗込入料拝借品受取に付) 宮入半之丞・宮下三郎治→松本堅五郎殿	12月23日	横切紙・1通	む44-4
某拝借証文[覚](金屏風1双・煙草盆2脚等借入に付)		横切継紙・1通	む44-5
茂市受取証文(12月中焚炭定渡元帳拝借に付) 茂市→宮下様・宮入様・中澤様		切紙・1通	む44-6
郵政局手附受取証文[覚](御賄6人受取に付) 郵政局手附→用度局		切紙・1通	む44-7
斎藤幸作他四名願書(朝弁当渡されたきに付) 斎藤幸作・田口民治・武田千代吉他2名→廳	23日	切紙・1通	む44-8
(黒塗手掛2脚・同煙草盆2脚等品々書上)		切紙・1通	む44-9
原与一郎願書[口上](昨日願い上げの道具品々、今日渡されたきに付) 原与一郎→小林太一郎様	24日	切紙・1通	む44-10
(薬板1勺・火箸1膳等品々書上)		切紙・1通	む44-11
(上小蠟200挺・大蠟50挺等品々書上)		切紙・1通	む44-12
(五徳1勺・渋うちわ1本等品々書上)		切紙・1通	む44-13
治水方受取証文[覚](弓張12張受取に付) 治水方→ -	(明治3年)午12月	切紙・1通	む44-14
用度方拝借品受取証文[記](小田原提灯他2筆藩地拝借筋品々受取に付) 用度方→荒井伴之助殿	(明治3年)庚午12月	横切紙・1通	む44-15
(御用紙購入のため下ヶ金願関係書類綴 明治4年6月～8月)		紙縫綴・3点	む5
志垣村岡本広太再願書[乍恐以書付奉願候](20両調達等のため買上代支給再願に付) 志垣村岡本広太→用度方御役所 上部欠損	明治4年未7月	堅紙・1通	む5-1
用度属伺書(志垣村岡本広太品切御用紙購入のため至急下ヶ金支給願に付) 用度属→ -	(明治4年)6月	横切継紙・1通	む5-2-1
志垣村岡本広太願書[乍恐以書付奉願候](品切御用紙購入並びに計政方より屑紙拝領のため上納代金下渡しに付) 志垣村岡本広太→用度方御役所 上部欠損、付札あり	明治4年未6月	堅紙・1通	む5-2-1
(諸入料支払関係証文綴 明治4年8月～12月)		紙縫綴・93点	む26
富永新平金銭受取証文[覚](2月中牧野大右衛門旧飯山藩へ持参金2千両借入金の内元利100両返済金に付) 富永新平→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年未12月4日	堅紙・1通	む26-1
酒井金太郎受取証文[覚](軍事品々買上代20両に付) 酒井金太郎→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年辛未12月5日	堅紙・1通	む26-2
酒井金太郎金銭受取証文[覚](書籍買上代8両2分に付) 酒井金太郎→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年辛未12月5日	堅紙・1通	む26-3
酒井金太郎金銭受取証文[覚](学校品々買上代30両に付) 酒井金太郎→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年辛未12月5日	堅紙・1通	む26-4

む 15 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払

坂本寛介金銭受取証文[覚](御用状添賃銭36貫余に付) 坂本寛介→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年未12月5日	堅紙・1通	む26-5
坂本寛介金銭受取証文[覚](元須坂県へ御用状1貫400文に付) 坂本寛介→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年未12月5日	堅紙・1通	む26-6
田沢廉助他一名金銭受取証文[覚](四ツ屋村堰守飯島久右衛門への初代22両余に付) 田沢廉助・青山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年未12月6日	堅紙・1通	む26-7
坂本寛介金銭受取証文[覚](元上田県への支給用状添賃銭2貫160文に付) 坂本寛介→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年未12月6日	堅紙・1通	む26-8
田沢廉助他一名金銭受取証文[覚](家禄月割金118両余に付) 田沢廉助・青山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年未12月7日	堅紙・1通	む26-9
玉川繁之助金銭受取証文[覚](上今井村普請入料50両に付) 玉川繁之助→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年未12月7日	堅紙・1通	む26-10
(諸入料支払関係証文綴 明治4年8月～12月)		かぶせ綴・6点	む26-11
佐藤伊与之進金子支払証文(品々入料切手形五通分11両2朱受取の上支払に付) 佐藤伊与之進／(奥印)月岡桂斎→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月	堅紙・1通	む26-11-1
鍵屋芳左衛門金銭受取証文[覚](釘代1両3分余に付) (松代鍛冶町)鍵屋芳左衛門→宮繕方御役所	明治4年未9月	横切継紙・1通	む26-11-2
宮入亀治支払証文[覚](5寸釘100本代1両余受取の上支払に付) 宮入亀治→	(明治4年)未8月	切紙・1通	む26-11-3
大工与作金銭受取証文[覚](奥蟬切込雇賃金1両2朱余に付) 大工与作→宮繕方御役所	明治4年未9月	切紙・1通	む26-11-4
寺尾太秋五郎金銭受取証文[覚](御殿模様替大工請負金4両1分に付) 寺尾太秋五郎→(宮繕方)御役所	(明治4年)	切紙・1通	む26-11-5
大工与作金銭受取証文[覚](鎌原様堀請負手間金3両に付) 大工与作→宮繕方御役所	(明治4年)9月6日	堅紙・1通	む26-11-6
(諸入料支払関係証文綴 明治4年9月～12月)		かぶせ綴・14点	む26-12
佐藤伊与之進金子支払証文(品々入料切手形13通分46両3朱余受取の上支払に付) 佐藤伊与之進／(奥印)月岡桂斎→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月	堅紙・1通	む26-12-1
鍵屋芳左衛門金銭受取証文[覚](新御殿模様替用釘代1両3分余に付) (松代鍛冶町)鍵屋芳左衛門→宮繕方御役所 虫損あり	明治4年未9月	横切継紙・1通	む26-12-2
鍵屋芳左衛門金銭受取証文[覚](元大書院・二ノ間廊下等模様替用釘代1両3分余に付) (松代鍛冶町)鍵屋芳左衛門→宮繕方御役所 虫損あり	明治4年未9月	横切継紙・1通	む26-12-3
鍵屋芳左衛門金銭受取証文[覚](紐縄1貫200文余に付) (松代鍛冶町)鍵屋芳左衛門→宮繕方御役所 虫損あり	(明治4年)未11月14日	切紙・1通	む26-12-4
表柴丁上畳刺芳龍治金銭受取証文[覚](紐縄1貫200文余に付) 表柴丁上畳刺芳龍治→宮繕方御役所 欠損あり	(明治4年)9月	切紙・1通	む26-12-5
現金屋太吉金銭受取証文[覚](油縄代等102匁に付) (松代紺屋町)現金屋太吉→宮繕局御役所 貼紙あり	(明治4年)未9月8日	切紙・1通	む26-12-6
瀧脇屋文治金銭受取証文[覚](よし代2分受取に付) (松代紙屋町)瀧脇屋文治→上	(明治4年)未9月8日	切紙・1通	む26-12-7
大工与作金銭受取証文[覚](招魂場箱番所等入料1両1分に付) 大工与作→宮繕方御役所	明治4年未9月	堅紙・1通	む26-12-8
東寺尾村米吉金銭受取証文[覚](招魂場入料1両1分に付) 東寺尾村米吉→宮繕方御役所	明治4年未9月	堅紙・1通	む26-12-9

大工与作金銭受取証文[覚](庁小書院模様替5人分賃金5両に付) 大工与作→営繕方御役所	(明治4年)9月	堅紙・1通	む26-12-10
大工与作金銭受取証文[覚](招魂所鳥居等作事賃金7両2分に付) 大工与作→営繕方御役所	(明治4年)9月	堅紙・1通	む26-12-11
大工与作金銭受取証文[覚](大手番所移転賃金6両1分に付) 大工与作→営繕方御役所	(明治4年)9月	堅紙・1通	む26-12-12
中町作蔵金銭受取証文[覚](戸籍掛札出来のため庁四工分賃金1両に付) 中町作蔵→営繕御役所	(明治4年)9月	堅紙・1通	む26-12-13
大工与作金銭受取証文[覚](大書院二階等請負金3両1分に付) 大工与作→営繕方御役所	(明治4年)9月2日	堅紙・1通	む26-12-14
(諸入料支払関係証文綴 明治4年9月・12月)		かぶせ綴・3点	む26-13
佐藤伊与之進金子支払証文(品々入料切手形2通分2両2分3朱余受取の上支払に付) 佐藤伊与之進／(奥印)月岡桂齋→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿	明治4年末12月	堅紙・1通	む26-13-1
鍵屋芳左衛門金銭受取証文[覚](新御殿模様替用釘代1両3分余に付) (松代鍛冶町)鍵屋芳左衛門→営繕方御役所 虫損あり	明治4年末9月	横切継紙・1通	む26-13-2
中町作蔵金銭受取証文[覚](学校席札作事賃金2分2朱に付) 中町作蔵→営繕御役所	明治4年末9月	堅紙・1通	む26-13-3
玉井繁之助他一名金銭受取証文[覚](岩倉掘割完成のため酒代金5両下賜金に付) 玉井繁之助・倉田三之丞→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年辛未12月8日	堅紙・1通	む26-14
坂本寛介金銭受取証文[覚](東京へ宿継用状添賃銭17貫文金に付) 坂本寛介→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年辛未12月9日	堅紙・1通	む26-15
宮入半之丞他一名金銭受取証文[覚](酒入料2両余に付) 宮入半之丞・阪西広見→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年辛未12月10日	堅紙・1通	む26-16
宮入半之丞他一名金銭受取証文[覚](焚炭購入代60両余に付) 宮入半之丞・阪西広見→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年末12月10日	堅紙・1通	む26-17
宮入半之丞他一名金銭受取証文[覚](大中奉書紙購入代7両余に付) 宮入半之丞・阪西広見→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年末12月10日	堅紙・1通	む26-18
宮入半之丞他一名金銭受取証文[覚](豊明節会祝酒代109両余に付) 宮入半之丞・阪西広見→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年末12月10日	堅紙・1通	む26-19
佐藤伊与之進金銭受取証文[覚](御雇大工賃金等5両に付) 佐藤伊与之進→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年末12月13日	堅紙・1通	む26-20
富永新平金銭受取証文[覚](真田幸民東京にて入用料支払い分等千両に付) 富永新平→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年末12月15日	堅紙・1通	む26-21
宮入半之丞他一名金銭受取証文[覚](大奉書紙代8両に付) 宮入半之丞・阪西広見→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未12月15日	堅紙・1通	む26-22
富永新平金銭受取証文[覚](東京へ官札納入の藩札商人への手当金191両に付) 富永新平→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年辛未12月15日	堅紙・1通	む26-23
宮入半之丞他一名金銭受取証文[覚](大奉書紙代8両に付) 宮入半之丞・阪西広見→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未12月15日	堅紙・1通	む26-24
宮入半之丞他一名金銭受取証文[覚](小盤紙代9両余に付) 宮入半之丞・阪西広見→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未12月16日	堅紙・1通	む26-25
田沢廉助他一名金銭受取証文[覚](明治2年郡役へ下賜の初代金978両余に付) 田沢廉助・青山喜平次→中島渡浪殿・徳高広馬殿・野本力太郎殿	明治4年末12月16日	堅紙・1通	む26-26

む 15 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払

田沢廉助他一名金銭受取証文[覚](明治2年村々手当の初代金198両余に付) 田沢廉助・青山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月16日	縦紙・1通	む26-27
田沢廉助他一名金銭受取証文[覚](明治元年開門出張手当の初代金111両に付) 田沢廉助・青山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月16日	縦紙・1通	む26-28
田沢廉助他一名金銭受取証文[覚](明治3年窮民御救い大麦代金33両3分余に付) 田沢廉助・青山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月16日	縦紙・1通	む26-29
中沢義市金銭受取証文[覚](明治2年千曲・犀川代金4千445両余に付) 中沢義市→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月16日	縦紙・1通	む26-30
北島元之助金銭受取証文[覚](馬飼料品々購入代金419両余に付) 北島元之助→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月16日	縦紙・1通	む26-31
佐藤伊与之進受払切証文[覚](全図銭松代幣古済手形引替借入金他証書にて引渡し分4千195両余に付) 佐藤伊与之進→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月16日	縦紙・1通	む26-32
田沢廉助他一名金銭受取証文[覚](西条村開善寺所等年貢下ケ金26両に付) 田沢廉助・青山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月18日	縦紙・1通	む26-33
田沢廉助他一名金銭受取証文[覚](監察方加役・司金方添助勤務手当12両2分に付) 田沢廉助・青山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月18日	縦紙・1通	む26-34
田沢廉助金銭受取証文[覚](真田幸民下賜の酒代1両余に付) 田沢廉助→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年未12月19日	縦紙・1通	む26-35
宮入半之丞他一名金銭受取証文[覚](元預所村々へ下賜の酒代2両余に付) 宮入半之丞・阪西広見→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年未12月19日	縦紙・1通	む26-36
坂本寛介金銭受取渡証文[覚](全国駅通諸入費割賦金6両2分余受取渡しに付) 坂本寛介→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年辛未12月19日	縦紙・1通	む26-37
坂本寛介金銭受取渡証文[覚](用状添賃銭21貫872文受取渡しに付) 坂本寛介→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年辛未12月19日	縦紙・1通	む26-38
坂本寛介金銭受取渡証文[覚](用状添賃銭3両1分余受取渡しに付) 坂本寛介→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年辛未12月19日	縦紙・1通	む26-39
富永新平金銭受取渡証文[覚](東京出張の兵隊入料千両受取渡しに付) 富永新平→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年辛未12月23日	縦紙・1通	む26-40
富永新平金銭受取証文[覚](東京へ官札納入の藩札商人への手当金191両に付) 富永新平→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年辛未12月23日	縦紙・1通	む26-41
田沢廉助他一名金銭受取証文[覚](真田幸民下賜の酒代18両に付) 田沢廉助・青山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年辛未12月24日	縦紙・1通	む26-42
富永新平金銭受取証文[覚](東京へ官札納入の藩札商人への手当金191両に付) 富永新平→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年辛未12月25日	縦紙・1通	む26-43
富永新平金銭受取証文[覚](東京へ藩札商人納入金千両に付) 富永新平→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年辛未12月25日	縦紙・1通	む26-44
田沢廉助他二名金銭受取証文[覚](相沢龍太郎松本へ出張旅費11両に付) 田沢廉助・入弥左衛門・青山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年未12月25日	縦紙・1通	む26-45
田沢廉助他二名金銭受取証文[覚](真田幸民御付の者の4～6月分給金122両余に付) 田沢廉助・入弥左衛門・青山喜平次→	明治4年未12月25日	縦紙・1通	む26-46

中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」			
久保九郎右衛門金銭受取証文[覚](大隊旗仕立直代3貫748文に付) 久保九郎右衛門→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年辛未12月26日	縦紙・1通	む26-47
佐藤伊与之進金銭受取証文[覚](品々出来のため雇大工への賃金等4両2分に付) 佐藤伊与之進→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年未12月26日	縦紙・1通	む26-48
富永新平金銭受取証文[覚](長野県編入村々の国役金送金分75両2分に付) 富永新平→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年未12月26日	縦紙・1通	む26-49
斎藤房吉金銭受取証文[覚](松原者の明治3年分給金7両余に付) 斎藤房吉／(奥印)皆月郷一郎→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」、継目印あり	明治4年未12月26日	縦継紙・1通	む26-50
半田亀作他一名金銭受取証文[覚](御厩入料茱大豆等代16両2分に付) 半田亀作・堀内莊作→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年未12月27日	縦紙・1通	む26-51
佐藤伊与之進金銭受取証文[覚](上田へ武器送付関連入料5両に付) 佐藤伊与之進→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月27日	縦紙・1通	む26-52
宮入半之丞他一名金銭受取証文[覚](4～6月分茶墨代52両2分に付) 宮入半之丞・阪西広見→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未12月27日	縦紙・1通	む26-53
坂本寛介金銭受取証文[記](御用状送付人足賃金1両余と8貫303文に付) 坂本寛介→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月29日	縦紙・1通	む26-54
坂本寛介金銭受取証文[記](千曲川犀川国役普請金2両2分に付) 坂本寛介／(奥印)月岡桂齋→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治4年未12月29日	縦紙・1通	む26-55
玉井繁之助金銭受取証文[記](上今井村普請入料200両に付) 玉井繁之助→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年未12月29日	縦紙・1通	む26-56
半田亀作他一名金銭受取証文[覚](水上雄風等2名分手当拝借金24両余に付) 半田亀作・堀内莊作→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年未12月晦日	縦紙・1通	む26-57
半田亀作他一名金銭受取証文[覚](矢代村七郎右衛門等3名分利足金85両余に付) 半田亀作・堀内莊作→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年未12月晦日	縦紙・1通	む26-58
堀内莊作金銭受取証文[覚](西条村美代吉手当金1両余に付) 堀内莊作→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年未12月晦日	縦紙・1通	む26-59
高橋清蔵金銭受取証文[覚](御用状送付人足賃3貫248文に付) 高橋清蔵→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年未12月晦日	縦紙・1通	む26-60
富永新平金銭受取証文[覚](鑑札入用のため蚕税預け口より借入分返済金52両余に付) 富永新平→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿	明治5年申正月	縦紙・1通	む26-61
矢野唯見金銭受取証文[覚](牢舎人薬入料13両に付) 矢野唯見→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年未12月	縦紙・1通	む26-62
宮入半之丞他一名金銭受取証文[覚](筆墨代2両2分に付) 宮入半之丞・阪西広見→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年未12月	縦紙・1通	む26-63
宮入半之丞他一名金銭受取証文[覚](品々入料74両1分に付) 宮入半之丞・阪西広見→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年未12月	縦紙・1通	む26-64
野中喜左衛門金銭受取渡証文[覚](関愛山他1名丹波島村出役中賄代32両2分2朱に付) 野中喜左衛門→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「古」	明治4年未12月	縦紙・1通	む26-65
岸田総雄他二名金銭受取証文[覚](長国寺下賜金30両に付)	明治4年未12月	縦紙・1通	む26-66

む 15 藩政／財政／計政局・会計掛／金銭請払

岸田総雄・田沢広助・春山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」			
小幡全一郎金銭受取証文[覚](上田分営へ兵器送付入料32両に付) 小幡全一郎→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 虫損、「新」	明治4年末12月[]日	縦紙・1通	む26-67
小幡全一郎金銭受取証文[覚](上田分営へ兵器送付入料32両に付) 小幡全一郎→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 虫損、「新」	明治4年末12月[]日	縦紙・1通	む26-68
岸田総雄他二名金銭受取証文[覚](卒切米代83両余に付) 岸田総雄・入弥左衛門・春山喜平次→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年末12月	縦紙・1通	む26-69
小幡全一郎金銭受取証文[覚](上田分営へ兵器送付入料62両に付) 小幡全一郎→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 「新」	明治4年末12月	縦紙・1通	む26-70
高橋鉄蔵金銭受取証文[覚](支給御用状人足賃21貫248文に付) 高橋鉄蔵→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 虫損、「新」	明治4年末12月[]日	縦紙・1通	む26-71
高橋鉄蔵金銭受取証文[覚](支給御用状人足賃7貫109文に付) 高橋鉄蔵→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 虫損、「新」	明治4年末12月	縦紙・1通	む26-72
柄沢大之進代判吉原素夫他一名金銭受取証文[覚](旧管下高札認直廻村旅費11両1分に付) 柄沢大之進代判吉原素夫・富岡文蔵→中島渡浪殿・徳嵩広馬殿・野本力太郎殿 虫損、「新」	明治4年末12月9日	縦紙・1通	む26-73
(焚炭支給願関係書類綴 明治4年9月～10月)		紙綴綴・8点	む32
計政副主事再申上書(計監の申上に異存なしに付) 計政副主事→ - 端裏書「焚炭臨時御入料請取之義ニ付再申上」	(明治4年)2月	切紙・1通	む32-1
営繕属并営繕司貼紙(寒気のため日々750匁ずつ支給願に付) 営繕属→ - 端裏書「御役所渡り焚炭之義奉伺候」	(明治4年)閏10月	切紙・1通	む32-2
(庁掌分10月15日～21日まで焚炭代支給分勘定書)	(明治4年)	横切継紙・1通	む32-3
庁掌伺書(端裏書)[玄閑詰等へ焚炭御渡之義](薪炭または真木渡されたきに付) 庁掌→ -	(明治4年)辛未10月	横切継紙・1通	む32-4
某伺書(昼夜分焚炭500匁支給に付)	(明治4年)	横切継紙・1通	む32-5
(10月15日～11月分焚炭書上)	(明治4年)	切紙・1通	む32-6
丸山締一郎他一名伺[覚](元奇合隊焚炭入料臨時支給のため本証文取決め願に付) 丸山締一郎・大木守之祐→ - 下ヶ札あり、端裏書「元奇合隊臨時御入料之儀奉伺」、端裏貼紙「寄合隊支配中新炭臨時御渡之義奉伺」「九月」「沢角南」	(明治4年)未9月	切紙・1通	む32-7
丸山締一郎他一名伺[覚](元奇合隊焚炭入料臨時支給のため本証文取決め願に付) 丸山締一郎・大木守之祐→ - 端裏書「元奇合隊臨時御入料之儀奉伺」、端裏の差出貼紙「沢角南」	(明治4年)未10月	横切紙・1通	む32-8
新町村金兵衛願書[乍恐以書付奉申上候](御用紙入用積伺に付) 新町村金兵衛→用度方御役所	明治4年末3月	縦紙・1通	む35

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

め

1 藩政／江戸屋敷／諸願

桜田兼房町しゆん他二名申上書〔乍恐以書付御届奉申上候〕 (真田家中小林寛司借金返済滞に付) 桜田兼房町家主八右衛門 門店金兵衛・同店しゆん・後見金兵衛頼二付代藤助→真田伊豆守様御 内御役人衆中様	文政11年子9月	縦紙・1通	め3
--	----------	-------	----

2 藩政／財政／元方御金奉行／預金

(貸出礼金預り証文綴 安政3年12月～明治元年12月)		紙綴綴・28点	め69
佐藤伊与之進金錢預り証文〔覚〕(御当用貸出礼金22両2分に付) 佐藤伊与之進→宮下兵馬殿	万延元年申11月朔日	縦紙・1通	め69-1
西村源蔵金錢預り証文〔覚〕(郡代役所上納繰廻利分金32両5匁に付) 西村源蔵→草間元司殿	万延元年閏3月9日	切紙・1通	め69-2
斎藤善蔵金錢預り証文〔覚〕(御当用貸出礼金2両2分に付) 斎藤善蔵→高田幾太殿 端裏貼紙〔小田切辰之助三百両為替之御礼金之分〕	万延元年申5月7日	切紙・1通	め69-3
関山平治金錢預り証文〔覚〕(御当用貸出礼金1両3分1朱1匁2分5厘に付) 関山平治→高田幾太殿	安政7年申3月21日	縦紙・1通	め69-4
某用状(150両元利に付)		切紙・1通	め69-5
綿貫泰蔵金錢預り証文〔覚〕(御当用貸出礼金15両に付) 綿貫泰蔵→斎藤友衛殿	万延元年申10月27日	縦紙・1通	め69-6
斎藤善蔵金錢預り証文〔覚〕(御当用貸出礼金5両に付) 斎藤善蔵→長谷川三郎兵衛殿 端裏貼紙〔式朱金引当五百両貸出利分〕	万延元年申10月朔日	切紙・1通	め69-7
水井市治金錢預り証文〔覚〕(御当用貸出金5両に付) 水井市治→宮下兵馬殿	万延元年申8月23日	切紙・1通	め69-8
斎藤善蔵金錢預り証文〔覚〕(御当用貸出礼金14両に付) 斎藤善蔵→宮下兵馬殿	万延元年申5月25日	切紙・1通	め69-9
水井市治金錢預り証文〔覚〕(御当用貸出金6両に付) 水井市治→磯田音門殿 端裏貼紙〔十郎左衛門預金式朱金引当二面五百両之内百五拾兩御貸出利分〕	万延元年申5月19日	切紙・1通	め69-10
綿貫泰蔵金錢預り証文〔覚〕(御当用貸出礼金2両2分に付) 綿貫泰蔵→宮下兵馬殿 端裏貼紙あり	万延元年申8月6日	切紙・1通	め69-11
西村源蔵金錢預り証文〔覚〕(御当用貸出礼金13両3分2朱2匁5分に付) 西村源蔵→草間元司殿	文久元年酉11月2日	縦紙・1通	め69-12
幾久屋伝兵衛金錢受取書〔覚〕(江府御納戸上納御下金100両に付) 幾久屋伝兵衛→御金掛り御役所	5月24日	縦紙・1通	め69-13
腰村和十郎金錢受取書〔御為替金請取証文之事〕(江戸表御屋敷への上納御下金200両に付) 腰村和十郎→御金方御役所	文久2年戌4月28日	縦紙・1通	め69-14
斎藤善蔵金錢預り証文〔覚〕(御当用貸出礼金66両2分2朱2匁5分に付) 斎藤善蔵→草間元司殿	文久元年酉12月25日	縦紙・1通	め69-15
佐藤伊与之進金錢預り証文〔覚〕(上野常照院預金利分金21両5匁に付) 斎藤伊与之進→長谷川三郎兵衛殿	3月20日	横切紙・1通	め69-16
小田切為之進他二名金錢受取証文〔覚〕(昨12月から当5月迄御利足金96両2分に付) 小田切為之助・牧新七・小田切禄三郎→野中喜左衛門殿・水井市治殿・水野清右衛門殿	慶応3年卯5月17日	横切紙・1通	め69-17

め2 藩政／財政／元方御金奉行／預金 3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金

春日栄作金銭預り証文[覚](望月顕蔵へ御下金100両に付) 春日栄作→片桐重之助殿・高野覚之進殿	安政6年未12月晦日	堅紙・1通	め69-18
佐藤伊与之進金銭預り証文[覚](御当用貸出礼金9両に付) 佐藤伊与之進→宮下兵馬殿	万延2年酉正月27日	切紙・1通	め69-19
佐藤伊与之進金銭預り証文[覚](御当用貸出礼金3両2分に付) 佐藤伊与之進→宮下兵馬殿	万延元年申11月29日	切紙・1通	め69-20
西村源兵衛金銭預り証文[覚](御当用御貸出礼金2両2分に付) 西村源蔵→宮下兵馬殿 端裏書「中俣村権右衛門分」	万延元年申9月26日	切紙・1通	め69-21
水井市治達[覚](御当用御貸出礼金2両1朱に付) 水井市治→ 斎藤友衛殿	万延元年申6月朔日	切紙・1通	め69-22
斎藤善蔵達[覚](御当用御貸出礼金25両に付) 斎藤善蔵→高 田幾太殿	安政辰年32月17日	堅継紙・1通	め69-23
佐川又左衛門達[覚](御当用貸出礼金5両に付) 佐川又左衛 門→高田幾太殿	安政辰年32月17日	切紙・1通	め69-24
佐川又左衛門達[覚](御当用貸出礼金10両に付) 佐川又左衛 門→竹村金吾殿	安政辰年312月14日	堅継紙・1通	め69-25
斎藤善蔵達[覚](御当用貸出礼金50両に付) 斎藤善蔵→竹村 金吾殿	安政辰年312月28日	切紙・1通	め69-26
山口孝助他一名内借証文[覚](金50両繰廻金の内より受取 に付) 山口孝助・加判松本賢吾→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「山口孝助」	明治元年辰12月	堅紙・1通	め69-27
坂本常左衛門金銭受取書[覚](夏和村松本元右衛門より入 金200両に付) 坂本常左衛門→新村八重治殿	慶応3年卯3月	堅紙・1通	め69-28

3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金

(諸役向費用拝借証文綴 元禄16年正月～宝暦10年5月)		紙綴綴・25点	め27
立田玄道拝借証文(在所へ帰国のため金15両受取当暮返上 に付) 立田玄道／(奥印)大嶋太右衛門・有川源五兵衛／(裏書)大 熊靱負→久保九郎右衛門殿 返上済裏書	元禄16年癸未正月4日	堅紙・1通	め27-1
大森庄兵衛拝借証文[拝借金之証文](金15両受取来年より 3ヶ年にて返上に付) 大森庄兵衛／(奥印)原半兵衛・片岡渡左 衛門／(裏書)恩田頼母・矢沢将監→星野五兵衛殿・竹内勘右衛門殿	宝永元年申6月26日	堅紙・1通	め27-2
小野里三左衛門他一名拝借証文[覚](今井御普請のため金2 両受取当暮切米より返上に付) 小野里三左衛門・中沢玄助／ (奥印)大嶋太右衛門・片岡渡左衛門／(裏書)大熊靱負→竹内勘右衛 門殿	宝永4年丁亥3月23日	堅紙・1通	め27-3
久保伴助拝借証文[覚](金1両2分受取当暮切米より返上に 付) 久保伴助／(奥印)菅奎右衛門・河原与一左衛門／(裏書)大熊 次郎左衛門→木内清八殿	宝永7年庚寅11月14日	堅紙・1通	め27-4
中俣甚五左衛門拝借証文(朝鮮人御用付小頭着服調のため 金5両受取に付) 中俣甚五左衛門／(奥印)大嶋太右衛門・常田一 郎右衛門／(裏書)恩田頼母・大熊四郎左衛門→馬場与惣右衛門殿・長 谷川源之助殿 返上済裏書	正徳元年卯10月10日	堅紙・1通	め27-5
西沢甚右衛門拝借証文[覚](金2両受取在所にて返上に付) 西沢甚右衛門／(奥印)菅奎右衛門・河原利助／(裏書)恩田頼母・小山 田平大夫→馬場与惣右衛門殿・長谷川源之助殿	正徳2年辰4月21日	堅紙・1通	め27-6
宮下武右衛門拝借証文[覚](金1両2分受取在所にて返上に 付) 宮下武右衛門／(奥印)菅奎右衛門・渡部十大夫／(奥書)小山 田平大夫→上村治右衛門殿	正徳3年巳正月20日	堅紙・1通	め27-7
細田弥次右衛門受領書(在所へ帰国のため金2両受取に付) 細田弥次右衛門／(奥印)横田三郎右衛門・萩原太五右衛門／(裏書)	享保2年乙酉6月25日	堅紙・1通	め27-8

恩田頼母→上村治右衛門殿・長谷川源介殿			
佐藤長蔵拝借証文(上方御用池村佐左衛門殿着添のため金2両受取に付) 佐藤長蔵／(奥印)原半兵衛・河原□左衛門／(裏書)大熊五郎左衛門→木内清八殿	享保3年戊閏10月17日	縦紙・1通	め27-9
高宮長右衛門拝借証文[請取申金子之事](今吹新金100両受取当暮より1ヶ年にて返上に付) 高宮長右衛門／(奥印)原半兵衛・河原与一左衛門／(裏書)大熊四郎左衛門→木内清八殿・上村治右衛門殿・長谷川源之助殿他1名 返上済裏書	享保4年亥正月晦日	縦継紙・1通	め27-10
大嶋太右衛門拝借証文[拝借金之事](京都御用御使のため金50両受取に付) 大嶋太右衛門→恩田全殿 奥書・裏書あり	享保4年亥8月16日	縦紙・1通	め27-11
小松忠左衛門拝借証文[覚](仲間寄合のため金15両受取在所より参次第返上に付) 小松忠左衛門→恩田全様 奥書・裏書あり	享保4年亥8月27日	縦紙・1通	め27-12
片岡勘大夫拝借証文[覚](朝鮮人御用のため金1両受取に付) 片岡勘大夫→瀧沢与市殿 裏書あり	享保4年亥9月18日	縦紙・1通	め27-13
原田平蔵拝借証文[覚](朝鮮人御用のため金1両受取に付) 原田平蔵→瀧沢与市殿 裏書あり	享保4年亥9月18日	縦紙・1通	め27-14
岸万右衛門拝借証文[覚](朝鮮人乗場御用のため金5両受取に付) 岸万右衛門→(宛所なし) 裏書あり	享保4年亥9月18日	切紙・1通	め27-15
柴垣善兵衛他一名拝借証文[覚](星野五兵衛支配東福寺村八之丞在所へ帰国のため金1分に付) 柴垣善兵衛・松沢久兵衛→小山田甚兵衛殿・上原長蔵殿 奥印・裏書あり	享保5年子8月13日	横切継紙・1通	め27-16
柴垣善兵衛他一名拝借証文[覚](松代河町坂巻専介支配徳兵衛他1名在所へ帰国のため金1分宛に付) 柴垣善兵衛・松沢久兵衛→小山田甚兵衛殿・上原長蔵殿 奥印・裏書あり	享保5年子8月20日	切紙・1通	め27-17
仁礼村小兵衛他二村四名拝借証文[御拝借仕金子之事](町宿類焼のため金3両受取に付) 仁礼村小兵衛・市郎右衛門・伝之丞他2村2名→片岡渡左衛門様 奥印・裏書あり	享保6年丑12月20日	切紙・1通	め27-18
角井村弥兵衛他一村三名拝借証文[差出候一札之事](在所帰国路銀のため金3分受取に付) 角井村弥兵衛・長百姓次右衛門・古沢村善之丞他1名→森田甚五兵衛様 奥印あり	午10月10日	縦紙・1通	め27-19
地京原村権兵衛他一村二名拝借証文[差上申一札之事](在所帰国路銀のため金2分受取に付) 地京原村権兵衛・同村松右衛門・青木村又八→森田甚五兵衛様 奥印・裏書あり	享保11年午12月28日	横切継紙・1通	め27-20
児丈助他一名拝借証文[覚](金1両受取当暮拝領切米より返上に付) 拝借金児丈助・加判人山岸文大夫→望月治部左衛門殿	享保15年戌8月28日	切紙・1通	め27-21
池村八大夫拝借証文(金2両に付) 池村八大夫／(裏書)矢沢将監→小松伝蔵殿	戌9月16日	切紙・1通	め27-22
宮沢直右衛門内借証文[覚](金1両受取当暮切米より返上に付) 宮沢直右衛門→草間元右衛門殿	享保15年戌9月2日	切紙・1通	め27-23
藤田専蔵拝借証文[覚](大手番所勤のため金1両2分に付) 藤田専蔵／(奥印)成沢勘左衛門／(奥印)牧野伊左衛門・津田源五郎／(裏書)根津大炊→金子甚左衛門殿	宝暦10年辰2月	切紙・1通	め27-24
三井清右衛門拝借証文[覚](大手番所勤のため金1両2分に付) 三井清右衛門／(奥印)成沢勘左衛門／(奥印)牧野伊左衛門・榎田弥惣兵衛／(裏書)根津大炊→金子甚左衛門殿	宝暦10年庚辰5月	縦紙・1通	め27-25
常田市郎右衛門他四名申上書(端裏書)[御家中拝借金中之年分請取上納仕候覚](大熊鞆負他11名返上金書出に付) 常田市郎右衛門・菅左右衛門・大嶋太右衛門他2名／(奥印)望月治部左衛門・恩田頼母→久保九郎右衛門殿・馬場与惣右衛門殿・竹内勘右衛門殿 め・22・め・23は巻込一括	宝永2年酉4月2日	横折紙・1通	め22
荒川造酒他二名金銭受取書[覚](家中拝借金返上分金55両に付) 荒川造酒・窪田文右衛門・藤田助之進→・ め・22・め・23は巻込一括	戌12月晦日	切紙・1通	め23

め3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金

(家中御情拝借金証文綴 宝永5年3月)		紙縫綴・86点	め24
依田喜平次拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 依田喜平次→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「依田喜平次」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-1
厚木伯元拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 厚木伯元→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「厚木伯元」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-2
佐野弥兵衛拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 佐野弥兵衛→木内清八殿 端裏書「佐野弥兵衛」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-3
白井平左衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 白井平左衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「白井平左衛門」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-4
森山新四郎拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 森山新四郎→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「森山新四郎」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-5
和田卿之丞拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 和田卿之丞→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「和田卿之丞」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-6
高山六右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 高山六右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「高山六右衛門」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-7
奥村藤左衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 奥村藤左衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「奥村藤左衛門」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-8
前嶋助之進拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 前嶋助之進→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「前嶋助之進」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-9
河野清右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 河野清右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「河野清右衛門」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-10
恩田頼母拝借証文(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 恩田頼母→岡崎弥平次殿・木内清八殿 端裏書「恩田頼母」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-11
金井弥三郎拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 金井弥三郎→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「金井弥三郎」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-12
玉川善大夫拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 玉川善大夫→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「玉川善大夫」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-13
菅奎右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 菅奎右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「菅奎右衛門」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-14
恩田伝五郎拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 恩田伝五郎→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「恩田伝五郎」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-15
鈴木織部拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 鈴木織部→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「鈴木織部」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-16
樋口伝八拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 樋口伝八→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「樋口伝八」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-17
宮嶋友之進拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 宮嶋友之進→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「宮嶋友之進」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-18
山越市之丞拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 山越市之丞→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「山越市之丞」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-19
藤井彦九郎拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-20

上に付) 藤井彦九郎→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「藤井彦九郎」			
岡嶋弥平治拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2兩受取当暮返上に付) 岡嶋弥平治→木内清八殿 端裏書「岡嶋弥平治」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-21
矢野武右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2兩受取当暮返上に付) 矢野武右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「矢野武右衛門」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-22
岩崎四兵衛拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2兩受取当暮返上に付) 岩崎四兵衛→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「岩崎四兵衛」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-23
大熊五左衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2兩受取当暮返上に付) 大熊五左衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「大熊五左衛門」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-24
樋口専右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2兩受取当暮返上に付) 樋口専右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「樋口専右衛門」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-25
長谷川藤九郎拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩2分受取当暮返上に付) 長谷川藤九郎→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「長谷川藤九郎」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-26
長谷川源之介拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩2分受取当暮返上に付) 長谷川源之介→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「長谷川源之介」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-27
木内清八拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩2分受取当暮返上に付) 木内清八→岡崎弥平次殿 端裏書「木内清八」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-28
✕木利右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩2分受取当暮返上に付) ✕木利右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「✕木利右衛門」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-29
関山沢之丞拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩2分受取当暮返上に付) 関山沢之丞→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「関山沢之丞」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-30
長谷川藤蔵拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩2分受取当暮返上に付) 長谷川藤蔵→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「長谷川藤蔵」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-31
久保林右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩2分受取当暮返上に付) 久保林右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「久保林右衛門」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-32
宮下平右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩2分受取当暮返上に付) 宮下平右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「宮下平右衛門」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-33
石倉重郎右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩2分受取当暮返上に付) 石倉重郎右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「石倉重郎右衛門」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-34
緑川惣大夫拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩2分受取当暮返上に付) 緑川惣大夫→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「緑川惣大夫」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-35
高井弥右衛門拝借証文〔覚〕(御情拝借金1兩受取に付) 高井弥右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「高井弥右衛門」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-36
成沢庄蔵拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩受取当暮返上に付) 成沢庄蔵→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「成沢庄蔵」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-37
内山政右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩受取当暮返上に付) 内山政右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「内山政右衛門」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-38
長谷川金左衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩受取当暮返上に付) 長谷川金左衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「長谷川金左衛門」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-39

め3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金

池原源内拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 池原源内→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「池原源内」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-40
寺西次郎兵衛拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 寺西次郎兵衛→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「寺西次郎兵衛」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-41
成沢八十郎拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 成沢八十郎→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「成沢八重郎」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-42
河原長右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 河原長右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「河原長右衛門」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-43
関口十兵衛拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 関口十兵衛→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「関口十兵衛」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-44
近藤次郎五郎拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 近藤次郎五郎→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「近藤次郎五郎」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-45
鈴木源助拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 鈴木源助→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「鈴木源助」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-46
井上源内拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 井上源内→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「井上源内」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-47
保科奎之丞拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 保科奎之丞→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「保科奎之丞」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-48
保科貞右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 保科貞右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「保科貞右衛門」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-49
中村団六拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 中村団六→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「中村弾六」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-50
丸山半大夫拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 丸山半大夫→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「丸山半大夫」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-51
窪田宗清拝借証文(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 窪田宗清→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「窪田宗清」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-52
上松休清拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 上松休清→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「上松休清」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-53
原孫八郎拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 原孫八郎→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「原孫八」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-54
片岡彦治郎拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 片岡彦治郎→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「片岡彦治郎」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-55
志村又市拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返上に付) 志村又市→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「志村又市」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-56
上原半介拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1分受取当暮返上に付) 上原半介→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「上原半介」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-57
小熊利助拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2分受取当暮返上に付) 小熊利助→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「小熊利助」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-58
村田庄介拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1分受取当暮返上に付) 村田庄介→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「村田庄助」	宝永5年戊子3月28日	豎紙・1通	め24-59
山川金弥拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1分受取当暮返上に付) 山川金弥→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「山川金弥」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-60
関口佐大夫拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1両受取当暮返	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-61

上に付) 関口佐大夫→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「関口佐大夫」			
横田太兵衛拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩受取当暮返上に付) 横田太兵衛→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「横田太兵衛」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-62
高久瀬平拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2分受取当暮返上に付) 高久瀬平→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「高久瀬兵衛」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-63
松山通長拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩受取当暮返上に付) 松山通長→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「松山通長」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-64
西村九右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2分受取当暮返上に付) 西村九右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「西村九右衛門」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-65
小林善五右衛門他五名拝借証文〔覚〕(御情拝借金1人付1分宛受取当暮返上に付) 小林善五右衛門・両角五兵衛・赤塚喜右衛門他3名→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「小林善五右衛門」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-66
瀧沢伊左衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1兩受取当暮返上に付) 瀧沢伊左衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「瀧沢伊左衛門」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-67
三輪仁兵衛拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2分受取当暮返上に付) 三輪仁兵衛→岡崎弥平次殿・木内清八殿 端裏書「三輪仁兵衛」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-68
窪田林古拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1分受取当暮返上に付) 窪田林古→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「窪田林古」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-69
野村善五右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金3分受取当暮返上に付) 野村善五右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「野村善五右衛門」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-70
三村市郎右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金3分受取当暮返上に付) 三村市郎右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「三村市郎右衛門」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-71
山本茂兵衛拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金3分受取当暮返上に付) 山本茂兵衛→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「山本茂兵衛」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-72
堀井次郎兵衛拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金3分受取当暮返上に付) 堀井次郎兵衛→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「堀井次郎兵衛」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-73
八代都拝借証文(御情拝借金1分受取当暮返上に付) 八代都→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「八代都」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-74
原田金左衛門他十九名拝借証文(御情拝借金2人に付1分宛受取当暮返上) 原田金左衛門・大里忠右衛門・水保太右衛門他17名→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「原田金左衛門」	宝永5年子3月27日	竖紙・1通	め24-75
高橋儀右衛門他二名拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1人付1分宛受取当暮返上に付) 高橋儀右衛門・団野武兵衛・柳庄兵衛→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「高橋儀右衛門」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-76
志村九郎右衛門他一名拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金1人付2朱宛受取当暮返上に付) 志村九郎右衛門・細田弥次右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「志村九郎右衛門」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-77
窪田長吉他十三名拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金3人付1分宛受取当暮返上に付) 窪田長吉・団野久意・加藤久悦他11名→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「窪田長吉」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-78
西山六左衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2朱受取当暮返上に付) 西山六左衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「西山六左衛門」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-79
中村善六拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2朱受取当暮返上に付) 中村善六→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「中村善六」	宝永5年戊子3月27日	竖紙・1通	め24-80

め3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金

古川次郎兵衛拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2朱受取当暮返上に付) 古川次郎兵衛→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「古川次郎兵衛」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-81
五郎拝借証文〔覚〕(御情拝借金4匁受取当暮返上に付) 五郎→木内清八殿・岡崎弥平次殿	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-82
御馬や新兵衛他九名拝借証文(御情拝借金1人付銀4匁受取当暮返上に付) 御馬や新兵衛・左平次・徳兵衛他7名→木内清八殿・岡崎弥平次殿	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-83
十河半蔵拝借証文〔証文第〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 十河半蔵→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「十河半蔵」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-84
赤沢助左衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 赤沢助左衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「赤沢助左衛門」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め24-85
鈴木弥左衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両受取当暮返上に付) 鈴木弥左衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「鈴木弥左衛門」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め24-86
(御情拝借金証文一綴 宝永5年3月) 本来の綴穴は同一と判断し、旧仮番294・301・302を一緒にした		44-2から44-9まで紙綴綴・12点	め44
友野重右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 友野重右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「友野十右衛門」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め44-1
木崎茂左衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 木内茂左衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「木崎茂左衛門」	宝永(5年)戊子3月27日	豎紙・1通	め44-2
祢津甚平拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 祢津甚平→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「祢津甚平」	宝永5年子3月27日	豎紙・1通	め44-3
滝川主馬内窪田浅右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 滝川主馬内窪田浅右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「滝川主馬内窪田浅右衛門」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め44-4
葉田郷助拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 葉田郷助→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「葉田郷助」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め44-5
田代伴七拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 田代伴七→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「田代伴七」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め44-6
矢野小平太拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 矢野小平太→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「矢野小平太」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め44-7
遠藤勘右衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 遠藤勘右衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「遠藤勘右衛門」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め44-8
池村佐左衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 池村佐左衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「池村佐左衛門」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め44-9
河原与一左衛門拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 河原与一左衛門→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「河原与一左衛門」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め44-10
小泉左平太拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 小泉左平太→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「小泉左平太」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め44-11
樋口三五郎拝借証文〔証文之事〕(御情拝借金2両を当暮れに指図次第で返上にて拝借に付) 樋口三五郎→木内清八殿・岡崎弥平次殿 端裏書「樋口三五郎」	宝永5年戊子3月27日	豎紙・1通	め44-12

(家中拝借証文綴 享保18年8月～宝暦元年8月)		紙綴綴・44点	め16
某用状(メ金104両1分12匁5分証文数50枚に付)		切紙・1通	め16-1
飯島専介拝借証文[覚](在所へ帰国のため金3分受取に付) 飯嶋専介→片岡孝左右衛門様 奥印・奥書あり	享保18年丑8月23日	堅継紙・1通	め16-2
中村弥右衛門拝借証文[覚](病気のため帰国にて金1両2分受取に付) 中村弥右衛門／(奥印)奥山勘介・佐野友左衛門／(印)草間元右衛門／(裏書)根津甚平→高井彦四郎殿・関口軍蔵殿 返上済朱筆点あり	元文2年丁巳5月	堅紙・1通	め16-3
両角藤右衛門他二十三名拝借証文[覚](拝借金12両1人付2分宛受取切米の内より返上に付) 両角藤右衛門・水野清五郎・金井彦五郎他21名／(奥印)奥山勘助・佐野友左衛門・徳田鍵之進／(裏書)根津甚平→高井彦四郎殿・関口軍蔵殿 返上済朱筆点あり	元文2年巳10月4日	堅継紙・1通	め16-4
伊藤新右衛門他十二名拝借証文[覚](代合のため金9両3分1人付3分宛受取切米の内より返上に付) 伊藤新右衛門・横地万右衛門・今井勇右衛門他10名／(奥印)奥山勘助・依田佐十郎・草間元右衛門／(裏書)根津甚平→高井彦四郎殿・正村治兵衛殿 返上済朱筆点あり	元文4年未12月	堅継紙・1通	め16-5
中村惣八拝借証文[覚](木挽町下御料理人忠治死亡のため金1両受取に付) 中村惣八→高井彦四郎殿 返上済朱筆点あり、奥印・裏書あり	元文5年申11月16日	堅紙・1通	め16-6
佐藤佐大夫他六名拝借証文[覚](金1両3分1人付1分宛受取浮扶持方より返上に付) 佐藤佐大夫・両角弥惣・片岡常右衛門他4名／(奥印)成沢新弥・窪田文右衛門・草間元右衛門／(裏書)小山田平大夫・大熊五郎右衛門→高井彦四郎殿 返上済朱筆点あり	寛保元年酉3月25日	堅継紙・1通	め16-7
成沢新弥申上書(岡部治郎右衛門他8名金6両3分1人付3分宛拝借金受取、8月中返上のため証文引替に付) 成沢新弥／(奥印)窪田文右衛門・草間元右衛門／(裏書)根津甚平→高井彦四郎殿・近藤七左衛門殿 寛保元年12月岡部治郎右衛門他8名内借証文、内借証文に申上書を貼継	(寛保)	堅継紙・1通	め16-8
両角源五右衛門他七名拝借証文[覚](金2両1人付1分宛受取、切米の内より返上に付) 両角源五右衛門・正下太右衛門・竹花団左衛門他5名→成沢新弥殿 奥印・奥書あり	寛保元年酉12月14日	堅継紙・1通	め16-9
小沢徳蔵拝借証文[覚](金2分受取来春返上に付) 小沢徳蔵／(奥印)池田平角／(奥印)成沢新弥・草間元右衛門／(裏書)河原舍人→高井彦四郎殿・近藤七左衛門殿	寛保元年酉12月	堅継紙・1通	め16-10
御膳立大田源右衛門拝借証文[覚](金2分受取来春返上に付) 御膳立大田源右衛門／(奥印)池田平角／(奥印)成沢新弥・草間元右衛門／(裏書)河原舍人→高井彦四郎殿・近藤七左衛門殿	寛保元年酉12月	堅継紙・1通	め16-11
[]喜野右衛門他二名拝借証文[覚](金1分受取造用より差引返上に付) []喜野右衛門・富岡安左衛門・粟兵八→佐久間一学殿 安左衛門残金取調貼紙破損の旨貼紙、残金取調貼紙あり、奥印あり	(寛保)2年戌2月11日	堅継紙・1通	め16-12
小山磯五郎他二名拝借証文[覚](金3分1人付1分宛受取に付) 小山磯五郎・山下佐五兵衛・中村惣八／(奥印)窪田文右衛門／(裏書)河原舍人→高井彦四郎殿・近藤七左衛門殿 虫損あり	寛保2年戌3月	堅紙・1通	め16-13
中村宇源太他五名拝借証文[覚](金1両受取切米より返上に付) 中村宇源太・菊池幸助・原田勝助他3名／(奥印)関口軍蔵・奥村弥一左衛門→高井彦四郎殿・近藤七左衛門殿	寛保2年戌3月	堅紙・1通	め16-14
中村十郎左衛門他五名拝借証文[覚](在所での御用のため金6両1人付1両宛受取切米より返上に付) 中村十郎左衛門・竹花団左衛門・久保庄左衛門他3名／(奥印)河原舍人／(奥印)窪田文右衛門・奥村[]／(裏書)望月治郎左衛門→高井彦四郎殿・近藤七左衛門殿	寛保2年戌4月8日	堅継紙・1通	め16-15
御膳立大木覚八拝借証文[覚](酉年暮切米残の内金1分受取に付) 御膳立大木覚八／(奥印)関口軍蔵・奥村弥一左衛門／(裏書)河原舍人→高井彦四郎殿・近藤七左衛門殿	寛保2年戌5月	堅紙・1通	め16-16

め3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金

御膳立野中吉左衛門拝借証文[覚](戌年春取替の内金1分受取に付) 御膳立野中吉左衛門／(奥印)関口軍蔵・奥村弥一左衛門／(裏書)河原舍人→高井彦四郎殿・近藤七左衛門殿	寛保2年戊5月	堅紙・1通	め16-17
市川浅右衛門拝借証文[覚](金2分受取浮扶持より返上に付) 市川浅右衛門→関口郡蔵様 市川浅右衛門内借証文に窪田文右衛門奥印以下が貼継、金1分返上の旨貼紙あり、奥印・裏書あり	寛保2年戊5月	堅紙・1通	め16-18
御膳立市川浅右衛門拝借証文[覚](酉年極月浮扶持の内前渡金1分銀7匁5分受取に付) 御膳立市川浅右衛門→窪田文右衛門殿・関口郡蔵殿 奥印・裏書あり	寛保2年戊5月4日	堅紙・1通	め16-19
御膳立横田文蔵拝借証文[覚](酉年暮切米残より金1分受取に付) 御膳立横田文蔵／(奥印)池田平角／(奥印)窪田文右衛門・草間元右衛門／(裏書)河原舍人→高井彦四郎殿・近藤七左衛門殿	寛保2年戊5月4日	堅紙・1通	め16-20
御膳立飯嶋定右衛門拝借証文[覚](酉年暮切米より金1分受取に付) 御膳立飯嶋定右衛門／(奥印)関口軍蔵・奥村弥一左衛門／(裏書)河原舍人→高井彦四郎殿・近藤七左衛門殿	寛保2年戊5月	堅紙・1通	め16-21
御膳立丸山清七拝借証文[覚](戌暮取替より金2分受取に付) 御膳立丸山清七／(奥印)関口軍蔵・奥村弥一左衛門／(裏書)河原舍人→高井彦四郎殿・近藤七左衛門殿	寛保2年戊5月	堅紙・1通	め16-22
佐藤左大夫他五名拝借証文[覚](申12月より留守詰酉3月より6月迄浮扶持方雑用滞のため金3兩受取に付) 佐藤左大夫・片岡常右衛門・久保庄左衛門他3名→関口軍蔵殿 奥印・裏書あり	寛保2年戊6月	堅紙・1通	め16-23
横地万右衛門他十九名拝借証文[覚](雑用浮扶持方滞のため金20兩1人付1兩宛受取に付) 横地万右衛門・山田勘右衛門・高橋孫右衛門他17名→窪田文右衛門殿・関口郡蔵殿 奥印・裏書あり	寛保2年戊7月	堅紙・1通	め16-24
御膳立大木覚八拝借証文[覚](金2分受取暮切米蔵預より返上に付) 御膳立大木覚八→窪田文右衛門殿 大木覚八内借証文に菅空之進奥印以下が貼継、奥印・裏書あり	寛保2年戊7月	堅紙・1通	め16-25
御膳立野中吉左衛門拝借証文[覚](金2分受取暮切米蔵預より返上に付) 御膳立野中吉左衛門→窪田文右衛門殿 野中吉左衛門内借証文に延享2年7月菅空之進他1名奥印以下が貼継、奥印・裏書あり	寛保2年戊7月	堅紙・1通	め16-26
御膳立市川浅右衛門拝借証文[覚](御供にて帰国のため金3分受取暮蔵預より返上に付) 御膳立市川浅右衛門→窪田文右衛門殿 市川浅右衛門内借証文に窪田文右衛門奥印以下が貼継、奥印・裏書あり	寛保2年戊7月	堅紙・1通	め16-27
御膳立横田文蔵拝借証文[覚](金2分受取暮切米蔵預より返上に付) 御膳立横田文蔵→窪田文右衛門殿 横田文右衛門内借証文に窪田文右衛門奥印以下が貼継、菅空之進他1名奥印に延享2年7月、奥印・裏書あり	寛保2年戊7月	堅紙・1通	め16-28
御膳立飯嶋定右衛門拝借証文[覚](御供にて帰国のため金1分受取暮蔵預より返上に付) 御膳立飯嶋定右衛門→窪田文右衛門殿 飯嶋定右衛門内借証文に窪田文右衛門奥印以下が貼継、菅空之進他1名奥印に延享2年7月、奥印・裏書あり	寛保2年戊7月	堅紙・1通	め16-29
御膳立丸山清七拝借証文[覚](御供にて帰国のため金1分受取、暮切米より返上に付) 御膳立丸山清七→窪田文右衛門殿 丸山清七内借証文に窪田文右衛門奥印以下が貼継、菅空之進他1名奥印に延享2年7月、奥印・裏書あり	寛保2年戊7月	堅紙・1通	め16-30
矢野倉長左衛門拝借証文[覚](金2兩受取、切米より返上に付) 矢野倉長左衛門→関口軍蔵殿 矢野倉長左衛門内借証文に窪田文右衛門奥印以下が貼継、菅空之進他1名奥印に延享2年7月、奥印・裏書あり	寛保3年亥2月	堅紙・1通	め16-31
坂井次郎兵衛他一名拝借証文[覚](金1兩受取、暮切米より返上に付) 坂井次郎兵衛・坂井彦右衛門→窪田文右衛門殿 坂井次郎兵衛他1名内借証文に窪田文右衛門奥印以下が貼継、菅空之進他1名奥印は延享2年7月、奥印・裏書あり	寛保3年亥11月	堅紙・1通	め16-32
脇田甚兵衛他二名拝借証文[覚](造用滞のため金3分1人付1	延享元年甲子2月	堅紙・1通	め16-33

分宛受取に付) 脇田甚兵衛・橋詰又七・佐藤喜野右衛門／(奥印) 藤井左九郎／(奥印) 草間元右衛門／(裏書) 大熊五郎左衛門→窪田文右衛門殿・高井彦三郎殿・菅空之進殿他1名			
某拝借証文[覚](小宮山斧右衛門他2名メ金1兩1分切米の内より受取に付) (作成なし)→玉置仲殿・池田平角殿 原小隼人 裏書に延享2年9月、奥印・裏書あり	延享元年子5月	縦継紙・1通	め16-34
御膳立北沢清蔵拝借証文[覚](切米金1分受取に付) 御膳立北沢清蔵→玉置仲殿・池田平角殿 奥印・裏書あり	延享元年子5月	縦継紙・1通	め16-35
御膳立市川浅右衛門拝借証文[覚](浮扶持金1分受取に付) 御膳立市川浅右衛門→玉置仲様・池田平角様 奥印・裏書あり	延享元年子5月	縦継紙・1通	め16-36
大谷津惣太郎他三名拝借証文[覚](亥年分庖丁代金2兩2分受取に付) 大谷津惣太郎・神戸無一・小宮山斧右衛門他1名／(奥印) 河原舍人／(奥印) 窪田文右衛門・草間元右衛門／(裏書) 小山田平大夫→高井彦四郎殿・竹内甚大夫殿	延享元年子7月	縦継紙・1通	め16-37
御膳立大木寛八拝借証文[覚](病氣にて在所へ帰国のため金2分受取に付) 御膳立大木寛八→窪田文右衛門殿・藤井彦九郎殿 奥印・裏書あり	延享元年7月	縦継紙・1通	め16-38
林後蔵拝借証文[覚](金3分受取に付) 林後蔵／(奥印) 窪田文右衛門／(奥印) 河原舍人／(奥印) 草間文右衛門／(裏書) 小山田平大夫→高井彦四郎殿・竹内甚大夫殿	延享元年子9月	縦継紙・1通	め16-39
窪田文右衛門申上書[覚](中嶋三右衛門金1兩拝借受取にて明日証文引替に付) 窪田文右衛門／(奥印) 草間元右衛門／(裏書) 河原舍人→高井彦四郎殿・竹内甚大夫殿	(延享元年)子9月25日	切紙・1通	め16-40
佐藤喜左衛門他一名拝借証文[覚](御供のため金1兩受取に付) 佐藤喜左衛門・脇田甚兵衛／(奥印) 畑兎毛・玉川乃仲／(奥印) 窪田文右衛門・草間元右衛門／(裏書) 河原舍人→高井彦四郎殿・竹内甚大夫殿	延享元年子9月	縦紙・1通	め16-41
片岡此面申上書[覚](神戸無市在所帰国のため金3兩拝借受取、切米渡次第返上の旨に付) 片岡此面／(奥印) 奥山勘助・窪田新平・山寺庄左衛門／(裏書) 原八郎五郎→高井彦四郎殿・金子正五右衛門殿	寛延2年巳11月	縦継紙・1通	め16-42
奥山勘助申上書(寛延3年正月～9月丸山清七へ証文3通拝借金1兩渡旨に付) 奥山勘助／(奥印) 窪田新平・小山幸助／(裏書) 原八郎五郎→小嶋孝右衛門殿・関口正五右衛門殿 御膳立丸山清七内借証文3通貼継	寛延3年午10月	縦継紙・1通	め16-43
御膳立北沢清蔵拝借証文[覚](巳の御切米の内金1分受取に付) 御膳立北沢清蔵／(奥印) 小松一学→山本藤蔵殿・坂野左源左殿	宝暦元年未8月	縦紙・1通	め16-44
[祢津甚平殿へ御借入金八兩之証文一通 尤当丑暮より辰暮迄四年賦壹ヶ年二兩宛](包紙)		包紙・1通	め35-1
根津甚平拝借証文[覚](御内用金8兩預4ヶ年2兩宛上納に付) 根津甚平／(奥印) 塩野儀兵衛→竹内勘右衛門殿・牧野権左衛門殿・藤井彦九郎殿	享保18年丑2月	縦紙・1通	め35-2
(包紙)[三十七番 文化十二亥年正月二日深尾宗柏証文之由望月隼人殿被成御願候ニ付徳田多膳対置]		包紙・1点	め42-1
真田弾正忠内伊藤龍台他一名拝借証文[借用申金子之事](勤向要用のため藤兵衛老母養育金のうち金10兩拝借に付) 真田弾正忠内伊藤龍台・右同断深尾宗柏→播麻屋藤兵衛殿	文化9年壬申10月14日	包紙・縦紙・1包・1通	め42-2
(家中拝借証文綴 文化5年6月～文政4年9月)		紙経綴・8点	め18
関山三弥拝借証文[覚](享和3年参府御供のため拝借金受取返上残分金8兩2分9年賦にて返上に付) 関山三弥／(奥印) 片桐元吉／(奥印) 御郡奉行兼帯金井善兵衛・渡辺友右衛門・綿貫五郎兵衛→菊池伊惣治殿・関田庄助殿 端裏書「関山三弥」	文化5年辰6月	縦継紙・1通	め18-1
桑名千左衛門拝借証文[覚](文化6年詰番出府のため拝借金受取返上滞分金5兩5年賦西尾張部村収納分引当にて返上	文化8年未12月	縦継紙・1通	め18-2

め3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金

に付) 桑名千左衛門／(奥印)柿崎喜作／(奥印)渡辺友右衛門・綿貫五郎兵衛・菅沼九左衛門→菊池伊惣治殿・関田庄助殿・大嶋武左衛門殿 端裏書「桑名千左衛門」			
上村何右衛門拝借証文[覚](文化8年詰番出府のため金8両8年賦森村収納分引当にて返上に付) 上村何右衛門／(奥印)宮沢彦右衛門／(奥印)渡辺友右衛門・綿貫五郎兵衛・菅沼九左衛門→菊池伊惣治殿・関田庄助殿・大嶋武左衛門殿 端裏書「上村何右衛門」・戊年～辰年返上残分取調貼紙	文化9年申8月	縦継紙・1通	め18-3
小泉弥五郎拝借証文[覚](借入金の内金7両5年賦知行所免不足初引当にて返上に付) 小泉弥五郎→菊池伊惣治殿・菊池幸助殿・海沼八十郎殿 端裏書「小泉弥五郎」・高橋権左衛門辰年返上残分取調貼紙	文化12年亥12月	縦紙・1通	め18-4
加藤甚八郎他二名拝借証文[覚](借入金の内、金8両1分10年賦拝領、扶持方引当にて返上に付) 加藤甚八郎・加判田中与十郎・同高田孝七／(奥印)町田権之助／(奥印)御郡奉行兼帶岡野弥右衛門・菅沼九左衛門・鹿野外守→御賄役助佐藤小文治殿・同伊木仙右衛門殿・窪田小右衛門殿他3名 端裏書「加藤甚八郎」・片岡与一郎巳年返上残分取調貼紙	文化12年子12月	縦継紙・1通	め18-5
中村周伯他二名拝借証文[覚](借入金の内古拝借返上残手取分合金14両1分15年賦拝領扶持方引当にて返上に付) 中村周伯・加判中村安司・同三輪与右衛門／(奥印)水井忠蔵／(奥印)御郡奉行兼帶金井左源太・鹿野外守・菅沼弥右衛門→御賄役助伊東仙右衛門殿・同窪田小右衛門殿・同宮本友之丞殿他3名 端裏書「中村周伯」・片岡与一郎巳年返上残分取調貼紙	文政2年卯12月	縦継紙・1通	め18-6
瀧沢伊左衛門他二名拝借証文[覚](借入金の内、金1両1分1年賦拝領切米引当にて返上に付) 瀧沢伊左衛門・加判岸左金太・加判上原友左衛門／(奥印)春日小十郎／(奥印)御郡奉行兼帶金井左源太・鹿野外守・岡嶋莊蔵→菊池孝助殿・海沼与兵衛殿・宮沢彦左衛門殿 端裏書「瀧沢伊左衛門」	文政4年巳9月	縦継紙・1通	め18-7
御膳立太田長十郎拝借証文[覚](御膳番御用中借金1両2分内3分返上免除のため残金3分3年賦拝領切米引当にて返上に付) 御膳立太田長十郎／(奥印)長岡藤吉／(奥印)御郡奉行兼帶金井左源太・鹿野外守・松本源八→竹内金左衛門殿 端裏書「太田長十郎」・中島宇吉未年返上分取調貼紙	文政3年辰12月	縦継紙・1通	め18-8
[御鍛冶三俣勝平拝借切手無之付入切手入](包紙) 「子年より辰年迄」	文政4年巳7月	包紙・1点	め46-1
御鍛冶三俣勝平拝借証文[覚](切手3通に付) 御鍛冶三俣勝平→入安兵衛殿・片桐惣衛門殿	文政4年巳7月	横切継紙・1通	め46-2
(文政5年日光御供拝借金一括 文政5年閏正月)		巻込一括・3点	め13
小幡宗四郎他四名拝借証文[覚](日光御供のため金15両受取知行所収納物の内引当に付) 小幡宗四郎・鹿野牧人・瀧村右源太他2名／(奥印)高橋権左衛門／(奥印)望月権之進→矢嶋左殿助殿 綴外れ	文政5年午閏正月	縦紙・1通	め13-1
大熊駒作他一名拝借証文[覚](日光御供のため金2両受取知行所収納物の内引当に付) 大熊駒作・小野肇／(奥印)高橋権左衛門／(奥印)望月権之進→矢嶋左殿助殿 綴外れ	文政5年午閏正月	縦紙・1通	め13-2
徳田安五郎他五名拝借証文[覚](日光御供のため金6両受取宛行の内引当に付) 徳田安五郎・鹿野茂手木・竹内喜作他3名／(奥印)高橋権左衛門／(奥印)望月権之進→矢嶋左殿助殿 綴外れ	文政5年午閏正月	縦紙・1通	め13-3
増田助之丞他五名拝借証文[覚](日光御供のため金6両受取拝領の扶持方の内引当に付) 増田助之丞・高井栄司・保科此面他3名／(奥印)高[](橋権左衛門)／(奥印)望月権之進→矢嶋左殿助殿	文政5年午2月	縦継紙・1通	め14
吉村兵蔵拝借証文[覚](詰番出府若様御刀番少給のため金30両に付) 吉村兵蔵／(奥印)御郡奉行兼帶金井左源太・鹿野外守・岡嶋莊蔵他1名→菊池孝助殿・海沼与兵衛殿・宮沢彦左衛門殿他1名 奥印別紙貼継、端裏書「吉村兵蔵」	文政6年未7月	縦紙・1通	め2
(家中拝借証文綴 文政8年5月～文政9年8月)		紙綴綴・3点	め47

前嶋兵右衛門拝借証文[覚](用金難渋のため出府手当金7両拝借に付) 前嶋兵右衛門→入安兵衛殿・海沼与兵衛殿・宮沢彦左衛門殿他1名 端裏書「前嶋兵右衛門」、奥書は切紙貼継、奥印あり	文政8年酉7月	縦継紙・1通	め47-1
水野右衛門他一名拝借証文[覚](七郎兵衛扶持を引当に拝借金1分を2年賦返済に変更に付) 水野大右衛門・加判水野七郎兵衛／(奥印)竹内藤助／(奥印)金井左源太・岡崎莊藏・望月権之進→窪田十八殿・高橋権左衛門殿・春日仲左衛門 端裏書「水野大右衛門」	文政8年酉5月	縦継紙・1通	め47-2
大日方勘助拝借証文[覚](大殿御帰府の御供の用意差し支え難渋のため金3両拝借に付) 大日方勘助／(奥印)金井左源太・岡崎莊藏→入安兵衛殿・□□(吉沢)十助殿・宮沢彦左衛門 端裏書「大日方勘助」、裏打済	文政9年戌8月	縦継紙・1通	め47-3
野中八兵衛他三名拝借証文[覚](御家中拝借の内引替中借金10両1分3匁7分2厘に付) 野中八兵衛・春日儀左衛門・在府無印水井忠藏他1名／(奥印)興津権右衛門／(裏書)小幡官大夫→佐藤左金吾殿・徳嵩恒吉殿・千喜良三吉殿 印墨消	天保2年卯8月	縦継紙・1通	め31
(切米前借差留のため家中拝借金証文一綴 天保10年12月)		紙縫綴・110通	め70
菊川吉右衛門他二名約定書(切米前借差留のため拝借証文113通金167両2朱10年賦にて証文引渡に付、表紙) 菊川吉右衛門・小野左金太・□(宮)沢彦左衛門／(奥印)小林佐兵衛・海沼龍助／(奥印)寺内多宮・岡崎莊藏・金児丈助→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿	天保11年子	横切継紙・1通	め70-1
近藤喜拝借証文[覚](切米前借差留のため金3両3分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 近藤喜→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿	天保10年亥12月	横切継紙・1通	め70-2
小山今右衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 小山今右衛門→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「小山今右衛門」	天保10年亥12月	横切継紙・1通	め70-3
関口政右衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 関口政右衛門→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「関口政右衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-4
小林友之丞拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 小林友之丞→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「小林友之助」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-5
小林市治拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 小林市治→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「小林市治」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-6
小林喜大夫拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 小林喜大夫→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「小林喜大夫」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-7
三輪徳左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 三輪徳左衛門→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「三輪徳左衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-8
堤右兵衛拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 堤右兵衛→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「堤右兵衛」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-9
中条三郎治拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 中条三郎治→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「中条三郎治」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-10
加藤喜三郎拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 加藤喜三郎→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「加藤喜三郎」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-11
西村久之助拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両1分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 西村久之助→水井忠藏殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「西村久之助」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-12
長岡寅五郎拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両1分3朱	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-13

め3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金

10年賦切米引当にて返上に付) 長岡寅五郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「長岡寅五郎」			
樋口与兵衛拝借証文[覚](切米前借差留のため金2兩1分3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 樋口与兵衛→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「樋口与兵衛」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-14
佐藤三次拝借証文[覚](切米前借差留のため金2兩1分3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 佐藤三次→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「佐藤三次」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-15
坂口登拝借証文[覚](切米前借差留のため金21匁2分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 坂口登→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「坂口登」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-16
片岡孝左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1兩2分3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 片岡孝左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「片岡孝左衛門」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-17
中川清兵衛拝借証文[覚](切米前借差留のため金21匁2分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 中川清兵衛→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「中川清兵衛」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-18
岡部八十喜拝借証文[覚](切米前借差留のため金2兩3朱10年賦切米引当にて返上に付) 岡部八十喜→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「岡部八十喜」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-19
片山弥兵衛拝借証文[覚](切米前借差留のため金21匁2分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 片山弥兵衛→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「片山弥兵衛」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-20
水井忠蔵拝借証文[覚](切米前借差留のため金1兩2分3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 水井忠蔵→丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「水井忠蔵」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-21
伊東堅治拝借証文[覚](切米前借差留のため金2兩7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 伊東堅治→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「伊東堅治」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-22
吉村峯松拝借証文[覚](切米前借差留のため金2兩10年賦切米引当にて返上に付) 吉村峯松→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・柿崎半之丞殿 端裏書「吉村峯松」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-23
保崎力馬拝借証文[覚](切米前借差留のため金1兩3分3朱10年賦切米引当にて返上に付) 保崎力馬→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「保崎力馬」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-24
山田兵次拝借証文[覚](切米前借差留のため金1兩3分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 山田兵次→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「山田兵次」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-25
宮沢虎之進拝借証文[覚](切米前借差留のため金1兩3分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 宮沢虎之進→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「宮沢虎之進」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-26
野本茂一郎拝借証文[覚](切米前借差留のため金1兩3分10年賦切米引当にて返上に付) 野本茂一郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「野本茂一郎」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-27
麻場孝助拝借証文[覚](切米前借差留のため金1兩3分10年賦切米引当にて返上に付) 麻場孝助→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「麻場孝助」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-28
上原喜左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1兩2分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 上原喜左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「上原喜左衛門」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-29
水井富馬拝借証文[覚](切米前借差留のため金1兩2分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 水井富馬→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「水井富馬」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-30
佐藤兵助拝借証文[覚](切米前借差留のため金1兩3分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 佐藤兵助→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「佐藤兵助」	天保10年亥12月	豎紙・1通	め70-31

細田久作拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両2分10年賦切米引当にて返上に付) 細田久作→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「細田久作」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-32
増田助之丞拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両2分1朱10年賦切米引当にて返上に付) 増田助之丞→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「増田助之丞」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-33
成本治左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両1分11匁2分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 成本治左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「成本治左衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-34
野中友右衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両1分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 野中友右衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「野中友右衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-35
藤田吉郎右衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両1分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 藤田吉郎右衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「藤田吉郎右衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-36
片桐惣右衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両1分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 片桐惣右衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「片桐惣右衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-37
池田良右衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両2朱10年賦切米引当にて返上に付) 池田良右衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「池田良右衛門」	天保10年亥12月	縦紙・1通	め70-38
関田守之丞拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 関田守之丞→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「関田守之丞」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-39
富岡安左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 富岡安左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「富岡安左衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-40
宮沢左一郎拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 宮沢左一郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「宮沢左一郎」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-41
吉沢十助拝借証文[覚](切米前借差留のため金3分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 吉沢十助→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「吉沢十助」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-42
野中量左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 野中量左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「野中量左衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-43
竹内八十五郎拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両10年賦切米引当にて返上に付) 竹内八十五郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「竹内八十五郎」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-44
宮下清左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両2分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 宮下清左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「宮下清左衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-45
橋詰藤五郎拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 橋詰藤五郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「橋詰藤五郎」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-46
古川寿助拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両11匁2分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 古川寿助→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「古川寿助」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-47
青柳忠太拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両2分3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 青柳忠太→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「青柳忠太」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-48
宮本慎助拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両2分1朱10年賦切米引当にて返上に付) 宮本慎助→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「宮本慎助」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-49

め3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金

丸山平左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両2分1朱10年賦切米引当にて返上に付) 丸山平左衛門→水井忠蔵殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「丸山平左衛門」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-50
田中万作拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両1分2朱10年賦切米引当にて返上に付) 田中万作→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「田中万作」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-51
神戸甚左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 神戸甚左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「神戸甚左衛門」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-52
小山新六拝借証文[覚](切米前借差留のため金2両10年賦切米引当にて返上に付) 小山新六→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「小山新六」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-53
玉井清大夫拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両2分10年賦切米引当にて返上に付) 玉井清大夫→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「玉井清大夫」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-54
中村与右衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両1分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 中村与右衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「中村与右衛門」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-55
米倉新左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両1分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 米倉新左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「米倉新左衛門」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-56
春日儀左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両1分10年賦切米引当にて返上に付) 春日儀左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「春日儀左衛門」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-57
野中八大夫拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 野中八大夫→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「野中八大夫」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-58
大塚谷平拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 大塚谷平→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「大塚谷平」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-59
高野覚之進拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 高野覚之進→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「高野覚之進」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-60
大塚孝三郎拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 大塚孝三郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「大塚孝三郎」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-61
高橋権之丞拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 高橋権之丞→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「高橋権之丞」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-62
桜井忠作拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 桜井忠作→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「桜井忠作」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-63
郷原敬左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 郷原敬左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「郷原敬左衛門」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-64
半田藤作拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両1分3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 半田藤作→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「半田藤作」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-65
宮沢又右衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金3分7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 宮沢又右衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「宮沢又左衛門」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-66
岡田新兵衛拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 岡田新兵衛→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏貼紙「岡田新兵衛」	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-67
松澤文右衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 松澤文右衛門→水井忠蔵殿・丸山	天保10年亥12月	豎継紙・1通	め70-68

平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「松沢文右衛門」			
小林喜八郎拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 小林喜八郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「小林喜八郎」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-69
小山東弥太拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 小山東弥太→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「小山東弥太」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-70
戸根山民之介拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 戸根山民之介→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「戸根山民之介」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-71
北島理兵衛拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 北島理兵衛→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「北島理兵衛」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-72
松本嘉十郎拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 松本嘉十郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「松本嘉十郎」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-73
小出一郎拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 小出一郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「小出一郎」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-74
桜井与平拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金2両3分10年賦切米引当にて返上に付) 桜井与平→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「桜井与平」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-75
佐藤長左衛門拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 佐藤長左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「佐藤長左衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-76
大日方渡拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 大日方渡→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「大日方渡」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-77
竹内多吉拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 竹内多吉→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「竹内多吉」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-78
渡辺承之助拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 渡辺承之助→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「渡辺承之助」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-79
水野友作拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両2分3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 水野友作→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「水野友作」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-80
片岡亀之進拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金3分7匁5厘10年賦切米引当にて返上に付) 片岡亀之進→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「片岡亀之進」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-81
九島藤左衛門拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 九島藤左衛門→(水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿) 端裏書「九島藤左衛門」、虫損あり	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-82
堀内荘治拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金3分10年賦切米引当にて返上に付) 堀内荘治→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「堀内荘治」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-83
堀内権左衛門拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両1分3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 堀内権左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「堀内権左衛門」	天保10年亥12月	横切継紙・1通	め70-84
春山磯治拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両2分3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 春山磯治→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「春山磯治」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-85
永野長十郎拝借証文〔覚〕(切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 永野長十郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「永野長十郎」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-86

め3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金

高橋善平拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 高橋善平→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「高橋善平」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-87
神戸忠兵衛拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両11匁2分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 神戸忠兵衛→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「神戸忠兵衛」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-88
横田左金太拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両2分10年賦切米引当にて返上に付) 横田左金太→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「横田左金太」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-89
飯嶋久左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両3分3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 飯嶋久左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「飯嶋久左衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-90
馬場平作拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 馬場平作→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「馬場平作」	天保10年亥12月	縦紙・1通	め70-91
都筑重之助拝借証文[覚](切米前借差留のため金2分10年賦切米引当にて返上に付) 都筑重之助→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「都筑重之助」	天保10年亥12月	縦紙・1通	め70-92
御勘定所御物書春原伸太拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御勘定所御物書春原伸太→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「春原伸太」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-93
御手代北村伝左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御手代北村伝左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「北村伝左衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-94
御手代玉井一郎左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両7匁5分10年賦切米引当にて返上に付) 御手代玉井一郎左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「玉井一郎左衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-95
御手代池田三七拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御手代池田三七→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「池田三七」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-96
御手代田中理右衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御手代田中理右衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「田中利右衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-97
御手代平出徳右衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御手代平出徳右衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「平出徳右衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-98
御飯米方御手代上原三郎太拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御飯米方御手代上原三郎太→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「上原三郎太」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-99
御蔵番井堀又七拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御蔵番井堀又七→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「井堀又七」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-100
御座敷掃除役定助御表坊主役兼大沢弥左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御座敷掃除役定助御表坊主役兼大沢弥左衛門／(奥印)佐藤三次・酒井権七郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「大沢弥左衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-101
御表坊役駒沢市兵衛拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御表坊役駒沢市兵衛／(奥印)佐藤三次・酒井権七郎→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「駒沢市兵衛」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-102
御膳立清水瀧蔵拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御膳立清水瀧蔵／(奥印)山越嘉膳→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「清水瀧	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-103

蔵]			
御膳立太田源蔵拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両3匁7分5厘10年賦切米引当にて返上に付) 御膳立太田源蔵／(奥印)山越嘉膳→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「太田源蔵」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-104
御蔵番草川喜祖治拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御蔵番草川喜祖治→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「草川喜祖治」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-105
御蔵番相沢新平拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御蔵番相沢新平→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「相沢新平」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-106
下目付酒井吉大夫拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 下目付酒井吉大夫／(奥印)奥村良左衛門→丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「下目付酒井吉大夫」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-107
下目付柳沢佐忠治拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 下目付柳沢佐忠治／(奥印)奥村良左衛門→丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「柳沢佐忠治」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-108
御吟味方御物書岡澤峯左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金2分10年賦切米引当にて返上に付) 御吟味方御物書岡澤峯左衛門／(奥印)矢野式左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・助柿崎半之丞殿 端裏書「岡澤峯左衛門」	天保10年亥12月	縦継紙・1通	め70-109
御台所元メ近藤五左衛門拝借証文[覚](切米前借差留のため金1両10年賦切米引当にて返上に付) 御台所元メ近藤五左衛門／(奥印)矢野式左衛門→水井忠蔵殿・丸山平左衛門殿・柿崎半之丞殿	天保10年亥10月	横切継紙・1通	め70-110
(家中拝借証文綴 天保13年12月～安政元年12月)		紙縫綴・3点	め33
池田良右衛門他一名拝借証文[覚](金120両30年賦家中逼迫のため為替にて受取に付) 池田良右衛門・吉沢十助／(奥印)岡嶋莊蔵・金児文助・竹村金吾→大嶋磯右衛門殿 印墨消	天保13年寅12月	縦紙・1通	め33-1
春日栄作他四名拝借証文[覚](金72両家中逼迫のため為替にて受取に付) 春日栄作・宮沢善治・入久左衛門他2名／(奥印)山寺源大夫・長谷川深美→春原磯喜殿	嘉永4年亥12月	縦継紙・1通	め33-2
吉野勝之進他五名拝借証文[覚](金78両家中逼迫のため為替にて受取宛行扶持の内より返上に付) 吉野勝之進・春日栄作・野中喜左衛門他3名／(奥印)竹村金吾・宮下兵馬・高田幾太→春原織右衛門殿	安政元年寅12月	縦紙・1通	め33-3
竹村金吾拝借証文[覚](差掛のため拝借金150両受取、正金にて上納に付) 竹村金吾→徳嵩恒吉殿・大嶋富作殿・斉藤善蔵殿 他1名 め4～11は巻込一括、印・本文墨消	天保15年辰12月11日	切紙・1通	め4
真田図書内町田彦左拝借証文[覚](差掛のため拝借金15両受取に付) 真田図書内町田彦左→大嶋磯右衛門様 め4～11は巻込一括、印・本文墨消	天保11年子正月	切紙・1通	め5
西村源蔵拝借証文(金100両受取正金にて引替に付) 西村源蔵→[]小平太殿 め4～11は巻込一括、印・本文墨消	安政7年午3月	切紙・1通	め6
両角玄脩拝借証文[覚](在所勝手のため金30両受取宛行の内より返上に付) 両角玄脩→片桐重之助殿・高野覚之進殿 端裏書「両角玄脩左」、め4～11は巻込一括、印・本文墨消	嘉永7年寅10月	切紙・1通	め7
鹿野浪衛他一名拝借証文[覚](差支のため切米金2両2分受取宛行の内より返上に付) 鹿野浪衛・鹿野伴治／(奥印)佐藤安喜→遠藤小右衛門殿 め4～11は巻込一括、印・本文墨消	文久元年酉8月	切紙・1通	め8
真田図書内穂苅政左衛門拝借証文[覚](真田図書差掛のため金10両受取江戸割返の内より返上に付) 真田図書内穂苅政左衛門→大嶋磯右衛門様・吉澤重助様・池田良右衛門様 め4～11は巻込一括、印・本文墨消	天保12年丑9月	縦紙・1通	め9

め3 藩政／財政／払方御金奉行／拝借金 4 藩政／財政／勘定所／拝借金

小林三左衛門金銭受取書[覚](草間一路江戸割返前借金2両に付) 小林三左衛門→大嶋磯右衛門殿 め4～11は巻込一括、印・本文墨消	天保11年子12月	切紙・1通	め10
真田図書内町田彦左拝借証文[覚](真田図書差掛のため金20両受取江戸御割の内より返上に付) 真田図書内町田彦左→大嶋磯右衛門様・吉沢重助様・池田良右衛門様 め4～11は巻込一括、印・本文墨消	天保12年丑3月	縦紙・1通	め11
(京都守護詰め拝借証文一綴 文久3年8月)		紙綴綴・3点	め41
小林登作他一名請書[御拝借一札之事](京都守護詰費用多く手詰まりのため金5両拝借に付) 小森登作・富岡太兵衛→御目付方御役所	文久3年亥8月	縦紙・1通	め41-1
三井芳治組市太郎他二名請書[御拝借一札之事](別格の賢応により金4両2分拝借に付) 三井芳治組市太郎・御扇組喜三郎・同組儀作→御目付方御役所 喜三郎印は儀作が代印	文久3年亥7月28日	縦紙・1通	め41-2
民治組喜作他二名拝請書[御拝借証文之事](京都守護詰費用多く手詰まりのため金3両拝借に付) 民治組喜作・健三郎組市蔵・市蔵代判富岡太兵衛→御目付方御役所 貼紙[御前借願三通]	文久3年亥8月	縦紙・1通	め41-3
堀内莊作他一名拝借証文[覚](家中拝借方へ才覚金300両受取本口粗にて返済に付) 堀内莊作・田中銀治／(奥印)長谷川三郎兵衛・斉藤友衛・草間一路他1名→稻荷山村風間新蔵殿 端裏書「写」	慶應3年卯4月	縦紙・1通	め12
松[]願書[口上覚](今井友之進拝借金返上滞のため御下ヶ金願に付) 松[]→春日儀左衛門様・宮本慎助様・春山磯治様 虫損甚大	2月	横切継紙・1通	め37
西沢甚七郎他二名拝借証文[覚](太田御陣詰の用意差し支え難済のため3人分金4両2分拝借に付) 西沢甚七郎・桑名弥一郎・伊藤房吉→(後欠のため不明) 裏打済、後欠	(明治)元年酉12月	縦紙・1通	め52
宮嶋通珉拝借証金願(端裏書)[御見合止メ](若様等病気のため立ち帰り出府のため拝借金願に付) 宮嶋通珉→-	(明治)2年酉3月	横切継紙・1通	め53
渡辺富太郎他三名拝借証文[覚](在所へ御暇支度のため金20両受取に付) 渡辺富太郎・長谷川徳太郎・成沢新弥他1名→千喜良新之進様 端裏書「御内々申上 沢静人」	4月25日	横切継紙・1通	め15

4 藩政／財政／勘定所／拝借金

西寺尾村藤七願書[借入金証文之事](借主小出善蔵返済滞のため切米粗差留私へ御下に付) 西寺尾村藤七→初方御掛御役所 小出善蔵借用証文写あり	天保9年戌12月	縦継紙・1通	め25
(御勘定役拝借金返上取扱関係書類綴 文政9年12月～13年12月)		紙綴綴・54点	め19
伊東栄治他一名請書[覚](河原理助拝借金返上金力石村より収納の役拝命に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)片桐重之助／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿	文政9年戌12月	縦継紙・1通	め19-1
伊東栄治他一名請書[覚](十河半蔵知行引上のため拝借金返上金請払に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)片桐重之助／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿	文政9年戌12月	縦継紙・1通	め19-2
伊東栄治他一名請書[覚](兄玉友作拝借金返上分西寺尾村より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)高野鶴蔵／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「兄玉友作」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	め19-3
伊東栄治他一名請書[覚](堀田覚兵衛拝借金返上分小嶋村	文政10年亥12月	縦継紙・1通	め19-4

より収納の役拝命に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「堀田覚兵衛」			
伊東栄治他一名請書[覚](河原与市拝借金返上分布施高田村・田野口村・念仏寺のうちより収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)草川吉右衛門／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿	文政10年亥6月	縦継紙・1通	め19-5
伊東栄治他一名請書[覚](原三郎拝借金返上分和平組より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿	文政10年亥6月	縦継紙・1通	め19-6
伊東栄治他一名請書[覚](中村周伯拝借金返上分扶持米の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「中村周伯」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	め19-7
伊東栄治他一名請書[覚](片岡要之助拝借金返上分切粃の内10俵宛収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「片岡要之助」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	め19-8
伊東栄治他一名請書[覚](青木忠大夫拝借金返上分金原村35石等メ高126石より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)高野鶴蔵／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「青木忠大夫」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	め19-9
伊東栄治他一名請書[覚](里見治右衛門拝借金返上分収納高の内小島村の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「里見治右衛門」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	め19-10
伊東栄治他一名請書[覚](長谷川源助拝借金返上分蔵前高19石収納高の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)高野鶴蔵／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「長谷川源之助」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	め19-11
伊東栄治他一名請書[覚](遠藤五郎右衛門拝借金返上分金120両20年賦収納高の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)高野鶴蔵／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「遠藤五郎右衛門」	文政10年子12月	縦継紙・1通	め19-12
伊東栄治他一名請書[覚](原主馬拝借金返上分金117両知行所収納高の内36石収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「原主馬」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	め19-13
伊東栄治他一名請書[覚](河原与市拝借金返上分金16両知行所収納高の内田野口村2石・布施高田村3石より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)高野鶴蔵／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「河原与市」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	め19-14
伊東栄治他一名請書[覚](大日向助六拝借金返上分金40両20年賦収納高の内東福寺村12石上野村14石より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)高野鶴蔵／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「大日向助六」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	め19-15
伊東栄治他一名請書[覚](遠藤五郎右衛門拝借金返上分金80両収納高の内二桜村35石より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「遠藤五郎右衛門」	文政11年子正月	縦継紙・1通	め19-16
伊東栄治他一名請書[覚](近藤平六拝借金返上分金100両切米の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)高野鶴蔵／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏貼紙「近藤平六」	文政11年子正月	縦継紙・1通	め19-17

め 4 藩政／財政／勘定所／拝借金

伊東栄治他一名請書〔覚〕(小林丈之助拝借金返上分金25両切粉の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「小林丈之助」	文政11年子正月	縦継紙・1通	め19-18
伊東栄治他一名請書〔覚〕(与良弥門拝借金返上分金63両収納高の内北堀村20石より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「与良弥門」	文政11年子正月	縦継紙・1通	め19-19
伊東栄治他一名請書〔覚〕(関口源右衛門拝借金返上分金30両切米粉の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「関口源右衛門」	文政11年子2月	縦継紙・1通	め19-20
伊東栄治他一名請書〔覚〕(篠崎屯拝借金返上分金57両蔵前高より19石収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「篠崎屯」	文政11年子2月	縦継紙・1通	め19-21
伊東栄治他一名請書〔覚〕(木村縫殿右衛門拝借金返上分金50両収納高の内より相原村61石収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「木村縫殿右衛門」	文政11年子7月	縦継紙・1通	め19-22
伊東栄治他一名請書〔覚〕(木村縫殿右衛門拝借金返上分金100両30年賦収納高の内相原村61石収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)金井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「木村縫殿右衛門」	文政11年子7月	縦継紙・1通	め19-23
伊東栄治他一名請書〔覚〕(石倉重蔵拝借金返上分金20両知行所収納の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)宮原繁之助／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹内権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏貼紙「石倉重蔵」	文政11年子12月	縦継紙・1通	め19-24
伊東栄治他一名請書〔覚〕(竹花甚右衛門拝借金返上分金25両25年賦切米金4両より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)宮原繁之助／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「竹花甚右衛門」	文政11年子12月	縦継紙・1通	め19-25
伊東栄治他一名請書〔覚〕(高山仰拝借金返上分金30両30年賦知行所収納の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)宮原繁之助／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「高山仰」	文政11年子12月	縦継紙・1通	め19-26
伊東栄治他一名請書〔覚〕(大田方善大夫拝借金返上分金50両20年賦知行所収納高の内より高20石5斗2升収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)宮原繁之助／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「大田方善大夫」	文政11年子12月	縦継紙・1通	め19-27
伊東栄治他一名請書〔覚〕(奥村新左衛門拝借金返上分金30両20年賦知行所収納の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)宮本友之丞／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「奥村新左衛門」	文政11年子12月	縦継紙・1通	め19-28
伊東栄治他一名請書〔覚〕(柳八十八拝借金返上分金70両20年賦知行所の内より高8石5斗不足俵23俵収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)関田慶左衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「柳八十八」	文政11年子12月	縦継紙・1通	め19-29
伊東栄治他一名請書〔覚〕(片岡唱拝借金返上分金80両20年賦返上方収納の内より収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)青柳忠太／(奥印)興津権右衛門・竹村権左衛門・金児丈助→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「片岡唱」	文政12年寅12月	縦継紙・1通	め19-30
伊東栄治他一名請書〔覚〕(成沢奎之進拝借金返上分金80両	文政11年子11月	縦継紙・1通	め19-31

知行所収納の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)宮原繁之助／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「成沢空之進」			
伊東栄治他一名請書[覚](中村左膳拝借金返上分金10両25年賦扶持方より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「中村左膳」	文政12年丑正月	縦継紙・1通	め19-32
伊東栄治他一名請書[覚](石川兼八拝借金返上分金60両20年賦蔵前渡高の内より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「石川兼八」	文政12年丑正月	縦継紙・1通	め19-33
伊東栄治他一名請書[覚](館健吾拝借金返上分金40両30年賦切米金扶持方の内玄米90俵半収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「館健吾」	文政12年丑正月	縦継紙・1通	め19-34
伊東栄治他一名請書[覚](関口角左衛門拝借金返上分金120両30年賦知行所収納高の内より高37石収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「関口角左衛門」	文政12年丑4月	縦継紙・1通	め19-35
伊東栄治他一名請書[覚](藤田雄拝借金返上分金60両扶持方より収納に付) 伊東栄治・小野唯右衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「藤田雄」	文政12年丑7月	縦継紙・1通	め19-36
伊東栄治他二名請書[覚](中川忠右衛門拝借金返上分金50両切米の内より収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門・小野唯右衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「中川忠右衛門」	文政12年丑12月	縦継紙・1通	め19-37
伊東栄治他一名請書[覚](鎌原伯耆拝借金返上分金385両2分知行所収納高の内より収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「鎌原伯耆」	文政12年丑12月	縦継紙・1通	め19-38
伊東栄治他一名請書[覚](池村八大夫拝借金返上分金20両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)宮本友之丞／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「池村八大夫」	文政13年寅正月	縦継紙・1通	め19-39
伊東栄治他一名請書[覚](近藤弥平太拝借金返上分金30両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「近藤弥平太」	文政13年寅2月	縦継紙・1通	め19-40
伊東栄治他一名請書[覚](小池周兵衛拝借金返上分金53両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「小池周平」	文政13年寅2月	縦継紙・1通	め19-41
伊東栄治他一名請書[覚](田中彦二拝借金返上分金20両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)青柳忠太／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「田中彦二」	文政13年寅5月	縦継紙・1通	め19-42
伊東栄治他一名請書[覚](三沢源蔵拝借金返上分金100両20年賦知行所収納高の内より収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「三沢源蔵」	文政13年寅6月	縦継紙・1通	め19-43
伊東栄治他一名請書[覚](長谷川唯見拝借金返上分金20両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「長谷川唯見」	文政13年寅12月	縦継紙・1通	め19-44
伊東栄治他一名請書[覚](長谷川金蔵拝借金返上分金18両	文政13年寅12月	縦継紙・1通	め19-45

め 4 藩政／財政／勘定所／拝借金

20年賦拝借金上納方に切米収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)宮原繁之助／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「長谷川金蔵」			
伊東栄治他一名請書[覚](福田兵衛拝借金返上分金90両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「福田兵衛」	文政13年寅	縦継紙・1通	め19-46
伊東栄治他一名請書[覚](中村原民拝借金返上分金40両知行所収納の内本口粗にて収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)宮本友之丞／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・西村源蔵殿・入安兵衛殿 端裏書「中村原民」	文政13年寅12月	縦継紙・1通	め19-47
伊東栄治他一名請書[覚](池村八大夫拝借金返上分金100両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)宮本友之丞／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「池村八大夫」	文政13年寅	縦継紙・1通	め19-48
伊東栄治他一名請書[覚](団野喜兵衛拝借金返上分金70両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)青柳忠太／(奥印)岡田莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「団野喜兵衛」	文政13年寅	縦継紙・1通	め19-49
伊東栄治他一名請書[覚](久保武太拝借金返上分金38両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「久保武太」	文政13年寅12月	縦継紙・1通	め19-50
伊東栄治他一名請書[覚](福田兵衛拝借金返上分金60両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「福田兵衛」	文政13年寅12月	縦継紙・1通	め19-51
伊東栄治他一名請書[覚](池村八大夫拝借金返上方金21両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「中村八大夫」	文政13年寅12月	縦継紙・1通	め19-52
伊東栄治他一名請書(神戸治助拝借金返上分金25両収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)宮原繁之助／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「神戸治助」	文政13年寅12月	縦継紙・1通	め19-53
伊東栄治他一名請書[覚](祢津繁之助拝借金返上分金120両20年賦知行所収納の内本口粗より収納に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)宮原繁之助／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門他1名→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「祢津繁之助」	文政13年寅12月	縦継紙・1通	め19-54
(家中拝借証文綴 文政10年12月～万延元年12月)		40-2～19まで紙綴り・19点	め40
入安兵衛拝借証文[覚](拝借金20両を拝借人切米より年14俵4斗余返済にて拝借に付) 入安兵衛／(奥印)今井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→大嶋磯右衛門殿 印墨消、綴外れ	文政10年亥12月	縦紙・1通	め40-1
入安兵衛他一名拝借証文[覚](拝借金40両を拝借人知行より年14俵5斗余返済にて拝借に付) 入安兵衛・大嶋磯右衛門／(奥印)今井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→斎藤善蔵殿 終年は4両10匁余にて返済、本文・印墨消	文政11年亥12月	縦紙・1通	め40-2
入安兵衛他拝借証文[覚](拝借金25両を拝借人切米より年10俵返済にて拝借に付) 入安兵衛／(奥印)今井左源太・岡嶋莊蔵・興津権右衛門→矢野倉惣之進殿 端裏朱書「七」・「小森喜大夫」、奥印墨消	文政11年子正月	縦継紙・1通	め40-3
入安兵衛拝借証文[覚](拝借金10両を拝借人扶持より年3分11匁ずつ25年賦返済にて拝借に付) 入安兵衛・大嶋磯右衛門／(奥印)岡嶋莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿 終年は3分11匁にて返済、本文・印墨消	文政12年丑正月	縦紙・1通	め40-4
入安兵衛拝借証文[覚](拝借金9両を拝借人扶持より返済に	文政12年丑正月	縦紙・1通	め40-5

て拝借に付) 入安兵衛／(奥印)岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿 本文・印墨消			
入安兵衛他一名拝借証文[覚](拝借金50両を拝借人知行収納より7両1分余10年賦返済にて拝借に付) 入安兵衛・大嶋磯右衛門／(奥印)岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門・金児丈助→矢野倉惣之進殿 本文・印墨消	文政12年丑12月	縦継紙・1通	め40-6
伊東栄治他一名申上書[覚](金井嘉助の拝借金80両返済分取扱を命令にて拝借に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)宮原繁之助／(奥印)岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門・金児丈助→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「金井嘉助」	文政13年寅正月	縦継紙・1通	め40-7
入安兵衛他二名拝借証文[覚](拝借金23両を拝借人宛行より年10俵返済にて拝借に付) 入安兵衛・西村源藏・大嶋磯右衛門／(奥印)岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門・金児丈助→菊池孝助殿 印墨消	天保元年寅12月	縦継紙・1通	め40-8
入安兵衛他二名拝借証文[覚](拝借金30両を拝借人宛行より年12俵返済にて拝借に付) 入安兵衛・西村源藏・大嶋磯右衛門／(奥印)岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門・金児丈助→菊池孝助殿 端裏書「樋野舞助」	天保元年寅12月	縦継紙・1通	め40-9
入安兵衛他二名拝借証文[覚](拝借金100両を拝借人知行より年57俵三斗余返済にて拝借に付) 入安兵衛・西村源藏・大嶋磯右衛門／(奥印)岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門・金児丈助→矢野倉惣之進殿 端裏朱書「廿七」・印墨消	天保2年卯正月	縦継紙・1通	め40-10
入安兵衛他二名拝借証文[覚](拝借金20両を拝借人知行より年1両3分余30年賦返済にて拝借に付) 入安兵衛・西村源藏・大嶋磯右衛門／(奥印)岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門・金児丈助→矢野倉惣之進殿 端裏朱書「廿五」・奥印墨消、入安兵衛・金児丈助印無	天保2年卯4月	縦継紙・1通	め40-11
入安兵衛他二名拝借証文[覚](拝借金70両を拝借人宛行より年6両2分余返済にて拝借に付) 入安兵衛・西村源藏・大嶋磯右衛門／(奥印)岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門・金児丈助→斎藤善蔵殿 印墨消	天保2年卯11月	縦継紙・1通	め40-12
入安兵衛他二名内借証文[覚](拝借金70両を拝借人宛行より年4石2斗返済にて拝借に付) 入安兵衛・西村源藏・大嶋磯右衛門／(奥印)興津権右衛門・岡嶋莊藏・金児丈助→菊池孝助殿 本文・印墨消	天保3年辰12月	縦継紙・1通	め40-13
入安兵衛他二名拝借証文[覚](拝借金25両3分余を拝借人宛行より年2石5斗余返済にて拝借に付) 入安兵衛・西村源藏・大嶋磯右衛門／(奥印)興津権右衛門・岡嶋莊藏・金児丈助→藤田右仲殿 本文・印墨消	天保4年巳3月	縦継紙・1通	め40-14
入安兵衛他二名拝借証文[覚](拝借金35両を拝借人知行より返済にて拝借に付) 入安兵衛・西村源藏・大嶋磯右衛門／(奥印)岡野弥左衛門・興津権右衛門・岡嶋莊藏・金児丈助→竹村金吾殿 印墨消、興津権右衛門は欠席のため印無	天保5年午12月	縦継紙・1通	め40-15
入安兵衛他二名拝借証文[覚](拝借金40両を拝借人知行より年16俵返済にて拝借に付) 入安兵衛・西村源藏・大嶋磯右衛門／(奥印)岡野弥左衛門・興津権右衛門・岡嶋莊藏・金児丈助→半田藤作殿 印墨消、興津権右衛門は欠席のため印無	天保5年午12月	縦継紙・1通	め40-16
入安兵衛他二名拝借証文[覚](拝借金100両を拝借人知行収納より年36俵返済にて拝借に付) 入安兵衛・西村源藏・大嶋磯右衛門／(奥印)岡野弥左衛門・興津権右衛門・岡嶋莊藏・金児丈助→矢野倉惣之進殿 端裏朱書「五九」「斎藤雲平」	天保6年末正月	縦継紙・1通	め40-17
入安兵衛他二名拝借証文[覚](拝借金22両を拝借人宛行より年11俵4斗余返済にて拝借に付) 入安兵衛・西村源藏・大嶋磯右衛門／(奥印)岡野弥左衛門・寺内多宮・岡嶋莊藏・金児丈助→矢野倉惣之進殿 端裏朱書「六一」・印墨消	天保6年末12月	縦継紙・1通	め40-18
倉田三之丞他四名拝借証文[覚](拝借金35両を拝借人知行より返済にて拝借に付) 倉田三之丞・竹内多吉・野中嘉左衛門他2名／(奥印)山本源大夫・磯田薫門・宮下兵馬他2名→青柳丈左衛	万延元年申12月	縦紙・1通	め40-19

め 4 藩政／財政／勘定所／拝借金

門殿 端裏書「三拾五番矢野義男殿」			
伊東栄治他一名請書[覚](塩野鵜拝借金返上分金16兩3分12匁9分6厘等収納掛拝命に付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)宮原繁之助／(奥印)岡嶋莊藏・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「塩野鵜殿」	文政16年丑12月	縦継紙・1通	め38
(下目付組除拝借証文替書類綴 文久3年12月)		紙縫かぶせ綴・3点	め68
半田亀作他二名申上書(下目付2人組除のため拝借証文替に付) 半田亀作・伊東栄治・小野左金太／(奥印)窪田半弥／(奥印)長谷川三郎兵衛→宮本慎助殿・春山喜平次殿	文久3年亥12月	縦継紙・1通	め68-1
下目付相沢芳之助拝借証文[覚](組除切米並方渡半分滞のため金1兩3分2朱礼金御免10年賦切米引当にて返上に付) 下目付相沢芳之助／(奥印)鹿野外守→宮本慎助殿・春山喜平次殿	文久3年亥12月	縦継紙・1通	め68-2
下目付有賀忠左衛門拝借証文[覚](組除切米並方渡半分滞のため金1兩3分2朱礼金御免10年賦切米引当にて返上に付) 下目付有賀忠左衛門／(奥印)鹿野外守→宮本慎助殿・春山喜平次殿	文久3年亥12月	縦継紙・1通	め68-3
(八田慎蔵拝借証文関係綴)		紙縫綴・2点	め34
八田慎蔵申上書(別紙証文の通り御下願に付) (八田)慎蔵→(酒井)市治様	7月8日	横切継紙・1通	め34-1
八田慎蔵拝借証文[覚](京都表三井八郎左衛門為替金より返上に付) 八田慎蔵→酒井市治殿	慶応4年辰7月	縦紙・1通	め34-2
(前嶋権兵衛返済金書状綴)		紙縫綴・15点	め26
前嶋権兵衛用状并某勘返状[覚](返金不足御手元逼迫のため御繰合金伺いに付并11月23日迄に差立の旨) 前嶋権兵衛→(片桐)重之助様・(高野)覚之進様	20日	横切継紙・1通	め26-1
前嶋権兵衛書状(臨時金7月23日迄500兩差立去冬玄米買上代申上に付) 前嶋権兵衛→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	9月22日	横切継紙・1通	め26-2
前嶋権兵衛用状(借入金返済滞等金銭出納取扱の旨に付) (前嶋)権兵衛→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	10月20日	横切継紙・1通	め26-3
前嶋権兵衛用状(300兩等納入取計方々印書出状に付) (前嶋)権兵衛→(片桐)重之助様	21日	横切継紙・1通	め26-4
前嶋権兵衛用状(善光寺山内常智院宿坊普請のため金30兩御支給願に付) (前嶋)権兵衛→(片桐)重之助様	10月29日	横切継紙・1通	め26-5
前嶋権兵衛用状(拝借金150兩渡す旨問合等に付) (前嶋)権兵衛→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	10月8日	横切継紙・1通	め26-6
前嶋権兵衛用状(角屋清十郎100兩為替上納等に付) (前嶋)権兵衛→(片桐)重之助様	酉11月14日	横切継紙・1通	め26-7
某用状并某下ヶ札(12月20日迄返済金取計方書出に付并取扱方手控へ書留等の旨)	10月22日	横切継紙・1通	め26-8
某用状并某勘返状(拝借金1400兩12月中期限返済に付并承知の旨) 拝借金返済期限の件下ヶ札7点あり	10月20日	切紙・1通	め26-9
前嶋権兵衛申上書(5月から8月迄御臨時・差余繰金341兩2分8匁4分1厘取調に付) (前嶋)権兵衛→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	10月4日	横切継紙・1通	め26-10
前嶋権兵衛用状(鈴木殿へ内借金渡等に付) (前嶋)権兵衛→片桐(重之助)様・高野(覚之助)様	11月11日	横切継紙・1通	め26-11
前嶋権兵衛用状(軍平殿家督引継の件重吾殿へ仰上に付) (前嶋)権兵衛→(片桐)重之助様	11月14日	横切継紙・1通	め26-12
重之助用状(当座為替25兩御納戸より引戻取計に付) (片桐)重之助→(前嶋)権兵衛様	9月朔日	横切継紙・1通	め26-13

前嶋権兵衛用状(内借金証文等差上に付) (前嶋)権兵衛→(片桐)重之助様	11月19日	横切継紙・1通	め26-14
惣兵衛拝借証文[御拝借証文之事](中切請負のため金30両内25両受取に付) 惣兵衛→関田慶左衛門様・野中量左衛門様 端裏書「中切拝借 惣兵衛」	戌5月20日	縦継紙・1通	め29
平出元治郎他一名拝借証文[覚](当月割金差支のため金42両3分2朱に付) 平出元治郎・青山忠兵衛→酒井市治殿・水野清左衛門殿 め・20・め・21は巻込一括、端裏書「九月廿五日細田月割御内借之分」	明治2年巳9月25日	切紙・1通	め20
青山忠兵衛拝借証文[覚](金300両受取り、来る13日迄に返済に付) 青山忠兵衛→水野清右衛門殿・酒井市治殿 め・20・め・21は巻込一括、端裏書「六月 青山忠兵衛」	明治2年巳6月10日	切紙・1通	め21
森長左衛門他二名拝借証文[覚](内証差し支えのため借入金の内金1両3分を拝借人切り米を引当に拝借に付) 森長左衛門・加判浦野勇右衛門・同断柳八十八(奥印)今井左源太・鹿野外守・岡崎米蔵・望月権之進→菊池孝助殿・海沼与兵衛殿・宮沢彦左衛門殿・水井忠蔵殿 端裏書「森長左衛門」、奥書は切紙貼継	(明治)6年未6月	縦継紙・1通	め50
伊東栄治他一名申上書[覚](大熊長門拝借金190両の返済取扱いに付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)半田藤作／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門 端裏書「大熊長門」	(明治)11年子12月	縦継紙・1通	め59
伊東栄治他一名申上書[覚](三輪与右衛門拝借金25両の返済取扱いに付) 伊東栄治・小野権右衛門／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹内権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「三輪与右衛門」	(明治)11年子12月	縦継紙・1通	め61
伊東栄治他一名申上書[覚](一色三郎右衛門拝借金13両2分の返済取扱いに付) 伊東栄治・小野権右衛門／(奥印)関田慶左衛門／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹内権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「一色三郎右衛門」	(明治)11年子12月	縦継紙・1通	め62
伊東栄治他一名申上書[覚](安藤十郎左衛門拝借金60両の返済取扱いに付) 伊東栄治・小野権右衛門／(奥印)関田慶左衛門／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹内権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「安藤十郎左衛門」	(明治)11年子12月	縦継紙・1通	め63
伊東栄治他一名申上書[覚](志村最左衛門拝借金75両の返済取扱いに付) 伊東栄治・小野権右衛門／(奥印)高野鶴蔵／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹内権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門 端裏書「志村最左衛門」	(明治)11年子12月	縦継紙・1通	め66
伊東栄治他一名申上書[覚](金井善兵衛拝借金232両の返済取扱いに付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門・金見丈助→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「金井善兵衛」	(明治)12年丑12月	縦継紙・1通	め56
伊東栄治他一名申上書[覚](中村象五郎拝借金85両の返済取扱いに付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門・金見丈助→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「中村象五郎」	(明治)12年丑12月	縦継紙・1通	め58
伊東栄治他一名申上書[覚](志村最左衛門拝借金25両の返済取扱いに付) 伊東栄治・小野権右衛門／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹内権左衛門→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿・町田源左衛門殿 端裏書「志村最左衛門」	(明治)12年丑正月	縦継紙・1通	め60
伊東栄治他一名申上書[覚](綿内右門拝借金90両の返済取扱いに付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門・金見丈助→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛 端裏書「綿内右門」	(明治)13年寅	縦継紙・1通	め55
伊東栄治他一名申上書[覚](石川新八拝借金60両の返済取扱いに付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹村権左衛門・金見丈助→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「石川新八」	(明治)13年寅6月	縦継紙・1通	め57
伊東栄治他一名申上書[覚](浅香長斉拝借金35両の返済取	(明治)13年寅12月	縦継紙・1通	め64

め4 藩政／財政／勘定所／拝借金 5 藩政／財政／勘定所／御馬飼料
6 藩政／財政／御預所／借入・用達 7 藩政／財政／拝借金／諸役歎願

扱いに付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹内権左衛門・金児丈助→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「浅香長斉」			
伊東栄治他一名申上書[覚](高橋傳十郎拝借金20両の返済取扱いに付) 伊東栄治・町田源左衛門／(奥印)岡崎莊蔵・興津権右衛門・竹内権左衛門・金児丈助→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 端裏書「高橋傳十郎」	(明治)13年寅12月	縦継紙・1通	め65
斎藤円右衛門拝借証文[覚](居宅類焼の手当金として金2両1分余り拝借人扶持を引当に5年賦返済にて拝借に付) 斎藤円右衛門／(奥印)金児孫左衛門・山本雄左衛門／(奥印)御郡奉行兼帶岡野弥右衛門・菅沼九左衛門・鹿野外守→池田良右衛門殿・伊東仙右衛門殿・窪田小右衛門殿・松本記兵衛殿・水野弥左衛門殿・小林彦左衛門殿・春日仲左衛門殿 端裏書「斎藤円右衛門」	(明治)14年丑5月	縦継紙・1通	め51

5 藩政／財政／勘定所／御馬飼料

東条村北組御納主庄九郎他一名請証文[御買上御薪御請書一札之事](上納金差支のため薪代金1両2分前金にて受取に付) 東条村北組御納主庄九郎・御請人清兵衛／(奥印)東条村北組名主茂右衛門・組頭丈助・長百姓与右衛門→御勘定御役所中嶋宇吉様・丸山平左衛門様 端裏書「薪 天保七申年十二月東条村莊九郎」	天保7年申12月	縦継紙・1通	め1
--	----------	--------	----

6 藩政／財政／御預所／借入・用達

小布施村高井三九郎拝借証文[御時拝借証文之事](仕入金に差し支え金300両拝借に付) 小布施村高井三九郎→松代御預り所御役所	(明治)元年丑11月	縦紙・1通	め54
富岡喜代之助他四名拝借証文[拝借金証文之御事](要用金に差し詰まり拝借人切り米を引当に拝借に付) 拝借人富岡喜代之助・親類加判花見齊兵衛・同富岡茂助他2名→太田藤右衛門殿 裏打済	(明治)元年巳12月	縦紙・1通	め49

7 藩政／財政／拝借金／諸役歎願

(足軽拝借金歎願関連書類一括)		国立史料館封筒一括・8点	め48
[覚](包紙) 詰辻御足軽惣代→ -		包紙・1点	め48-1-1
詰辻足軽惣代本式番組部屋頭岸作他十九名嘆願書[以上書奉歎願候](相場違いにより小禄者難渋のため相場直し等歎願に付) 詰辻御足軽惣代本式番組部屋頭岸作・惣代富平・本三番組部屋頭与惣太他17名→御割番所	慶応元年巳12月	縦継紙・1通	め48-1-2
十郎右衛門回章(端裏書)[回章](諸色高価により難渋のため足軽は金1両・松原者は金2分拝借然るべき事に付)(西村)十郎右衛門→(真田)志摩様・(鎌原)伊野右衛門様 端裏書「足軽松原者拝借金」	12月8日	横切継紙・1通	め48-2
割番伺書[口上覚](諸村とも高直にて諸雑費多分に掛かり難渋のため足軽1人に付金2分・松原者1人に付金1分拝借願に付) 割番→ - 端裏書「二」「割番」	12月	横切継紙・1通	め48-3
足軽奉行内々伺書(端裏書)[御足軽[]拝借金ニ付御内々伺](諸村高直により小禄の松原足軽等難渋のため扶持代金割合の増加に付) 御足軽奉行→ - 端裏書「三」「十二月 御足軽奉行」・裏打済	12月	横切継紙・1通	め48-4

御足輕奉行答申書(拝借金歎願のため松原者等人数書き出しに付) 御足輕奉行→御勘定吟味様 端裏書「四」「御足輕奉行」	12月27日	横切継紙・1通	め48-5
御勘定吟味申上書(端裏書)[御足輕松原者御拝借願之義二付申上](勝手元締へ足輕1人に付金2分、松原者1人に付1分拝借のみ承認) 御勘定吟味→ - 端裏書「五」「十二月 御勘定吟味、下ヶ札あり	12月	横切継紙・1通	め48-6
御勝手元メ申上書(端裏書)[御足輕松原者拝借金之義二付申上](足輕・松原者歎願により足輕へ金1両、松原足輕へ金2分拝借に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「六」「御足輕松原者拝借金之義二附」「十二月廿六日 御勝手元メ」	12月28日	横切継紙・1通	め48-7
(久保雄之進帰国拝借金関係書類一括)		包紙一括・7点	め36
[久保雄之進道中金并同断囲金拝借之事](包紙) 赤沢助之進→鎌原伊野右衛門様	6月9日	包紙・1点	め36-1
赤沢助之進申上書(久保雄之進帰国のため拝借金受取願に付) (赤沢)助之進→(鎌原)伊野右衛門様	5月29日	切紙・1通	め36-2
長谷川深美申上書并下ヶ札(久保雄之進帰国のため本馬支給の旨伺并輕尻馬支給の旨に付) 長谷川深美→赤(沢)助之進様 端裏書「一」	5月28日	横切継紙・1通	め36-3
久保雄之進願書(端裏書)[道中帰金拝借之義奉願](帰国のため囲金15両拝借願に付) 久保雄之進→ - 端裏書「二」	5月	横切継紙・1通	め36-4
長谷川深美申上書并下ヶ札(端裏書)[久保雄之進道中金并囲金拝借之義申上](道中賄金等書出拝借御聞済願并一印付札の通り輕尻馬支給の旨に付) 長谷川深美→ - 端裏書「三」	5月	横切継紙・1通	め36-5
久保雄之進願書(端裏書)[御内借金之義奉願](輕尻馬賄代等金5両内借願に付) 久保雄之進→ - 端裏書「四」	5月	横切紙・1通	め36-6
長谷川深美申上書(端裏書)[申上](久保雄之進拝借金願御聞済願に付) 長谷川深美→ - 端裏書「五」	5月	切紙・1通	め36-7
(御徒士拝借金歎願関係書類一括)		包紙一括・13点	め39
[口上覚](包紙、並びに御徒頭貼添) 御徒士→ -		包紙・1点	め39-1
(断簡) 「留済」		切紙・1点	め39-2
御徒士願書[口上覚](昨辰年詰高改正月給御渡困窮のため金5両宛拝借に付) 御徒士→ -	2月	横切継紙・1通	め39-3
(包紙) 赤沢助之進→鎌原伊野右衛門様	4月11日	包紙・1点	め39-4
赤沢助之進用状(取計済書類差越に付) (赤沢)助之進→(鎌原)伊野右衛門様 端裏書「伊野右衛門様」	3月晦日	切紙・1通	め39-5
(御徒士拝借金歎願評議関係書類一括)		紙縫束・8点	め39-6
(紙縫)		紙縫・1点	め39-6-1
前嶋友之進申上書(端裏書)[御供御徒士拝借金歎願義二付申上](御徒士拝借金歎願問合せの旨金3両内借と返答に付) 前嶋友之進→ - 端裏書「二」	3月	横切継紙・1通	め39-6-2
高野広馬申上書(端裏書)[御供御徒士拝借金歎願之義二付申上](長谷川太郎御尋の件過日羽織用意等のため拝借金支給済にて今度拝借金支給困難に付) 高野広馬→ - 端裏書「三」	3月8日	切紙・1通	め39-6-3
御目付申上書(端裏書)[御供御徒士拝借金之義御尋付申上](高野広馬回答に同意に付) 御目付→ - 端裏書「四」	3月	横切継紙・1通	め39-6-4
前嶋友之進申上書并下ヶ札(端裏書)[御供御徒士拝借金之義二付猶申上](高野広馬回答不服金3両宛支給の旨に付並びに金3両支給にて同意の旨に付) 前嶋友之進→ - 端裏書「五」	3月	横切継紙・1通	め39-6-5

め7 藩政／財政／拝借金／諸役歎願

某用状(五印付札御番士見合にて200疋位支給に付) 端裏書「六」		切紙・1通	め39-6-6
高野広馬申上書(端裏書)[御供御徒士拝借金歎願之義二付猶又申上](別紙の通り御番士振合により金200疋ずつ増手当支給の旨に付) 高野広馬→・ 端裏書「七」	3月	切紙・1通	め39-6-7
赤沢助之進願書并勘返状(御番士見合により金200疋宛増手当支給に付并同意の旨に付) (赤沢)助之進→(真田)志摩様 端裏書「八」	3月17日	横切継紙・1通	め39-6-8
(御物書拝借金歎願書一綴)		紙綴綴・3点	め43
[奉歎願候口上覚](包紙)		包紙・1点	め43-1
御物書嘆願書[奉歎願候口上覚](24藩並びに組合3藩出席のため衣類整え準備金として20両ずつ拝借に付) 御物書→・	12月	横切継紙・1通	め43-2
御役方物書岸田忠左衛門他二名嘆願書(端裏書)[御役方物書并拝借金歎之儀二付別紙添歎願](定助政太郎へも衣類整え準備金として20両拝借に付) 御役方物書岸田忠左衛門・清水林之助・定助政太郎→・ 端裏書「御役方物書共拝借金願之義二付別紙添歎願、玉川一学・長谷川平次郎」	12月	横切継紙・1通	め43-3
(在京右筆内借歎願関係書類綴)		67-2～5まで紙綴綴・6点	め67
[御右筆諸給之義申立之事](包紙) 赤沢助之進→鎌原伊野右衛門様	10月13日	包紙・1点	め67-1-1
赤沢助之進申上書(森五十三・中山弥一諸給内借歎願に付) (赤沢)助之進→(鎌原)伊野右衛門様 端裏書「伊野右衛門様御当用」	10月5日	横切継紙・1通	め67-1-2
森五十三他一名内借歎願書(端裏書)[諸給御内借之儀御内々奉歎願候](在京諸手当なく難渋のため金20両ずつ内借願に付) 森五十三・小山弥一→・ 端裏書「一」[諸給御内借之儀御内々奉歎願候 森五十三・小山弥一]、67-2から67-5まで綴一括	9月	横切継紙・1通	め67-2
赤沢助之進指示書(別紙右筆両人内借願財政逼迫のため不許可に付) 赤沢助之進→長谷川深美殿 端裏書「二」[長谷川深美殿 赤沢助之進]	10月朔日	横切継紙・1通	め67-3
長谷川深美申上書(端裏書)[御右筆両人歎願之儀御尋二付申上](近年財政逼迫支給米半減のため内借金支給に付) 長谷川深美→・ 端裏書「三」	10月	横切継紙・1通	め67-4
御勘定吟味申上書(端裏書)[京都御右筆御内借之儀二付申上](右筆内借歎願不許可に付) 御勘定吟味→・ 端裏書「二月廿四日 御勘定吟味」	2月	横切継紙・1通	め67-5
(医師薬種料拝借金関係書類綴 明治2年正月～2月)		紙綴綴・8点	め32
赤沢助之進用状(取計済書類差越に付) (赤沢)助之進→(鎌原)伊野右衛門様	(明治2年)2月28日	切紙・1通	め32-1
赤沢助之進用状(御医師薬種拝借友之進答の旨申渡に付) (赤沢)助之進→(鎌原)志摩様	(明治2年)2月27日	切紙・1通	め32-2
南沢策意他一名願書[口上覚](薬種高価のため金50両拝借に付) 南沢策意・吉原一庵→・	(明治2年)正月	切紙・1通	め32-3
南沢策意他一名願書[口上覚](別紙の通り薬種価格書出拝借金再願に付) 南沢策意・吉原一庵→・	(明治2年)2月	横切継紙・1通	め32-4
近江屋正兵衛取調書[覚](薬種子年・寅年・巳年価格書出帳) 近江屋正兵衛→南沢(策意)様・吉原(一庵)様	明治2年巳正月	横長半・1冊	め32-5
前嶋友之進申上書(端裏書)[御医師薬種料拝借之儀二付申上](東京詰番等勤のため拝借金支給困難に付) 前嶋友之進→・	(明治2年)2月	横切継紙・1通	め32-6
前嶋友之進申上書并某下ケ札(端裏書)[御医師薬種料拝借再願之儀付申上](内借許可の旨并薬種買上通帳メ高分内	(明治2年)2月	横切紙・1通	め32-7

借に付) 前嶋友之進→ - 某用状(端裏書)[御医師拝借据合](文政9年2月～文久2年10月医師拝借金書出に付)		横切継紙・1通	め32-8
---	--	---------	-------

8 藩政／財政／計政局／拝借金

(内借証文一括 文久3年3月～明治4年正月) (紙縫) め45-1～め45-44まで一括		紙縫束・57点	め45
小野善四郎内借証文[覚](東京へ御用の道中駕籠人足賃銭等として金50両内借に付) 小野善四郎→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「小野善四郎御内借証文」	明治3年午正月	紙縫・1点	め45-1
田中権之助内借証文[覚](伊那県へ出張の諸費用として金50両内借に付) 田中権之助→水野清右衛門殿・月岡善平殿 端裏書「田中権之助殿伊那県主張ニ付御内借証文」	明治3年午8月25日	堅紙・1通	め45-2
北沢冠岳内借証文[覚](公用人勤めの経費多額にて難渋のため金100両に付) 北沢冠岳→岡野敬一郎殿・岸善八殿 端裏書「午二月二日」「御内借北沢冠岳殿」	明治3年午2月	堅紙・1通	め45-3
酒井金太郎内借証文[覚](公用のため東京への道中並びに逗留経費として金30両に付) 酒井金太郎→岸善八殿 端裏書「酒井金太郎」	明治3年午2月	堅紙・1通	め45-4
近藤普内借証文[覚](伊那県へ公用の諸費用として金25両内借に付) 近藤普→岡野敬一郎殿 端裏書「近藤普」	明治3年午閏11月	堅紙・1通	め45-5
松本源八中借証文[覚](上田へ御内用にて罷越すための諸費用として金15両中借に付) 松本源八→拓殖彦六殿 端裏書「松本源八上田表江罷越候節中借」	明治4年未正月14日	堅紙・1通	め45-6
西村源兵衛拝借証文[覚](丹波島村宿へ官軍下筋より通行のため金100両拝借に付) 西村源兵衛→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「丹波島村」	明治元年辰10月13日	堅紙・1通	め45-7
中嶋啓作他一名中借証文[覚](錢幣御用として松本へ罷り越すため金20両中借りに付) 中嶋啓作・代印中嶋祐左衛門→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「中嶋啓作」、中嶋代印として中嶋祐左衛門	明治3年午6月	堅紙・1通	め45-8
寺沢大之輔拝借証文[覚](御買い上げ米運送取締役のため金15両拝借に付) 寺沢大之輔→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「午六月 寺沢大之輔」	明治3年午6月	堅紙・1通	め45-9
矢野唯見内借証文[覚](塩尻表へ御内用出張のため金20両内借に付) 矢野唯見→岡野敬一郎殿 端裏書「矢野唯見塩尻表江御内借」	明治3年午11月	堅紙・1通	め45-10
岩村寅松内借証文[覚](東京へ御内用のため金50両内借に付) 岩村寅松→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「岩村寅松」	明治3年午11月	堅紙・1通	め45-11
春日敬三内借証文[覚](柏崎県へ出張のため金30両内借に付) 春日敬三→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「拝借懸」「春日敬三」	明治2年巳10月28日	堅紙・1通	め45-12
西村半六内借証文[覚](柏崎県へ出仕のため金20両内借に付) 西村半六→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「拝借懸」「西村半六」	明治3年午5月28日	堅紙・1通	め45-13
寺沢大之輔内借証文[覚](御買上げ米運送掛りとして下筋へ出立のため金10両内借に付) 寺沢大之輔→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「午五月四日下筋米運送 寺沢大之輔」	明治3年午5月	堅紙・1通	め45-14
(矢野倉謙兵衛書状・内借証文一括) (紙縫) め45-16-2～3まで一括	明治3年午5月4日	堅紙・1通	め45-15
		紙縫束・3点	め45-16
		紙縫・1点	め45-16-1

め8 藩政／財政／計政局／拝借金

矢野倉謙兵衛書状[貴酬](御内用金30両受取のため印形受取願に付) 矢野倉謙兵衛→(酒井)市治様	(明治)正月12日	横切継紙・1通	め45-16-2
矢野倉謙兵衛内借証文[覚](矢野倉謙兵衛御内用のため金30両内借に付) 矢野倉謙兵衛→酒井市治殿	明治2年巳5月	堅紙・1通	め45-16-3
中嶋波之助内借証文[覚](伊那県へ御用に付差服用意難渋のため金15両内借に付) 中嶋波之助→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「巳六月」[中嶋波之助殿]	明治2年巳6月	堅紙・1通	め45-17
藤田新太郎内借証文[覚](京都での諸費用として200両受け取りに付) 藤田新太郎→岡野敬一郎殿・岸善八殿 端裏書「上京ニ付御内借相渡 藤田新太郎」	明治3年午3月	堅紙・1通	め45-18
西村源兵衛内借証文[覚](丹波島村を諸藩下筋へ通行のため村差し支え金50両内借に付) 西村源兵衛→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「丹波嶋村」	明治元年辰12月	堅紙・1通	め45-19
(岡野敬一郎宛内借証文一括)		紙縫束・7点	め45-20
(紙縫) め-45-20-2～7まで一括		紙縫・1点	め45-20-1
館三郎他三名金銭受取証文[覚](東京へ出張のため道中賄い代等として金100両に付) 館三郎・菅為一郎・根津均・代印菅左衛士介→岡野敬一郎殿 端裏書「東京 祢津・菅」	明治3年午11月28日	堅継紙・1通	め45-20-2
横田数馬中借証文[覚](東京へ罷り越すための諸費用のうち金70両に付) 横田数馬・代判横田機応→岡野敬一郎殿 端裏書「横田数馬殿東京へ早近御内借」	明治3年午11月27日	横切紙・1通	め45-20-3
坂西広見他三名内借証文[覚](西京へ出張のため道中賄い代等として金150両に付) 坂西広見・山本昇・竹内直太郎・代判菅左衛士介→岡野敬一郎殿 端裏書「西京 坂西竹内」	明治3年午11月	堅継紙・1通	め45-20-4
松本源八他一名内借証文[覚](上田・岩村田等へ罷り越すための諸費用として金50両に付) 松本源八・代判駒村佐十郎→岡野敬一郎殿 端裏書「午十一月晦日松本源八御内借」	明治3年午11月晦日	堅紙・1通	め45-20-5
田中権之助他一名内借証文[覚](松本・伊那県へ罷り越すための諸費用として金100両に付) 田中権之助・近藤普→岡野敬一郎殿 端裏書「午十一月晦日近藤普御内借」	明治3年午11月晦日	堅紙・1通	め45-20-6
草間一路他一名内借証文[覚](中野県へ罷り越すための諸費用として金50両に付) 草間一路・代判駒村佐十郎→岡野敬一郎殿 端裏書「午十一月晦日草間一路御内借」	明治3年午11月晦日	堅紙・1通	め45-20-7
五明富弥中借証文[覚](宮様通行のため矢代宿へ内借分100両に付) 五明富弥→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「矢代村」	明治元年辰10月	堅紙・1通	め45-21
酒井金太郎拝借証文[覚](東京行きのため金20両拝借に付) 酒井金太郎→岸善八殿 端裏書「酒井金太郎」	明治3年午8月23日	堅紙・1通	め45-22
京都御藩邸留守居務佐藤元吉内借証文[覚](帰京のため道中費用として金10両に付) 京都御藩邸留守居務佐藤元吉→水野清右衛門殿・月岡善平殿 端裏書「佐藤元吉」	明治3年午7月	堅紙・1通	め45-23
(内借証文一括)		紙縫束・3点	め45-24
(紙縫) め-45-24-2～3まで一括		紙縫・1点	め45-24-1
松本源八他一名内借証文[覚](鼠宿へ組子召し連れ出張のため金25両に付) 松本源八・金児忠兵衛→野本力太郎殿	明治2年己巳8月20日	横紙・1通	め45-24-2
福田兵衛他一名内借証文[覚](道中囲金として金50両に付) 福田兵衛・寺内多宮→高山敬之丞殿	明治2年巳8月14日	堅紙・1通	め45-24-3
細田久作内借証文[覚](和宮通輿の助郷のため目付より西条村へ金70両に付) 細田久作→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「西条村」	元治元年子12月	堅継紙・1通	め45-25
竹田虎尾他一名金銭受取書[覚](道中費用として金10両受け取りに付) 斎田虎尾・山中小平次→草間一路殿 端裏書「山中小平次・斎田虎尾」	文久3年亥3月	堅紙・1通	め45-26

河原理他一名内借証文[覚](前田鴻治郎大学南授へ入舎のため金10両に付) 河原理・代判樋口弥治郎→岸善八殿 端裏書「前田鴻治郎御内借」	明治3年午10月	堅紙・1通	め45-27
堀内市三郎内借証文[覚](伊那県出張費用の用立てにより差し支え難渋のため金15両に付) 堀内市三郎→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「巳十二月廿三日 堀内市三郎」	明治2年巳12月23日	堅継紙・1通	め45-28
荒井伴之助中借証文[覚](中野大事件のため東京への同行費用として金100両に付、反故) 荒井伴之助→中嶋渡浪殿・池田富之進殿・徳嵩廣馬殿・助上村何右衛門殿 端裏書「荒井伴之助上東京御入料印書」, 受取に押紙貼付け反故紙にしてある	明治3年午12月20日	堅紙・1通	め45-29
樋口旗之助内借証文[覚](御内用のため東京へ罷り越す諸費用として金100両に付) 樋口旗之助→拓殖彦六殿 端裏書「樋口旗之助上東京ニ付御内借」	明治4年未正月15日	堅継紙・1通	め45-30
大里忠一郎他一名内借証文[覚](長年賦引替のため贖札並びに不足金完済のため金34両3分余りに付) 大里忠一郎・青柳増太郎→水野清右衛門殿・月岡善平殿 端裏書「引替掛贖札員数不足之分中借 青柳増太郎・大里忠一郎」	(明治4年) 辛未正月16日	横切紙・1通	め45-31
(青山忠兵衛内借証文一括)		紙縫束・4点	め45-32
(紙縫) め45-32～44まで一括		紙縫・1点	め45-32-1
青山忠兵衛内借証文[覚](御内用のため金15両に付) 青山忠兵衛→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「青山忠兵衛」	明治2年巳9月	堅紙・1通	め45-32-2
青山忠兵衛内借証文[覚](御内用のため金100両に付) 青山忠兵衛→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「青山忠兵衛」	明治2年巳9月	堅紙・1通	め45-32-3
青山忠兵衛内借証文[覚](御内用のため金20両に付) 青山忠兵衛→水野清右衛門殿・酒井市治殿 端裏書「青山忠兵衛」	明治2年巳10月	堅紙・1通	め45-32-4
宮下力内借証文[覚](東京行きの囲金として金30両に付) 宮下力→岸善八殿 端裏書「午二月十日宮下力殿御内借」	明治3年午2月	堅継紙・1通	め45-33
北沢冠岳拝借証文[覚](役中の諸費用多額にて難渋のため金100両拝借に付) 北沢冠岳→岸善八殿 端裏書「北沢冠岳」	明治3年午3月3日	横切継紙・1通	め45-34
高野広馬内借証文[覚](東京へ上るための諸費用として金125両に付) 高野広馬→岡野敬一郎殿・岸善八殿 端裏書「高野広馬」	明治3年午2月25日	堅継紙・1通	め45-35
田中甲子治郎内借証文[覚](水原県出張の用意差し支えのため金8両に付) 田中甲子治郎→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「田中甲子次郎」	明治3年午3月	堅紙・1通	め45-36
酒井市治内借証文[覚](東京へ立ち返るための諸費用として金100両に付) 酒井市治→水野清右衛門殿 端裏書「酒井市治」	明治2年巳10月9日	堅継紙・1通	め45-37
春原玄三内借証文[覚](御内用のため新潟への道中諸費用として金50両に付) 春原玄三→岡野弥右衛門殿 端裏書「春原玄三」	明治2年巳9月3日	堅紙・1通	め45-38
公事方同心倉田栄三郎内借証文[覚](御用として伊那県出張のため金10両に付) 公事方同心倉田栄三郎→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「倉田栄三郎」	明治2年巳4月18日	堅紙・1通	め45-39
草間一路内借証文[覚](帰京の道中賄い代等として金20両に付) 草間一路→岡野弥右衛門殿 端裏書「巳五月十一日 草間御奉行所」	明治2年巳5月10日	堅紙・1通	め45-40
佐藤美与喜内借証文[覚](東京へ上る諸費用として金50両に付) 佐藤美与喜→岸善八殿 端裏書「佐藤美与喜殿」	明治3年午正月	堅紙・1通	め45-41
酒井市治内借証文[覚](金100両に付) 酒井市治→水野清右衛門殿 端裏書「酒井殿御内借」	明治2年巳正月29日	横切継紙・1通	め45-42
倉田三之丞内借証文[覚](藩用にて東京へ上るため金70両に付) 倉田三之丞→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「午三月廿日上東京立帰候ニ付倉田三之丞御内借」	明治3年午3月	堅継紙・1通	め45-43

め8 藩政／財政／計政局／拝借金 9 藩政／財政／計政局／用度方

中島啓作内借証文[覚](全国銭札のため浅間出張の賄代等として金50両内借に付) 中島啓作→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏書「中嶋房治」	明治2年巳10月	堅紙・1通	め45-44
(明治3年原権右衛門在坂中拝借金取扱関係綴)		紙経綴・10点	め30
会計掛り申上書并監察端裏朱印(端裏書)[亡原権右衛門親類歎願之義二付申上](原権右衛門親類取調の件了解願に付並びに許可の旨朱印) 会計掛り→ -	正月10日	切紙・1通	め30-1
権理事務局達(原権右衛門死去のため拝借金上納方手続至急取調に付) (権理事務局)→(原権右衛門親類)	(明治3年)庚午5月晦日	横切経紙・1通	め30-2
(包紙) 亡原権右衛門親類→ - 包紙上書「亡原権右衛門親類」	(明治3年)	包紙・1点	め30-3
亡原権右衛門親類申上書(原権右衛門拝借金上納滞分知行高より別帳の通り上納に付) 亡原権右衛門親類→ -	(明治3年)庚午閏10月	横切経紙・1通	め30-4
酒井市治内々申上書(原権右衛門へ子年分扶持代支払等に付) (酒井)市治→ -	(明治3年)7月	横切経紙・1通	め30-5
[上 善右衛門御扶持方請取証文](包紙)		包紙・1点	め30-6
中山善右衛門金銭受取書[覚](玄米10人扶持代金17両に付) 中山善右衛門→松代様御用場原権右衛門様	万延元年申12月	切紙・1通	め30-7
某用状(初60俵のうち内借金返上のため20俵御支給願に付) め30-7後挟込		切紙・1通	め30-8
[覚](原権右衛門中山善右衛門からの借入金取調帳) 亡原権右衛門親類→ -	(明治3年)庚午閏10月	横長半・1冊	め30-9
(嘉永元年7月～文久3年5月の産物一件拝借金書出帳) 原権右衛門→ - 下ヶ札あり		横長半・1冊	め30-10
(公事方手附村方拝借金返済願関係綴)		紙経綴・2点	め17
藤牧茂一兵衛他一名書状(4月中村方拝借分返済催促願に付) 藤牧茂一兵衛・岸田鉄治→小林安兵衛様	10月17日	横切経紙・1通	め17-1
草間一路伺書(別紙公事方手附拝借金返済残分催促歎願に付) (草間)一路→計政局様	10月17日	横切経紙・1通	め17-2

9 藩政／財政／計政局／用度方

(明治3年用度方役所用紙購入関係書類綴)		紙経綴・18点	め28
岡本広太申上書[覚](小盤紙30束受取願に付) 岡本広太→御殿用度方	(明治3年)午極月7日	切紙・1通	め28-1
志垣村岡本広太申上書[覚](下端切紙46束小盤紙66束受取願に付) 志垣村岡本広太→用度司御役所	(明治3年)午2月9日	切紙・1通	め28-2
志垣村岡本広太申上書[覚](下端切紙35束・小盤紙47束受取願に付) 志垣村岡本広太→用度方御役所	正月11日	切紙・1通	め28-3
志垣村岡本広太申上書[覚](甲州長尺判紙40丸大蠟120丁受取願に付) 志垣村岡本広太→用度方御役所	(明治4年)未正月9日	横切経紙・1通	め28-4
岡本広太申上書[覚](小盤紙34束受取願に付) 岡本広太→用度方御役所	正月7日	横切経紙・1通	め28-5
志垣村岡本広太申上書[覚](小盤紙73束・並小盤紙32束受取願に付) 志垣村岡本広太→御用度方御役所	10月26日	横切経紙・1通	め28-6
志垣村岡本広太申上書[覚](小盤紙35束等受取願に付) 志垣村岡本広太→用度方御役所	(明治3年)午2月15日	横切経紙・1通	め28-7
里穂村村要蔵申上書[覚](黒半紙16000枚受取願に付) 里穂村村要蔵→用度方御役所	(明治3年)午5月8日	切紙・1通	め28-8

志垣村岡本広太申上書[覚](御国美濃紙3丸1束受取願に付) 志垣村岡本広太→用度方御役所	(明治3年)午7月22日	横切継紙・1通	め28-9
志垣村岡本広太申上書[覚](並小盤紙9束受取願に付) 志垣 村岡本広太→用度方御役所	11月25日	横切継紙・1通	め28-10
岡本広太申上書[覚](甲州長尺盤紙10丸御国美濃紙3丸受取 願に付) 岡本広太→用度方御役所	9月26日	切紙・1通	め28-11
志垣村岡本広太申上書[覚](甲州長尺盤紙1什受取願に付) 志垣村岡本広太→用度方御役所	11月23日	横切継紙・1通	め28-12
志垣村岡本広太申上書[覚](上下端切紙22束下端切紙46束 等受取願に付) 志垣村岡本広太→御用度方御役所	5月朔日	切紙・1通	め28-13
志垣村岡本広太申上書[覚](小盤紙33束等受取願に付) 志 垣村岡本広太→用度方御役所	12月5日	横切継紙・1通	め28-14
志垣村岡本広太申上書[覚](上下端切紙10束8帖等受取願に 付) 志垣村岡本広太→用度方御役所	5月朔日	切紙・1通	め28-15
岡本広太申上書[乍恐使之者故口上書二而奉申上候](御用 代120両受取仲間分頂戴の旨伺に付) (岡本)広太→御用度方 様	7月22日	横切継紙・1通	め28-16
栃原村仲右衛門申上書[覚](上不端切紙15束5帖等受取願に 付) 栃原村仲右衛門→用度司御役所	明治3年午2月	切紙・1通	め28-17
新町村金兵衛申上書[覚](上粘入紙32束等受取願に付) 新 町村金兵衛→用度方御役所	(明治3年)午8月20日	切紙・1通	め28-18

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
も			
1 真田家／病気・療養／湯治／幸教病気一件			
(服部敬順逗留御賄御入料関連書類一括 嘉永7年11月～安政2年正月)		封筒一括・34点	も215
[服部敬順逗留中御勘定帳 沓帳 同断買上 弍綴](封筒) 仙田忠左衛門		封筒・1点	も215-1
仙田忠左衛門勘定帳[服部敬順逗留中諸品御入料御勘定帳] (上白米1斗3升5合等逗留中使用諸品等書上に付) 仙田忠左衛門／(奥印)山寺源太夫・磯田音門・高山内蔵進／(奥印)高坂守之助→ -	安政2年卯3月	横長半・1冊	も215-2
(服部敬順逗留御賄御入料関連書類一綴 嘉永7年11月～安政元年12月)		紙綴綴・32点	も215-3
御酒番坂田忠太他二名金銭請取書[請負仕出し](11月25日～12月7日までの服部敬順逗留御賄御入料金ノ9兩2分2朱4匁6分3厘受取に付) 御酒番坂田忠太・御饅飩師新十郎・御漬物師市郎治 訂正貼紙付	(安政元年)12月	横長半・1冊	も215-3-1
信州松代紺屋町紙屋忠兵衛金銭請取書[諸品御通帳](11月25日～同26日購入代金ノ89匁6分1厘312文受取に付) 信州松代紺屋町紙屋忠兵衛→仙田忠左衛門様	嘉永7年甲寅11月	横半半折・1冊	も215-3-2
大和屋八金銭受取証文[御通](11月25日～12月5日迄購入代金ノ1貫764文受取に付) 大和や榮八→千田忠左衛門様	寅11月	横半半折・1冊	も215-3-3
嶋屋太兵衛金銭受取証文[覚](生鯛購入代金1分受取に付) 嶋屋太兵衛→吉重郎様	(安政元年)極月6日	横切継紙・1通	も215-3-4
金澤屋喜三郎金銭受取証文[覚](極上きせん購入代金5匁5分受取に付) 金澤屋喜三郎→上	(安政元年)12月7日	切紙・1通	も215-3-5
信州松代紺屋町現金屋多吉金銭受取証文[覚](炭等購入代金ノ3貫484文受取に付) 信州松代紺屋町現金屋多吉→上	(安政元年)12月	横切継紙・1通	も215-3-6
松代紺屋町柏屋源太金銭受取証文[覚](油さし等購入代金ノ541文受取に付) 松代紺屋町柏屋源太→上	(嘉永7年)寅11月25日	横切継紙・1通	も215-3-7
証屋伴之助金銭受取証文[覚](購入代金5匁受取に付) 証屋伴之助→仙田忠左衛門様	(嘉永7年)11月26日	切紙・1通	も215-3-8
信州松代木町北側江戸屋佐吉金銭受取証文[炭購入代金1貫受取に付] 信州松代木町北側江戸屋佐吉→上	(嘉永7年)寅11月26日	切紙・1通	も215-3-9
信州松代西木町現金や祖吉金銭受取証文[覚](火はし等購入代金ノ404文受取に付) 信州松代西木町現金や祖吉→仙田忠左衛門様 訂正貼紙付	(嘉永7年)寅11月26日	横切継紙・1通	も215-3-10
楠屋八百蔵金銭受取証文[覚](手杓購入代金10匁受取に付) 楠屋八百蔵→仙田忠左衛門様	(嘉永7年)11月26日	切紙・1通	も215-3-11
松代紺屋町木嶋屋弥兵衛金銭受取証文[覚](屋くら購入代金412文受取に付) 松代紺屋町木嶋屋弥兵衛→千田忠左衛門様	(嘉永7年)11月26日	切紙・1通	も215-3-12
信州松代紺屋町現金屋多吉金銭受取証文[覚](炭等購入代金ノ4貫26文受取に付) 信州松代紺屋町現金屋多吉→仙田忠左衛門様	11月	横切継紙・1通	も215-3-13
信州松代西木町現金屋祖吉金銭受取証文[覚](袋入はし購入代金ノ404文受取に付) 信州松代西木町現金屋祖吉→仙田忠左衛門様	(嘉永7年)寅11月26日	切紙・1通	も215-3-14
信州松代木町美濃屋与兵衛金銭受取証文[覚](手水鉢購入代金3匁6分受取に付) 信州松代木町美濃屋与兵衛→千田忠左衛門様	(嘉永7年)11月26日	切紙・1通	も215-3-15

かち町和吉金銭受取証文[覚](手桶購入代金90文) かち町和吉→上	(嘉永7年)11月26日	横切継紙・1通	も215-3-16
御菓子屋忠左衛門金銭受取証文[覚](春の雪等購入代金ノ12匁3分受取に付) 御菓子屋忠左衛門→学校御役所	寅11月	横切紙・1通	も215-3-17
府野屋[][覚](松茸購入代金2貫664文受取に付) 府野屋[]→上 一部虫損	(安政元年)寅12月13日	切紙・1通	も215-3-18
信州松代紺屋町伊勢屋伊兵衛金銭受取証文[覚](荷蕙等購入代金366文受取に付) 信州松代紺屋町伊勢屋伊兵衛→仙田様	(安政元年)寅極月	横切継紙・1通	も215-3-19
美濃屋喜兵衛金銭受取証文[覚](手桶等購入代金ノ銀39匁1分3厘銭474文受取に付) 美濃屋喜兵衛→仙田忠左衛門様	(安政元年)寅11月	横切継紙・1通	も215-3-20
信州松代西木町現金屋□兵衛金銭受取証文[覚](暮麦粉購入代金銭130文受取に付) 信州松代西木町現金屋□兵衛→仙田忠左衛門様 一部虫損	安政元年寅12月	切紙・1通	も215-3-21
宮下文左衛門金銭受取証文[覚](真木等購入代金ノ銀9匁6分9厘銭300文) 宮下文左衛門→ -	(安政元年)寅12月	横切継紙・1通	も215-3-22
新十郎金銭受取証文[覚](真木購入代金5匁7分1厘受取に付) 新十郎→仙田忠左衛門様	(安政元年)12月12日	切紙・1通	も215-3-23
関屋村長百姓孝右衛門金銭受取証文[覚](暮麦購入代金6匁受取に付) 関屋村長百姓孝右衛門→御勘定御吟味御役所	(安政元年)12月12日	切紙・1通	も215-3-24
小納戸文右衛門金銭受取証文[覚](並松購入代金銀21匁5分受取に付) 小納戸文右衛門→ -	(安政元年)12月28日	切紙・1通	も215-3-25
信州松代紺屋町紙屋忠兵衛金銭受取証文[覚](内山紙購入代金18匁6分受取に付) 信州松代紺屋町紙屋忠兵衛→御奥御薬部屋	(安政元年)寅12月	切紙・1通	も215-3-26
松代伊勢町辰巳屋文吉金銭受取証文[覚](挽抜暮麦購入代金1分ト540文受取に付) 松代伊勢町辰巳屋文吉→上	(安政元年)寅12月30日	横切継紙・1通	も215-3-27
刺物屋金作金銭受取証文[覚](挽抜暮麦購入代金4匁5分受取に付) 刺物屋金作→磯田小藤太様御内御役人衆中様	(安政元年)寅12月	切紙・1通	も215-3-28
信州松代坂屋加兵衛金銭受取証文[覚](半紙等購入代金ノ380匁5分受取に付) 坂屋加兵衛→上	(安政元年)寅12月	横切継紙・1通	も215-3-29
仙田忠左衛門金銭請取并金銭受渡書[覚](村雨俣等購入代金ノ金3両3分3匁7分5厘銭681文に付) 仙田忠左衛門→ -	(安政元年)寅12月	横切継紙・1通	も215-3-30
菊池善三郎金銭受取証文[覚](奉分紙等購入代金ノ301文受取に付) 菊池善三郎→仙田忠左衛門様	(安政元年)寅12月29日	切紙・1通	も215-3-31
信州松代西木町現金屋祖吉金銭受取証文[覚](はい購入代金1分銭148文受取に付) 信州松代西木町現金屋祖吉→上	(安政元年)寅12月	横切継紙・1通	も215-3-32
(服部敬順矢代宿付近入料書類一綴 嘉永7年11月～安政2年正月)		紙縫綴・18点	も215-4
矢代宿御本陣柳澤源左衛門金銭受取証文[覚](25日朝御上様御1人100文等ノ2貫782文賄代受取に付) 矢代宿御本陣柳澤源左衛門→上	(嘉永7年)寅11月26日	横切継紙・1通	も215-4-1
矢代宿御本陣柳澤源左衛門金銭受取証文[覚](御肴代・御酒代ノ824文受取に付) 矢代宿御本陣柳澤源左衛門→上	(嘉永7年)寅11月25日	横切継紙・1通	も215-4-2
矢代宿問屋源左衛門金銭受取証文[覚](人足六人代金436文受取に付) 矢代宿問屋源左衛門→ -	(嘉永7年)11月25日	横切継紙・1通	も215-4-3
矢代宿御本陣柳澤源左衛門金銭受取証文[覚](わらし等購入代金ノ378文) 矢代宿御本陣柳澤源左衛門→上	(嘉永7年)寅11月25日	横切継紙・1通	も215-4-4
矢代宿柳澤源左衛門金銭受取証文[覚](御茶代金100疋受取に付) 矢代宿柳澤源左衛門→上	(嘉永7年)寅11月25日	切紙・1通	も215-4-5
矢代宿松崎平左衛門金銭受取証文[覚](御上様御1人様賄代	(安政元年)寅12月7日	縦紙・1通	も215-4-6

も 1 真田家／病氣・療養／湯治／幸教病氣一件 2 真田家／家職／諸金銭勘定 3 藩政／諸役方／留守居

3匁5分等ノ25匁ト218文受取に付) 矢代宿松崎平左衛門→ -			
矢代宿松崎平左衛門金銭受取証文[覚](御茶代金100疋受取に付) 矢代宿松崎平左衛門→上	(安政元年)寅12月7日	堅紙・1通	も 215-4-7
仙田忠左衛門金銭請取并受渡書[覚](服部敬順弁当代280文受渡に付) 仙田忠左衛門→ -	(安政元年)寅12月	切紙・1通	も 215-4-8
紺屋町伝右衛門申上書[覚](中沢円左衛門殿1賄等ノ14賄差出に付) 紺屋町伝右衛門→御普請方御役所	安政元年寅12月	横切継紙・1通	も 215-4-9
紙屋町名主上野安助金銭受取証文[覚](服部敬順御着の際の人足2人雇賃銭400文受取に付) 紙屋町名主上野安助→上	(安政元年)寅12月	横切紙・1通	も 215-4-10
紺屋町名主織之助金銭受取証文[覚](服部敬順御着の際の人足8人雇賃銭ノ1貫300文受取に付) 紺屋町織之助→上	(安政元年)寅12月	横切継紙・1通	も 215-4-11
現金屋祖吉金銭受取証文[覚](御学校所へ手代兩人罷出相働に付400文雇賃銭受取に付) 現金屋祖吉→上	(安政元年)寅12月晦日	横切継紙・1通	も 215-4-12
伴栄作金銭受取証文并受渡書[覚](服部敬順様御出の節矢代宿迄樋口旗之助様御駕籠人足7人御定賃銭510文受渡に付) 伴栄作→ -	安政2年卯正月	堅紙・1通	も 215-4-13
伴栄作金銭受取証文并受渡書[覚](服部敬順様御出の節御雇人足御雇料ノ銭2貫300文受渡に付) 伴栄作→ -	安政2年卯正月	堅紙・1通	も 215-4-14
仙田忠左衛門金銭受取証文并受渡書[覚](八田慎蔵へ金2両等ノ金8両1分400文受渡に付) 仙田忠左衛門→ -	(安政元年)寅12月	横切継紙・1通	も 215-4-15
仙田忠左衛門金銭受取証文并受取証文[覚](開帳料1分等ノ金1両銭1貫32文受渡に付) 仙田忠左衛門→ -	(安政元年)寅12月	横切継紙・1通	も 215-4-16
後町村深美六三郎金銭受取証文[覚](御茶代金300疋受取に付) 後町村深美六三郎→仙田忠左衛門様・大木伊左衛門様	(安政元年)12月	横切継紙・1通	も 215-4-17
後町村深美六三郎金銭受取証文[覚](御上下17人御賄料金3分2朱受取に付) 後町村深美六三郎→仙田忠左衛門様・大木伊左衛門様	(安政元年)12月	切紙・1通	も 215-4-18

2 真田家／家職／諸金銭勘定

新御殿御家庶務伺書[古御手形御引換之儀御内々伺] 新御殿御家庶務→ - 端裏書[奥女中取仕廻置の古手形3分2朱引換願に付]	7月	横切紙・1通	も 134
高田貫之輔金銭受取并受渡書[御受書](金30円一忠等へノ金60円御救助筋歎願に付) 高田貫之輔→真田從四位様御内御令扶御中	明治14年12月29日	横切継紙・1通	も 266

3 藩政／諸役方／留守居

(転切支丹宗門御届受取書一括 文化8年10月～文政3年10月)		包紙一括・15点	も 68
[宗門御届受取書 十四通](包紙) 朱書「ぬ印」		包紙・1点	も 68-1
[転切支丹類族婚儀病死御届受取切手](包紙)(宗門御改御証文受取に付) 包内未開封、「石川本之助相勤」	文化10年酉12月26日	包紙(内未開封)・1点	も 68-2
[宗門御改御年番水野若狭守様へ御届御証文石川新八持参御同人様御用人野村与兵衛より受取書取罷帰差出候付仕廻置候様御用番望月頼母殿被仰渡](包紙)(宗門御改御証文受取に付) 包内未開封	文化9年申10月26日	包紙(内未開封)・1点	も 68-3

[宗門御改御年番岩瀬加賀守様え御届御証文鈴木弥左衛門持参御同人様御用人中野又兵衛より請取書取罷帰差出候付仕廻置候様御用番大熊衛士殿被仰渡](包紙)	文化8年未10月26日	包紙・1点	も68-4-1
岩瀬加賀守内中野又兵衛受取書(宗門御改御証文1通に付) 岩瀬加賀守内中野又兵衛→真田彈正忠様御使者鈴木弥左衛門殿	(文化8年)未10月26日	堅切紙・1通	も68-4-2
[宗門御改御年番水野若狭守様え御届御証文石川本之助持参御同人様御用人野村門右衛門より請取書取罷帰差出候付仕廻置候様御用番大熊衛士殿被仰渡](包紙)	文化10年酉10月27日	包紙・1点	も68-5-1
水野若狭守内野村門衛門受取書(宗門御改御証文1通に付) 水野若狭守内野村門衛門(ママ)→真田彈正忠様御使者石川本之助殿	(文化10年)酉10月27日	堅切紙・1通	も68-5-2
[軋切支丹親族名改婚儀之御届水野若狭守様え鈴木弥左衛門持参右御御用人永井潤蔵を以指出右同人より之受取右弥左衛門持参指出](包紙)(宗門御改御証文受取に付) 包内未開封	文化11年戌12月27日	包紙・1点	も68-6
[宗門御改御年番村垣淡路守様え御届御証文石川本之助持参御用人小柳沢東作より受取書取罷帰差出候付仕廻置候様御用番大熊衛士殿被仰渡](包紙、宗門御改御証文受取に付) 包内未開封	文化12年乙亥12月26日	包紙・1点	も68-7
[宗門御改御年番村垣淡路守様え御届御証文石川本之助持参御用人渡辺良輔より受取書取罷帰差出候付仕廻置候様御用番大熊衛士殿被仰渡](包紙、宗門御改御証文受取に付) 包内未開封	文化12年乙亥10月26日	包紙・1点	も68-8
[宗門御改御年番水野若狭守様え御届御証文石川新八持参御用人永井潤蔵より受取書取罷帰差出候付仕廻置候様御用番望月隼人殿被仰渡](包紙、宗門御改御証文受取に付) 包内未開封	文化11年戌11月11日	包紙・1点	も68-9
[宗門御改御年番水野主殿頭様え御届御証文石川新八持参御同人組御用人大河原源兵衛より受取書取罷帰差出候二付仕廻置候様御用番矢沢将監殿被仰渡](包紙、宗門御改御証文受取に付) 包内未開封	文政2年己卯10月26日	包紙・1点	も68-10
[宗門御改御年番水野主殿頭様え御届御証文石川本之助持参御用人長井潤蔵より受取書取罷帰差出候二付仕廻置候様御用番矢沢将監殿被仰渡](包紙)	文化13年子10月26日	包紙・1点	も68-11-1
水野主殿頭内長井潤蔵受取書(宗門御改御証文1通に付) 水野主殿頭内長井潤蔵→真田彈正大弼様御使者石川本之助殿	(文化13年)子10月26日	堅切紙・1通	も68-11-2
[宗門御改御年番村垣淡路守様え御届御証文石川新八持参御用人渡辺良輔より受取書取罷帰差出候付仕廻置候様御用番真田志摩殿被仰渡](包紙)(宗門御改御証文受取に付) 包内未開封	文化14年丑10月26日	包紙・1点	も68-12
[宗門御改御年番村垣淡路守様え御届御証文鈴木弥左衛門持参御用人小川東作より受取書取罷帰差出候付仕廻置候様御用番真田志摩殿被仰渡](包紙)(宗門御改御証文受取に付) 包内未開封	文化14年12月22日	包紙・1点	も68-13
[宗門御改御年番水野主殿頭様え御届御証文小松文治持参御用人大河原仙左衛門より受取書取罷帰差出候付仕廻置候様御用番大熊衛士殿被仰渡](包紙)(宗門御改御証文受取に付) 包内未開封	文政元年戊寅10月26日	包紙・1点	も68-14
[宗門御改御年番臼井筑前守様え御届御証文鈴木弥左衛門持参御同人様御用人富川伴左衛門より受取書取罷帰指出候付仕廻置候様大熊衛士殿被仰渡](包紙)(宗門御改御証文受取に付) 包内未開封	文政3年辰10月26日	包紙・1点	も68-15
[嘉永七甲寅年十月廿六日遠山隼人正様二而切支丹宗門御証文請取書](包紙)	嘉永7年甲寅10月26日	包紙・1点	も64-1
遠山隼人正内堀七郎兵衛受取書(宗門御改御証文1通受取に付) 遠山隼人正内堀七郎兵衛→真田信濃守様御使者藤田繁之丞殿	(嘉永7年)寅10月26日	堅切紙・1通	も64-2

4 藩政／郡方／郡奉行・御勝手元

蓮乗寺鑑司願書[口上覚](田中村御安口勇蔵当寺御除地荒町村分外田町に家作したき旨に付) 蓮乗寺鑑司→御郡御奉行所	寛政2年戊10月	縦紙・1通	も 52
[文化三丑六月十九日寺社御奉行脇坂中務太輔様江御留守居被御呼出御領分水内郡さいまた村多平娘ふく義二付右母当時人別二加之有無御尋之被仰渡書付](包紙) 朱筆「忒ろ」	文化2年丑6月	包紙・1点	も 69-1
某仰渡書(水内郡さいまた村多平娘ふく跡株七兵衛方人別へ加えるか否かの旨等七兵衛・親類惣左衛門へ聞糺しに付)	(文化2年丑6月)	横切継紙・1通	も 69-2
(御領分の者村方人別除に付町奉行筒井和泉守御尋書付綴 文政4年9月)		紙綴綴・2点	も 32
町奉行筒井和泉守書付写(南品川貴船門前長蔵店八郎左衛門御領分埴科郡森村百姓にて身上向不如意申立のため村方人別除にても御領分差障ないか御尋に付) (町奉行筒井和泉守)→ -	(文政4年)巳9月	縦紙・1通	も 32-1
[町御奉行筒井和泉守様より本御領分之者之由当時南品川長蔵店八郎左衛門御領分差障無之哉御尋書付写](包紙)	文政4年巳9月29日	包紙・1点	も 32-2
(去ル丑年以来村々分家人別御勝手方御尋に付書類一括 文政5年3月)		封筒一括・5点	も 53
[去ル丑年以来村々分家人別御勝手方御尋ニ付書上扣封置](封筒)	文政5年午3月	封筒・1点	も 53-1
恩田頼負伺書(丑年村々向後分家の際は分量に応じ引分け支配御代官へ願出取計るべき旨申渡し以来願出村数に付) 恩田頼負→金井左源太殿(町奉行・郡奉行・勝手方元兼帯) も 53-2～5紙綴綴	文政5年午3月4日	横折紙・1通	も 53-2
金井左源太申上書[覚](領内別家人別取調に付) (金井左源太)→ -	(文政5年)午3月15日	横切継紙・1通	も 53-3
金井左源太申上書(領内別家人別取調追加に付) (金井左源太)→ -	(文政5年)3月16日	横折紙・1通	も 53-4
金井左源太申上書[覚](領内別家人別取調に付) (金井左源太)→ -	(文政5年)午3月18日	横折紙・1通	も 53-5
(村々への困穀命令関連書類一括 文政6年6月)		包紙一括・5点	も 284
[村々江凶年手充米穀其外困方之儀触示并伺書面共出置](包紙)	文政6年未6月	包紙・1点	も 284-1
御郡方伺書(凶年困夫食の儀心得違無く取計出来ているか取調方の儀に付) 御郡方→ - 下ヶ礼あり	(文政6年未)6月	横切継紙・1通	も 284-2
恩田頼負申渡書(別紙伺の通村々に申渡すようにとのことに付) 恩田頼負→御郡奉行中	(文政6年)6月25日	横切継紙・1通	も 284-3
恩田頼負書状(本文附札触示下書見せるようにとのことに付) 恩田頼負→岡嶋莊蔵殿	(文政6年)6月20日	横切継紙・1通	も 284-4
御郡方申渡書(凶作へ米・雑穀等困置ようにとの旨に付) 御郡方→ - 端裏書「村々江触示下案奉入御覧候」	(文政6年)未6月	横切継紙・1通	も 284-5
(御上様改名御祝儀関連書類一綴 天保7年12月～天保8年5月)		紙綴綴・4点	も 279
恩田頼母申渡書(御改名付に座頭・盲女・非人共へ御祝儀下さ儀伺の通頂戴とのことに付) 恩田頼母→金児丈助殿(郡奉行)	8月16日	切紙・1通	も 279-1

金児丈助伺書(地座頭盲女共1人に付鳥目100文宛48人に付) 金児丈助→・ 端裏書「御改名ニ付座頭御祝儀頂戴仕度旨伺」	8月	横切紙・1通	も 279-2
御買物役伺書[覚](三小屋非人39人へ1人に付5合宛ノ下白 米1斗9升5合に付) 御買物役→・ 裏に金児丈助伺書貼紙付	6月28日	切紙・1通	も 279-3
道橋附林太兵衛申上書[覚](御水道方御入料樋6挺羽尾御林 より御伐出相違なき旨に付) 道橋附林太兵衛→水道方御役所 端裏書「道橋方手附」	天保2年卯8月	横切紙・1通	も 198
座元山石他四十七名申上書[乍恐以書付奉願候](御上様恐 悦に付地の座頭盲女共御祝儀頂戴に付) 座元山石(爪印)・ 常(筆印)・谷(筆印)他45名→御郡御奉行所	天保8年酉5月	縦継紙・1通	も 279-4
大英寺野中類組御借主伝左衛門他三名金銭受取証文[御用 金御請一札之事](渡世差支に付下ケ金受取に付) 大英寺 野中類組御借主伝左衛門・親類惣代藤兵衛・組合惣代久五郎他1名/ 大英寺野中嘉吉・親類惣代元吉・組合惣代仙吉他1名→近藤権右衛門 殿	嘉永4年亥正月	横切継紙・1通	も 185
(郡奉行岡嶋莊藏宛小松文治書状一括)(包紙) 小松文治→岡 嶋莊藏様		包紙・1点	も 270-1
小松文治書状(小十郎一件の儀に付) 小松文治→岡嶋莊藏様	7月7日	横切継紙・1通	も 270-2
(包紙) 小松文治→岡嶋莊藏様		包紙・1点	も 271-1
小松文治書状(家内取続出来申さざる儀に付) 小松文治→岡 嶋莊藏様	2月9日	横切継紙・1通	も 271-2
(包紙) 小松文治→岡嶋莊藏様		包紙・1点	も 272-1
小松文治書状(金子引当もないとのことに付) 小松文治→岡 嶋莊藏様	4月4日	横切継紙・1通	も 272-2
松山源左衛門書状(西村三郎兵衛および小十郎の若気の心 得違に付) 松山源左衛門→岡嶋莊藏様・金井荒太様	8月4日	横切継紙・1通	も 273
(岡嶋莊藏宛小松文治書状一綴)		包紙一括・4点	も 274
(包紙) 小松文治→岡嶋莊藏様		包紙・1点	も 274-1
小松文治用状(此2朱4分とのことに付) 小松文治→岡嶋莊藏様 も 274-2～4紙綴綴		切紙・1通	も 274-2
小松文治書状(明日館出立の由にて少々品の差上に付) 小 松文治→岡嶋莊藏様	2月6日	横切継紙・1通	も 274-3
小松文治書状(御長屋替拜命願に付) 小松文治→岡嶋莊藏様	2月2日	横切継紙・1通	も 274-4

5 藩政／郡方／寺社／白鳥宮

(白鳥御遠忌施行関連書類綴)		封筒一括・9点	も 256
[白鳥御遠忌付御施行被下等之事](封筒) 訂正貼紙付	文政6年末	封筒・1点	も 256-1
(長寿寺施行関係書類綴)		紙綴綴・7点	も 256-2
岡野弥左衛門申上書[口上覚](暮し方難儀の70才以上の男 女ノ12名書上に付) 岡野弥左衛門→・ 虫損	5月	横切継紙・1通	も 256-2-1
師田幾五郎申上書[覚](70歳以上の男女人数33人1人に付1 俵宛等に付) 師田幾五郎→・ 虫損	7月	切紙・1通	も 256-2-2
某用状(矢代村林右衛門借屋甚八在命の者を病死と書上て しまったので御施行米を下されるようにとのことに付) 虫損		切紙・1通	も 256-2-3
某用状(矢代村甚八玄米1俵支給に付)		切紙・1通	も 256-2-4

某用状(大豆島村地藏堂守栄旭への米1俵支給に付)	切紙・1通	も 256-2-5
某用状(開善寺尼137人に付)	切紙・1通	も 256-2-6
某用状(西条村貞運玄米1俵支給に付)	切紙・1通	も 256-2-7
某用状[独身七十以上之者](寺町証蓮寺地中しん末75歳等 ✕ 32人書上に付)	横長半・1冊	も 256-3

6 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

下越村名主惣三郎他四名願書[乍恐以口上書奉願候御事] (御百姓7人相続のため助力願に付) 下越村名主惣三郎・組頭 嘉左衛門・長百姓平兵衛他2名→御代官所 訂正貼紙付	文政元年寅6月	縦継紙・1通	も 263
(八幡村難渋人関連書類一括)		紙縫一括・9点	も 267
(紙縫)		紙縫・1点	も 267-1
某用状(八幡村名主常右衛門他6人名面書)		切紙・1通	も 267-2
八幡村丹治他二名申上書[乍恐御尋付以口上書奉申上候御 事](難渋御手入のため借家人居日延等閑に付) 八幡村丹 治・名主常右衛門・長百姓七兵衛→御郡御奉行所 訂正貼紙付	文政6年末10月	縦継紙・1通	も 267-3
八幡村御願人丹治他六名願書[乍恐以口上書奉願候御事] (当村丹治去々年中立家引崩に付物置に御差置下さるよ うにとのことに付) 八幡村御願人丹治・親類栄吉・組合米蔵他4 名→御代官所 端裏書「八幡村丹治」、訂正貼紙付	文政6年末6月	縦継紙・1通	も 267-4
八幡村瀬兵衛他五名申上書[乍恐御尋ニ付以口上書奉申上 候御事](去々年中より御手入により居屋敷売払等閑の件 に付) 八幡村瀬兵衛・親類甚右衛門・新之丞他3名→御郡御奉行所	文政6年末10月	縦継紙・1通	も 267-5
八幡村御願人瀬兵衛他六名願書[乍恐以口上書奉願候御事] (百姓相続のため当村瀬兵衛の諸道具並びに居家副置き に付) 八幡村御願人瀬兵衛・組合九之丞・名主常右衛門他4名→御 代官所 端裏書「八幡村瀬平」、訂正貼紙付	文政6年末6月	縦継紙・1通	も 267-6
八幡村御願人新之丞他六名願書[乍恐以口上書奉願候御事] (百姓相続のため当村瀬兵衛の諸道具並びに居家副置き に付) 八幡村御願人新之丞・親類甚右衛門・組合権三郎他4名→御 代官所 端裏書「八幡村新之丞」	文政6年末6月	縦継紙・1通	も 267-7
師田幾五郎申上書[覚](瀬兵衛へ1俵4斗6升6合7勺他八幡村 2名の者御手当頂戴に付) 師田幾五郎→ -	(文政6年)8月	切紙・1通	も 267-8
師田幾五郎申上書(八幡村丹治・瀬兵衛・新之丞3人の者去々 巳年難渋人別の内持地・借地取調に付) 師田幾五郎	(文政6年)6月	横長半・1冊	も 267-9
大塚村西組政五郎他二名願書[乍恐以書付奉願候](帳下の 者難渋のため唯今通りの帳下受合判にて高5石以上所持 の者新判をもって頭判とすべき趣領内一統御触れくださ るべき旨に付) 大塚村西組右分帳下受合判人別無印形二而爪印 政五郎(爪印)・孫左衛門(爪印)・要吉(爪印)→御上様	文政7年申4月	縦継紙・1通	も 62
枋原村平村名主平左衛門他二名申上書[乍恐以口上書申上 候](当村佐左衛門御手当大麦1俵2斗5升支給ののち病死 に付) 枋原村平組名主平左衛門・組頭友市・長百姓茂右衛門→御 郡御奉行所 も 276-1.2紙縫綴	文政9年戌12月	縦紙・1通	も 276-1
枋原村平村名主平左衛門他二名申上書[乍恐以口上書申上 候](当村佐左衛門病死に付) 枋原村平組名主平左衛門・組頭 友市・長百姓茂右衛門→水井忠蔵様・宮下友之丞様	文政9年戌12月	縦紙・1通	も 276-2
政右衛門願書[乍恐以口上書奉願候](御厩町甚左衛門忤仁 兵衛私方に同居差置たき旨に付) 殿町御用地政右衛門→御 蔵御役所	文政10年亥5月	縦紙・1通	も 51

(千田村凶作夫食関連書類一綴 文政10年12月)		紙縫綴・2点	も285
千田村名主良左衛門他八名願書[乍恐以書付奉願候御事] (去る酉年凶作に付大麦45俵夫食拝借の節役人取計わず 不調法の儀に付) 千田村名主良左衛門・組頭治兵衛・長百姓七右 衛門他6名→御郡御奉行所 訂正のための貼紙	文政10年亥12月	縦継紙・1通	も285-1
千田村名主良左衛門他八名願書[乍恐以書付奉願候御事] (去る酉年凶作に付大麦45俵夫食拝借当亥年より来卯年 迄御年賦にて上納するとのことに付) 千田村名主良左衛 門・組頭治兵衛・長百姓七右衛門他6名→御郡御奉行所 端裏に金井 左源太貼紙付	文政10年亥12月	縦継紙・1通	も285-2
(瀧村右源太悴正作久離関係書類一括)		包紙一括・4点	も67
[瀧村右源太悴正作町奉行所江久離御届御書替 一通](包 紙)	天保3年辰7月	包紙・1点	も67-1
[町御奉行所御書替 瀧村右源太悴正作久離御断 町御奉 行榊原主計頭様](封筒)	天保3年辰7月	封筒・1点	も67-2
[御書替 壱通](包紙)		包紙・1点	も67-3
(瀧村右源太悴正作不埒もののため久離願御達の旨断書)	天保3年辰7月23日	縦紙・1通	も67-4
西条村平左衛門他五名届書[乍恐以書付御訴申上候](大岡 和平組与三郎水死のため職同心見分ののち死人取置き の旨仰付に付) 西条村名主平左衛門他2名・大岡和平組名主小右衛 門他2名→御郡御奉行所 端裏書「西条村和平組」	天保5年午7月19日	縦継紙・1通	も57
(水内村田地譲渡関連書類一綴 天保5年12月～天保6年5 月)		紙縫綴・6点	も269
赤田村吉郎兵衛申上書[乍恐以書付奉申上候](先年の水内 村への借金難渋にて滞に付) 赤田村吉郎兵衛→御勘定御元ノ 御役所 裏打済、虫損	天保5年午12月	縦継紙・1通	も269-1
水内村平組藤右衛門他二十三名申上書[乍恐以書付奉申上 候](赤田村吉郎兵衛よりの借入金返済難渋に付土地譲渡 に付) 水内村平組藤右衛門・名主伝兵衛・同村安用組組頭岩右衛 門他21名→御勘定御元ノ御役所 裏打済、虫損	天保5年午12月	縦継紙・1通	も269-2
水内村平組藤右衛門他十一名土地譲渡証文[御田地譲渡人 別証文之事](高1石3斗讓主藤右衛門他11名分ノ高12石5 斗7升譲渡に付) 水内村平組藤右衛門・喜源太・幸治郎他9名ノ (奥印)名主伝兵衛・組頭茂左衛門・長百姓孫右衛門他2名→赤田村吉 郎兵衛殿 裏打済、虫損	天保5年午12月	縦継紙・1通	も269-3
水内村安用組勇吉他3名土地譲渡証文[御田地譲渡人別証文 之事](高1石讓主勇吉他3名分ノ高2石9斗譲渡に付) 水内 村安用組勇吉・専蔵・要左衛門他1名ノ(奥印)名主三右衛門・組頭岩右 衛門・長百姓文左衛門他2名→赤田村吉郎兵衛殿 裏打済、虫損	天保5年午12月	縦継紙・1通	も269-4
水内村安用組名主甚五兵衛他十一名申上書[差上申御請一 札之御事](当村人別御高辻の内入上初にて赤田村吉郎兵 衛へ譲渡に付) 水内村安用組名主甚五兵衛・組頭権之丞・長百姓 三右衛門他9名→片桐重之助様・宮原繁之助様・田中佐右衛門様 裏 打済、虫損	天保6年末5月	縦継紙・1通	も269-5
水内村安用組長百姓三右衛門他二十七名申上書[差上申一 札之御事](御用地はまで所持致してきた人別に御小作請 仕りたいとの願に付) 水内村安用組長百姓三右衛門・平組名主 孫右衛門・持主藤右衛門他25名→片桐重之助様・宮原繁之助様・田中 佐右衛門様 裏打済、虫損	天保6年末5月	縦継紙・1通	も269-6
(三輪村友右衛門等上納玄米納方不埒に付吟味御仕置一件 書類一括 天保7年7月～10月)		封筒一括・5点	も41
[三輪村友右衛門弥惣五郎村摺玄米納之内不正之取捨相納 候付御蔵奉行申立有之付吟味之上咎申渡且組頭富左衛門 義役人并納主兼罷出候二付右之者も咎筋申付候伺書類共 封置](封筒) 岡嶋莊蔵	天保7年申7月29日	封筒・1点	も41-1

も 6 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

三輪村友右衛門他七名請書〔乍恐以書付御請一札奉差上候〕 (三輪村友右衛門等玄米納方不正のため過怠夫・過料の旨仰渡に付) 三輪村友右衛門・親類組合兼藤左衛門・弥惣五郎他5名 →御郡御奉行所 端裏書〔十月廿九日申渡請書 三輪村友右衛門 弥惣五郎〕	天保7年申10月29日	豎継紙・1通	も 41-2
(三輪村友右衛門等上納玄米不埒に付返答書綴)		紙縫綴・2点	も 41-3
三輪村友右衛門他五名申上書〔御尋ニ付乍恐以書付御答申 上候〕(御尋のため御上納玄米に悪米取交ぜ取捨え不埒の 取計りの有体御答に付) 三輪村友右衛門・親類藤左衛門・組合 市左衛門他3名／(奥印)名主源之丞・組頭仮役源十郎・長百姓直左衛 門→御郡御奉行所 貼紙〔追而御下可被成下候 九月 岡嶋莊藏〕	天保7年申9月	豎継紙・1通	も 41-3-1
三輪村富左衛門他二名申上書〔御尋ニ付乍恐以書付御答申 上候〕(御尋のため友右衛門・弥惣五郎悪米取捨え不吟味 にて上納の段御答に付) 三輪村富左衛門・親類彦右衛門・組合 常左衛門／(奥印)名主源之丞・組頭仮役源十郎・長百姓直左衛門→御 郡御奉行所	天保7年申9月	豎継紙・1通	も 41-3-2
岡島莊藏他二名伺書〔口上覚〕(三輪村友右衛門其外之者共 御仕置筋に付) 寺内多宮・岡島莊藏・金児丈助→ 付紙、下ケ 札あり、端裏書〔三輪村友右衛門其外之者共御仕置筋伺〕	(天保7年)9月	横切継紙・1通	も 41-4
笹平村名主勇吉願書〔乍恐以口上書御内々御聞置奉願上候〕 (当村極窮に付明春まで粥炊出致したいとのことに付) 笹平村名主勇吉→御代官所	天保7年申12月	豎紙・1通	も 280
山上条村名主清吉他九名申上書〔差上申一札之御事〕(当村 峯組疫病流行に付代わりに御田畑仕付手入致す旨) 山上 条村名主清吉・組頭伝右衛門・同断孫左衛門他7名→宮尾久吾殿 裏 打済、御郡方貼紙付、下ケ札あり	天保8年酉8月	豎継紙・1通	も 277
(山上条村大豆一件綴 天保11年8月～天保12年3月)		紙縫綴・11点	も 151
[山上条村大豆一件](封筒) 安静 虫損	(天保11年)子8月27日	封筒・1点	も 151-1
[山上条村初右衛門子茂兵衛名主要右衛門名前にて御馬飼 料大豆御買上受負御下金請取置納差交付及吟味処申談相 届皆済致し候旨吟味統相願付承済候済口連印書等封置] (封筒) 裏書あり	天保12年戌11月	封筒・1点	も 151-2
(年間大豆17石7斗5升7合5勺納入高書上)		横切継紙・1通	も 151-3
(9月大豆8石2斗3升4合5勺納入高書上)		横切紙・1通	も 151-4
山上条村金兵衛他六名申上書〔乍恐以書付御請申上書〕(冥 加として御馬大豆納入に付) 山上条村亥年組頭金兵衛・亥年 長百姓甚之丞代子甚十郎・茂兵衛合地伊兵衛他4名→御郡御奉行所	天保11年子9月4日	豎紙・1通	も 151-5
山上条村初右衛門他三名願書〔差出シ申一札之事〕(御馬飼 料大豆納方差滞りに付) 山上条村太田組大豆請負初右衛門・合 地請入八郎治・同断伊兵衛他1名→同村亥三役人衆中・当三役人衆中	天保11年子9月	豎継紙・1通	も 151-6
山上条村善兵衛他三名願書〔乍恐以書付奉願上候〕(御馬飼 料大豆納方差滞りに付) 山上条村願人組頭善兵衛・名主龍七・ 組頭銀左衛門他1名→御郡御奉行所	天保12年丑2月	豎継紙・1通	も 151-7
山上条村常八他六名願書〔乍恐以書付御縫り奉願候〕(御馬 大豆一件諸入用の件で御札に付) 山上条村勘右衛門子茂兵 衛親類組合兼常八・八郎治親類組合兼太右衛門・伊兵衛親類組合兼久 兵衛他4名→御郡御奉行所	天保12年丑3月	豎継紙・1通	も 151-8
山上条村勘右衛門他一名申上書〔差出シ申一札之事〕(御馬 大豆一件諸入用の件で取調に付) 山上条村当人勘右衛門・茂 兵衛→合地引受人八郎治殿・村合地同断伊兵衛殿・組頭同断善兵衛殿 下ケ札〔一今般被召出候入用之分不殘私方ニ而急度差出可申候〕	天保12年丑3月	豎継紙・1通	も 151-9
山上条村太右衛門他七名申上書〔乍恐以書付御受申上候〕 (山上条村3名御吟味のため御町宿御預けに付) 山上条村 八郎治親類組合兼太右衛門・伊兵衛親類組合兼久兵衛・勘右衛門子茂 兵衛親類組合兼常八他5名→御郡御奉行所 虫損	天保12年丑3月3日	豎紙・1通	も 151-10

山上条村善兵衛他六名願書〔乍恐以書付済口奉願上候〕(御馬飼料大豆納方差滞りに付) 山上条村願人親類善兵衛・勘右衛門子茂兵衛・合地八郎治他4名→御郡御奉行所 端裏書〔丑十一月済口〕「上条村」	天保12年丑11月	縦継紙・1通	も151-11
小河原村名主作兵衛他九名願書〔乍恐御内々以書付奉願上候〕(今年格別の旱魃にて難渋至極のため御手当支給に付) 小河原村名主作兵衛・同源左衛門・同常八他7名→御勘定所御元ノ御役所 訂正貼紙付	天保15年辰9月	縦半・1冊	も265
(風間村本新田高古水帳高等取調関係書類綴)		紙縫綴・2点	も56
[元禄十五年午十月日当組惣高辻之内有人別](風間村上組分新検地高辻人別取調書写並びに同村上下組本田新田高古水帳と引合せ勘定書) 風間村西組 (元禄15年作成・佐藤吉右衛門他3名・添付勘定書の表紙貼付、表紙「風間村三組」)	安政2年卯	縦半・1冊	も56-1
(文政3・4年風間村本田新田高取調書)		縦半・1冊	も56-2
[伊勢町増田徳左衛門并養父孫兵衛等一件書類入](袋)	安政3年辰4月	袋・1点	も11
市村南組要右衛門内々申上書並びに雛形〔乍恐以書付御内々奉申上候〕(人詰帳面形式御尋のため帳面控え取調並びに安永年中までの雛形添付に付) 市村南組要右衛門 (裏面に延宝4年12月付舟場役代勤候証文之事写あり)	文久元年酉6月	縦半・1冊	も65
下御安口肝煎富五郎申上書〔引取一札之事〕(東條村東光寺旦那倉吉他1名引越人別送りに付) 下御安口竜泉寺抱屋敷肝煎富五郎→一場茂右衛門様御内清水重左衛門様	文久2年戌2月	縦紙・1通	も66
(網掛堰組合他臨時自普請に付人足・杓木数見積り書抜留)		横長半・1冊	も29
文右衛門申上書(吉窪村藤内行方知れず永尋の者の旨等に付) 文右衛門→ - 端裏書〔此程御尋之儀申上〕	7月3日	横切継紙・1通	も36
某用状(御領内鰥寡孤独の者等穿鑿勘定役掛り申渡のため詮議の上是迄の振合にて取計るべき旨に付)	8月7日	横切紙・1通	も37
某用状〔武靖大明神御遠忌御祭礼のため町町外70歳以上独身男女へ玄米1俵施行者名面〕 端裏書〔町町外七十歳以上独身之者江御施行被下候名面〕	5月28日	横切継紙・1通	も54
伊藤佐右衛門〔昌禅寺代僧口上覚〕(入山村犬飼組隆三郎潰れの件帳頭方広庵請印のところ同寺大病請印延引のため昌禅寺請印引受たき旨等に付) 伊藤佐右衛門→ -	8月2日	横切継紙・1通	も55
磯田音門他三名申上書(90歳以上の者の内去年中死去の者取調に付) 磯田音門・成津勘左衛門・佐藤為之進他1名→ - 端裏書〔去卯年中九十歳以上之者死去仕候段申上〕	(辰)正月8日	横切継紙・1通	も63
(調達金金主・金高等取調帳) 青罌紙使用		縦半・1冊	も84
(御尋返答等関連書類綴)		紙縫綴・6点	も255
某用状(親類共助力不可能難渋との歎願に付)		切紙・1通	も255-1
某用状(赦免許可まで返済方片づかざるため丹波島村よりの金子にて家内扶助に付)		横切継紙・1通	も255-2
某申上書(御足輕39人御増人に付)		横切継紙・1通	も255-3
某伺書(伊東栄治伺いの柿崎喜作預所掛と逼方御勘定役兼帯の御手当に付)		横切継紙・1通	も255-4
某用状(御納戸の方銭両替上納と支払を均等する件の見込に付) 訂正貼紙付		切紙・1通	も255-5
某申上書(逗留中の拝借金に付)	9月23日	切紙・1通	も255-6
町田源左衛門申上書(町川田村金十郎難渋に付御救願に付) 町田源左衛門→ - 端裏書〔口上覚〕	10月晦日	横切継紙・1通	も259
(大塚村御手当初処罰関連書類一綴)		紙縫綴・5点	も275

も 6 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調 7 藩政／郡方／村町方／村々諸手当

小林小助伺書(文化10酉年大塚村西組源八ら持高水損に付御手当等同に付) 小林小助→ - 一部虫損	12月	横切継紙・1通	も 275-1
某用状(東組栄太郎手鎖押込30日等書上に付)		切紙・1通	も 275-2
某用状(大塚東組御手当初の内30俵引上等に付)		切紙・1通	も 275-3
某用状(大塚東組栄太郎手鎖押込30日等に付)		切紙・1通	も 275-4
某用状(東組栄太郎手鎖押込30日等に付)		切紙・1通	も 275-5

7 藩政／郡方／村町方／村々諸手当

(難渋者御手当金関連書類一括 文政元12月～文政2年2月)		巻込一括・9点	も 268
東和田村名主惣八他二名申上書[差上申一札之事](当村御百姓の内難渋の者共へ初43俵御手当に付) 東和田村名主惣八・組頭藤左衛門・長百姓斧右衛門→御代官所 訂正貼紙付	文政元年寅12月	縦紙・1通	も 268-1
北平林村名主清左衛門他二名申上書[差上申一札之事](当村御百姓の内難渋の者共へ初15俵御手当に付) 北平林村名主清左衛門・組頭彦左衛門・長百姓惣兵衛→御代官所	文政元年寅12月	縦紙・1通	も 268-2
下越村名主惣三郎他二名申上書[指上申一札之御事](当村御百姓の内難渋の者共へ初100俵御手当に付) 下越村名主惣三郎・組頭嘉左衛門・長百姓平兵衛→御代官所	文政元年寅12月	縦継紙・1通	も 268-3
牧田中村名主三左衛門他二名申上書[指上申一札之御事](当村御百姓の内難渋の者共へ初53俵御手当に付) 牧田中村名主三左衛門・組頭清四郎・長百姓蔵兵衛→御代官所	文政元年寅12月	縦継紙・1通	も 268-4
下高田村名主市郎兵衛他二名申上書[差上申一札之御事](当村御百姓の内難渋の者共へ初78俵御手当に付) 下高田村名主市郎兵衛・組頭専六・長百姓吉兵衛→御代官所	文政元年寅12月	縦紙・1通	も 268-5
腰村名主伝右衛門他二名申上書[差上申一札之御事](当村御百姓の内難渋の者共へ初16俵御手当に付) 腰村名主伝右衛門・組頭利右衛門・長百姓重蔵→御代官所	文政元年寅12月	縦紙・1通	も 268-6
田野口村名主利右衛門他二名申上書[差上申一札之御事](当村御百姓の内難渋の者共へ初12俵1斗2升8合御手当に付) 田野口村名主利右衛門・組頭常右衛門・長百姓勇七→御代官所	文政元年寅12月	縦紙・1通	も 268-7
北高田村名主伊兵衛他二名申上書[差上申一札之御事](当村御百姓の内難渋の者共へ初217俵御手当に付) 北高田村名主伊兵衛・組頭善右衛門・長百姓喜左衛門→御代官所	文政2年卯2月	縦継紙・1通	も 268-8
仙仁村名主小兵衛他二名申上書[差上申一札之御事](甚七長寿御手当に付初3俵頂戴に付) 仙仁村名主小兵衛・組頭大蔵・長百姓要右衛門→御代官所	文政元年寅12月	縦紙・1通	も 268-9
西和田村名主小左衛門他三名拝借証文[差上申拝借証文之御事](ノ金46両3匁6分6厘拝借金返納滞りのため吉沢十郎様詮議にて格別の取計に付) 西和田村名主小左衛門・組頭弥七・長百姓兵右衛門他1名ノ(奥印)吉沢十助→御勘定所拝借御掛御役所 訂正貼紙付	文政2年卯11月	縦継紙・1通	も 278
某用状(御手御支配長寿人別迅速取調依頼に付 3月～4月) □蔵→番場様	12月9日	横切継紙・1通	も 38
(長寿御手当関連書類一綴)		紙綴綴・3点	も 260
成沢文治用状(橋詰村清右衛門叔母長寿御手当初3俵に付) 成沢文治→ -	9月	切紙・1通	も 260-1
某用状(押鐘村文右衛門へ3俵とのことに付)		切紙・1通	も 260-2
保崎莊助用状(小河原村稲田組藤蔵母長寿御手当初3俵に付) 保崎莊助→ -		切紙・1通	も 260-3

8 藩政／郡方／山林

小布施村関谷宗吾願書[乍恐以書付申上候御事](小布施村栗林の内伊勢林の御料所福原村庄右衛門所持地所有権争いに付) 小布施村関谷宗吾→佐藤軍治様御役所 訂正貼紙付、付箋あり	安永2年巳5月	縦継紙・1通	も209
小布施村関谷宗吾願書[乍恐以書付御内々申上候御事](小布施村栗林の内伊勢林の高請に付) 小布施村関谷宗吾→佐藤軍治様御役所 訂正貼紙付、付箋あり	安永2年巳5月	縦継紙・1通	も210
(山崎瀬左衛門山方見廻り関連書類綴 文政5年閏正月～文政6年12月)		包紙一括・49点	も213
[白鳥御宮御番人山崎瀬左衛門漆の木御益筋申立候付段々詮議申立之上右掛勤中支配被仰渡候一件其外書類入](包紙) 御郡方→ -	文政5年午4月	包紙・1点	も213-1
[口上覚](包紙) 山崎瀬左衛門→ - 貼紙付、「忝」との貼紙付	文政5年午	包紙・1点	も213-2
白鳥御番人山崎瀬左衛門申上書[口上覚](御領内所々野山漆の木沢山建居年々刈取御用に相立たいとのことに付) 山崎瀬左衛門→御普請御奉行所	(文政5年)閏正月	横切継紙・1通	も213-3
上村何右衛門内々伺[口上覚](瀬左衛門とその倅莊藏へ白鳥御番人と漆木見廻り役を兼帯で勤めさせるべきとのことに付) 上村何右衛門→ - 「忝」との貼紙付	(文政5年)閏正月	横切継紙・1通	も213-4
(白鳥御番人山崎瀬左衛門植樹稟議関連書類綴 文政5年閏正月～2月) 本紙に上村何右衛門下ケ札と御郡方附札が貼付	(文政5年)	紙綴綴・3点	も213-5
御郡方申上書(山崎瀬左衛門へ漆木見廻役任命に付) 御郡方→ - 「三」との貼紙付	(文政5年)閏正月20日	横切継紙・1通	も213-5-1
上村何右衛門下ケ札(本文の了解に付) 上村何右衛門→ -	(文政5年)2月	横切継紙・1通	も213-5-2
御郡方附札(山崎瀬左衛門御領内山地漆の木見廻役申渡に付御普請方より当御役支配へ引渡に付)	(文政5年)2月	横切継紙・1通	も213-5-3
恩田靱負書状(別紙附札の趣普請奉行不承知に付) 恩田靱負→鹿野外守殿 「四」との貼紙付	(文政5年)2月晦日	横切継紙・1通	も213-6
上村何右衛門書状(申上の趣を心得取計依頼に付) (上村)何右衛門→御郡方様	(文政5年)2月晦日	横切継紙・1通	も213-7
某用状下書(御領内野山漆の木留木申付に付) 訂正貼紙付、墨にて訂正あり	(文政5年)	縦紙・1通	も213-8
某用状(御領内所々野山漆の木沢山立居御用の旨並びに瀬左衛門父子見廻役兼役申渡とのことに付)	(文政5年)	横切継紙・1通	も213-9
某伺書(村々へ漆運上徴収しない申渡に付) 訂正貼紙付、「三」との貼紙付	(文政5年)3月	横切継紙・1通	も213-10
[口上覚](包紙) 山崎瀬左衛門 「忝」との貼紙付、「瀬左衛門差出候書面三通 御郡方」との貼紙付	(文政5年)	包紙・1点	も213-11
山崎瀬左衛門申上書[口上覚](御領内何方を廻村と問合に付保科村より倉科村辺の野山を見分すること等に付) 山崎瀬左衛門→御郡御奉行所 訂正貼紙付	(文政5年)3月	横切継紙・1通	も213-12
山崎瀬左衛門申上書[口上覚](先達て申立の漆育方育成場所等に付) 山崎瀬左衛門→御郡方御奉行所	(文政5年)3月	横切継紙・1通	も213-13
山崎瀬左衛門申上書[御尋ニ付左ニ御答申上候口上覚](近所見廻りの節は弁当・遠村見廻りの節は村賄拜命願に付) 山崎瀬左衛門→ -	(文政5年)3月	横切継紙・1通	も213-14
某申渡書(惣ての村々迷惑のないよう見廻すべきに付)	(文政5年)3月	横切継紙・1通	も213-15

も 8 藩政／郡方／山林

恩田靱負書状(山崎瀬左衛門を郡奉行へ引渡すことを御普請奉行へ申渡に付) 恩田靱負→岡嶋莊藏殿 「四」との貼紙付	(文政5年)3月28日	横切継紙・1通	も 213-16
矢野倉惣之進他一名申上書[口上覚](中町与治右衛門漆木手入育成願に付) 矢野倉惣之進・斉藤善九郎→訂正貼紙付、虫損	(文政5年)3月	横切継紙・1通	も 213-17
中町与治右衛門申上書[乍恐御尋付御答申上候御事](商売難渋に付山見廻り役御赦免願に付) 中町与治右衛門→御勘定所御元メ御役所 訂正貼紙付、「式」、端裏に貼紙付	文政5年午3月	縦継紙・1通	も 213-18
白鳥御宮御番人山崎瀬左衛門請書[御請申上候一札之事](御領内所々野山漆木見廻役拝命に付) 白鳥御宮御番人山崎瀬左衛門→御郡御奉行所	(文政5年)午4月	縦紙・1通	も 213-19
山崎瀬左衛門願書[口上覚](廻村山方見廻り秋まで延引願に付) 山崎瀬左衛門→御郡御奉行所 訂正貼紙付	文政5年午5月	縦紙・1通	も 213-20
関屋村名主奥左衛門他一四名願書[乍恐以口上書奉願候御事](御用漆御手入御赦免願に付) 関屋村名主奥左衛門・平林村名主伊左衛門・牧内村名主権蔵他12名→山崎瀬左衛門殿 一部虫損、端裏に貼紙付	文政5年午4月	縦継紙・1通	も 213-21
関屋村名主奥左衛門他十四名願書[乍恐以口上書奉願候御事](御用漆御手入御赦免願の旨を山崎瀬左衛門へ申立に付訴訟) 関屋村名主奥左衛門・平林村名主伊左衛門・牧内村名主権蔵他12名→御郡御奉行所 も184-21の内容と同内容、訂正貼紙付	文政5年午4月	縦継紙・1通	も 213-22
西條村名主又五郎他二名願書[指上申一札之御事](当村草山御年貢の場所へ漆木植樹にて草が減少・難渋に付) 西條村名主又五郎・組頭新左衛門・長百姓伝八→山崎瀬左衛門様 一部虫損、端裏に貼紙付、訂正貼紙付	文政5年午8月	縦継紙・1通	も 213-23
西條村名主又五郎他二名願書[乍恐以口上書御訴申上候御事](当村草山御年貢の場所へ漆木植樹にて草が減少・難渋の旨を山崎瀬左衛門御取立に付訴訟) 西條村名主又五郎・組頭新左衛門・長百姓伝八→御郡御奉行所 も184-23の内容と同内容、訂正貼紙付	文政5年午8月28日	縦継紙・1通	も 213-24
倉科御林主義七他一名申上書[差上申一札之事](倉科村御林の内漆木相応の場所申告に付) 倉科村御林主義七・同断民治→漆御元方御出役様	文政5年午8月	縦紙・1通	も 213-25
森村名主勇右衛門他五名申上[御尋ニ付口上書申上候御事](当7ヶ村組合漆木の所在問合への返答に付) 森村名主勇右衛門・同断金兵衛・組頭門三郎他3名→漆木御用御掛り御見分中様	文政5年午8月	縦継紙・1通	も 213-26
倉科村名主吉左衛門他一名申上書[差上申一札之御事](野山の所在問合への返答に付) 倉科村名主吉左衛門・同断弥五郎→山崎瀬左衛門様 「無印」についての貼紙付	文政5年午8月	縦紙・1通	も 213-27
[上](包紙) 保科村		包紙・1点	も 213-28
保科村名主常五郎他三名申上書[乍恐以口上書奉申上候御事](漆木改に付) 保科村名主常五郎・組頭治惣治・同断喜祖八他1名→山崎瀬左衛門様 訂正貼紙付	文政5年午9月	縦継紙・1通	も 213-29
[上](包紙) 佐野村		包紙・1点	も 213-30
佐野村名主小七他四名願書[御尋ニ付以口上書奉申上候御事](漆木植樹願に付) 佐野村名主小七・組頭利八・同断勇蔵他2名→山崎瀬左衛門殿	文政5年午10月	縦紙・1通	も 213-31
[上](包紙) 湯田中村		包紙・1点	も 213-32
湯田中村名主彦右衛門他二名願書[御尋ニ付以口上書奉申上候御事](漆木植樹願に付) 湯田中村名主彦右衛門・組頭要右衛門・長百姓庄之助→山崎瀬左衛門殿	文政5年午10月	縦紙・1通	も 213-33
[上](包紙) 沓野村		包紙・1点	も 213-34
沓野村名主松右衛門他二名願書[御尋ニ付以口上書奉申上候御事](漆木植樹願に付) 沓野村名主松右衛門・組頭源五郎・	文政5年午10月	縦紙・1通	も 213-35

長百姓喜四郎→山崎瀬左衛門殿			
[上](包紙) 八町村両組		包紙・1点	も 213-36
八町村両組名主徳吉他七名申上書[漆御改ニ付木数御書仕候御事](漆木改に付) 八町村両組名主徳吉・同断孫左衛門・組頭半兵衛他5名→山崎瀬左衛門殿	文政5年午10月	堅継紙・1通	も 213-37
[上](包紙) 仙仁村		包紙・1点	も 213-38
仙仁村名主常右衛門他二名申上書[漆御改ニ付木数御書上仕候御事](漆木改に付) 仙仁村名主常右衛門・組頭重兵衛・長百姓治郎右衛門→山崎瀬左衛門殿	文政5年午10月	堅継紙・1通	も 213-39
[上](包紙) 仁礼村		包紙・1点	も 213-40
仁礼村名主平蔵他四名申上書[漆御改ニ付木数御書上仕候御事](漆木改に付) 仁礼村名主平蔵・組頭治兵衛・同小兵衛→山崎瀬左衛門殿	文政5年午10月	堅紙・1通	も 213-41
下祖山村名主儀右衛門他二名申上書[乍恐以口上書奉申上候御事](野山一切漆木所在問合への返答に付) 下祖山村名主儀右衛門・組頭佐平治・長百姓市右衛門→山崎瀬左衛門様	文政6年未4月	堅紙・1通	も 213-42
上祖山村名主恒五郎他二名申上書[御請差上申一札之御事](野山一切漆木所在問合への返答に付) 上祖山村名主恒五郎・組頭忠左衛門・長百姓七兵衛→山崎瀬左衛門殿	文政6年未4月10日	堅紙・1通	も 213-43
橋詰村下組名主嘉右衛門他二名申上書[御請差上申一札之事](野山漆木所在問合への返答に付) 橋詰村下組名主嘉右衛門・組頭政右衛門・長百姓九兵衛→山崎瀬左衛門殿	文政6年未4月12日	堅紙・1通	も 213-44
橋詰村名主軍蔵他二名申上書[御請差上申一札之御事](野山用木所在問合への返答に付) 橋詰村名主軍蔵・組頭清九郎・長百姓要吉→山崎瀬左衛門殿	文政6年未4月12日	堅紙・1通	も 213-45
倉並村名主覚之丞他二名申上書[御請差上申一札之御事](野山用木所在問合への返答に付) 倉並村名主覚之丞・組頭三郎治・長百姓利兵衛→山崎瀬左衛門殿	文政6年未4月12日	堅紙・1通	も 213-46
杵野村名主松右衛門他二名申上書[乍恐以口上書御答申上候御事](山崎瀬左衛門様廻村の様子内々問合への返答に付) 杵野村名主松右衛門・組頭源五郎・長百姓喜四郎→御代官所	文政5年午12月	堅紙・1通	も 213-47
佐野村名主新助他四名申上書[乍恐以口上書御答申上候御事](山崎瀬左衛門様廻村の様子内々問合への返答に付) 佐野村名主新助・組頭利八・同断勇蔵他2名→御代官所	文政5年午12月	堅紙・1通	も 213-48
湯田中村名主彦右衛門他二名申上書[乍恐以口上書御答申上候御事](山崎瀬左衛門様廻村の様子内々問合への返答に付) 佐野村名主新助・組頭利八・同断勇蔵他2名→御代官所	文政5年午12月	堅紙・1通	も 213-49
(小布施村小河原村栗御林見分関連書類一綴 文政7年8月)		封筒一括・3点	も 208
[小布施村小河原村栗御林見分御引方一紙并絵図面壱枚](封筒) 片岡安太夫・宮下三郎治・立合竹花勘兵衛 虫損	(文政7年)申8月	封筒・1点	も 208-1
片岡安太夫他二名伺書[小布施村小河原村栗御林見分御引方積一紙](小布施村栗5石1斗5升・小河原村栗8斗7升栗御林見分御引方積に付) 片岡安太夫・宮下三郎治・立合竹花勘兵衛 虫損、朱書あり	文政7年申8月	横長半・1冊	も 208-2
(栗御林絵図) 端裏書「小河原村」		46.5×37.2・1舗	も 208-3
東寺尾村友左衛門他三名申上書[乍恐以書付奉申上候](松原並木間遠に植継松仰渡のところ踏荒多く育ちかね難渋に付) 東寺尾村名主友左衛門・組頭喜左衛門・同断七野右衛門他1名→御勘定所御元ノ御役所 下ケ札あり	天保2年卯9月	堅継紙・1通	も 58
東寺尾村友左衛門他三名申上書[乍恐以書付奉申上候](仰付の植継松育ちかね難渋のため並木の内際畑持人別取調書差添えに付) 東寺尾村名主友左衛門・組頭喜左衛門・同断七野右衛門他1名→御郡御奉行所	天保2年卯7月	堅紙・1通	も 59

も 8 藩政／郡方／山林

[東寺尾村松原御並木木下畑持主人別之□植附申渡請書并 育方手段答書共](包紙)	天保2年卯6月	包紙・1点	も 60
(松原地先人別御書上帳一括 天保2年7月～11月)		巻込一括・2点	も 61
[松原地先人別御書上帳] 東寺尾村名主友左衛門・組頭喜左衛門・ 同断七野右衛門他1名→御郡御奉行所	天保2年卯11月	横長半・1冊	も 61-1
[松原地先人別御書上帳] 東寺尾村名主友左衛門・組頭喜左衛門・ 同断七野右衛門他1名→御郡御奉行所	天保2年卯7月	横長半・1冊	も 61-2
(小松原村献山関連書類一綴 天保3年8月～天保9年正月)		紙縫綴・8点	も 203
御郡方他一名口上書并下ケ札[口上覚](小松原村4人の者持 山御林差上替地同村内にて御渡する旨伺に付並びに伺の 通りとの旨) 御郡方・道橋方→ - 下ケ札あり	12月	横切継紙・1通	も 203-1
権兵衛他一名内々申上書(小松原村4人の者持山献上仕り是 までの持山年貢上納御免に付) 権兵衛・長太夫→ -	11月	横切継紙・1通	も 203-2
(小松原村分地絵図)		縦紙・1通	も 203-3
小松原村名主直右衛門他四名申上書[乍恐以書付奉申上候] (平兵衛・本右衛門・清左衛門・運右衛門4人の者去年まで の山御年貢初取調書上に付) 小松原村名主直右衛門・組頭左 金治・同断久兵衛他2名→野村権兵衛様 訂正貼紙付	天保7年申6月	縦紙・1通	も 203-4
小松原村仮役名主忠兵衛他四名申上書[指上申一札之事] (当村の者献山にて御内見願に付) 小松原村仮役名主忠兵 衛・組頭権吉・同断善右衛門他2名→御遣役中様 下ケ札あり	天保7年申3月	縦継紙・1通	も 203-5
小松原村開発人惣代久兵衛他一名申上書[乍恐以口上書] (開発場所午年より未年まで差上げるので難渋の者出来 に付そのまま歛入願に付) 小松原村開発人惣代久兵衛・右同 断与惣右衛門／(奥印)名主忠兵衛・組頭権吉・同断久兵衛他1名→道 橋御役所御元メ中様 下ケ札あり、端裏に貼紙付	天保8年酉12月	縦継紙・1通	も 203-6
小松原村運右衛門願書[乍恐以書付奉願上候事](御引替地 のため所持山献山願に付) 小松原村運右衛門／(奥印)名主忠 兵衛・組頭権吉・同断久兵衛他1名→御代官所 訂正貼紙付	天保9年戌正月	縦継紙・1通	も 203-7
小松原村運右衛門願書[乍恐以書付奉願上候事](御引替地 のため所持山献山願に付) 小松原村運右衛門／(奥印)名主忠 兵衛・組頭権吉・同断久兵衛他1名→御郡御奉行所 訂正貼紙付	天保9年戌正月	縦継紙・1通	も 203-8
[才薪之儀付中野江掛合返報追而入用付封置](包紙) 金児 丈助 虫損	天保3年辰8月	包紙・1点	も 204-1
(包紙) 中野飯田八郎・関佳六→岡崎莊藏様・山寺源太夫様 虫損、貼 紙付		包紙・1点	も 204-2
関佳六他一名書状(御領内薪伐出方関川宿与四郎請負差留 訴訟に付) 関佳六・飯田八郎→岡崎莊藏様・興津権右衛門様・金児 丈助様他3名 虫損	8月11日	横切継紙・1通	も 204-3
(御林書上関連書類一綴)		紙縫綴・6点	も 164
某用状(山田御林 上山田村等他13ヶ所書上に付) 端裏書 「御林全国絵図六ヶ年調之内江御書上相成候ヶ所」、裏打済		横切継紙・1通	も 164-1
某用状(上平御林 上平村等他20ヶ所書上に付) 端裏書「御 林之内御書上無之分御払可被成下哉」、裏打済、訂正貼紙付		横切継紙・1通	も 164-2
某用状(上平御林 上平村等他20ヶ所書上に付) 端裏書「御 林御払可被成分」、朱書有		横切継紙・1通	も 164-3
某用状(山田御林 上山田村等他13ヶ所書上に付) 端裏書 「御林全国絵図面六ヶ年平均調江御書上相成候ヶ所」、朱書有		横切継紙・1通	も 164-4
某用状(本鹿谷村権田御林地所等27ヶ所書上に付) 朱書端裏 書「御林ヶ所」		横切継紙・1通	も 164-5
某用状(味取御林半分御下願に付)		切紙・1通	も 164-6
岡野敬一郎伺書(上平村御林御払の儀並びに力石村入札値	2月20日	横切継紙・1通	も 165

段等に付) (岡野)敬一郎→(富永)新平様			
保科村清水寺用状(丹波島村他22ヶ村明和3戌年村々山札数控書) 保科村清水寺→ -	2月	横折紙・1通	も166
某用状(鬼無里村東京組新右衛門持山の内300坪余献上の場所とのことに付)		横切継紙・1通	も205
宮下三郎治他二名申上書[口上覚](鬼無里村新右衛門此度見分にて360坪に増加したが是までの通りにしてほしい旨等に付) 宮下三郎治・春日儀左衛門・立会清野新平→ -	3月	横切継紙・1通	も206

9 藩政／郡方／山林・虫倉山

梅木村名主弥五八他五名申上書[指上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拜命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 梅木村名主弥五八・組頭弥惣兵衛・長百姓佐善治他3名→御郡御奉行所 一部虫損・裏打済	文化4年卯8月	横切継紙・1通	も167
(虫倉山留山関連書類一綴 文化4年8月)		包紙一括・15点	も168
[上](包紙) 笹平村 「虫倉山請書」(後筆)		包紙・1点	も168-1
日影村名主佐市他二名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拜命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 日影村名主佐市・組頭惣右衛門・長百姓重郎左衛門→御郡御奉行所 訂正貼紙付	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も168-2
念仏寺村名主惣左衛門他五名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拜命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 念仏寺村名主惣左衛門・同断弥左衛門・組頭仁左衛門他3名→御郡御奉行所	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も168-3
古間村名主市左衛門他二名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拜命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 古間村名主市左衛門・組頭久之丞・長百姓善左衛門→御郡御奉行所	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も168-4
瀬脇村名主文蔵他二名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拜命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 瀬脇村名主文蔵・組頭喜右衛門・長百姓吉兵衛→御郡御奉行所	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も168-5
橋詰村名主弥平治他五名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拜命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 橋詰村名主弥平治・同断磯左衛門・組頭惣兵衛他3名→御郡御奉行所	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も168-6
伊折村名主惣左衛門他三名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拜命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 伊折村名主惣左衛門・組頭与惣治・長百姓嘉右衛門他1名→御郡御奉行所 一部虫損	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も168-7
専納村名主弥惣右衛門他二名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拜命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 専納村名主弥惣右衛門・組頭五左衛門・長百姓勝右衛門→御郡御奉行所	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も168-8
中條村名主六郎右衛門他五名請書[差上申一札之事](虫倉山先年御鷹山拜命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 中條村名主六郎右衛門・組頭太右衛門・同新兵衛他3名→御郡御奉行所	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も168-9
大安寺村名主治郎右衛門他二名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拜命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 大安寺村名主治郎右衛門・組頭幸吉・長百姓吉右衛門→御郡御奉行所	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も168-10
五十里村名主喜惣治他二名請書[差上申一札之事](虫倉山先年御鷹山拜命御林へ猥に入込木伐採申さざること付)	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も168-11

も 9 藩政／郡方／山林・虫倉山

付) 五十里村名主喜惣治・組頭小左衛門・長百姓佐源太→御郡御奉行所			
上祖山村名主権右衛門他二名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 上祖山村名主権右衛門・組頭七左衛門・長百姓辰右衛門→御郡御奉行所 訂正貼紙付	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も 168-12
笹平村名主与惣治他四名請書[指上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 笹平村名主与惣治・組頭平右衛門・同断善左衛門他2名→御郡御奉行所	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も 168-13
地京原村名主佐五兵衛他八名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 地京原村名主佐五兵衛・組頭権重郎・同村下組名主政之助他6名→御郡御奉行所	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も 168-14
五十平村両組名主儀右衛門他三名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 五十平村両組名主儀右衛門・組頭治左衛門・同断太右衛門他1名→御郡御奉行所	文化4年卯8月	縦継紙・1通	も 168-15
(虫倉山留山関連書類一綴)		封筒一括・19点	も 161
[虫倉御留山之儀拾ハケ村請書入](封筒)	嘉永2年酉10月17日	封筒・1点	も 161-1
倉並村名主和之助他一名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命のため御林へ猥に入込木一本なるとも伐 申さざることに付) 倉並村名主和之助・組頭惣兵衛→郡御奉行所 訂正貼紙付	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も 161-2
橋詰村両組名主□右衛門他五名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 橋詰村両組名主□右衛門・同断弥右衛門・組頭彦兵衛他3名→郡御奉行所 虫損で一部読めず	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も 161-3
岩草村名主五左衛門他三名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 岩草村名主五左衛門・組頭善兵衛・同断長兵衛他1名→郡御奉行所	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も 161-4
五十里村名主恒左衛門他四名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 五十里村名主恒左衛門・組頭民七・同断八百蔵他2名→郡御奉行所 訂正貼紙付	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も 161-5
地京原村両組名主久左衛門他八名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 地京原村両組名主久左衛門・組頭与左衛門・同断治五左衛門他6名→郡御奉行所	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も 161-6
日影村名主佐右衛門他三名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 日影村名主佐右衛門・組頭安兵衛・同断惣右衛門他1名→郡御奉行所 訂正貼紙付	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も 161-7
専納村名主常左衛門他三名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 専納村名主常左衛門・組頭民右衛門・右同断已之介他1名→郡御奉行所	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も 161-8
瀬脇村名主源左衛門他二名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 瀬脇村名主源左衛門・組頭勝蔵・長百姓覚右衛門→郡御奉行所 訂正貼紙付	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も 161-9
古間村名主与惣治他二名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること に付) 古間村名主与惣治・組頭甚左衛門・長百姓元之介→郡御奉行所	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も 161-10
坪根村名主四郎右衛門他二名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も 161-11

に付) 坪根村名主四郎右衛門・組頭平左衛門・長百姓相之助→郡御奉行所 訂正貼紙付			
五十平村両組名主新蔵他三名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 五十平村両組名主新蔵・組頭銀左衛門・同断治右衛門他1名→郡御奉行所 訂正貼紙付	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も161-12
中條村名主伝兵衛他五名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 中條村名主伝兵衛・組頭治平・同作兵衛他3名→郡御奉行所 訂正貼紙付	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も161-13
大安寺村名主吉蔵他二名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 大安寺村名主吉蔵・組頭吉右衛門・長百姓藤吉→郡御奉行所 訂正貼紙付	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も161-14
上祖山村名主伴五郎他二名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 上祖山村名主伴五郎・組頭惣左衛門・長百姓彦兵衛→郡御奉行所 訂正貼紙付	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も161-15
伊折村両組名主栄左衛門他五名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 伊折村両組名主栄左衛門・組頭喜平治・長百姓市左衛門他3名→郡御奉行所	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も161-16
梅木村両組名主喜一郎他六名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 梅木村両組名主喜一郎・組頭佐次兵衛・同断磯左衛門他4名→郡御奉行所	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も161-17
念仏寺村両組名主与平治他六名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 念仏寺村両組名主与平治・同断庄左衛門・組頭金左衛門他4名→郡御奉行所 訂正貼紙付	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も161-18
笹平村名主米蔵他四名請書[差上申一札之御事](虫倉山先年御鷹山拝命御林へ猥に入込木伐採申さざること付) 笹平村名主米蔵・組頭弥右衛門・同断勝右衛門他2名→郡御奉行所 訂正貼紙付	嘉永2年酉9月	縦継紙・1通	も161-19
(虫倉御林焚炭願関係書類 慶応3年10月～11月)		紙綴綴・8点	も109
郡方・道橋方伺書(岩原村平兵衛より虫倉御林地御用材御払い願の件願の通申付に付) 郡方・道橋方→	(慶応3年)11月	横切紙・1通	も109-1
小林熊治郎他一名申上書[口上覚](虫倉御林地御用材御払い取締の件絵図等添付に付) 御手附小林熊治郎・山崎小兵衛／(奥書)志津初治→道橋御奉行所	(慶応3年)卯10月	横切継紙・1通	も109-2
(岩原村平兵衛御林諸木御払い願書類 慶応3年10月)		紙綴綴・4点	も109-3
岩原村平兵衛願書[差上申一札之事](近年焚炭高直のため虫倉御林諸木御払願に付) 岩原村願人平兵衛／(奥印)右村名主喜伝治・組頭平兵衛・同断清重郎他1名／(奥印)梅木村御林見治郎兵衛→御出役中様 下ケ札あり	慶応3年卯10月	堅半・1冊	も109-3-1
岩原村平兵衛申上書[御尋二付御答奉申上候](御林禁足の場所除外のため冥加金減額願に付) 岩原村平兵衛→郡御奉行所・道橋御奉行所	慶応3年卯10月	堅紙・1通	も109-3-2
岩原村平兵衛願書[差上申一札之事](御見分の場所別紙の通りにて御林払願執り成しに付) 岩原村願人平兵衛→御出役中様	慶応3年卯10月	堅紙・1通	も109-3-3
(虫倉御林平兵衛御払願立の分朱引絵図) 彩色あり	(慶応3年10月)	堅紙・1通	も109-3-4
岩原村平兵衛願書[乍恐以書付奉願候](御林にて炭焚立世話方仰付に付) 岩原村願人平兵衛／(奥印)右村名主喜伝治・組頭平兵衛・同断清重郎他2名→郡御奉行所・道橋御奉行所 下ケ札あり	慶応3年卯10月	堅半・1冊	も109-4

も 9 藩政／郡方／山林・虫倉山 10 藩政／甲府・奥羽出兵

11 藩政／諸職／神社郡政局・民事掛／諸願書・取調 12 藩政／諸職／計政局・会計掛／諸願書・取調

岩原村平兵衛申上書(焚炭収支目論見取調に付) 岩原村願入 平兵衛→郡御奉行所	慶応3年卯10月	横折紙・1通	も109-5
---	----------	--------	--------

10 藩政／甲府・奥羽出兵

(北陸道先鋒会計切手一括 明治元年7月～10月)		旧史料館封筒 一括・5点	も108
(越後国柏崎より信州松代迄片道通行切手 松代藩才料2人 分 明治元年7月～10月) 奉書紙、「北陸道先鋒会計方印」	(明治元年)辰10月8日	横切紙・1通	も108-1
(津川より小千谷迄片道通行切手 松代藩鹿野外守上下2人 分) 奉書紙、「北陸道先鋒会計方印」	(明治元年)辰10月8日	横切紙・1通	も108-2
(越後五泉より信州松代迄片道通行切手 松代藩鹿野外守 附属1人分) 奉書紙、「北陸道先鋒会計方印」	(明治元年)辰10月8日	横切紙・1通	も108-3
(関原より信州松代迄片道通行切手 松代藩伊達新十郎分) 奉書紙、「北陸道先鋒会計方印」	(明治元年)辰7月2日	横切紙・1通	も108-4
(越後国柏崎より信州松代迄片道通行切手 橋詰伝太郎上 下4人分) 奉書紙、「北陸道先鋒会計方印」	(明治元年)辰10月10日	横切紙・1通	も108-5

11 藩政／諸職／神社郡政局・民事掛／諸願書・取調

(去午収納相場仰渡請書綴 明治4年正月)		紙縫綴・5点	も46
七瀬村新井半之丞他二名請書[乍恐以書付御請奉申上候] (去午収納相場4俵半と仰渡の旨に付) 七瀬村名主新井半 之丞・組頭大田吉蔵・長百姓桜井留吉→松代藩御役所	明治4年未正月	縦紙・1通	も46-1
箱清水村劔持善右衛門他二名請書[乍恐以書付御請奉申上 候](去午収納相場4俵半と仰渡の旨に付) 箱清水村庄屋 劔持善右衛門・組頭岡田源太夫・長百姓金井三左衛門→松代藩御役所	明治4年未正月	縦半・1冊	も46-2
荒安村小林惣左衛門他二名請書[乍恐以書付御請奉申上候] (去午収納相場4俵半と仰渡の旨に付) 荒安村名主小林惣 左衛門・組頭岡田源太夫・長百姓和田瀧蔵→松代藩御役所	明治4年未正月	縦紙・1通	も46-3
長野村矢島吾左衛門他一名請書[乍恐以書付御受奉申上候] (去午収納相場4俵半と仰渡の旨に付) 長野村組頭八木富 吉・庄屋矢島吾左衛門→松代藩御役所	明治4年未正月	縦紙・1通	も46-4
平桑村鈴木栄吉他二名請書[乍恐以書付御請奉申上候](去 午収納相場4俵半と仰渡の旨に付) 平桑村庄屋鈴木栄吉・ 組頭西村和左衛門・同断鈴木龍蔵→松代藩御役所	明治4年未正月	縦紙・1通	も46-5
喜平治申上書(伊那県判事へ御国給縮図面等提出に付) 喜 平治→ 端裏書[当御国全図伊那県え持参仕候儀ニ付申上]	4月	横切縦紙・1通	も111

12 藩政／諸職／計政局・会計掛／諸願書・取調

(司金藩札紛失歎願書類一括 明治4年2月～5月)		封筒一括・16点	も2
[司金二而藩札紛失二付歎願書類](封筒)	(明治4年)辛未5月	封筒・1点	も2-1
(水井市治他2名官札引替代弊内預金紛失金関係内願書一括 明治4年2月～5月)		包紙一括・4点	も2-2
[御内密歎願](包紙) 水井市治・池田富之進・徳嵩広馬		包紙・1点	も2-2-1
水井市治他二名願書(官札引替代弊内預金のうち574両紛失)	(明治4年)2月	横切縦紙・1通	も2-2-2

のため商社引替掛へ御内借証文差出す旨に付) 水井市治・池田富之進・助仲徳嵩広馬→ -			
[御内々口上認取](包紙) 水井市治・池田富之進・徳嵩広馬	(明治4年5月)	包紙・1点	も2-2-3
水井市治他二名願書(官札引替代弊内預金のうち574両紛失金弁納励む旨に付) 水井市治・池田富之進・徳嵩広馬→ -	(明治4年)5月	横切継紙・1通	も2-2-4
(御金蔵番筆頭佐川又八郎官札引替代弊内預金紛失金関係内願書一括 明治4年2月～5月)		包紙一括・4点	も2-3
[御内密歎願](包紙) (御金蔵番筆頭)佐川又八郎	(明治4年2月)	包紙・1点	も2-3-1
佐川又八郎内々願書(官札引替代弊内預金のうち574両紛失のため赦免に付) (御金蔵番筆頭)佐川又八郎→ -	(明治4年)2月	横切継紙・1通	も2-3-2
[極密口上認取](包紙) (御金蔵番筆頭)佐川又八郎	(明治4年)5月	包紙・1点	も2-3-3
佐川又八郎内々願書(官札引替代弊内預金のうち574両紛失金弁納励む旨に付) (御金蔵番筆頭)佐川又八郎→ -	(明治4年)5月	横切継紙・1通	も2-3-4
(司金御答一件諸申上書一括 明治4年3月～5月)		紙縫綴・4点	も2-4
計監申上書(官札引換代弊藩札紛失のため司金3名と佐川又八郎御答筋に付) 計監→ - 端裏書「司金歎願之儀ニ付申上」	(明治4年)3月14日	横切継紙・1通	も2-4-1
会計懸申上書(司金不正の件御情願に付) 会計懸→ - 端裏書「司金歎願之儀御尋ニ付申上」	(明治4年)3月25日	横切継紙・1通	も2-4-2
民事掛申上書(佐川又八郎他3人御答の件新律職制律照会に付) 民事掛→ - 端裏書「司金歎願之義ニ付申上」	(明治4年)5月	横切継紙・1通	も2-4-3
監察申上書(佐川又八郎他3人御答の件評議に付) 監察→ - 端裏書「司金歎願之義御尋ニ付申上」	(明治4年)4月	横切継紙・1通	も2-4-4

13 藩政／諸職／市政局／賈金穿鑿

[此賈札福出来之由御見可申候ハ、御見渡為見合宅江早御見セ被下候様奉願上候](包紙) 貼紙「大參事御下ケ」		包紙・1点	も50-1
(太政官会計局金1両金札)	慶応(4年)戊辰	金札・1点	も50-2
(賈金穿鑿関係書類一括 明治2年7月～12月)		紙縫一括・33点	も1
手附宮下安兵衛他三名申上書[申上](賈金調査命令のため紺屋町卯吉他2名諸帳面・所持金子取調並びに風聞の悪い者取調に付) 御手附宮下安兵衛・倉田又右衛門・山崎計一郎他1名→ - 端書「手附穿鑿申立七月」	(明治2年)巳7月	堅半・1冊	も1-1
荒神町西沢平左衛門届書[差出申一札之事](御尋のため西沢平左衛門有金に付) 荒神町西沢平左衛門／(奥印)名主島田喜太郎→宮下安兵衛殿・倉田又右衛門殿・山崎計一郎殿他1名 端書「荒神町平左衛門請書」	明治2年巳7月28日	堅半・1冊	も1-2
紺屋町半蔵届書[差上申一札之事](御尋のため半蔵有金に付) 紺屋町半蔵／(奥印)名主酒井弥右衛門・飯長町人平出惣左衛門→宮下安兵衛殿・倉田又右衛門殿・山崎計一郎殿他1名 端書「紺屋町半蔵新町留三郎生糸売渡式分金請取始末」	明治2年巳7月	堅半・1冊	も1-3
紺屋町熊太郎願書[差上申一札之事](有金取調中夏蚕種浜出のため横浜表出立許容に付) 紺屋町甚右衛門弟熊太郎／(奥印)名主酒井儀左衛門(弥左衛門)→宮下安兵衛殿・山崎計一郎殿 端書「紺屋町熊太郎請書」	明治2年巳7月28日	堅半・1冊	も1-4
紺屋町熊太郎他一名願書[乍恐以書付奉願上候](前段願の通り横浜表出立許容下されたきに付) 紺屋町甚右衛門弟熊太郎・親類組合兼政吉／(奥印)名主酒井弥左衛門→御奉行所	明治2年巳8月	堅半・1冊	も1-5
紺屋町卯作他一名請書[乍恐以書付御受奉申上候](取調中	明治2年巳7月27日	堅紙・1通	も1-6

他行差し止め命令に付) 紺屋町卯作・組合藤兵衛／(奥印)名主酒井弥左衛門・仮長町人平出惣左衛門→御奉行所			
手附宮下安兵衛他一名申上書[申上](善光寺領及び他所の人別に加わる者の金銀及び札金取引替調査命令に付) 御手附宮下安兵衛・山崎計一郎 端書貼紙「請書」	(明治2年)巳8月	豎半・1冊	も1-7
[片岡十郎兵衛殿御廻り 町々外式分金并[]引替之者一件](封筒)	(明治2年巳)8月	封筒・1点	も1-8
伊勢町宇兵衛他二名届書[差上申一札之事](当組宇兵衛取調のため寺領人別その他の者の金銀及び札金取引調査に付) 伊勢町宇兵衛・組合児島孝之助・組合中田清右衛門／(奥書)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→御同心宮下安兵衛殿・山崎計一郎殿 端書「伊勢町宇兵衛金取引替書面」、紙片「金銀銭私共悪金取[]懸り合人別」、虫損	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-9
伊勢町宮沢彦兵衛他一名届書[差上申一札之事](当組宮沢彦兵衛取調のため寺領人別その他の者の金銀及び札金取引調査に付) 伊勢町宮沢彦兵衛・組合直治／(奥印)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→御同心宮下安兵衛殿・山崎計一郎殿 端書「伊勢町宮沢彦兵衛金銀引替書面八月朔日」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-10
伊勢町中田清右衛門他二名届書[差上申一札之事](当組中田清右衛門取調のため寺領人別その他の者の金銀及び札金取引調査に付) 伊勢町中田清右衛門・組合児島孝之助・同断宇兵衛／(奥印)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→御同心宮下安兵衛殿・山崎計一郎殿 端書「伊勢町中田清右衛門尋書面八月朔日」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-11
伊勢町源作他七名請書[乍恐以書付御請奉申上候](取調中他行差し止め命令に付) 伊勢町宮沢彦兵衛・源作・親類直治代作治・宇兵衛他5名／(奥印)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→御奉行所 端書「伊勢町源作外三人他行留請書」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-12
大英寺地中嘉兵衛他二名請書[乍恐以書付御請奉申上候](当組嘉兵衛取調中他行差し止め命令に付) 大英寺地中嘉兵衛・親類組合兼三郎兵衛・肝煎元之助→御奉行所 端書「大英寺地中嘉兵衛他行留請書」	明治2年巳8月	豎紙・1通	も1-13
中町惣次郎請書[以書付御受奉申上候](惣次郎弟菊三郎所持2分金・金銀出入帳封印にて御預り命令に付) 中町惣次郎／(奥書)名主相原邦治郎→宮下安兵衛殿・倉田又右衛門殿・山崎計一郎殿他1名 端書「中町菊三郎帳面封印預請書」	明治2年巳7月28日	豎半・1冊	も1-14
紙屋町嘉七他一名請書[差上申一札之事](飛脚にて倅又七呼戻す旨の命令に付) 紙屋町又七親嘉七・組合与兵衛／(奥印)紙屋町長町人佐助→御同心宮下安兵衛殿・山崎計一郎殿 端書「紙屋町嘉七子又七飛脚申渡請書」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-15
大英寺地中嘉兵衛他二名届書[乍恐以書付奉申上候](御尋のため善光寺後町村清助と札金正金引替始末に付) 大英寺地中嘉兵衛・親類組合兼三郎兵衛・肝煎元之助→御奉行所 端書「大英寺中嘉兵衛始末書八月」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-16
伊勢町児島孝之助他二名届書[差上申一札之事](当組宮沢彦兵衛取調のため寺領人別その他の者の金銀及び札金取引調査に付) 伊勢町児島孝之助・組合中田清右衛門・同断宇兵衛／(奥印)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→御同心宮下安兵衛殿・山崎計一郎殿 端書「伊勢町児島彦之助札金引替書面八月朔日」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-17
大英寺地中嘉兵衛他一名届書[差上申一札之事](当組嘉兵衛取調のため寺領人別その他の者の金銀及び札金取引調査に付) を組大英寺地中嘉兵衛・肝煎元之助→宮下安兵衛殿・山崎計一郎殿 端書「大英寺地中嘉兵衛左ニ式分金引替書面」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-18
伊勢町常左衛門他一名届書[差上申一札之事](当組常左衛門取調のため寺領人別その他の者の金銀及び札金取引調査に付) 伊勢町常左衛門・組合北村丈太郎／(奥印)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→御同心宮下安兵衛殿・山崎計一郎殿 端書「八月三日伊勢町常左衛門請書」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-19
伊勢町小村丈太郎他一名請書[以書付御請奉申上候](御尋	明治2年巳8月	豎紙・1通	も1-20

のため常左衛門腰繩にて御預け命令に付) 右町(伊勢町)常左衛門親類小村丈太郎・組合惣吉／(奥印)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→ - 端書「伊勢町常左衛門預請書 八月」			
伊勢町兄鳥惣十郎届書「乍恐以書付始末奉申上候」(御尋のため横町加賀屋彦兵衛と札金正金引替始末に付) 伊勢町兄鳥孝之助倅惣十郎／(奥印)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→御奉行所 端書「八月三日」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-21
伊勢町常左衛門届書「乍恐以書付始末奉申上候」(御尋のため善光寺東町三河屋莊左衛門等と札金正金引替始末に付) 伊勢町常左衛門／(奥印)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→御奉行所 端書「八月三日」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-22
伊勢町常左衛門届書「乍恐以書付始末奉申上候」(御尋のため横町加賀屋等と金銀札金引替始末に付) 伊勢町宇兵衛／(奥印)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→御奉行所 端書「八月三日」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-23
伊勢町宮沢源作届書「乍恐以書付始末奉申上候」(御尋のため東町荒屋啓作と金銀札金引替始末に付) 伊勢町宮沢彦兵衛倅源作／(奥印)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→御奉行所 端書「八月三日」	(明治2年)8月3日	豎半・1冊	も1-24
伊勢町中田清右衛門届書「乍恐以書付始末奉申上候」(御尋のため善光寺大門町吉野屋久右衛門と金銀札金引替始末に付) 伊勢町中田清右衛門／(奥印)伊勢町仮名主小嶋茂七郎→御奉行所 端書「八月三日」	明治2年巳8月	豎半・1冊	も1-25
中町菊三郎届書「御尋ニ付以書付奉申上候」(中町町田喜作と金銀札金引替始末に付) 中町惣二郎弟菊三郎／(奥印)右町(中町)長町人小田切友之助→御奉行所 端書「中町菊三郎始末書 八月」	明治2年巳8月14日	豎半・1冊	も1-26
中町菊三郎願書「乍恐以書付奉願候」(御調中のところ越後新潟村木藤之助と同道にて帰宅願) 中町惣次郎弟菊三郎／(奥印)名主相原邦治郎→御奉行所	明治2年巳9月3日	豎紙・1通	も1-27
伊勢町長十郎他一名願書「乍恐以書付御縫り奉申上候」(常左衛門持病のため御手当御扱免願に付) 伊勢町常左衛門親類長十郎・組合惣吉／(奥印)伊勢町名主小嶋茂七郎→御奉行所 端書「伊勢町常左衛門病氣ニ付縫り書 九月」	明治2年巳9月	豎半・1冊	も1-28
手附倉田又右衛門他一名申上書「口上覚」(伊勢町常左衛門持病のため腰繩払御預申渡に付) 御手附倉田又右衛門・倉嶋長左衛門→ -	(明治2年)巳9月5日	豎紙・1通	も1-29
岡田莊之助申上書「口上覚」(伊勢町常左衛門持病のため御手当御免親類組合へ御預の旨に付) 岡田莊之助→ -	明治2年巳9月5日	豎紙・1通	も1-30
伊勢町市郎兵衛他一名請書「差上申御請一札之事」(常左衛門腰繩払のうえ親類組合御預命令に付) 伊勢町常左衛門親類市郎兵衛・惣吉／(奥印)伊勢町名主小嶋茂七郎→御同心倉田又右衛門殿・倉嶋長左衛門殿	明治2年巳9月5日	豎半・1冊	も1-31
伊勢町長十郎他一名願書「乍恐以書付奉歎願候」(母病氣平慈のため常左衛門神社拝礼附添看病願に付) 伊勢町常左衛門親類長十郎・組合市左衛門／(奥印)伊勢町名主小嶋茂七郎→市政御役所 端書「伊勢町常左衛門歎願書 二月」	明治2年巳11月	豎半・1冊	も1-32
伊勢町常左衛門他二名請書「乍恐以書付御請奉申上候」(母病氣平慈のため常左衛門神社拝礼附添看病御赦免に付) 常左衛門・親類長十郎・組合市左衛門／(奥印)名主小嶋茂七郎→市政御役所 端書「三月九日」	明治2年巳12月	豎半・1冊	も1-33
某申上書「式分金御引換之義ニ付申上」(2分金割引にて通用の旨等に付)	12月	横切継紙・1通	も133
某申上書(栃原村西条組より金札6両上納の内贖札2両上納に付) 裏打済	5月8日	横切紙・1通	も295
草履格申上書(官金札真偽さ職人共検分の結果に付) (草履格)→[]り 端裏書「申上」裏打済、虫損	4月18日	横切継紙・1通	も296

出納掛申上書(栃原村西条組太政官金札6両上納の内2両賈札に付) 出納掛→ - 端裏書「太政官賈御金札之儀付申上」、裏打済、虫損	4月28日	横切継紙・1通	も 297
岡野敬一郎用状(仁科良十郎より賈金数・二分金手形と引替願の件取次に付) (岡野)敬一郎→(佐藤)美与喜様	9月25日	横切継紙・1通	も 123

14 藩政／財政／郡方代官

(代官難洪村方勘定に付伺書・申上書)		封筒一括・4点	も 264
[御勘定役掛合村々御払之儀詮議申上書類 覚 御代官支配村引放掛り申立候心得御尋ニ付御代官見込書面](封筒)		封筒・1点	も 264-1
御代官伺書[覚](難洪村方勘定役掛り合の儀去る丑年私共心得御尋に付難洪村々へ相当の御手当致すべき旨) 御代官 一部虫損	11月	横長半・1冊	も 264-2
平出喜左衛門他七名申上書[口上覚](難洪村々の御滞の儀評議致すべき旨仰渡され評議致したところ村々潰欠落等により人別切替致しかねる事もあること等に付) 平出喜左衛門・矢野倉惣之進・小池権右衛門他5名 一部虫損、下ケ札あり		横長半・1冊	も 264-3
平出喜左衛門他7名申上書(年切皆済の方法等7つの附札にて御尋に付) 平出喜左衛門・矢野倉惣之進・小池権右衛門他5名 一部虫損		横長半・1冊	も 264-4
(難洪村々拝借金・御手当に付代官口上・申上書綴)		紙綴綴・12点	も 282
[口上覚](包紙) 成沢文治(代官)		包紙・1点	も 282-1
成沢文治口上書[口上覚](中条村勘定混雑のため当9月手代派遣の節不正露見の御手当粉170俵不同分容赦に付) 成沢文治→ - 御手当勘定下ケ札あり	11月	横切継紙・1通	も 282-2
[御内々申上](包紙) 御手代丸山六右衛門・渡辺治右衛門		包紙・1点	も 282-3
御手代丸山六右衛門他一名内々申上書[御内々申上](中条村勘定合混雑のため当9月私共派遣の節不正露見の御手当粉170俵不同分容赦に付) 御手代丸山六右衛門・渡辺治右衛門→ - 御手当勘定下ケ札あり、訂正貼紙付	11月	横切継紙・1通	も 282-4
[御内々申上](包紙) 難洪村懸り御手代		包紙・1点	も 282-5
難洪村懸り御手代申上書[御内々申上候](難洪村々申5月中村方立直に付御手当減少・御収納強化) 難洪村懸り御手代→ - 「本文申上候通につき去年中滞勘弁」下ケ札あり、訂正貼紙付	11月	横切継紙・1通	も 282-6
[御内々申上](包紙) 御代官		包紙・1点	も 282-7
御代官口上書[口上覚](拝借滞等ある村々の上納仕法に付) 御代官→ -	11月	横切継紙・1通	も 282-8
御代官口上書[口上覚](難洪村々手入穿鑿の件嚴重明細手入願に付) 御代官→ - 「申上置候趣にて御勘弁」下ケ札あり	11月	横切継紙・1通	も 282-9
某意見書(返納等皆済にて御手当の品支給等に付)		切紙・1通	も 282-10
某用状[献上金御貸出之方](文政3辰年証文御内借懸り宛所新馬喰町改五郎等証文記録書上に付)		切紙・1通	も 282-11
某用状(文政3辰年証文御内借掛宛所祢越組等証文記録書上に付)		横切継紙・1通	も 282-12
(桑原村御手当金関連書類綴 明治元年12月)		紙綴綴・3点	も 283
磯田音門他三名伺書并下ケ札(桑原村上方街道に付御用度々に付粉200俵御手当支給並びに許可の旨) 磯田音門・	(明治元年)12月	横切継紙・1通	も 283-1

草間一路・佐藤為之進他1名→ - 訂正貼紙付、「可為何之通候」下ケ札あり			
細田久作口上書[口上覚](桑原村上方街道に付御用度々に付昀200俵御手当支給の旨) 細田久作→ -	(明治元年)12月	横切継紙・1通	も283-2
桑原村名主栄左衛門他十三名歎願書[乍恐以書付奉歎願候](交通頻繁の為村方困窮のため御手当金支給願に付) 桑原村名主栄左衛門・組頭文平・同新助他11名→御代官所 訂正貼紙付、附札あり、端裏書「桑原村御手充之儀伺 佐藤為之進」貼紙付	明治元辰12月	豎半・1冊	も283-3

15 藩政／財政／郡方代官／種借

(種借金に付代官宛書類一括)		封筒一括・126点	も258
(紙繕)		紙繕・1点	も258-1
[金140両2分銀7匁5分 丑種借証文入](封筒)		封筒・1点	も258-2
(千喜良平右衛門宛昀代上納手形綴 享保18年11月～享保19年7月)		紙繕綴・17点	も258-3
千喜良平右衛門用状[丑御種借利昀代上納手形 拾六枚](金メ13両1分・銀メ166匁3分1厘) 表紙切紙	(享保19年)寅8月	堅切紙・1通	も258-3-1
藤井彦九郎昀代上納手形[覚](御種借金の内金1分銀1分9厘受取に付) 藤井彦九郎→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月9日	堅切紙・1通	も258-3-2
竹内勘右衛門昀代上納手形[覚](御種借金の内金2両1分銀1匁1分3厘受取に付) 竹内勘右衛門→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月23日	堅切紙・1通	も258-3-3
藤井彦九郎昀代上納手形[覚](御種借金の内金1分銀7匁5分受取に付) 藤井彦九郎→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月24日	堅切紙・1通	も258-3-4
牧野権左衛門昀代上納手形[覚](御種借金の内金3分受取に付) 牧野権左衛門→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月25日	堅切紙・1通	も258-3-5
竹内勘右衛門昀代上納手形[覚](御種借金の内金2分銀25匁6分8厘受取に付) 竹内勘右衛門→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月27日	堅切紙・1通	も258-3-6
藤井彦九郎昀代上納手形[覚](御種借金の内金3分銀7匁8分8厘受取に付) 藤井彦九郎→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月29日	堅切紙・1通	も258-3-7
竹内勘右衛門昀代上納手形[覚](御種借金の内銀10匁1分3厘受取に付) 竹内勘右衛門→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月10日	堅切紙・1通	も258-3-8
藤井彦九郎昀代上納手形[覚](御種借利足金の内金1分20匁4分4厘受取に付) 藤井彦九郎→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月14日	堅切紙・1通	も258-3-9
竹内勘右衛門昀代上納手形[覚](御種借金の内金2分銀11匁6厘受取に付) 竹内勘右衛門→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月22日	堅切紙・1通	も258-3-10
藤井彦九郎昀代上納手形[覚](御種借金の内金3分6匁1分9厘受取に付) 藤井彦九郎→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月22日	堅切紙・1通	も258-3-11
藤井彦九郎昀代上納手形[覚](御種借金の内金1分銀11匁4分4厘受取に付) 藤井彦九郎→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月8日	堅切紙・1通	も258-3-12
竹内勘右衛門昀代上納手形[覚](御種借金の内金2分4匁3分1厘受取に付) 竹内勘右衛門→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月27日	堅切紙・1通	も258-3-13
竹内勘右衛門昀代上納手形[覚](御種借御利足金の内金1分7分5厘受取に付) 竹内勘右衛門→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月28日	堅切紙・1通	も258-3-14
藤井彦九郎昀代上納手形[覚](御種借御利足金の内金2両銀13匁8分7厘受取に付) 藤井彦九郎→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月29日	堅切紙・1通	も258-3-15

も 15 藩政／財政／郡方代官／種借

大嶋友右衛門初代上納手形[覚](御種借御利足初代金の内金2両2分銀22匁1分2厘受取に付) 大嶋友右衛門→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保19年寅7月13日	堅切紙・1通	も 258-3-16
大嶋友右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金1両2分銀23匁6分2厘受取に付) 大嶋友右衛門→千喜良平右衛門殿 押切印付	享保19年(寅)7月24日	堅切紙・1通	も 258-3-17
(石倉伊右衛門宛初代上納手形綴 享保18年11月～享保19年6月)		紙縫綴・16点	も 258-4
石倉伊右衛門用状[丑年分御種借利初代金 手形枚拾五枚](金18両11匁2分5厘) 石倉伊右衛門→・ 表紙切紙		堅切紙・1通	も 258-4-1
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借御利足金の内金3両1分銀96匁3分9厘受取に付) 藤井彦九郎→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保19年寅6月12日	堅切紙・1通	も 258-4-2
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借御利足金の内金3分銀5匁6厘受取に付) 藤井彦九郎→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月12日	堅切紙・1通	も 258-4-3
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借丑御利足金の内金1分銀13匁6分9厘受取に付) 藤井彦九郎→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月15日	堅切紙・1通	も 258-4-4
牧野権左衛門初代上納手形[覚](御種借御利足の内金1両銀18匁7分5厘受取に付) 牧野権左衛門→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月16日	堅切紙・1通	も 258-4-5
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借金の内金1分銀10匁8分8厘受取に付) 藤井彦九郎→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月17日	堅切紙・1通	も 258-4-6
牧野権左衛門初代上納手形[覚](御種借上納金の内金2分11匁6分3厘受取に付) 牧野権左衛門→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月18日	堅切紙・1通	も 258-4-7
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金3分銀4匁5分受取に付) 竹内勘右衛門→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月19日	堅切紙・1通	も 258-4-8
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借金の内金1両3分銀33匁3分8厘受取に付) 藤井彦九郎→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月20日	堅切紙・1通	も 258-4-9
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借丑の御利足金の内金3分銀9匁受取に付) 竹内勘右衛門→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月21日	堅切紙・1通	も 258-4-10
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金1両1分銀23匁4分4厘受取に付) 竹内勘右衛門→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月23日	堅切紙・1通	も 258-4-11
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借金の内金1両1分銀6匁5分3厘受取に付) 藤井彦九郎→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月24日	堅切紙・1通	も 258-4-12
牧野権右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金1分10匁8分8厘受取に付) 牧野権右衛門→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月25日	堅切紙・1通	も 258-4-13
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金3分銀5分6厘受取に付) 竹内勘右衛門→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月6日	堅切紙・1通	も 258-4-14
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借御利足金の内金2分銀13匁8分8厘受取に付) 藤井彦九郎→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月11日	堅切紙・1通	も 258-4-15
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑の御種借金の内金2分7匁6分9厘受取に付) 竹内勘右衛門→石倉伊右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月27日	堅切紙・1通	も 258-4-16
(大日方庄右衛門宛初代上納手形綴 享保18年11月～12月)		紙縫綴・19点	も 258-5
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借丑の御利足金の内金1分銀12匁5分6厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方庄右衛門 押切印付、「丑御種之利足上納 〆13両3分350匁6分4厘」との貼紙付	享保18年丑11月21日	堅切紙・1通	も 258-5-1

藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑の御種借金の内金2分銀3匁7分5厘受取に付) 藤井彦九郎→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑11月24日	堅切紙・1通	も258-5-2
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑の御種借金の内金2両銀15匁5分7厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑11月22日	堅切紙・1通	も258-5-3
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀14匁8分1厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑11月27日	堅切紙・1通	も258-5-4
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借利足金の内金1分14匁8分1厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑11月21日	堅切紙・1通	も258-5-5
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金1両1匁8分7厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑11月晦日	堅切紙・1通	も258-5-6
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀2匁4分4厘受取に付) 牧野権左衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月朔日	堅切紙・1通	も258-5-7
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内銀11匁8分1厘受取に付) 藤井彦九郎→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月12日	堅切紙・1通	も258-5-8
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀7匁5分受取に付) 牧野権左衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月5日	堅切紙・1通	も258-5-9
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内銀7匁3分1厘受取に付) 牧野権左衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月9日	堅切紙・1通	も258-5-10
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内銀2匁8分1厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月10日	堅切紙・1通	も258-5-11
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借御利足金の内銀6匁7分5厘受取に付) 藤井彦九郎→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月11日	堅切紙・1通	も258-5-12
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借御利足金の内金3分5分6厘受取に付) 藤井彦九郎→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月18日	堅切紙・1通	も258-5-13
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2両銀85匁2分9厘4毛受取に付) 藤井彦九郎→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月19日	堅切紙・1通	も258-5-14
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両銀24匁9分4厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月20日	堅切紙・1通	も258-5-15
牧野権右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀55匁3分7厘受取に付) 牧野権右衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月21日	堅切紙・1通	も258-5-16
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金3両1分銀65匁4分1厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月22日	堅切紙・1通	も258-5-17
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金3分2匁2分5厘受取に付) 藤井彦九郎→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月26日	堅切紙・1通	も258-5-18
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借御利足金の内金1両14匁2分5厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方庄右衛門 押切印付	享保18年丑12月28日	堅切紙・1通	も258-5-19
(高田造酒之助宛初代上納手形綴 享保18年11月～12月)		紙縫綴・15点	も258-6
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借御利足金の内金1両2分7匁8分7厘受取に付) 竹内勘右衛門→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑12月28日	堅切紙・1通	も258-6-1
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借御利足金の内金2両6匁5分6厘受取に付) 竹内勘右衛門→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑12月27日	堅切紙・1通	も258-6-2
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金上納の内金2分	享保18年丑12月10日	堅切紙・1通	も258-6-3

も 15 藩政／財政／郡方代官／種借

7匁6分9厘受取に付) 竹内勘右衛門→高田造酒之助殿 押切印付			
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両銀14匁2分5厘受取に付) 藤井彦九郎→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑12月7日	堅切紙・1通	も 258-6-4
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2分銀3分7厘受取に付) 藤井彦九郎→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑12月4日	堅切紙・1通	も 258-6-5
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金上納の内銀10匁6分6厘受取に付) 竹内勘右衛門→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑12月3日	堅切紙・1通	も 258-6-6
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両2分銀12匁9分4厘受取に付) 藤井彦九郎→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑12月2日	堅切紙・1通	も 258-6-7
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両銀12匁受取に付) 竹内勘右衛門→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑11月27日	堅切紙・1通	も 258-6-8
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2両1分銀15匁1分7厘受取に付) 竹内勘右衛門→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑11月26日	堅切紙・1通	も 258-6-9
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀3匁5分6厘受取に付) 竹内勘右衛門→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑11月23日	堅切紙・1通	も 258-6-10
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種丑の御利足金1両銀13匁6分9厘受取に付) 竹内勘右衛門→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑11月21日	堅切紙・1通	も 258-6-11
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両銀4匁1分3厘受取に付) 藤井彦九郎→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑11月20日	堅切紙・1通	も 258-6-12
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内銀10匁1分2厘受取に付) 竹内勘右衛門→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑11月19日	堅切紙・1通	も 258-6-13
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内銀7匁3分2厘受取に付) 牧野権左衛門→高田造酒之助殿 押切印付	享保18年丑11月14日	堅切紙・1通	も 258-6-14
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内銀1匁6分9厘受取に付) 竹内勘右衛門→高田造酒之助殿 押切印付、端裏に合計金額の貼紙付	享保18年丑11月13日	堅切紙・1通	も 258-6-15
(石倉金右衛門宛初代上納手形綴 享保18年11月) 綴紐付札「金ノ拾四両銀式百拾三匁五分六厘」		紙綴綴・10点	も 258-7
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金5両3分78匁5分6厘受取に付) 竹内勘右衛門→石倉金右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月晦日	堅切紙・1通	も 258-7-1
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両銀12匁受取に付) 竹内勘右衛門→石倉金右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月27日	堅切紙・1通	も 258-7-2
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両1分銀11匁6厘受取に付) 竹内勘右衛門→石倉金右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月26日	堅切紙・1通	も 258-7-3
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両2分銀34匁8分9厘受取に付) 藤井彦九郎→石倉金右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月24日	堅切紙・1通	も 258-7-4
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両銀11匁4分4厘受取に付) 藤井彦九郎→石倉金右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月9日	堅切紙・1通	も 258-7-5
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金1両3分銀26匁6分1厘受取に付) 竹内勘右衛門→石倉金右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月19日	堅切紙・1通	も 258-7-6
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借上納金の内金1分銀12匁5分5厘受取に付) 牧野権左衛門→石倉金右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月18日	堅切紙・1通	も 258-7-7

藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両銀11匁4分4厘受取に付) 藤井彦九郎→石倉金右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月17日	堅切紙・1通	も258-7-8
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金2分銀11匁6分6厘受取に付) 竹内勘右衛門→石倉金右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月13日	堅切紙・1通	も258-7-9
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内銀3匁3分8厘受取に付) 竹内勘右衛門→石倉金右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月10日	堅切紙・1通	も258-7-10
(大日方七右衛門宛初代上納手形綴 享保18年11月～12月)		紙綴綴・18点	も258-8
某用状(金15両銀214匁3分4厘 手形17枚)		堅切紙・1通	も258-8-1
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀2匁4分4厘受取に付) 牧野権左衛門→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月11日	堅切紙・1通	も258-8-2
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内銀7匁3分1厘受取に付) 牧野権左衛門→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月14日	堅切紙・1通	も258-8-3
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借丑御利足金の内金1分銀3匁5分6厘受取に付) 藤井彦九郎→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月15日	堅切紙・1通	も258-8-4
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借御利足金の内銀10匁6分9厘受取に付) 牧野権左衛門→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月16日	堅切紙・1通	も258-8-5
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金3分銀2匁2分5厘受取に付) 藤井彦九郎→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月17日	堅切紙・1通	も258-8-6
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2両1分銀39匁3分8厘受取に付) 牧野権左衛門→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月18日	堅切紙・1通	も258-8-7
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金3分銀9匁5分6厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月19日	堅切紙・1通	も258-8-8
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2両銀11匁7厘受取に付) 藤井彦九郎→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月20日	堅切紙・1通	も258-8-9
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借丑御利足金の内金2分銀5匁4分4厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月21日	堅切紙・1通	も258-8-10
牧野権左衛門初代上納手形[覚](御種借丑御利足金の内銀9匁受取に付) 牧野権左衛門→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月22日	堅切紙・1通	も258-8-11
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀12匁受取に付) 藤井彦九郎→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月24日	堅切紙・1通	も258-8-12
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両2分銀11匁8分1厘受取に付) 牧野権左衛門→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月25日	堅切紙・1通	も258-8-13
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両1分銀8匁2分5厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月26日	堅切紙・1通	も258-8-14
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金3分銀1匁1分2厘受取に付) 藤井彦九郎→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月8日	堅切紙・1通	も258-8-15
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借御利足金の内金3分銀11匁8分1厘受取に付) 藤井彦九郎→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月11日	堅切紙・1通	も258-8-16
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀11匁4分4厘受取に付) 竹内勘右衛門→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月25日	堅切紙・1通	も258-8-17
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借御利足金の内金3両2分銀57匁2分1厘受取に付) 藤井彦九郎→大日方七右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月29日	堅切紙・1通	も258-8-18

も 15 藩政／財政／郡方代官／種借

(高野権右衛門宛初代上納手形綴 享保18年11月～12月)		紙縫綴・16点	も 258-9
某用状(メ金12両2分銀234匁9分8厘 手形15枚)		堅切紙・1通	も 258-9-1
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借丑御利足金の内金1分銀1分9厘受取に付) 竹内勘右衛門→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月21日	堅切紙・1通	も 258-9-2
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2分銀3分8厘受取に付) 竹内勘右衛門→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑11月26日	堅切紙・1通	も 258-9-3
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀12匁受取に付) 牧野権左衛門→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月朔日	堅切紙・1通	も 258-9-4
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2両銀16匁1分6厘受取に付) 竹内勘右衛門→高野権右衛門殿 押切印付、付札あり	享保18年丑12月3日	堅切紙・1通	も 258-9-5
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金上納の内金5両3分銀50両4分3厘受取に付) 牧野権左衛門→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月5日	堅切紙・1通	も 258-9-6
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金3分銀15匁7分5厘受取に付) 竹内勘右衛門→高野権右衛門殿 押切印付、訂正貼紙付	享保18年丑12月6日	堅切紙・1通	も 258-9-7
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2分銀12匁1分9厘受取に付) 藤井彦九郎→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月7日	堅切紙・1通	も 258-9-8
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金上納の内金1両銀13匁6分8厘受取に付) 藤井彦九郎→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月8日	堅切紙・1通	も 258-9-9
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内銀7匁8分7厘受取に付) 牧野権左衛門→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月9日	堅切紙・1通	も 258-9-10
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借金の内金1分銀8匁6分3厘受取に付) 藤井彦九郎→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月11日	堅切紙・1通	も 258-9-11
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金1分銀53匁6厘受取に付) 竹内勘右衛門→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月12日	堅切紙・1通	も 258-9-12
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内銀10匁1分3厘受取に付) 竹内勘右衛門→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月13日	堅切紙・1通	も 258-9-13
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内銀6匁1分9厘受取に付) 牧野権左衛門→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月15日	堅切紙・1通	も 258-9-14
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2分銀7匁1分3厘受取に付) 牧野権左衛門→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月18日	堅切紙・1通	も 258-9-15
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2分銀21匁1分9厘受取に付) 竹内勘右衛門→高野権右衛門殿 押切印付	享保18年丑12月22日	堅切紙・1通	も 258-9-16
(近藤喜左衛門宛初代上納手形綴 享保18年11月～享保19年6月) 綴紐に付札「メ拾六両三分百七拾四匁五厘」		紙縫綴・13点	も 258-10
藤井彦九郎初代上納手形[覚](御種借丑御利足金の内金1両2分銀4匁5分受取に付) 藤井彦九郎→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保19年寅6月16日	堅切紙・1通	も 258-10-1
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1両1分銀13匁6分9厘受取に付) 藤井彦九郎→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保19年寅4月21日	堅切紙・1通	も 258-10-2
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借御利足金の内金5両銀81匁4分9厘受取に付) 藤井彦九郎→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保18年丑12月29日	堅切紙・1通	も 258-10-3
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借御利足金の内金2両2分銀8匁7分5厘受取に付) 竹内勘右衛門→近藤喜左衛門殿	享保18年丑12月28日	堅切紙・1通	も 258-10-4

押切印付、訂正貼紙付			
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2兩銀12匁1分9厘受取に付) 牧野権左衛門→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保18年丑12月24日	堅切紙・1通	も 258-10-5
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀5匁5分4厘受取に付) 藤井彦九郎→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保18年丑12月19日	堅切紙・1通	も 258-10-6
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金上納金の内金1兩銀11匁8分1厘受取に付) 藤井彦九郎→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保18年丑12月16日	堅切紙・1通	も 258-10-7
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金2分銀2匁6分3厘受取に付) 牧野権左衛門→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保18年丑12月15日	堅切紙・1通	も 258-10-8
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金上納の内金1兩1分銀4匁3分1厘受取に付) 藤井彦九郎→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保18年丑12月8日	堅切紙・1通	も 258-10-9
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](御種借金の内金1分銀4匁6分9厘受取に付) 竹内勘右衛門→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保18年丑11月晦日	堅切紙・1通	も 258-10-10
竹内勘右衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀7分5厘受取に付) 竹内勘右衛門→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保18年丑11月27日	堅切紙・1通	も 258-10-11
牧野権左衛門初代上納手形[覚](丑御種借金の内金1分銀12匁5分7厘受取に付) 牧野権左衛門→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保18年丑11月25日	堅切紙・1通	も 258-10-12
藤井彦九郎初代上納手形[覚](丑御種借金の内金3分銀1匁1分3厘受取に付) 藤井彦九郎→近藤喜左衛門殿 押切印付	享保18年丑11月24日	堅切紙・1通	も 258-10-13

16 藩政／財政／勘定所／御用状

(文字金銀引替伺書下書綴 天保13年9月)		包紙一括・9点	も 103
[金銀引替之儀付伺下地 天保十三寅年九月四日](包紙)	天保13年寅9月4日	包紙・1点	も 103-1
矢野倉惣之進申上書(書上なるたけ遅き方にしたき旨等に付) 矢野倉惣之進→岡嶋莊蔵様		横切継紙・1通	も 103-2
(文字金銀草字2分判2朱銀1朱銀通用停止のため所持の有無取調べの上勘定所へ書付提出の旨達案文)		横切継紙・1通	も 103-3
某伺書(文字金銀引替難渋のため1ヶ月両度位にしたき旨に付)		横切紙・1通	も 103-4
某伺書(文字金銀引替方の件留守居へ内々伺いに付)		横切紙・1通	も 103-5
某伺書并下ケ札(御家中及び町方文政度金銀員数取調べ引替方伺いに付)		横切継紙・1通	も 103-6
(引替所が分かれば金出引替の上松代表送付の旨達案文) 下ケ札にて文面訂正		横切紙・1通	も 103-7
御勝手元メ申上書(城下在町引替の件のため江戸出立取計らいの旨に付) 御勝手元メ→ 端裏書「御内々御尋申上」	9月	横切紙・1通	も 103-8
(文字金銀草字2分判2朱銀1朱銀通用停止のため所持の有無取調べの上勘定所へ書付提出の旨達案文)		横切継紙・1通	も 103-9
久保三郎申上書(松代よりも飯山の銭相場宜しき旨に付) 久保三郎→佐藤為之進様(郡奉行勝手元メ兼帯)	(慶応4年)閏4月3日	横切紙・1通	も 139
宮嶋守人申上書(材木買上のための伐出御入用見積りに付) (宮嶋)守人→(竹村)金吾様(郡奉行)	9月27日	横切紙・1通	も 71

も 16 藩政／財政／勘定所／御用状

(甲州表にて錢買上等一件書類綴 5月～11月)		紙縫綴・4点	も 119
伊東千右衛門願書(甲府平野屋元兵衛の才覚金返納のため元金下付に付) 伊東千右衛門→・ 端裏書「小錢御買揚之儀ニ付申上」	5月	横切継紙・1通	も 119-1
春原織右衛門用状[御内用御直披](伊東千右衛門申立ての錢着次第送付すべき件勝手元へ談すべき旨等に付)(春原)織右衛門→(前嶋)友之進様	5月6日	横切継紙・1通	も 119-2
春原織右衛門用状(伊東千右衛門申立ての錢買上都合筋の件綿貫氏引受不都合の旨等に付)(春原)織右衛門→(前嶋)友之進様	6月11日	横切継紙・1通	も 119-3
佐藤美与吉申上書(甲州表にて錢買上等一条書類返上に付)(佐藤)美与喜→・ 端裏書「申上」	11月晦日	横切紙・1通	も 119-4
(松本表格幣製造所出張掛り割合関係書類綴)		紙縫綴・2点	も 132
御勘定役申上書(全国通用格幣製造定詰切別紙の通りに付) 浅間出張御勘定役→・ 端裏書「松本表格幣製造所え出張掛りの儀ニ付申上」	8月	横切紙・1通	も 132-1
御勘定役用状[格幣製造出張割組合](各県藩詰切番人割合書)(浅間出張御勘定役)→・		縦紙・1通	も 132-2
御金掛用状(初五人扶持の者1年に9石1斗渡等書上に付) 御金掛→御賄所様	8月7日	横切継紙・1通	も 169
(金錢書上関連書類一綴)		紙縫綴・2点	も 171
某用状(金106両2分等上納差出分書上に付)		横切継紙・1通	も 171-1
某用状(金37万8千936両3分等御貸出金書上に付)		切紙・1通	も 171-2
(献金等金錢書上関連書類綴)		紙縫綴・12点	も 172
某用状(金4万2千135両1分2朱御用達金内訳に付)		横切継紙・1通	も 172-1
某用状[覚](金1万1千24両2分献金取立内訳に付)		切紙・1通	も 172-2
某用状(金1万300両献金取立内訳に付)		切紙・1通	も 172-3
某用状(金1万1千455両1分等献金取立内訳に付)		切紙・1通	も 172-4
某用状(金8千478両1分3朱献金取立内訳に付)		切紙・1通	も 172-5
某用状(金1万520両等去子年迄上納辻書上に付)		切紙・1通	も 172-6
某用状(金9千970両書上に付)		切紙・1通	も 172-7
某用状(金1万112両1分2朱上納辻書上に付)		切紙・1通	も 172-8
某用状(御借入元金3千965両に付)		切紙・1通	も 172-9
某用状(元金9千929匁等書上に付)		横切継紙・1通	も 172-10
某用状(御警衛費用4万8千817両1分6朱等書上に付)		横折紙・1通	も 172-11
某用状[覚](御繰廻元金2千820両に付)	丑3月	横切継紙・1通	も 172-12
某申上書(小林田鶴助金54両1分5朱借入金利足に付) 虫損		横切継紙・1通	も 175
某申上書(上田藩支配所所在町の者共贖金多難渋に付手形引替に付) 端裏書「上田藩手形岡野殿出」、破損	正月20日	横切継紙・1通	も 176
某願書[覚](手元甚逼迫に付別紙取替金の内20両献金したいとのことに付) 端裏書「水野性江御内借之口上書」	12月18日	横切継紙・1通	も 180
某用状[覚](滞御扶持84俵余りの内40俵払等に付)		横切継紙・1通	も 181
水野清右衛門他一名金錢受取証文[覚](金8両2分9月25日受取に付) 水野清右衛門・酒井市治→小沢小兵衛殿	11月20日	横切継紙・1通	も 182

(御用金関連書類綴)		紙綴綴・5点	も186
八田慎蔵用状(金8両1分5朱支給に付) (八田)慎蔵→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	29日	横切継紙・1通	も186-1
大熊栄治用状(弥五右衛門より百金受取に付) 大熊栄治→佐藤為之進殿	2月10日	横切継紙・1通	も186-2
酒井市治用状(大坂収納代の件に付) (酒井)市治→(水野)清右衛門様	正月19日	横切継紙・1通	も186-3
長谷川三郎兵衛用状(御扶持代金額問合に付) 長谷川三郎兵衛→酒井市治殿	正月19日	切紙・1通	も186-4
某用状(御用金品々メ辻金4千231両3分5朱等用途書上に付)		横切継紙・1通	も186-5
(包紙) 春原玄三→岡野敬一郎様 虫損	9月10日	包紙・1点	も187-1
春原玄三用状(この壺封御一覽願に付) (春原玄三)→ -	9月10日	切紙・1通	も187-2
割番用状(金2千49両2分等払方内訳に付) 割番→ - 端裏書「午暮事件付献金覚」	未7月25日	横切継紙・1通	も188
某用状并端裏朱印(掃除場所上納金160両余等凡積書上に付)		横切継紙・1通	も189
某用状(別紙伺の趣了解願等に付)		横切継紙・1通	も191
某用状(宮下村への人別貸金調査に付)		横切継紙・1通	も192
(下目付宮入芳三郎拝借金関連書類一括)		紙綴綴・3点	も195
(紙綴)		紙綴・1点	も195-1
初方掛伺書[下目付宮入芳三郎拝借金之儀[]伺](下目付宮入芳三郎難渋に付10ヶ年賦にて拝借願に付) 初方掛り→ - 虫損	12月	横切継紙・1通	も195-2
御収納郡方伺書[下目付拝借金之儀ニ付伺](別紙の通り了解に付) 御収納郡方→ -	12月	切紙・1通	も195-3
宮下兵馬用状(金440両3分1朱211文送金に付) (宮下)兵馬→御両人様	11月10日	横切継紙・1通	も196
彦右衛門金銭請取書[覚](正月5日迄金1両6分2朱借用に付) 彦右衛門→役本	未12月30日	切紙・1通	も197
金井渡太夫他一名申上書[覚](金25両幸原村稻荷山村入相札山松木代金として収納に付) 金井渡太夫・児玉九野右衛門／(裏書)矢沢将監・小山田平太夫・望月治部左衛門→竹内勘右衛門殿・馬場与惣右衛門殿	西6月6日	縦紙・1通	も200
金井渡太夫他一名申上書[覚](金25両幸原村稻荷山村入相札山松木代金として収納に付) 金井渡太夫・岡本七右衛門／(裏書)小山田平太夫・大熊鞆負→久保九郎右衛門殿・関口忠右衛門殿 端裏書「松木代」	午4月29日	縦紙・1通	も201
鎌原伊野右衛門書状(御用金に付河原左京殿より佐藤誠之進へ申渡の件に付) 鎌原伊野右衛門→草間一路殿	7月29日	横切継紙・1通	も212
某用状[御内証申上継立候御勝手方へ差出候趣迄](御領内村々の内五穀不毛の地へ手入の心得等に付)		横半半・1冊	も214
某用状(御酒御肴代銀3枚等金銀書上に付)		横切継紙・1通	も216
某用状(伊勢町欠落音吉他9名等書上に付) 端裏書「歎願人別」		横切継紙・1通	も217
近藤権内金銭受取証文并請渡書[覚](大蓮院様御法事に付御施行金地座頭・盲女等へ錢7貫文受渡) 近藤権内／(奥印)柿崎良作／(奥印)磯田音門／(裏書)藤岡伊織→池田富之進殿・長谷川直太郎殿・高久専之助殿他3名	巳5月	縦継紙・1通	も218
某用状(居屋敷高9石余・土蔵一棟等書上に付) 端裏書「塚田常平持地家財等」、虫損	6月	横切継紙・1通	も220

も 16 藩政／財政／勘定所／御用状

三郎兵衛書状(謙兵衛殿去年中100両拝借の処80両返済に付) 三郎兵衛→(宮下)謙大夫様	正月3日	横切継紙・1通	も232
御勝手元メ申上書(御内借金御払切の儀に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「出奔野村善五より御内借金儀付申上」「留済」、裏打済	卯3月23日	横切継紙・1通	も233
御勝手元メ申上書(拝借金は早速上納支給に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御前様御供両組元メ并両組之者[]儀ニ付申上」「留済」、裏打済、虫損	11月20日	切紙・1通	も234
御勝手元メ申上書(当春中御手当金拝借等のため内借願いたいとのことに付) 御勝手元メ→ - 端裏書「仁科章碩御内借金歟願之儀ニ付申上」「留済」	8月24日	横切紙・1通	も235
御勝手元メ申上書(薬種料1両2分拝借願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御供御送路薬種料拝借願之儀付申上」「留済」	10月6日	横切継紙・1通	も236
御勝手元メ申上書(寅年は御足輕一統金3両宛拝借に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御旗組御足輕御手充拝借金之儀付申上」「留済」	9月10日	横切継紙・1通	も237
御勝手元メ申上書(御送路薬籠持銘々拝借願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御送路薬籠持銘々拝借之儀付申上」「留済」	10月10日	切紙・1通	も238
御勝手元メ申上書(度々出府に付手当金支給に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「矢野六蔵御内借金之儀付申上」「留済」	10月	横切継紙・1通	も239
御勝手元メ申上書(御供御送路薬籠持銘々1人宛拝借下に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御送路薬籠持人銘々拝借願之儀付申上」「留済」	10月10日	切紙・1通	も240
御勝手元メ申上書(松山文聲江府拝借金3両1分5朱支給に付並びに篠原亭安出府の節5両拝借に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「松山文聲・篠原亭安拝借金之儀付申上」「留済」	11月2日	横切継紙・1通	も241
御勝手元メ申上書(春原玄三供立帰手当拝借金に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「春原玄三御手充拝借金之儀付申上」	12月16日	横切継紙・1通	も242
某用状(師岡七郎右衛門金10両1分9朱7分5厘前借等メ金39両3分2朱4匁7分5厘書上に付)		横切継紙・1通	も243
某申上書(文化・文政度日光表出立の拝借金を先例に付) 端裏書「日光御供御徒目付御徒士別段拝借之儀付申上」「留済」、裏打済 (御勝手元メ拝借金関連書類綴)		横切継紙・1通	も244
御勝手元メ申上書(御目付方調役難渋に付金15両拝借下されたいとの旨に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御目付方調役拝借金之儀付申上」「留済」	10月	紙綴綴・12点 横切継紙・1通	も245 も245-1
御勝手元メ申上書(佐藤元吉当春中借金半分上納方差支に付拝借金願) 御勝手元メ→ - 端裏書「奥村之役佐藤元吉拝借金之儀付申上」「留済」	10月	切紙・1通	も245-2
御勝手元メ申上書(定府より家内引戻に付拝借金歟願) 御勝手元メ→ - 端裏書「津田軼御手充拝借歟願之儀付申上」「留済」	10月	切紙・1通	も245-3
御勝手元メ申上書(御供出府の者金2分宛拝借に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御手廻七人立帰出府拝借金之儀付申上」「留済」	10月	横切継紙・1通	も245-4
御勝手元メ申上書(桜井与吉板橋宿迄立帰御供に付御手当拝借金1両2分2朱支給願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「桜井与吉御手充拝借金之儀付申上」「留済」	10月	切紙・1通	も245-5
御勝手元メ申上書(御産所中間兩人急出府の御金2両2分御内借に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御産所中間当春急出府拝借金之儀付申上」「留済」	10月13日	横切継紙・1通	も245-6
御勝手元メ申上書(出役の徒士拝借金に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「太田表臨時出役之御徒士拝借金之儀付申上」「留済」「七月廿七日」	7月27日	切紙・1通	も245-7
御勝手元メ申上書(松山文聲先年中貞松院様御供にて出府致し此度立帰に付拝借金3両に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「松山文聲江府より立帰之節拝借金之儀付申上」「留済」、「御見合」附	8月13日	横切継紙・1通	も245-8

札			
御勝手元メ申上書(御料理人手先の者御前様御供立帰出府の節拝借金3朱宛支給に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御料理人手先の者江府拝借金之儀付申上」[留済]	10月3日	切紙・1通	も245-9
御勝手元メ申上書(御湯殿番兩人御産所中間兩人御供出府に付拝借金3分宛支給に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「御湯殿番等拝借金之儀付申上」[留済]	10月11日	切紙・1通	も245-10
御勝手元メ申上書(貞松院様御供立帰の節拝借金願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「千喜良新之進当春中拝借金御渡之儀付申上」[留済]、虫損	12月18日	横切継紙・1通	も245-11
御勝手元メ申上書(島田金隆御供出府に付拝借金歎願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「島田金隆拝借金歎願之儀付申上」[留済]、訂正貼紙付	10月	横切継紙・1通	も245-12
御勝手元メ申上書(埜村弥左衛門去3月中立帰急出府の節拝借金歎願に付) 御勝手元メ→ - 端裏書「埜村弥左衛門去春中急出府之節御内借金之儀付申上」[留済]	正月27日	横切継紙・1通	も247
(御手当相場勘定関連書類一括) 紙縫一括		紙縫束・3点	も248
(紙縫)		紙縫・1点	も248-1
御勝手元メ申上書(金切米之向御手当御扶持方今年上納相場17俵とのことに付) 御勝手元メ→ - 端裏書「金御切米之向御手充相場之儀付申上」[留済]	卯12月28日	横切継紙・1通	も248-2
某用状(卯御手当辻差引勘定に付)		横切継紙・1通	も248-3
(御供御番士増御手当関連書類綴)		紙縫綴・9点	も249
御目付申上書(御供御番士諸色高直難渋のため1人へ5両つ、拝借願勘弁に付) 御目付→ - 端裏書「一」[御供御番士拝借金歎願之儀ニ付申上]	正月	横切継紙・1通	も249-1
御供御番士歎願書[口上覚](月々御手当金3両継続願に付) 御供御番士→ -	2月	横切継紙・1通	も249-2
御目付申上書(月々金5両月々1人へ金300疋づつ手当支給に付) 御目付→ - 端裏書「三」[御供御番士御手充之儀ニ付御内々申上]	2月	横切継紙・1通	も249-3
太郎申上書(御供御番士別紙のような願に付) 太郎→ - 端裏書「四」[申上]	2月9日	切紙・1通	も249-4
前嶋友之進申上書(目付取調申立並びに仰渡方に付) 前嶋友之進→ - 端裏書「五」[御供御番士御手充筋之儀付申上]、訂正貼紙付	2月	横切継紙・1通	も249-5
赤澤助之進書状(御供御番士御手当300疋支給願に付) 赤澤助之進→高野廣馬殿 端裏書「六」	2月11日	横切紙・1通	も249-6
高野廣馬申上書(御供御番士江増御手当の儀長谷川太郎申上の様に御採用とのことに付) 高野廣馬→ - 端裏書「七」[御供御番士江増御手充被下之儀ニ付申上]	2月12日	横切紙・1通	も249-7
某申渡案文(御在京中1人に付月々金3分づつ増御手当下すとのことに付) 端裏書「八」[御試案]、申渡案文		横切継紙・1通	も249-8
助之進用状(御番士内心不満にて拝借金等に付) (赤澤)助之進→(真田)志摩様 端裏書「九」[評議 御供御番士御手充]	2月12日	横切継紙・1通	も249-9
(拝借金関連書類綴)		紙縫綴・4点	も250
御収納郡方申上書(常田(金偏に參)太夫立帰出府仰付られるに付差支御時拝借願に付) 御収納郡方→ - 端裏書「常田(金偏に參)太夫御時拝借之儀ニ付申上」[留済]、訂正貼紙付	11月19日	横切継紙・1通	も250-1
御収納郡方申上書(馬場弥三郎・吉村左織・竹村熊三郎御時拝借上納方歎願に付) 御収納郡方→ - 端裏書「馬場弥三郎外兩人御時借金上納方之儀申上」[留済]	11月22日	切紙・1通	も250-2

も 16 藩政／財政／勘定所／御用状

某用状(去る辰年御帰城の節立帰足輕不足辻へ内借金のため申立に付) 端裏書「先年中御暮写」	7月	切紙・1通	も 250-3
某用状(文久元年小野宗甫へ金2分御帰城の節御手当の旨書上に付)		横切継紙・1通	も 250-4
御収納郡方申上書(去午年6月中立帰足輕拝借願に付) 御収納郡方→ - 端裏書「去午年立帰御足輕拝借金御払切之儀申上」「留済」、裏打済、虫損	12月24日	切紙・1通	も 251
(御収納郡方拝借金関連書類綴)		紙縫綴・10点	も 252
御収納郡方申上書(両角玄脩立帰出府のため拝借金申立に付) 御収納郡方→ - 端裏書「両角玄脩立帰出府拝借金之儀付申上」「留済」	4月19日	切紙・1通	も 252-1
御収納郡方申上書(御酒番惣左衛門出府のため拝借金申立の儀異存なしに付) 御収納郡方→ - 端裏書「御酒番此内惣左衛門出府拝借金之儀付申上」「留済」	5月2日	横切継紙・1通	も 252-2
御収納郡方申上書(辰年御帰城の節立帰御足輕不足辻へ内借金支払に付) 御収納郡方→ - 端裏書「去辰年御帰城の節立帰御足輕不足辻付御内借金之儀付申上」「留済」	7月6日	横切継紙・1通	も 252-3
御収納郡方申上書(卯年より当未年迄差札ノ8兩当未より8年賦にて支給に付) 御収納郡方→ - 端裏書「御入部御供御番士江府御内借金之儀付申上」「留済」、訂正貼紙付	5月15日	切紙・1通	も 252-4
御収納郡方申上書(去る辰年同様金2分5匁づつ支払に付) 御収納郡方→ - 端裏書「御参府御供御足輕不足辻江御内借金之儀付申上」	7月19日	切紙・1通	も 252-5
御収納郡方申上書(小野柔四郎・小野権兵衛拝借金上納方歎願申立附札の通致すべきとのことに付) 御収納郡方→ - 端裏書「小野柔四郎等拝借金上納歎願之儀付申上」「留済」	11月20日	切紙・1通	も 252-6
御収納郡方申上書(江戸迄の振合なら金子3兩拝借に付) 御収納郡方→ - 端裏書「春原玄三急立帰拝借金之儀付申上」「留済」	5月	横切継紙・1通	も 252-7
御収納郡方申上書(御供御右筆両人の下役拝借の儀に付1人の拝借再応申立に付) 御収納郡方→ - 端裏書「御供之御右筆下役拝借之儀ニ付申上」「留済」、訂正貼紙付、虫損	5月13日	横切継紙・1通	も 252-8
御収納郡方申上書(篠原良意亡嫡玄浮修業手当拝借の分御払切歎願に付) 御収納郡方→ - 端裏書「篠原良意立帰修業手充拝借御払切願之儀付申上」「留済」、虫損	4月20日	切紙・1通	も 252-9
御収納郡方申上書(御入部の節御供御番士江府御内借金の儀別段異存なしに付) 御収納郡方→ - 端裏書「御入部之節御供御番士江府御内借金之儀付申上」「留済」	4月24日	横切継紙・1通	も 252-10
御収納郡方申上書(大日方四郎兵衛知行所南俣村分の玄米35俵拝借等に付) 御収納郡方→ - 端裏書「御家中御知行所水災ニ付飯米差支ニ付拝借米歎願之儀御尋ニ付申上」訂正貼紙付	12月	横切継紙・1通	も 253
(借金書上書類綴)		紙縫綴・6点	も 254
某用状(長岡茂市分金43兩2分8匁6分書上に付)		横切継紙・1通	も 254-1
某用状(金井藤三郎分金56兩2分14匁1分9厘書上に付)		切紙・1通	も 254-2
某用状(諏訪部道斉分金25兩1分13匁3分7厘書上に付)		切紙・1通	も 254-3
某用状(栗山五郎作分21兩2分11匁5分1厘書上に付)		横切継紙・1通	も 254-4
某用状(竹花其右衛門分金7兩1分8匁9分2厘等ノ金234兩3分6匁9分7厘書上に付) 訂正貼紙付、裏打済		切紙・1通	も 254-5
某用状(諏訪部道斉分金25兩1分13匁3分7厘等ノ金126兩3分12匁1分3厘書上に付) 裏打済		横切継紙・1通	も 254-6

17 藩政／財政／勘定所／御馬飼料掛

藤田右仲他二名申上書[覚](卯年中御馬飼料他代金146兩余預金に付) 藤田右仲・山岸文太夫・前島源蔵/(奥印)成沢勘左衛門/(奥印)柘植部・竹内金左衛門→飯島五右衛門殿・入十助殿 裏書「表書之通奉承知候 祢津数馬 恩田空 祢津大炊」虫損	宝暦10年辰10月	縦継紙・1通	も140
[御馬飼料之内茱大豆請負人六人江当十二月迄者は迄之通來申年より延引申渡候受書](包紙)	文政6年未11月	包紙・1点	も155-1
殿町新左衛門他五名申上書[御請申上一札之御事](刈大豆御用達延長御受に付) 殿町新左衛門・井神町武左衛門・東寺尾村甚三郎他3名→御郡御奉行 下ケ札あり	文政6年未11月	縦紙・1通	も155-2
奈良井村佐平治他五名申上書[差上申一札之御事](子年御馬飼料人足代金3兩受取に付) 奈良井村御請負佐平治・名主彦左衛門・組頭七郎兵衛他3名→町田権之助様・半田藤右衛門様 端裏書「亥三月 奈良井佐平治」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	も141
(馬轡・荒糠買上願書綴 天保4年12月)		紙縫綴・6点	も159
殿町源治申上書[覚](馬轡1足に付11文5分の値段10文5分に値下願) 殿町源治→長岡藤吉様・丸山平左衛門様御役所 源治下ケ札あり	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も159-1
麴町金太郎願書[覚](あら糠1俵48文等買上願) 麴町金太郎→長岡藤吉様・丸山平左衛門様御役所	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も159-2
殿町竹治郎願書(荒糠1俵48文にて買上願) 殿町竹治郎→御馬飼料御懸り様御役所 下ケ札あり	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も159-3
殿町竹治郎願書(馬轡1足に付12文にて買上願) 殿町竹治郎→御馬飼料御懸り様御役所	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も159-4
中町莊助願書(馬轡1足に付14文にて買上願) 中町莊助→長岡藤吉様・丸山平左衛門様御役所	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も159-5
中町莊助願書(荒糠5斗に付48文にて買上願) 中町莊助→長岡藤吉様・丸山平左衛門様御役所 下ケ札あり	(天保4年)巳12月	切紙・1通	も159-6
金児喜伝治他一名金銭受取証文[覚](御貸馬不足の分御飼料代金2兩13匁5分他11匁分メ金69兩1分受取に付) 御厩小頭金児喜伝治・稲葉恒作/(奥印)竹村金吾・竹村七左衛門/(奥印)宮沢喜代治→小野左金太殿・中島宇吉殿 訂正貼紙付	天保8年酉3月	横切継紙・1通	も160
荒神町喜三郎他一名申上書[差上申一札之御事](御馬飼料代金15兩受取に付) 荒神町納主喜三郎・御請合小川屋惣吉→中島宇吉様・丸山平左衛門様 端裏書「未七月 荒神町喜三郎」虫損	天保6年未7月	縦紙・1通	も142
金児銀之助他一名申上書[覚](午年御馬飼料大豆代金31兩余受取に付) 御厩小頭金児銀之助・同小池太三郎/(奥印)竹村金吾・竹村七左衛門・中村元尾/(奥印)堀内太一郎→中島宇吉殿・丸山平左衛門殿 虫損	天保6年未3月	縦継紙・1通	も144
殿町源治他一名受取証[御請申一札証文之御事](御馬飼料御買上沓代金2万11兩) 御受負人殿町源治・御受人金十郎→御馬飼料御掛り様御役所 端裏書「源治」	天保6年未12月	縦紙・1通	も149
御厩申上書[覚](当未8月より来申7月まで御飼料大積合計9千480朱に付) 御厩→御飼料掛様	(天保6年)未閏7月	横切継紙・1通	も154
(御馬飼料受取書綴 天保7年2月)	天保7年申2月	紙縫綴・3点	も145
小池栄治他一名申上書[覚](未年御馬飼料大豆他代金10兩余受取に付) 御厩小頭小池栄治・同稲葉恒作/(奥印)竹村金吾/(奥印)相原織之助→中島宇吉殿・丸山平左衛門殿 虫損	天保7年申2月	縦継紙・1通	も145-1
小池栄治他一名申上書[覚](御借馬飼料代金66兩余受取に付) 御厩小頭小池栄治・同稲葉恒作/(奥印)竹村金吾・竹村七左衛門・江戸詰無印中村元尾/(奥印)相原織之助→中島宇吉殿・丸山平左	天保7年申2月	縦継紙・1通	も145-2

衛門殿 虫損			
小池栄治他一名申上書[覚](御馬飼料大豆代金33兩余受取に付) 御厩小頭小池栄治・同稲葉恒作/(奥印)竹村金吾・竹村七左衛門・江戸詰無印中村元尾/(奥印)相原織之助→中島宇吉殿・丸山平左衛門殿 虫損	天保7年申2月	縦継紙・1通	も 145-3
宮沢喜代治他一名申上書[覚](御馬飼料代金119兩余受取に付) 助宮沢喜代治・同相原惣左衛門/(奥印)金児丈助→関口文十郎殿・小崎孝作殿・前崎源藏殿他2名 虫損	天保8年酉12月	堅切紙・1通	も 143
金児喜伝治他一名申上書[覚](申年御馬飼料大豆代金37兩余受取に付) 御厩小頭金児喜伝治・稲葉恒作/(奥印)竹村金吾・竹村七左衛門/(奥印)宮沢喜代治→小野左金太殿・中島宇吉殿 虫損	天保8年酉3月	縦継紙・1通	も 146
御馬飼料掛伺書(去巳12月から当5月まで過納代金905兩余に付) 御馬飼料掛→ - 端裏書「御馬飼料過納人別之者共江御下ヶ金之儀伺」、虫損	7月	横切継紙・1通	も 147
司駁伺書[口上覚](御厩日々御入料真木の減らし方に付) 司駁→ - 端裏書「御厩日々御入料真木の議ニ付奉伺」、下ヶ札あり	閏10月	横切継紙・1通	も 148
(御馬飼料大豆入札綴 天保9年12月)		紙縫綴・14点	も 150
東川田村留八請書[差上申一札之御事](大豆1兩あたり1石2斗1升にて販売に付) 東川田村留八→御掛り御役所	天保9年戌12月	堅切紙・1通	も 150-1
東川田村健左右衛門請書[差上申一札之事](大豆1兩あたり1石2斗1升にて販売に付) 東川田村健左右衛門→御懸り御役所	天保9年戌12月	堅紙・1通	も 150-2
殿町金十郎入札書[覚](大豆1兩あたり1石2斗8升にて買上願に付) 殿町金十郎→御馬御飼料御掛り様御役所	天保9年戌12月	横切紙・1通	も 150-3
下租山村伊右衛門他一名請書(大豆1兩あたり1石1斗6升5合にて販売に付) 下租山村伊右衛門・両吉→ -	(天保9年)戌12月	堅切紙・1通	も 150-4
東川田村与右衛門請書[差上申一札之御事](大豆1兩あたり1石2斗にて販売に付) 東川田村与右衛門→御懸り御役所	天保9年戌12月	堅切紙・1通	も 150-5
坪根村作兵衛請書(大豆1兩あたり1石2斗5合にて販売に付) 坪根村作兵衛→ -	(天保9年)戌12月	堅切紙・1通	も 150-6
中町瀬右衛門請書[覚](大豆1兩あたり1石1斗6升にて販売に付) 中町瀬右衛門→小野左金太様・青柳忠太様	天保9年戌12月	横切紙・1通	も 150-7
新町村正之助他一名請書(御馬飼料として大豆1兩あたり1石1斗7升にて販売に付) 新町村正之助・民蔵→ -	天保9年戌12月	堅切紙・1通	も 150-8
殿町仁平入札書[入札奉差上候](大豆1兩あたり1石5升にて買上願に付) 殿町仁平→ -	(天保9年)戌12月3日	横切紙・1通	も 150-9
肴町長治請書[覚](大豆1兩あたり1石2斗にて販売に付) 肴町長治→小野左金太様・青柳長太様	(天保9年)12月	横切紙・1通	も 150-10
大岡代村五右衛門入札書[入札](御馬飼料として大豆1兩あたり1石1斗6升にて買上願に付) 大岡代村五右衛門→御馬飼料御役所	天保9年戌12月	堅紙・1通	も 150-11
上小島田村重兵衛他一名入札書[入札之事](上大豆1兩あたり1石5升にて買上願に付) 上小島田村重兵衛・儀右衛門→ -	(天保9年)戌12月3日	横切紙・1通	も 150-12
東寺尾村儀左衛門入札書[覚](大豆1兩あたり1石1斗5升にて買上願に付) 東寺尾村儀左衛門→御馬屋御掛り御役所	(天保9年)12月	横切紙・1通	も 150-13
山上条村由右衛門入札書[差上申一札之事](大豆1兩あたり1石1斗にて販売に付) 山上条村由右衛門→御懸り御勘定御役所	天保9年戌12月	堅紙・1通	も 150-14
(御馬飼料受取証綴 嘉永6年11月～2月)		紙縫綴・3点	も 152
(御馬飼料勘定書)		横切紙・1通	も 152-1

北島理兵衛他一名金銭受取証文[覚](御馬飼料刈大豆代金72両余受取つき) 北島理兵衛・関田慶左衛門/(奥印)水野清右衛門/(奥印)菊池孝助・御用無印水井忠蔵/(奥印)竹村金吾→片桐重之助殿・高野覚之進殿	嘉永6年丑11月	堅継紙・1通	も152-2
北島理兵衛他一名金銭受取証文[覚](御馬飼料品々代金89両余受取に付) 北島理兵衛・関田慶左衛門/(奥印)半田亀作/(奥印)菊池孝助・水井忠蔵/(奥印)宮下兵馬→片桐重之助殿・高野覚之進殿	嘉永7年寅2月	堅継紙・1通	も152-3
木渡若林新吾他一名金銭受取証文[覚](藁165駄5朱5分代金6両1分2朱3分8厘受取に付) 木渡若林新吾・北沢丈兵衛→片桐重之助殿・高野覚之進殿 訂正貼紙付	(嘉永6年)丑12月	横切継紙・1通	も177
木渡若林新吾他一名金銭受取証文[覚](藁224駄代金8両2分6厘9分2厘受取に付) 木渡若林新吾・北沢丈兵衛→片桐重之助殿・高野覚之進殿 端裏書「藁代御馬飼料払」	安政元年寅12月	切紙・1通	も178
御厩所申上書[覚](大豆32石7斗6升等来午年御馬飼料見積書上に付) 御厩所→ -	巳10月	横切継紙・1通	も156
(御厩飼料関連書類綴)		紙綴綴・3点	も157
御馬飼料掛伺書[口上覚](当7月より12月までの御馬飼料大豆53石入札願に付) 御馬飼料掛→ -	7月	横切継紙・1通	も157-1
御厩申上書[覚](当7月より12月までの飼料大豆66石5斗6升見積に付) 御厩→御飼料掛様	7月	横切継紙・1通	も157-2
某用状[覚](大豆5石6斗2升8合小笹沖之嶋去年分に付)		切紙・1通	も157-3
某取調書[別段御馬七疋分取調](大豆32石3斗代金32両1分3匁等馬七疋分入料ノ金97両3分5匁取調に付) 端裏書「七疋分惣御入料取調」		切紙・1通	も179
[上](包紙)		包紙・1点	も153-1
五荷町長治他四名願書[乍恐以書付奉追歎願候](御馬飼料高直のため御厩御差支に付) 五荷町惣代長治・中町同長右衛門・御厩町同猶八郎他2名→御飼料御掛り御役所	明治2年巳4月	堅継紙・1通	も153-2

18 藩政／財政／勘定所／穀類相場

某用状[当亥石代御直段](本途米・口米相場書)		堅紙・1通	も42
(領内相場取調申上書一括 明治元年11月)		紐一括・25点	も40
(紐)		紐・1点	も40-1
[辰納御立相場伺](封筒) 佐藤為之進	(明治元年)11月	封筒・1点	も40-2
磯田音門他三名伺書[辰納御立相場伺](辰年米大豆買継相場立のため取調に付) 磯田音門・佐藤為之進・岸太五之丞他1名付紙、下ヶ札あり	明治元年11月	堅半・1冊	も40-3
(松代城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調申上書綴 明治元年11月)	(明治元年)	紙綴綴・14点	も40-4
某用状[御城下町平均](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付)	(明治元年)	堅紙・1通	も40-4-1
紺屋町弥右衛門申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 紺屋町弥右衛門→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月11日	堅紙・1通	も40-4-2
中町嘉忠治申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 中町嘉忠治→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月11日	堅紙・1通	も40-4-3
荒神町孝治郎申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 荒神町孝治郎→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月11日	堅紙・1通	も40-4-4

も 18 藩政／財政／勘定所／穀類相場 19 藩政／財政／勘定所／諸願

鏡屋町長左衛門申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 鏡屋町長左衛門→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月11日	豎紙・1通	も 40-4-5
紺屋町弥右衛門申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 紺屋町弥右衛門→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月13日	豎紙・1通	も 40-4-6
中町嘉忠治申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 中町嘉忠治→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月13日	豎紙・1通	も 40-4-7
荒神町孝治郎申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 荒神町孝治郎→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月13日	豎紙・1通	も 40-4-8
鏡屋町長左衛門申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 鏡屋町長左衛門→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月13日	豎紙・1通	も 40-4-9
紺屋町弥右衛門申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 紺屋町弥右衛門→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月15日	豎紙・1通	も 40-4-10
中町嘉忠治申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 中町嘉忠治→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月15日	豎紙・1通	も 40-4-11
荒神町孝治郎申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 荒神町孝治郎→御勘定所御元ノ御役所	明治元年辰11月15日	豎紙・1通	も 40-4-12
鏡屋町長左衛門申上書[覚](城下町平均真粳・覆粳・大豆相場取調に付) 鏡屋町長左衛門→御勘定所御元ノ御役所 端裏貼紙「御見合」	明治元年辰11月15日	豎紙・1通	も 40-4-13
(領内粳・大豆相場取調申上書綴 明治元年11月)		紙綴綴・8点	も 40-5
鎌原伊野右衛門用状(別紙伺附札の通り心得るべき旨に付) 鎌原伊野右衛門→佐藤為之進殿	(明治元年)11月24日	横切紙・1通	も 40-5-1
某用状[所々相場平均](上田町・稲荷山村等粳・大豆相場取調に付) 下ケ札あり	(明治元年11月)	豎紙・1通	も 40-5-2
鼠宿村西沢仁兵衛他二名申上書[差上申一札之事](上米・上大豆相場取調に付) 鼠宿村名主西沢仁兵衛・組頭長左衛門・長百姓泰助→御勘定所御勘定御元ノ御役所	明治元年辰11月	豎紙・1通	も 40-5-3
桑原村栄左衛門他三名申上書[差上申一札之事](粳・玄米・大豆相場取調に付) 桑原村名主栄左衛門・組頭平八・同新助他1名→御勘定所御勘定御元ノ御役所	明治元年辰11月14日	豎紙・1通	も 40-5-4
新町村源之丞他四名申上書[差上申一札之事](粳・玄米・大豆相場取調に付) 新町村名主源之丞・組頭喜右衛門・同断久之丞他2名→御勘定所御勘定御元ノ御役所	明治元年辰11月14日	豎紙・1通	も 40-5-5
渡町村鈴木八兵衛申上書[差上申一札之事](粳・玄米・大豆相場取調に付) 渡町村鈴木八兵衛→御勘定所御勘定御元ノ御役所	明治元年辰11月14日	豎紙・1通	も 40-5-6
福島宿花井定之助申上書[差上申一札之事](粳・大豆相場取調に付) 福島宿問屋花井定之助→御勘定所御勘定御元ノ御役所	明治元年辰11月14日	豎紙・1通	も 40-5-7
小布施村関谷小右衛門申上書[相場書上覚](小布施町木屋太作粳・玄米・大豆相場取調に付) 小布施村関谷小右衛門→御勘定所御勘定御元ノ御役所 端裏貼紙「御見合」	明治元年辰11月13日	豎紙・1通	も 40-5-8

19 藩政／財政／勘定所／諸願

西条村名主久左衛門他五名申上書[乍恐以書付奉申上候](御用地拝命のため御高辻地代金積高1斗5升2合にて御下ケ金4兩頂戴に付) 西条村名主久左衛門・長百姓新左衛門・頭立惣代徳右衛門他3名→池田良右衛門様・中嶋宇吉様・御立合中村義一郎様 裏打済	天保6年未2月	豎継紙・1通	も 183
[上](包紙) 上松村孫右衛門		包紙・1点	も 162-1

20 藩政／財政／勘定所／諸金銭請払	21 藩政／財政／奥向／諸勘定	も 19 藩政／財政／勘定所／諸願	22 藩政／財政／甲府・奥羽出兵
上松村本郷孫右衛門願書[乍恐以書付奉願上候](鬼無里山御林より御城用才薪伐出難渋に付冥加金免除願に付) 上松村本郷孫右衛門→才薪御懸り御役所 (大豆買上関係書類一括 12月)	慶応3年卯6月	堅紙・1通	も 162-2
御用達新左衛門願書(当年出水で刈大豆泥付にて買上等により当家難渋のため引役願に付) 御用達新左衛門→竹(村)権左衛門様御取次中様	12月朔日	端貼付一括・2点 横切継紙・1通	も 158 も 158-1
竹村権左衛門願書(新左衛門妻子扶助のため手当支給願に付) (竹村)権左衛門→(岡嶋)莊藏様	12月7日	切紙・1通	も 158-2

20 藩政／財政／勘定所／諸金銭請払

関屋村喜太郎他八名受取証文[御金奉請取証文之事](来戊年中御入料薪の内前金6両余引当請人喜伝治所持畑5俵地に付) 関屋村御請負人喜太郎・同永左衛門・同佐左衛門他6名→相原惣左衛門様・宮沢喜代治様 端裏書「関屋村喜太郎」	天保8年酉12月	堅継紙・1通	も 70
竹村金吾金銭請取書[覚](用紙代銀2匁6分4厘受取に付) 竹村金吾→小林友之丞殿・宮下民馬殿	午8月	切紙・1通	も 190
屋根屋常吉申上書[覚](御役所下家分等屋根葺替代金ノ1両1分2朱銭374文に付) 屋根屋常吉→御役所御役人衆中様 訂正貼紙付	5月	堅継紙・1通	も 219

21 藩政／財政／奥向／諸勘定

三嶋申上書(250疋御内拝借に付) 三嶋→ 端裏書「貞松院様御暮前御内借之儀申上」	12月28日	切紙・1通	も 231
---	--------	-------	-------

22 藩政／財政／甲府・奥羽出兵

(拝借金引揚勘定関係綴)		紙縫一括・2点	も 81
某用状(北越出兵戦争入用差支のため9万5千両拝借返済残金仕訳に付) 黒罫紙使用		堅紙・1通	も 81-1
(松代・須坂・飯山・小諸・上田藩制造高・引揚支消高取調書)		堅紙・1通	も 81-2
林栄之進願書(新潟表出張のため御手札25両官札と引替に付) 林栄之進→御番頭御中	7月	横切継紙・1通	も 112
(甲州一件献金関連書類綴)		紙縫綴・8点	も 261
海沼龍平申上書(今般の御大事件に付御救助の数万の手形急場は借入にするべきとのこと等に付) 海沼龍平→岡野敬一郎様・柘植彦六様 端裏書「海沼新輔より返草」	(明治3年)12月19日	横切継紙・1通	も 261-1
出納掛申上書(甲州山梨郡倉科村間瀬竹八大事件の際に官札100両献金に付御帷子一つ下賜に付) 出納掛→ 端裏書「野池一条申立」虫損	(明治3年)12月	横切継紙・1通	も 261-2
某用状(金15両3朱銭280文大事件の節野池勇太郎借入に付)	(明治3年)12月29日	横切継紙・1通	も 261-3
甲州巨摩郡台ヶ原村八之丞用状(野池勇太郎への片袖拝命の件承知に付) - →松代御役人衆中様	(明治3年)庚午極月20日	横切継紙・1通	も 261-4
海沼龍平願書[奉願候書付](今般御在所表大事件に付金10両献金願に付) 海沼龍平→水野清右衛門殿 訂正貼紙付	(明治3年)庚午12月	横切紙・1通	も 261-5

海沼龍平申上書〔取替金左之通〕〔取替金3両山本左兵衛殿等 ×金30両2分の内25両御救筋御入費の内へ献金致すこと 等に付〕 海沼龍平→水野清右衛門殿 上部破損	(明治3年)12月	横切継紙・1通	も 261-6
間瀬竹八用状(金100両差上ることに付) 間瀬竹八→野地勇太 郎様	(明治3年)午12月15日	横切継紙・1通	も 261-7
海沼龍平用状(今般御大事件の節金10両献金したこと承知 致してくれるようにとのこと等に付) 海沼龍平→水野清右 衛門様	(明治3年)12月19日	横切継紙・1通	も 261-8

23 藩政／財政／神社郡政局・民事掛／申上書・諸用状

某用状〔口上書〕(当県管内石代相場の件大蔵省租税寮へ伺 のところ別段伺わず定めてもよい旨口建に付) 端裏貼紙「 三」	11月20日	横切紙・1通	も 43
(瀬戸川村馬曲組御手当関連書類綴)		紙綴綴・4点	も 291
郡政副主事伺書并下ヶ札(瀬戸川村馬曲組大麦3俵3斗夫喰 差支に付御手当下すことに付並びに伺いの通りとの旨に 付) 郡政副主事→ 裏打済、下ヶ札あり	4月	横切継紙・1通	も 291-1
野本力太郎口上書〔口上覚〕(瀬戸川村馬曲組大麦3俵3斗夫 喰差支に付御手当下すことに付) 野本力太郎→ 裏打済	4月	横切継紙・1通	も 291-2
出納懸り申上書(極難の村々夫食拝借大麦代金支給に付) 出納懸り→ 端裏書「村々夫食拝借御下ヶ金之儀ニ付申上」裏打 済	12月	横切継紙・1通	も 291-3
瀬戸川村馬曲組名主善九郎他二名申上書〔御尋ニ付忝恐以 書付奉申上候〕(当村初蔵他8名当村困窮人書上に付) 瀬 戸川村馬曲組名主善九郎他2名→司祝御役所 訂正貼紙付、端裏書 「瀬戸川村馬曲組極難之上病災人別御手充伺 郡政副主事」	明治3年午4月	豎半・1冊	も 291-4
(小河原村東組御手当関連書類綴)		紙綴綴・3点	も 292
某申上書(小河原村東組御手当の儀少々宛になるとのこ とに付) 端裏書「小河原村東組御手充之儀付申上」	12月	横切継紙・1通	も 292-1
某用状(小河原村東組御手当下され方の儀郡政方伺には 明年は兎も角今年は下すようにとのことに付) 端裏書「小 河原村」		横切継紙・1通	も 292-2
某用状(小河原村東組の文政2年よりの免相書上に付) 貼紙 付		横切継紙・1通	も 292-3
某用状(押鐘村極難洪の者34人奉公稼致したいとの旨等に 付)		横切継紙・1通	も 293
某用状(下高田村文政3年等の御手当初・金取調に付) 一部 裏打済		横切継紙・1通	も 294
(地京原村藤沢組地震御手当関連書類綴 明治4年10月～12 月)		紙綴綴・3点	も 288
監督申上書并端裏朱印(地京原村藤沢組の者弘化4年地震に て難渋いたし安政6年より昨午年迄12ヶ年初30俵御手当 下していたのでこの度も支給に付) 端裏書「地京原村之内藤 沢組之者御手充初被下方之儀ニ付申上」	(明治4年末)12月29日	横切継紙・1通	も 288-1
民事掛伺書(地京原村藤沢組の者共去る未年地震災にて家・ 人馬・田畑被害に付御手当初30俵是までのように支給の 件に付) 民事掛→	(明治4年)未11月	横切継紙・1通	も 288-2
地京原村上組藤沢組惣代大久保庄右衛門他四名歎願書〔乍 恐以書付奉歎願候〕(当村の者共去る未年地震大災にて 家・人馬・田畑被害に付御救頂戴致したいとのことに付) 地京原村上組藤沢組惣代大久保庄右衛門・名主吉沢次五右衛門・組頭	明治4年末10月	豎半・1冊	も 288-3

大内富作他2名→松代御役所 訂正貼紙付、端裏書「地京原村御手充伺 民事懸」との貼紙付			
(力石村山師中村庄八御林入札等関連書類綴)		紙綴綴・3点	も 207
力石村山師中村庄八願書[差上申一札之事](上平村地附御林の松木代金425両御下ケ願に付) 力石村山師中村庄八→訂正貼紙付	明治4年未2月	堅紙・1通	も 207-1
力石村山師中村庄八申上書[御尋ニ付奉申上候](入札御尋に付、金525両であるとの旨返答に付) 力石村山師中村庄八→松代藩御役所 訂正貼紙付	明治4年未2月	堅紙・1通	も 207-2
力石村山師中村庄八願書并下ケ札[乍恐以書付奉願上候](御林御払木入札任命等並びに上納残金400両の件等に付) 力石村山師中村庄八 下ケ札あり	明治4年未2月	堅半・1冊	も 207-3
(長寿者扶持米御手当関連書類綴)		紙綴綴・4点	も 289
会計懸申上書(中町新七借家喜作祖母みき他39名88歳以上長寿のため年々初2人扶持下すとのことに付) 会計懸→	2月	横切綴紙・1通	も 289-1
会計懸申上書(竹山同心町作右衛門稀の長寿に付初2人扶持支給に付) 会計懸→		切紙・1通	も 289-2
市井方申上書(中町宮沢新七借家小林喜作祖母みき稀の長寿のため年々初2人扶持支給願に付) 市井方→会計方様	2月19日	横切綴紙・1通	も 289-3
会計懸申渡(88歳以上の者病死の儀に付) 会計懸→		切紙・1通	も 289-4
会計掛り伺書(岩崎五郎右衛門初19俵等献上致す者昨年居宅焼失のため献上の初下すとのことに付) 会計掛り→端裏書「伺」「承済候事」	2月16日	横切綴紙・1通	も 290
(窮民御救関連書類綴)		紙綴綴・12点	も 281
野中喜左衛門伺書(残金93両3分に付) 野中喜左衛門→端裏書「山里村之町之外窮民御救大麦代金御中借之儀伺」	12月	切紙・1通	も 281-1
郡政庶務方伺書(上祖山村金12両2分等、33両3分に付) 郡政庶務方→端裏書「窮民江被下大麦代金渡残之儀付伺」、「承済候事」貼紙付	11月	横切綴紙・1通	も 281-2
某用状(大熊村金38両3分7匁8分等書上に付) 端裏書「夫食拝借等」		横切綴紙・1通	も 281-3
郡政副主事申上書(救済のため様子取調べるべきに付) 郡政副主事→端裏書「小沼村御救之儀御尋付申上」	12月6日	横切綴紙・1通	も 281-4
民事掛伺書并藤井端裏朱印(町方大麦相場取調に付) 民事掛→端裏書「窮民御救被下物代金御下ケ之儀伺」	(明治4年)未12月	横切綴紙・1通	も 281-5
監督申上書并赤澤端裏朱印(一昨午年未進取立金にて救済に付) 監督→端裏書「窮民御救筋御金払之儀ニ付申上」	正月11日	横切綴紙・1通	も 281-6
民事懸伺書(午年未進取立の内にて救済に付) 民事懸→端裏書「窮民御救被下候儀ニ付伺」	正月	切紙・1通	も 281-7
某用状(笹平村寛延3年より寛政11年までの御手当書上に付)		切紙・1通	も 281-8
某用状(大安寺村金42両1分3匁等慶応3年～明治2年日記拝借記事書抜に付)		横切綴紙・1通	も 281-9
某書状(当藩支配所救済の米買上に付) - →久保田新兵衛様裏打済	9月13日	横切綴紙・1通	も 281-10
伊藤作右衛門他一名伺書(当春麦不作の村々への鑑札仕様等に付) 伊藤作右衛門・竹内六郎兵衛→	9月	横切綴紙・1通	も 281-11
伊藤作右衛門他一名申上書(山中村々作柄悪く難渋のため御救夫食歎願に付) 伊藤作右衛門・竹内六郎兵衛→	9月	横切綴紙・1通	も 281-12
(近年農業出精収納方相励む者へ御手充関連書類綴)		紙綴綴・8点	も 286

も 23 藩政／財政／神社郡政局・民事掛／申上書・諸用状 24 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状

某用状(本免・冥加等収納増加の仕法等に付) 端裏書「壺」「御尋之御趣意」		横切継紙・1通	も 286-1
某用状(村々へ臨時手当の件に付) 端裏書「式」「下案」		横切継紙・1通	も 286-2
矢沢監物書状(別紙の趣承済並びに来月朔日に申渡ようにとのこと) 矢沢監物→岡嶋莊藏殿 端裏書「三」	11月22日	切紙・1通	も 286-3
某用状(村々臨時手当の申渡しの案文取調に付) 端裏書「四」「窺下案」		横切継紙・1通	も 286-4
某用状[被仰渡](近年農業出精者への臨時手当評議に付)		横切継紙・1通	も 286-5
(収納試算) 追加石高貼紙付		横切継紙・1通	も 286-6
某廻章并権右衛門勘返状(下案伺取調書へ意見依頼に付) 端裏書「廻章」		横切継紙・1通	も 286-7
某廻章并権右衛門勘返状(元メの下案伺取調書へ意見依頼に付) 端裏書「廻章」		横切継紙・1通	も 286-8
民事懸伺書并端裏朱印(村々窮民の者年々取調難渋次第家内人数に応じ大麦半俵より3俵・5俵位代金にて御救助致すことに付) 民事懸→・ 端裏書「村々窮民御救筋之儀伺」「伺之通」・貼紙付	8月22日	切紙・1通	も 287

24 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状

大東象五郎用状(御普請入用は書上の旨伺い等に付) 大東象五郎→関田大人様	9月11日	横切継紙・1通	も 78
会計懸伺書(千里申立のようにすべきとの旨に付) 会計懸→・ 端裏書「祢津千里申立御尋ニ因拜借取立方之儀伺」	12月12日	横切継紙・1通	も 221
計政副主事伺書(松村甚之丞・桜井佳人・関山治兵衛飯米差支難渋のため先ず1俵相渡に付) 計政副主事→・ 端裏書「飯米差支拜借米之義伺」	8月15日	横切継紙・1通	も 222
計政副主事申上書(柏原県へ出張難渋に付金45両拜借に付) 計政副主事→・ 端裏書「春日庫治御内借之義ニ付申上」	5月	切紙・1通	も 223
計政副主事申上并計監端裏朱印(篠崎源五郎・友野俊蔵・桜井佳人飯米差支難渋のため1俵つつ拜借並びに計監可とのことに付) 計政副主事→・ 端裏書「申上」	7月7日	切紙・1通	も 224
宮繕庶務伺書(学校御修復御入料金20両に付) 宮繕庶務→・ 端裏書「学校御修復御中借伺」	6月18日	横切継紙・1通	も 225
計政副主事申上并計監端裏朱印(緑川茂馬・依田多吉・宮本勇太郎飯米差支難渋のため1俵つつ拜借並びに計監可に付) 計政副主事→・ 端裏書「申上」	7月4日	切紙・1通	も 226
計政副主事用状(祢津千里難渋のため拜借金40両歎願に付) 計政副主事→・		横切継紙・1通	も 227
(中借関連書類一括)		紙繕束・3点	も 228
(紙繕)		紙繕・1点	も 228-1
給録掛伺書并計政副主事答書貼紙(御賞典の分御中借にて支給並びに認可の旨に付) 給録掛→・ 端裏書「小頭御足輕御賞典被下之分御中借之儀伺」	2月晦日	切紙・1通	も 228-2
某用状[覚](午年分の玄米出入大凡の積に付) 端裏書「午年分大凡之出入」		横切継紙・1通	も 228-3
(包紙) 柘植彦六・玉川一学→岸善八様		包紙・1点	も 100-1
玉川一学他一名用状(御預所ニ納年貢金の内悪金あり差支のため早速金出取計り願等に付) (玉川)一学・(柘植)彦六→	12月15日	横切継紙・1通	も 100-2

(岸)善八様			
[口上覚](包紙) 善光寺上人内柄沢彦三 掛紙[口願上人役人御手形官札と御引替之儀]両之通相願申候無余岐次第と奉存候間御聞濟被成下候様仕度此段奉伺候 郡政副主事]		包紙・1点	も102-1
柄沢彦三願書[奉願上候口上覚](遠国にて不通用の手形並びに商社手形官札の引換願に付) 善光寺上人内柄沢彦三→郡政御役所	6月	横切継紙・1通	も102-2
石阪市郎右衛門他一名申上書(穀留酒造菓子類差留の有無出張の者見込数提出等に付) (石阪)市郎右衛門・(野中)直之助→(倉田)三之丞様・(堀内)莊治様・(半田)亀作様		横切継紙・1通	も129
野中直之助申上書(札割賦10分1だけ受取と決定に付) (野中)直之助→(倉田)三之丞様	9月5日	横切継紙・1通	も135
直太郎願書(甲府拝借金青木小源二分支給とのことにつ) 直太郎→弥左衛門様	6月10日	横切継紙・1通	も230
(松代藩管下御救のため借入金仮証綴)		紙経綴・3点	も262
松代藩野池勇太郎仮証[仮証](今般松代藩管下の者御救助筋に付金30両借入に付) 松代藩野池勇太郎→甲州八代郡八田村八田伊左衛門殿	明治3年庚午12月	堅紙・1通	も262-1
松代藩野池勇太郎仮証[仮証](今般松代藩管下の者御救助筋に付金50両借入に付) 松代藩野池勇太郎→甲州山梨郡仙口村駒井孫八殿	明治3年庚午12月	堅紙・1通	も262-2
松代藩野池勇太郎仮証[仮証](今般松代藩管下の者御救助筋に付金100両借入に付) 松代藩野池勇太郎→甲州山梨郡倉科村間瀬竹八殿	明治3年庚午12月	堅紙・1通	も262-3
伊東千右衛門書状(金90両追々引替の件御含み置かれたき旨等に付) (伊東)千右衛門→清右衛門様	4月6日	横切継紙・1通	も124
三井金七郎内栄蔵受取書[覚](金札10両に付) 三井金七郎内栄蔵→郷原力作様	12月11日	横切継紙・1通	も126
某伺書(御県納所相場なきため大蔵卿より当未年石代相場の件御達の文義弁解仕兼ねるに付) 端裏書「十一月十七日急便二付伺差出」二]	(明治4年)	横切紙・1通	も44
大蔵卿大久保他一名申渡(各府県管下当未年租税石代のため最寄市町相場書租税寮へ差出すべき旨に付) 大蔵卿大久保・大蔵大輔井上→・ 端裏書「十一月十六日来ル」一]	(明治4年)辛未8月8日	横切継紙・1通	も45
(御藩債のため上納金出資人へ盃下賜関係書類類 明治4年4月)		紙経綴・4点	も79
用度司用状(御藩債のため上納金出資人内川村赤池善之助他2名へ盃下賜に付) 用度司→・ 端裏書「四月十八日分廿八日河原権大参事断」	(明治4年4月)	横切紙・1通	も79-1
用度司用状(御藩債のため上納金出資人紙屋町上野要之助他80名へ盃・摺物下賜に付) 用度司→・	(明治4年4月)	横切継紙・1通	も79-2
用度司用状(御藩債のため上納金出資人会計方算師附雇足輕吉味弁治郎へ摺物3枚下賜に付) 用度司→・ 端裏書「未四月七日赤沢権大参事断」	(明治4年4月)	横切紙・1通	も79-3
赤沢権大参事用状(御藩債のため上納金出資人紺屋町白沢定右衛門他30名へ煙管・摺物下賜に付) 赤沢権大参事(蘭溪)→用度司中	(明治4年)4月7日	横切継紙・1通	も79-4
会計掛用状(別紙伺の通了承並びに長岡茂市は九等分支給に付) 会計掛→・		切紙・1通	も173
草間一路伺書[牢舎人仕着代御中借之儀伺](牢舎人共当冬仕着買上代金10両5分錢80文頂戴願に付) 草間一路→郡政副主事 下ケ札あり、一部破損	11月	堅半・1冊	も193
草間元司用状(御買上取計並びに代金受取に付) (草間)元司	正月6日	横切継紙・1通	も194

も 24 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状 25 藩政／財政／計政局・会計掛／金札・銭札・官札

→(山寺)源太夫様・(高山)内蔵進様 端裏書「正月十四日到来 元司より十七日作答」			
某用状(当25日難渋村々御手当粉当年より支給不能の旨申渡に付) 朱書点付		横切継紙・1通	も 257

25 藩政／財政／計政局・会計掛／金札・銭札・官札

会所書状(太政官札用立たず正金悪金にて才覚難渋のため 拝借金返納延引願に付) 会所→高山様	正月8日	横切継紙・1通	も 113
駒村佐十郎内々申上書(莫大損失不都合の件池辺五位殿と 会談に付) 駒村佐十郎→ - 端裏書「金札通用之義被仰出ニ付其 御向え罷出相伺候趣旨荒増御内々申上」	2月	横切継紙・1通	も 114
計政副主事申上書(全国銭札製造入料割合金送付のところ 途中この書面と行違いある旨等に付) 計政副主事→ - 端 裏書「全国銭幣之義ニ付申上」	12月5日	横切継紙・1通	も 115
郡方御役所廻状雛型(金札相金差出正金と引替の者処罰の 旨朝廷より指令に付) 郡方御役所→ - 端裏書「山里共二十七 通 五月二日午刻出ス」	5月2日	横切継紙・1通	も 138
与作申上書[覚](生麦村桐屋2朱500文等横浜表取替金に付) 与作→ -	5月14日	横切継紙・1通	も 174
[追々為替可相成金高并丁銅御買上代等御内借金書付](封 筒) 貼紙付		封筒・1点	も 211
布野村名主清右衛門他二名願書[乍恐以書付奉願候](金札 一向なく上納手段なきため御製造之御手形と正金にて 322両余分引替願) 布野村名主清右衛門・組頭彦左衛門・長百姓 市川三左衛門→ -	明治2年巳12月	豎半・1冊	も 30
(志垣村岡本広太御用紙買上金銭受取証文綴 明治2年)		紙綴綴・2点	も 95
志垣村岡本広太受取書[差上申一札之御事](金御手形御製 造紙買上代金50両に付) 志垣村岡本広太→酒井市治様・水野清 右衛門様 端裏書「志垣村岡本広太」	明治2年巳10月	豎紙・1通	も 95-1
志垣村岡本広太受取書[差上申一札之御事](九月中御用紙 買上代金100両に付) 志垣村岡本広太→御用紙御役所 端裏書 「御製造御用紙代金之内」[志垣村岡本広太]	明治2年巳11月19日	豎紙・1通	も 95-2
(金札正金引替取集方関係申上書綴 明治2年7月)		紙綴綴・4点	も 107
正金取立掛申上書(純金見本回覧の上廻村にて人別毎所持 の分取集めるべきか伺いに付) 正金取立掛→ - 端裏書「金 札正金御引換之義ニ付申上」	(明治2年)7月	横切継紙・1通	も 107-1
御勝手元メ申上書[金札正金御引替之儀ニ付再申上](支配 村々より取集の金札贋金多いため性合宜分少分にて上納 間に合いかねる旨に付) 御勝手元メ→ -	(明治2年)巳7月16日	横切継紙・1通	も 107-2
岡野弥右衛門申上書(正金引替の件勘定吟味の上晩日返却 に付) 岡野弥右衛門→酒井市治殿	(明治2年)7月16日	横切継紙・1通	も 107-3
御勝手元メ申上書[金札正金引替之儀ニ付再申上](支配 村々より取集の金札贋金多いため上納間に合いかねる旨 に付) 御勝手元メ→ -	(明治2年)巳7月16日	横切継紙・1通	も 107-4
(金札見本一括)		包紙綴・4点	も 4
(包紙)		包紙・1点	も 4-1
(金札見本・金貳朱)		金札・1点	も 4-2
(金札見本・金壹分)		金札・1点	も 4-3

(金札見本・金壹両)		金札・1点	も4-4
(藩札発行関係書類一括)		貼継一括・2点	も5
野中直之助添書(一封急御用筋のため村継立のうえ届けるべき旨に付) 野中直之助→下横田村・岩野村右村々三役人	11月12日	横切紙・1通	も5-1
(包紙) 倉田三之丞・野中直之助→酒井市治様・水野清右衛門様 も5-1に接合、野中直之助の継目印あり		包紙・1点	も5-2-1
野中直之助他一名申上書(藩札発行ための銅版・ろくろ代料に付) (野中)直之助・(倉田)三之丞→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	11月12日	横切継紙・1通	も5-2-2
(藩札関係中借金返上につき受取証文綴 明治3年7月～12月)		紙縫綴・4点	も31
徳嵩広馬受取証文[覚](全国銭札入料金の内中島啓作420両上納に付) 徳嵩広馬→岡野敬一郎殿 端裏書「明治三年七月二日全国銭札御入料金之内中嶋啓作上納」	明治3年7月3日	堅紙・1通	も31-1
池田富之進受取証文[覚](全国銭札他藩県に分引換中借金の内420両司金方へ上納に付) 池田富之進→岸善八殿 端裏書「銭札引換代官札小諸より送り通し之分預ケ」	明治3年午10月2日	堅紙・1通	も31-2
徳嵩広馬受取証文[覚](官札引換代2千両御中借の内200両返上に付) 徳嵩広馬→岡野敬一郎殿 端裏書「新地村江式千両御貸下之返上預ケ上納」	明治3年午12月11日	堅紙・1通	も31-3
中嶋渡浪受取証文[覚](藩札引替官札御入料3千両中借の内1千両返上に付) 中嶋渡浪→岡野敬一郎殿 端裏書「二月二日御藩札引替官札三千両中借之内返上」	明治4年未2月11日	堅紙・1通	も31-4
(新御製造金手形関係書類綴)		紙縫綴・13点	も39
計政副主事申上書(御新造手形到来のため改印取調引替掛り並びに立合の監使主簿出役人名に付) 懸り計政副主事→ - 端裏書「御新造手形掛り被仰渡之義申上」	3月	横切継紙・1通	も39-1
宮入伝治他一名内借証文[覚](御製造方御入料内借金8両に付) 宮入伝治・白木清吉→酒井市治殿・水野清右衛門殿	4月14日	横切紙・1通	も39-2
大熊董用状(御製造手形両所にて出来のため大瓶等受取の件伺の通り承済の旨に付) 大熊董→岸善八殿	4月8日	横切紙・1通	も39-3
岸善八用状(銅板摺立今朝より始めさせたきため不都合なきよう御蔵へ出席いたされたき旨に付) 岸善八→酒井市治殿	4月8日	横切紙・1通	も39-4
某用状(堀田莊作等17名名面書立)		横切紙・1通	も39-5
某用状(出納懸等名面書立)		横切紙・1通	も39-6
某用状(酒3合等代金書立)		横切紙・1通	も39-7
計政副主事用状(引換掛受取物の件承済と用度司へ申渡置く旨に付) 掛り計政副主事→ -		横切紙・1通	も39-8
岸善八伺書並びに承済貼紙(手桶等御製造方入料物受取のため用度司へ申渡願の旨に付) 岸善八→ - も39-8と10挟込、端裏書「申上」	4月	横切継紙・1通	も39-9
計政副主事伺書並びに承済貼紙[木町左兵衛再御製造金子手形紙方之義申上](再御製造金手形間合ざるため木町左兵衛へ紙方応急申渡たきに付) 計政副主事→ -	4月15日	横切継紙・1通	も39-10
[御製造御入料請取通帳] 伊木億右衛門	明治3年庚午4月	横半半・1冊	も39-11
計政副主事伺書(新御製造金手形1千500両御中借の上司金方へ内預け御金配りたき旨に付) 計政副主事→ - 端裏書「新御製造金手形御中借之儀伺」	4月19日	横切継紙・1通	も39-12
鎌原溶水用状(別紙伺の通り承済み委細御製造懸りへ申談べき旨に付) 鎌原溶水→岡野敬一郎殿	4月19日	横切紙・1通	も39-13

[上 大塚村東組](包紙)		包紙・1点	も 106-1
		堅紙・1通	も 106-2
大塚村東組忠吾他二名願書[乍恐以書付奉願上候](大札のため当村役場指引差支のため10両札3枚御製造手形と引替に付) 大塚村東組名主忠吾・組頭助之丞・長百姓町田重左衛門→租税司御役所			
(金札引替関係書類一括 11月)		紙縫束・3点	も 127
(紙縫)		紙縫・1点	も 127-1
某用状(大札贋金引替の件民部省・大蔵省達写に付) 端裏書「大札小札ニ引替 贋金引替之事」	11月	横切継紙・1通	も 127-2
大蔵省出納司受取書[証](松代藩知事真田從四位渡銀台金札3千619両に付) 大蔵省出納司→ -	11月22日	横切継紙・1通	も 127-3
計政方何書(錢通用仰出のため金札引替願に付) 計政方→ - 端裏書「全国通用錢札之義ニ付伺」	11月	横切継紙・1通	も 128
某用状(全国錢幣代幣差引残金当暮まで返済取計り願に付)		横切紙・1通	も 130
(古金引換関係書類一括)		包紙一括・3点	も 131
(包紙)		包紙・1点	も 131-1
佐藤美与喜用状[覚](真文小判・保字1分金代金勘定に付) (佐藤美与喜)→ -		横切紙・1通	も 131-2
佐藤美与喜申上書(蛭種税金上納の内古金送付に付) (佐藤)美与喜→新平様	正月25日	横切紙・1通	も 131-3
(金札通用方触関係書類一括)		紙縫束・4点	も 136
(紙縫)		紙縫・1点	も 136-1
某用状(別紙の通り金札通用方仰出に付)		横切紙・1通	も 136-2
行政官達写(金札通用方に付)	12月	横切継紙・1通	も 136-3
一場茂右衛門他一名廻状(別紙の通り金札通用方仰出触示に付) 一(一場)茂右衛門・片(片岡)十郎兵衛→町外当年番い組他39組右組々役人 下ヶ札あり	2月15日	横切継紙・1通	も 136-4
柘植嘉兵衛申上書(小札引替の件東京中数十件周旋のところ引替不能に付) (柘植)嘉兵衛→(草間)一路様・(佐藤)為之進様・(岡野)弥右衛門様	7月朔日	横切継紙・1通	も 137
[辰年中羽尾村大谷幸蔵為替金上納調]	(明治2年)巳7月	横長半・1冊	も 27
[金銀札引替人別凡取調](会津屋清右衛門ほか)		横長半・1冊	も 28
兩人用状(全国錢札早々御造り下されたき旨に付) 兩人→中嶋啓作様	12月6日	横切継紙・1通	も 47
中嶋啓作用状(中野表在中井伊真証殿へ諸藩より錢幣摺立の件相談に付) (中嶋)啓作→祐左衛門殿	12月4日	横切継紙・1通	も 48
某用状(去巳年全国通用錢幣発行立合大儀の旨達等書取に付) 付紙あり		横切紙・1通	も 49
金札借入金下案(金札御借入金高1割減金願に付) 端裏書「申上下案」	2月23日	横切継紙・1通	も 116
(藩札発行関係書類一括)		紙縫綴・8点	も 3
某申上書(藩札用紙武州小川町松本勘左衛門へ注文に付) 端裏書「銅一条事」「申上」	(明治3年)午2月12日	横切継紙・1通	も 3-1
某用状(藩札発行代金見積に付)		横切継紙・1通	も 3-2
某用状(藩札発行数内訳に付)		横切紙・1通	も 3-3
某用状(藩札数・代金見積に付)		横切紙・1通	も 3-4

某用状(藩札発行数内訳に付) 端裏書「何済札数事」	2月12日	横切紙・1通	も3-5
某用状(藩札発行数23万両内訳に付) 裏打済		横切紙・1通	も3-6
某用状(藩札発行数13万両内訳に付) 裏打済		横切紙・1通	も3-7
金太郎申上書(松代へ銅版職人召連れの費用多分にて不都合の旨に付) 金太郎→(岡野)敬一郎様・(岸)善八様 端裏書「三月十七日 落手」	2月6日	横長半・1冊	も3-8
[御用](包紙) 柘植彦六→草間一路様・岡野敬一郎様		包紙・紙縫束・1点	も121-1
柘植彦六書状(金札引替正金上納分4千204両送金御改願に付) (柘植)彦六→(草間)一路様・(佐藤)美与喜様・(岡野)敬一郎様	10月6日	横切継紙・1通	も121-2
[御用](包紙) 大塚谷平・海沼辰男→酒井市治殿・水野清右衛門殿		包紙・紙縫束・1点	も122-1
大塚谷平他一名書状(金札引替正金上納分4千204両送金御改願に付) (海沼)辰男・(大塚)谷平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様		横切継紙・1通	も122-2
石阪市郎右衛門申上書(楮幣製造下方弥七郎より差止め取計りたき旨に付) 石阪市郎右衛門→ 端裏書「楮幣新造御断ニ可運次第御断付申上」	9月6日	横切継紙・1通	も125
(計政副主事申上書綴)		紙縫綴・2点	も24
計政副主事申上書(全国銭札幣官札と引替のため御賞典の内より当座2歩金引替願に付) 計政副主事→ 端裏書「全国銭札引換官札之義ニ付別紙相添申上」	8月	横切継紙・1通	も24-1
計政副主申上書(官札払底のため御賞典御渡残金2千両当座中借願に付) 計政副主事→ 端裏書「申上」	9月	横切継紙・1通	も24-2
中島渡浪他二名用状[記](銭貨歩引通用指令のため銭1475貫余減銭に付) 中島渡浪・徳高広馬・野本力太郎→	明治4年辛未12月晦日	堅紙・1通	も97
会計掛伺書(全国銭札通用停止のため取纏分銭1万7千566貫余払切の件承諾願に付) 会計掛→ 端裏書「全国銭札御纏之分御払切之儀ニ付伺」	(明治4年末)8月	横切継紙・1通	も105
会計懸申上書(藩札当県にて引換印直し取計依頼に付) 会計懸→ 端裏書「長野県藩札引換之義ニ付申上」	10月2日	横切継紙・1通	も110
(全国銭札引換に付御藩中へ通達関係書類綴)		紙縫綴・2点	も120
会計懸申上書(全国銭札御藩中より預り置代幣下げのため司金向にて引替願の旨別紙名面へ御達依頼に付) 会計懸→ 端裏書「全国銭札引換御藩中へ御達之義申上」	8月	横切継紙・1通	も120-1
会計懸用状(清野村近藤権内等名面書) 一部裏打		横切継紙・1通	も120-2
桜井直治申上書[口演](東京表にて金札大下落のため当月10日頃までに相場定の旨水野様へ申上取次依頼に付) 桜井直治→銀作殿	3月朔日	横切紙・1通	も90
柘植彦六他一名申上書(民部省宛上納金小札多く包装用紙不足のため上納手段に付) 柘植彦六・玉川一学→ 端裏書「金札引換正金御上納残金札御皆納済之義申上」	正月25日	横切継紙・1通	も91
玉川一学申上書(大蔵出納司配布の金札引換正金上納残金切手別紙添付に付) 玉川一学→ 端裏書「大蔵出納司請取切手差上申上」	正月25日	横切継紙・1通	も92
小野善四郎申上書(正金引換御上納残金札御返納方の件当月25日改済み大蔵省へ納付に付) 小野善四郎→ 端裏書「正金引換御返納残金札納済之義申上」	正月25日	横切継紙・1通	も93
玉川一学申上書並びに別紙(正金引換御上納残金札別紙の通り返納に付) 松代藩公用人玉川一学→民部御役所 「松代県」罫紙、朱筆掛紙付き	正月24日	堅半・1冊	も94

26 藩政／財政／計政局・会計掛／商法社札

(商社手形引替金関係書類綴 慶応4年7月～明治3年5月)		紙綴綴・7点	も99
佐藤為之進金銭受取証文[覚](古金119両余引替之分に付) 佐藤為之進→草間一路殿 端裏書「佐藤様分」	慶応4年辰7月	縦紙・1通	も99-1
岸善八申上書(鹿野氏別紙の通り申来のため証文を御製造 へ入れ金札を取戻し引替願に付) 岸善八→酒井市治殿	5月23日	横切綴紙・1通	も99-2
鹿野外守申上書(内借金2千500両古手形にては不都合のため 御手の方にて引替願に付) (鹿野)外守→(岸)善八様	5月23日	横切綴紙・1通	も99-3
岸善八中借証文[覚](御製造古金手形2千500両中借に付) 岸善八→鹿野外守殿	明治3年午5月23日	縦紙・1通	も99-4
某金銭受取証文[覚](御製造古金手形引替分2千500両内預 けに付) - →岸善八殿	明治3年午5月	縦紙・1通	も99-5
水井市治受取書[覚](官札払底のため商社為替手形引替官 札の内借込の分1万両に付) 水井市治→岸善八殿 端裏書「商 社より官札中借御当用え預け」	明治3年午8月5日	縦紙・1通	も99-6
上村何右衛門請取書[覚](当用官札払底のため御引当とし て中借の内へ返上金125両に付) 上村何右衛門→富永新平殿 端裏書「未八月金百七拾御領森理兵衛御貸り内え百両返上迄請取」	明治3年午8月18日	縦紙・1通	も99-7
(商社為替手形引換関係書類一括 明治3年2月～11月)		袋一括・37点	も6
[商社為替手形御貸出証文入](袋) 出納掛	午5月	袋・1点	も6-1
(商社為替田方引替証文綴 明治3年2～6月)		紙綴綴・10点	も6-2
水野清右衛門他一名商社手形引替証文[覚](商社為替手形 と金札1千両引替に付) 水野清右衛門・酒井市治／(奥印)岸善 八→伊勢町九蔵	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-1
水野清右衛門他一名商社手形引替証文[覚](商社為替手形 と金札200両引替に付) 水野清右衛門・酒井市治／(奥印)岸善 八→紺屋町惣左衛門	明治3年午6月2日	縦紙・1通	も6-2-2
水野清右衛門他一名商社手形引替証文[覚](当藩要用のため 金札1千両借用に付) 水野清右衛門・酒井市治／(奥印)岸善 八→善光寺町牧野莊左衛門殿	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-3
善光寺正左衛門商社手形引替証文[覚](当地要用のため200 両官札にて拝借に付) 善光寺正左衛門→酒井市治様・水野清右 衛門様	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-4
水野清右衛門他一名商社手形引替証文[覚](才覚金900両受 取に付) 水野清右衛門・酒井市治／(奥印)岸善八→伊勢町伝兵衛	明治3年午2月	縦紙・1通	も6-2-5
水野清右衛門他一名商社手形引替証文[覚](才覚金200両受 取に付) 水野清右衛門・酒井市治／(奥印)岡敬一郎→伊勢町伝兵 衛 文墨抹消	明治3年午3月	縦紙・1通	も6-2-6
上生坂村平村文五右衛門他一名商社手形引替証文[覚](商 社引替金札差上げ1千両拝借成し下さるに付) 上生坂村平 村文五右衛門・右同人宿請人飯島新兵衛→計政出納掛御役所	明治3年午6月	縦紙・1通	も6-2-7
小森村宮津恒佐商社手形引替証文[覚](商社引換金札差出 し280両拝借成し下さるに付) 小森村宮津恒佐→計政出納掛 御役所	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-8
下布施村山崎寛左衛門商社手形引替証文[覚](商社引替金 札差出し200両拝借成し下さるに付) 下布施村山崎寛左衛門 →計政出納掛御役所	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-9
善光寺牧野正左衛門商社手形引替証文[覚](商社引替金札 差上げ1千両拝借成し下さるに付) 善光寺牧野正左衛門→計	明治3年午5月	縦紙・1通	も6-2-10

政出納掛御役所			
(商社手形引替関係用状綴 明治3年3月～9月)		紙縫綴・15点	も6-3
計政副主事某用状(別紙の趣司金へ申渡置く旨に付) 計政副主事→ -	(明治3年)	横切紙・1通	も6-3-1
酒井市治申上書並びに喜左衛門勘返状(御扶持代として金札60両御落手下さるべき旨に付) (酒井)市治・(水野)清右衛門→(野中)喜左衛門様	(明治3年)5月28日	横切紙・1通	も6-3-2
もり栄作申上書[口上](穀屋小島田村吉左衛門米50俵蔵納のため50両下金願に付口上取次に付) もり栄作→水野清右衛門様	(明治3年)3月3日	横切紙・1通	も6-3-3
(拝借金1万6千325両余・利金489両余勘定書)	(明治3年)	横切紙・1通	も6-3-4
計政副主事某申上書(小布施村より六川へ遣す正金1千両のうち刳金263両手札にて至急引替の旨に付) 計政副主事→ - 端裏書[申上]	(明治3年)9月8日	横切紙・1通	も6-3-5
(封筒) 大黒屋近太郎→酒井旦那(市治)様	6月3日	封筒・1点	も6-3-6
大黒屋近太郎用状(先刻差上置の金札此人へ下げ渡す旨願に付) (大黒屋)近太郎→酒井旦那(市治)様	(明治3年)6月3日	横切紙・1通	も6-3-7
三沢清美用状(先般返金の小布施より差遣の正金のうち263両悪金のため刳金として引替に付) (三沢)清美→計政副主事様	(明治3年)9月7日	横切紙・1通	も6-3-8
良右衛門用状(大里氏米代為替金850両落手下さるべき旨に付) 良右衛門→(水野)清右衛門様	(明治3年)庚午9月28日	横切紙・1通	も6-3-9
酒井市治申上書(柏屋藤助金札300両引替願に付) (酒井)市治→(水野)清右衛門様	(明治3年)6月3日	横切紙・1通	も6-3-10
岸善八用状(別紙の趣承済、手形掛りへ申渡置く旨に付) 岸善八→ -		横切紙・1通	も6-3-11
岸善八伺書(商社借入金期日のため金489両余製造懸より商社金手形中借の旨仰渡願に付) (岸)善八→ - 端裏書[伺]	(明治3年)7月晦日	横切紙・1通	も6-3-12
岸善八伺書(商社借入金期日のため金282両余製造懸へ商社金手形中借の旨仰渡願に付) (岸)善八→ - 端裏書[伺]	(明治3年)8月29日	横切紙・1通	も6-3-13
岸善八申上書(商社札1万両製造懸より中借のため仰渡願に付) (岸)善八→ - 端裏書[申上]	(明治3年)8月5日	横切紙・1通	も6-3-14
岸善八用状(別紙の趣承済・製造懸より申渡置く旨に付) 岸善八→ -	(明治3年)	横切紙・1通	も6-3-15
(官札引替代商社手形内預証文綴 明治3年5月～11月)		紙縫綴・4点	も6-4
徳嵩広馬内預証文[覚](借込分官札引替代商社手形1千199両に付) 徳嵩広馬→岡野敬一郎殿 端裏書[午十一月十五日 官札引替代商社手形御借込之分預ケ]	明治3年午11月15日	縦紙・1通	も6-4-1
中嶋渡浪内預証文[覚](借込分官札引替代商社手形1千368両余に付) 中嶋渡浪→岡野敬一郎殿 端裏書[商社より御当用江御借込預ケ]	明治3年午閏10月11日	縦紙・1通	も6-4-2
池田富之進内預証文[覚](時預分官札引替代商社手形1千122両余に付) 池田富之進→岡野敬一郎殿 端裏書[七月十二日御当用へ内預ケ]	明治3年午7月12日	縦紙・1通	も6-4-3
徳嵩広馬内預証文[覚](商社為替手形300両に付) 徳嵩広馬→岡野敬一郎殿 端裏書[商法社官札御当用江内預ケ]	明治3年午7月5日	縦紙・1通	も6-4-4
(金銭受取証文綴 明治3年5月～10月)		紙縫綴・3点	も6-5
須坂小布施土佐五郎金銭受取証文[覚](御扶持粉24俵代金80両頂戴に付) 須坂小布施土佐五郎→酒井市治殿・水野清右衛門殿	明治3年午5月28日	縦紙・1通	も6-5-1
富岡良右衛門金銭受取証文[覚](生糸等買上代金5千両受取	明治3年午10月17日	縦紙・1通	も6-5-2

に付) 富岡良右衛門→水野清右衛門殿・月岡善平殿 端裏書「午十月十七日 富岡良右衛門」			
きくや九蔵金札引替証文[覚](手形1千両引替に付) きくや九蔵→御産物方御役所	明治3年午6月5日	堅紙・1通	も6-5-3
[商社為替手形引換官札請取通](新地村和蔵分) 水野清右衛門	明治3年午7月	横長半・1冊	も6-6
[商社為替手形一件留](銅板札摺立に付書状等留)	明治3年午3月	横長半・1冊	も6-7
[金札引換商社為替手形請払元帳](司金方江時預・引戻分)引換掛 表紙「不用」	明治3年午5月	横長半・1冊	も6-8
(山崎寛左衛門等へ代幣中借渡金勘定帳)	(明治3年)5月	横長半・1冊	も6-9
某用状(金手形再製造に付) 破損不開		横切継紙・1通	も7
計政副主事申上書(一時代幣備置のため産物貸附所金主武蔵屋勇助へ談判の上2万両借入の旨に付) 端裏書「商社手形代幣之義ニ付申上」	4月14日	横切継紙・1通	も8
[商法社規則] 松代商法会社	明治3年午4月	堅半・1冊	も9
[規則附録](商法社規則附録) 松代商法会社	明治3年午4月	堅半・1冊	も10
[為替手形代幣一条](包紙) 大熊董→鎌原溶水様	5月25日	包紙・1点	も12
[上](包紙)		包紙・1点	も13-1
鼠新地村和蔵他二名申上書[乍恐以書付奉申上候](為替金貸附所貸附金調達の件松代商社差加金断る旨等に付) 鼠新地村和蔵・中町相原邦治郎・妻科村新田組新八	明治3年午5月	堅半・1冊	も13-2
某申上書(新地村東京出の件庶務掌より別紙之趣申聞に付) 端裏書「申上」	(明治3年)4月13日	横切紙・1通	も14
大熊董用状(商社手形代幣才覚方の件伺の通申渡宜しき旨に付) (大熊)董→(鎌原)溶水様 端裏書「商社手形代幣之事」	(明治3年)5月19日	横切継紙・1通	も15
佐藤美与喜伺書並びに議長添伺貼紙(商法社手形代幣備立の件中町相原邦次郎周旋不都合なきよう取計の旨申渡に付) 佐藤美与喜 端裏書「商社手形代幣才覚之義ニ付伺」	(明治3年)5月18日	横切継紙・1通	も16
計政庶務掌申上書(商社手形為替前金差出方引受及び商社規則書取調の件に付) 端裏書「商社御手形代幣等之義ニ付申上」	(明治3年)4月	横切継紙・1通	も17
玉川一学他三名申上書(商法社手形代幣備立の件中町相原邦次郎らへ取計申渡に付) (玉川)一学・(柘植)彦六・(佐藤)美与喜他1名→(岡野)敬一郎様・(岸)善八様	(明治3年)5月19日	横切継紙・1通	も18
敬一郎申上書(新地村一条三井鈴木の者ども持参の官札を引上げ手形下げ遣わす旨等に付) (岡野)敬一郎→(岸)善八様	(明治3年)5月26日	横切継紙・1通	も19
中町相原邦治郎他二名申上書[乍恐以書付奉申上候](為替金貸附所貸附金調達の件松代商社差加金断る旨等に付) 鼠新地村和蔵・妻科村新田組新八・中町相原邦治郎→御産物御掛り御役所	明治3年午5月	堅半・1冊	も20
(商社為替手形銅板彫刻関係書類一括 明治3年6月～7月)		包紙一括・17点	も21
[商社札銅板刻之事](包紙) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)7月9日	包紙・1点	も21-1
鎌原溶水申達書(為替手形銅板不十分のため飯島与作へ彫刻直させる旨に付) (鎌原)溶水→(大熊)董様	(明治3年)6月18日	横切継紙・1通	も21-2
佐藤美与喜申上書(商社銅板彫上のため在所計政局へ送付の旨に付) 佐藤美与喜→ - 端裏書「一」商社銅板之義ニ付申上」	(明治3年)6月9日	横切継紙・1通	も21-3
佐藤美与喜申上書(商社為替手形銅板彫上10日迄出来の旨に付) 佐藤美与喜→ - 端裏書「二」銅板御在所江差送り之義申	(明治3年)6月10日	横切紙・1通	も21-4

上]			
大熊董用状(商社為替手形彫刻済のため銅板送付に付) (大熊)董→(鎌原)溶水様	(明治3年)6月11日	横切紙・1通	も21-5
[為替手形銅板之事](封筒) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)6月	封筒・1点	も21-6-1
大熊董用状(一両札銅板出来送付に付) (大熊)董→(鎌原)溶水様	(明治3年)7月5日	横切紙・1通	も21-6-2
佐藤美与喜申上書(商社為替手形銅板のうち杉葉形彫入校合等依頼等に付) 佐藤美与喜→ - 端裏書「為替手形御出来方被下ニ付申上」	(明治3年)7月5日	横切継紙・1通	も21-7
[札之事](封筒) 鎌原溶水→大熊董様	(明治3年)6月20日	封筒・1点	も21-8-1
飯島与作申上書(商社為替手形種板と摺形の松葉模様等相違のため評議のうえ取極に付) 飯島与作→ - 端裏書「両札御出来ニ付申上」	(明治3年)7月5日	横切継紙・1通	も21-8-2
[銅板之事](封筒) 鎌原溶水→大熊董様	(明治3年)6月8日	封筒・1点	も21-9-1
岸善八申上書(大谷孝藏商社為替手形銅板詮文申越たき旨に付) 岸善八→ - 端裏書「商社銅板詮文之義ニ付申上」	(明治3年)6月4日	横切継紙・1通	も21-9-2
鎌原溶水用状(別紙飛脚にて送達の旨に付) (鎌原)溶水→(大熊)董様	(明治3年)6月4日	横切紙・1通	も21-9-3
(松代藩商法社金壹両為替手形本形表面) 貼紙1枚、朱書「六月八日新平持参之本形」	(明治3年)6月8日	堅紙・1通	も21-10-1
(松代藩商法社金壹両為替手形本形裏面) 貼紙3枚、朱書「六月八日新平持参之本形」	(明治3年)6月8日	堅紙・1通	も21-10-2
(松代藩商法社金壹両為替手形本形表面)	(明治3年)	堅紙・1通	も21-11-1
(松代藩商法社金壹両為替手形本形裏面)	(明治3年)	堅紙・1通	も21-11-2
問御所村久保田新兵衛願書[乍恐以口上書奉願上候](米穀買上利潤をもって山中村方へ融通の金子逼迫のため商社札600両御貸下け願) 問御所村御出入久保田新兵衛→酒井市治様・水野清右衛門様	明治3年午5月	堅半・1冊	も25
(銀台式分金御上納関係書類袋一括 明治3年7月～10月)		袋一括・48点	も26
[銀台式分金御上納書類入](袋) 出納掛	明治3年午10月	袋・1点	も26-1
(銀台式分金御上納書類一括 明治3年7月～10月)	(明治3年)	紙綴綴・47点	も26-2
[銀台式分金御上納之事](封筒) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)9月2日	封筒・1点	も26-2-1
大熊董用状(銀台式分判500両大蔵省へ上納のため受取証書写し達の旨に付) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)8月24日	横切継紙・1通	も26-2-2
公用人申上書[銀台式分判大蔵省へ差出候義申上](銀台式分判500両大蔵省へ上納受取証書送付及び藩庁へは写しを達すべき旨に付) 公用人(玉川一学)→ -	(明治3年)8月18日	横切継紙・1通	も26-2-3
松代藩銀台式分判上納証書写[証](金札500両引換のため銀台贋式分判上納に付) 松代藩→大蔵省	(明治3年)庚午8月18日	横切継紙・1通	も26-2-4
大蔵省出納司銀台式分判請取証書写[証](式分判500両に付) 大蔵省出納司→ -	(明治3年)庚午8月18日	横切紙・1通	も26-2-5
[銀台式分判御上納之事](封筒) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)9月7日	封筒・1点	も26-2-6
大熊董用状(銀台式分判500両大蔵省へ上納のため受取証書写し達の旨に付) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)9月14日	横切紙・1通	も26-2-7
玉川一学用状(銀台式分判500両大蔵省へ上納のため受取証書写しを達す旨に付) 玉川一学→ - 端裏書「銀台式分判大蔵省へ差出し候義ニ付申上」	(明治3年)午9月14日	横切継紙・1通	も26-2-8
大蔵省出納司銀台式分判請取証書写[証](式分判500両に	(明治3年)庚午9月13日	横切紙・1通	も26-2-9

付) 大蔵省出納司→ -			
[銀台式分金御初納且溝井市次郎立候事](封筒) 大熊董→真田桜山様	(明治3年)7月16日	封筒・1点	も 26-2-10
公用人申上書(端裏書)[銀台式分金御上納ニ付請取切手添申上](後日上納の際本証文と引換のため銀台式分金初納受取証書切手本紙司金方へ預け藩庁へは写しを達す旨に付) 公用人(玉川一学)→ -	(明治3年)7月6日	横切継紙・1通	も 26-2-11
大熊董用状(銀台式分金上納の件に付公用人書面の旨了承願) (大熊)董→(鎌原)溶水様	(明治3年)7月10日	横切紙・1通	も 26-2-12
大蔵省出納司銀台式分判請取証書写[証](銀台式分判378両余に付) 大蔵省出納司→ -	(明治3年)庚午7月5日	横切紙・1通	も 26-2-13
[銀台引換初納三百七拾六両式分請取印書写](包紙)	(明治3年)庚午7月5日	包紙・1点	も 26-2-14
[銀台式分判御上納証之事](封筒)	(明治3年)7月24日	封筒・1点	も 26-2-15
大熊董用状(銀台式分金初納受取証書切手本紙司金方へ預け藩庁へは写しを達す旨に付) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)7月22日	横切継紙・1通	も 26-2-16
公用人申上書(銀台式分金大蔵省へ上納済及び受取証書御納戸へ預け藩庁へは写しを達す旨に付) 公用人→ - 端裏書「銀台式分判御上納之義ニ付申上」	(明治3年)7月18日	横切継紙・1通	も 26-2-17
大蔵省出納司銀台式分判請取証書写[証](銀台式分判500両に付) 大蔵省出納司→ -	(明治3年)庚午7月18日	横切紙・1通	も 26-2-18
[証書写](包紙)	(明治3年)7月29日	包紙・1点	も 26-2-19
松代藩銀台式分判上納証書写[証](銀台贋式分判500両に付) 松代藩→大蔵省 「松代藩」罫紙	(明治3年)庚午7月18日	堅紙・1通	も 26-2-20
[銀台式分金御上納之事](封筒) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)8月17日	封筒・1点	も 26-2-21
大熊董用状(銀台式分金大蔵省へ上納済の旨等了承願) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)8月朔日	横切継紙・1通	も 26-2-22
公用人申上書(銀台式分金大蔵省へ上納済及び受取証書御納戸へ預け藩庁へは写しを達す旨に付) 公用人(玉川一学)→ - 端裏書「御上納金大蔵省へ差出候義申上」	(明治3年)7月27日	横切継紙・1通	も 26-2-23
松代藩銀台式分判上納証書写[証](銀台贋式分判471両余に付) 松代藩→大蔵省 端裏書「写」	(明治3年)庚午7月27日	横切紙・1通	も 26-2-24
大蔵省出納司銀台式分判請取証書写[証](銀台式分判471両に付) 大蔵省出納司→ -	(明治3年)庚午7月27日	横切紙・1通	も 26-2-25
(封筒) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)	封筒・1点	も 26-2-26
大熊董用状(銀台式分判大蔵省受取書写差越す旨に付) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)8月12日	横切紙・1通	も 26-2-27
公用人申上書(銀台式分金大蔵省受取証書御納戸へ預け藩庁へは写しを達す旨に付) 公用人(玉川一学)→ - 端裏書「銀台式分判五百両御上納仕候ニ付申上」	(明治3年)8月9日	横切継紙・1通	も 26-2-28
大蔵省出納司銀台式分判請取証書写[証](銀台式分判500両に付) 大蔵省出納司→ -	(明治3年)庚午8月5日	横切紙・1通	も 26-2-29
[銀台式分金御上納之事](封筒) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)8月18日	封筒・1点	も 26-2-30
大熊董用状(銀台式分金大蔵省へ上納済の旨等了承願) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)8月5日	横切継紙・1通	も 26-2-31
松代藩銀台式分判上納証書写[証](銀台贋式分判389両余に付) 松代藩→大蔵省 端裏書「写」	(明治3年)庚午7月29日	横切紙・1通	も 26-2-32
公用人申上書(銀台式分金大蔵省受取証書御納戸へ預け藩庁へは写しを達す旨に付) 公用人(玉川一学)→ - 端裏書「銀台式分判大蔵省へ差出候義申上」	(明治3年)7月29日	横切継紙・1通	も 26-2-33

大蔵省出納司銀台式分判請取証書写〔証〕(銀台式分判389両余に付) 大蔵省出納司→ -	(明治3年)庚午7月29日	横切紙・1通	も 26-2-34
[銀台式分金御上納之事](封筒) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)8月25日	封筒・1点	も 26-2-35
大熊董用状(銀台式分金大蔵省へ上納済の旨等了承願) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)8月19日	横切継紙・1通	も 26-2-36
公用人申上書(銀台式分金大蔵省受取証書御納戸へ預け藩庁へは写しを達す旨に付) 公用人(玉川一学)→ - 端裏書「銀台式分判五百両大蔵省へ差出候義申上」	(明治3年)8月12日	横切継紙・1通	も 26-2-37
大蔵省出納司銀台式分判請取証書写〔証〕(銀台式分判500両に付) 大蔵省出納司→ -	(明治3年)庚午8月12日	横切紙・1通	も 26-2-38
[銀台式分判御上納之事](封筒) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)9月16日	封筒・1点	も 26-2-39
大熊董用状(銀台式分金大蔵省へ上納済の旨等了承願) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)9月7日	横切継紙・1通	も 26-2-40
公用人申上書(銀台式分金大蔵省受取証書御納戸へ預け藩庁へは写しを達す旨に付) 公用人→ - 端裏書「大蔵省へ銀台式分判三百両差出候義申上」	(明治3年)庚午8月28日	横切継紙・1通	も 26-2-41
大蔵省出納司銀台式分判請取証書写〔証〕(銀台式分判300両に付) 大蔵省出納司→ -	(明治3年)庚午8月28日	横切紙・1通	も 26-2-42
[銀台式分判御上納之事](封筒) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)10月14日	封筒・1点	も 26-2-43
大熊董用状(玉川一学より銀台式分判700両大蔵省受取証書渡さるの旨申聞に付了承願) 大熊董→鎌原溶水様	(明治3年)10月6日	横切紙・1通	も 26-2-44
大蔵省出納司銀台式分判請取証書写〔証〕(銀台式分判700両に付) 大蔵省出納司→ -	(明治3年)庚午10月3日	横切紙・1通	も 26-2-45
玉川一学申上書(銀台式分判大蔵省受取証書表御納戸へ預け藩庁へは写しを達す旨に付) 玉川一学→ - 端裏書「大蔵省へ銀台式分判七百両相納候義申上」	(明治3年)庚午10月3日	横切継紙・1通	も 26-2-46
某用状〔銀台式分判納方調〕(大蔵省へ上納金額勘定取調書) 地部貼継文書	(明治3年)7月5日	横切継紙・1通	も 26-2-47
計政副主事伺書(御製造金手形並びに商社為替手形摺片請負人岡沢勘助他10名へ目録下付に付) 計政副主事→ - 端裏書「摺職請負人等御目録御下之義ニ付伺」	5月10日	横切継紙・1通	も 98
新馬喰町小山伝右衛門願書〔乍恐以書付奉願上候〕(商法社仕法改正のため商社札上納仰付願に付) 新馬喰町東裏小山伝右衛門→市政方御役所	明治3年午11月5日	堅半・1冊	も 101
出納懸申上書(中野局において商法会所取立蚕種生糸等取引の儀に付) 出納懸→ - 端裏書「商法之儀ニ付御内々申上」	3月15日	横切継紙・1通	も 170
(御済急手形並びに商社手形取纏方町々評議関係書類綴明治4年)		紙綴綴・14点	も 104
某用状〔議〕(済急手形並びに商社手形認方の件御所方にて差当りあるか存念評議願に付)	(明治4年)	横切紙・1通	も 104-1
某用状(両手形取纏方選挙の上然るべき人材へ委任すべき旨評議願に付)	(明治4年)	横切紙・1通	も 104-2
殿町議員申上書(御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件引当司金にて引換え切捨てるべき旨意見に付) 殿町議員→ -	(明治4年)正月26日	横切紙・1通	も 104-3
田町一之組申上書(御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件引替の規則衆人へ分かるよう触示の旨意見に付) 田町一之組→ - 端裏書「田街一之組」	(明治4年)正月	横切継紙・1通	も 104-4
鹿野外守他七名申上書(御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件取纏御所方何れの所の趣意かに付伺) 鹿野外守・上原宗一郎・菅沼柳三他5名→ - 端裏書「田街二ノ組」	(明治4年)正月	横切継紙・1通	も 104-5

も 26 藩政／財政／計政局・会計掛／商法社札 27 藩政／財政／計政局・会計掛／諸向金銭上納

小川友衛他八名申上書[愚案](御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件3万金10月中迄に引替と御定め引替の分切捨てるべき旨意見に付) 小川友衛・河原理・小野四郎兵衛他6名→ - 端裏書「五之組」	(明治4年)未正月	横切継紙・1通	も 104-6
田町七之組申上書(御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件人民窮迫にならぬよう取計の旨意見に付) 田町七之組→ - 端裏書「田街七之組」	(明治4年)辛未正月	横切紙・1通	も 104-7
町田磯之助他七名申上書(御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件五分の一官札にて上納の分引換えの旨等意見に付) 町田磯之助・高田力馬・小山藤左衛門他5名→ - 端裏書「田街九ノ組」	(明治4年)正月	横切継紙・1通	も 104-8
竹内権平他七名申上書(御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件日々1人ずつ出頭立合引替の旨意見に付) 竹内権平・倉沢慎之助・森山浜次郎他5名→ - 端裏書「下田町十之組」[見込書]	(明治4年)辛未正月	横切継紙・1通	も 104-9
荒町申上書(御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件1組1人ずつ引替所へ出頭切捨見届の旨等意見に付) 荒町→ - 端裏書「荒町」[官札御引換之見込]	(明治4年)辛未正月	横切継紙・1通	も 104-10
西村長雄他八名申上書(御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件願主名前記し引換渡す旨等意見に付) 西村長雄・坂本寛平・寺内多宮他6名→ -	(明治4年)辛未正月	横切継紙・1通	も 104-11
佐藤兵助他七名申上書(御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件藩札速に切捨てるべき旨等意見に付) 佐藤兵助・保科此面・藤井浅右衛門他5名→ - 端裏書「田町六番組」	(明治4年)正月	横切継紙・1通	も 104-12
深尾勇昌他七名申上書(御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件別段申立方なき旨に付) 深尾勇昌・田中増治・山浦長十郎他5名→ - 端裏書「田町八番組」	(明治4年)正月	横切継紙・1通	も 104-13
鹿野外守他八名申上書(御済急手形並びに商社手形取纏方評議の件選挙にて選出の会計掛助不都合なきよう取扱べき旨等意見に付) 鹿野外守・上原宗一郎・菅沼柳三他6名→ - 端裏書「田街二ノ組」	(明治4年)2月	横切継紙・1通	も 104-14

27 藩政／財政／計政局・会計掛／諸向金銭上納

(上納金高書上切手綴)		紙綴綴・36点	も 80
倉田高順拝借証文[覚](引溺管1本に付 明治3年6月～11月) 倉田高順→ -	(明治3年)6月28日	横切紙・1通	も 80-1
某用状(ろ組青木慶次郎他1名分商社札2両等上納金高に付)	(明治3年)11月20日	横切紙・1通	も 80-2
某用状(の組岩佐佐吉他5名分金3両余上納金高に付)	(明治3年)11月15日	横切継紙・1通	も 80-3
某用状(上納金高別等級に付)	(明治3年)	横切紙・1通	も 80-4
某用状(鍛冶町渋谷権兵衛他6名分金100両上納金高勘定に付)	(明治3年)4日	横切紙・1通	も 80-5
某用状(紺屋町宇佐見清兵衛他5名分金70両上納金高勘定に付)	(明治3年)4日	横切紙・1通	も 80-6
伊勢町小嶋茂七郎申上書(伊勢町26名分422両余上納金高取調に付) 伊勢町名主小嶋茂七郎→ -	(明治3年)午11月5日	横切継紙・1通	も 80-7
某用状(紺屋町8名・寺町た組2名分金4両余上納金高勘定に付)	(明治3年)5日	横切紙・1通	も 80-8
某用状(新倉村小山伝右衛門金30両上納に付)	(明治3年)11月5日	横切紙・1通	も 80-9
某用状(紙屋町清水源兵衛他8名分金100両上納に付)	(明治3年)11月5日	横切継紙・1通	も 80-10

某用状(馬喰町清水藤作他4名分金27両上納に付)	(明治3年)11月5日	横切継紙・1通	も 80-11
某用状(紙屋町伊本市兵衛他10名分金27両上納に付) 「壺番」	(明治3年)11月6日	横切継紙・1通	も 80-12
某用状(中町次田藤右衛門他4名分金88両上納に付) 「二番」	(明治3年)11月6日	横切継紙・1通	も 80-13
某用状(伊勢町堀善直次他7名分金59両上納に付) 「三番」	(明治3年)11月6日	横切継紙・1通	も 80-14
某用状(馬喰町林為治郎商法社手形5両上納に付)	(明治3年)	横切紙・1通	も 80-15
某用状(紙屋町柳沢宗十郎他5名分金44両上納に付) 「五番」	(明治3年)11月6日	横切紙・1通	も 80-16
某用状(紺屋町小林浜之助他3名分64両余上納に付) 「壺番」	(明治3年)11月7日	横切紙・1通	も 80-17
某用状(荒神町松沢喜作他11名分100両余上納に付) 「式番」	(明治3年)	横切継紙・1通	も 80-18
某用状(中町東山丈吉金20両上納に付) 「三番」	(明治3年)11月7日	横切紙・1通	も 80-19
某用状[覚](紺屋町小林安右衛門他9名分金91両上納に付) 「四番」	(明治3年)11月7日	横切紙・1通	も 80-20
某用状(伊勢町窪田市兵衛他5名分金26両上納に付) 「五番」	(明治3年)11月7日	横切紙・1通	も 80-21
某用状(中町田中慎太郎他2名分金40両上納に付) 「壺番」	(明治3年)11月8日	横切紙・1通	も 80-22
某用状(紙屋町山下大五郎他2名分金4両上納に付) 「式番」	(明治3年)11月8日	横切紙・1通	も 80-23
某用状(十人町清水万助他7名分金18両上納に付) 「壺番」	(明治3年)11月9日	横切紙・1通	も 80-24
某用状(中町植田三九郎官札20両上納に付)	(明治3年)11月9日	横切紙・1通	も 80-25
某用状(中町西沢喜兵衛官札10両上納に付)	(明治3年)11月9日	横切紙・1通	も 80-26
某用状[覚](の組新組飯田竹蔵他7名分金8両余上納に付)	(明治3年)	横切紙・1通	も 80-27
某用状(に組市右衛門商法社札1両上納に付)	(明治3年)11月11日	横切紙・1通	も 80-28
某用状(伊勢町菊沢新左衛門他3名分金25両上納に付)	(明治3年)11月11日	横切紙・1通	も 80-29
某用状(鍛冶町小山源蔵他1名金8両上納に付)	(明治3年)11月11日	横切継紙・1通	も 80-30
某用状(中町小田切友之助他1名金45両上納に付)	(明治3年)	横切紙・1通	も 80-31
某用状(新小越町五明惣三郎他1名金5両余上納に付)	(明治3年)11月10日	横切紙・1通	も 80-32
某用状(鍛冶町浅井新三郎商法札5両上納に付) 「一番」	(明治3年)11月13日	横切紙・1通	も 80-33
某用状(中町相原邦次郎他5名分金39両上納に付)	(明治3年)11月13日	横切継紙・1通	も 80-34
某用状(ふ組新組山崎与兵衛官札5両上納に付)	(明治3年)11月18日	横切継紙・1通	も 80-35
某用状(商法社札25両上納に付)	(明治3年)11月22日	横切紙・1通	も 80-36

28 藩政／財政／計政局・会計掛／借入・用達

(官札払底に付才覚金支払関係証文綴 明治3年9月)		紙綴綴・7点	も 96
片岡文治拝借証文[覚](官札払底のため才覚金8両差出御手形拝借に付) 片岡文治→水野清右衛門殿・月岡善平殿	明治3年午9月	堅紙・1通	も 96-1
山寺常吉拝借証文[覚](官札払底のため才覚金8両差出御手形拝借に付) 山寺常吉→水野清右衛門殿・月岡善平殿	明治3年午9月	堅紙・1通	も 96-2
小幡全一郎拝借証文[覚](官札払底のため才覚金5両差出御手形拝借に付) 小幡全一郎→岡野敬一郎殿	明治3年午9月	堅継紙・1通	も 96-3
星野誠一郎拝借証文[覚](官札払底のため才覚金24両差出御手形拝借に付) 星野誠一郎→岡野敬一郎殿	明治3年午9月	堅紙・1通	も 96-4
矢野倉甲子太郎拝借証文[覚](官札払底のため才覚金4両差出御手形拝借に付) 矢野倉甲子太郎→岡野敬一郎殿	明治3年午9月	堅紙・1通	も 96-5

も 28 藩政／財政／計政局・会計掛／借入・用達	29 藩政／財政／兵政局・軍事局／諸願・伺書	30 元松代庁／諸用状	
矢野唯見拝借証文[覚](官札払底のため才覚金30両差出御手形拝借に付) 矢野唯見→岡野敬一郎殿	明治3年午9月	縦紙・1通	も 96-6
野村隼多拝借証文[覚](官札払底のため才覚金15両差出御手形拝借に付) 野村隼多→岡野敬一郎殿	明治3年午9月	縦紙・1通	も 96-7

29 藩政／財政／兵政局・軍事局／諸願・伺書

副隊長補伺書(喇叭手修行に付薬用入料支給とのことに付) 副隊長補→ - 端裏書「喇叭手薬用料前借之儀ニ付別紙添伺」	4月4日	横切縦紙・1通	も 229
(兵器輸送経費関連書類綴 明治4年12月～明治5年2月)		紙綴綴・5点	も 184
小幡全一郎金銭受取証文[覚](東京鎮台より上田表への兵器輸送賃銭金858両2分10匁7分2厘受取に付) 小幡全一郎→ -	明治5年申正月	縦紙・1通	も 184-1
小幡全一郎金銭受取証文[覚](東京鎮台より上田表への兵器輸送賃銭金428両1分13匁2分7厘受取に付) 小幡全一郎→ -	明治4年末12月	縦紙・1通	も 184-2
小幡全一郎金銭受取証文[覚](東京鎮台より上田表への兵器輸送賃銭金80両6匁1分1厘受取に付) 小幡全一郎→ -	明治5年申2月	縦紙・1通	も 184-3
小幡全一郎金銭受取証文[覚](東京鎮台より上田表への兵器輸送賃銭金1千161両1分9匁4分1厘受取に付) 小幡全一郎→ - 訂正貼紙付	明治5年壬申	縦紙・1通	も 184-4
某金銭受取証文[覚](東京鎮台より兵器輸送賃銭金694両1分13匁5分2厘継立証書に付) 訂正貼紙付		縦紙・1通	も 184-5

30 元松代庁／諸用状

小根山村名主戸谷弥助他三名返答書[乍恐以書付奉申上候](当村松坂久米吉次男愛蔵妻はる産業のため宇敷元之丞様御抱地品川県管轄武州豊嶋郡角筈新町へ差出しの送籍書真偽の件御尋に付) 小根山村名主戸谷弥助・組頭小林文左衛門・同断中村長五郎他1名→戸籍御掛り御役所	明治4年末10月	縦半・1冊	も 33
橋詰村下組酒井弥市他二名返答書[以書付奉申上候](当村堀田弥作妻さく送籍書差出有無の件御尋に付) 橋詰村下組飯副戸長酒井弥市・組頭下条喜代・長百姓酒井熊二郎→松代県戸籍御掛御役所	明治4年辛未9月	縦半・1冊	も 34
(宇敷元之丞召連送籍人帰籍取計書類一括 明治4年9月～11月)		包紙一括・8点	も 35
(包紙) 渡辺憲蔵→柘植彦六様・牧野大右衛門様	(明治4年)	包紙・1点	も 35-1
渡辺憲蔵用状(宇敷元之丞召連の送籍人帰籍取計依頼に付) (渡辺) 憲蔵→(柘植) 彦六様・(牧野) 大右衛門様	(明治4年)11月29日	横切縦紙・1通	も 35-2
宇敷元之丞用状(御払下地開発により県下の者召抱のため送籍取計方向い及び寄留取計依頼に付) 宇敷元之丞→ -	(明治4年)9月	横切紙・1通	も 35-3
宇敷元之丞用状(橋詰村弥作及び小根山村愛蔵等角筈新町へ送籍の件取計依頼に付) 宇敷元之丞→ -	(明治4年)11月	横切縦紙・1通	も 35-4
[送籍入](封筒) 東京出張大属→松代県大属御中 貼紙鉛筆書「偽書雑件小根山一通橋詰一通添」	(明治4年)	封筒・1点	も 35-5-1
橋詰村下条幸左衛門他一名送籍書[送書之事](橋詰村堀田弥作他豊嶋郡角筈新町へ送籍に付) 松代県管轄橋詰村名主下条幸左衛門・小根山村名主戸谷弥助/(裏書)松代県→品川県式拾三区戸長渡辺伝右衛門殿・戸副中村柳次郎殿 端裏書「写」	明治4年辛未9月	縦紙・1通	も 35-5-2

[弥作愛蔵送籍 式拾三区](包紙)	(明治4年)	包紙・1点	も 35-6-1
品川県式拾三区渡辺伝右衛門送籍書[送籍之事](堀田弥作他出生国へ帰籍に付) 元品川県支配所式拾三区戸長渡辺伝右衛門／(裏書)品川県→松代県御管轄信州水内郡橋詰村戸長下条幸左衛門殿・同州同郡小糸山村戸副戸谷弥助殿	明治4年辛未11月	縦紙・1通	も 35-6-2
(羽尾山植樹関係書類綴)		紙綴綴・3点	も 163
羽尾御林見小松重蔵他二名歎願書[乍恐以書付御延奉歎願候](苗木植込延納に付) 羽尾御林見小松重蔵・森右左衛門・関重郎治→松代縣御役所 訂正貼紙付	明治4年末12月	縦半・1点	も 163-1
小池隠居願書(羽尾御林見先年通り勤めているので別紙のように致すべきとのこと付) 小池隠居→野中様	正月18日	横切紙・1通	も 163-2
某願書(苗木等林見精込育てるに付羽尾山引渡)		横切紙・1通	も 163-3
[上](包紙) 山札見 も170-1と2は紙綴にて一綴		包紙・1通	も 199-1
牧内村山札見春山政作他九名歎願書[乍恐以書附奉歎願候](銘々難渋に付去年中御切米7俵等年内中に支給願) 牧内村山札見春山政作・東条村山札見相沢留吉・関屋村山札見瀧沢和伝他7名→松代縣御役所	明治4年末12月25日	縦半・1冊	も 199-2
(田野口村丑山重郎治所持山関連書類一綴)		紙綴綴・5点	も 202
会村願人丑山重郎治他一名歎願書[乍恐以書付奉歎願候](先祖元重郎よりの田野口村所持山一統長野県より返還願に付) 会村願人丑山重郎治・組頭山岸利右衛門／(奥印)右村名主久保田新平・組頭中島健左衛門・山岸利右衛門他5名→松代御役所	明治5年申2月	縦半・1冊	も 202-1
某用状(山年貢77俵1斗8合5勺に付)		切紙・1通	も 202-2
某用状(札山初31俵2斗8升2合5勺に付)		横切綴紙・1通	も 202-3
某用状(御預山年貢初8俵に付)		切紙・1通	も 202-4
某用状(寛延3年より明治2年までの田野口村山年貢取調に付)		横折紙・1通	も 202-5
(藩札藩債消却の法・士卒授産の策に付答申書類綴 明治4年12月～明治5年7月)		紙綴綴・3点	も 77
某用状(藩札藩債消却の法・士卒授産の策施行見込み御尋に付) 「松代県」罫紙	(明治4年)辛未12月	縦半・1冊	も 77-1
小野熊男申上書(授産の才法・藩債消却の見込なき旨に付) (小野)熊男→(小幡)全一郎様	8日	横切紙・1通	も 77-2
某申上書(軍事懸りより藩債消却・授産の策の件存念なきため評議願に付) 端裏書[授産之法御藩債消却之諸方共御尋ニ付申上]	(明治5年)壬申正月	横切綴紙・1通	も 77-3
(元牛久藩従五位山口弘達他6藩藩負債の内を私債引請け消却懇願の件許可達)		縦半・1冊	も 73
小野忠政(元松代県権大属小野忠政)用状(四位様引請負債等取片付の件大蔵省へ出願方に付) 忠政(元松代県権大属小野忠政)→新平様	7月2日	横切綴紙・1通	も 74
忠政用状(御洋行御入料時借返金等差支えの旨等に付) 忠政→新平様	7月朔日	横切綴紙・1通	も 75
某用状[長野県へ至急申立事件](従前藩札員数歩合等至急取調長野県へ申立てるべき旨に付)		横切綴紙・1通	も 82
元松代庁用状(本県へ所事引渡閉庁のため金本位金貨表模様変更の旨太政官布達送達に付) 元松代庁→「松代庁」罫紙	(明治5年)壬申3月	縦半・1冊	も 22
(封筒) 元松代庁→高野広馬殿		封筒・1点	も 23-1
元松代庁用状(別紙送達の旨に付) 元松代庁→高野広馬殿・加	(明治5年)壬申3月2日	横切綴紙・1通	も 23-2

も 30 元松代庁／諸用状 31 元松代庁／諸願書

藤文八郎殿・長命茂馬殿他7名			
松代庁願書[口々上納金返納方之義ニ付歎願](藩負債莫大のため上納金礼金御免のうえ年賦返済に付) 松代庁→本県御中 端裏書「上納金口々返納方ニ付二印歎願書案」	(明治5年)壬申正月	横切継紙・1通	も 89
旧松代県会計懸り申上書(大蔵省より旧藩債帳の内不明の調達金の件御尋のため委細取調に付) 旧松代県会計懸り→	明治7年1月	豎半・1冊	も 86
長野県公債掛用状並びに藩債壱番帳書抜(大蔵省より旧藩債帳の内不明の調達金の件御尋のため事実明瞭取調大至急申出るべき旨に付) 長野県公債掛→第二十九区正副区長中	(明治)7年第1月10日	豎半・1冊	も 87

31 元松代庁／諸願書

(松代藩小西彦七宛借用金取調書類一括)		包紙一括・4点	も 88
(包紙) 小西彦七→元松代県関田様 も88-2以下の包紙	4月23日	包紙・1点	も 88-1
小西彦七用状(県庁より御借入金取調のため提出の証文写別紙添付に付) 小西彦七代→関田様		横切紙・1通	も 88-2
真田信濃守内閣新右衛門金銭借用証文[預り申金子之事](松代産物方要用のため金500両に付) 真田信濃守内閣新右衛門／(奥書)高野覚之進他1名／(奥書)竹村金吾他4名→大坂小西彦七殿	安政6年末5月	豎紙・1通	も 88-3
道修町小西恵伴代判藤助申上書(安政6年5月松代藩貸上金500両元利金勘定に付) 道修町老丁目小西恵伴代判藤助→	明治4年末11月	豎紙・1通	も 88-4
(旧松代藩賞典・村々賄代等払残分下ヶ渡金関係書類綴 明治5年2月～明治7年3月)		紙綴綴・13点	も 72
(松代県草高・現収納高・藩債・藩札・士族・卒族家禄等取調書) 「松代県」罫紙		豎紙・1通	も 72-1
[真田従四位御賞典御渡方之義ニ付願](当庁貢米にては不足のため御賞典下付願に付) 松代庁→本県御中 「松代庁」罫紙、「壬申二月廿日差出候写」	(明治5年)壬申2月18日	豎紙・1通	も 72-2
[拝借金年割上納其外午之海軍資上納滞調] 「松代県」罫紙、下ヶ札あり		豎半・1冊	も 72-3
[旧松代藩債金高取調] 松代県→ 「松代県」罫紙	(明治5年)壬申11月	豎半・1冊	も 72-4
[旧松代藩用払銭品々御下金之儀再懇願](案文) 青罫紙		豎半・1冊	も 72-5
[御賞典引当借金取調](雛形) 「長野県」罫紙		豎紙・1通	も 72-6
[御賞典引当借金取調](為換方借入金返納残金勘定) 「松代庁」罫紙		豎紙・1通	も 72-7
[御賞典分配高取調](真田幸民頂戴御賞典総高内訳勘定) 旧松代庁→ 黒罫紙	明治6年2月	豎半・1冊	も 72-8
[商法方借貸金之儀ニ付願](借入金返弁手段なきため御庁にて取調の上御処分願に付) 元松代庁→本県御中	(明治5年)壬申7月	豎半・1冊	も 72-9
[村々賄代等払残之義ニ付申上](村方の者共戊辰之年戦争中より引続品々下ヶ金引負分遣払方行届兼のため下げ金願に付) 旧松代県富永新平・矢野唯見→長野県参事榑崎寛直殿 青罫紙	明治7年3月	豎半・1冊	も 72-10
[旧松代県管下村々賄代等渡残御下金之義再歎願](案文) 佐藤則道・富永新平・矢野唯見他4名→		豎半・1冊	も 72-11
[旧松代県貫属給禄官給等渡不足御下金之義再歎願](案文)		豎紙・1通	も 72-12
(旧松代藩払残金償還願の件下ヶ渡証拠物なければ採用な	明治6年12月5日	豎紙・1通	も 72-13

らざる旨申渡写) 大蔵卿大隈重信→ - 青罫紙			
近藤貫一他一名願書(近藤貫一分90兩、中村盛一分59兩余に付) 近藤貫一・中村盛→ - 端裏書「壬申三月下旬ヨリ之月給御渡方之儀願」	(明治5年)壬申7月	横切継紙・1通	も76
諸事掛願書(半田亀作らへ松本表にて全国錢札取扱奨励のため御賞下付に付) 諸事掛→ - 端裏書「全国錢幣取扱候向御賞之義御内々願」	(明治5年)壬申7月	横切継紙・1通	も117
諸事掛願書(半田亀作らへ松本表にて全国錢札取扱奨励のため御賞下付に付) 諸事掛→ - 端裏書「全国錢幣取扱候向御手元之義願」	(明治5年)壬申7月	横切継紙・1通	も118
(京都藩邸引払代金関連書類綴)	(明治5年)	紙綴綴・2点	も246
藤田新太郎歎願書(去る明治4年11月中京都藩邸引払の節市中御払不足の内小川勘七より金200円借用の返済方苦情に付) 藤田新太郎→ - 端裏書「拝借金之義ニ付歎願」	(明治5年)3月21日	横切継紙・1通	も246-1
藤田新太郎歎願書(金150円の利足15ヶ年賦の割合にて拝借に付) 藤田新太郎→ - 端裏書「金百五拾圓利足之義ニ付歎願」、訂正貼紙付	(明治5年)3月21日	横切継紙・1通	も246-2
(勝田市左衛門旧松代県貸金残申立関係書類綴 明治6年4月～5月)		紙綴綴・4点	も83
東京出張所用状(東京府下勝田市左衛門より申出の旧松代県貸金残の件負債掛より取調依頼に付) 東京出張所→本県御中	明治6年4月	堅紙・1通	も83-1
某用状(勝田市左衛門旧松代県玄米76石余代貸金残金54兩余取調に付) 黒罫紙使用		堅切紙・1通	も83-2
富永新平他一名申上書案[御尋ニ付申上](勝田市左衛門申立の件霊岸島伊勢屋市左衛門より買上物代金払残54円余に付) 松代住士族富永新平・横田数馬→長野県権参事榑崎寛直殿	明治6年5月	堅紙・1通	も83-3
富永新平他一名申上書[御尋ニ付申上](勝田市左衛門申立の件霊岸島伊勢屋市左衛門より買上物代金払残54円余に付) 松代住士族富永新平・横田数馬→長野県権参事榑崎寛直殿	明治6年5月	堅紙・1通	も83-4

32 元松代庁／新公債取扱

(新公債証書取扱方伺書関係書類綴 明治10年1月～明治29年3月)		紙綴綴・5点	も85
[明治廿九年二月旧松代県権大参事長谷川昭道殿白川税正村勇太郎片井直映大内慶三郎長命茂馬清水新太郎松代同志士族惣代トシテ明治八年大蔵省ヨリ御下ノ相成候新公債証書御取扱方如何相成居候哉奉伺度願出候書面写并長谷川昭道殿答弁之趣意書](封筒) 理助→(長谷川)昭道様	明治29年2月	封筒・1点	も85-1
[明治廿九年二月廿六日長谷川昭道殿口答ノ趣意](上金は不償却のため伺書返却に付)	明治29年2月26日	堅紙・1通	も85-2
白川税他五名伺書写[公債証書取扱方之義ニ付伺](大蔵省より受取新公債証書6千兩余士族卒族へ配分なきため当初の取扱方等に付) 白川税・正村勇太郎・片井直映他3名→旧松代県権大参事長谷川昭道殿・旧同県大属富永新平殿	明治29年2月20日	堅紙・1通	も85-3
旧松代県権大属佐藤則通他二名歎願書[旧松代藩貫属士卒え分与御賞典禄高渡方滞ノ義ニ付歎願](旧貫属渡方滞り分御賞典石代金9千兩余下金願に付) 旧松代県権大属佐藤則通・同大属富永新平・同権大参事長谷川昭道→長野県参事榑崎寛直殿	明治10年1月	堅半・1冊	も85-4
白川税他四名伺書並びに別紙参考書類[新公債御取扱方之義ニ付猶又伺](別紙参考書類熟覧の上新公債取扱方に	明治29年3月	堅半・1冊	も85-5

も 32 元松代庁／新公債取扱

付) 松代町士族有志惣代白川税・正村勇太郎・沢静人他2名→長谷川昭道殿・富永新平殿			
---	--	--	--

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

や

1 真田家／家職／諸金銭勘定

児玉九野右衛門他二名願書(地蔵峠堀割新道費拝借金の子 従四位様へ執りなしに付) 児玉九野右衛門・矢嶋清人・水野清 右衛門→御家令扶御中	明治9年10月	横半半・1冊	や19
---	---------	--------	-----

2 藩政／郡方／寺社／拝借米金

(芝御宿坊浄運院拝借金願書等一括 文政2年閏4月～文政3 年12月)		包紙一括・12点	や74
[ほ 文政二卯年閏四月十六日 芝御宿坊浄運院拝借願書 并書類共](包紙)	文政2年卯閏4月16日	包紙・1点	や74-1
[文政二卯年閏四月十六日 芝御宿坊浄運院拝借願書并書 類共](包紙)	文政2年卯閏4月16日	包紙・1点	や74-2
(浄運院拝借金証文写)		包紙一括・3点	や74-3
[浄運院先達差出候願書](包紙) 貼紙「是は先達之願書ニ御座候 得共是も差添御差出被下候様」		包紙・1点	や74-3-1
[ほ印 文政三辰年十二月 芝御宿坊浄運院拝借金証文写] (包紙)	文政3年辰12月	包紙・1点	や74-3-2
浄運院他一名拝借金証文并中俣吉五郎他一名申上書[御受 取証文](御院土蔵建替などのため宿坊料金75兩拝借並び に正金返上の旨取決めに付) 御宿坊浄運院印・法類雲晴院印 →樋口莊司殿・中俣吉五郎殿	文政2年卯閏4月	縦継紙・1通	や74-3-3
御郡方申上書并下ケ札(浄運院宿坊料拝借米江戸表へ問合 せ半減支給の旨回答に付) 御郡方→	12月	横切継紙・1通	や74-4
[口上覚](包紙)		包紙・1点	や74-5-1
浄運院隠居発誓願書[当住昨今ニ付別紙を以て々奉願候口 上覚](土蔵建替に付) 浄運院隠居発誓→御役人衆中	寅8月	横切継紙・1通	や74-5-2
[口上覚](包紙)		包紙・1点	や74-6-1
浄運院願書[口上書を以て奉再願候](土蔵普請のため合力50 両並びに100両30年賦借用に付) 浄運院→御役人衆中	寅8月	横切継紙・1通	や74-6-2
[口上覚](包紙)		包紙・1点	や74-7-1
浄運院再願書[乍恐奉再願候口上覚](土蔵普請のため合力 50両並びに100両30年賦借用に付) 浄運院→鈴木弥左衛門 様・石川新八様	寅10月	横切継紙・1通	や74-7-2

3 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

上村山村七左衛門他三名拝借証文[差上申一札之御事](江 戸御用使御切米返上の分御手当拝借金1兩余4年賦借用に 付) 上村山村御借主七左衛門・名主九右衛門・組頭七郎兵衛他1名 →水井久太夫様・徳嵩甚蔵様・大嶋小左衛門様 端裏書「山村山村」	安永9年子4月	縦継紙・1通	や86
有旅村小右衛門他三名拝借証文[差上申一札之御事](江戸 御用使御切米返上の分御手当拝借金1兩余4年賦借用に 付) 有旅村御借主小右衛門・名主六右衛門・組頭弥兵衛他1名→水	安永9年子4月	縦継紙・1通	や87

や 3 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

井久太夫様・徳嵩甚蔵様・大嶋小左衛門様 端裏書「有旅村」			
古山村梅右衛門他三名拝借証文〔差上申一札之御事〕(江戸御用使御切米返上の分御手当拝借金1両余4年賦借用に付) 古山村御借主梅右衛門・名主文助・組頭茂平次他1名→水井久太夫様・徳嵩甚蔵様・大嶋小左衛門様 端裏書「古山村」	安永9年子4月	縦継紙・1通	や88
青地村長左衛門他三名拝借証文〔差上申一札之事〕(江戸御用使者御切米返上の分御手当拝借金1両余に付) 青地村御借主長左衛門・名主文右衛門・組頭惣右衛門他1名→水井久太夫様・徳嵩甚蔵様(勘定役)・大嶋小左衛門様 端裏書「青地村」	安永9年子4月	縦継紙・1通	や83
宮崎新田村源八他一名願書并平出惣左衛門他一名下ケ札〔乍恐以口上書奉願候御事〕(荒地芝野場所開発金御恩借願并拝借金高の件伺に付) 宮崎新田村肝煎源八・組頭権左衛門→平出惣左衛門様・中村仲右衛門様 端裏書「宮崎新田開発願」	寛政7年辰5月	縦継紙・1通	や31
新町村金左衛門他三名金銭内借証文并勘定役水井忠蔵他返済金受取証文〔御内借金証文之事〕(当村上初30俵引当にて金30両利金1割5分に付) 新町村御借主名主金左衛門・組頭仁左衛門・武右衛門他1名→古岩重右衛門様	文化12年亥12月	縦継紙・1通	や35
千田村名右衛門他二名申上書〔乍恐御尋ニ付以口上書奉申上候御事〕(勘定元メよりの拝借金9両の内滞納分2両余上納の旨回答に付) 千田村名主名右衛門・組頭太郎左衛門・長百姓藤左衛門→御代官所 端裏書「千田村拝借上納之元メ役申立ニ付尋之答」	文政5年午4月	縦継紙・1通	や14
(大岡根越組越中河村庄左衛門借入金関係書類一括 文政9年5月～天保11年12月)		封筒一括・10点	や36
[大岡祢越組大原村口合金之儀ニ付奉願候書類](封筒) 矢野倉惣之進→ -		封筒・1点	や36-1
[口上覚](包紙) 矢野倉惣之進→ -		包紙・1点	や36-2-1
矢野倉惣之進用状[口上覚](大原村4人借入金返済に付) 矢野倉惣之進→ -	7月4日	横切紙・1通	や36-2-2
大岡祢越組御借主庄左衛門金銭内借証文〔御内借金証文之御事〕(当村上初3俵引当にて金9両余30年賦に付) 大岡祢越組御借主庄左衛門印・組合惣代由右衛門印・頭立惣代藤助印他3名→矢野倉惣兵衛様御内 端裏書「祢越組庄左衛門証文写」、下ケ札あり	文政9年戌5月	縦継紙・1通	や36-3
[口上覚](包紙) 矢野倉惣之進→ -		包紙・1点	や36-4-1
矢野倉惣之進用状并下ケ札[口上覚](大岡祢越組庄左衛門・大原村藤右衛門等借入口合金返済滞納に付糾明願並びに西沢軍治手切の断りの旨に付) 矢野倉惣之進→ -	6月	横切紙・1通	や36-4-2
(借入金日延願綴 天保10年正月～3月)		紙綴綴・2点	や36-5
祢越組越中河村庄左衛門他四名受取証文〔御日延一札之事〕(借入金上納日延に付) 根越組越中河村御借主庄左衛門・中挟村平左衛門／(奥印)名主市左衛門・組頭吉右衛門・長百姓助左衛門→矢野倉惣兵衛様御内 端裏書「祢越組」	天保10年亥正月18日	縦紙・1通	や36-5-1
大岡根越組加判頭立藤助願書〔差上申一札之御事〕(越中河村庄左衛門借入金年賦返上日延願に付) 大岡根越組加判頭立藤助→矢野倉惣兵衛様	天保10年亥3月7日	縦紙・1通	や36-5-2
大原村藤右衛門他五名受取証文〔乍恐以書付御請申上候〕(矢野倉惣之進様より御借入金返済済方仰付に付) 大原村御借主藤右衛門・太左衛門・名主愛之助他3名→御郡御奉行所	天保11年子7月	縦継紙・1通	や36-6
大岡根越組庄左衛門他四名申上書〔乍恐以書付済口奉申上候〕(矢野倉惣之進様より御借入金年々3匁5分ずつ返金に付) 大岡根越組庄左衛門・名主文左衛門・引請人組頭与一右衛門他3名→御郡御奉行所	天保11年子12月28日	縦紙・1通	や36-7
上山田村重兵衛願書〔乍恐以書付奉願候〕(大嶋磯右衛門より拝借金3両返済日延に付) 上山田村御借主重兵衛／(奥印)	文政11年子2月25日	縦紙・1通	や16

同村名主弥次兵衛→御郡御奉行所 端裏書「二月廿五日 上山田村重兵衛日延書」			
[上](包紙) 三輪村→ -		包紙・1点	や26-1
三輪村名主和兵衛他二名申上書[当村長左衛門御拝借之儀 三役人御借主之所如何之訳合ニ付長左衛門引請ニ相廻り候哉之旨御尋ニ付乍恐左ニ奉申上候](長左衛門御拝借相違なき旨に付) 三輪村名主和兵衛・組頭三郎右衛門・長百姓清右衛門→御代官所	文政11年子7月	縦継紙・1通	や26-2
矢代村源之助他五名請書[乍恐以書付御請奉申上候](塩崎村一件出府惣代扣拝命に付) 矢代村源之助・三郎右衛門・正平他3名/(奥印)名主七郎兵衛・幸三郎・組頭弥吉他5名→御郡御奉行所	天保2年卯3月	縦継紙・1通	や30
矢代村弥吉他七名縋り証文[乍恐以書付御縋奉申上候](塩崎一件江府御入用上納御流赦免に付) 矢代村名主弥吉・与惣左衛門・組頭忠右衛門他6名→春日儀左衛門様 裏打済	天保4年巳12月	縦継紙・1通	や28
矢代村弥吉他十七名縋り証文[以書付御縋り奉申上候](塩崎一件江府御入用上納等閑にて御町宿預け仰付のため御訴訟執成に付) 矢代村名主弥吉・与惣左衛門・組頭佐次右衛門他15名→願行寺様 裏打済	天保5年午3月	縦継紙・1通	や29
(賄初下賜関係書類綴 天保8年11月～天保9年3月)		かぶせ綴・4点	や80
藤井喜内他一名申上書(上納初7俵余にて差引勘定に付) 藤井喜内・馬場介作/(奥印)野中八大夫/(裏書)金児丈助・岡嶋莊藏・寺内多宮→岡部八十喜殿→寺内多宮殿・岡嶋莊藏殿・金児丈助殿	天保9年戌3月	縦紙・1通	や80-1
西寺尾村左仲太他二名受取証文[指上申一札之御事](柴町辺出火後火消人足御役初13俵受取に付) 西寺尾村名主仮役左仲太・組頭兵左衛門・長百姓儀五郎→道橋御奉行所	天保8年酉12月	縦紙・1通	や80-2
西寺尾村左仲太受取証文[乍恐以書付奉申上候](筏乗止宿賄初頂戴に付) 西寺尾村御土場守仮役左仲太→道橋御奉行所	天保8年酉12月	縦継紙・1通	や80-3
西寺尾村左仲太申上書[差上申一札之事](御土場御材木取調出役役人御賄に付) 西寺尾村御土場守仮名主左仲太/(奥書)月岡亀三郎・小山織右衛門/(奥書)片岡和介/(奥書)野村権兵衛→ -	天保8年酉11月	縦継紙・1通	や80-4
(八幡村郡蔵口合金返済関係書類一括 文政5年12月～天保12年8月)		紙綴綴・5点	や11
[矢野倉惣之進八幡村郡蔵え之口合金差滞其上不埒有之糺内願申立候付召出遂吟味処念入早速致済方申立候付承済候書類封置](封筒) 寺内多宮→ -	天保12年丑8月	封筒・1点	や11-1
[済口書面不差出候付無之事](切紙)	(天保12年)丑4月	切紙・1通	や11-2
(八幡村郡蔵借用証文へ加判村役人名面書)	(天保12年)	切紙・1通	や11-3
矢野倉惣之進申上書[口上覚](八幡村郡蔵口合金返済滞納金について加判村役人等閑のため返済命令発令願に付) 矢野倉惣之進→ -	(天保12年)6月2日	横切継紙・1通	や11-4
八幡村御借主郡蔵他二名願書[乍恐以書御日延奉願上候](違作のため金子返済日延に付) 八幡村御借主郡蔵・加判人七兵衛・名主寅蔵→御郡御奉行所 端裏書「六月七日 八幡村郡蔵」	天保12年6月7日	縦紙・1通	や11-5
八幡村郡蔵他三名金子借用証文写并返済滞納の旨下ケ札[御借用金年賦証文之事](金8両余20年賦5分利にて借用に付) 八幡村御借主郡蔵印・組合梅次郎印・名主常右衛門印他1名→矢野倉惣之進様御内 端裏書「八幡村郡蔵証文写」	文政5年午12月	縦紙・1通	や11-6
(沓野村堰普請拝借金願書・取調書一括)		包紙一括・3点	や24
[上](包紙) 沓野村→ -		包紙・1点	や24-1
(端裏書)[沓野村忠右衛門田直新引堰掛拝借取調] 下ケ札あり		横切継紙・1通	や24-2
沓野村豊三郎他四名願書[乍恐以書付奉歎願候](新引堰自	天保15年辰3月	縦継紙・1通	や24-3

や3 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

普請入用拝借金下付に付) 忠右衛門子孝之助親類豊三郎・名主市兵衛・組頭専左衛門他2名→道橋御奉行所			
(和平組・坪根村借用金済方関係書類一括 天保11年9月～12月)		包紙一括・13点	や76
[和平組坪根村](包紙) 春山磯治→ -	天保11年子12月	包紙・1点	や76-1
坪根村伝之丞他五名願書[以書付御縫申上候](借用金返済滞り吟味御赦免執りなしに付) 坪根村長百姓五右衛門親類伝之丞・五右衛門組合平助・重立四郎右衛門親類庄左衛門他3名→笹平村正源寺様 端裏書「寺院縫り 坪根村」	天保11年子12月	縦継紙・1通	や76-2
今泉村天宗寺願書[口上覚](大岡村和平組運重郎不埒之取計御赦免に付) 今泉村天宗寺→寺内多宮殿・岡嶋莊藏殿・金児丈助殿 端裏書「天宗寺」,76-4と同内容	天保11年子9月	縦継紙・1通	や76-3
今泉村天宗寺願書[口上覚](大岡村和平組運重郎不埒之取計御赦免に付) 今泉村天宗寺→寺内多宮殿・岡嶋莊藏殿・金児丈助殿 端裏書「天宗寺」,76-3と同内容	天保11年子9月	縦継紙・1通	や76-4
大岡和平組吉郎兵衛他二名済口証文[差上申済口一札之事](運重郎借用残金役前にて返済に付) 大岡和平組名主吉郎兵衛・組頭鶴七・長百姓銀右衛門→御郡御奉行所 端裏書「子九月廿四日 和平組」	天保11年子9月	縦継紙・1通	や76-5
大岡和平組弥五右衛門他三名縫り書[乍恐以書付御縫り奉申上候](運重郎借用返済方滞り不調法のため御上様へ取りなしに付) 大岡和平組弥五右衛門・名主吉郎兵衛・組頭鶴七他1名→今泉村天宗寺様 端裏書「和平組」	天保11年子9月	縦継紙・1通	や76-6
大岡和平組奥右衛門他六名縫り書[以書付御縫り申上候](運重郎借用返済方滞り不埒のため御上様へ取りなしに付) 大岡和平組郡左衛門親類惣代奥右衛門・郡左衛門組合惣代彦右衛門・弥五右衛門子利藤太親類惣代彦兵衛他4名→今泉村天宗寺様 端裏書「子九月廿六日 和平組」	天保11年子9月	縦継紙・1通	や76-7
坪根村平右衛門他三名済口証文[差上申済口一札之事](借用金残金済方に付) 坪根村名主平右衛門・組頭清左衛門・長百姓五右衛門他1名→御郡御奉行所 端裏書「済方 坪ね村」	天保11年子12月	縦継紙・1通	や76-8
春山磯治内々願書(端裏書)[和平組之儀二付奉願候](和平組三役人借用金滞りの件約定の通取計の旨仰付に付) (春山)磯治→ -	(天保11年)12月22日	横切継紙・1通	や76-9
孝助申上書(端裏書)[和平組春山磯治より借用金之儀申上](役人召喚の上御尋願に付) 孝助→ -	(天保11年)12月	横切継紙・1通	や76-10
孝助用状(召喚人名面) (孝助)→ -	(天保11年)12月	切紙・1通	や76-11
春山磯治申上書(坪根村借用金返済滞金済方に付) 春山磯治→ -	(天保11年)12月	横切継紙・1通	や76-12
笹平村正源寺願書[口上覚](坪根村三役人借用金不束の始末吟味赦免に付) 笹平村正源寺→寺内多宮殿・岡嶋莊藏殿・金児丈助殿	天保11年子12月	縦紙・1通	や76-13
下真島村北村与右衛門役代善右衛門他三名質地証文[質地証文之事](堀之内北沖高7石・年季3年100両にて譲渡し並びに年期中入上初代金上納の旨添書に付) 下真島村北村与右衛門役代善右衛門・親類寅吉・合地半右衛門他1名(奥印)北村与右衛門→原村銀右衛門殿	弘化2年巳2月	縦継紙・1通	や43-2
[上](包紙)		包紙・1点	や21-1
立町源五左衛門願書[乍恐以書付奉願上候](松代様へ拝借礼金利下げ執りなしに付) 立町庄屋源五左衛門(奥印)吉田兵左衛門・山極源右衛門様→片桐重之助殿・高野覚之進殿→吉田兵左衛門様・山極源右衛門様	嘉永2年酉12月	縦継紙・1通	や21-2
善兵衛金銭受取証文[御前備証文之事](早五郎病気のため薬用金1両余前借に付) 惣兵衛代善兵衛→御役所御掛り様 端裏朱書「職人早五郎」	嘉永3年戌3月	縦紙・1通	や77

小鍋村林左衛門他五名嘆願書[乍恐以書付奉歎願候](煤花川大橋懸替拝借金25両余30年賦にて返上に付) 小鍋村古役林左衛門・伴蔵・市郎左衛門他3名→御代官所	安政3年辰2月	豎半・1冊	や15
(上松宿小松庄兵衛拝借金関係書類一括 安政6年12月～万延元年12月)		紙縫綴・3点	や23
[上](包紙) 御定宿上松宿小松庄兵衛→ -		包紙・1点	や23-1
友右衛門金錢預り証文[覚](上松宿小松庄兵衛へ貸付金10両に付) 友右衛門→高野覚之進様御内	万延元年申12月24日	横切継紙・1通	や23-2
上松宿小松庄兵衛他六名拝借証文[差上申証文之事](酒造株請戻しのため金100両に付) 本人御定宿上松宿脇本陣年寄小松庄兵衛・親類惣代加判御定宿本山宿本陣問屋小林志左衛門・御定宿妻籠宿庄屋問屋林六郎左衛門他4名→高(高野)覚之進様	安政6年末12月	豎継紙・1通	や23-3
[上](包紙) 田中村→ -		包紙・1点	や72-1
田中村忠三郎他七名金錢受取証文(田中村忠吾拝借金返済手段なきため毎年玄米20俵蔵納に付) 田中村忠三郎・親類久兵衛・卯吉他5名→郡御奉行所	安政6年末4月	豎半・1冊	や72-2
伊勢町忠左衛門他一名歎願書并下ケ札[乍恐以書付奉歎願候](御内借金8両下渡願并礼金5分20年賦にて下渡に付) 伊勢町忠左衛門・親類組合兼平兵衛→御奉行所 紙縫付	文久3年亥4月	豎半・1冊	や33
[上](包紙) 田中村→ -		包紙・1点	や71-1
春日儀左衛門預り証文写[覚](下真嶋村与右衛門所持田畑地代金1441両預り証文写) 春日儀左衛門→下真嶋村三役人端裏貼紙[与右衛門所持之田畑入札被相渡、高金紺屋町飯島彦兵衛江譲渡ニ被成候、其節之御懸り春日儀左衛門様より当村三役人名当ニ而御遣しニ相成候証書之写]	文久3年亥7月	豎紙・1通	や39
西木町忠左衛門他一名再歎願書[乍恐以書付奉歎願候](御内借金7両礼金5分15年賦にて下渡に付) 西木町忠左衛門・親類組頭兼平兵衛→御奉行所 紙縫付	文久3年亥8月	豎半・1冊	や34
[有金錢其外之分月々御上納御通(写)](代官所細田久作へ上納分) 下真嶋村与右衛門親類→ -	文久4年子正月	横半半・1冊	や41
[有金錢其外之分月々御上納御通(写)](代官所細田久作へ上納分) 下真嶋村与右衛門親類→ -	文久4年子正月	横半半・1冊	や42
田中村忠之助他六名願書[乍恐以書付奉御内歎願候](拝借金借主親忠三郎病死のため永久上納の玄米俵数御赦免に付) 田中村忠之助・親類惣代久兵衛・組外惣代卯吉他4名→御代官所	慶応2年寅2月	豎半・1冊	や71-2
力石村塚田多右衛門拝借金証文[御拝借金証文之事](商い向仕入金差支のため江府御用金送付金の内1千両に付) 力石村御借用主塚田多右衛門→酒井市治様・清野清右衛門様	慶応3年卯6月25日	豎紙・1通	や2
[御内借御礼金請取通帳](写、下真嶋村与右衛門親類分) 倉田三之丞→ -	慶応元年丑11月	横半半・1冊	や38
(拝借金差引勘定書綴)		紙縫綴・4点	や20
某用状(預所拝借利金差引12月10日受取分勘定書)		横切紙・1通	や20-1
某用状[覚](龍助証文分等差引分正金にて支給に付) 端裏書「御預り所」	卯12月9日	横切紙・1通	や20-2
某用状[覚](預所村々御救拝借金町奉行の沙汰にて支給願に付) 端裏書「御預所村々御救拝借」同朱書「寅十二月」	寅12月	横切紙・1通	や20-3
海沼龍助申上書[覚](拝借金正金受取取調に付) (海沼)龍助→(水野)清右衛門様	10日	横切継紙・1通	や20-4
(山極源右衛門拝借金・利下げ執りなしの旨用状)		包紙一括・3点	や22
(包紙) 山極源右衛門→片桐重之助様・高野覚之進		包紙・1点	や22-1

や3 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調 4 藩政／財政／元方御金奉行／金銭請取

山極源右衛門用状(拝借金一件執りなし願に付) 山極源右衛門→片桐重之助様・高野覚之進	6月22日	横切継紙・1通	や22-2
山極源右衛門用状(御礼下げ執りなしの儀御礼に付) (山極)源右衛門→(片桐)重之助様・(高野)覚之進	6月22日	横切紙・1通	や22-3
某申上書[惣括上納金調](北村惣右衛門上納金)		縦紙・1通	や45
三人申上書并惣之進他一名下ケ札(下越村拝借金上納滞り取立方評議並びに弁金御手当等に付) 三人→-		縦継紙・1通	や46
[御拝借金調書](妻科村大入作拝借金・礼金調書) 大入作御拝借人名主茂左衛門・小前惣代九兵衛→- 紙縫で1通綴貼付		横長半・1冊	や47
[覚](包紙) - →北村様 「当村銀右衛門より預り置」		包紙・1点	や43-1

4 藩政／財政／元方御金奉行／金銭請取

半田亀作他二名金銭上納証文[覚](村方拝借礼金140両余御納戸御余慶方預金へ上納に付) 半田亀作・伊東栄治・小野左金太／(奥印)中島波之助／(奥印)宮下兵馬／(裏書)綿貫恭蔵→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊与之進殿他2名	万延元年申11月	縦継紙・1通	や5
[他借金元利調帳](下真嶋村与右衛門金井諫等へ貸金取調帳写)	文久元年酉9月	横半半・1冊	や40
妻科村茂左衛門他一名願書[乍恐以書付奉歎願候](未年大変災のため御内借金年賦返済及び御礼金赦免再願に付) 妻科村之内大入作拝借人名主茂左衛門・小前惣代九兵衛→-	文久元年酉12月	縦半・1冊	や48
(御借入利足金・御用金受取証文綴 文久2年3月～万延2年正月)		紙縫綴・9点	や73
小野唯之進他四名中借金受取証文[覚](去酉年御借入金利足返済のため金1千232両余に付) 助小野唯之進・倉田三之丞・竹内多吉他2名／(奥印)山寺源大夫・磯田音門・長谷川三郎兵衛他1名／(裏書)岡野弥右衛門→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊与之進殿他2名	文久2年戌3月	縦継紙・1通	や73-1
中嶋渡浪金銭受取証文[覚](支配村々已年御借入金去酉年分利分金320両余に付) 中嶋渡浪／(奥印)柿崎良作／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)斎藤友衛／(裏書)佐藤伊与之進→齊藤善蔵殿・水井市治殿・佐藤伊与之進殿他2名	文久2年戌10月	縦継紙・1通	や73-2
細田久作金銭受取証文[覚](御借入金酉利分金259両余に付) 細田久作／(奥印)田沢廉助／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)草間一路／(奥印)綿貫泰蔵→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊与之進殿他2名	文久2年戌12月	縦継紙・1通	や73-3
伊東賢治金銭受取証文[覚](長岡富五郎御役中已御借入金酉利分金220両余に付) 伊東賢治／(奥印)鈴木富作／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)草間一路／(裏書)綿貫泰蔵→齊藤善蔵殿・水井市治殿・佐藤伊与之進殿他1名	文久2年戌12月	縦継紙・1通	や73-4
伊東賢治金銭受取証文[覚](支配村々申別段御借入金酉利分金85両余に付) 伊東賢治／(奥印)柿崎良作／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)草間一路／(裏書)綿貫泰蔵→齊藤善蔵殿・水井市治殿・佐藤伊与之進殿他1名	文久2年戌12月	縦継紙・1通	や73-5
中嶋渡浪金銭受取証文[覚](村々別段御借入金去酉年分、利分金163両余に付) 中嶋渡浪／(奥印)倉田三之助／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)斎藤友衛／(裏書)遠藤小右衛門→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊与之進殿他2名	文久2年戌11月	縦継紙・1通	や73-6
野本力太郎金銭受取証文[覚](支配村々申年御借入金酉年分、利分金139両余に付) 野本力太郎／(奥印)中嶋渡浪／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)草間一路／(裏書)佐藤伊与之進→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊与之進殿他2名	文久3年亥2月	縦継紙・1通	や73-7

野本力太郎金銭受取証文[覚](支配村々巳年御借入金酉年分、利分金274両余に付) 野本力太郎／(奥印)倉田三之助／(奥印)水井忠蔵・春日儀左衛門／(奥印)草間一路／(裏書)佐藤伊与之進→齊藤善蔵殿・水井市治殿・佐藤伊与之進殿他2名	文久2年戌12月	縦継紙・1通	や73-8
宮下謙大夫金銭受取証文[覚](御武器御手当御操り廻し去申御礼金御用のため金15両に付) 宮下謙大夫／(奥印)岡野弥右衛門→齊藤善蔵殿・水井市治殿・助佐藤伊与之進殿他2名	万延2年酉正月	縦紙・1通	や73-9
(南沢甚之介支配村々御借入金受取証文綴 文久3年10月)		紙綴綴・2点	や18
南沢甚之介金銭受取証文[覚](支配村々巳御借入金277両余に付) 南沢甚之介／(奥印)田沢廉助／(奥印)春日儀左衛門・宮沢善治・青柳丈左衛門／(奥印)長谷川三郎兵衛／(裏書)岡嶋忠記→齊藤善蔵殿・水井市治殿・片岡弘人殿・西村源兵衛殿・水井忠治殿	文久3年亥10月	縦継紙・1通	や18-1
南沢甚之介金銭受取証文[覚](支配村々別段御借入金277両余に付) 南沢甚之介／(奥印)田沢廉助／(奥印)春日儀左衛門・宮沢善治・青柳丈左衛門／(奥印)長谷川三郎兵衛／(裏書)岡嶋忠記→齊藤善蔵殿・水井市治殿・片岡弘人殿・西村源兵衛殿・水井忠治殿	文久3年亥10月	縦継紙・1通	や18-2

5 藩政／財政／勘定所／拝借掛・内借掛

布施五明村佐源治他二名拝借証文[差上申拝借証文之御事](借主持地入上初6俵引当にて金6両年中1割に付) 布施五明村瀬原田組主佐源治・組頭善八・頭立喜清治→御勘定所拝借御掛り御役所 や144～150巻込一括、端裏書「瀬原田組」	文政3年辰11月	縦継紙・1通	や144
市村南組甚左衛門他七名拝借証文[差上申拝借証文之御事](当年船場揚り銭不足のため金151両余に付) 市村南組組惣代甚左衛門・右同断重兵衛・右同断常左衛門他四名／(奥印)深美甚十郎→御勘定所拝借御懸り御役所 や144～150巻込一括、端裏書「市村南組」	文政2年卯12月	縦継紙・1通	や145
中御所村字平他四名拝借証文并半田藤作拝借金返済済金勘定付紙[差上申拝借証文之事](煤花川満水にて御留地川欠荒地のため借主持地引当にて金60両15年賦に付) 中御所村九反組主字平・組頭藤左衛門・長百姓久左衛門他2名／(奥印)宮下源助→御勘定所拝借御掛御役所 や144～150巻込一括、端裏書「中御所村九反組」	文政10年亥12月	縦継紙・1通	や146
宮平組小文治他四名拝借証文[差上申御借用証文之御事](借主持地入上初8俵にて金8両余10年賦に付) 宮平組御借主小文治・御受人勝弥・名主字左衛門他2名→御勘定所御拝借御掛御役所 や144～150巻込一括、	文政3年辰正月	縦継紙・1通	や147
原織部他二名拝借証文[覚](知行所東川田村収納本口初33俵引当にて御操廻金の内金100両15年賦に付) 原織部・加判畑権兵衛・同寺内友之進→大嶋磯右衛門殿・入安兵衛殿 や144～150巻込一括、端裏書「原織部」	文政9年戌11月	縦継紙・1通	や148
千田村八重八他三名内借証文[差上申拝借証文之御事](借主持地入初95俵引当にて金95両15年賦に付) 千田村御借主八重八・名主吉左衛門・組頭治兵衛他1名→御勘定所御内借御掛御役所 や144～150巻込一括、端裏書「鈴木主水 千田村」	文政13年寅12月	縦継紙・1通	や149
久木村佐左衛門他四名拝借証文并片桐重之助拝借金返済済金勘定付紙[指上申拝借証文之御事](当村難渋のため借主持地引当にて金96両30年賦に付) 久木村名主佐左衛門・組頭伊惣治・長百姓弥平治他2名→御勘定所御拝借御掛り御役所 や144～150巻込一括、端裏朱書「取立懸り」端裏書「久木村」	文化6年巳12月	縦継紙・1通	や150
上高田村忠左衛門他四名内借証文并半田藤作拝借金返済済金勘定付紙[差上申拝借証文之御事](当村極難渋のため借主持地引当にて金140両20年賦に付) 上高田村名主御借主忠左衛門・組頭同助左衛門・長百姓同治左衛門他2名→御勘定所御内借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「上高田村」	文政5年午10月	縦継紙・1通	や151

や 5 藩政／財政／勘定所／拝借掛・内借掛

大岡祢越組惣兵衛他三名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕 (早魃不作夫食差支のため借主持地引当にて金5両余10年賦に付) 大岡祢越組名主惣兵衛・組頭与一左衛門・長百姓七兵衛他1名／(奥印)宮下源助→御勘定所拝借御懸り御役所 や151～174巻込一括、端裏書「根越組」	文政4年巳12月	縦継紙・1通	や152
五十里村佐右衛門他五名拝借証文〔拝借金証文之御事〕(当村早損夫食拝借のため借主持地引当にて金4両余10年賦に付) 五十里村名主佐右衛門・組頭佐兵衛・同断林右衛門他3名／(奥印)先御役中近藤最角・卯十二月徳嵩恒吉→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「五十里村」	文政元年寅12月	縦継紙・1通	や153
奈良井村佐五兵衛他五名拝借証文〔指上申拝借証文之御事〕 (当村早損夫食拝借のため借主持地引当にて金2両余10年賦に付) 奈良井村名主佐五兵衛・組頭新左衛門・同七郎兵衛他3名→御勘定所拝借御懸御役所 や151～174巻込一括、端裏書「奈良井村」	文政2年卯4月	縦継紙・1通	や154
夏和村喜右衛門他五明拝借証文〔拝借金証文之御事〕(当村早損夫食拝借のため借主持地引当にて金4両余10年賦に付) 夏和村名主喜右衛門・組頭元右衛門・同断宇兵衛他3名／(奥印)先御役中近藤最角・卯十二月徳嵩恒吉→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「夏和村」	文政元年寅12月	縦継紙・1通	や155
上野村幾右衛門他六名拝借証文〔拝借金証文之御事〕(夫食拝借のため借主持地引当にて金2両余10年賦に付) 上野村名主幾右衛門・組頭伝右衛門・同断七左衛門他4名／(奥印)先御役中近藤最角・卯十二月徳嵩恒吉→御勘定所拝借御掛り御役所 や151～174巻込一括、端裏書「上野村」	文政元年寅12月	縦継紙・1通	や156
花尾村吉郎兵衛他六名拝借証文〔指上申拝借証文之御事〕 (夫食拝借のため借主持地引当にて金2両余10年賦に付) 花尾村名主吉郎兵衛・組頭七左衛門・同断源右衛門他4名／(奥印)先御役中近藤最角・卯十二月徳嵩恒吉→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「花尾村」	文政2年卯3月	縦継紙・1通	や157
瀬戸川村金右衛門他四名拝借証文〔差上申拝借金証文之御事〕(夫食拝借のため借主持地引当にて金10両10年賦に付) 瀬戸川村成就組名主金右衛門・組頭弥四郎・長百姓恒左衛門他2名／(奥印)成沢小右衛門→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「瀬戸川村成就組」	文政元年寅12月	縦継紙・1通	や158
瀬戸川村重左衛門他四名拝借証文〔差上申拝借金証文之御事〕(夫食拝借のため借主持地引当にて金8両10年賦に付) 瀬戸川村埋牧組名主重左衛門・組頭彦左衛門・長百姓伝左衛門他2名／(奥印)成沢小右衛門→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「瀬戸川村埋牧組」	文政元年寅12月	縦継紙・1通	や159
竹生村団右衛門他五名拝借証文〔拝借金証文之御事〕(夫食拝借のため借主持地引当にて金7両余10年賦に付) 竹生村名主団右衛門・組頭林右衛門・同断五郎右衛門他3名／(奥印)先御役中近藤最角・卯十二月徳嵩恒吉→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「竹生村」	文政元年寅12月	縦継紙・1通	や160
山穂刈村藤八他三名拝借証文〔差上申拝借証文之事〕(当村夏大風雨にて小前百姓綱右衛門難渋至極のため借主持地引当にて金1両余10年賦に付) 山穂刈村名主藤八・組頭清蔵・長百姓八郎治他1名→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「山穂刈村」	文化13年子12月	縦継紙・1通	や161
下越道村藤右衛門他六名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕 (当村困窮夫食拝借のため借主持地引当にて金5両余10年賦に付) 下越道村名主藤右衛門・組頭常右衛門・長百姓久兵衛他4名／(奥印)成沢小右衛門→御勘定所拝借御掛り御役所 や151～174巻込一括、端裏書「下越道村」	文政2年卯3月	縦継紙・1通	や162
外鹿谷村清五郎他三名拝借証文〔差上申拝借金証文之御事〕 (当村早損夫食拝借のため借主持地引当にて金5両10年賦に付) 外鹿谷村名主清五郎・組頭幸八・長百姓五右衛門他1名／(奥印)成沢小右衛門→御勘定所拝借御掛り御役所 や151～174巻込一括、端裏書「外鹿谷村」	文政元年寅12月	縦継紙・1通	や163

新町村久右衛門他六名拝借証文[差上申拝借証文之御事] (不作打続拝借金皆済差支のため借主持地引当にて残金1両余35年賦借替証文に付) 新町村名主久右衛門・組頭勘左衛門・長百姓六左衛門他4名／(奥印)師田幾五郎→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「新町村」	文政8年酉12月	縦継紙・1通	や164
水内村甚右衛門他五名拝借証文[差上申拝借証文之御事] (不作打続行立がたきため借主持地引当にて残金28両余15年賦借替証文に付) 水内村本郷御借主名甚右衛門・組頭儀兵衛・同断喜左衛門他3名／(奥印)宮下源助→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「水内村本郷」	文政5年午3月	縦継紙・1通	や165
山上条村伴右衛門他六名拝借証文[差上申拝借証文之御事] (潰百姓弁金引請等難渋のため借主持地入上粉2俵引当にて残金1分余5年賦借替証文に付) 山上条村御借主伴右衛門・合地勇左衛門・組合利左衛門他4名→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「山上条村」	文政5年午11月	縦継紙・1通	や167
山上条村甚九郎他五明拝借証文[差上申拝借証文之御事] (潰百姓弁金引請等難渋のため借主持地入上粉2俵引当にて残金14両余5年賦借替証文に付) 山上条村名主甚九郎・組頭重右衛門・同断寅松他3名→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「山上条村」	文政5年午11月	縦継紙・1通	や168
新町村治右衛門他四名拝借証文[差上申拝借証文之御事] (欠落人弁金引請等難渋のため借主持地引当にて残金66両余20年賦借替証文に付) 新町村御借主名主治右衛門・組頭孫助・長百姓彦右衛門他2名→御勘定所拝借御懸御役所 や151～174巻込一括、端裏書「新町村」	文政5年午12月	縦継紙・1通	や169
新町村市五郎他四名拝借証文[差上申拝借証文之御事](不作打続旁拝借皆済差支のため残金1両余30年賦借替証文に付) 新町村御借主市五郎・名主久右衛門・組頭勘左衛門他3名／(奥印)師田幾五郎→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「新町村市五郎」	文政8年酉12月	縦継紙・1通	や170
千田村七左衛門他四名拝借証文并半田藤作拝借金返済残金勘定付紙[差上申拝借証文之御事](無尽金子調達のため拝借金返済残金16両余18年賦借替証文に付) 千田村名主御借主七左衛門・組頭同断嘉右衛門・長百姓同断作左衛門他2名→御勘定所御元メ御役所 や151～174巻込一括、端裏書「千田村」	文政7年申4月	縦継紙・1通	や171
新町村権左衛門他六名拝借証文[差上申拝借証文之御事] (拝借金札金等滞りのため拝借残金36両余30年賦借替証文に付) 新町村御借主権左衛門・相地吉左衛門・組合与五兵衛他4名／(奥印)小野唯右衛門・池田良右衛門→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「新町村権左衛門」、年月日欠損	文政(5年午12月)	縦継紙・1通	や172
新町村権左衛門他六名拝借証文[差上申拝借証文之御事] (長国寺本堂建替御用延引等にて行立がたきのため拝借残金30両余30年賦借替証文に付) 新町村御借主権左衛門・相地吉左衛門・組合七左衛門他4名／(奥印)小野唯右衛門・池田良右衛門→御勘定所拝借御掛御役所 や151～174巻込一括、端裏書「新町村権左衛門」	文政5年午12月	縦継紙・1通	や173
新町村良吉他六名拝借証文[差上申拝借証文之御事](潰百姓高金引請難渋のため借主持地引当にて拝借残金6両20年賦借替証文に付) 新町村御借主良吉・組合駒吉・名主治右衛門他4名／(奥印)小野唯右衛門・池田良右衛門→御勘定所拝借御懸御役所 や151～174巻込一括、端裏書「新町村良吉」	文政5年午12月	縦継紙・1通	や174
(拝借金証文綴 安永9年4月～文政5年4月) 紙綴綴外れ		綴じ紐脱・6点	や81
大原村八右衛門他四名拝借証文[差上申拝借証文之御事] (近年難渋のため借主持地引当にて金60両余15年賦に付) 大原村名主御借主八右衛門・組頭八右衛門・長百姓伴吉他2名／(奥書)宮下源助→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「大原村」、未7月に残金返済の旨中嶋宇吉貼紙付	文政5年午4月	縦継紙・1通	や81-1
上祖山村藤右衛門他十四名拝借証文[差上申拝借証文之御事](近年不作難渋のため借主持地引当にて金57両余30年	享和元年酉12月	縦継紙・1通	や81-2

や 5 藩政／財政／勘定所／拝借掛・内借掛

賦に付) 上祖山村名主藤右衛門・組頭七郎兵衛・長百姓喜左衛門他12名→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「上祖山村」、辰元代金書上貼紙付			
日影村勇左衛門他五名拝借証文[差上申拝借証文之御事](拝借金礼金上納困難のため借主持地引当にて金17兩余15年賦利下ヶ拝借に付) 日影村名主勇左衛門・組頭伝右衛門・曾右衛門他3名/(奥書)伊藤小一右衛門・成沢小右衛門→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「日影村」	文政3年辰12月	縦継紙・1通	や81-3
鬼無里村金左衛門他五名拝借証文[差上申拝借証文之御事](借主持地引当にて操廻金の内金5兩余15年賦に付) 鬼無里村東原組御借主金左衛門・合地文六・組合太文治他3名/(奥書)海沼与兵衛・町田源左衛門→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「鬼無里村東原組金左衛門」、辰元代金書上貼紙付	文政5年午11月	縦継紙・1通	や81-4
上祖山村藤右衛門他十四名拝借証文[差上申拝借証文之御事](一村相凌難渋のため借主持地引当にて金54兩余30年賦利下ヶ拝借に付) 上祖山村名主藤右衛門・組頭七郎兵衛・長百姓喜左衛門他12名→御勘定所拝借御懸御役所 端裏書「上祖山村」、申元金書上	享和元年酉12月	縦継紙・1通	や81-5
新町村九八郎他四名拝借証文并拝借金返済残金勘定付紙[差上申拝借証文之御事](拝借金礼金滞り難渋のため私持分入上粉55俵引当にて金7 2兩余30年賦に付) 新町村御借主九八郎・名主金左衛門・武右衛門他2名→御勘定所拝借御懸御役所 端裏書「新町村九八郎」	文化13年子12月	縦継紙・1通	や81-6
(拝借金証文一括 文化12年～文化14年)		巻込一括・2点	や85
下越村弥惣治他三名拝借証文[[]借証[]](借主持分小作入上粉18俵引当にて金15兩年中借用に付) 下越村御借主弥惣治・名主惣三郎・組頭嘉左衛門他1名→御勘定所拝借御掛御役所 破損あり	文化14年丑12月	縦継紙・1通	や85-1
八幡村良助他三名拝借証文[差上拝借証文之御事](借主持分小作入上粉18俵引当にて金20兩年中借用に付) 八幡村御借主良助・名主治右衛門・長百姓武右衛門他1名→御勘定所御本御役所 端裏書「八幡村良助」	文化12年亥12月	縦継紙・1通	や85-2
(拝借証文綴)		巻込一括・6点	や89
竹生村某拝借証文[差上申証文之御事](当村難渋のため拝借金利下げにて金21兩余4年賦借用に付) 後欠、端裏書「竹生村 五十九」		縦継紙・1通	や89-1
広瀬村某拝借証文[差上申証文之御事](当村前々より難渋のため拝借金残金115兩返済申年へ畳込に付) 広瀬村[]→・ 後欠、端裏書「広瀬村 百貳拾貳」	(天)明元年丑	縦継紙・1通	や89-2
伊水村某拝借証文[差上申拝借証文之事](冥加金上納地所頂戴のため名主持分小作入上粉5俵引当にて金5兩5年賦借用に付) 後欠、端裏書「卯十一月 伊水村」		縦継紙・1通	や89-3
日影村某拝借証文并西村源藏拝借金返済残金勘定付紙[差上申拝借証文之御事](不作打続難渋のため借主持地引当にて金5兩7年賦借用に付) 後欠、端裏書「日影村」		縦継紙・1通	や89-4
日影村某拝借証文并西村源藏拝借金返済残金勘定付紙[差上申拝借証文之御事](不作打続難渋のため借主持地引当にて金40兩15年賦借用に付) 後欠、端裏書「日影村」		縦継紙・1通	や89-5
岩草村某拝借証文并西村源藏拝借金返済残金勘定付紙[差上申拝借証文之御事](借主持地引当にて金15兩余8年賦借用証文替に付) 後欠、端裏書「岩草村」		縦継紙・1通	や89-6
山田中村新兵衛他三名拝借証文[指上申証文之御事](当村難渋のため金2兩余4年賦礼金御免借用に付) 山田中村名主新兵衛・市郎右衛門・組頭藤右衛門・長百姓仁兵衛→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「百廿九」	天明元年丑12月	縦紙・1通	や90
竹生村清五郎他二名拝借証文[差上申証文之御事](当村難	天明元年丑12月	縦紙・1通	や91

洪のため拝借金残金281両返済申年へ畳込に付) 竹生村 〔 〕清五郎・組頭五右〔 〕・長百姓八郎右衛門→麻場孝蔵様・菊池伊 惣次様 端裏書「五十八」			
山田中村新兵衛他一名拝借証文[差上申証文之御事](当村 難洪のため拝借金残金83両余返済申年へ畳込に付) 山田 中村名主新兵衛・長百姓仁兵衛→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書 「山田中村 百三十」	天明元年丑12月	縦継紙・1通	や92
広瀬村元組弥惣左衛門他二名拝借証文[指上申証文之御事] (当村難洪のため拝借金残金4両返済に付) 広瀬村元組名主 弥惣左衛門・組頭庄右衛門・長百姓武太夫→麻場孝蔵様・菊池伊惣次 様 端裏書「百廿」	天明元年丑12月	縦継紙・1通	や93
五十平村六三郎他二名拝借証文[指上申証文之御事](当村 難洪のため拝借金残金2両返済申年へ畳込に付) 五十平村 名主六三郎・組頭嘉兵衛・長百姓与市→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「百四十五」	天明元年丑12月	縦継紙・1通	や94
広瀬村弥惣左衛門他二名拝借証文[差上申証文之御事](当 村難洪のため拝借金残金281両返済申年へ畳込に付) 広 瀬村元組名主弥惣左衛門・組頭庄右衛門・長百姓武太夫→麻場孝蔵 様・菊池伊〔惣次様〕 端裏書「百廿壹」	天明元年丑12月	縦継紙・1通	や95
坪根村九左衛門他二名拝借証文[差上申証文之御事](当村 難洪のため拝借金残金1両3年賦に付) 坪根村名主九左衛 門・組頭平助・長百姓与五右衛門→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏 書「百四十 坪根村」	天明元年丑12月	縦紙・1通	や96
五十里村重三郎他二名拝借証文[差上申証文之御事](当村 荒地開発のため拝借金残金2両余2年賦に付) 五十里村名 主重三郎・組頭小右衛門・長百姓善右衛門→麻場孝蔵様・菊池伊惣次 様 端裏書「七十四 五十里村」	天明元年丑12月	縦紙・1通	や97
宮平村又市他二名拝借証文[御拝借証文之御事](当村荒地 開発のため拝借金残金1両余5年賦に付) 宮平村名主又市・ 組頭吉郎右衛門・長百姓又十郎→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書 「宮平村」	天明元年丑11月	縦紙・1通	や98
根越組某他二名拝借証文[差上申証文之御事](当村用水堰 普請のため拝借金3両5年賦に付) 根越組名主五〔 〕・組頭 〔 〕・長百姓嘉〔 〕→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「十七」	天明元年丑12月	縦紙・1通	や99
根越組五兵衛他三名拝借証文[差上申証文之御事](当組南 小松尾村古池普請のため礼金御免拝借金1両余5年賦に 付) 根越組名主五兵衛・組頭藤右〔 〕・長百姓嘉〔 〕・南小松尾村 小百姓惣代常〔 〕→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「根越村」	天明元年丑10月	縦紙・1通	や100
大原村伊兵衛他三名拝借証文[御拝借証文之事](砂溜開 発場所普請等のため礼金銀5分余宛寅年より5年賦返済に て拝借金残金2両余借替に付) 大原村開発人伊兵衛・名主藤 蔵・組頭四五右衛門・長百姓重左衛門→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「大原」	天明元年丑11月	縦継紙・1通	や101
山田中村新兵衛他一名拝借証文[差上証文之御事](当村難 洪のため拝借金残金31両余返済申年へ畳込に付) 山田中 村上組名主新兵衛・長百姓仁兵衛→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏 書「山田中村上組」	天明2年寅2月	縦紙・1通	や102
広瀬村佐五兵衛他二名拝借証文[差上申証文之御事](当村 難洪のため拝借金残金62両余返済申年へ畳込に付) 広瀬 村上組名主佐五兵衛・組頭孫兵衛・長百姓浅右衛門→麻場孝蔵様・菊 池伊惣次様 端裏書「広瀬村上組」	天明2年寅2月	縦紙・1通	や103
川口村喜八他三名拝借証文[差上申証文之御事](難洪のた め拝借金1両余3年賦礼金御免借用に付) 川口村拝借人喜 八・名主太兵衛・組頭喜平治他1名→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏 書「川口村」	天明2年寅3月	縦紙・1通	や104
山上條村某他三名拝借証文[指上申証文之御事](当村難洪 のため拝借金残金113両余返済申年へ畳込に付) 山上條 〔 〕組頭左〔 〕・同長〔 〕・長百姓甚兵衛→麻場孝蔵様・菊池伊惣次	天明2年寅2月	縦継紙・1通	や105

や 5 藩政／財政／勘定所／拝借掛・内借掛

様 端裏書「山上条村下組」			
山上條村久左衛門他三名拝借証文[差上申証文之御事](当 村難渋のため拝借金残金45両余返済申年へ畳込に付) 山 上條[]名主久左衛門・組頭左兵衛・長兵衛・長百姓甚五兵衛→麻場 孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「山上條村峯組」	天明2年寅2月	豎継紙・1通	や106
山上條村久左衛門他三名拝借証文[差上申証文之御事](当 村難渋のため拝借金残金10両余返済申年へ畳込に付) 山 上條[]名主久左[]・組頭左兵衛・長兵衛・長百姓甚五兵衛→麻場 孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「山上条村岸組」	天明2年寅2月	豎継紙・1通	や107
山上條村久左衛門他三名拝借証文[差上申証文之御事](当 村難渋のため拝借金残金105両余返済申年へ畳込に付) 山上條□(村)名主久左衛門・組頭左兵衛・長兵衛・長百姓甚五兵衛→ 麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「山上條村中組」	天明2年寅2月	豎継紙・1通	や108
山上條村甚五兵衛他三名拝借証文[指上申証文之御事](当 村難渋のため拝借金残金20両余返済申年へ畳込に付) 山 上條村名主[](久左衛門)・組頭[](左兵衛)・同断[](長兵衛)・ 長百姓甚五兵衛→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「山上条村中 組」	天明2年寅2月	豎継紙・1通	や109
山上條村久左衛門他三名拝借証文[指上申証文之御事](当 村難渋のため拝借金残金12両余返済申年へ畳込に付) 山 上條村下組名主久左衛門・同断長[](兵衛)・長百姓[](甚五兵衛) →麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「山上条村下組」	天明2年寅2月	豎継紙・1通	や110
日名村仁左衛門他三名拝借証文[差上申拝借証文之事](御 用紙并粘入漉立の道具仕入のため金3分3年賦礼金御免借 用に付) 日名村御借主仁左衛門・名主伴左衛門・組頭伊右衛門・長 百姓惣右衛門→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「日名村」	天明2年寅6月	豎紙・1通	や111
山上條村某他三名拝借証文[指上申証文之御事](当村難渋 のため拝借金残金34両余返済申年へ畳込に付) 山上條村 名[](主久左衛門)・同断長[](兵衛)・長百姓甚五[](兵衛)→麻 場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「山上條村下組扣」	天明2年寅2月	豎継紙・1通	や112
山上條村久左衛門他三名拝借証文[指上申証文之御事](当 村難渋のため拝借金残金5両余返済申年へ畳込に付) 山 上條村下川組名主久左衛門・組頭左兵□(衛)・同断長[](兵衛)→麻 場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「山上條村下川組」	天明2年寅2月	豎継紙・1通	や113
山上條村長兵衛他三名拝借証文[指上申証文之御事](当村 難渋のため拝借金残金9両余返済申年へ畳込に付) 山 [](上條村)名[]・組頭左[](兵衛)・同断長兵衛他1名→麻場孝 蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「山上條村下川組」	天明2年寅2月	豎継紙・1通	や114
山上條村甚五兵衛他三名拝借証文[指上申証文之御事](当 村難渋のため拝借金残金9両余返済申年へ畳込に付) 山 上條[](村)名[](主久兵衛)・組[](頭左兵衛)・同断長[](兵 衛)・長百姓甚五兵衛→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「山上條村 下川組」	天明2年寅2月	豎継紙・1通	や115
梶平村吉右衛門他三名拝借証文[差上申証文之御事](当村 用水堰入料難渋のため拝借金1両余6年賦礼金御免借用に 付) 梶平村願主吉右衛門・和平組名主吉兵衛・組頭初右衛門他1名 →麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「梶平村」	天明3年卯5月	豎紙・1通	や116
大安寺村吉郎兵衛他三名拝借証文[指上申一札之御事](村 方難渋のため拝借金残金39両余返済申年へ畳込に付) 大 安寺名主吉郎兵衛・組頭吉郎右衛門・長百姓専右衛門他1名→麻場孝 蔵様・菊池伊惣次様	天明3年卯2月	豎継紙・1通	や117
上野村平右衛門他三名拝借証文[指上申一札之御事](村方 難渋のため拝借金残金49両余返済申年へ畳込に付) 上野 村名主平右衛門・組頭弥兵衛・長百姓重左衛門・頭立茂兵衛→麻場孝 蔵様・菊池伊惣次様	天明3年卯2月	豎継紙・1通	や118
上野村平右衛門他三名拝借証文[指上申一札之御事](村方 難渋のため拝借金残金54両余返済申年へ畳込に付) 上野 村名主平右衛門・組頭弥兵衛・長百姓重左衛門・頭立茂兵衛→麻場孝	天明3年卯2月	豎紙・1通	や119

蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「上野村」			
小鍋村名五右衛門他二名拝借証文[指上申証文之御事](当 村難渋のため拝借金残金60兩余返済申年へ畳込に付) 小 鍋村国見組名主名五右衛門・市郎左衛門・喜惣治→麻場孝蔵様・菊池 伊惣次様 端裏書「小鍋村国見組」	天明3年卯2月	縦紙・1通	や120
上曾山村長左衛門拝借証文[差上申証文之御事](当村御百 姓32人口々拝借前後行立難きため拝借金残金76兩余返済 申年へ畳込に付) 上曾山村名主長左衛門・組頭四郎兵衛・長百姓 伝右衛門他1名→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様	天明3年卯2月	縦紙・1通	や121
上曾山村名主長左衛門他三名拝借証文[指上申証文之御事] (当村御百姓32人口々拝借前後行立難きため拝借金残金 66兩余返済申年へ畳込に付) 上曾山村名主長左衛門・組頭四 郎兵衛・長百姓伝右衛門他1名→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書 「上曾山村」	天明3年卯2月	縦紙・1通	や122
相原村伝右衛門他三名拝借証文[差上申証文之御事](当村 13人口々拝借前後行立難きため拝借金残金43兩余返済申 年へ畳込に付) 相原村名主伝右衛門・組頭庄兵衛・長百姓太兵衛 他1名→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「相原村」	天明3年卯2月	縦紙・1通	や123
大原村四五右衛門他三名拝借証文[差上申証文之御事](借 持地入上刳13俵引当にて拝借金10兩余年中借用に付) 大原村名主四五右衛門・組頭藤蔵・長百姓太兵衛他1名→麻場孝蔵様・ 菊池伊惣次様 端裏書「大原村」	天明3年卯12月	縦紙・1通	や124
大原村四五右衛門他三名拝借証文[差上申一札之事](借主 持地入上刳5俵余引当にて拝借金5兩余年中借用に付) 大 原村名主四五右衛門・組頭藤蔵・長百姓太兵衛他1名→麻場孝蔵様・菊 池伊惣次様 端裏書「大原村」	天明3年卯12月	縦継紙・1通	や125
栃原村戸右衛門他四名拝借証文[差上申証文之御事](当村 23人口々拝借前後行立難きため拝借金残金68兩余返済申 年へ畳込に付) 栃原村平組名主戸右衛門・組頭辰右衛門・長百姓 九右衛門他2名→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「栃原村」	天明3年卯2月	縦紙・1通	や126
栃原村戸右衛門他四名拝借証文[指上申証文之御事](当村 23人口々拝借前後行立難きため拝借金残金43兩余返済申 年へ畳込に付) 栃原村平組名主戸右衛門・組頭辰右衛門・長百姓 九右衛門他2名→麻場孝蔵様・菊池伊惣次様	天明3年卯2月	縦紙・1通	や127
大安寺村吉郎兵衛他三名拝借証文[指上申一札之御事](村 方難渋のため拝借金105兩余返済申年へ畳込に付) 大安 寺村名主吉郎兵衛・組頭吉郎右衛門・長百姓専右衛門他1名→麻場孝 蔵様・菊池伊惣次様 端裏書「大安寺村」	天明3年卯2月	縦紙・1通	や128
桑根井村勇太郎他六名拝借証文[差上申拝借証文之事](高 金拝借のため拝借金残金8兩余返済9年賦戌年へ畳込み借 替証文に付) 桑根井村名主勇太郎・組頭藤蔵・長百姓与右衛門他 4名→御勘定所拝借御懸り御役所 や175～177巻込一括、端裏書「桑 根井村」、下ヶ札あり	寛政8年辰5月	縦継紙・1通	や175
鍛冶町権左衛門他三名拝借証文[差上申拝借証文之事](天 明8年居宅焼失難渋のため居屋敷地引当にて金3分余30年 賦借替証文に付) 鍛冶町拝借主権左衛門・五人組小源治・同久右 衛門他1名／(奥印)鍛冶町名主小三郎→御勘定所拝借御掛御役所 や175～177巻込一括、端裏書「鍛冶町権[]」	寛政12年申9月	縦継紙・1通	や176
中町弥惣治他四名拝借証文[差上申拝借証文之事](天明8年 居宅焼失難渋のため居屋敷地引当にて金1兩余30年賦借 替証文に付) 中町御借主弥惣治・五人組皆吉・同吉左衛門他2名 ／(奥印)名主新之丞→御勘定所拝借御懸り御役所 や175～177巻込 一括、端裏書「中町弥惣治」	寛政12年申9月	縦継紙・1通	や177
(村方拝借金証文綴 寛政12年8月～文化8年12月)		紙縫綴・72点	や70
北上野村十左衛門他三名拝借証文[指上申拝借証文之御事] (金50兩15年賦に付) 北上野村名主十左衛門・組頭吉左衛門・長 百姓七左衛門他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「北上野 村」、端裏朱書「取立」	文化8年未12月	縦継紙・1通	や70-1

や 5 藩政／財政／勘定所／拝借掛・内借掛

北上野村十左衛門他三名拝借証文并片岡治郎返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金5両2分15年賦に付) 北上野村名主十左衛門・組頭吉左衛門・長百姓七左衛門他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「北上野村」、端裏朱書「取立」	文化8年未12月	縦継紙・1通	や70-2
北上野村十左衛門他三名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金15両25年賦に付) 北上野村名主十左衛門・組頭吉左衛門・長百姓七左衛門他1名→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「北上野村」、端裏朱書「取立」	文化8年未12月	縦継紙・1通	や70-3
北東條村重右衛門他七名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金24両余10年賦に付) 北東條村名主重右衛門・組頭治左衛門・長百姓丹藏他5名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「北東條村」	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や70-4
押鐘村吉左衛門他三名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金36両余26年賦に付) 押鐘村名主吉左衛門・組頭仁左衛門・長百姓孝藏他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「押鐘村」	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や70-5
押鐘村吉左衛門他三名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金25両余21年賦に付) 押鐘村名主吉左衛門・組頭仁左衛門・長百姓孝藏他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「押鐘村」	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や70-6
押鐘村吉左衛門他三名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金35両15年賦に付) 押鐘村名主吉左衛門・組頭仁左衛門・長百姓伊兵衛他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「押鐘村」	文化2年丑12月	縦継紙・1通	や70-7
押鐘村吉左衛門他三名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金29両余30年賦に付) 押鐘村名主吉左衛門・組頭五右衛門・長百姓孝藏他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「押鐘村」	寛政12年申8月	縦継紙・1通	や70-8
西和田村勝五郎他五名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金113両余30年賦に付) 西和田村名主勝五郎・組頭惣右衛門・長百姓七左衛門他3名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「西和田村」	文化元年子12月	縦継紙・1通	や70-9
西和田村幸七他四名拝借証文〔指上申拝借証文之御事〕(金56両余30年賦に付) 西和田村名主幸七・組頭新五郎・長百姓名左衛門他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「西和田村」	文化4年卯12月	縦継紙・1通	や70-10
西尾張部村三郎右衛門他六名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金52両余30年賦に付) 西尾張部村名主三郎右衛門・組頭文左衛門・長百姓義左衛門他4名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「西尾張部村」	文化2年丑12月	縦継紙・1通	や70-11
南俣村喜左衛門他四名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金123両余30年賦に付) 南俣村名主喜左衛門・組頭徳右衛門・長百姓磯右衛門他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「南俣村」	享和元年酉10月	縦継紙・1通	や70-12
南俣村喜左衛門他四名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金132両余30年賦に付) 南俣村名主喜左衛門・組頭徳右衛門・長百姓磯右衛門他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「南俣村」	享和元年酉10月	縦継紙・1通	や70-13
中御所村金左衛門他十名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金55両余30年賦に付) 中御所村岡田組名主金左衛門・組頭重右衛門・長百姓源左衛門他8名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「中御所村」	寛政12年申9月	縦継紙・1通	や70-14
中御所村金左衛門他十名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金63両余30年賦に付) 中御所村岡田組名主金左衛門・組頭重右衛門・長百姓源左衛門他8名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「中御所村」	寛政12年申9月	縦継紙・1通	や70-15
腰村傳右衛門他六名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金15両余8年賦に付) 腰村名主傳右衛門・組頭治郎右衛門・長百姓重右衛門他4名→御勘定所拝借御懸り御役所	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や70-16

端裏書「腰村」			
久保本村要右衛門他七名拝借証文并西村源藏返済証文[差上申拝借証文之御事](金26兩余30年賦に付) 久保本村名主要右衛門・組頭軍藏・同断佐左衛門他5名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「久保本村」	文化元年子12月	縦継紙・1通	や70-17
久保本村惣吉他七名拝借証文并高野数右衛門他一名返済証文[差上申拝借証文之御事](金206兩余30年賦に付) 久保本村名主惣吉・組頭徳右衛門・同断惣五郎他5名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「久保本村」	寛政11年末12月	縦継紙・1通	や70-18
久保本村惣吉他七名拝借証文并高野数右衛門他一名返済証文[差上申拝借証文之御事](金96兩余30年賦に付) 久保本村名主惣吉・組頭徳右衛門・同断惣五郎他5名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「久保本村」	寛政11年末12月	縦継紙・1通	や70-19
久保本村惣吉他七名拝借証文并高野数右衛門他一名返済証文[差上申拝借証文之御事](金51兩余30年賦に付) 久保本村名主惣吉・組頭徳右衛門・同断惣五郎他5名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「久保本村」	寛政11年末12月	縦継紙・1通	や70-20
小松原村彦右衛門他八名拝借証文并西村源藏返済証文[差上申拝借証文之御事](金190兩余30年賦に付) 小松原村名主彦右衛門・同断直右衛門・組頭曾右衛門他6名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「小松原村」	享和3年亥6月	縦継紙・1通	や70-21
久保本村要右衛門他七名拝借証文并西村源藏返済証文[差上申拝借証文之御事](金15兩20年賦に付) 久保本村名主要右衛門・組頭軍藏・同断佐左衛門他5名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「久保本村」	文化元年子12月	縦継紙・1通	や70-22
小松原村彦右衛門他八名拝借証文并西村源藏返済証文[差上申拝借証文之御事](金120兩余30年賦に付) 小松原村名主彦右衛門・同断直右衛門・組頭曾右衛門他6名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「小松原村」	享和3年亥6月	縦継紙・1通	や70-23
小松原村直右衛門他九名拝借証文[差上申拝借証文之御事](金195兩余15年賦に付) 小松原村仮名主直右衛門・組頭利左衛門・長百姓治郎右衛門他7名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「小松原村」、端裏朱書「取立」	文化5年辰12月	縦継紙・1通	や70-24
四ッ屋村重右衛門他四名拝借証文并西村源藏返済証文[指上申拝借証文之御事](金15兩5年賦に付) 四ッ屋村名主重右衛門・組頭喜左衛門・長百姓善五郎他2名→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「四ッ屋村」	文化2年丑12月	縦継紙・1通	や70-25
小松原村嘉兵衛他三名拝借証文[差上申拝借証文之御事](金5兩10年賦に付) 小松原村名主嘉兵衛・組頭久左衛門・長百姓惣五郎他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「小松原村」、端裏朱書「取立」	文化7年午12月	縦継紙・1通	や70-26
丹波嶋村八左衛門他九名拝借証文[差上申拝借証文之御事](金58兩10年賦に付) 丹波嶋村名主八左衛門・組頭多惣八・同断喜三郎他7名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「丹波嶋村」	文化5年辰12月	縦継紙・1通	や70-27
藤牧村長藏他三名拝借証文并西村源藏返済証文[差上申拝借証文之御事](金12兩余10年賦に付) 藤牧村名主長藏・組頭佐野右衛門・長百姓長右衛門他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「藤牧村」	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や70-28
下横田村惣左衛門他三名拝借証文并西村源藏返済証文[差上申拝借証文之御事](金2兩余9年賦に付) 下横田村御借主惣左衛門・同受合名主藤吉・同断組頭源藏他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「下横田村」	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や70-29
布施五明村之内瀬原田組与左衛門他五名拝借証文并西村源藏返済証文[差上申拝借証文之御事](金40兩余年賦に付) 布施五明村之内瀬原田組名主与左衛門・組頭幸治郎・頭立仁右衛門他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「瀬原田組」	文化4年卯9月	縦継紙・1通	や70-30
布施五明村之内瀬原田組市郎右衛門他五名拝借証文[差上申拝借証文之御事](金269兩余30年賦に付) 布施五明村之	享和3年亥12月	縦継紙・1通	や70-31

や 5 藩政／財政／勘定所／拝借掛・内借掛

内瀬原田組名主市郎右衛門・長百姓嘉右衛門・組頭松之丞他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「瀬原田組村」			
布施五明村之内瀬原田組市郎右衛門他五名拝借証文并西村源蔵返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金48両余25年賦に付) 布施五明村之内瀬原田組名主市郎右衛門・長百姓嘉右衛門・組頭松之丞他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「瀬原田組村」	享和3年亥12月	豎継紙・1通	や70-32
布施五明村之内瀬原田組市郎右衛門他五名拝借証文并西村源蔵返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金96両余25年賦に付) 布施五明村之内瀬原田組名主市郎右衛門・長百姓嘉右衛門・組頭松之丞他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「瀬原田組村」、破損あり	享和3年亥12月	豎継紙・1通	や70-33
石川村大蔵他二名拝借証文并西村源蔵返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金5両11年賦に付) 石川村借主大蔵・名主又四郎・長百姓半治郎→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「石川村」欠落力	享和2年戌12月	豎継紙・1通	や70-34
郡村嘉蔵他三名拝借証文并西村源蔵返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金11両余7年賦に付) 郡村名主嘉蔵・長百姓助三郎・頭立与惣右衛門他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「郡村」	文化元年子7月	豎継紙・1通	や70-35
八幡村善五左衛門他三名拝借証文并西村源蔵返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金6両7年賦に付) 八幡村名主善五左衛門・長百姓瀬兵衛・頭立久右衛門他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「八幡村」	文化元年子7月	豎継紙・1通	や70-36
上平村清吉他三名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金8両余15年賦に付) 上平村名主清吉・組頭治右衛門・長百姓佐五左衛門他1名→御勘定所拝借御懸御役所 端裏書「上平村」	文化7年午5月	豎継紙・1通	や70-37
上平村清三郎他三名拝借証文并西村源蔵返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金235両30年賦に付) 上平村名主清三郎・組頭庄右衛門・長百姓新八他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「上平村」	文化2年丑12月	豎継紙・1通	や70-38
上平村清三郎他四名拝借証文并西村源蔵返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金110両30年賦に付) 上平村名主清三郎・組頭庄右衛門・長百姓新八他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「上平村」	文化2年丑12月	豎継紙・1通	や70-39
上平村清三郎他四名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金291両余30年賦に付) 上平村名主清三郎・組頭治右衛門・長百姓新八他2名→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「上平村」、端裏朱書「式通之内取立」	文化5年辰12月	豎継紙・1通	や70-40
上平村清三郎他四名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金53両余30年賦に付) 上平村名主清三郎・組頭治右衛門・長百姓新八他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「上平村」、端裏朱書「式通之内取立」、破損あり	文化5年辰12月	豎継紙・1通	や70-41
小網山内新田村源兵衛他二名拝借証文并西村源蔵返済証文〔指上申拝借証文之御事〕(金10両10年賦に付) 小網山内新田村名主源兵衛・長百姓利七・惣代傳太郎→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「小網山内新田村」	享和2年戌2月	豎継紙・1通	や70-42
小網山内新田村源兵衛他二名拝借証文并西村源蔵返済証文〔指上申拝借証文之御事〕(金15両余12年賦に付) 小網山内新田村名主源兵衛・長百姓利七・惣代傳太郎→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「小網山内新田村」	享和2年戌2月	豎継紙・1通	や70-43
網掛村和助他三名拝借証文并西村源蔵返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金19両余27年賦に付) 網掛村名主和助・組頭三郎右衛門・長百姓磯右衛門他1名→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「網掛村」	享和2年戌2月	豎継紙・1通	や70-44
網掛村和助他三名拝借証文并西村源蔵返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金56両12年賦に付) 網掛村名主和助・組頭三郎右衛門・長百姓磯右衛門他1名→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書	享和2年戌2月	豎継紙・1通	や70-45

「網掛村」			
生萱村吟右衛門他五名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金84両余26年賦に付) 生萱村名主吟右衛門・組頭七左衛門・長百姓権左衛門他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「生萱村」	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や70-46
生萱村吟右衛門他五名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金59両余26年賦に付) 生萱村名主吟右衛門・組頭七左衛門・長百姓権左衛門他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「生萱村」	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や70-47
網掛村和助他三名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金19両余27年賦に付) 網掛村名主和助・組頭三郎右衛門・長百姓磯右衛門他1名→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「網掛村」	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や70-48
平林村重蔵他六名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金25両15年賦に付) 平林村名主重蔵・組頭徳右衛門・長百姓勇治他6名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「平林村」	文化2年丑12月	縦継紙・1通	や70-49
平林村源左衛門他八名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金54両30年賦に付) 平林村名主源左衛門・組頭友左衛門・長百姓宇左衛門他6名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「平林村」、端裏朱書「取立」	文化8年未12月	縦継紙・1通	や70-50
東条村南組久左衛門他三名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金1両余3年賦に付) 東条村南組名主久左衛門・組頭兵右衛門・長百姓岸右衛門他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「東条村南組」、端裏朱書「取立」	文化7年午4月	縦継紙・1通	や70-51
平林村三郎左衛門他三名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金2両8年賦に付) 平林村名主三郎左衛門・組頭藤吾・長百姓久三郎他1名→御勘定所拝借御懸御役所 端裏書「平林村」	文化元年子10月	縦継紙・1通	や70-52
東条村南組源左衛門他四名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金196両余30年賦に付) 東条村南組名主源左衛門・組頭元治郎・長百姓治左衛門他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「東条村南組」	文化2年丑12月	縦継紙・1通	や70-53
平林村万五郎他三名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金5両5年賦に付) 平林村名主万五郎・組頭惣左衛門・長百姓宇左衛門他1名→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「平林村」、端裏朱書「取立」	文化7年午12月	縦継紙・1通	や70-54
平林村万五郎他四名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金79両余30年賦に付) 平林村名主万五郎・組頭要左衛門・長百姓伊惣太他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「平林村」、端裏朱書「取立」	文化5年辰12月	縦継紙・1通	や70-55
平林村重蔵他六名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金33両余15年賦に付) 平林村名主重蔵・組頭徳右衛門・長百姓勇治他4名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「平林村」	文化2年丑12月	縦継紙・1通	や70-56
平林村伊宗太他四名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金10両余11年賦に付) 平林村名主伊宗太・組頭惣左衛門・長百姓万太郎他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「平林村」	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や70-57
東条村北組巖右衛門他十三名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金74両余30年賦に付) 東条村名主巖右衛門・組頭与左衛門・長百姓佐市他11名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「東条村北組」	文化2年丑12月	縦継紙・1通	や70-58
東条村北組巖右衛門他十三名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金128両余30年賦に付) 東条村名主巖右衛門・組頭与左衛門・長百姓佐市他11名→(御勘定所拝借御掛り御役所カ) 端裏書「東条村北組」、後欠	文化2年丑12月	縦継紙・1通	や70-59
東条村北組茂平太他三名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕	文化5年辰4月	縦継紙・1通	や70-60

や 5 藩政／財政／勘定所／拝借掛・内借掛

(金3分3年賦に付) 東条村北組名主茂平太・組頭七左衛門・長百姓彦左衛門他1名→御勘定所拝借御懸御役所 端裏書「東条村北組」			
上八町村忠右衛門他八名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金21両余8年賦に付) 上八町村名主忠右衛門・組頭沖右衛門・長百姓徳右衛門他6名→御勘定所拝借御懸御役所 端裏書「上八町村」	享和2年戊2月	縦継紙・1通	や70-61
上八町村忠右衛門他八名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金30両余8年賦に付) 上八町村名主忠右衛門・組頭沖右衛門・長百姓徳右衛門他6名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「上八町村」	享和2年戊2月	縦継紙・1通	や70-62
下八町村源左衛門他四名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金15両余8年賦に付) 下八町村名主源左衛門・組頭重左衛門・長百姓源右衛門他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「下八町村」	享和2年戊2月	縦継紙・1通	や70-63
下八町村源左衛門他四名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金10両余8年賦に付) 下八町村名主源左衛門・組頭重左衛門・長百姓源右衛門他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「下八町村」	享和2年戊2月	縦継紙・1通	や70-64
上八町村源六他五名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金150両30年賦に付) 上八町村名主源六・組頭仲右衛門・長百姓新左衛門他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「上八町村」	文化7年午5月	縦継紙・1通	や70-65
沓野村助治郎他四名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金19両余9年賦に付) 沓野村名主助治郎・組頭市兵衛・長百姓栄八他2名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「沓野村」	享和2年戊2月	縦継紙・1通	や70-66
湯田中村磯右衛門他五名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金62両5年賦に付) 湯田中村名主磯右衛門・組頭義右衛門・長百姓谷右衛門他3名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「湯田中村」	文化元年子11月	縦継紙・1通	や70-67
小沼村武右衛門他四名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金5両5年賦に付) 小沼村名主武右衛門・組頭八郎右衛門・長百姓市左衛門他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「小沼村」	文化2年丑2月	縦継紙・1通	や70-68
小布施村儀右衛門他三名拝借証文并西村源藏返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金10両10年賦に付) 小布施村名主儀右衛門・組頭小兵衛・長百姓吉左衛門他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「小布施村」	寛政12年申12月	縦継紙・1通	や70-69
小沼村惣七他三名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金5両余5年賦に付) 小沼村名主惣七・組頭市左衛門・長百姓半左衛門他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「小沼村」	文化5年辰4月	縦継紙・1通	や70-70
北上野村七左衛門他三名拝借証文〔指上申拝借証文之御事〕(金46両余15年賦に付) 北上野村名主七左衛門・組頭銀蔵・長百姓吉九郎他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「北上野村」〔返證文〕端裏朱書「取立懸り」	文化6年巳12月	縦継紙・1通	や70-71
伊勢町甚五兵衛他三名拝借証文〔差上申拝借証文之事〕(居屋敷引当にて金47両余26年賦借替証文に付) 伊勢町借り主甚五兵衛・五人組栄左衛門・太左衛門他1名／(奥書)伊勢町名主助右衛門→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「伊勢町甚五兵衛」辰元金書上付	寛政12年申9月	縦継紙・1通	や82
広瀬村小右衛門他三名拝借証文并西村源藏拝借金返済残金勘定付紙〔差上申拝借証文之御事〕(借主持地引当にて金44両余8年賦借替証文替に付) 広瀬村上組名主小右衛門・組頭伝蔵・長百姓善兵衛他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「広瀬村上組」	享和2年戊2月	縦継紙・1通	や135
三輪村彦市他十二名拝借証文并高橋権左衛門拝借金返済残金勘定付紙〔差上申拝借証文之御事〕(借主持地引当にて拝借金残金44両余8年賦借替証文替に付) 三輪村名主彦市・組頭与惣治・長百姓清之丞他10名→御勘定所拝借御懸り御役所	享和2年戊2月	縦継紙・1通	や136

広瀬村小右衛門他三名拝借証文[指上申拝借証文之御事] (借主持地引当にて拝借金残金19両余7年賦借替証文替に付) 広瀬村上組名主小右衛門・組頭伝蔵・長百姓善兵衛他1名→御勘定所拝借御懸り御役所 端裏書「広瀬村上組」	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や137
伊勢町伊左衛門拝借証文[差上申拝借証文之御事](拝借金上納仕兼のため御郡役粉5俵引当にて金4両余8年賦借用に付) 伊勢町御肴屋伊左衛門／(奥書)宮下左伝治・桜井文太・間庭一郎左衛門→御勘定所拝借御掛御役所 端裏書「御肴や[]」	文化13年子3月	縦継紙・1通	や84
五明村多五右衛門他七名[[]]拝借証文[[]](借主持地入上粉20俵引当にて拝借金20両余年中1割5分にて借用に付) 五明村御借主多五右衛門・網掛村御借主弥治兵衛・五明村名主吉左衛門他5名→御勘定所拝借御掛り御役所	文化14年丑11月	縦継紙・1通	や129
五明村吉左衛門他五名拝借証文[[]]拝借証文之御事(借主持地入上粉20俵引当にて拝借金20両余年中1割2分にて借用に付) 五明村御借主名主吉左衛門・組頭義右衛門・長百姓友吉他3名→御勘定所拝借御掛り御役所	文化14年丑11月	縦継紙・1通	や130
上五明村吉左衛門他二名拝借証文[[]]申拝借証文之御事(借主持地入上粉25俵引当にて拝借金25両余年中1割5分にて借用に付) 上五明村御借主名主吉左衛門・組頭磯右衛門・長百姓友吉→[]所御掛り御役所	文化14年丑11月	縦継紙・1通	や131
五明村吉左衛門他二名拝借証文[[]]拝借証文[[]](借主持地入上粉15俵引当にて拝借金15両余年中1割5分にて借用に付) 五明村御借主名主吉左衛門・組頭磯右衛門・長百姓友吉→御勘定所拝借御掛り御役所	文化14年丑11月	縦継紙・1通	や132
上五明村吉左衛門他五名拝借証文[[]]申拝借証文之御事(借主持地入上粉40俵引当にて拝借金40両余年中1割5分にて借用に付) 上五明村御借主名主吉左衛門・組頭磯右衛門・長百姓友吉他3名→御勘定所拝借御掛り御役所	文化14年丑11月	縦継紙・1通	や133
網掛村弥次兵衛他三名拝借証文[[]]拝借証[[]](借主持地入上粉30俵引当にて拝借金40両余年中1割にて借用に付) 網掛村御借主弥次兵衛・同村名主良右衛門・組頭十蔵他1名→御勘定所拝借御掛り御役所	文化14年丑11月	縦継紙・1通	や134
上山田村重兵衛他三名金銭内借証文[指上申内借証文之御事](当村分地向河原荒所開発のため借主持地引当にて金8両内借に付) 上山田村御借主重兵衛・開発惣代吉兵衛・名主清左衛門他1名→御勘定所御内借御懸り御役所 端裏書「卯 上山田村」	文政元年寅12月	縦継紙・1通	や138
上山田村清左衛門他五名拝借証文[指上申拝借証文之御事](借主持地入粉20俵引当にて金20両年中1割5分にて借用に付) 上山田村大組名主当組濱庄蔵村方引請人之御借主清左衛門・長百姓同断茂兵衛・長百姓同断五郎兵衛他3名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「上山田村」	文政元年寅11月	縦紙・1通	や139
(伊折村拝借証文綴 文政2年12月～3年正月) や50～69は巻込一括		紙綴綴・3点	や50
伊折村市右衛門他四名拝借証文并中嶋宇吉返済金受取証文[御借用金証文之御事](金7両余20年賦借用に付) 伊折村借主市右衛門・名主六郎右衛門・組頭市右衛門・吉兵衛・長百姓惣左衛門→古石十右衛門様 端裏書「伊折村市右衛門」	文政2年卯12月	縦継紙・1通	や50-1
伊折村惣左衛門他四名拝借証文并中嶋宇吉返済金受取証文[差上申拝借証文之御事](金24両29年賦借用に付) 伊折村御借り主惣左衛門・名主六郎右衛門・組頭市右衛門他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「伊折村惣左衛門」	文政3年辰正月	縦継紙・1通	や50-2
伊折村惣左衛門他四名拝借証文并中嶋宇吉返済金受取証文[差上申拝借証文之御事](金4両余19年賦借用に付) 伊折村御借り主惣左衛門・名主六郎右衛門・組頭市右衛門他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「伊折村惣左衛門」	文政3年辰正月	縦継紙・1通	や50-3
三人申上書(下越村拝借金上納滞り取立方評議並びに弁金御手当等に付) や50～69は巻込一括、朱筆加筆	12月	横長半・1冊	や51

や 5 藩政／財政／勘定所／拝借掛・内借掛

里穂苅村七左衛門他四名拝借証文并西村源蔵返済金受取証文〔差上申拝借証文之御事〕(金102両余30年賦借用に付) 里穂苅村名主七左衛門・組頭栄蔵・長百姓林右衛門他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、端裏書「里穂苅村」	文化4年卯9月	縦継紙・1通	や52
里穂苅村利右衛門他五名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金4両余20年賦借用に付) 里穂苅村名主利右衛門・組頭清左衛門・長百姓七左衛門他3名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括	文化7年午12月	縦継紙・1通	や53
鬼無里村伴左衛門他三十五名拝借証文(拝借金返済年賦切替に付) 鬼無里村名主伴左衛門・組頭市左衛門・長百姓長八他33名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、前欠	文化7年午10月	縦継紙・1通	や54
鬼無里村伴左衛門他三十五名拝借証文(拝借金返済30年賦切替に付) 鬼無里村上組名主伴左衛門・組頭市左衛門・長百姓長八他33名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、前欠	文化7年午10月	縦継紙・1通	や55
某村頭立喜宗治他七名拝借証文(前欠のため内容不明) 頭立喜宗治・利右衛門・五左衛門他5名→(御)勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、前欠	2月	縦継紙・1通	や56
中牧村藤左衛門他六名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金79両余25年賦借用に付) 中牧村名主藤左衛門・組頭善治郎・長百姓三郎治他4名→〔 〕御掛り〔 〕所 や50～69は巻込一括、端裏書「中牧村」	文化元年子8月	縦継紙・1通	や57
中牧村藤左衛門他六名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金90両余25年賦借用に付) 中牧村名主藤左衛門・組頭善治郎・長百姓三郎治他4名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、端裏書「中牧村」	文化元年子8月	縦継紙・1通	や58
中御所村金左衛門他九名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金89両余30年賦借用に付) 中御所村岡田組名主金左衛門・組頭重右衛門・長百姓源左衛門他7名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、端裏書「中御所村」	文化6年巳10月	縦継紙・1通	や59
生萱村権左衛門他四名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金47両余25年賦借用に付) 生萱村名主権左衛門・組頭喜惣太・長百姓常右衛門他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、端裏書「生萱村」	文化10年酉12月	縦継紙・1通	や60
坪根村仁右衛門他四名拝借証文〔差上申拝借証文之御事〕(金11両15年賦借用に付) 坪根村名主仁右衛門・組頭利兵衛・長百姓平左衛門他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、端裏書「坪根村」朱筆「取立懸」	文化12年亥11月	縦継紙・1通	や61
牧田中村忠兵衛他二名拝借証文〔指上申証文之御事〕(金243両余7年賦借用に付) 牧田中村名主忠兵衛・組頭兵右衛門・長百姓平八→麻場孝蔵様・菊地伊惣治様 や50～69は巻込一括、端裏書「牧田中村 廿一」	天明2年寅3月	縦継紙・1通	や62
五十平村六三郎他二名拝借証文〔指上申証文之御事〕(金56両余7年賦借用に付) 五十平村名主六三郎・組頭嘉兵衛・長百姓与市→麻場孝蔵様・菊地伊惣治様 や50～69は巻込一括	天明元年丑12月	縦継紙・1通	や63
鬼無里村伝之丞他五名拝借証文并西村源蔵拝借金返済証文〔指上申拝借証文之御事〕(金13両余5年賦に付) 鬼無里村名主伝之丞・佐左衛門・組頭兵左衛門他3名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、破損、端裏書「鬼無里村」	享和3年亥12月	縦継紙・1通	や64
鬼無里村勘左衛門他四名拝借証文并西村源蔵拝借金返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金11両余5年賦に付) 鬼無里村元組御借主名主勘左衛門・組頭卯右衛門・長百姓左治右衛門他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、破損、端裏書「鬼無里村」	文化元年子11月	縦継紙・1通	や65
鬼無里村半右衛門他五名拝借証文并西村源蔵拝借金返済証文〔差上申拝借証文之御事〕(金55両10年賦に付) 鬼無里村上組名主半右衛門・組頭伴左衛門・長百姓市野右衛門他3名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、破損、端裏書「鬼無里村」	文化3年寅12月	縦継紙・1通	や66
橋詰村奥右衛門他十一名拝借証文并西村源蔵拝借金返済証	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や67

文[指上申拝借証文之御事](金31両余9年賦に付) 橋詰村上組主奥右衛門・組頭武左衛門・長百姓伝五郎他9名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、端裏書「橋詰村」			
鬼無里村元右衛門他七十一名拝借証文并西村源藏拝借金返済証文[差上申拝借証文之御事](金327両余20年賦に付) 鬼無里村名主元右衛門・治郎右衛門・組頭市兵衛他69名→御勘定所拝借御懸り御役所 や50～69は巻込一括、破損、端裏書「鬼無里村」	享和2年戌2月	縦継紙・1通	や68
里穂苅村七左衛門他四名拝借証文并西村源藏拝借金返済証文[差上申拝借証文之御事](金139両余30年賦に付) 里穂苅村名主七左衛門・組頭栄蔵・長百姓林右衛門他2名→御勘定所拝借御掛り御役所 や50～69は巻込一括、端裏書「里穂苅村」	文化4年卯9月	縦継紙・1通	や69
三輪村長左衛門他三名拝借証文[差上申拝借証文之御事](借主持地入上粉27俵引当にて金27両年中1割5分にて借用に付) 三輪村御借主長左衛門・名主友三郎・組頭清之丞他1名→御勘定所拝借御懸御役所	文政2年卯11月	縦継紙・1通	や141
下高田村吉兵衛他四名内借証文[差上申拝借証文之御事](当村潰欠落多極難済のため借主持地引当にて金45両20年賦に付) 下高田村名主吉兵衛・組頭専六・長百姓常右衛門他2名／(奥印)師田幾五郎→御勘定所御内借御懸御役所 端裏書「卯 下高田村」	文政2年卯5月	縦継紙・1通	や142
小網山田新田村銀右衛門他二名拝借証文并片桐重之助拝借金返済残金勘定付紙[差上申拝借証文之御事](新田開発者共収納並び開発入料等貸付利分返済不納のため私持地引当にて金60両20年賦に付) 小網山田新田村銀右衛門・名主孫兵衛・長百姓幸左衛門→御勘定所御元メ御役所 端裏書「小網新田村銀右衛門」	文政2年卯12月	縦継紙・1通	や143
椿峯村新兵衛他四名金銭内借証文并半田藤作内借金返済残金勘定付紙[指上申御内借年賦証文之御事](金50両15年賦に付) 椿峯村御借り主新兵衛・名主新兵衛・組頭庄左衛門他2名→御勘定所御内借御掛り御役所 端裏書「椿峯村」	文政2年卯12月	縦継紙・1通	や25
鬼無里村金左衛門他三名拝借証文[差上申拝借証文之御事](地代金引当にて金5両年中1割5分にて借用に付) 鬼無里村東京組御借主金左衛門・名主源十郎・組頭市左衛門他1名→御勘定所拝借御掛り御役所 端裏書「鬼無里村東京組」	文政3年辰正月	縦継紙・1通	や140
(力石村五左衛門内借金証文并返済金上納関係書類綴 文政8年12月～弘化2年9月) や7・8は巻込一括		紙綴綴・3点	や7
宮沢善治他三名金銭受取証文[覚](御内借礼金滞納分金60両余に付) 宮沢善治・入久左衛門・池田良右衛門他1名→力石村五左衛門	弘化2年巳9月	横半半・1冊	や7-1
力石村五左衛門他三名内借証文并返済滞納金勘定付紙[差上申御内借金証文之御事](金6両15年賦内借に付) 力石村御借主五左衛門・名主宇右衛門・組頭長右衛門他1名→御勘定所御内借御掛御役所	天保11年子正月	縦継紙・1通	や7-2
力石村五左衛門他三名内借証文并返済残金勘定付紙[差上申御内借金証文之御事](先年荒所開発入料多分にて村方困窮のため金20両20年賦に付) 力石村御借主五左衛門・名主丹右衛門・組頭源左衛門他1名→御内借掛御役所	文政8年酉12月	縦継紙・1通	や7-3
力石村五左衛門他三名内借証文[差上申御内借金証文之事](金18両1年賦に付) 力石村御借主五左衛門・名主佐左衛門・組頭才助他1名→御勘定所御内借御掛り御役所 や7・8は巻込一括	天保8年酉12月	縦継紙・1通	や8
力石村五左衛門他四名内借証文并勘定役片桐重之助返済滞納金勘定付紙[差上申御内借金証文之事](金20両1年賦に付) 力石村御借主五左衛門・同和吉・名主才右衛門他2名→御勘定所御内借御掛御役所	文政10年亥4月	縦継紙・1通	や10
(内借金上納日延願書類綴 文政13年正月～10月)		紙綴綴・12点	や78
上宮野尾村重右衛門他二名借用金証文[御借用金証文之御事](借主当人家出のため借用金12両上納に付) 上宮野尾村御借主名主重右衛門・組頭同断源助・長百姓忠兵衛→御勘定所御内	文政13年寅3月	堅紙・1通	や78-1

や 5 藩政／財政／勘定所／拝借掛・内借掛

借御役所			
鬼無里村上組名主銀右衛門他二名日延願書〔乍恐以書付御日延奉願候〕(内借金割合上納に付) 鬼無里村上組名主銀右衛門・組頭文左衛門・長百姓吉右衛門→御勘定所御内借御掛り御役所	文政13年寅6月	豎紙・1通	や78-2
地京原村作右衛門他二名日延願書〔差上申御日延書一札之事〕(内借割合年賦金上納日延に付) 地京原村名主作右衛門・組頭伝左衛門・長百姓源右衛門→御内借御役所	文政13年寅6月	豎紙・1通	や78-3
南長池村久右衛門日延願書〔乍恐御日延奉願候御(事)〕(内借金皆済日延に付) 南長池村名主久右衛門→御内借御役所	文政13年寅6月	豎紙・1通	や78-4
北高田村茂右衛門他二名日延願書〔乍恐以口上書御日延奉願候御事〕(内借金返済日延に付) 北高田村名主茂右衛門・組頭甚左衛門・長百姓善右衛門→御内借御役所 端裏書「湯田中村」	文政13年寅正月22日	豎紙・1通	や78-5
新町村彦右衛門他四名願書〔乍恐以書付御日延奉願上候〕(内借金上納日延に付) 新町村名主彦右衛門・組頭佐助・藤右衛門他2名→御内借掛り御役所 端裏書「新町村」	文政13年寅正月	豎紙・1通	や78-6
南長池村利右衛門日延願書〔乍恐以書付奉願上候〕(内借金上納日延に付) 南長池村名主名代利右衛門→御内借御奉行所	文政13年寅10月23日	豎紙・1通	や78-7
北京原村作右衛門他二名日延願書〔差上申御日延一札之事〕(拝借金上納日延に付) 北京原村名主作右衛門・組頭伝左衛門・長百姓源右衛門→御拝借掛り御役所	文政13年寅10月	豎紙・1通	や78-8
南長池村久右衛門他二名日延願書〔乍恐以書付奉願上候〕(内借金上納日延に付) 南長池村名主久右衛門・組頭莊兵衛・長百姓林平→御内借御懸り御役所	文政13年寅10月29日	豎紙・1通	や78-9
志川村作左衛門他二名日延願書〔乍恐以書付奉願候〕(内借金上納日延に付) 志川村名主作左衛門・組頭民之助・長百姓清七→御内借御役所	文政13年寅10月27日	豎紙・1通	や78-10
湯田中村伴七他二名願書〔乍恐以書付奉願上候御事〕(上様より内借のところ不如意に付礼金滞りお縋り願) 湯田中村御借主伴七・弥曾八・組頭伊左衛門／(奥印)田町梅翁院→御内借御役所→松代田町梅翁院様 端裏書「湯田中村願書梅翁院より出分」	文政10年亥2月20日	豎継紙・1通	や78-11
湯田中村喜代治日延願書〔乍恐以書付御日延奉願候〕(拝借上納日延に付) 湯田中村伴七煩ニ付代喜代治→御拝借御役所	文政13年寅10月26日	豎紙・1通	や78-12
(力石村五左衛門内借金証文綴 天保3年正月～弘化2年9月)		紙縫一括・5点	や6
力石村五左衛門他三名内借証文并勘定役片桐重之助返済金受取証文〔差上申拝借証文之事〕(金30両15年賦に付) 力石村御借主五左衛門・山田村請人八郎左衛門・名主六兵衛他1名→御勘定所御内借御掛御役所	天保3年辰正月	豎継紙・1通	や6-1
力石村五左衛門他三名内借証文并勘定役片桐重之助返済金受取証文〔差上申御内借金証文之御事〕(金4両15年賦に付) 力石村御借主五左衛門・名主宇右衛門・組頭長右衛門他1名→御勘定所御内借御掛御役所	天保11年子正月	豎継紙・1通	や6-2
力石村五左衛門他三名内借証文并勘定役片桐重之助返済金受取証文〔差上申御内借金証文之御事〕(金11両余15年賦内借に付) 力石村御借主五左衛門・名主宇右衛門・組頭長右衛門他1名→御勘定所御内借御掛御役所	天保11年子12月	豎継紙・1通	や6-3
力石村五左衛門他三名内借証文〔差上申御内借金証文之御事〕(金19両余15年賦に付) 力石村御借主五左衛門・名主宇右衛門・組頭長右衛門他1名→御勘定所御内借御掛御役所	天保11年子正月	豎継紙・1通	や6-4
宮沢善治他三名金銭受取証文〔覚〕(御内借礼金滞納分金14両余に付) 宮沢善治・入久左衛門・池田良右衛門他1名→力石村五左衛門 割印あり	弘化2年巳9月	横切継紙・1通	や6-5
力石村五左衛門他三名内借証文〔差上申御内借金証文之事〕(金4両1年賦に付) 力石村御借主五左衛門・名主長右衛門・組頭九左衛門他1名→御勘定所御内借御掛り御役所	天保6年未12月	豎継紙・1通	や9

(坪根村・大田和村内借金返済滞納関係書類一括)		掛紙一括・7点	や75
[認取を以奉願候](包紙) (青山)磯治→・		包紙・1点	や75-1
春山磯治願書[以認取奉願候](坪根村・大田和村口合金返済滞納金約定通り返済の旨御糺願に付) 春山磯治→・	6月	横長半・1冊	や75-2
鵜七申上書[乍恐以書付奉申上候](長百姓銀右衛門より組頭鵜七へ交代勤めに付) 大岡和平組組頭鵜七→御勘定所御元々御役所	6月25日	切紙・1通	や75-3
(坪根村村役人名面書)		切紙・1通	や75-4
助左衛門願書[御日延一札之事](運重郎内借金返済日延に付) 大岡和平組組頭助左衛門印→春山磯治様 端裏書[大岡和平組日延書]	天保10年亥2月22日	堅紙・1通	や75-5
(坪根村内借金返済日延書写綴)		紙縫綴・2点	や75-6
坪根村仁左衛門他二名願書[差上申御日延書之事](内借金残金・滞納金返済日延に付) 坪根村名主仁左衛門印・組頭吉右衛門印・長百姓長五郎印→春山磯治様	天保10年亥12月18日	堅継紙・1通	や75-6-1
坪根村仁左衛門他三名申上書[御内借証文之事](内借金利分返済滞りのため金16両余返上に付) 坪根村名主仁左衛門印・組頭吉右衛門印・長百姓長五郎印→春山磯治様 青山磯治の下ヶ札付、端裏書[坪根村日延書写]	天保10年亥12月	堅紙・1通	や75-6-2
力石村五左衛門他三名金銭内借証文并勘定役片桐重之助返済金受取証文[差上申御内借金証文之御事](金20両15年賦に付) 力石村御借主五左衛門・名主宇右衛門・組頭長右衛門他1名→御勘定所御内借御掛御役所 や3・4は巻込一括	天保11年子正月	堅継紙・1通	や3
力石村五左衛門他三名金銭内借証文并に勘定役片桐重之助返済金受取証文[差上申御内借金証文之御事](金18両15年賦に付) 力石村御借主五左衛門・名主宇右衛門・組頭長右衛門他1名→御勘定所御内借御掛御役所 や3・4は巻込一括	天保11年子正月	堅継紙・1通	や4

6 藩政／財政／勘定所／御救米掛

(拝借米上納日延願書綴 天保5年12月)		紙縫綴・19点	や37
栃原村平左衛門他二名願書[乍恐以書付奉願候](拝借米7俵上納日延に付) 栃原村平組名主平左衛門・組頭辰右衛門・長百姓善十郎→御救方御役所	天保5年午12月	堅紙・1通	や37-1
上租山村忠左衛門他二名願書[乍恐以書付奉願候](拝借米5俵上納日延に付) 上租山村名主忠左衛門・組頭嘉兵衛・長百姓喜平治→御救方御役所	天保5年午12月	堅紙・1通	や37-2
福嶋村太郎兵衛他四名願書[乍恐以口上書奉願候](拝借米上納日延に付) 福嶋村名主太郎兵衛・組頭仁右衛門・市郎治他2名→御救米掛り御役所	天保5年午12月	堅紙・1通	や37-3
日影村名主弥惣治他三名願書[乍恐以口上書奉願候](拝借米上納日延に付) 日影村名主弥惣治・組頭伝左衛門・仁右衛門他1名→御救米掛り御役所	天保5年午12月	堅紙・1通	や37-4
町川田村宇左衛門他二名願書[乍恐以口上書奉願上候](拝借米上納日延に付) 町川田村名主宇左衛門・組頭彦治・長百姓彦右衛門→御救米御懸り御役所	天保5年午12月	堅紙・1通	や37-5
二ツ柳村治五右衛門他三名願書[乍恐以書付奉願上候](拝借米上納日延に付) 二ツ柳村名主治五右衛門・組頭儀左衛門・弥左衛門・長百姓吉五郎→御救米御懸り様	天保5年午12月	堅紙・1通	や37-6
下租山村市兵衛他二名願書[乍恐以書付奉願候](拝借米15俵上納日延に付) 下租山村名主市兵衛・組頭久左衛門・長百姓恒五郎→御救米御懸衆中様	天保5年午12月	堅紙・1通	や37-7

や 6 藩政／財政／勘定所／御救米掛 7 藩政／財政／勘定所／借入・用達

志垣村市兵衛他二名願書[乍恐以書付奉願候](拝借米上納日延に付) 志垣村名主市兵衛・組頭友右衛門・長百姓奥右衛門→御救米御懸衆中様	天保5年午12月	豎紙・1通	や37-8
本鹿谷村伊兵衛他二名願書[乍恐以書付奉願候](拝借米上納日延に付) 本鹿谷村名主伊兵衛・組頭茂右衛門・長百姓金右衛門→御勘定所御扱方御懸り衆中様	天保5年午12月	豎紙・1通	や37-9
瀬戸川村伝右衛門他二名願書[乍恐以書付奉願候](借主人別違作のため拝借米上納日延に付) 瀬戸川村馬丑組名主伝右衛門・組頭喜兵衛・長百姓重次郎→春日儀左衛門様・野中八兵衛様・水井忠蔵様	天保5年午12月	豎継紙・1通	や37-10
大田原村徳左衛門他二名願書[乍恐以書付奉願候](拝借米10俵上納日延に付) 大田原村名主徳左衛門・組頭吉郎治・長百姓吉兵衛→御勘定所御役所	天保5年午12月	豎紙・1通	や37-11
小聖新田村要左衛門他二名願書[乍恐以書付奉願候](拝借米10俵上納日延に付) 小聖新田村名主要左衛門・組頭市郎太・長百姓三左衛門→御勘定所御役所	天保5年午12月	豎紙・1通	や37-12
丹波嶋村市郎左衛門願書[乍恐以書付奉願候](拝借米50俵上納日延に付) 丹波嶋村問屋市郎左衛門→水井忠蔵様・春日儀左衛門様・野中八兵衛様	天保5年午12月	豎紙・1通	や37-13
外鹿谷村五郎右衛門他二名願書[乍恐以書付奉願候](拝借米上納日延に付) 外鹿谷村名主五郎右衛門・組頭藤七・長百姓富蔵→水井忠蔵様・春日儀左衛門様・野中八兵衛様	天保5年午12月	豎紙・1通	や37-14
軽井沢村伊左衛門他二名願書[乍恐以書付奉願候](拝借米上納日延に付) 軽井沢村名主伊左衛門・組頭政右衛門・長百姓要吉→御勘定所	天保5年午12月	豎紙・1通	や37-15
梅木村左重郎他二名願書[乍恐以書付奉願候](拝借米上納日延に付) 梅木村名主左重郎・組頭利七・長百姓久左衛門→御勘定所	天保5年午12月	豎紙・1通	や37-16
和佐屋村五郎右衛門他三名願書[乍恐以口上書御日延奉願候御事](拝借米25俵に付) 和佐屋村名主五郎右衛門・組頭和左衛門・長百姓勘五郎他1名→御救方御役所	天保5年午12月	豎紙・1通	や37-17
追懸村儀兵衛他二名願書[乍恐以書付奉願上候御事](拝借米15俵上納日延に付) 追懸村名主儀兵衛・組頭伴右衛門・長百姓市左衛門→御救御懸り御役所	天保5年午12月	豎紙・1通	や37-18
稻積村伴右衛門他三ヶ村十一名願書[乍恐以書付奉願上候](拝借米50俵上納日延に付) 稻積村問屋伴右衛門他3名・北徳間村問屋九郎兵衛他3名・北東条村問屋祐八他3名→御救方御役所	天保5年午12月	豎継紙・1通	や37-19

7 藩政／財政／勘定所／借入・用達

(江戸麻布新町大和屋伊兵衛拝借金証文綴 安永8年3月～天明2年12月)		包紙一括・6点	や79
[江戸麻布新町大和屋伊兵衛拝借証文五通](包紙)	安永8年	包紙・1点	や79-1
(江戸麻布新町大和屋伊兵衛拝借金証文綴)		紙綴綴・5点	や79-2
大和屋伊兵衛他一名拝借金証文[覚](藤田左仲を通じての借入金50両を10年賦にて返上の旨) 大和屋伊兵衛・伊三郎／(奥印)齊藤善蔵→三井九郎左衛門殿・赤沢内蔵進殿／(奥印)小川多次／(裏書)望月作次左衛門／(裏書)高田助左衛門・興津政野右衛門→齊藤善蔵様	安永8年亥3月	豎継紙・1通	や79-2-1
麻布新町大和屋伊兵衛内借金証文[覚](私妻松代表へ参上用意難渋のため金5両に付) 麻布新町大和屋伊兵衛／(奥印)田中理右衛門／(奥印)金井藤助／(裏書)忍田新六→田中理右衛門	天明2年寅12月	豎継紙・1通	や79-2-2
麻布新町大和屋伊兵衛他一名内借金証文[差上申一札之事]	天明元年丑10月2日	豎継紙・1通	や79-2-3

(要用のため金5両に付) 借主麻布新町大和屋伊兵衛・請人伊三郎／(奥印)望月九郎右衛門／(裏書)鎌原司馬→石倉藤右衛門様			
麻布新町大和屋伊兵衛内借金証文[覚](私妻松代表へ参上用意難渋のため金5両に付) 麻布新町大和屋伊兵衛／(奥印)桜井吉左衛門／(奥印)望月九郎右衛門→桜井吉左衛門様	安永10年丑3月	縦継紙・1通	や79-2-4
大和屋伊兵衛拝借金証文并三井九郎左衛門他一名拝借金残金勘定書[御借申金子之事](切米引当にて金5両に付) 大和屋伊兵衛・三井九郎左衛門・赤沢内蔵進／(奥印)堀内彦大夫／(裏書)鎌原司馬・望月治部左衛門・恩田新六他1名→片岡平蔵殿	安永6年酉12月	縦継紙・1通	や79-2-5

8 藩政／財政／奥向賄

近藤惣右衛門他二名金銭上納証文[覚](山中紙漉楮本拝借年賦金利金共172両余上納に付) 近藤惣右衛門・杉山儀右衛門・湯本源助／(奥印)大嶋太右衛門・緑川惣太夫→岡嶋弥平治殿・馬場与惣右衛門殿・木内清内殿 端裏書「宝永三年 山中紙すき拝借返上」	宝永3年戌12月29日	縦紙・1通	や13
近藤惣右衛門他二名金銭上納証文[覚](紙漉共楮本拝借年賦金利金共158両余上納皆済に付) 近藤惣右衛門・杉山儀右衛門・湯本源助／(奥印)原半兵衛・片岡渡左衛門→馬場与惣右衛門殿・竹内勘右衛門殿 端裏書「宝永四年 紙漉共より年賦金上納預文」	宝永4年亥12月29日	縦紙・1通	や12

9 藩政／財政／神社郡政局・民事掛／伺書

(福島村拝借金伺書一括 明治2年)		紙縫束・3点	や1
(紙縫)		紙縫・1点	や1-1
柳遊亀尾伺書(諸藩人数通行等賄料莫大にて福島村窮迫のため500両拝借に付) 柳遊亀尾→ 端裏書「福島村拝借金之義ニ付伺」	(明治2年)11月	横切継紙・1通	や1-2
市□□□伺書(福島村窮迫のため500両拝借の件司税申立執成に付) 市□□□→ 裏打済、破損甚大、端裏書「福島村拝借金之義ニ付伺」「神社郡政副主事」	(明治2年)	横切継紙・1通	や1-3

10 藩政／財政／計政局／借入・用達

(巳年幡場潤蔵町方借入金受取書綴)		紙縫綴・5点	や17
幡場潤蔵金銭受取証文[覚](町方時借金15両返済に付) 幡場潤蔵→酒井市治殿・水野清右衛門殿	巳6月6日	横切紙・1通	や17-1
幡場潤蔵金銭受取証文[覚](町方時借金200両返済に付) 幡場潤蔵→酒井市治殿	巳5月20日	横切紙・1通	や17-2
幡場潤蔵金銭受取証文[覚](町方時借金95両返済に付) 幡場潤蔵→酒井市治殿 端裏書「巳五月十九日御返済」	巳5月19日	横切紙・1通	や17-3
幡場潤蔵金銭受取証文[覚](町方時借金100両返済に付) 幡場潤蔵→酒井市治殿・水野清右衛門殿	巳6月12日	横切継紙・1通	や17-4
幡場潤蔵金銭受取証文[覚](町方借入金596両返済に付) 幡場潤蔵→酒井市治殿・水野清右衛門殿 端裏朱書「巳六月 町方御借入金御返済」	巳6月13日	横切紙・1通	や17-5
(拝借証文綴 明治3年12月)		紙縫綴・4点	や32

や 10 藩政／財政／計政局／借入・用達 11 元松代庁／諸用状

木町宇兵衛拝借証文〔御拝借証文之事〕(焼失のため才覚金200両に付) 木町宇兵衛→水野清右衛門様・月岡善平様・駒村佐十郎様	明治3年午12月	縦紙・1通	や32-1
夏和村松本叢三郎拝借証文〔借用申金子証文之事〕(金100両に付) 夏和村松本叢三郎→水野清右衛門様・月岡善平様・駒村佐十郎様	明治3年午12月13日	縦紙・1通	や32-2
長国寺副寺拝借証文〔覚〕(当寺副寺寮弘方支障のため金100両に付) 長国寺副寺→出納掛り御役所	明治3年午12月	縦紙・1通	や32-3
長国寺副寺拝借証文〔覚〕(当寺副寺寮弘方支障のため金150両に付) 長国寺副寺→伊藤一学殿	明治3年午12月	縦紙・1通	や32-4

11 元松代庁／諸用状

今里村村沢玄叔他二名申上書(松代藩広田村への返納金日延のため本日挨拶に伺う旨に付) 上田藩管轄今里村村沢玄叔・中水施村青木得三・青木左右衛門→松代御藩小山藤左衛門殿・月岡徳治殿・宮入半之丞殿	(明治4年)辛未4月29日	横切縦紙・1通	や49
下真嶋村北村富之丞申上書(亡父与右衛門履歴に付) 下真嶋村北村富之丞→	明治5年壬申6月	縦半・1冊	や44
(土口村拝借金返済・積金上納関係書類綴 明治5年4月)		紙縫綴・2点	や27
土口村北沢幸松他五名金銭受取証文〔差上申御受取証文之事〕(拝借金千両余返済引当書入地所村役人等にて御預りに付) 土口村北沢幸松印・親類組合兼北沢豊治印・名主小林喜作印他3名→商法方御手附安川柔兵衛様・柳島亀太郎様	明治5年壬申4月	縦半・1冊	や27-1
土口村北沢幸松他一名願書〔差上申御日延一札之事〕(未年積金上納日延願に付) 土口村北沢幸松印・請人同豊治印→商法御手附安川柔兵衛様・柳島亀太郎様	明治5年末(申)4月	縦半・1冊	や27-2

表題・作成等	年代	形態・数量	整理番号
--------	----	-------	------

既刊目録未収載分

1 真田家／相続／慶応二年相続一件

高野広馬申上書(書類御下げの件表御用人に同意に付) 高野広馬→・端裏書「宇和島様より被仰進之義ニ付申上」	3月7日	切紙・1通	か735
--	------	-------	------

2 真田家／参勤・上京／元治元年上京

寺内多宮他二名高崎銀受取証文[覚](金児忠兵衛他2名に付) 寺内多宮・高野車之助・金児忠兵衛／(奥印)窪田半弥／(奥印)草間一路→兼帯西村源兵衛殿・池田富之進殿・堤千治殿	元治元年子6月	縦継紙・1通	か1876
佐藤安喜高崎銀受取証文[覚](18匁に付) 佐藤安喜／(奥印)中村鉄蔵／(奥印)根津繁人→西村源兵衛殿・池田富之進殿・堤千治殿他4名	慶応元年丑6月	縦継紙・1通	か2043

3 真田家／規式／供立・行列

河原理助指示書(明日5時御供揃御乗物にて成徳寺御牌所御廊所へ参詣に付) 河原理助→表御用人様 宿紙	7月5日	横切紙・1通	か2967
---	------	--------	-------

4 真田家／病氣・療養／湯治／幸教病氣一件

服部敬順用状(御容体拝見の報告に付) 服部敬順→伊藤環様 端裏に朱書	2月朔日	横切継紙・1通	き703
清水新吾用状(御上快方のため木刀差上に付) 清水新吾→(山寺)源太夫様・(磯田)音門様・(高山)内蔵進様 端裏書「正月十九日付清水氏より木刀之事」	正月19日	横切継紙・1通	き705
谷口弥右衛門他一名用状(殿様・御前様勤向報知に付) (谷口)弥右衛門・(小野)肇→(山寺)源太夫様・(磯田)音門様・(高山)内蔵進様 端裏朱書「三月二日ニ而返報差戻」	2月25日	横切継紙・1通	き1507
(封筒) 伊藤環→山寺源太夫様・高山内蔵進様 破損大	2月8日	封筒・1点	き1573-1
伊藤環書状(御床扨内祝頂戴の礼・阿部家公用人より書状返却に付) (伊藤)環→(山寺)源太夫様・(磯田)音門様・(高山)内蔵進様 虫損・破損大	2月8日	横切継紙・1通	き1573-2
[幸橋様より被進之御目録等之事](封筒) (伊藤)環→山寺源太夫様・高山内蔵進様	11月19日	封筒・1点	き1574-1
某用状(伊藤御同役より直書等目録) 端裏書「伊藤環始御同役衆え御申述被下度儀」・汚損大		横切継紙・1通	き1574-2
高山内蔵進用状(病中不出仕に付) (高山)内蔵進→(伊藤)環 端裏書「御回答被下候」・汚損大	6月26日	横切継紙・1通	き1574-3
(紙繕) き1576一括		紙繕束・1点	き1576-1
[御用 時候御見舞且御袴地被進候事](封筒) 小野肇・谷口弥右衛門→山寺源太夫様・高山内蔵進様 封筒・き1576・2・2巻込・印「松代南奥守役之記」	2月16日	封筒・1点	き1576-2-1
谷口弥右衛門他一名用状(御床扨後の様子等に付) (谷口)弥右衛門・(小野)肇→(山寺)源太夫様・(磯田)音門様・(高山)内蔵進様	2月16日	横切継紙・1通	き1576-2-2

既刊目録未収載分 4 真田家／病氣・療養／湯治／幸教病氣一件 5 真田家／交際
6 真田家／奥向／奥方役人用状 7 真田家／文芸 8 真田家／道具・書目／御腰物

[御用](包紙) 小野肇・谷口弥右衛門→山寺源太夫殿・高山内蔵進殿 き1576・2巻込		封筒・1点	き1576-3
三人用状(贈物受納御礼・運漕一条督促・小納戸の件に付) 三人→御三人様	2月7日	横切継紙・1通	き1577

5 真田家／交際

犬塚求之介書状(井伊直憲病氣のため帰国保養に付) 犬塚 求之介→畑権兵衛様・津田転様 紙背「井伊掃部頭様之」、宿紙	(元治2年)2月16日	横切継紙・1通	か881
--	-------------	---------	------

6 真田家／奥向／奥方役人用状

赤沢内蔵助他二名書状并小野肇他一名勘返状(殿様の健康・ 参詣に付) (赤沢)内蔵助・(磯田)音門・(山寺)源右衛門→(小野) 肇様・(谷口)弥右衛門様	2月22日	横切継紙・1通	き256
大日方正司伺書[御小袖簞笥御長棹御出来之儀伺](出生様 入料様入料) 大日方正司→ 宿紙	12月	横切紙・1通	か2892

7 真田家／文芸

[感応院様御筆](包紙)			か674-1
(長国寺御靈屋へ奉納の真田幸貫自詠草) (真田)幸貫(花押) →	天保15年甲辰4月13日	横切継紙・1通	か674-2

8 真田家／道具・書目／御腰物

[覚 文政十一子年十一月中御納戸役より引渡一紙](包紙) か1242・2巻込		包紙・1点	か1242-1
堀田乙司他二名差料引渡書[御刀御拵書・御脇差御拵書](真 田幸専遺骸帰奥の節道中御用差料に付) 堀田乙司・高久伊 之介・山本雄左衛門→三井源吾殿・佐藤左金吾殿・徳嵩恒吉殿他6名	(文政11年)子11月	横切継紙・1通	か1242-2
[明治八年乙亥太陽略暦] 東京頒暦商社中弘暦者 中村小兵衛 「暦局検査之印」(朱印)	明治8年	半・1冊	9999A3-1
[明治九年太陽略暦] 東京頒暦商社中弘暦者 寺井新八 「暦局 検査之印」「真田文書」「信州内国通運会社松代分社」(朱印)	明治9年	半・1冊	9999A3-2
(暦本 一丁のみ) 大阪頒暦商社中弘暦者 伊勢山田小林翁輔 「鯉奥」(黒印)、「真田文書」(朱印)	(明治)	半・1冊	9999A3-3
[明治十一年太陽略本暦] 東京大阪頒暦商社 伊勢国山田弘暦者 小林翁輔 「頒暦証」(貼紙)、「鯉奥」(黒印)、「頒暦商社」「典籍商館仏 府松葉軒小枡屋喜太郎」「真田文書」(朱印)	明治11年	半・1冊	9999A3-4
[明治十二年太陽略本暦] 東京大阪頒暦商社 社長林立守 伊勢 国山田弘暦者小林翁輔 「頒暦証」(貼紙)、「頒暦商社」「長野県管下弘 道所 御用書物師 西澤喜太郎」「真田文書」(朱印)	明治12年	半・1冊	9999A3-5
[明治十二年太陽略本暦] 東京大阪頒暦商社 社長林立守 伊勢 国山田弘暦者小林翁輔 「頒暦証」(貼紙)、「鯉奥」(黒印)、「頒暦商社」 「長野県管下弘道所 御用書物師 西澤喜太郎」「真田文書」(朱印)	明治12年	半・1冊	9999A3-6
[明治十三年太陽略本暦] 東京大阪頒暦商社 社長林立守 社員	明治13年	半・1冊	9999A3-7

伊勢山田弘曆者小林翁輔「頒曆証」(貼紙)、「鯉奥」(黒印)、「頒曆商社」官許 太陽曆信濃国元捌書 長野御用書物師 松葉軒西澤喜太郎「真田文書」(朱印)			
[明治十四年太陽略本曆] 東京大阪頒曆商社 社長林立守 社員伊勢山田弘曆者小林翁輔「頒曆証」(貼紙)、「鯉奥」(黒印)、「頒曆商社」官許 太陽曆信濃国元捌書 長野御用書物師 松葉軒西澤喜太郎「真田文書」(朱印)	明治14年	半・1冊	9999A3-8
[神武天皇即位紀元二千五百三十三年明治六年太陽曆] 製本所 北畠茂兵衛「鯉奥」(黒印)、「曆局検査之印」真田文書(朱印)	明治6年	半・1冊	9999A9

9 藩政／家中／維新褒賞

(下賜のお品受取書綴 明治2年3月～7月)		紙綴綴・11点	き1095
[御城両手負] (竹内伊太郎他3名に付)		横切紙・1通	き1095-1
仙道莊吉受取証[覚] (給1枚・地半1枚受取に付) 仙道莊吉→宮入半之丞殿 宿紙	(明治2年)3月24日	横切紙・1通	き1095-2
某受取証[覚] (綿入3枚・給13枚等受取に付)	(明治2年)	横切紙・1通	き1095-3
芳三郎他一名受取証[覚] (単物2枚等受取に付) 成沢平左衛門組芳三郎・浅井佐市郎組小十郎→宮入半之丞殿 宿紙	(明治2年)4月15日	横切紙・1通	き1095-4
菊治他一名受取証[覚] (給2枚・地半2枚受取に付) 宮入半之丞組菊治・御雇組定治郎・→ -	(明治2年)3月21日	横切紙・1通	き1095-5
青沼良之助受取証[覚] (綿入1枚等受取に付) 青沼良之助→宮入半之丞様	(明治2年)巳7月9日	横切紙・1通	き1095-6
斎藤亀作受取証[覚] (給1枚等受取に付) 斎藤亀作→小荷駄方様	(明治2年)3月13日	横切紙・1通	き1095-7
友野鉄三郎受取証[覚] (綿入襦袢1枚宛受取に付) 友野鉄三郎→御使中	(明治2年)3月13日	横切紙・1通	き1095-8
前田角次郎受取証[覚] (給1枚・襦袢1枚受取に付) 前田角次郎→小荷駄方使中	(明治2年)3月13日	横切紙・1通	き1095-9
若林藤吾受取証[覚] (綿入1枚等受取に付) 宇良治父若林藤吾→ - 宿紙	(明治2年)	横切紙・1通	き1095-10
(中村唯太郎他13名書上)		横切紙・1通	き1095-11

10 藩政／諸役方／郡奉行所

[羽黒山十光江府出張役口役人口越州高田領熊生宿二而内 済全百[]戻之節善光寺[] - →御懸恩田頼母殿・懸[] 破損大、取扱い注意、地の部分に「羽黒山一件」]	嘉永元年申口月	豎半・1冊	あ731
石阪市郎右衛門他一名申上書(松本藩会田村辺騷擾鎮圧のため出役に付) 石阪市郎右衛門・野中直之助→(岡野)弥右衛門様(郡奉行)・(斎藤)新蔵様・(宇敷)元之丞様	8月29日	横切紙・1通	き831
石阪市郎兵衛申上書(松本出張の中間報告に付) (石阪)市郎兵衛→御三人様 宿紙	24日	横切紙・1通	き832

11 藩政／諸役方／水道方

(御巡見関係書類綴 天保9年5月～9月)		紙綴綴・9点	き1248
----------------------	--	--------	-------

既刊目録未収載分 11 藩政／諸役方／水道方 12 藩政／諸役方／学校懸
 13 藩政／郡方／災害／居宅焼失届 14 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

望月治郎左衛門通達書(見分場所の掃除に付) 望月治郎左衛門→長谷川四郎次殿 宿紙	(天保9年)9月14日	横切紙・1通	き1248-1
祢津要左衛門通達書(普請場所見分に付) 祢津要左衛門→長谷川四郎次様・宮下嘉平太様 宿紙	(天保9年)9月14日	横切紙・1通	き1248-2
宮沢丹下通達書[御城下御見分之道筋] 宮沢丹下→長谷川四郎次様・宮下嘉平太様	(天保9年)9月15日	横切紙・1通	き1248-3
某通達書(御巡見の下座台勤め方に付) 塩野権太夫・長谷川利八→ -	(天保9年)	横切継紙・1通	き1248-4
長谷川四郎次返納証文[覚](鉄砲7挺等御用借出物返納に付) 長谷川四郎次→御当番様 宿紙	(天保9年)9月27日	横切紙・1通	き1248-5
某通達書(御通の節の心得に付) - →水道方	(天保9年)	横切継紙・1通	き1248-6
(御巡見様日限4月23日桑原村より29日単宿までに付) - → -	(天保9年)	横切紙・1通	き1248-7
(御巡見様日限5月6日桑原村より12日単宿までに付) 水野房五郎→	天保9年戌5月	横切継紙・1通	き1248-8
[覚](各番所備品数量書上に付)	(天保9年)	横切継紙・1通	き1248-9

12 藩政／諸役方／学校懸

(紙縫、学校道具番勤務調査関係書類一括) 「史料館」紙縫		紙縫束・1束(2通)	き1605
学校懸り御目付申上書(島田藤右衛門他3名精勤に付) 学校懸り御目付→ - 端裏書「去辰年学校御道具番相勤方の儀ニ付申上」	7月	横切継紙・1通	き1605-1
御勘定吟味申上書(別紙目付申上の通に付) 御勘定吟味→ - 端裏書「学校御道具番調外之義申上」	8月	切紙・1通	き1605-2

13 藩政／郡方／災害／居宅焼失届

[当村居宅焼失之者持高御書上帳](目(日)影村) 日影村名主 覚左衛門・組頭重蔵・同断久保田喜美三郎他1名/(奥印)久保三郎→御代官所 う797～807合綴	慶応3年卯4月	横長半・1冊	う801
--	---------	--------	------

14 藩政／郡方／村町方／諸願書・取調

桑根井村治左衛門他五名届書[指上申一札之御事](桑根井村治左衛門病気を郡奉行手付明細見分に付) 桑根井村治左衛門・同人親類丈左衛門・同人組合平左衛門他3名/(奥印)御郡方御手付万之丞・惣三郎→御郡方付万之丞殿・惣三郎殿 端裏書「桑根井村治左衛門病氣見届書面」	文政7年申2月	縦継紙・1通	く1184
会村他五ヶ村村役人連印縫り書[以口上書奉願候御事](東寺尾村御蔵屋敷出火の消火へ会村不参加の咎赦免願に付) 会村名主金右衛門親類惣代儀右衛門・同人組合惣代喜惣太・名主仮役金兵衛他5ヶ村村役人→真勝寺様 裏打済、関連史料こ376-4	文政11年子6月	縦継紙・1通	く1011
(「上徳間村消印帳面」等3ヶ条に付)		切紙・1通	く258
(見回り人足取調書類一括) き265 - 1～3紙縫一括、虫損あり		7点	き265
佐久間仙之助申上書并御郡方添伺貼紙(小頭以下桑原村昼夜時廻り勤務者名前に付) 佐久間仙之助→ -	11月	横切継紙・1通	き265-1
春原職喜申上書并御郡方添伺貼紙[覚](町泊り節小頭前島	11月	横切継紙・1通	き265-2

小右衛門他12人に付) 春原職喜→ - 虫損			
矢島源左衛門申上書[覚](桑原村昼夜時廻り勤務12名に付) 矢島源左衛門→ - 虫損	11月	横切継紙・1通	き265-3
小山田重大夫申上書并郡方添伺貼紙[覚](鼠宿昼廻り勤務 12名に付) 小山田重大夫→ - 裏打済	11月	横切継紙・1通	き265-4
祢津刑左衛門申上書并郡方添伺貼紙[覚](丹波島宿見回人 足14名に付) 祢津刑左衛門→ - 裏打済	11月	横切継紙・1通	き265-5
池村八大夫申上書并郡方添伺貼紙[覚](当町見回り人足13 名に付) 池村八大夫→ - 裏打済	11月	横切継紙・1通	き265-6
志村龍浦申上書并郡方添伺貼紙[覚](当町御泊りのため見 回り人足13名に付) 志村龍浦→ - 裏打済	11月	横切継紙・1通	き265-7
金井左源太用状(市村南組名主他三役任命に付) (金井)左源 太→(岡島)莊藏様 宿紙	12月4日	横切継紙・1通	く531
(普請等諸記事下書) 端裏書「十二日清書済」「留済」、宿紙		横切継紙・1通	く1303
師田幾太郎伺書[口上覚](池田組元村の存否について下中 牧村と元村の争論紛糾のため両村吟味願に付) 師田幾太 郎→ -	10月	横切継紙・1通	く1672
中島村名主重右衛門他十三ヶ村十三名請書[差上申御請書 之事](真田幸民預所にて5月～8月大雨・水災への手当金 村々人別へ割賦の旨) 右(高井郡)中島村受取人名主重右衛門・ 村山村同名主清之助・相之島村同名主久三郎他11ヶ村11名→ -	(明治元年)辰11月14日	豎半・1冊	う874

15 藩政／郡方／宿方

[御帰府之处御在所江御立寄ニ付御道中宿々宿外え被下金 御勘定帳] 今井友之進・中村嘉一郎→ - 原本綴込	慶応3年4月	豎半・1冊	あ3146
[人馬触](包紙) き92 - 2巻込		包紙・1点	き92-1
北沢源次兵衛人馬触廻状[覚](帰府村継に付) 北(沢)源次兵 衛(郡奉行)→雨宮村・矢代村・鼠宿村右村々三役人	子2月12日	横切継紙・1通	き92-2

16 藩政／諸職／職事掛

[官給調] 権大参事以下監守までメ449人分各級別現米支給額調	(明治4年)辛未12月	豎半・1冊	あ75
[官給調](貼紙)「西東京詰調込之方」	(明治4年)辛未12月	豎半・1冊	あ76

17 藩政／諸職／神社郡政局・民事掛／諸願書・取調

(端裏書)[仁科甚十郎](才覚金用意等仁科甚十郎褒状留)		横切紙・1通	き366-1
矢野倉謙兵衛内々伺書并監督端裏貼紙(新安村仁科甚十郎 才覚金等の御賞下賜に付) 矢野倉謙兵衛→ - 端裏書「新安 村仁科甚十郎才覚金御用達御賞之義御内々伺」、宿紙	(明治5年)壬申11月	横切継紙・1通	き366-2
土口村小林喜作他二名[乍恐以書付御縫奉申上候](土口村 北村佐右衛門他1名孝行のため午年7月お約束の御褒美粉 頂戴したくに付) 土口村名主小林喜作・組頭北村作五郎・同北村 津右衛門→元松代御庁	明治5年壬申7月	美・1通	き1265
(紙縫、御賞筋関係書類一括 明治5年6月)		紙縫・1束(8通)	き1584-0

某申上書(御用達金支出等に付) 一→ - 端裏書「長野県管下東江郡山田莊左衛門等え被進被下物之義ニ付申上」、端裏朱書「子」、評議下ヶ札多数	(明治5年)壬申6月	横切継紙・1通	き1584-1
某申上書(御用達金支出等に付) 端裏書「上田丸平へ被下候義伺」	(明治5年)壬申5月	横切継紙・1通	き1584-2
(品代関係書上) 端裏書「御品被下物代積」	(明治5年)壬申6月	横切継紙・1通	き1584-3
某申上書(御用達金に付) 端裏書「八幡村和田弥左衛門御賞筋之義御内々申上」	(明治5年)壬申6月	横切継紙・1通	き1584-4
某申上書 端裏書「田子村池田久吉等御下物之儀ニ付内々申上」	(明治5年)壬申6月	横切継紙・1通	き1584-5
(内田拾治郎御賞関係書上) 端裏書「鍛冶町内田拾治郎御賞筋義内々申上」	(明治5年)6月	横切紙・1通	き1584-6
五明元作伺書(橋詰村弥右衛門他) 五明元作→ - 端裏書「御賞筋之義奉伺」	(明治5年)8月10日	横切継紙・1通	き1584-7

18 藩政／諸職／兵政局・軍事局／申上書・諸願

(紙縫、下筋出張不当集会一件書類一括 明治4年7月～9月) け1826一括		紙縫・1束(13点)	け1826
割番申上書(下筋出張の賞典について不当集会一件の赦免・復職願に付) 割番→ - 端裏書「三井孝右衛門儀ニ付申上」	(明治4年)辛未7月	横切継紙・1通	け1826-1
割番申上書(下筋出張の賞典について不当集会一件の赦免・復職願に付) 割番→ - 端裏書「下筋出張元小頭共之儀ニ付申上」	(明治4年)未7月	横切継紙・1通	け1826-2
副隊長補内々伺書(下筋出張の賞典について不当集会一件の赦免・復職願に付) 副隊長補→ - 端裏書「三井孝右衛門初外六人歎願之義別紙相添御内々伺」	(明治4年)8月	横切継紙・1通	け1826-3
[上](包紙) 下筋出張小頭→ -		包紙・1点	け1826-4-1-1
下筋出張小頭十二名歎願書[乍恐以書面奉歎願候](下筋出張の賞典について不当集会一件の赦免・復職願に付) 瀧沢文之助・瀧沢孝作・半田小一郎他9名→御割番所	明治4年未7月	縦継紙・1通	け1826-4-1-2
[口上覚](包紙) 下筋出張五番隊→ -		包紙・1点	け1826-4-2-1
下筋出張五番隊九名歎願書[口上覚](下筋出張の賞典について不当集会一件の三井孝右衛門の赦免・復職願に付) 下筋出張五番隊惣代三井孝右衛門組瀧沢誰七・中沢弥一郎組宮下善之丞・井口良助組青山奥右衛門他6名→御割番所	明治4年辛未7月	縦継紙・1通	け1826-4-2-2
金児満高他4名嘆願書(下筋出張の賞典について不当集会一件の三井孝右衛門の赦免・復職知事様へ歎願に付) 金児満高・栢植協・山越新八郎他2名→ - 端裏書「御内々歎願」	(明治4年)8月	横切継紙・1通	け1826-5
久保三郎申上書并監督端裏朱印(下筋出張の賞典について不当集会一件の三井孝右衛門等の赦免・復職の件北沢冠岳に相談に付) 久保三郎→ - 端裏書「三井孝右衛門等之義御尋ニ付申上」	(明治4年)辛未8月10日	横切継紙・1通	け1826-6
議事申上書(下筋出張の賞典について不当集会一件の隊員赦免・賞典半分下賜に付) 議事→ - 端裏書「三井孝右衛門等之義御尋ニ付申上」	(明治4年)8月16日	横切継紙・1通	け1826-7
監督申上書(下筋出張の賞典について不当集会一件の復職・賞典返還に付) 監督→ - 端裏書「三井孝右衛門等之儀ニ付申上」	(明治4年)9月7日	横切継紙・1通	け1826-8
(下筋出張賞典について不当集会一件の者近況付名面書) 下ヶ札	(明治4年)	切紙・1通	け1826-9

19 藩政／諸職／兵政局・軍事局／武器拝借

[御武器類御貸出元帳] (武庫属) あ932～940との関係史料	明治3年正月	横長半・1冊	あ941
----------------------------------	--------	--------	------

20 藩政／諸職／監察局／申上書

監手申上書(廃藩後富山・金沢両県下風説に付)	(明治4年)辛未8月	横切継紙・1通	け1833
------------------------	------------	---------	-------

21 藩政／財政／郡奉行・御勝手元／諸用状

[悪金銀引替の事](包紙、悪金銀引替書類一括 文政10年3月～6月) 護符を反故にして使用		包紙一括・1点	き833
藤田為之丞申上書(勿金銀引換に付) (藤田)為之丞→(金井)左源太様 宿紙	(文政10年)3月24日	横切継紙・1通	き833-1
藤田為之丞申上書(勿金銀引換値段通知に付) (藤田)為之丞→(金井)左源太様 宿紙	(文政10年)6月26日	横切継紙・1通	き833-2
金井左源太手形[覚](南鐐悪金1分預かりに付) 金井左源太→小林三左衛門殿 宿紙	文政10年亥3月24日	横切紙・1通	き833-3-1
金井左源太手形[覚](小判等悪金5両預かりに付) 金井左源太→佐藤左金吾殿・徳嵩恒吉殿・樋口与兵衛殿 宿紙	文政10年亥3月	横切紙・1通	き833-3-2
某取調書(安政2年・3年宿々助成金等上納金・取延上納金取調書) 端裏書「御郡代」、宿紙	(安政2年)	横切継紙・1通	く377
某取調書(安政2年～安政4年宿々助成金等上納金取調書) 宿紙を貼継、下ヶ札・貼札あり		横切継紙・1通	く378
(ノ7千6石余) 端裏書「安政四已暮御返済金利分」、下ヶ札多数	安政4年11月23日	横切継紙・1通	く381
孫右衛門書状(曲根柳一件に付) 孫右衛門→丈左衛門様	12月8日	横切継紙・1通	き250
孫介用状(大塚より申越安心等に付) 孫介→(竹村)金吾様	11月22日	横切継紙・1通	き355

22 藩政／財政／勘定所／御用状

[覚](拝借金・宿々助成金等勘定書他村々借用金関係書類写) 破損あり		横折紙・1通	く375
寺沢十大夫預ヶ金受取証文[覚](預ヶ金2両に付) 寺沢十大夫→片桐重之助殿(勘定役) 宿紙	閏5月朔日	切紙・1通	く376
権三郎用状(御用金到来・郡代借入金取集め納入等に付) 権三郎→御兩人様	12月29日	横切継紙・1通	く379
権三郎用状(金子払底不融通の件心痛・内用金の件考慮願等に付) 権三郎→(片桐)重之助様・(高野)覚之進様	12月28日	横切継紙・1通	く380
[御貸附金年賦年切共卯暮上納分](郡代上納分)	巳正月	横切継紙・1通	く382

23 藩政／財政／拝借金／繰廻金

[御繰廻金子有所并御金共調元帳] 差引張 差当り不用之分]	表紙[此一綴八年々品々	享和3年亥12月	横長半・1冊	い4290
----------------------------------	-------------	----------	--------	-------

24 藩政／財政／藩債処分／大坂御用場

大坂御内用懸御勘定役伺書(三輪村製五色か々糸京都にて 染色に可否に付) 大坂御内用懸御勘定役→ - 端裏書[大手前 様え坂田藤兵衛被召呼候節御引物の義ニ付伺]	8月23日	横切継紙・1通	か123
---	-------	---------	------

25 藩政／財政／給禄・手充

赤沢助之進指示書(大検見・検見御手当支給に付) 赤沢助之 進→長谷川三郎兵衛殿 き1746～1751一括の内	12月25日	切紙・1通	き1748
---	--------	-------	-------

26 藩政／財政／職事掛／諸用状

[去已年資金御上納之事](封筒) 大熊薫→鎌原溶水様 <390の 封筒	9月2日	封筒・1点	<389
大熊薫用状(軍資金納入の受取証書大蔵省より交付に付) 大熊薫→鎌原溶水様	8月23日	横切継紙・1通	<390
公用人申上書 公用人→ - 端裏書[軍資金去已年九月分御上納相 済右請取書添申上]	8月23日	横切紙・1通	<391

27 藩政／財政／計政局・会計掛／申上書・諸用状

竹村金吾用状(盆払50両等支給願に付) 竹村金吾→当御用岸善 八様 虫損あり	7月13日	横切紙・1通	き252
永井忠右衛門書状(札金才覚金私案に付) 永井忠右衛門→大 島勝之助様	3月5日	横切継紙・1通	き254
家永新平用状(永野申太郎文通連絡に付) 家永新平→駒林佐 十郎様	5月16日	縦切紙・1通	き507
庸申上書(倉賀野宿御出入薫新右衛門重賞の祝儀献上に付) 庸(家老鈴木内蔵允)→ -	12月21日	切紙・1通	か1210
薫申上書(八町村真光寺等5ヶ寺増知の祝儀献上に付) 薫 (権大参事大熊薫)→ -	9月7日	横切継紙・1通	か1216
柳遊亀尾伺書[口上覚](重賞の献金の内式分金預かり置く ままの件了解願に付) 柳遊亀尾→ -	11月	横切継紙・1通	か1217
内預金本上納証文案[覚](司金方へ預金の辰年無役金・病気 金に付)	明治3年6月	縦紙・1通	き1641
[証書](包紙) <392-2巻込		包紙・1点	<392-1
出納司軍資金上納受取証文[証](金札1千両に付) (東京)出 納司→松代藩	(明治3年)庚午8月20日	縦紙・1通	<392-2

(摺米取計方評議書類綴)		紙縫綴・5点	き853
計政副主事伺書(村摺の上で納めさせるかに付) 計政副主事→ - 端裏書「御摺米取計方之義伺」	12月	横切継紙・1通	き853-1
庶務掌申上書 庶務掌→ - 端裏書「御摺米御出方之義ニ付申上」、裏打済、宿紙	12月	横切継紙・1通	き853-2
(初御出方書上) 端裏書「一印」、貼紙あり、宿紙		横切継紙・1通	き853-3
(初御出方書上) 端裏書「二印」、貼紙あり、宿紙		横切継紙・1通	き853-4
神社郡政庶務掌返答書 神社郡政庶務掌→ - 端裏書「御摺米御減様ニ付御蔵入等之義ニ付申上」		横切継紙・1通	き853-5
計政副主事申上書(買上初を摺米の上玄米にて支給されたくに付) 計政副主事→ - 端裏書「被下初御摺米之儀ニ付申上」	6月27日	横切継紙・1通	き872
計政副主事伺書 計政副主事→ - 端裏書「盆前御借入金御返済之義ニ付別紙相添伺」、別紙は欠	7月	横切継紙・1通	き1018
計政副主事指示書(水熊村佐右衛門献上縄計政副主事へ引渡し之旨) 計政副主事→ - 宿紙		切紙・1通	か1221
武庫庶務申上書(金38両2分余に付) 武庫庶務→ - 端裏書「御手段金御元金并御礼金割合申上」、宿紙	午3月	横切紙・1通	き1256
小納戸用状[覚](去午年中御入料おおよそ合計金2千381両余に付) 小納戸→ - 端裏に貼紙「出納掛心得ニ可相下事」	(明治4年)未2月22日	横切継紙・1通	き490
宮下源助伺書(拝借金残金上納期日に付) 宮下源助→ - 宿紙	12月	横切継紙・1通	き352
興津権右衛門申上書(引換官札払底のため卒頭へ直接献上して司金局の受取を下す案に付) 興津権右衛門→ - 端裏書「存付之儀申上」	12月5日	横切継紙・1通	き491

史料目録 第 91 集

しなののくにまつしろさなだけもんじょもくろく
信濃国松代真田家文書目録（その 12・完）

印刷発行 平成 23 年 3 月 31 日

発行者 人間文化研究機構 国文学研究資料館

編集 調査収集事業部

〒 190-0014

東京都立川市緑町 10-3

電話番号 050-5533-2900（代）

印刷所 三鈴印刷株式会社

© 人間文化研究機構 禁無断複写

（本文用紙は中性紙を使用）

本書は国文学研究資料館史料館の『史料館所蔵史料目録』（第 78 集まで発行）を継続しています。

978-4-87592-140-4

978-4-87592-140-4